平成 27 年度

柏市公共施設等総合管理計画
「施設白書編」

平成 28 年３月

柏　市

目 次

第 1 章 はじめに 1-1

1-1 背景 1-1

1-2 目的 1-1

第 2 章 柏市の概要 2-1

2-1 市の概況 2-1

2-2 人口の推移・将来予測 2-5

2-3 財政状況の推移 2-6

2-4 本白書の対象施設 2-10

2-5 公共施設の保有状況 2-11

2-6 人口と公共施設面積の比較 2-13

2-7 将来のライフサイクルコスト 2-16

2-8 柏市の概要から見た課題 2-18

2-9 インフラ概況 2-19

第 3 章 施設用途ごとにみた現状 3-1

3-1 01 集会施設 3-6

3-1 02 文化施設 3-23

3-1 03 交流施設 3-28

3-2 01 図書館 3-30

3-2 02 公民館 3-40

3-2 03 博物館等 3-45

3-2 04 その他社会教育施設 3-49

3-3 01 スポーツ施設 3-51

3-3 02 レクリエーション施設 3-67

3-4 01 産業系施設 3-71

3-5 01 学校 3-76

3-5 02 その他教育施設 3-113

3-6 01 保育園 3-117

3-6 02 幼児・児童施設 3-129

3-6 03 幼児・児童福祉施設 3-153

3-7 01 高齢者福祉施設 3-158

3-7 02 障害福祉施設 3-169

3-7 03 保健施設 3-175

3-7 04 福祉施設 3-179

3-8 01 医療施設 3-185

3-9 01 庁舎等 3-188

3-9 02 消防施設・01 消防庁舎 3-204

3-9 02 消防施設・02 消防団器具置場..... 3-214
3-9 03 環境施設..... 3-218
3-9 04 防災施設・01 防災会館..... 3-224
3-9 04 防災施設・02 防災備蓄倉庫..... 3-226
3-10 01 公営住宅..... 3-228
3-11 01 公園..... 3-235
3-12 01 供給処理施設..... 3-244
3-13 01 その他施設..... 3-249
3-14 01 未利用施設等..... 3-266
3-14 02 廃止予定施設..... 3-269

第 4 章 地域別にみた現状と課題..... 4-1

4-1 圏域構成と地区別公共施設配置状況..... 4-1
4-2 地区別の人口構成と公共施設保有量..... 4-8
4-3 北部１地域の現状と課題..... 4-13
4-4 北部２地域の現状と課題..... 4-17
4-5 中央１地域の現状と課題..... 4-24
4-6 中央２地域の現状と課題..... 4-31
4-7 南部１地域の現状と課題..... 4-40
4-8 南部２地域の現状と課題..... 4-48
4-9 沼南地域の現状と課題..... 4-52

第 5 章 公共施設等に係る課題の整理と今後の取組..... 5-1

5-1 公共施設等に係る課題の整理..... 5-1
5-2 今後の取組..... 5-1

第1章 はじめに

1-1 背景

本市は，昭和29年の市制施行当初5万人弱の人口でしたが，昭和32年・39年に入居が開始された光ケ丘団地・豊四季台団地の造成，昭和44年に施行された「都市再開発法」第1号に指定された柏駅前再開発事業の開始，また，平成17年の沼南町との合併による市域の拡大およびつくばエクスプレスの開業などにより，首都圏の主要なベッドタウンとして着実な発展を遂げ，市制施行後60余年が経過した現在では，40万人を超えるまでに至りました。このような人口増加と併せて，市の賑わいも形成されています。

しかし，未来を見据えると，少子高齢化と人口減少が加速していく時代が到来しつつあり，人口も経済も“右肩上がり”の時代における拡大基調を前提としたまちづくりの考え方を一つ一つ見直さなければならない時期にあります。

公共施設等においても，柏市では高度経済成長期から昭和50年代に整備されたものが多く，それ以前に整備されたものも含め，今後は，一定期間に大規模改修や建替えが集中することが想定されます。さらには，少子高齢化が一層進み，人口全体に対する高齢人口の割合が上昇する一方で，生産年齢人口と年少人口の割合が低下することから，将来的な財源の不足や余剰施設の増加が想定されます。限られた経営資源の中で，公共施設等によるサービスを将来にわたり持続的に提供するためには，財政状況や社会情勢の変化を考慮しながら，公共施設等の全体を適正に管理していく必要があります。

本市では，公共施設等を市民の貴重な資産と捉え，市民と問題意識を共有し，市民とともに将来の公共施設等のあり方を検討してまいります。

1-2 目的

上記の背景を踏まえ，柏市第五次総合計画では，「公共施設等の最適化」を施策として掲げ，「公共施設等マネジメントの推進」に重点的に取り組むこととしています。柏市公共施設等総合管理計画「施設白書編」は，その取組の出発点となるものであり，次の目的により策定するものです。今後，柏市では，本書で明らかとなった課題を解決するため，全庁的な視点で将来の公共施設等の望ましいあり方を検討していきます。

（目的）

- 今後，市民とともに公共施設等のあり方を検討していくにあたり，公共施設等の設置目的や利用実態，コストなどの現状を分かりやすく「見える化」し，広く市民に知っていただく資料とすること。
- 柏市公共施設等総合管理計画「基本方針編」を策定するにあたり，現状を把握する資料として活用すること。

  なお，柏市では，公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な考え方をまとめ，平成 28 年度に柏市公共施設等総合管理計画「基本方針編」を策定する予定です。

第2章 柏市の概要

2-1 市の概況

・本市は，千葉県北西部，首都 30ｋｍ圏内に位置し，東西の距離は約 18ｋｍ，南北の距離は約 15ｋｍ，面積は約 114.74ｋ㎡となっています。東は我孫子市・印西市，利根川をはさんで茨城県取手市・守谷市，南は鎌ケ谷市・白井市，西は松戸市・流山市，北は野田市と隣接しています。

・鉄道は都心から放射状に延びるＪＲ常磐線，つくばエクスプレス，首都 30ｋｍ圏を環状に走る東武アーバンパークライン（野田線）が乗り入れる交通の要衝となっています。

・本市の中央部は，柏駅を中心に市街地開発が進められた地域であり，北部は，つくばエクスプレスの開業により現在も開発が進んでいるエリアとなっております。また，東部は，平成 17 年に旧沼南町と合併した地域で，手賀沼の南側に位置し，公園や民間のゴルフ場などが立地する自然と共存したエリアとなっています。このように市域が東南部に拡大することで，地勢や自然条件，人口分布等がそれぞれ異なる地区が存在することとなりました。

・本市の顔である柏駅周辺には大型商業施設，小売店や飲食店などの個店等が集積し，ペデストリアンデッキのストリートライブや飲食店の食べ歩きといった数多くのイベント等が行われるなど，賑わいや知名度を誇っています。

・本市の魅力は，柏駅周辺のほかにも手賀沼等の豊かな自然環境や，サッカー・バスケットボール・陸上競技などのホームタウンチームの存在，東京大学をはじめとする多くの教育・研究機関が存在していることなどがあります。また，柏の葉キャンパス駅周辺地区を中心に進められている「公民学連携による自律した都市経営」をテーマにしたまちづくりは，国の環境未来都市および地域活性化総合特区に選定され，まちづくりにおける先進的モデルとして国内外から注目を浴びています。

・柏市の公共施設マネジメントを考える上では，このような地域特性や発展経緯の違いを考慮するとともに，公民学の連携により進められているまちづくりと整合のとれた取組みが求められます。

人口 （平成 22 年度国勢調査）	402,337 人
世帯数 （平成 22 年度国勢調査）	170,799 世帯
財政力指数 （平成 26 年度）	0.93
歳入総額（一般会計） （平成 26 年度決算）	1,206 億円
歳出総額（一般会計） （平成 26 年度決算）	1,151 億円

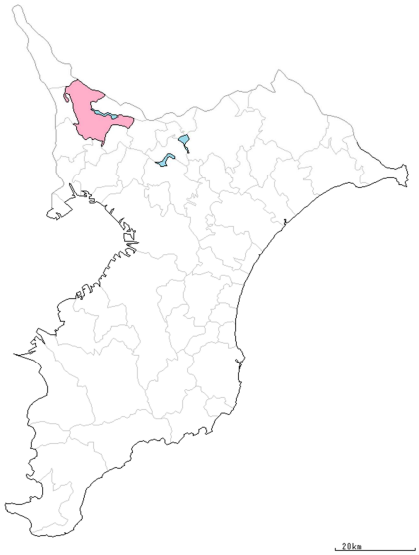


図 2-1　柏市の概況

(1) 柏市の財政力指数（平成 26 年度）

・柏市の財政力指数は 0.93 で，県内他市と比較すると平均的な数値であるといえます。

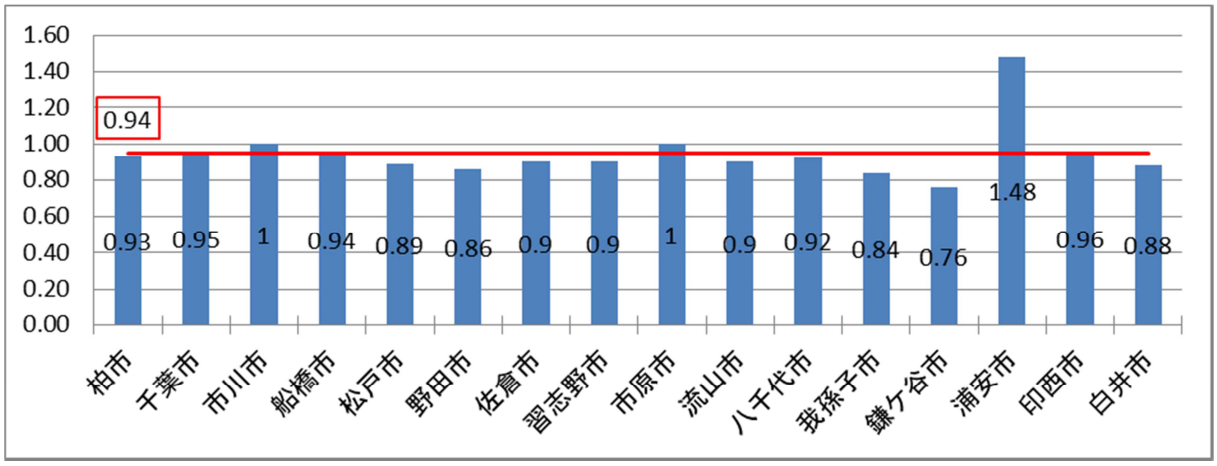


図 2-2　県内他市との財政力指数比較（平成 26 年度）

※財政力指数：市町村の財政力の強弱を示す指標で，想定される必要な行政需要に対し，想定される収入がどの程度かを表す。数値が大きくなるほど財政力は強いということになり，財政力指数が 1 を超えると，普通交付税の不交付団体となる。

(2) 柏市の経常収支比率（平成 26 年度）

・柏市の経常収支比率は 91.5%で，県内他市と比較すると平均的な数値であるといえます。
・しかしながら，目安である 80%を大きく上回っており，財政面の弾力性（余裕）を失いつつあります。

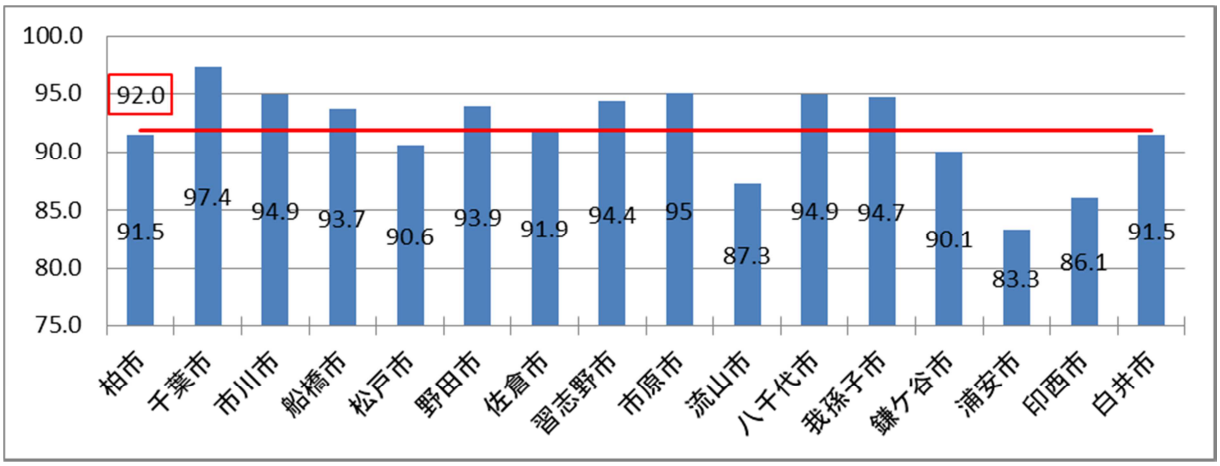


図 2-3　県内他市との経常収支比率比較（平成 26 年度）

※経常収支比率：地方税，地方交付税を中心とする経常的な一般財源が，人件費，扶助費，公債費等の義務的性格の経常経費にどの程度充当されているのかを見ることにより，財政構造の弾力性を判断するための指標。一般的には，70～80%が妥当とされており，80%を著しく超えると弾力性を失いつつあると考えられる。

(3) 柏市の実質公債費比率（平成 26 年度）

・柏市の実質公債費比率は 5.9%で，県内他市と比較すると平均値をやや上回っています。
・しかしながら，5 年前の数値（平成 21 年度，10.6%）と比較すると 6.1 ポイント低下しており，公債費の負担は減ってきています。

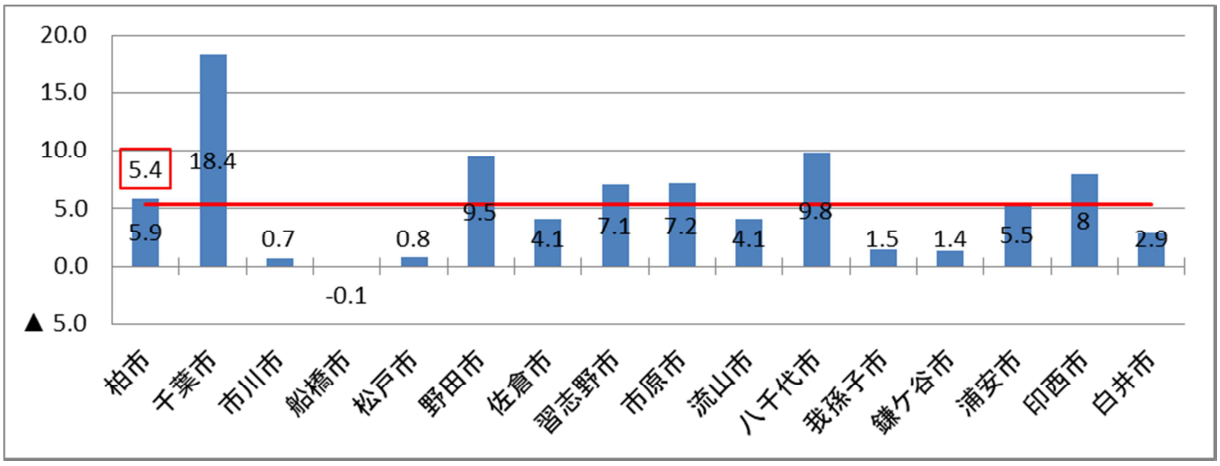


図 2-4　県内他市との実質公債費比率比較（平成 26 年度）

※実質公債費比率：自治体の収入に対する負債返済の割合を示す。18%以上だと，新たな借金をするために国や都道府県の許可が必要。25%以上だと借金を制限される。

(4) 柏市の将来負担比率（平成 26 年度）

・柏市の将来負担比率は 16.7%で，県内他市と比較してもそれほど大きな比率にはなっていないといえます。
・5 年前の数値（平成 21 年度，110.3%）と比較すると 93.6 ポイント低下しており，市債をはじめとした負債残高は着実に減少しています。

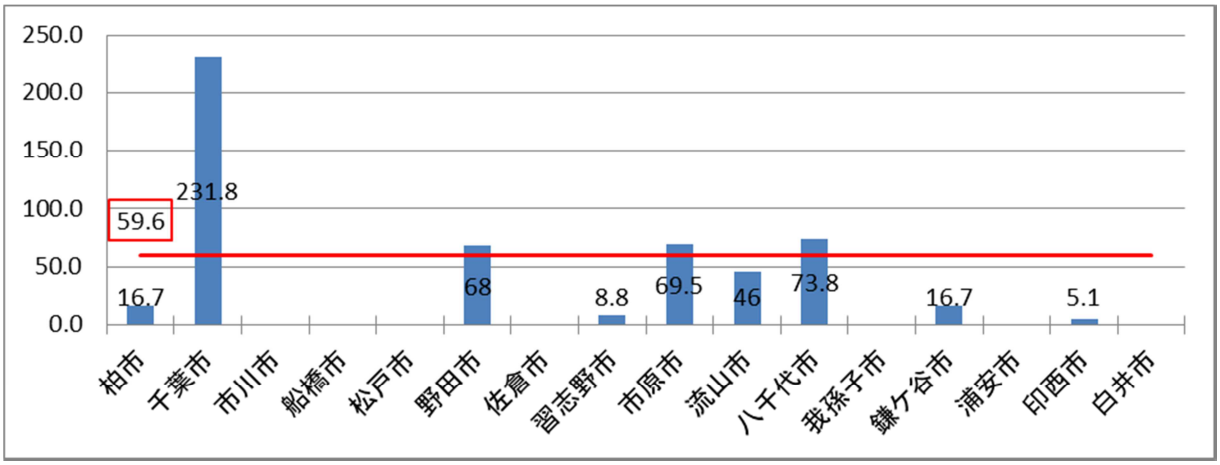


図 2-5　県内他市との将来負担比率比較（平成 26 年度）

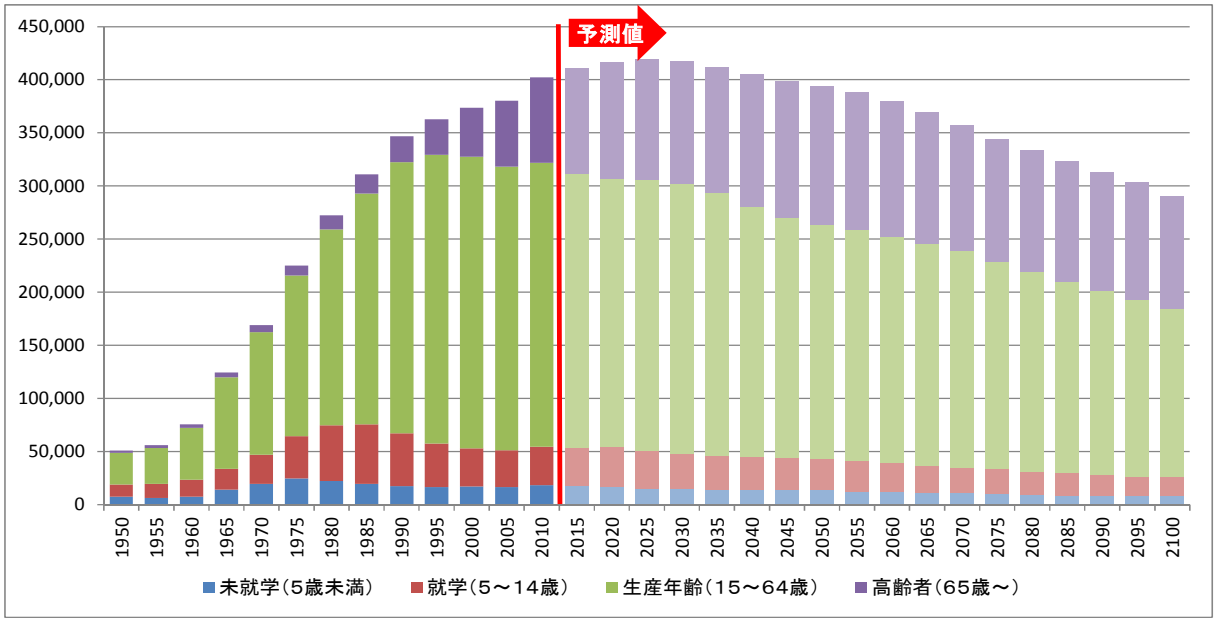
※将来負担比率：自治体財政健全化法に基づく財政の健全度を測る指標の一つ。市債や債務負担行為，職員の退職金など，将来負担すべき負債が，1 年間の収入に対してどの程度あるのかを表す。市町村の場合，350%を超えると早期健全化団体に転落し，国に健全化計画を報告しなければならない。

2-2 人口の推移・将来予測

・本市の総人口は戦後一貫して増加傾向にあり，特に 1960 年から 1990 年の 30 年間で約 27 万人増加し，急激に市街化が進展しましたが，平成以降は一桁台の増加率にとどまっています。

・今後もしばらくは増加の傾向が続くと見通されますが，2025 年の 419,060 人をピークに減少に転じると予測されています。少子高齢化の傾向も一層強まり，2010 年と 2050 年を比較すると 0～14 歳の年少人口が 54,835 人から 43,510 人に減少(△11,325 人，△20.7%)するのに対し，65 歳以上の老年人口は 80,510 人から 130,538 人に増加(50,028 人，62.1%)することが見込まれています。また，一世帯あたりの人員数は概ね減少傾向にあり，一般世帯数は 2030 年の 178,353 世帯をピークに減少に転じると予測されています。

・中長期的には，こうした人口や世帯数の増減見込みを想定した行政サービスや公共施設等の整備のあり方を検討する必要があります。



出典：柏市将来人口推計

図 2-6　総人口の推移・予測

表 2-1　将来推計人口，将来一般世帯数，一世帯あたり人員数，家族類型別将来世帯数

	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050
人口(人)	404,012	411,277	417,050	419,060	417,583	412,262	405,238	398,784	393,975
一般世帯数(世帯)	162,108	173,141	176,237	178,017	178,353	176,873	174,304	171,704	169,761
一世帯あたり人員数(人)	2.49	2.38	2.37	2.35	2.34	2.33	2.32	2.32	2.32
単独世帯数	47,624	57,112	58,657	60,214	61,218	61,094	59,953	58,707	58,143
	29.4%	33.0%	33.3%	33.8%	34.3%	34.5%	34.4%	34.2%	34.3%
夫婦のみの世帯数	33,781	36,330	37,176	37,403	37,480	37,725	38,266	38,543	38,146
	20.8%	21.0%	21.1%	21.0%	21.0%	21.3%	22.0%	22.4%	22.5%
その他の世帯数	80,703	79,699	80,403	80,400	79,654	78,053	76,085	74,455	73,471
	49.8%	46.0%	45.6%	45.2%	44.7%	44.1%	43.7%	43.4%	43.3%

出典：柏市将来人口推計

2-3 財政状況の推移

2-3-1　一般会計等（歳入）決算額の推移

・平成 26 年度決算の歳入総額は約 1,206 億円です。このうち，市税など自主財源は約 766 億円（63.5%），国・県支出金や市債などの依存財源は約 440 億円（36.5%）となっています。
・平成 17 年度決算と比較すると，歳入総額が 24.8%（約 239 億円）増加しているのに対して，自主財源は 18.9%（約 122 億円）の増加にとどまっており，歳入総額に占める自主財源の割合は 66.6%から 63.5%に 3.1 ポイント減少しています。
・自主財源を中心とした歳入確保と歳出抑制の取組により，健全で安定的な行財政運営を持続する必要があります。

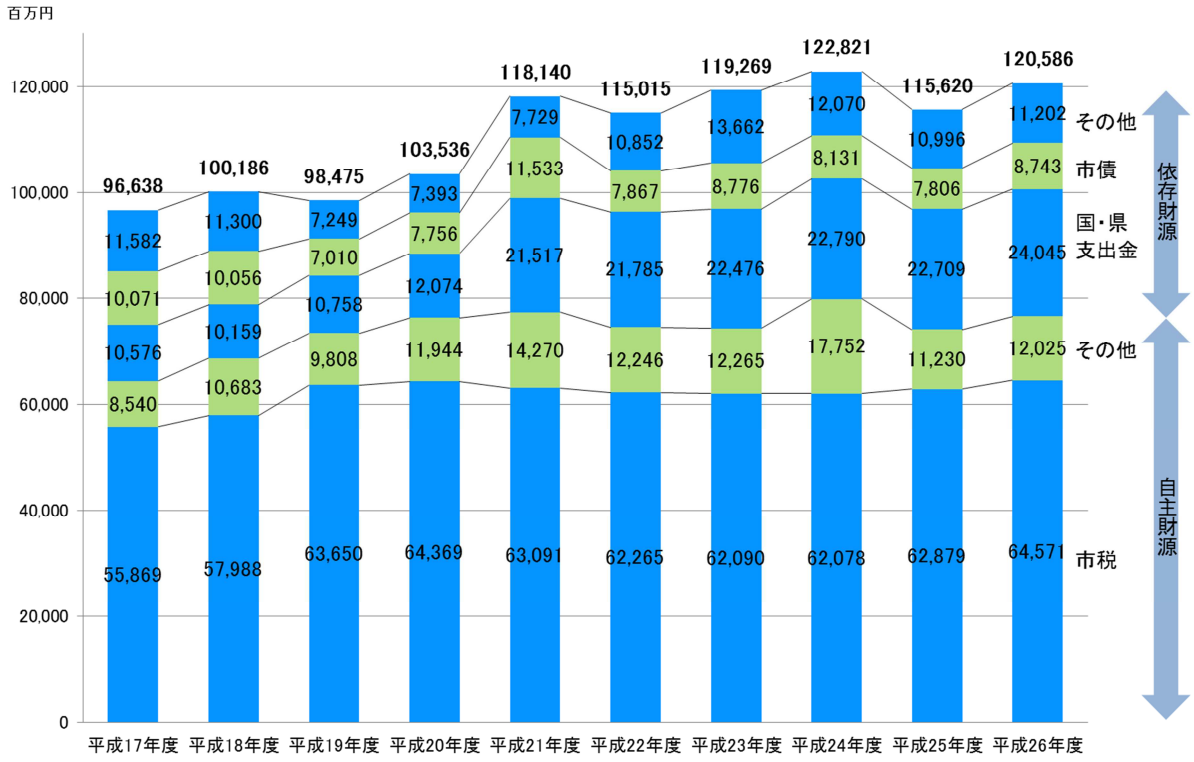


図 2-7　一般会計等（歳入）決算額の推移

2-3-2　一般会計等（歳出）決算額の推移

・平成 26 年度決算の歳出総額は約 1,151 億円です。このうち，人件費，扶助費，公債費などの義務的経費は約 631 億円（構成比 54.8%），投資的経費は約 114 億円（構成比 9.9%），物件費，繰出金などその他の経費が約 405 億円（構成比 35.3%）となっています。

・平成 17 年度決算と比較すると，歳出総額が約 224 億円（24.1%）増加しているのに対して，義務的経費は約 140 億円（28.4%）増加しており，歳出総額に占める義務的経費の割合は 53.0%から 54.8%に 1.8 ポイント増加しています。

・今後も高齢化率の上昇などに伴い，扶助費（社会保障制度の一環として，児童・高齢者・障害者・生活困窮者に対して行う支援に要する経費）は増えていくことが想定され，その他の経費に充当できる財源は一層減少するものと考えられます。

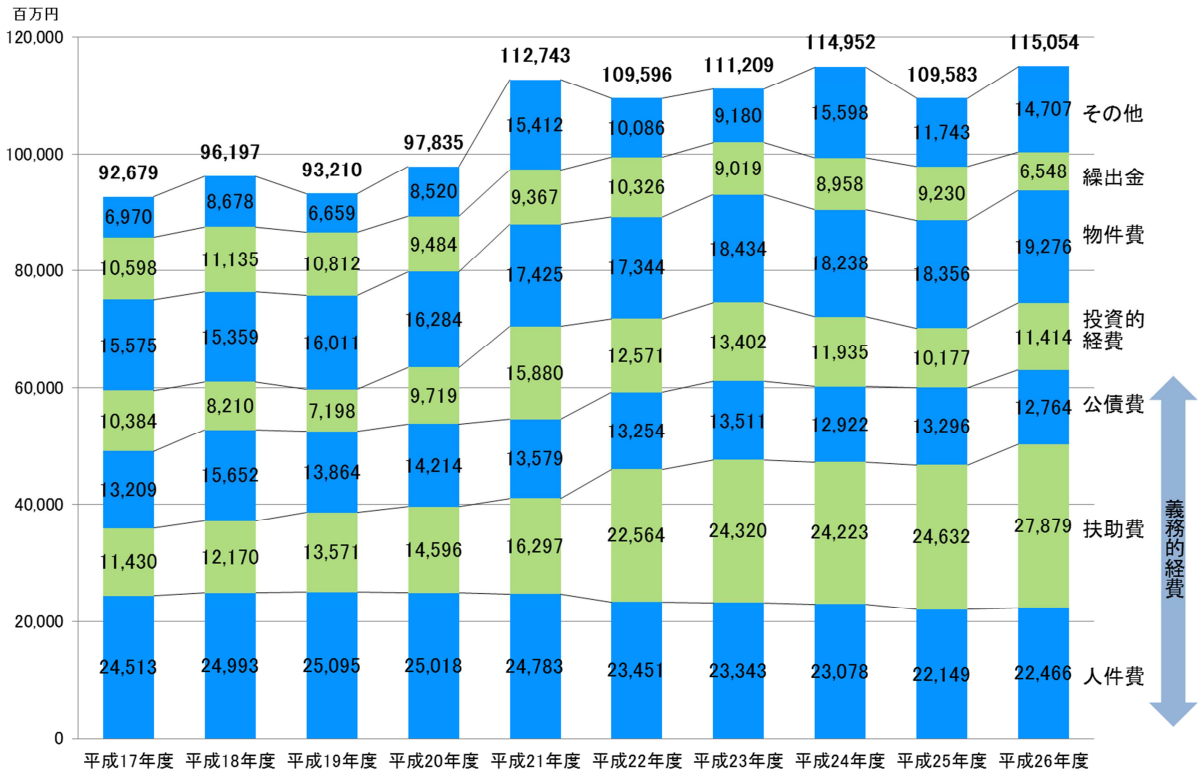


図 2-8　一般会計等（歳出）決算額の推移

（参考）用語の解説

用　語	解　　説
扶助費	社会保障制度の一環として，児童，高齢者，障害者，生活困窮者に対して行う支援に要する経費のことを指します。
公債費	地方自治体が借り入れた地方債の元利償還費と一時借入金の利息の合計です。人件費，扶助費とともに義務的経費の一つとなっています。
投資的経費	道路，学校，公園の建設や用地取得など社会資本形成に資する経費です。本市では，普通建設事業費，災害復旧事業費から構成されます。歳出に占める投資的経費の割合は，財政構造の弾力性と密接に関係します。
義務的経費	地方自治体の経費のうち，支出が義務的で任意では削減できない経費をいいます。歳出のうち特に人件費，公債費，扶助費が狭義の義務的経費とされます。歳出に占める義務的経費の割合が小さいほど財政の弾力性があり，比率が高くなると財政の硬直度は高まるとされています。

2-3-3　普通建設事業費の内訳（公共施設・インフラそれぞれの実績）

・普通建設事業費は，道路，学校，公園の建設や用地取得など社会資本形成に資する経費（投資的経費）から災害復旧事業費を除いたものです。過去10年間の年平均支出額は約107億円で，その内訳は建物等の施設整備費が約34億円，道路等のインフラの施設整備費が約16億円，その他（用地取得費，備品購入費，負担金および補助金等）が約57億円となっています。

・財源内訳をみると，事業費に占める一般財源は過去10年間平均で約35億円（33.1%）となっています。また，特定財源のうち国庫支出金は約20億円（18.8%），市債は約43億円（40.4%）となっています。

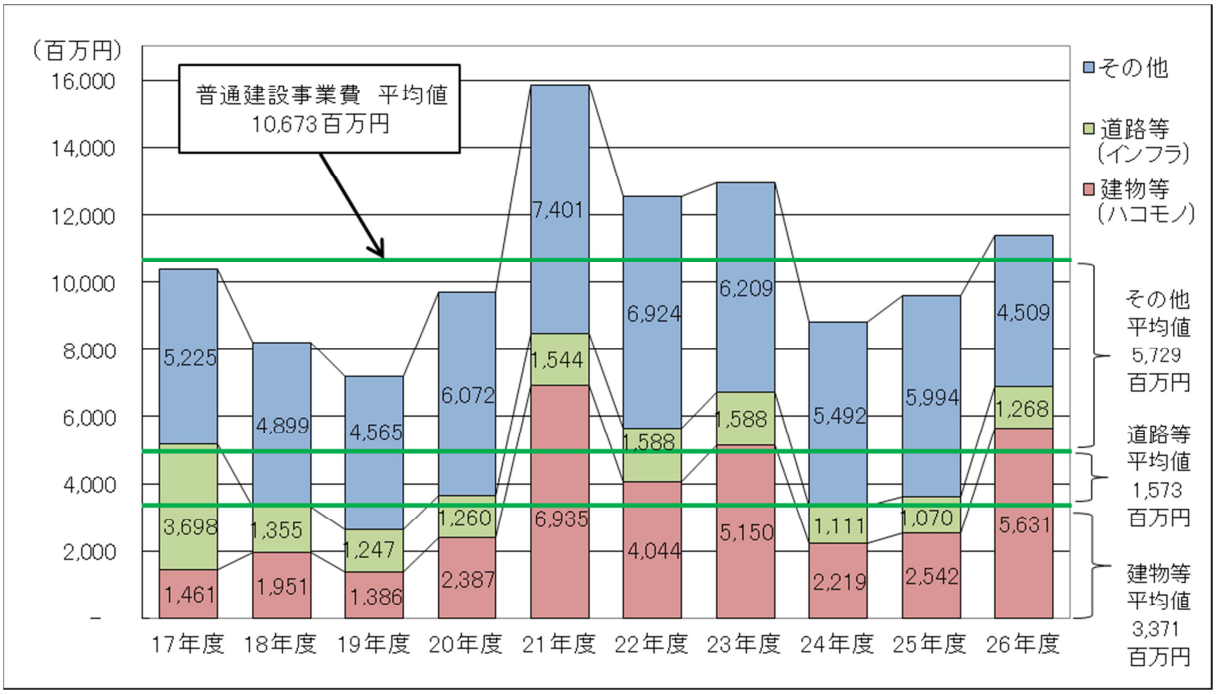


図 2-9　普通建設事業費の推移

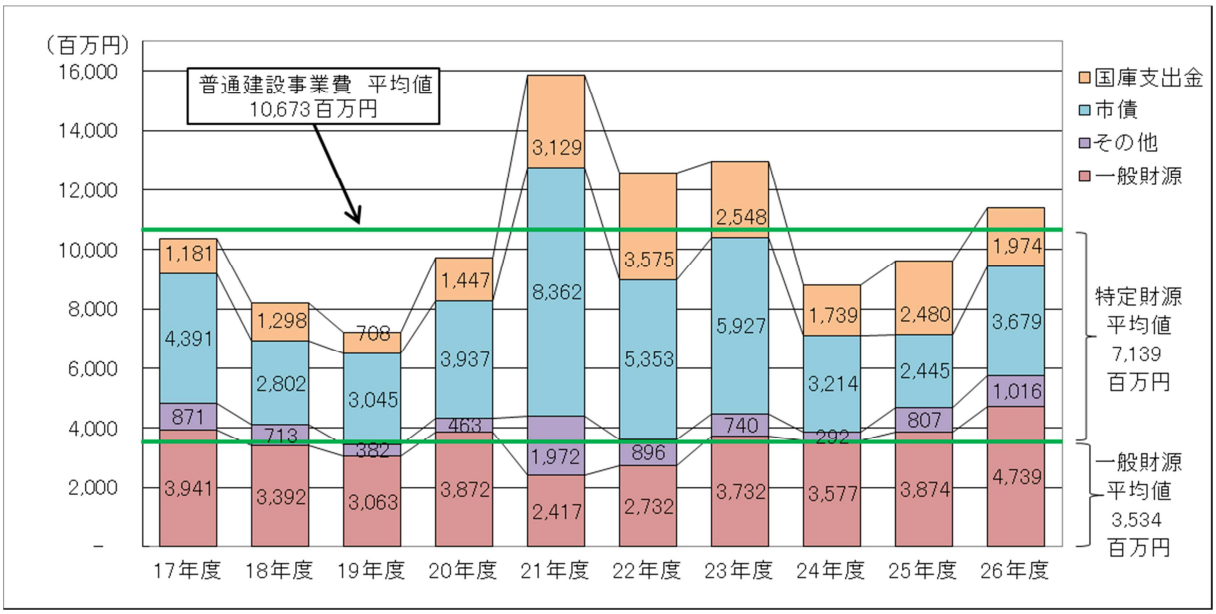


図 2-10　普通建設事業費の財源内訳の推移

2-3-4　財政見通し

・歳入の根幹となる市税収入は，今後もしばらくは人口増が続くことから，横ばいまたは微増の傾向が続くものと見込んでいます。
・歳出では，少子高齢化を背景に，社会保障費の増加傾向が続くことが見込まれます。職員の新陳代謝や公債費の抑制による減少分を上回る勢いで社会保障費が増加するため，義務的経費の総額は増加すると見込まれます。
・市税収入が大きく増えないことを考慮すると，公共施設やインフラの維持管理や更新等の財源が不足することも予測されます。

表 2-2　今後 5 年間の財政見通し

(歳入)　(単位　億円)

区　分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	5ヵ年計
市税	639	641	647	642	648	654	3,232
交付金等	108	116	121	127	124	122	610
国･県支出金	256	252	261	269	275	281	1,338
市債	114	110	107	109	119	106	551
その他	105	93	94	93	93	94	467
計	1,222	1,212	1,230	1,240	1,259	1,257	6,198

(歳出)

区　分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	5ヵ年計
人件費	234	220	215	207	201	203	1,046
公債費	126	120	113	108	117	108	566
社会保障費	386	421	448	465	477	489	2,300
物件費	214	220	222	223	229	227	1,121
補助費等	61	55	55	55	55	55	275
投資的経費	147	130	130	130	130	130	650
その他	54	53	55	53	52	53	266
計	1,222	1,219	1,238	1,241	1,261	1,265	6,224

収支差引　（A）		**△ 7**	**△ 8**	**△ 1**	**△ 2**	**△ 8**	**△ 26**

2-4 本白書の対象施設

・本市の保有する施設は平成 26 年度末で 549 施設，延床面積は 800,961 ㎡です。
・本白書では，原則として，1 つの施設で建物の延床面積の合計が 50 ㎡以上の施設を抽出し，442 施設，延床面積で 788,067 ㎡を対象施設としました。
・なお，1 つの施設で建物の延床面積の合計が 50 ㎡未満の施設であっても，こどもルームや行政サービスセンター等，市民生活への影響が大きい施設は対象としています。

表 2-3　本白書の対象施設

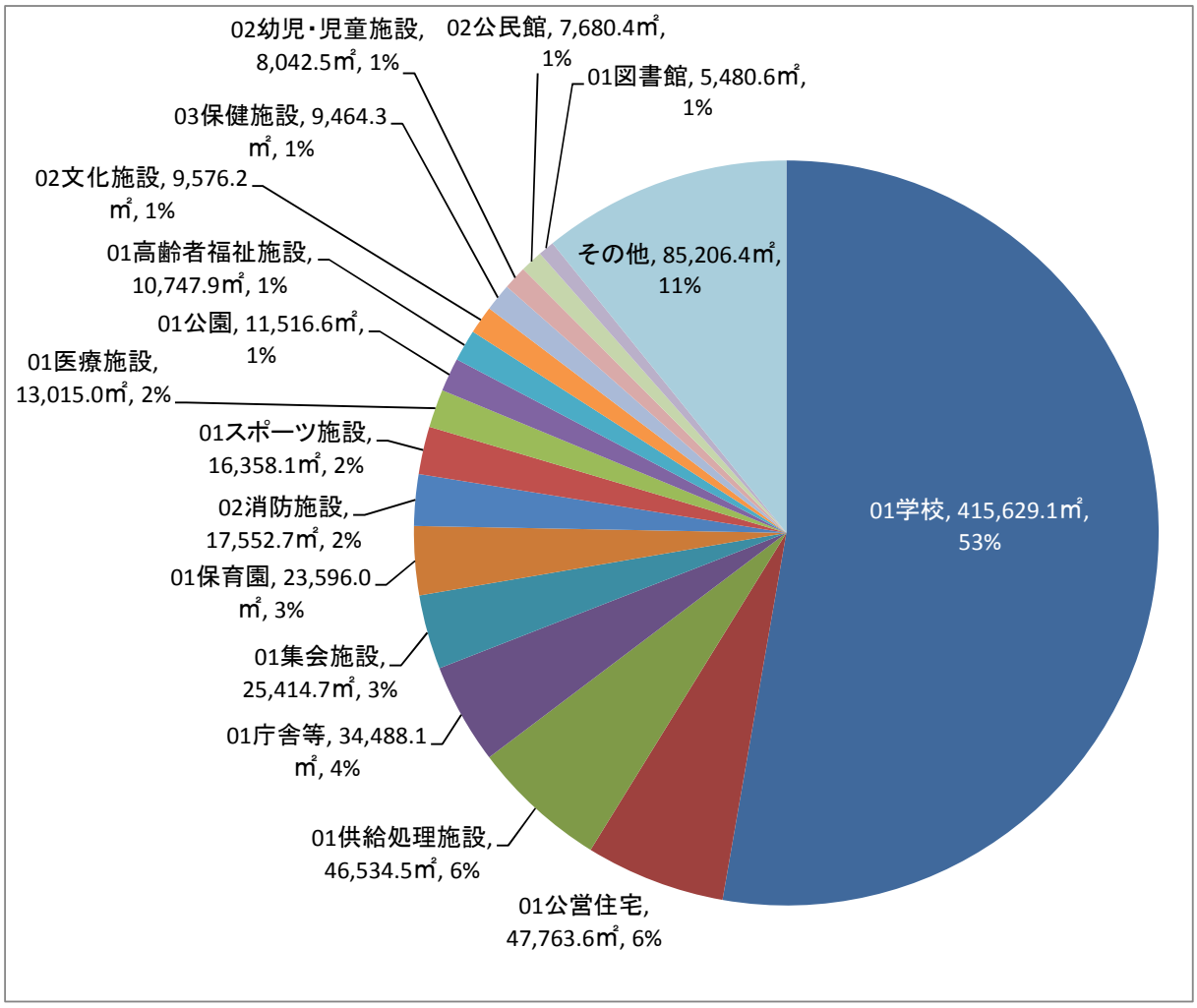
大分類	中分類	施設数（中分類）	延床面積(㎡)（中分類）
01 市民文化系施設	01 集会施設	37	25,415
	02 文化施設	2	9,576
	03 交流施設	1	64
	小計	40	35,055
02 社会教育系施設	01 図書館	18	5,481
	02 公民館	2	7,680
	03 博物館等	3	918
	04 その他社会教育施設	1	106
	小計	24	14,186
03 スポーツ・レクリエーション施設	01 スポーツ施設	17	16,358
	02 レクリエーション施設	1	1,331
	小計	18	17,689
04 産業系施設	01 産業系施設	2	4,836
05 学校教育系施設	01 学校	63	415,629
	02 その他教育施設	2	1,384
	小計	65	417,013
06 子育て支援施設	01 保育園	23	23,596
	02 幼児・児童施設	60	8,042
	03 幼児・児童福祉施設	3	2,200
	小計	86	33,839
07 保健・福祉施設	01 高齢者福祉施設	10	10,748
	02 障害福祉施設	8	4,526
	03 保健施設	5	9,464
	04 福祉施設	4	1,505
	小計	27	26,242
08 医療施設	01 医療施設	2	13,015
09 行政系施設	01 庁舎等	30	34,488
	02 消防施設	54	17,553
	03 環境施設	4	3,676
	04 防災施設	19	1,061
	小計	107	56,778
10 公営住宅	01 公営住宅	10	47,764
11 公園	01 公園	15	11,517
12 供給処理施設	01 供給処理施設	4	46,535
13 その他	01 その他	33	57,717
未利用施設		6	3,259
廃止予定施設		3	2,624
合計		442	788,067

2-5　公共施設の保有状況

・学校教育施設の割合が大きくなっています。

最も保有面積の多いのは学校教育施設で，小中学校，高等学校が約42万㎡と約半分を占めています。次に公営住宅等が多く約4万8千㎡となっています。

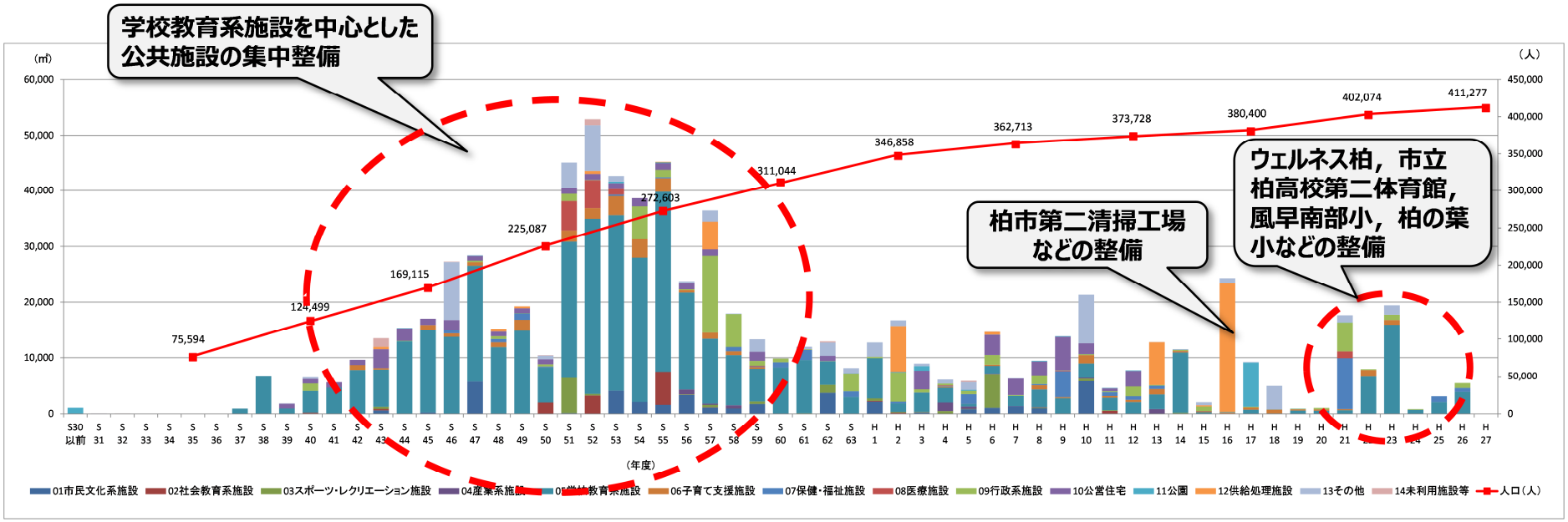
また，築年別に建物の整備状況を確認すると，人口の増加とともに多くの施設は昭和 50 年代に整備されています。これらの施設は建築後 30 年以上が経過しており，老朽化による大規模修繕や建替えが想定され，多くのコストを必要とすることが予想されます。



※原則として，1 つの施設で建物の延床面積の合計が 50 ㎡以上の施設を対象に集計。

出典：柏市公有財産台帳を基に集計

図 2-11　施設用途別にみた公共施設保有状況



※築年数不明の建物は除く。

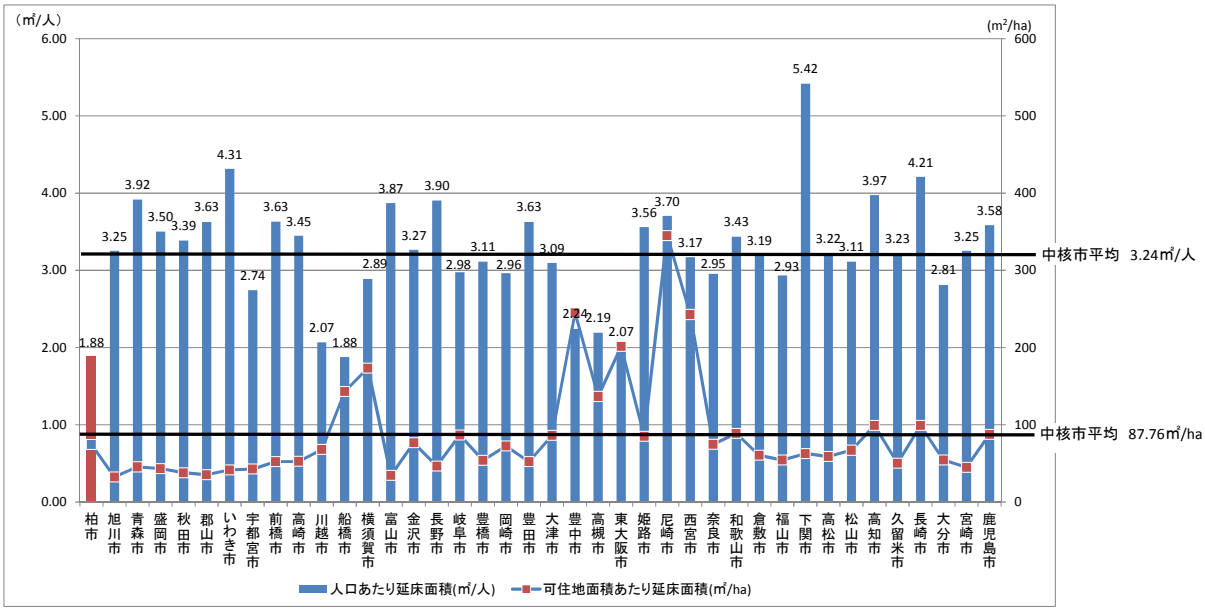
出典：(延床面積) 柏市建物一覧，(人口) 国勢調査人口確定値を基に作成

図 2-12　柏市の人口と公共施設の築年別整備状況

2-6 人口と公共施設面積の比較

2-6-1　総延床面積と人口による比較

・柏市における人口１人あたりの延床面積は 1.88 ㎡/人となっており，他の中核市と比較しても小さい値となっております。
・千葉県内の近隣市と比べると，人口１人あたりの延床面積は，ほぼ同じ水準となっています。
・可住地面積あたりの延床面積については，全国の中核市の平均値や県内近隣市と比べて低い水準となっています。
・これらより，人口１人あたりや可住地面積あたり延床面積でみると，他市と比べて，柏市の公共施設保有量はそれほど過剰ではないと想定されます。



※可住地面積：総面積から林野面積と主要湖沼面積を差し引いた面積。なお，林野面積とは，森林面積と森林以外の草生地面積の合計。主要湖沼は，面積１ｋ㎡以上の湖沼で，かつ，人造湖以外の湖沼であり，埋立て，干拓等によって陸地化した区域を差し引いたもの。（総務省「統計でみる市区町村のすがた」を基に整理）

出典：公共施設状況調（平成25年3月31日現在），住民基本台帳（平成25年3月31日現在），統計でみる市区町村のすがた2014　（平成24年10月1日現在）

図 2-13　中核市における人口１人あたり延床面積の比較（平成 24 年度）

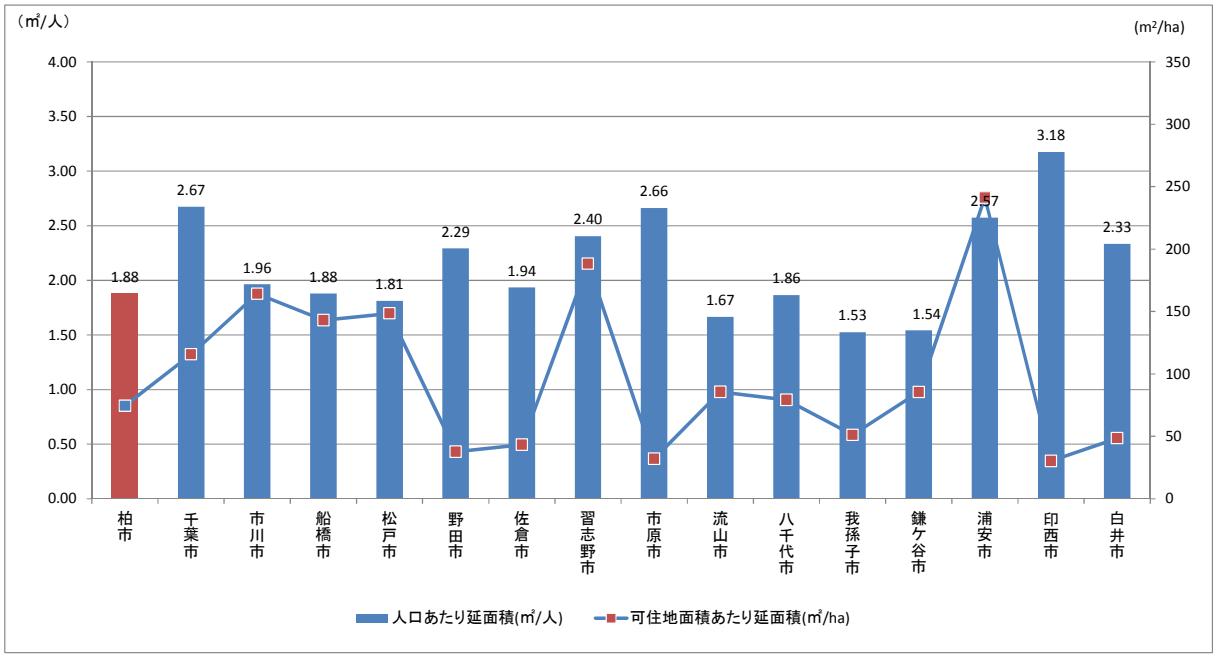


図 2-14　県内他市における人口１人あたり延床面積の比較

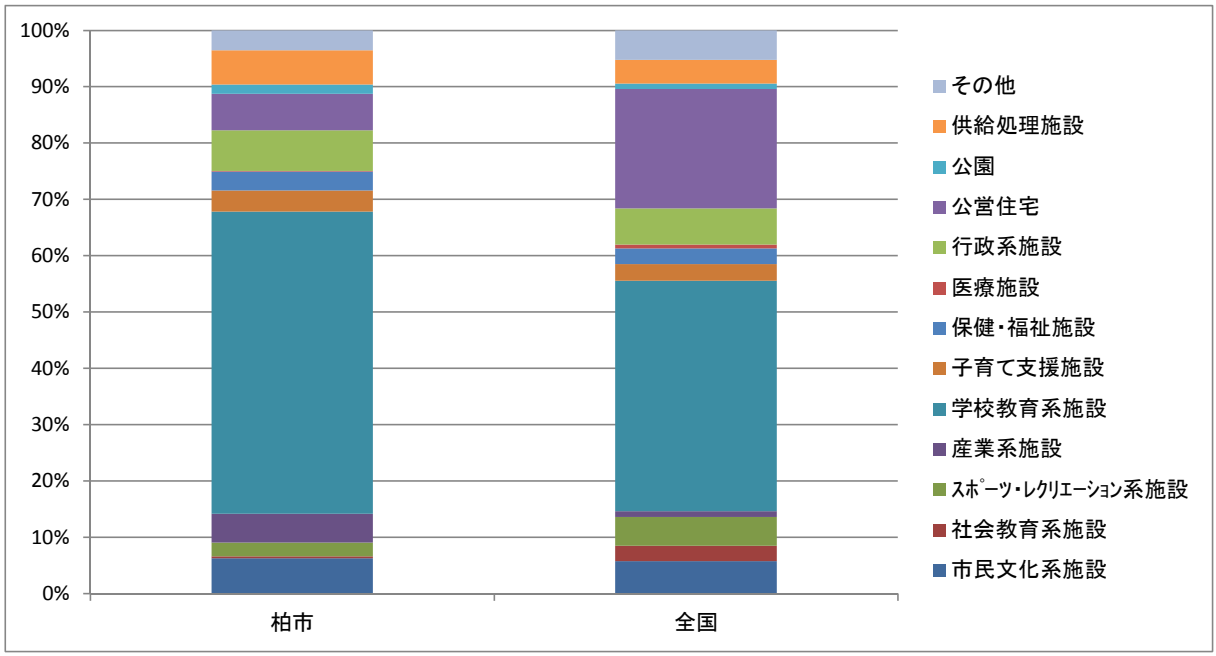


図 2-15　柏市と全国のその他の中核市との用途別施設分類の比較

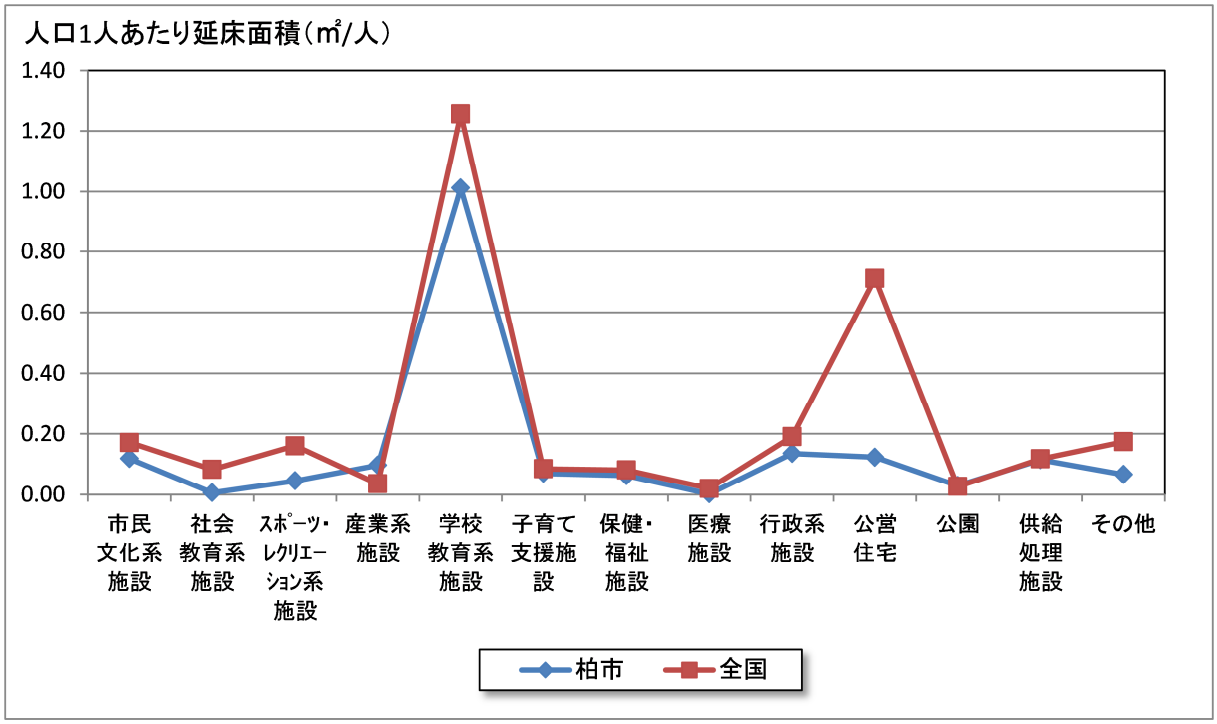


図 2-16　柏市と全国のその他の中核市との用途別施設分類における
人口１人あたり延床面積の比較

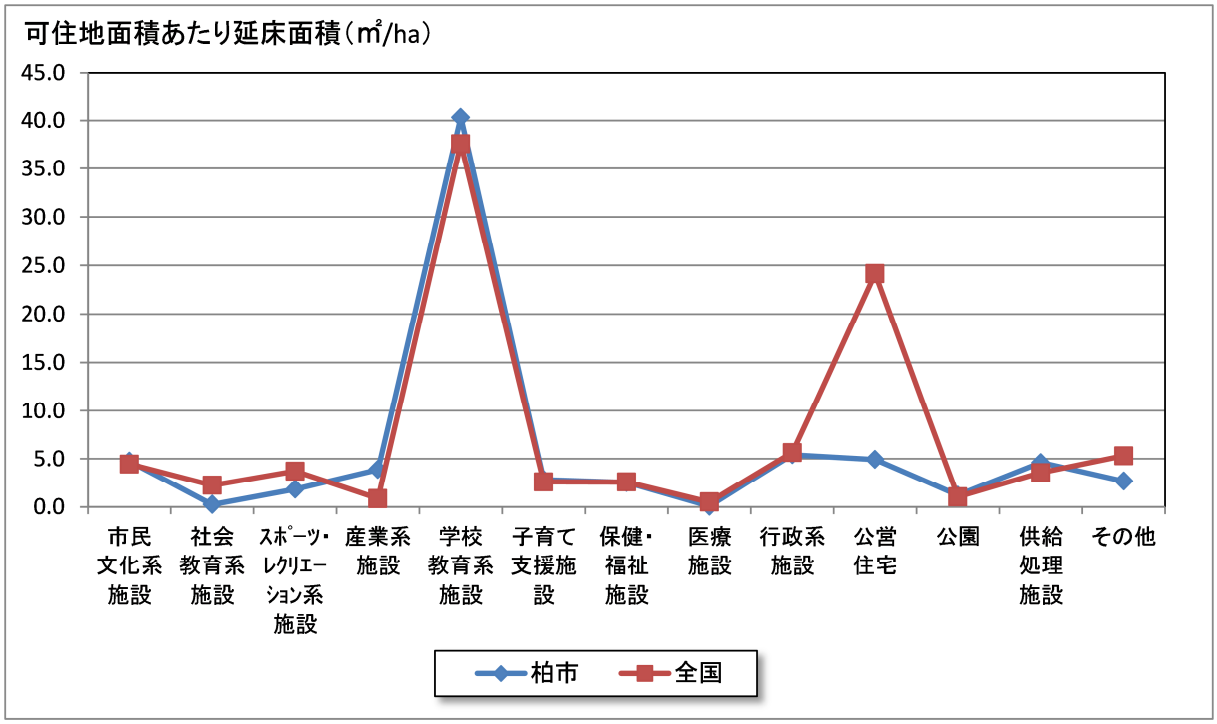


図 2-17　柏市と全国のその他の中核都市との用途別施設分類における
可住地面積あたり延床面積の比較

2-7 将来のライフサイクルコスト

・下記の前提条件に基づいて，公共施設のライフサイクルコストを推計すると，今後 40 年間で総額 3,169 億円となり，年平均 79.2 億円が必要となります。
・特に，平成 29 年度(2017 年度)と平成 59 年度(2047 年度)で更新投資のピークが発生すると予測されます。
・一方で，2-3-3 にあるように，過去 10 年間の普通建設事業費の年平均支出額は約 107 億円となっていますが，そのうち一般財源は約 35 億円にとどまっています。
・今後も厳しい財政状況が見込まれる中，公共施設等の大規模改修や更新に振り向けられる財源には限りがあることから，財政負担の縮減および平準化に向けた取組みが不可欠な状況にあります。

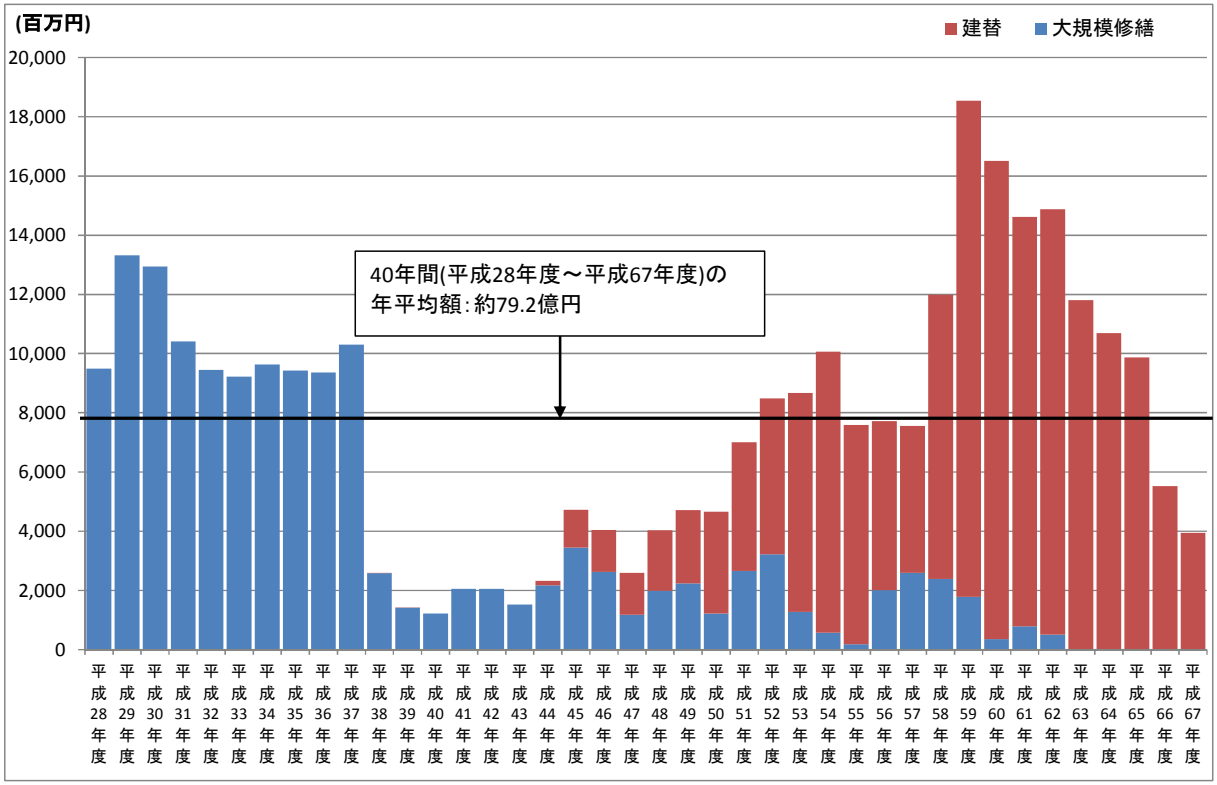


図 2-18　公共施設のライフサイクルコスト

表 2-4　ライフサイクルコスト推計の前提条件

項目	更新周期	改修・建替期間
大規模改修	35 年	2 年間
建替	70 年	
バックログ（現時点で大規模改修を積み残している分）の支出時期	今後 10 年間で分割して発生すると想定	―
試算対象外施設	・ 1 施設の延床面積が 50 ㎡以下，インフラは除く（1 施設の延床面積が 50 ㎡以下であっても，市民利用施設は含む）※公園のみ，市民利用施設であっても，1 施設の延床面積が 50 ㎡以下はインフラ扱い ・ 未利用施設等は除く ・ 経過年数が不明な施設は除く	

表 2-5　大規模改修／建替単価

	大規模改修	建替え
学校教育系施設	17 万円/㎡	33 万円/㎡
その他	20 万円/㎡	36 万円/㎡
供給処理施設	20 万円/㎡	36 万円/㎡
公園	17 万円/㎡	33 万円/㎡
市営住宅	17 万円/㎡	28 万円/㎡
行政系施設	25 万円/㎡	40 万円/㎡
医療施設	25 万円/㎡	40 万円/㎡
保健・福祉施設	20 万円/㎡	36 万円/㎡
子育て支援施設	17 万円/㎡	33 万円/㎡
産業系施設	25 万円/㎡	40 万円/㎡
ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系施設	20 万円/㎡	36 万円/㎡
社会教育系施設	25 万円/㎡	40 万円/㎡
市民文化系施設	25 万円/㎡	40 万円/㎡

出典：総務省「公共施設等更新費用試算ソフト」より

2-8 柏市の概要から見た課題

・ここまでで明らかとなった柏市の概要から考察すると，本市が抱える課題は次の 3 点に整理することができます。
・これらの課題を解決するための取組みを，本市の公共施設等の総合的かつ計画的な管理を通じて実施していく必要があります。

［課題１：少子高齢化に伴う人口減少社会への対応］

▸今後もしばらくは人口の増加が続くと見通されますが，2025 年の 419,060 人をピークに減少に転じると予測され，その後は本格的な少子高齢化に伴う人口減少社会を迎えることが見込まれます。

▸人口 1 人あたりの延床面積をみると，公共施設を過剰に保有している状況ではありませんが，将来の人口減少社会の到来を見据えた施設総量の適正な管理が求められます。

▸今後少子高齢化が一層進むことにより，各地域における人口構成や分布が変化する中では，公共施設やサービスに対するニーズの変化も見込まれることから，中長期的な視点から公共施設サービスのあり方や施設配置のあり方を検討する必要があります。

［課題 2：厳しい財政状況］

▸歳入の根幹となる市税収入は，今後もしばらくは横ばいまたは微増の傾向が続くものと見込んでいますが，中長期的には人口減少社会の到来が予測されており，大幅な伸びは期待できません。

▸一方，少子高齢化を背景に，社会保障費の増加傾向が続くことが見込まれ，公共施設等の維持管理や更新等の財源が不足することも予測されます。

▸厳しい財政状況（見通し）の中，持続可能な施設運営を行うためにも，効率的な配置や運用により財源を確保していく必要があります。

［課題 3：公共施設の老朽化］

▸人口が急増した昭和 40 年代から 50 年代にかけて整備された公共施設が今後一斉に更新時期を迎えることになるため，老朽化等への適切かつ計画的な対応が求められています。

▸更新等に伴う財政負担が一時期に集中することが予測されるため，財政負担の抑制と平準化に向けた取組みが不可欠となっています。

2-9 インフラ概況

2-9-1 上水道

(1) 保有状況

本市の上水道施設は，主に管路と水源地で構成されています。管路の延長は全体で1,375.8km あり，その 95.9%は口径が 400mm 未満の細い管で構成されています。上水道管路の中で重要な役割を果たす，基幹管路の延長は 55.9km と全体の 4.1%ですが，耐震化率は33.7%となっており，管路全体の 21.1%を上回っています(表 2-6)。

市が保有する管路の 8 割以上が，鋳鉄管で構成されています（図 2-19)。

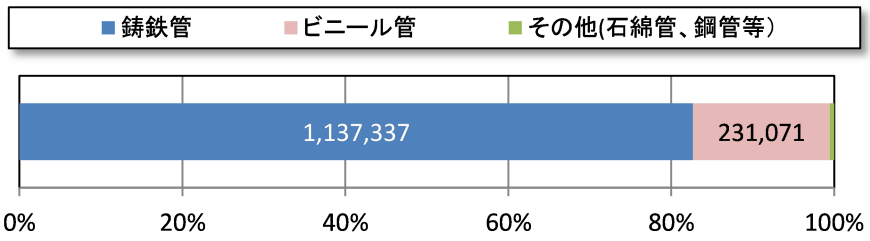
また，市が保有する管路の内，40 年以上を経過した管路は全体の 3.0%ですが(図 2-20)，今後は老朽化した管路の割合が拡大すると想定されます。

表 2-6　管種別管路延長

管種			管路総延長(km)	構成比	耐震化済管路延長(km)	構成比	耐震化率	
配水管	口径 400mm 未満		1,319.9	95.9%	272.0	93.5%	20.6%	
	口径 400mm 以上	基幹管路	30.3	2.2%	12.1	4.2%	39.9%	33.7%
導水管		基幹管路	15.9	1.2%	4.7	1.6%	29.6%	33.7%
送水管		基幹管路	9.7	0.7%	2.0	0.7%	20.6%	33.7%
基幹管路合計			55.9	4.1%	18.8	6.5%	33.7%	
合計			1,375.8	100.0%	290.8	100%	21.1%	

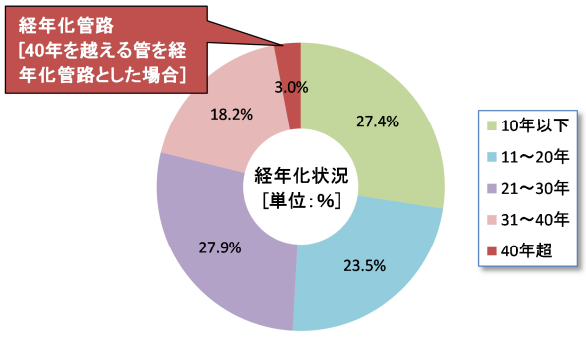
（注）配水管＝浄水を水源地から各家庭の給水装置まで送る管。
導水管＝原水を井戸から水源地に送る管。
送水管＝浄水を水源地から他の水源地に送る管。

出典）「平成 26 年度水道事業年報」を基に作成



出典）柏市「平成 26 年度水道事業年報」を基に作成

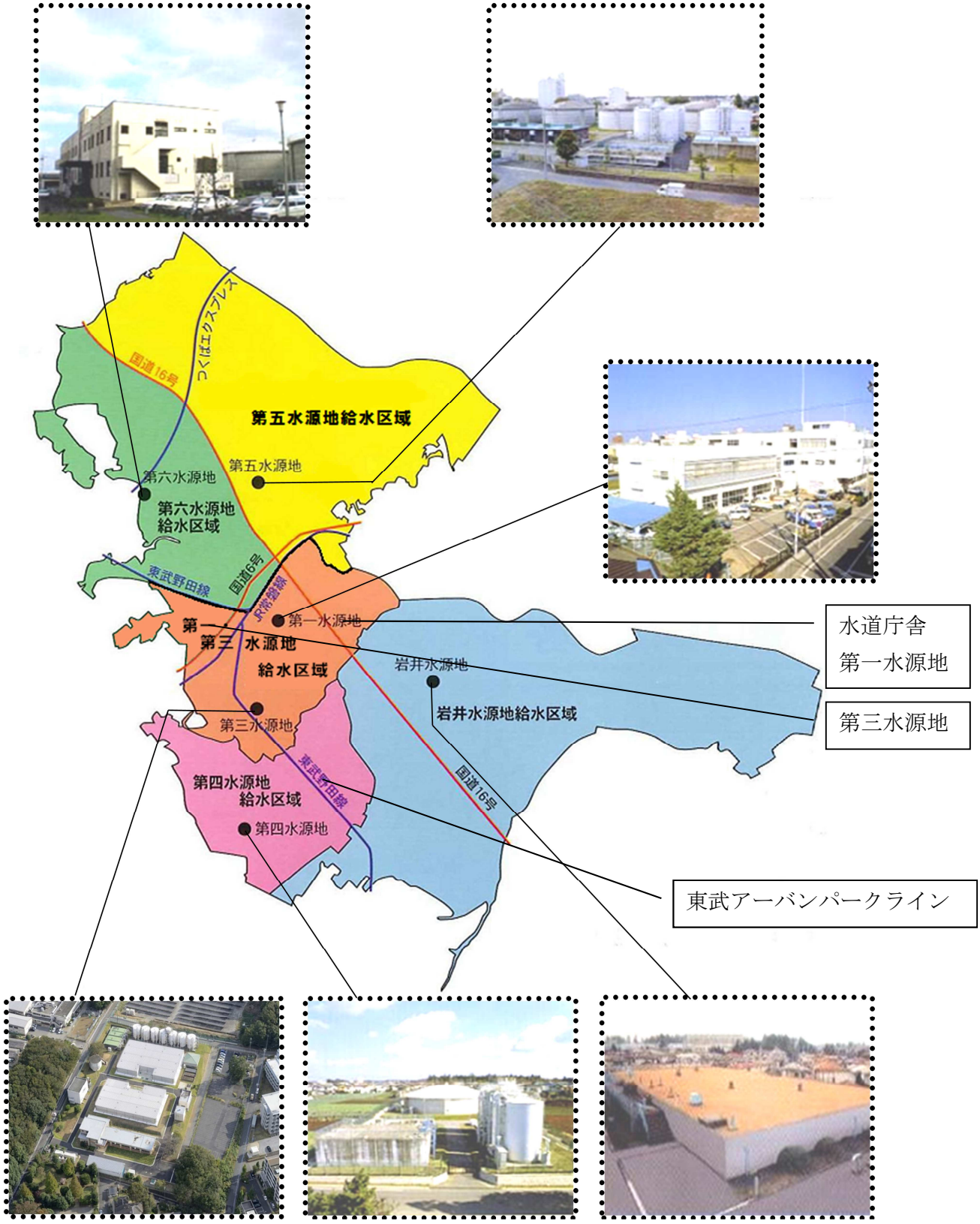
図 2-19　管種別管路延長構成比



出典）「柏市水道事業ビジョン【概要版】」（平成 27 年 12 月）

図 2-20　管路の経過年数別延長の割合

また，本市は 6 か所の水源地を有しています。そのうちの 4 か所は昭和 30 年，40 年代に設置されたものです(図 2-21，表 2-7)。



出典)「平成 26 年度水道事業年報」

図 2-21　各水源地の給水区域

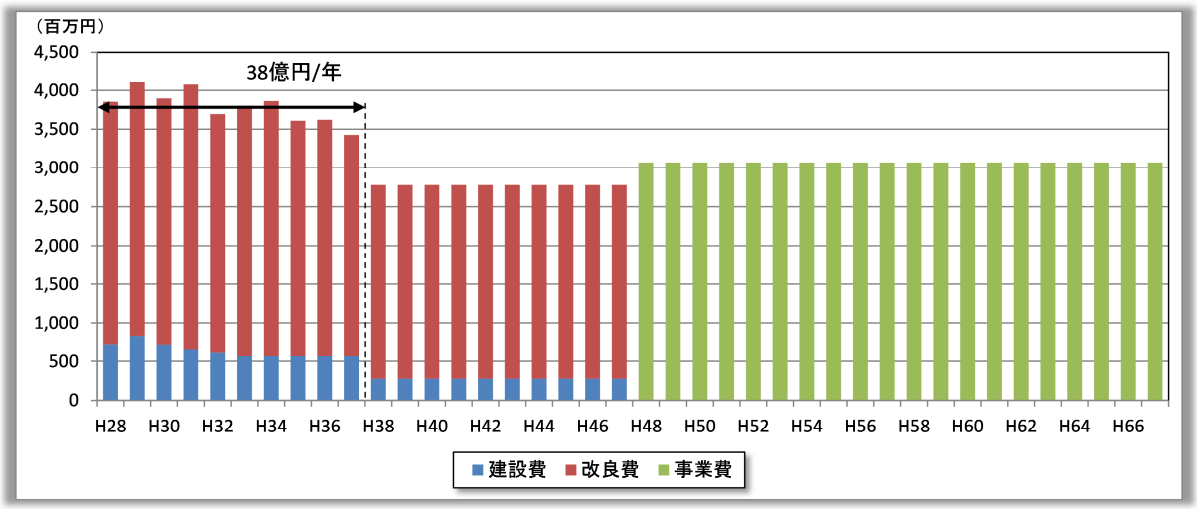
表 2-7　水源地概要

水源地名	敷地面積	給水能力	供用開始年月	水源
第一水源地 (H27.3から休止中)	4,651㎡	13,000㎥/日	S30.6	地下水と送水（第三水源地から）
第三水源地	20,194㎡	25,700㎥/日	S40.8	地下水と受水（北千葉企業団）
第四水源地	14,110㎡	24,500㎥/日	S46.6	地下水と受水（北千葉企業団）
第五水源地	13,754㎡	25,500㎥/日	S49.8	地下水と受水（北千葉企業団）
第六水源地	10,908㎡	33,500㎥/日	S63.11	受水(北千葉企業団）と送水 （第五水源地から）
岩井水源地	12,807㎡	12,700㎥/日	S53.4	受水(北千葉企業団）

出典）「平成 26 年度水道事業年報」

(2) 更新投資推計

柏市水道事業ビジョンの財政計画において，平成 28 年度から平成 37 年度の 10 年間で，建設費および改良費のために平均 38 億円が必要となると見込まれています(図 2-22)。



出典)水道事業のアセットマネジメント検討結果を基に作成

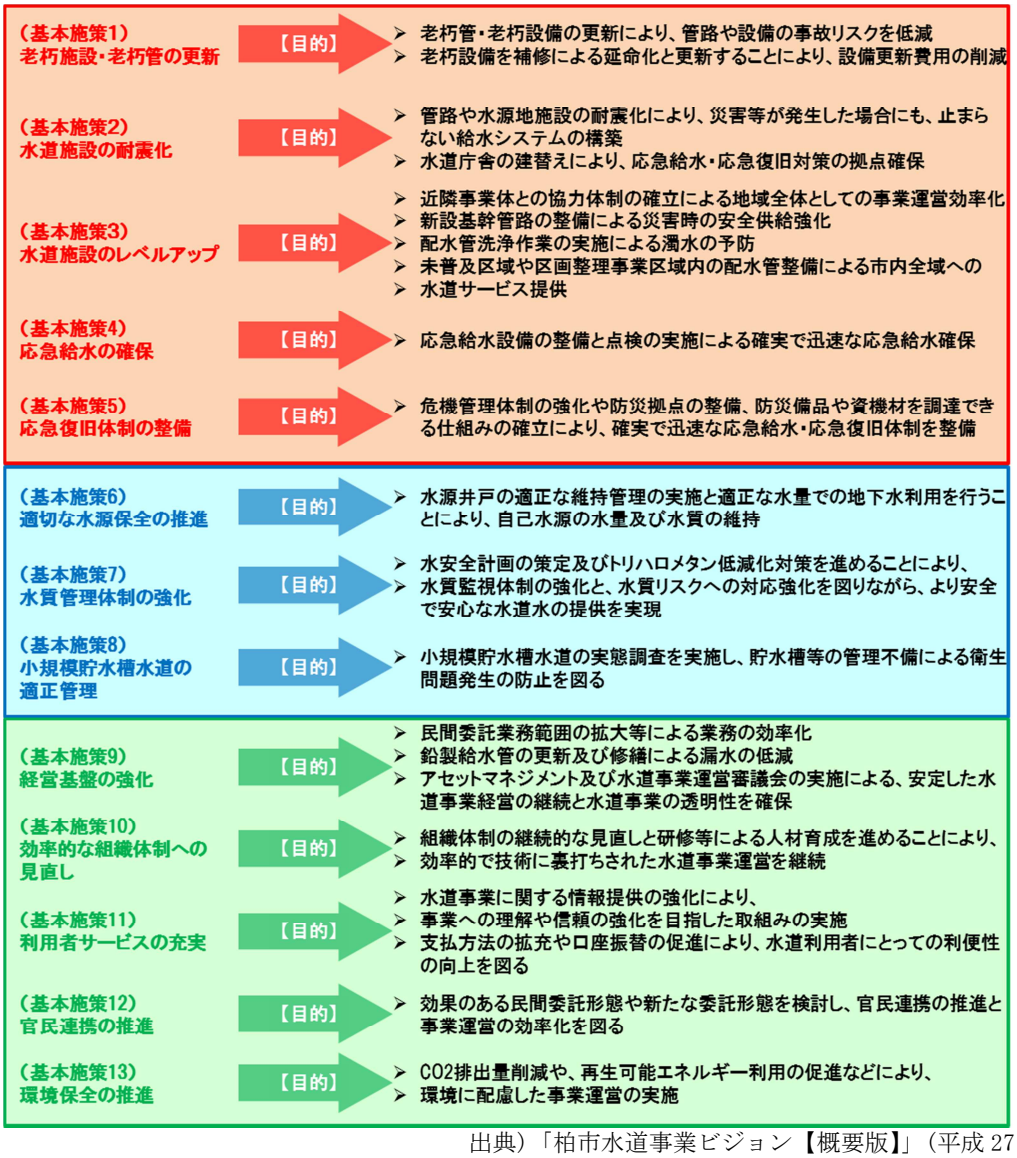
図 2-22　資本的支出の見込

(3) 現状課題，取り組み方針等

本市の水道事業ビジョン（平成 27 年 12 月）では，水道施設の老朽化，東日本大震災や利根川水系水質事故等の被災リスクの顕在化，将来的な人口減少等，より厳しくなっていく事業環境を踏まえ，今後の水道事業に係る新たな対応方針を定めるために，平成 27 年 12 月に柏市水道事業ビジョンを策定しました。

水道事業ビジョンでは，基本理念『生命(いのち)の水を未来につなぐ柏の水道』を理想像として目指し，理想像実現のための三つの目標『災害に負けないたくましい水道・いつでも安全で信頼される水道・いつまでも市民とともにある水道』の達成に向け，１３の基本施策を定めています。老朽施設・老朽管に関しては，施設の更新を進め，事故リスクの軽減を図るとともに，補修による延命化や適切な更新で設備更新費用の削減を図る方針です。

また，施設の耐震化や水道庁舎の建て替えを進め，災害時の給水体制の確保を進める方針を定めています(図 2-23)。



出典)「柏市水道事業ビジョン【概要版】」（平成 27 年 12 月）

図 2-23　水道事業に係る基本施策

2-9-2 雨水排水施設

(1) 保有状況

本市では，地域排水や公共下水道の整備前に暫定的に整備した管路や，治水施設として，調整池，学校貯留施設，雨水ポンプ，樋管を保有しています（表 2-8，表 2-9)。また，2級河川に準じた準用河川として，上大津川と諏訪下川を管理しています。

表 2-8　雨水排水施設の保有状況

	保有量	備考
管路	総延長409km マンホール：13,981個	（土水路，小規模開渠，約40km を除く）
調整池	126箇所	（うち下水道維持管理課分１箇所を含む） 市施工5箇所，開発による帰属121箇所
学校貯留施設	7箇所	
雨水ポンプ	27箇所，49基	
樋管	3箇所	

出典）雨水排水対策室資料

表 2-9　樋管一覧

	塩辛樋管	城の越樋管	宮本樋管
位置	利根川右岸	利根運河左岸	利根運河左岸
流域面積	77.4ha	188.1ha	42.1ha
完成年月日	平成11年5月31日	昭和41年頃	昭和35年頃

(2) 現状課題および更新投資の考え方，取り組み方針等

本市が管理する雨水排水施設の大部分は，公共下水道を整備する前の暫定施設として利用されているものであり，将来にわたり永久的に利用する可能性の低い施設です。暫定施設に対して更新投資を行うことは，費用対効果の面からみて望ましくないため，原則的に事後保全の考え方に基づき施設管理を行っています。

施設管理計画については，過年度より業務を進めてきた現況調査（測量作業）の成果により，管理する雨水排水施設の実態を把握できた段階であり，具体的な計画は現時点で未策定となっています。今後の課題として，防災上の重要度や，公共下水道整備の進捗状況等を総合的に判断することで，個別施設管理計画を策定し，更新対象とする施設・更新単価を決定していく方針です。

2-9-3 下水道

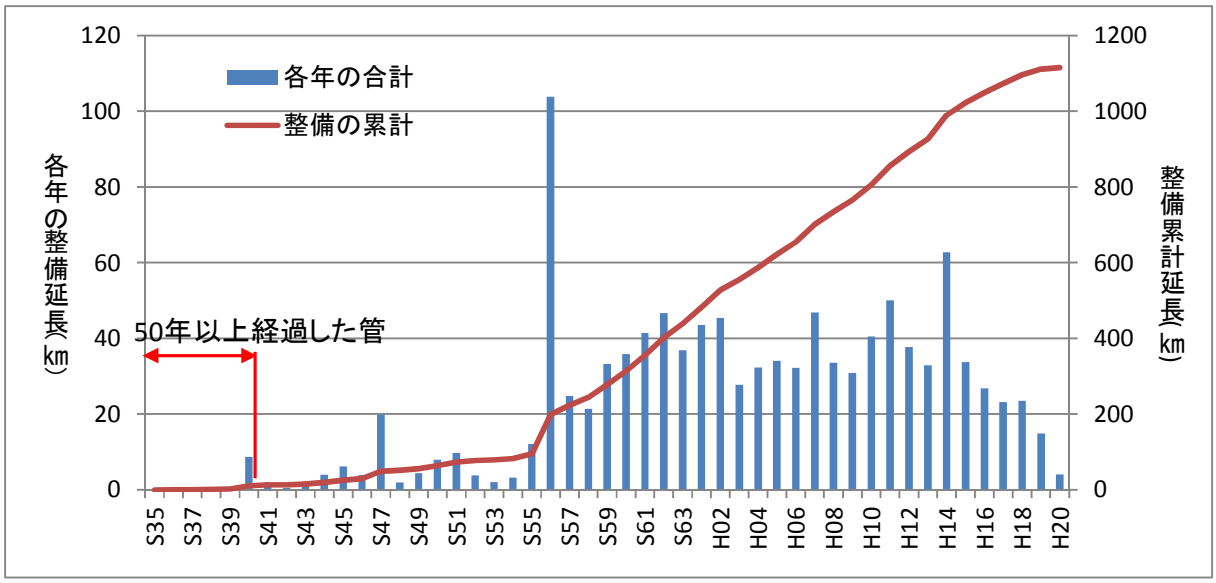
(1) 保有状況

本市の公共下水道管路延長は，平成 26 年度末で約 1,236.2km です（表 2-10）。現在は，50 年を経過した下水道管路延長は約 2.3km ですが，今後，50 年を超えて老朽化した管路が急増すると想定されます(図 2-24)

表 2-10　下水道整備延長

平成 27 年 3 月 31 日現在

	汚水			雨水幹線	合計
	手賀沼処理区	江戸川左岸処理区	計	全処理区計	
着手時期	S47.3	S63.3	-	-	-
供用開始時期	S56.4	H3.1	-	-	-
整備延長(km)	1,172.4	63.8	1,236.2	54.9	1,291.1



出典)「柏市下水道中長期経営計画（案)」

図 2-24　整備年別管路延長

本市の下水道施設は，篠籠田貯留場および柏ビレジ排水ポンプ場の 2 か所があります。それぞれ，昭和 40 年代，50 年代に整備されています(表 2-11)。

なお，柏ビレジ排水ポンプ場は，平成 26 年度から 6 か年の更新事業を推進中です。

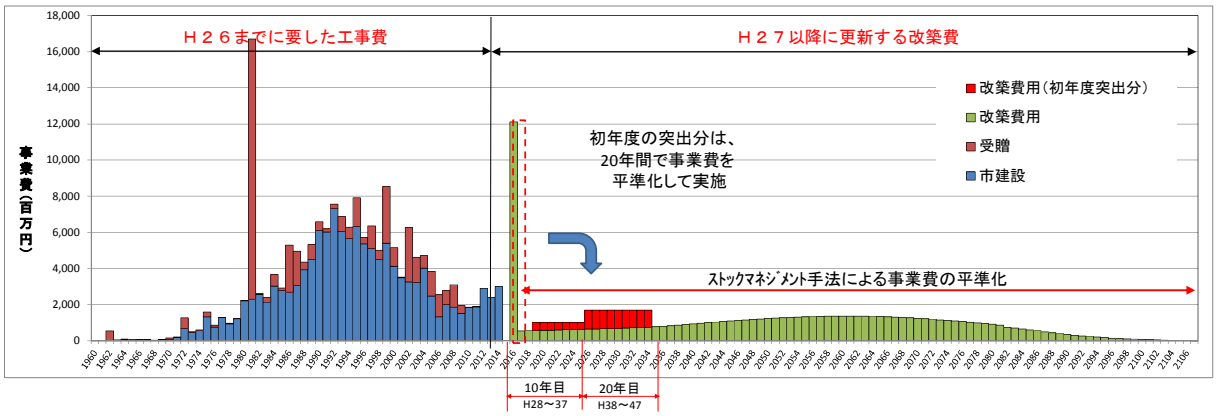
表 2-11　下水道施設の概要

施設名	敷地面積	建設年次
篠籠田貯留場	9,237 ㎡	S46.3～S48.9
柏ビレジ排水ポンプ場（雨水の調整池）	1,516.94 ㎡	S54：事業者施工 S55：柏市帰属

出典)「柏市下水道事業年報」（平成 27 年版)

(2) 更新投資推計

本市の下水道事業中長期経営計画（平成 28 年 2 月）における更新投資推計では，ストックマネジメント手法に基づく改築費として，今後 10 年の事業費として約 70 億円を予定しています（図 2-25）。



出典）「柏市下水道中長期経営計画（案）」

図 2-25　改築事業費の平準化イメージ

(3) 現状課題，取り組み方針等

本市の下水道事業中長期経営計画（平成 28 年 2 月）では，下水道サービスの安定的な提供に向けて，快適，安心，環境，持続の４つの観点から，各種の取組みを実施する方針を示しています。

持続の観点としては，健全経営のもとで施設の機能を維持し，安定した事業経営の持続性を確保していきます。具体的には，ストックマネジメント手法を導入して，老朽化が進む下水道施設を適切かつ効率的に管理し，下水道の機能を維持していきます。また，市民との協働の下，経費の削減と適切な料金設定，企業会計による経営状況の監視により，下水道経営の健全化を図り，安定した事業経営の持続性を確保します。

2-9-4 道路・橋梁

(1) 保有状況

本市が管理している道路は，平成 26 年 4 月 1 日現在で，延長（実延長）1,381.761km，面積約 808ha に及びます。また，道路率（市域面積に対する道路面積の割合）は 7.05%，舗装率（面積）は 85.6%となっています。市が管理する道路の多くが幹線道路（1 級・2 級）以外の道路であり，全体に占める割合は延長（実延長）で 82.2%，面積で 69.1%を占めています（表 2-12)。

また，本市では，176 橋の橋梁を管理しています。このうち，橋長 15m 未満の短い橋梁が 101 橋で，57.4%を占めています（表 2-13，図 2-26)。構造別内訳をみると，PC 橋やボックスカルバート等のコンクリート構造の橋梁が全体の 67.6%を占めています（図 2-27)。橋梁の架設年の分布を見ると，昭和 40 年代，50 年代に作られた橋梁が多くなっています（図 2-28)。現在，供用 50 年を超える橋梁はありませんが，今後老朽化した橋梁が増えていくことが予想されます（図 2-29)。

本市では，車道や橋梁のほか，カーブミラーや道路標識，道路照明といった道路付属物も管理しています（表 2-14)。

表 2-12　市道基礎データ（平成 26 年 4 月 1 日現在）

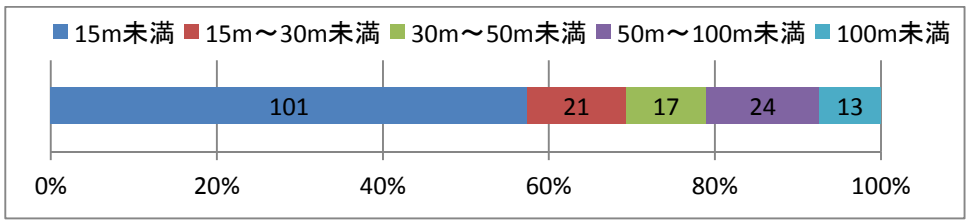
	1級	2級	その他	自歩道	合計
路線数	164	148	7,591	88	7,991
実延長(km)	154.675	91.347	1,129.896	5.843	1,381.761
構成比	11.2%	6.6%	81.8%	0.4%	100.0%
面積(㎡)	1,751,490	745,659	5,552,494	34,392	8,084,035
構成比	21.7%	9.2%	68.7%	0.4%	100.0%

出典)「柏市道路維持修繕管理方針」(H27.9)

表 2-13　橋梁の内訳

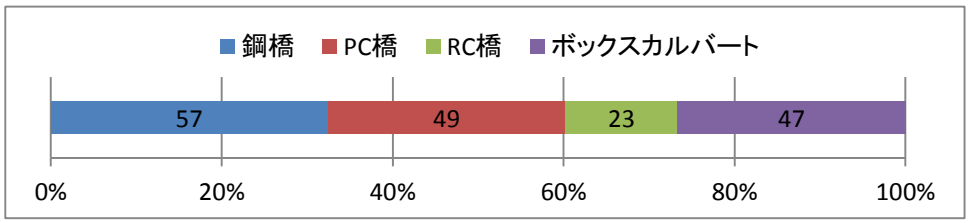
橋梁区分	橋梁形式	橋長		小計	交差条件					バス路線
		15m 未満	15m 以上		鉄道	高速	国道	道路	河川	
道路橋	鋼橋	3	15	18	4			1	13	1
	PC 橋	5	20	25	2	3			19	3
	RC 橋	5	2	7	1	2		1	4	
	BOX カルバート	24		24					24	
	小計	37	37	74	7	5	0	2	60	4
人道橋 歩道橋	鋼橋	3	22	25	13		2	8	2	
	PC 橋		2	2					2	
	RC 橋		6	6	3	1		2		
	小計	3	30	33	16	1	2	10	4	0
土地 改良区	鋼橋	6	8	14					14	
	PC 橋	22		22					22	
	RC 橋	10		10					10	
	BOX カルバート	23		23					23	5
	小計	61	8	69	0	0	0	0	69	5
合計		101	75	176	23	6	2	12	133	9

出典）「柏市橋梁長寿命化修繕計画」（H25.3）



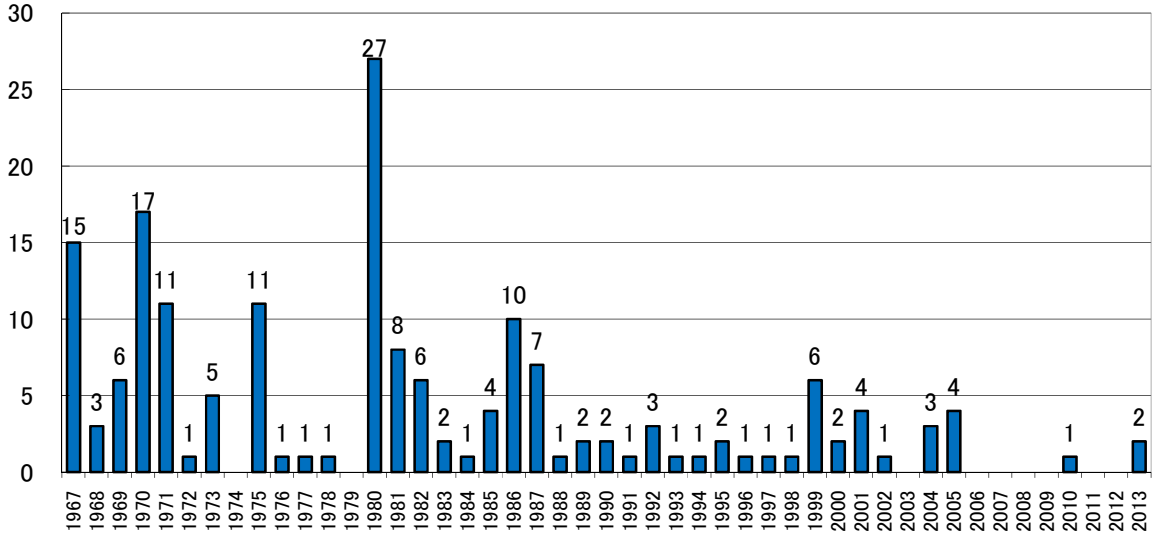
出典）「柏市橋梁長寿命化修繕計画」（H25.3）

図 2-26　橋梁（橋長別）の内訳



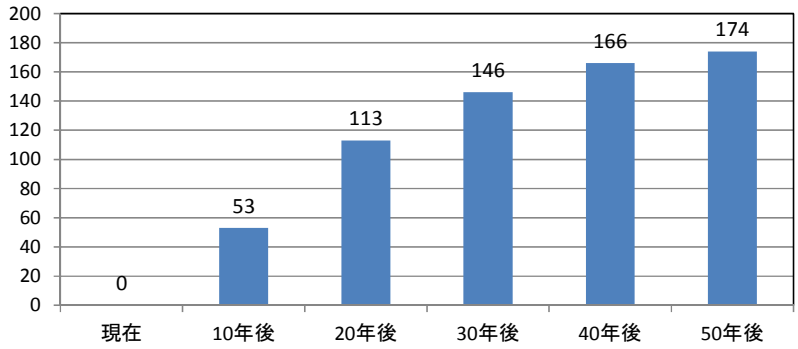
出典）「柏市橋梁長寿命化修繕計画」（H25.3）

図 2-27　橋梁（構造別）の内訳



出典）「柏市橋梁長寿命化修繕計画」（H25.3）

図 2-28　橋梁架設年の分布



出典）「柏市橋梁長寿命化修繕計画」（H25.3）

図 2-29　供用 50 年を超える橋梁数の推移

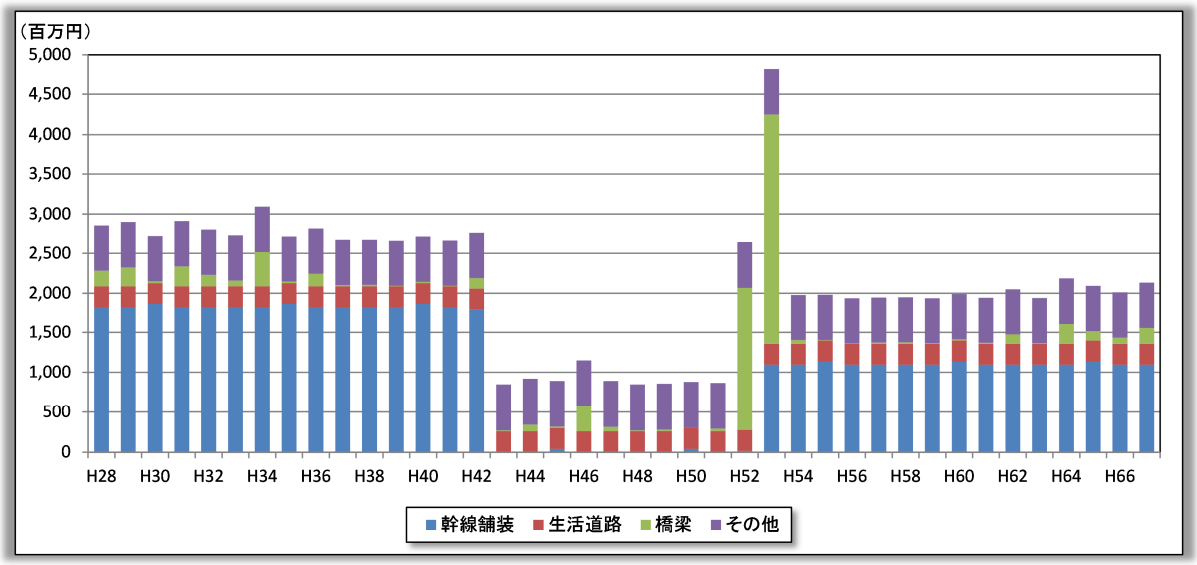
表 2-14　管理する道路付属物

	所持数(基)
カーブミラー	5,964
小型標識	2,891
大型標識	79
道路照明	4,600

出典）道路維持補修室資料

(2) 更新投資推計

平成 28 年度から平成 67 年度までの 40 年間において，年平均で，幹線道路の舗装に約 11 億円，生活道路の補修に 2.6 億円，橋梁の維持管理に 2.0 億円，排水施設や道路照明等のその他道路施設の維持管理に 5.8 億円が必要となると見込まれており，年平均で総額 21.4 億円となります（図 2-30）。



出典）「柏市道路維持修繕管理方針」（H27.9）を基に作成

図 2-30　道路舗装・橋梁等重要構造物および道路付属物等に係る維持管理費

(3) 現状課題，取り組み方針等

本市では，柏市道路維持修繕管理方針を定め，今後の道路，橋梁の維持修繕方針を定めています（表 2-15)。

重要度の高い車道や橋梁等については,劣化状況の適切な把握に基づく予防保全型の維持管理を推進することで,維持管理コストの低減を図る一方で,その他の道路施設についても,定期的に施設の健全度を把握し，計画的な維持管理を実施し，また，不要不急な道路付属施設等については，廃止等も含めて維持管理を行うなど，施設の重要度や施設特性を踏まえ，施設に応じた適切な維持管理を実施する方針です。

表 2-15　各施設の維持修繕方針の概要

施設名		方針
車道の舗装	幹線道路	幹線道路は 5 年に 1 度の路面性状調査を行います。調査結果から劣化状況の把握や予測を的確に行い，劣化速度が早いと考えられる区間については，舗装下の詳細調査を行い，舗装の構造的な劣化状況を把握して，適切な補修工法を選択します。
	生活道路	現在および将来における維持補修の必要性の判断について，市民サービスの公平性や工事の効率化等を図るため，主観性を排除し普遍的に評価を行う必要があります。そのため，舗装の損傷状況等の調査項目と採点基準を設定し，補修の必要性・優先順位・時期の判定を行うための基準を明確にします。
重要構造物	橋梁	本市では，1980 年代をピークに建設された橋梁が，今後橋梁の建設寿命といわれている建設後 50 年を経過する橋が年々増加し，従来のような事後保全型維持管理を実施した場合，維持管理の増大が懸念されます。 このため，橋梁の安全性・信頼性の確保と，維持管理費用の縮減および平準化等に向け，平成 24 年度に策定した「柏市橋梁長寿命化修繕計画」と平成 27 年度に実施した耐震調査とあわせた「柏市橋梁維持修繕計画」を策定します。
	道路擁壁・法面	道路擁壁・道路法面は道路の構成要素として重要構造物として位置づけられており，その老朽化は利用等の安全面にも影響があるとともに，更新を行う場合には，仮設道路の設置や用地取得など，社会的・経済的影響が大きいことから原則として，**予防保全型の維持管理**を行います。 このため，定期的な点検により劣化状況を把握し，健全度評価や劣化予測を行い補修箇所と補修時期を判断します。
歩道舗装･街路樹･緑樹帯その他	歩道舗装・街路樹	落葉や日陰・害虫の苦情から強剪定されたり，無計画な維持管理を行った結果，樹形を損ねる（＝景観を損ねる）ケースが多々発生しています。 また，根上がりや樹幹の肥大化による，縁石の押し出しや歩道舗装の破損についても問題となっており，**今後は計画的な管理方針**を定め，維持修繕を図っていく必要があります。
	緑樹帯その他	今後は，**アダプトプログラムの推進**を図るとともに，ライフサイクルコストを視野に入れつつ雑草の繁茂抑止措置等を推進し，サービスレベルを維持しながら費用低減を行います。
道路排水施設		舗装や橋梁より与える被害の影響が小さいこと，耐用年数の把握が困難なことから計画的な修繕が適さないと判断し，従来どおり**対症療法型管理**および地域からの大規模修繕要望を基本とします。
道路付属物	道路照明	今後は電球や柱を **10 年毎に調査**を行い，**詳細な健全度の把握と計画的な更新**を実施します。
	エスカレーター･エレベーター	ひとたび不具合が生じると高齢者や障害者の交通を阻害するだけでなく，人命にも係るため，基本的には**フルメンテナンスを継続**し，耐用年数を超えた消耗品を交換しています。今後も同様の方針で維持修繕を行います。
	大型標識	今後は **10 年毎に健全度を調査**し，**不要な標識の廃止を含めた，計画的な維持修繕**を行います。
	小型標識	今後は **10 年毎に健全度を調査**し，**不要な標識の廃止等を含めた，計画的な維持修繕**を行います。
	道路反射鏡（カーブミラー）	今後は **10 年毎に健全度を調査**し，**不要な反射鏡の廃止や小型化を含めた，計画的な維持修繕**を行います。

出典）「柏市道路維持修繕管理方針」（H27.9）

2-9-5 公園

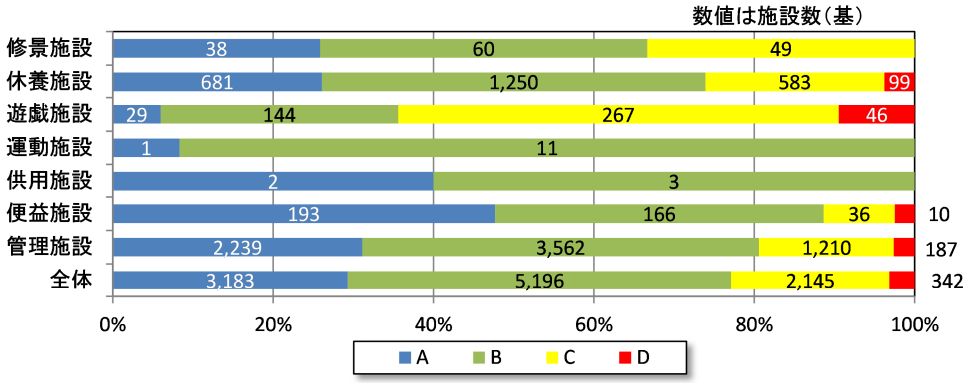
(1) 保有状況

本市は 660 か所の公園を管理しており，総面積は 185.69ha に及びます。そのうち，都市公園が 591 か所で，その中でも街区公園が 473 か所あり，全体の 71.7%を占めています。面積別にみると，街区公園が 42.36ha と全体の約 22.8%を占めているほか，総合公園が 2 か所で 34.28ha(18.5%)，緑地が 62 か所で 32.03ha(17.2%)，近隣公園が 15 か所で 31.39ha(16.9%)となっています（表 2-16)。

また，平成 24 年度に都市公園 510 箇所を対象に実施した公園内設置施設の健全度調査の結果をみると，健全とみなされるＡ，Ｂ判定が全体の約 8 割を占めており，何らかの補修が必要なＣ判定や早急に更新・利用禁止措置の必要なＤ判定は約 2 割となっています（図 2-31)。

表 2-16　公園一覧表（H27. 3.31 現在）

	名　　称	箇所数	面積（ha）
都市公園	街区公園	473	42.36
	近隣公園	15	31.39
	地区公園	3	12.74
	総合公園	2	34.28
	広域公園	0	－
	特殊公園	2	8.00
	緑地	62	32.03
	緑道	34	6.39
	計	591	167.19
その他	児童遊園	10	1.03
	子供の遊び場	31	4.20
	みどりの広場	9	3.03
	市民緑地	2	2.91
	南柏特別保全地区	3	1.77
	未公告	12	0.42
	その他	2	5.14
	計	69	18.50
合計		660	185.69

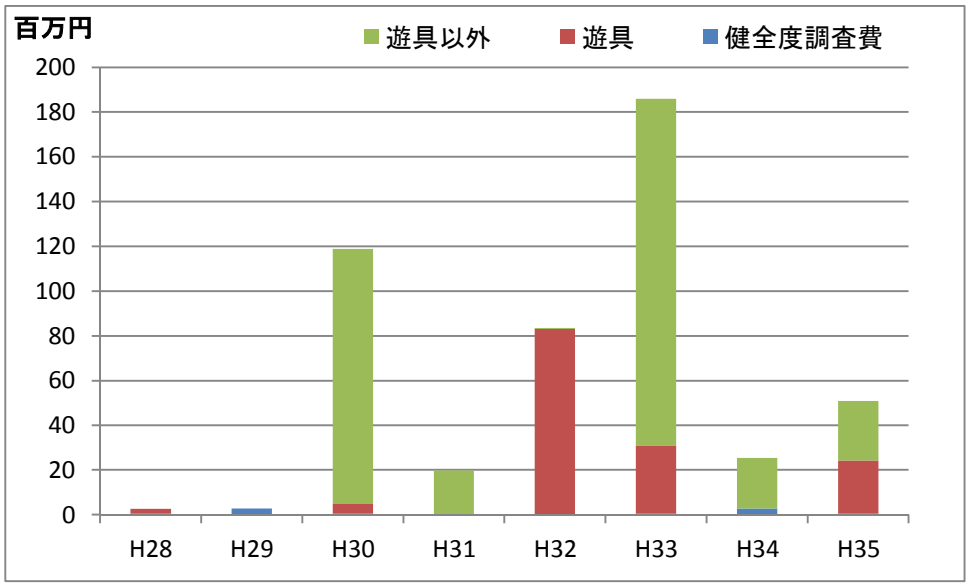


出典)「柏市公園施設長寿命化計画策定業務委託　業務報告書」(H26.3)

図 2-31　健全度判定結果

(2) 更新投資推計

柏市が管理する都市公園施設（修景施設，休養施設，運動施設，便所，遊戯施設）について，予防保全の観点から，適切な施設点検や維持補修等の取り組みを今後行った場合，平成28年度～平成35年度では，年平均で約6,000万円になると推計されています（図 2-32)。



出典)「柏市公園施設長寿命化計画策定業務委託　業務報告書」(H26.3)

図 2-32　公園施設の更新投資推計(更新・修繕費用のみ，平準化実施前)

(3) 現状課題，取り組み方針等

現在，維持保全（清掃・保守・修繕）と日常点検を随時実施しています。今後は，施設の劣化および損傷の早期発見に努めてまいります。

また，公園施設の異常が発見された場合は，使用を中止し事故等を予防します。さらに合わせて，健全度調査を実施し，修繕，もしくは更新を判定します。

その他にも，公園内の清掃等について，市による実施のほかにも，町会やＮＰＯ団体等によるアダプトプログラムの活用を推進する方針です。

第3章 施設用途ごとにみた現状

本章では，本市が保有する公共施設の現況を整理し，今後の整備の方向性を検討するための資料とします。基本構成は，次のとおりとします。

(1) 配置状況

施設の設置目的や配置状況を示し，どのような目的の施設がどこに配置されているか確認します。また，地域ごとの配置を確認するための資料としても活用します。

(2) 経過年数の把握

各施設の経過年数を把握します。施設内の建物ごとに経過年数が異なるため，延床面積による加重平均により施設としての経過年数を算出しています。

(3) 利用状況の把握

各施設の利用状況を把握します。施設用途によって利用状況が異なることから，それぞれの施設用途に応じた指標を設定しています。

(4) コスト状況の把握

施設ごとに，管理・運営等に係る費用を把握します。

表 3-1 の費目について，平成 24 年度から平成 26 年度までの 3 か年の決算額の平均値を記載しています。

また，延床面積あたりの支出について費目別にグラフ化し，相対比較を行います。

表 3-1 分析の費目

費　　目		内容 （表の合計金額は単位未満四捨五入のため合わない場合があります）
支出	施設に係るコスト	光熱水費，工事請負費，修繕費，土地・建物の賃借料，その他
	事業運営に係るコスト	事業運営に係る委託料，物件費，その他
	人に係るコスト	施設の管理運営に係る人件費（臨時職員賃金を含む）
	指定管理料	施設の管理運営に係る委託料（指定管理者制度を導入している施設のみ計上）
収　　入		使用料，負担金，運営費補助金，その他

(5) 施設現況のまとめ

公共施設の状況を，①品質（劣化状況），②供給（利用状況），③財務（コスト状況）の観点から分析します。この 3 点に着目する理由を下表のとおり整理しました。

この三つの視点は，いずれも公共施設を運営していく中で満たすべき条件です。他の施設と比較して，これらの状況が相対的に悪い状況にある施設は，状況を改善するための方策が必要です。

表 3-2　分析の視点

視　　点		分析の視点	
ハード	品質（劣化状況）	施設の機能や性能を維持しているか	
ソフト	供給（利用状況）	行政サービスを効率的に提供しているか	施設が十分に利用されているか
	財務（コスト状況）		施設の管理・運営経費は適切か

品質状況は，**経過年数**の視点から，供給状況は各施設の**利用度**の視点から，財務状況は各施設の**収支**の視点（市の負担額＝支出－収入）から，それぞれの指標の偏差値を算出します。偏差値が低い場合は，他の施設に比べて，その施設の状況がよくないこととなります。表 3-4 に，本分析で用いる指標を整理します。なお，ここで用いる収支については，**各施設の管理運営に係る支出および収入のみで比較するため，大規模改修工事費等投資的経費は対象外**としています。

また，本市では公共施設（建物）の耐震化は概ね完了していることから，ハードの品質を表す指標としては，経過年数のみとします。

表 3-3　主要な市有建築物の耐震化状況（平成 27 年 4 月 1 日現在）

総棟数	新耐震基準	旧耐震基準				耐震化率
		診断済			未診断	
		耐震性有	補強済	未補強		
567 棟	268 棟	119 棟	151 棟	21 棟	8 棟	94.89

※非木造で 2 階又は 200 平方メートル以上の建築物を対象としています。

品質に係る指標は施設のハード面での状況を示す指標，供給・財務に係る指標は施設のソフト面での状況を示す指標と捉えることができます。それぞれの指標を品質（ハード），供給・財務（ソフト）に分類し，それぞれの指標の偏差値の平均を図 3-1 のようにプロットすることで，各施設の状況を“可視化”します。

品質状況（ハード）を横軸に，供給・財務状況（ソフト）縦を軸に，偏差値 50 点を中心としたグラフに，各施設の値をプロットすると，そのプロット位置により，各施設の状況を図 3-1 のように解釈することが可能です。

なお，品質状況（ハード）の指標となる偏差値は，**全施設**を対象として算出します。これにより，当該施設用途が全施設の中でどの程度劣化した傾向にあるのかを把握できます。供給・財務状況（ソフト）における指標の偏差値は，**施設用途ごとに**偏差値を算出します。

偏差値を算出し，二軸上のグラフに各施設の値をプロットし，類似施設用途間で相対比較（ポートフォリオ分析）することで，施設現況を包括的に把握します。

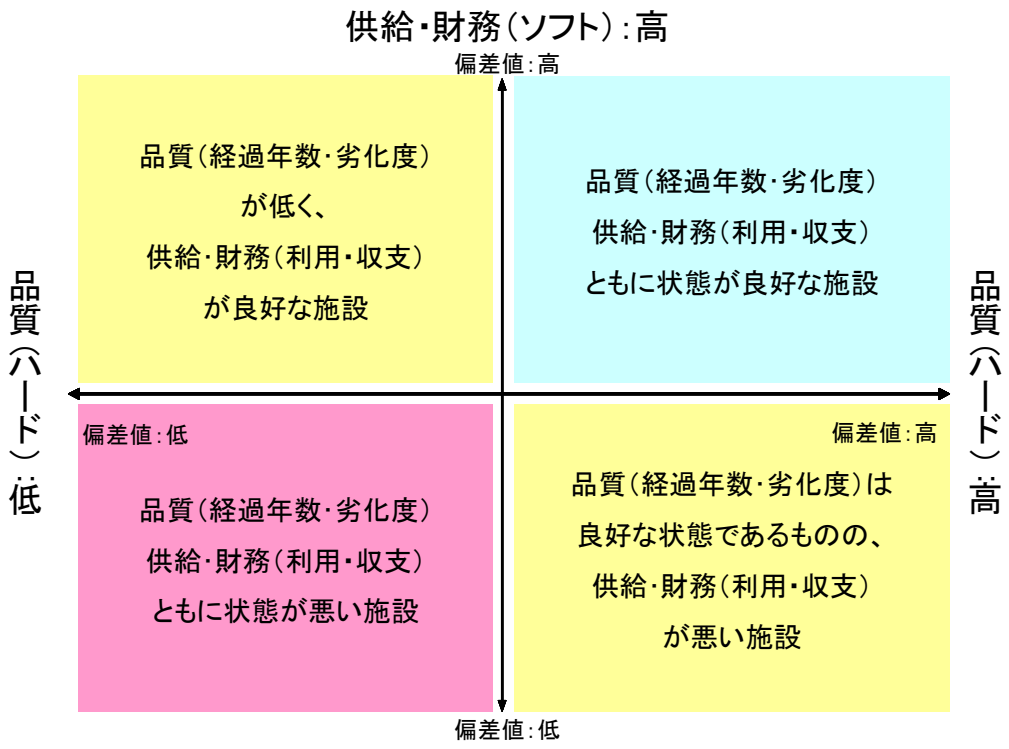


図 3-1　プロット位置による結果の解釈

なお，今回のコスト分析では，キャッシュフロー（現金支出）ベースで発生した費用のみを計上しています。今後は，減価償却費も含めたフルコストによる分析に向けて，現在整備中の固定資産台帳との連携を図っていく予定です。

表 3-4　本分析に用いる指標

※網掛けは，施設現況のまとめ（ポートフォリオ分析）を行った分類

大分類	中分類	品質		供給			財務			
		経過年数	簡易劣化診断	平均利用量	延床面積・開館日あたり平均利用量	その他	市負担額	利用量あたり市負担額	延床面積あたり市負担額	その他
01市民文化系施設	01集会施設	○	－	○（利用者数）	○	・利用率 ・貸出可能箇所の構成 ・貸出可能箇所別利用率	○	○	○	－
	02文化施設	○	－	○（利用者数）	○	・利用率 ・部屋別利用率 ・利用者数推移	○	○	○	－
	03交流施設	○	－	－	－	－	○	－	○	－
02社会教育系施設	01図書館	○	－	○（貸出冊数）	－	・蔵書数 ・蔵書回転率	○	○	－	・蔵書数あたり市負担額
	02公民館	○	－	○（利用者数）	○	・利用率 ・部屋別利用状況 ・貸出箇所別利用率 ・貸出箇所延床面積あたり利用量	○	○	○	－
	03博物館等	○	－	○（利用者数）	○	－	○	○	○	－
	04その他社会教育施設	○	－	○（相談件数）	○	・開館日あたり利用量	○	○	○	－

大分類	中分類		品質		供給			財務			
			経過年数	簡易劣化診断	平均利用量	延床面積・開館日あたり平均利用量	その他	市負担額	利用量あたり市負担額	延床面積あたり市負担額	その他
03スポーツ・レクリエーション施設	01スポーツ施設	屋内施設	○	－	○（利用者数）	○	・開館日あたり平均利用量 ・利用率 ・貸出箇所別利用率	○	○	○	・開館日あたり市負担額
		屋外施設	○	－	○（利用者数）	－	・開館日あたり平均利用量 ・敷地面積・開館日あたり平均利用量 ・利用率 ・貸出箇所別利用率	○	○	－	・開館日あたり市負担額 ・敷地面積あたり市負担額
	02レクリエーション施設		○	－	○（利用者数）	○	・部屋別利用状況 ・利用率	○	○	○	－
04産業系施設	01産業系施設		○	－	○（利用者数）	○	・利用者数推移 ・利用率 ・部屋別利用状況	○	－	○	－
05学校教育系施設	01学校	01小学校	○	○	○（児童数）	－	・児童数・延床面積推移 ・平均利用量(学級数) ・児童1人あたり延床面積 ・利用率	○	○	○	－
		02中学校	○	○	○（生徒数）	－	・生徒数・延床面積推移 ・平均利用量(学級数) ・生徒1人あたり延床面積 ・利用率	○	○	○	－
		03高等学校	○	－	○（生徒数）	－	・平均利用量(学級数) ・生徒1人あたり延床面積	○	○	○	－
	02その他教育施設		○	－	○（給食提供食数）	－	・給食提供校の児童・生徒数推移	○	－	○	－
06子育て支援施設	01保育園		○	－	○（園児数）	－	・園児1人あたり延床面積 ・定員充足率	○	○	○	－
	02幼児・児童施設	01児童センター	○	－	○（利用者数）	○	－	○	○	○	－
		02こどもルーム	○	－	○（入所児童数）	－	・入所児童1人あたり延床面積 ・定員充足率	○	○	○	－
	03幼児・児童福祉施設		○	－	○（利用者数，園児数）	－	・定員充足率	○	○	○	－
07保健・福祉施設	01高齢者福祉施設	01老人福祉センター	○	－	○（利用者数）	○	・開館日あたり利用量	○	－	○	－
		02デイサービスセンター	○	－	○（利用者数）	－	・1日平均利用量	○	－	○	－
		03老人いこいの家	○	－	○（利用者数）	○	・開館日あたり利用量	○	－	○	－
		04介護予防センター	○	－	○（利用者数）	－	・開館日あたり利用量	○	－	○	－
		05介護老人保健施設	○	－	○（利用者数）	－	・1日平均利用量	○	－	○	－
	02障害福祉施設	01障害福祉サービス事業所・02障害者福祉作業所	○	－	○（利用者数）	－	－	○	－	○	－
		03障害福祉就労支援センター	○	－	○（利用者数）	－	－	○	－	○	－
		04その他	○	－	○（利用者数）	－	－	○	－	○	－
	03保健施設		○	－	○（利用者数）	○	－	○	○	○	－

大分類	中分類		品質		供給			財務			
			経過年数	簡易劣化診断	平均利用量	延床面積・開館日あたり平均利用量	その他	市負担額	利用量あたり市負担額	延床面積あたり市負担額	その他
07保健・福祉施設	04福祉施設		○	－	○（登録者数，利用者数）	－	・平均利用量（相談件数） ・部屋別利用状況	○	○	○	－
08医療施設	01医療施設		○	－	○（利用者数）	○	－	○	○	○	－
09行政系施設	01庁舎等	庁舎・出張所等	○	－	○（事務取扱い件数）	○	・関連別事務取扱い件数	○	○	○	・事務取扱い1件あたりの市負担額
		その他施設	○	－	○（利用者数）	○	－	○	○	○	－
	02消防施設	01消防庁舎	○	－	○（出動件数）	－	・平均利用量（受信件数）	○	－	○	－
		02消防器具置場	○	－	－	－	－	－	－	－	－
	03環境施設		○	－	－	－	－	○	－	－	・敷地面積あたり市負担額
	04防災施設	01防災会館	○	－	○（利用者数）	○	・利用率	○	○	○	－
		02防災備蓄倉庫	○	－	－	－	－	－	－	－	－
10公営住宅	01公営住宅		○	－	○（入居戸数）	－	・入居率 ・入居可能戸数	○	○	○	－
11公園	01公園	利用状況を把握している公園	○	－	○（利用者数）	○	・敷地面積あたり利用量 ・利用率 ・貸出箇所の利用率	○	○	－	・敷地面積あたり市負担額
		利用状況を把握していない公園	○	－	－	－	－	○	－	－	・敷地面積あたり市負担額
12供給処理施設	01供給処理施設		○	－	－	－	・処理量の推移	○	○	○	
13その他	01その他	公設市場	○	－	－	－	・取扱数量の推移 ・取扱金額の推移	○	－	○	－
		駐輪場および駐車場等	○	－	○（利用台数）	－	・平均利用量（保管自転車引き取り台数） ・敷地面積あたり利用量 ・駐輪場定期・一時利用	○	○	－	－
		その他	○	－	○（登録者数）	－	－	－	－	－	－
14未利用施設等	01未利用施設等		○	－	－	－	－	－	－	－	－
	02廃止予定施設		○	－	－	－	－	－	－	－	－

3-1 01 集会施設

(1) 配置状況

・集会施設は，市内に 37 施設（うち，同一敷地内に存する体育室が 9 施設）あり，近隣センターと自治会館に分類されます。
・近隣センターは，市民に自主的な活動の場を提供し，市民相互の交流を支援して，地域づくりに関する事業を推進していくために設置されました。
・自治会館は，旧沼南町が集会所（学習等供用施設）として建設した藤ケ谷区民会館のほかに，清掃工場および最終処分場の運営に伴う周辺生活環境の確保のために設置された 3 施設があります。

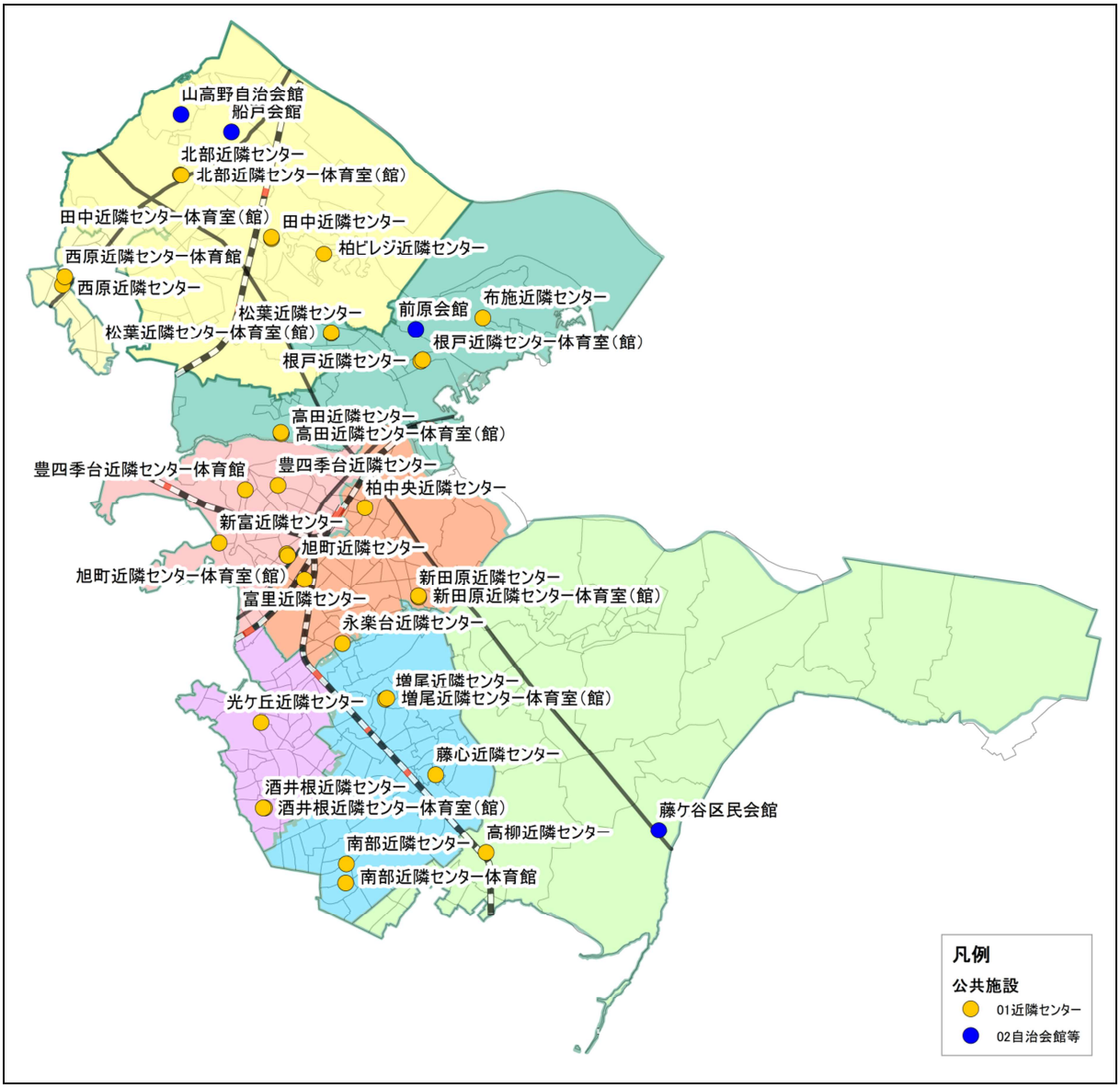


図 3-2　集会施設の配置状況

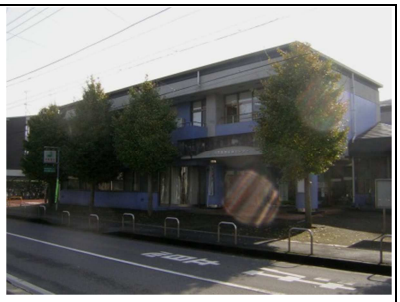
写真 3−1 各施設の写真（集会施設）

<table>
<tr><td>
旭町近隣センター</td><td>
旭町近隣センター体育室（館）</td><td>
豊四季台近隣センター</td></tr>
<tr><td>
豊四季台近隣センター体育館</td><td>
南部近隣センター</td><td>
南部近隣センター体育館</td></tr>
<tr><td>
田中近隣センター</td><td>
田中近隣センター体育室（館）</td><td>
西原近隣センター</td></tr>
<tr><td>
西原近隣センター体育館</td><td>
永楽台近隣センター</td><td>
布施近隣センター</td></tr>
<tr><td>
増尾近隣センター</td><td>
増尾近隣センター体育室（館）</td><td>
光ケ丘近隣センター</td></tr>
</table>

新富近隣センター	柏ビレジ近隣センター	富里近隣センター
高田近隣センター	高田近隣センター体育室（館）	根戸近隣センター
根戸近隣センター体育室（館）	新田原近隣センター	新田原近隣センター体育室（館）
松葉近隣センター	松葉近隣センター体育室（館）	藤心近隣センター
北部近隣センター	北部近隣センター体育室（館）	酒井根近隣センター

酒井根近隣センター体育室（館）

柏中央近隣センター



高柳近隣センター

藤ケ谷区民会館

船戸会館

山高野自治会館

前原会館

(2) 経過年数

・集会施設の平均経過年数は，29.6 年です。経過年数 30 年以上の建物が全体の 51%を占めています。
・藤ケ谷区民会館，根戸近隣センターが特に古くなっています。

表 3-5　集会施設の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	旭町近隣センター	947	19.5	避難所
2	豊四季台近隣センター	1,001	32.8	避難所
3	南部近隣センター	1,124	36.1	避難所
4	田中近隣センター	930	36.0	避難所
5	西原近隣センター	493	36.2	避難所
6	永楽台近隣センター	681	35.0	避難所
7	布施近隣センター	1,031	35.0	避難所
8	増尾近隣センター	963	34.1	避難所
9	光ケ丘近隣センター	1,156	33.0	避難所
10	新富近隣センター	982	30.7	避難所
11	柏ビレジ近隣センター	400	33.4	
12	富里近隣センター	599	33.0	避難所
13	高田近隣センター	740	28.9	避難所
14	根戸近隣センター	881	37.9	避難所
15	新田原近隣センター	653	30.6	避難所
16	松葉近隣センター	879	27.6	避難所
17	藤心近隣センター	784	27.6	避難所
18	北部近隣センター	592	25.0	避難所
19	酒井根近隣センター	755	25.0	避難所
20	柏中央近隣センター	1,811	16.4	アミュゼ柏内に設置
21	高柳近隣センター	868	20.0	避難所
22	旭町近隣センター体育室（館）	417	19.5	
23	豊四季台近隣センター体育館	1,012	18.1	避難所
24	南部近隣センター体育館	798	21.5	避難所
25	田中近隣センター体育室（館）	405	36.0	
26	西原近隣センター体育館	627	27.7	避難所
27	増尾近隣センター体育室（館）	386	34.1	
28	高田近隣センター体育室（館）	369	28.9	
29	根戸近隣センター体育室（館）	417	37.9	
30	新田原近隣センター体育室（館）	400	30.6	
31	松葉近隣センター体育室（館）	416	27.6	
32	北部近隣センター体育室（館）	415	25.0	
33	酒井根近隣センター体育室（館）	391	25.0	
34	藤ケ谷区民会館	267	44.0	避難所
35	船戸会館	268	27.1	
36	山高野自治会館	275	27.0	
37	前原会館	282	31.0	
	平均	687	29.6	
	合計	25,415	－	

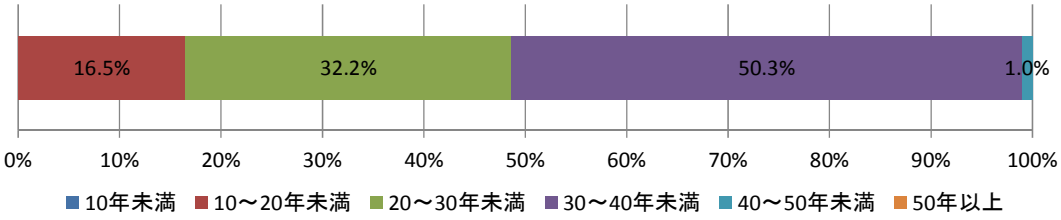


図 3-3　集会施設の経過年数別延床面積構成比

(3) 利用状況

・近隣センターの総利用者数は，平成 24 年度の約 100 万人から平成 26 年度の約 97 万人へと年々減少しています。
・利用率は平均で 51.0%ですが，最大で 80%を超える施設がある一方で，30%以下にとどまっている施設もみられます。
・延床面積・開館日あたり平均利用者数を見ると，集会施設全体で 12.6 人/日・100 ㎡ですが，最大で約 20 人/日・100 ㎡を超える施設がある一方で，約 5 人/日・100 ㎡を下回る施設もあり，施設によって差があります。
※自治会館は広く市民の利用に供していないため，利用状況，コスト状況および施設現況のとりまとめ（ポートフォリオ分析）の対象外としています。

表 3-6　近隣センターの利用状況

No	施設名称	利用者数（人）				利用率（%）	延床面積・開館日あたり平均利用者数（人/日・100㎡）
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均		
1	旭町近隣センター	31,393	35,827	37,445	34,888	47.6%	11.0
2	豊四季台近隣センター	47,718	45,880	47,743	47,114	48.6%	14.1
3	南部近隣センター	38,597	39,762	39,784	39,381	36.6%	10.5
4	田中近隣センター	15,315	16,686	13,947	15,316	31.6%	4.9
5	西原近隣センター	13,586	12,163	11,382	12,377	26.4%	7.5
6	永楽台近隣センター	28,169	28,123	30,556	28,949	53.9%	12.7
7	布施近隣センター	22,946	23,297	21,277	22,507	37.7%	6.5
8	増尾近隣センター	36,504	35,313	28,522	33,446	50.7%	10.4
9	光ケ丘近隣センター	57,685	54,867	55,545	56,032	60.6%	14.5
10	新富近隣センター	41,555	38,489	43,395	41,146	44.6%	12.5
11	柏ビレジ近隣センター	22,806	23,542	25,611	23,986	44.7%	17.9
12	富里近隣センター	33,060	32,390	31,309	32,253	51.4%	16.1
13	高田近隣センター	19,136	18,423	18,443	18,667	34.8%	7.5
14	根戸近隣センター	19,307	18,932	17,428	18,556	29.5%	6.3
15	新田原近隣センター	34,319	31,754	31,581	32,551	37.8%	14.9
16	松葉近隣センター	60,619	61,064	60,860	60,848	55.7%	20.7
17	藤心近隣センター	50,692	46,259	47,905	48,285	44.9%	18.4
18	北部近隣センター	4,737	4,902	4,692	4,777	22.2%	2.4
19	酒井根近隣センター	26,909	26,332	21,638	24,960	41.5%	9.9
20	柏中央近隣センター	81,474	86,874	91,350	89,112	75.5%	14.3
21	高柳近隣センター	41,983	43,852	42,946	42,927	43.0%	14.8
22	旭町近隣センター体育室（館）	20,149	19,505	15,789	18,481	75.7%	13.9
23	豊四季台近隣センター体育館	27,129	25,301	25,768	26,066	56.4%	7.7
24	南部近隣センター体育館	33,698	34,306	29,592	32,532	46.7%	12.2
25	田中近隣センター体育室（館）	11,446	11,012	10,383	10,947	37.6%	8.1
26	西原近隣センター体育館	21,920	18,681	16,938	19,180	83.1%	9.1
27	増尾近隣センター体育室（館）	28,551	28,961	28,234	28,582	77.7%	22.1
28	高田近隣センター体育室（館）	16,841	19,751	18,147	18,246	67.5%	14.8
29	根戸近隣センター体育室（館）	29,772	29,687	25,617	28,359	56.4%	20.3
30	新田原近隣センター体育室（館）	15,042	15,091	15,795	15,309	64.3%	11.4
31	松葉近隣センター体育室（館）	25,923	27,834	24,024	25,927	69.9%	18.6
32	北部近隣センター体育室（館）	14,392	13,633	11,823	13,283	56.7%	9.6
33	酒井根近隣センター体育室（館）	25,284	23,433	26,151	24,956	72.8%	19.1
	平均	30,262	30,058	29,443	29,998	51.0%	12.6
	合計	998,657	991,926	971,620	989,947	－	－

※柏中央近隣センターの平均利用者数は，指定管理者制度が導入された平成 25 年度以降の平均値。

① 近隣センター内貸出可能箇所（部屋）の構成

・柏中央近隣センターは，最も貸出可能箇所（部屋）が多くなっています。また，貸出可能面積（部屋面積）については，テニスコートを保持している柏ビレジ近隣センターが最も大きく，次いで豊四季台近隣センター体育館，南部近隣センター体育館と続いています。

表 3-7　近隣センター内貸出可能箇所（部屋）の構成

施設名称	貸出可能箇所（部屋名称）														部屋数合計	部屋面積合計（㎡）
	和室		会議室		多目的ホール		料理実習室		体育室		その他					
	部屋数	部屋面積計（㎡）	部屋数	部屋面積計（㎡）	部屋数	部屋面積計（㎡）	部屋数	部屋面積計（㎡）	部屋数	部屋面積計（㎡）	部屋数	部屋面積計（㎡）	備考			
旭町近隣センター	3	91	2	63	1	50	1	43	–	–	–	–			4	247
旭町近隣センター体育室（館）	–	–	–	–	–	–	–	–	1	417	–	–			1	417
豊四季台近隣センター	2	65	3	195	–	–	1	55	–	–	1	10	茶室		5	325
豊四季台近隣センター体育館	1	35	1	34	–	–	–	–	1	564	–	–			2	633
南部近隣センター	2	99	3	174	–	–	1	63	–	–	–	–			4	336
南部近隣センター体育館	1	28	1	15	–	–	–	–	1	530	–	–			2	573
田中近隣センター	2	60	2	90	–	–	1	54	–	–	–	–			3	204
田中近隣センター体育室（館）	–	–	–	–	–	–	–	–	1	405	–	–			1	405
西原近隣センター	1	32	3	111	–	–	1	36	–	–	–	–			4	179
西原近隣センター体育館	–	–	–	–	–	–	–	–	1	477	–	–			1	477
永楽台近隣センター	1	55	2	138	–	–	1	38	–	–	–	–			3	231
布施近隣センター	2	84	2	136	–	–	1	36	–	–	–	–			3	256
増尾近隣センター	1	39	2	104	–	–	1	58	–	–	–	–			3	201
増尾近隣センター体育室（館）	–	–	–	–	–	–	–	–	1	386	–	–			1	386
光ケ丘近隣センター	3	81	2	144	1	48	1	41	–	–	–	–			4	314
新富近隣センター	2	64	1	62	1	121	1	34	–	–	1	62	陶芸室		4	343
柏ビレジ近隣センター	1	25	2	83	–	–	1	30	–	–	2	1,240	テニスコート		5	1,378
富里近隣センター	3	70	1	91	–	–	1	58	–	–	–	–			2	219
高田近隣センター	3	74	1	33	–	–	1	93	–	–	–	–			2	200
高田近隣センター体育室（館）	–	–	–	–	–	–	–	–	1	369	–	–			1	369
根戸近隣センター	2	35	3	132	–	–	1	35	–	–	–	–			4	202
根戸近隣センター体育室（館）	–	–	1	59	–	–	–	–	1	417	–	–			2	476
新田原近隣センター	5	102	–	–	1	76	1	52	–	–	–	–			2	230
新田原近隣センター体育室（館）	–	–	–	–	–	–	–	–	1	400	–	–			1	400
松葉近隣センター	3	86	3	114	1	54	1	56	–	–	1	15	茶室		6	325
松葉近隣センター体育室（館）	–	–	–	–	–	–	–	–	1	416	–	–			1	416
藤心近隣センター	1	56	2	89	1	142	1	48	–	–	1	16	茶室		5	351
北部近隣センター	1	24	1	75	1	62	–	–	–	–	–	–			2	161
北部近隣センター体育室（館）	–	–	–	–	–	–	–	–	1	415	–	–			1	415
酒井根近隣センター	2	47	2	66	1	71	1	59	–	–	1	8	茶室		5	251
酒井根近隣センター体育室（館）	–	–	–	–	–	–	–	–	1	391	–	–			1	391
柏中央近隣センター	2	93	4	203	–	–	1	83	–	–	2	138	音楽室、工芸室		7	517
高柳近隣センター	2	44	4	106	1	168	1	58	–	–	–	–			6	376
平均	2	60	2	101	1	88	1	52	1	432	1	213			3	370
合計	46	1,389	48	2,317	9	792	20	1,030	12	5,187	9	1,489			98	12,204

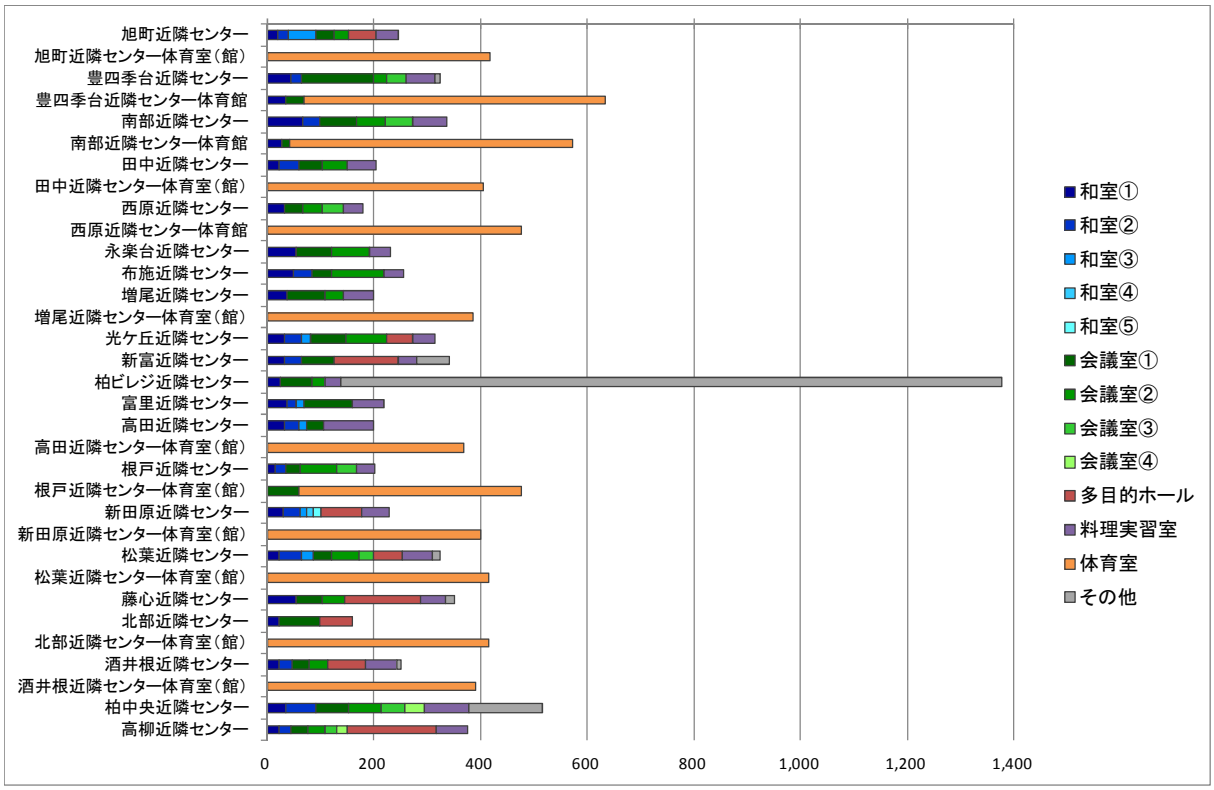


図 3-4　近隣センター内貸出可能面積（部屋面積）の構成

・近隣センターの貸出可能箇所（部屋）別に利用率を見ると，多目的ホール・その他（音楽室，工芸室など）が最も高く平均 74.1%で，次いで体育室・テニスコート，会議室の順となっています。
・一方で，茶室や料理実習室は利用率が低く，それぞれ平均で 21.0%，10.5%となっています。

表 3-8　近隣センター別・貸出可能箇所（部屋）別平均利用率

施設名称	多目的ホール･その他	体育室･テニスコート	会議室	和室	茶室	料理実習室	全用途平均
旭町近隣センター	89.9%		46.5%	42.7%		8.5%	45.7%
豊四季台近隣センター			66.5%	57.0%	6.7%	10.3%	47.2%
南部近隣センター			40.0%	41.4%		5.2%	34.6%
田中近隣センター			30.5%	42.6%		5.0%	30.2%
西原近隣センター			32.9%	23.1%		4.6%	25.3%
永楽台近隣センター			67.1%	60.9%		9.0%	51.1%
布施近隣センター			47.8%	38.6%		8.6%	36.3%
増尾近隣センター			60.3%	58.8%		10.6%	47.5%
光ケ丘近隣センター	75.8%		78.1%	63.0%		13.9%	59.5%
新富近隣センター	50.5%		60.1%	42.4%		11.0%	42.8%
柏ビレジ近隣センター		62.4%	43.1%	41.4%		3.0%	42.6%
富里近隣センター			65.1%	56.2%		14.4%	49.6%
高田近隣センター			54.8%	34.5%		9.7%	33.6%
根戸近隣センター			34.2%	33.1%		0.6%	28.3%
新田原近隣センター	78.2%			34.6%		5.8%	36.7%
松葉近隣センター	87.6%		58.2%	57.0%	44.0%	13.6%	54.5%
藤心近隣センター	85.4%		46.6%	51.7%	16.0%	16.0%	43.7%
北部近隣センター			12.0%	12.6%			12.2%
酒井根近隣センター	76.1%		38.2%	51.8%	17.2%	8.9%	40.3%
柏中央近隣センター	72.7%		77.5%	83.9%		41.8%	73.9%
高柳近隣センター	76.1%		38.5%	47.7%		9.9%	41.9%
旭町近隣センター体育室(館)		75.7%					75.7%
豊四季台近隣センター体育館		79.0%	41.7%	43.6%			54.8%
南部近隣センター体育館		77.4%		32.8%			47.7%
田中近隣センター体育室(館)		37.6%					37.6%
西原近隣センター体育館		83.1%					83.1%
増尾近隣センター体育室(館)		77.7%					77.7%
高田近隣センター体育室(館)		67.5%					67.5%
根戸近隣センター体育室(館)		71.6%	41.9%				56.8%
新田原近隣センター体育室(館)		64.3%					64.3%
松葉近隣センター体育室(館)		69.9%					69.9%
北部近隣センター体育室(館)		56.7%					56.7%
酒井根近隣センター体育室(館)		72.8%					72.8%
全施設平均	74.1%	68.5%	48.6%	46.1%	21.0%	10.5%	45.6%

※柏中央近隣センターについては，指定管理者制度が導入された平成 25 年度以降の平均値。

・貸出可能面積（部屋面積）と利用率の関係について，多目的ホール・その他をみると，100㎡未満の音楽室や多目的ホールも利用率が高い一方で，工芸室や陶芸室の利用率は低くなっています。
・体育室・テニスコートは，貸出可能面積（部屋面積）に関わらず，ほとんどの施設で利用率が高くなっています。

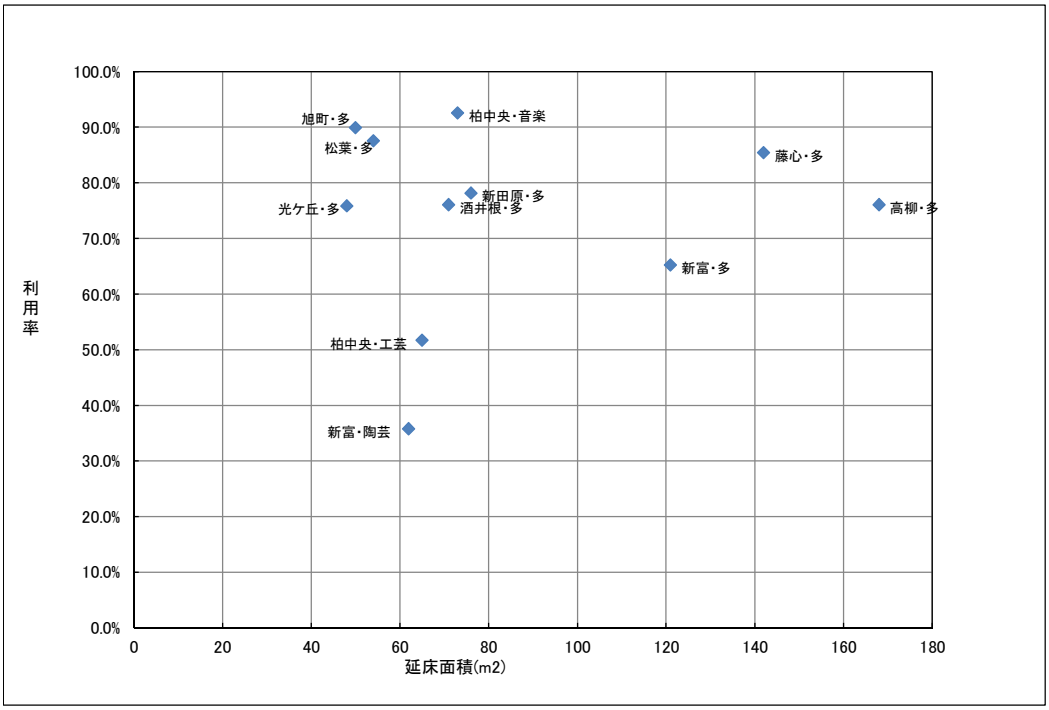


図 3-5　近隣センター各部屋の延床面積と利用率（多目的ホール・その他）

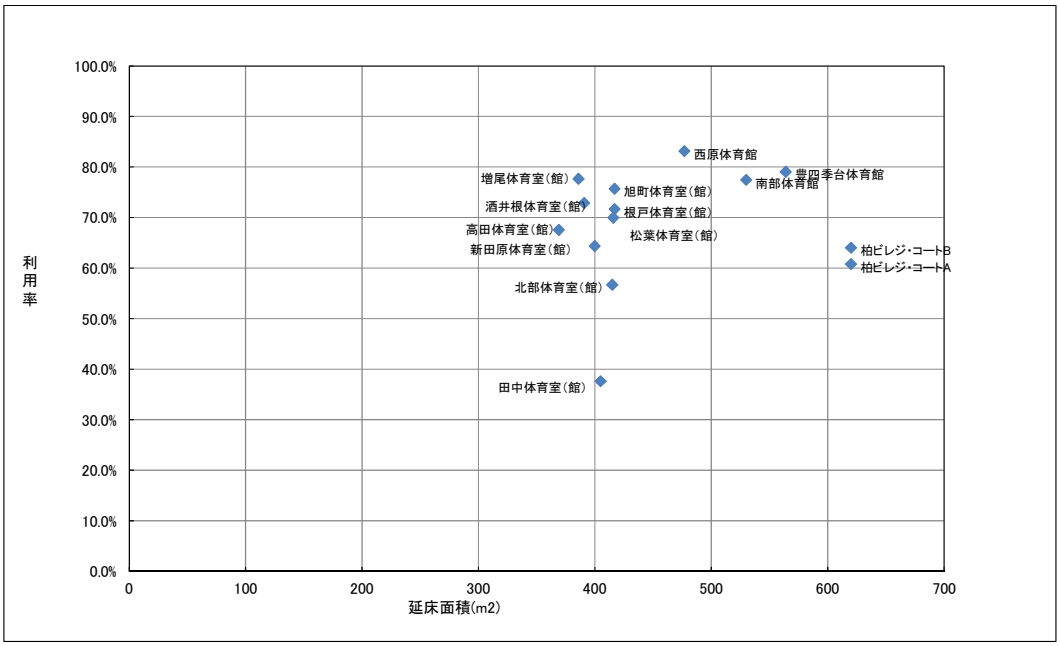


図 3-6　近隣センター各部屋の延床面積と利用率（体育室・テニスコート）

(4) コスト状況

・延床面積 1 ㎡あたりの市負担額は，平均約 1.4 万円となっていますが，施設間でばらつきがあります。永楽台近隣センターや高柳近隣センター，新富近隣センターが高く，2.7 万円/㎡程度かかっています。

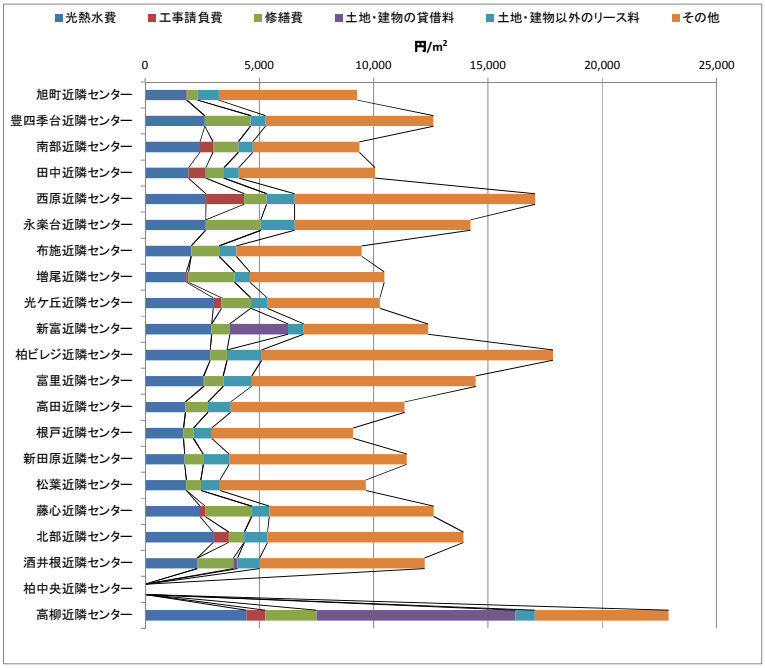
・利用者 1 人あたりの市負担額は平均 421 円/人ですが，こちらも施設により差がみられ，北部近隣センターが 1,612 円/人と最も高くなっています。

表 3-9　近隣センターのコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）								
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤－⑥）	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）⑧	利用者1人あたりの市負担額（円/人）⑨
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）				
1	旭町近隣センター	8,786	0	6,030	0	14,816	1,335	13,482	14,236	386
2	豊四季台近隣センター	12,628	0	9,111	0	21,738	2,066	19,673	19,654	418
3	南部近隣センター	10,539	191	4,130	0	14,860	1,244	13,616	12,111	346
4	田中近隣センター	9,354	0	6,160	0	15,514	647	14,866	15,981	971
5	西原近隣センター	8,407	337	3,850	0	12,594	529	12,065	24,472	975
6	永楽台近隣センター	9,702	0	9,664	0	19,366	1,048	18,317	26,878	633
7	布施近隣センター	9,773	0	9,234	0	19,007	1,132	17,875	17,331	794
8	増尾近隣センター	10,078	0	10,780	0	20,858	1,023	19,835	20,591	593
9	光ケ丘近隣センター	11,876	540	13,127	0	25,543	2,385	23,158	20,033	413
10	新富近隣センター	12,158	0	15,885	0	28,043	1,955	26,088	26,571	634
11	柏ビレジ近隣センター	7,137	0	0	0	7,137	1,990	5,147	12,868	215
12	富里近隣センター	8,660	0	7,667	0	16,326	1,161	15,165	25,326	470
13	高田近隣センター	8,398	0	6,072	0	14,470	779	13,690	18,506	733
14	根戸近隣センター	8,012	0	1,727	0	9,740	1,056	8,683	9,860	468
15	新田原近隣センター	7,479	657	7,141	0	15,277	1,182	14,095	21,576	433
16	松葉近隣センター	8,486	1,427	3,850	0	13,763	1,950	11,813	13,445	194
17	藤心近隣センター	9,899	0	8,608	0	18,507	1,871	16,636	21,208	345
18	北部近隣センター	8,251	0	0	0	8,251	550	7,700	12,999	1,612
19	酒井根近隣センター	9,234	0	6,129	0	15,363	1,907	13,456	17,820	539
20	柏中央近隣センター	0	0	0	35,296	35,296	4,972	30,324	16,747	340
21	高柳近隣センター	19,870	0	5,539	0	25,410	2,152	23,258	26,799	542
22	旭町近隣センター体育室（館）	902	0	2,631	0	3,534	1,543	1,991	4,774	108
23	豊四季台近隣センター体育館	8,463	0	705	0	9,168	2,238	6,930	6,846	266
24	南部近隣センター体育館	6,956	67	1,636	0	8,659	1,946	6,713	8,411	206
25	田中近隣センター体育室（館）	834	0	1,540	0	2,374	735	1,639	4,047	150
26	西原近隣センター体育館	6,913	302	3,850	0	11,064	1,062	10,003	15,962	522
27	増尾近隣センター体育室（館）	656	0	1,540	0	2,196	1,414	782	2,026	27
28	高田近隣センター体育室（館）	1,339	0	2,602	0	3,941	1,467	2,474	6,706	136
29	根戸近隣センター体育室（館）	1,678	0	755	0	2,433	1,275	1,158	2,777	41
30	新田原近隣センター体育室（館）	694	0	4,761	0	5,455	1,472	3,983	9,958	260
31	松葉近隣センター体育室（館）	692	0	1,540	0	2,232	1,495	737	1,772	28
32	北部近隣センター体育室（館）	579	0	0	0	579	1,262	-683	-1,647	-51
33	酒井根近隣センター体育室（館）	1,839	0	2,694	0	4,533	986	3,547	9,072	142
	平均	6,978	107	4,817	1,070	12,971	1,510	11,461	14,113	421
	合計	230,272	3,520	158,959	35,296	428,047	49,830	378,217	-	-

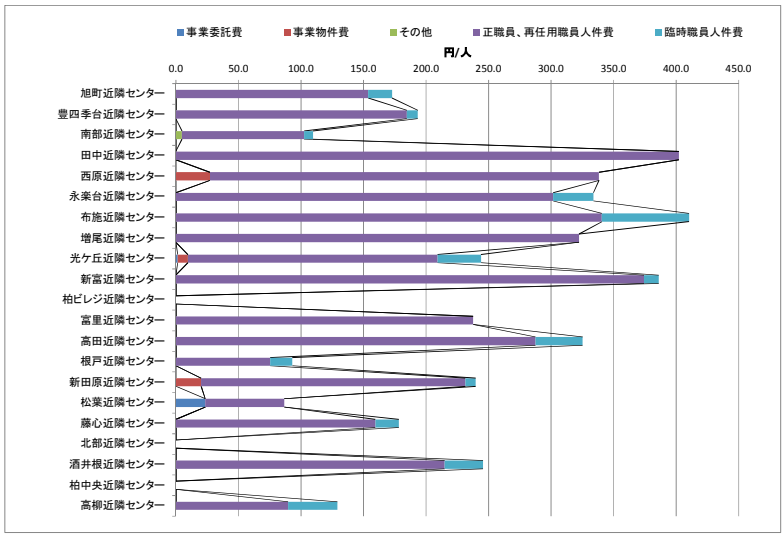
※柏中央近隣センターについては，指定管理者制度が導入された平成 25 年度以降の平均値。

・各施設の延床面積あたりの施設に係るコスト（修繕費等）を比較すると，体育室以外の近隣センターでは，各施設ともに施設管理委託や施設清掃委託など，その他の支出が多くなっています。その中で，高柳近隣センターは，土地貸借料が多く発生しています。
・各施設の利用者 1 人あたりの事業運営・人にかかるコスト（事業委託，人件費等）を比較すると，体育室を有する近隣センター以外では，正職員・再任用職員人件費が大半を占めており，特に田中近隣センターや新富近隣センター，布施近隣センター，西原近隣センターで多くなっています。



※柏中央近隣センターは，指定管理料を別途支出しています。

図 3-7　近隣センター（体育室以外）の延床面積あたり施設に係るコスト



※柏中央近隣センターは，指定管理料を別途支出しています。

図 3-8　近隣センター（体育室以外）の利用者 1 人あたり事業運営・人に係るコスト

・体育室の延床面積あたりの施設に係るコストは，豊四季台近隣センター体育館や南部近隣センター体育館，西原近隣センター体育館など近隣センターと離れた場所に建てられた施設で，施設管理委託や施設清掃委託など，その他の支出が多くなっています。
・体育室の利用者 1 人あたりの事業運営・人に係るコストは，新田原近隣センター体育館（室）や西原近隣センター体育館の正職員・再任用職員人件費が多くなっています。

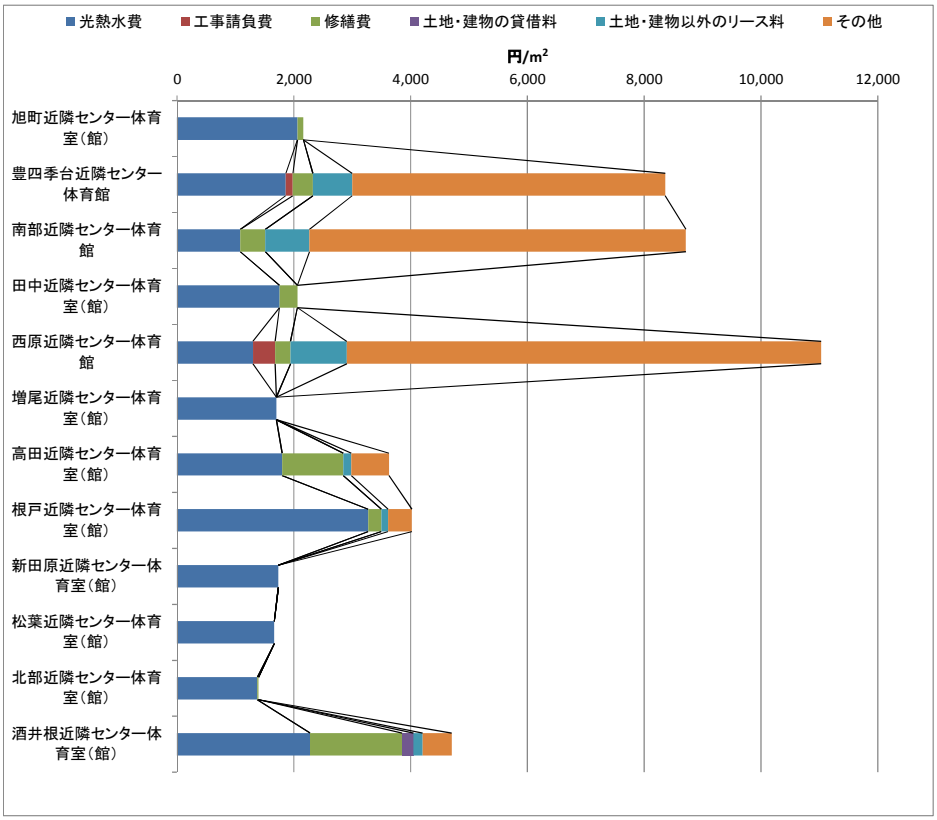


図 3-9　近隣センター（体育室）の延床面積あたり施設に係るコスト

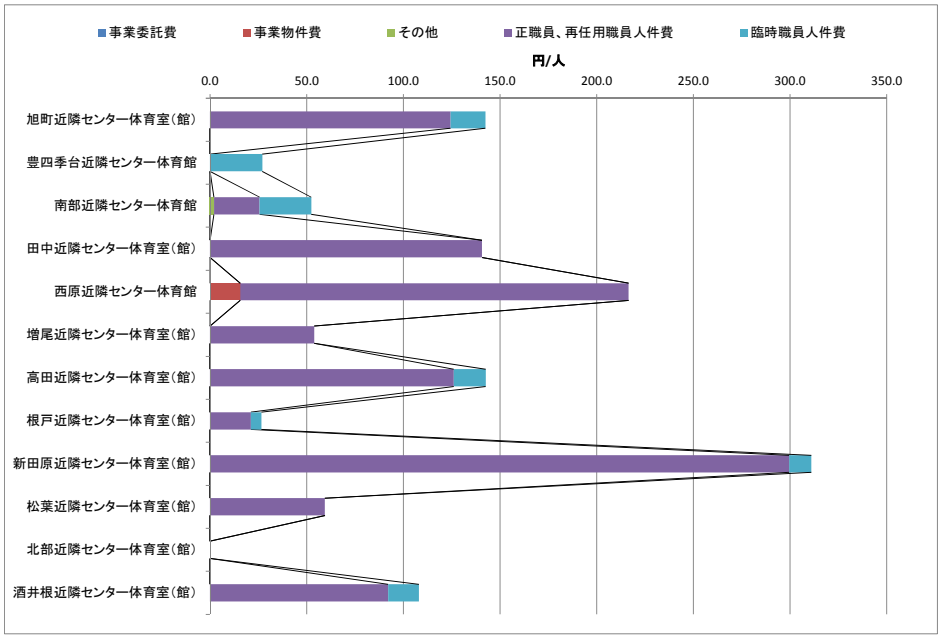


図 3-10　近隣センター（体育室）の利用者 1 人あたり事業運営・人に係るコスト

(5) 施設現況のまとめ

・以下の図は，各施設の品質面（ハード）と供給面（ソフト）に関する偏差値平均値，品質面（ハード）と財務面（ソフト）に関する偏差値平均値を，それぞれグラフ上に表示したものです。
・品質面（ハード）と供給面（ソフト）のグラフでは，西原近隣センターや根戸近隣センター，田中近隣センターなどが全施設の中でも古く，また，利用状況も低い施設となります。
・一方で，品質面（ハード）と財務面（ソフト）のグラフでは，根戸近隣センターや田中近隣センター体育室などは建築から年数が経過し，利用状況は低いものの，財務的にみて効率的に運営されている施設と言えます。
・また，柏中央近隣センターなどは，財務的にみて他の施設より多くの費用が発生していると言えますが，利用状況をみると全ての近隣センターの中で最も多く活用されている施設と言えます。
・このように，施設分析にあたっては，多様な観点からとらえることが重要となります。以下の分析で，相対的にみて施設が古く，また，利用状況が低く，市の費用負担が大きい施設を中心に，個々の背景や事情等を考慮に入れつつ，今後の管理方針を定める必要があります。

表 3-10　近隣センターの品質面（ハード）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	品質		品質（ハード）平均偏差値
			経過年数（年）	偏差値	
1	旭町近隣センター	947	19.5	54.5	54.5
2	豊四季台近隣センター	1,001	32.8	43.6	43.6
3	南部近隣センター	1,124	36.1	40.9	40.9
4	田中近隣センター	930	36.0	41.0	41.0
5	西原近隣センター	493	36.2	40.8	40.8
6	永楽台近隣センター	681	35.0	41.7	41.7
7	布施近隣センター	1,031	35.0	41.7	41.7
8	増尾近隣センター	963	34.1	42.5	42.5
9	光ケ丘近隣センター	1,156	33.0	43.4	43.4
10	新富近隣センター	982	30.7	45.3	45.3
11	柏ビレジ近隣センター	400	33.4	43.1	43.1
12	富里近隣センター	599	33.0	43.4	43.4
13	高田近隣センター	740	28.9	46.8	46.8
14	根戸近隣センター	881	37.9	39.3	39.3
15	新田原近隣センター	653	30.6	45.4	45.4
16	松葉近隣センター	879	27.6	47.9	47.9
17	藤心近隣センター	784	27.6	47.9	47.9
18	北部近隣センター	592	25.0	50.0	50.0
19	酒井根近隣センター	755	25.0	50.0	50.0
20	柏中央近隣センター	1,811	16.4	57.1	57.1
21	高柳近隣センター	868	20.0	54.1	54.1
22	旭町近隣センター体育室（館）	417	19.5	54.5	54.5
23	豊四季台近隣センター体育館	1,012	18.1	55.7	55.7
24	南部近隣センター体育館	798	21.5	52.9	52.9
25	田中近隣センター体育室（館）	405	36.0	41.0	41.0
26	西原近隣センター体育館	627	27.7	47.8	47.8
27	増尾近隣センター体育室（館）	386	34.1	42.5	42.5
28	高田近隣センター体育室（館）	369	28.9	46.8	46.8
29	根戸近隣センター体育室（館）	417	37.9	39.3	39.3
30	新田原近隣センター体育室（館）	400	30.6	45.4	45.4
31	松葉近隣センター体育室（館）	416	27.6	47.9	47.9
32	北部近隣センター体育室（館）	415	25.0	50.0	50.0
33	酒井根近隣センター体育室（館）	391	25.0	50.0	50.0
	平均	737	29.3	46.5	46.5
	合計	24,324	－	－	－

表 3-11　近隣センターの供給面（ソフト）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	供給						供給（ソフト）平均偏差値
			平均利用者数（人）	偏差値	延床面積・開館日あたり平均利用者数（人/日・100㎡）	偏差値	平均利用率（%）	偏差値	
1	旭町近隣センター	947	34,888	52.9	11.0	46.8	47.6%	47.8	49.2
2	豊四季台近隣センター	1,001	47,114	60.2	14.1	53.1	48.6%	48.5	53.9
3	南部近隣センター	1,124	39,381	55.6	10.5	45.7	36.6%	40.9	47.4
4	田中近隣センター	930	15,316	41.3	4.9	34.4	31.6%	37.7	37.8
5	西原近隣センター	493	12,377	39.5	7.5	39.7	26.4%	34.4	37.9
6	永楽台近隣センター	681	28,949	49.4	12.7	50.3	53.9%	51.8	50.5
7	布施近隣センター	1,031	22,507	45.5	6.5	37.7	37.7%	41.6	41.6
8	増尾近隣センター	963	33,446	52.1	10.4	45.5	50.7%	49.8	49.1
9	光ケ丘近隣センター	1,156	56,032	65.5	14.5	53.9	60.6%	56.0	58.5
10	新富近隣センター	982	41,146	56.6	12.5	49.9	44.6%	45.9	50.8
11	柏ビレジ近隣センター	400	23,986	46.4	17.9	60.9	44.7%	46.0	51.1
12	富里近隣センター	599	32,253	51.3	16.1	57.2	51.4%	50.3	52.9
13	高田近隣センター	740	18,667	43.3	7.5	39.8	34.8%	39.8	40.9
14	根戸近隣センター	881	18,556	43.2	6.3	37.2	29.5%	36.4	38.9
15	新田原近隣センター	653	32,551	51.5	14.9	54.7	37.8%	41.7	49.3
16	松葉近隣センター	879	60,848	68.4	20.7	66.6	55.7%	53.0	62.6
17	藤心近隣センター	784	48,285	60.9	18.4	61.9	44.9%	46.1	56.3
18	北部近隣センター	592	4,777	35.0	2.4	29.3	22.2%	31.8	32.0
19	酒井根近隣センター	755	24,960	47.0	9.9	44.5	41.5%	44.0	45.2
20	柏中央近隣センター	1,811	89,112	85.2	14.3	53.6	75.5%	65.4	68.1
21	高柳近隣センター	868	42,927	57.7	14.8	54.5	43.0%	44.9	52.4
22	旭町近隣センター体育室（館）	417	18,481	43.1	13.9	52.7	75.7%	65.6	53.8
23	豊四季台近隣センター体育館	1,012	26,066	47.7	7.7	40.1	56.4%	53.4	47.0
24	南部近隣センター体育館	798	32,532	51.5	12.2	49.2	46.7%	47.2	49.3
25	田中近隣センター体育室（館）	405	10,947	38.7	8.1	40.9	37.6%	41.5	40.3
26	西原近隣センター体育館	627	19,180	43.6	9.1	43.0	83.1%	70.2	52.3
27	増尾近隣センター体育室（館）	386	28,582	49.2	22.1	69.5	77.7%	66.8	61.8
28	高田近隣センター体育室（館）	369	18,246	43.0	14.8	54.5	67.5%	60.4	52.6
29	根戸近隣センター体育室（館）	417	28,359	49.0	20.3	65.8	56.4%	53.4	56.1
30	新田原近隣センター体育室（館）	400	15,309	41.3	11.4	47.7	64.3%	58.4	49.1
31	松葉近隣センター体育室（館）	416	25,927	47.6	18.6	62.3	69.9%	61.9	57.3
32	北部近隣センター体育室（館）	415	13,283	40.1	9.6	43.9	56.7%	53.6	45.8
33	酒井根近隣センター体育室（館）	391	24,956	47.0	19.1	63.3	72.8%	63.8	58.0
	平均	737	29,998	－	12.6	－	51.0%	－	50.0
	合計	24,324	989,947	－	－	－	－	－	－

表 3-12　近隣センターの財務面（ソフト）の分析

No	施設名称	財務						財務（ソフト）平均偏差値
		市負担額（千円）	偏差値	利用者1人あたりの市負担額(円/人)	偏差値	延床面積あたりの市負担額(円/㎡)	偏差値	
1	旭町近隣センター	13,482	47.5	386	51.0	14,236	49.8	49.5
2	豊四季台近隣センター	19,673	39.9	418	50.1	19,654	43.1	44.4
3	南部近隣センター	13,616	47.4	346	52.2	12,111	52.5	50.7
4	田中近隣センター	14,866	45.8	971	33.7	15,981	47.7	42.4
5	西原近隣センター	12,065	49.3	975	33.6	24,472	37.1	40.0
6	永楽台近隣センター	18,317	41.6	633	43.7	26,878	34.1	39.8
7	布施近隣センター	17,875	42.1	794	38.9	17,331	46.0	42.3
8	増尾近隣センター	19,835	39.7	593	44.9	20,591	41.9	42.2
9	光ケ丘近隣センター	23,158	35.6	413	50.2	20,033	42.6	42.8
10	新富近隣センター	26,088	32.0	634	43.7	26,571	34.5	36.7
11	柏ビレジ近隣センター	5,147	57.8	215	56.1	12,868	51.6	55.1
12	富里近隣センター	15,165	45.5	470	48.5	25,326	36.0	43.3
13	高田近隣センター	13,690	47.3	733	40.7	18,506	44.5	44.2
14	根戸近隣センター	8,683	53.4	468	48.6	9,860	55.3	52.4
15	新田原近隣センター	14,095	46.8	433	49.6	21,576	40.7	45.7
16	松葉近隣センター	11,813	49.6	194	56.7	13,445	50.8	52.4
17	藤心近隣センター	16,636	43.6	345	52.3	21,208	41.1	45.7
18	北部近隣センター	7,700	54.6	1,612	14.7	12,999	51.4	40.2
19	酒井根近隣センター	13,456	47.6	539	46.5	17,820	45.4	46.5
20	柏中央近隣センター	30,324	26.8	340	52.4	16,747	46.7	42.0
21	高柳近隣センター	23,258	35.5	542	46.4	26,799	34.2	38.7
22	旭町近隣センター体育室(館)	1,991	61.6	108	59.3	4,774	61.7	60.9
23	豊四季台近隣センター体育館	6,930	55.6	266	54.6	6,846	59.1	56.4
24	南部近隣センター体育館	6,713	55.8	206	56.4	8,411	57.1	56.4
25	田中近隣センター体育室(館)	1,639	62.1	150	58.0	4,047	62.6	60.9
26	西原近隣センター体育館	10,003	51.8	522	47.0	15,962	47.7	48.8
27	増尾近隣センター体育室(館)	782	63.1	27	61.7	2,026	65.1	63.3
28	高田近隣センター体育室(館)	2,474	61.0	136	58.5	6,706	59.2	59.6
29	根戸近隣センター体育室(館)	1,158	62.6	41	61.3	2,777	64.1	62.7
30	新田原近隣センター体育室(館)	3,983	59.2	260	54.8	9,958	55.2	56.4
31	松葉近隣センター体育室(館)	737	63.2	28	61.6	1,772	65.4	63.4
32	北部近隣センター体育室(館)	−683	64.9	−51	64.0	−1,647	69.7	66.2
33	酒井根近隣センター体育室(館)	3,547	59.7	142	58.3	9,072	56.3	58.1
	平均	11,461	−	421	−	14,113	−	50.0
	合計	378,217	−	−	−	−	−	−

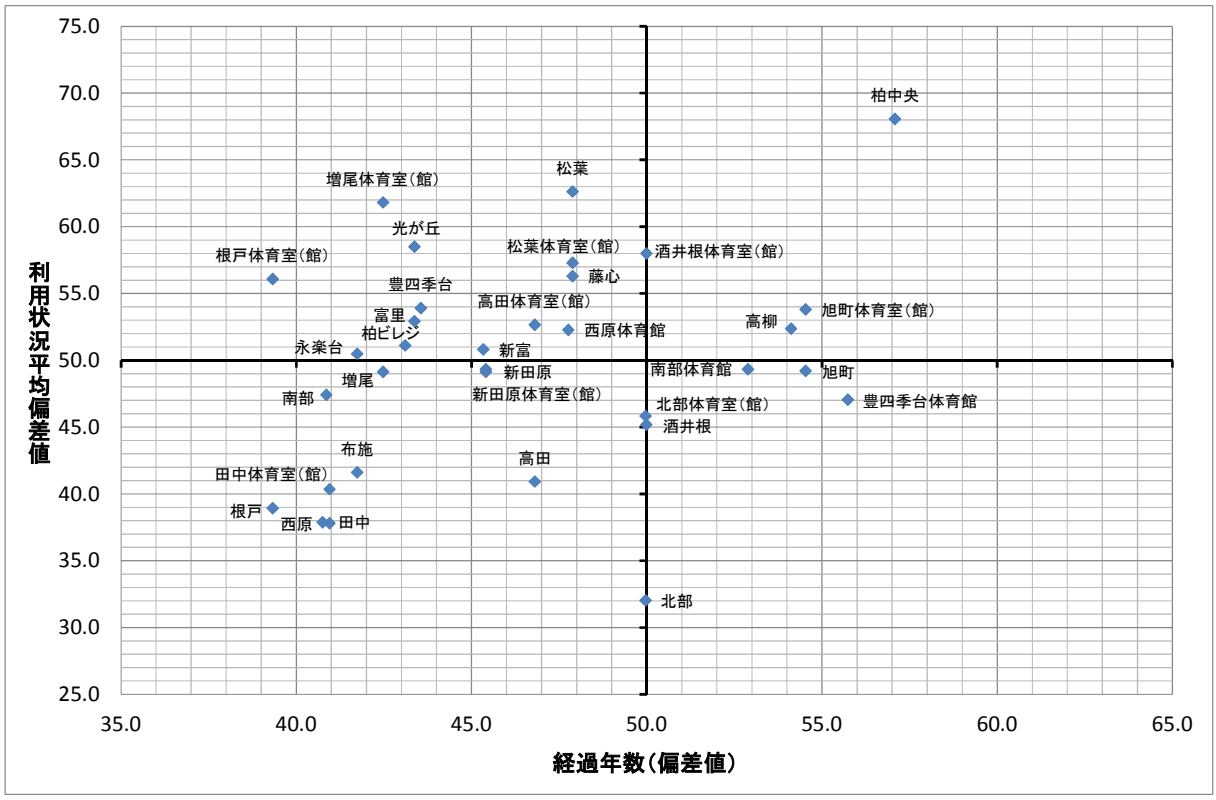


図 3-11　近隣センターの品質面（ハード）・供給面（ソフト）の分析

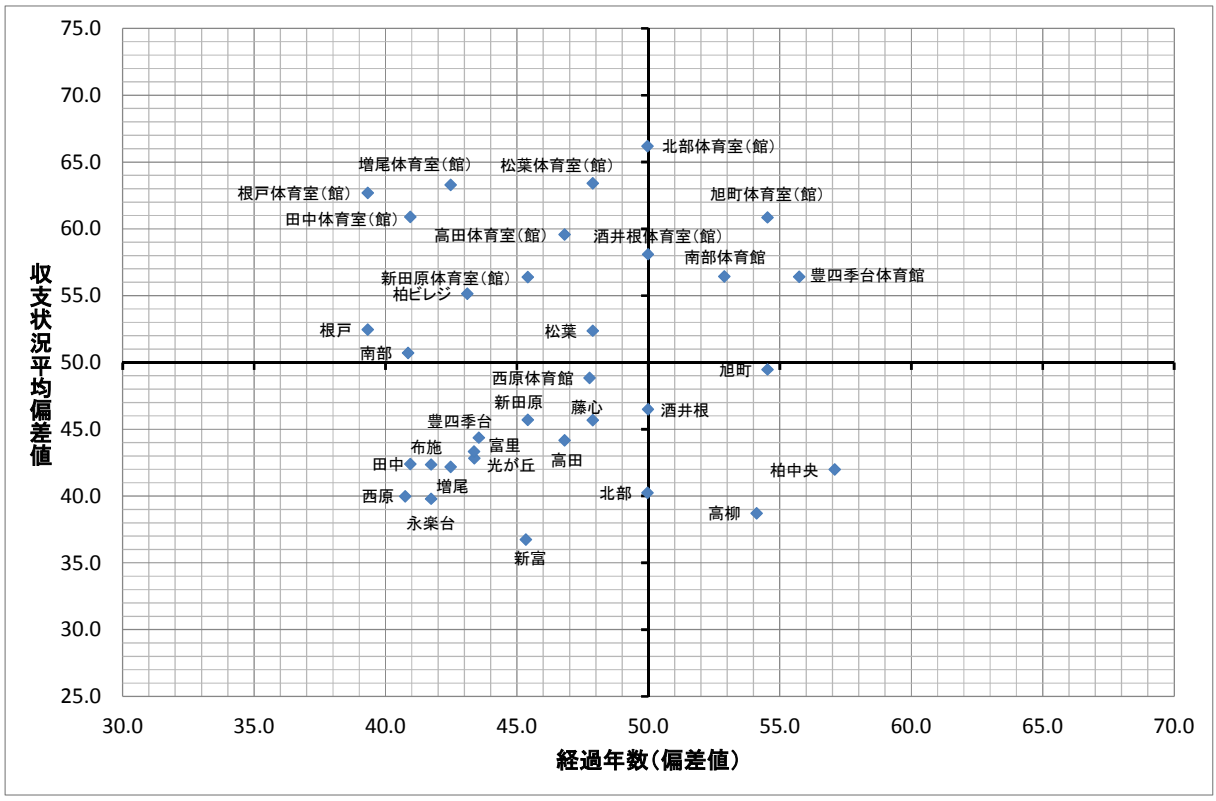


図 3-12　近隣センターの品質面（ハード）・財務面（ソフト）の分析

3-1 02 文化施設

(1) 配置状況

・文化施設は，市内に市民文化会館とアミュゼ柏の 2 施設があります。
・市民文化会館は，市民文化の向上と福祉の増進を図るために設置されました。
・アミュゼ柏は，市民文化会館と同じく市民文化の向上と福祉の増進を図るために設置され，コミュニティ活動の拠点となる柏中央近隣センターとの複合施設となっています。
・柏市の近隣市にも，ホールなどの文化施設が立地しています。文化施設の今後のあり方を考える上では，近隣市の類似施設等との関係性も考慮に入れていく必要があります。

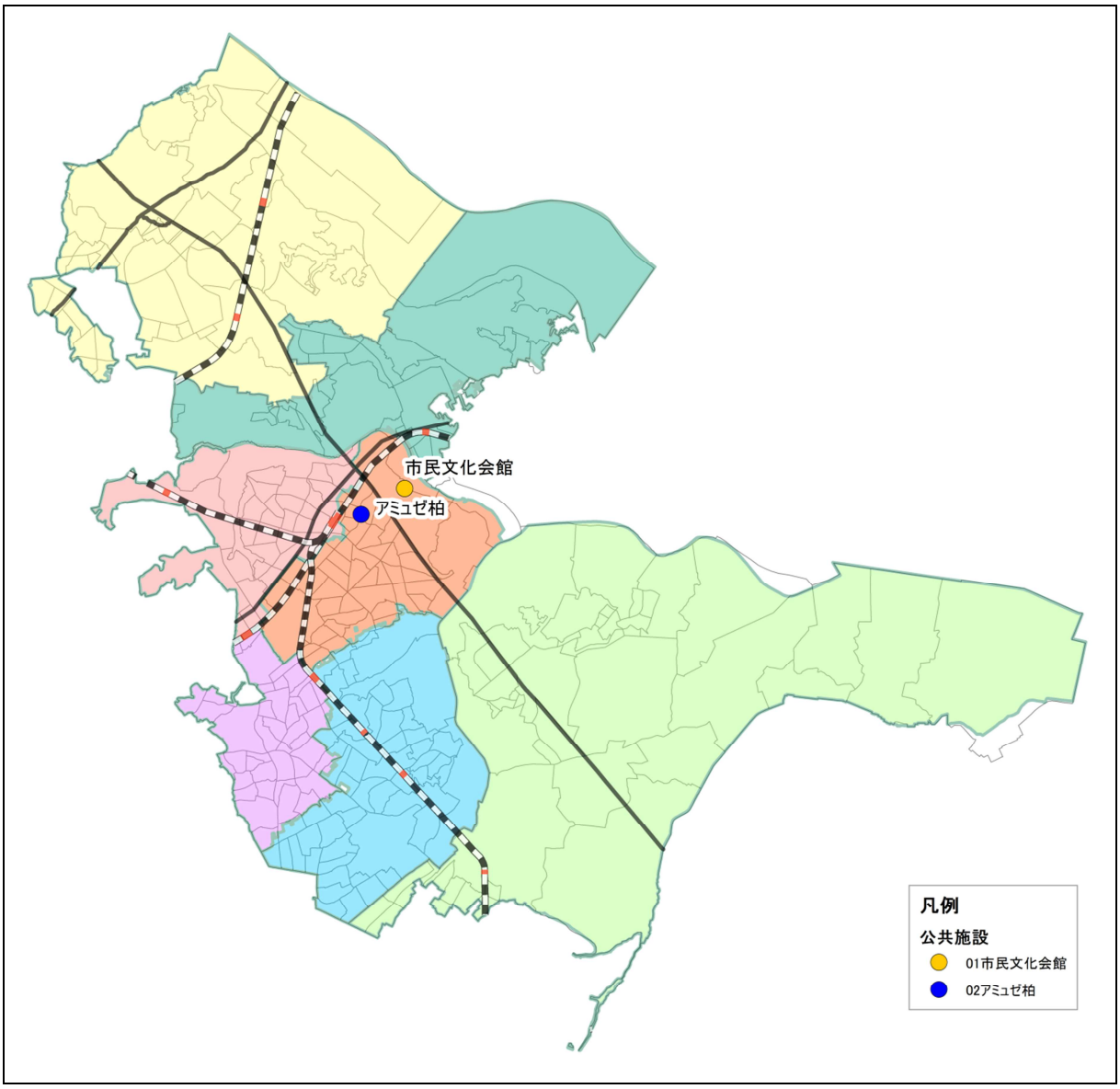


図 3-13　文化施設の配置状況

写真 3−2 各施設の写真（文化施設）

市民文化会館

アミュゼ柏

表 3-13　柏市近隣市の文化施設一覧（柏市民文化会館より約 15km 以内の施設）

所在地		設置者	施設名称	ホール名	座席数	合計席数	建築延面積（㎡）
千葉県	柏市	柏市	市民文化会館	大ホール	1,338	1,638	5,818
				小ホール	300		
			アミュゼ柏	クリスタルホール	400	550	3,758
				プラザ	150		
		千葉県	さわやかちば県民プラザ	ホール	475	475	17,091
	松戸市	松戸市	松戸市文化会館（森のホール21）	大ホール	1,955	2,471	29,989
				小ホール	516		
			松戸市民会館	ホール	1,212	1,212	5,556
	野田市	野田市	野田市文化会館	大ホール	1,236	1,236	4,757
	流山市	流山市	流山市文化会館	ホール	820	820	3,582
	我孫子市	千葉県	千葉県福祉ふれあいプラザ（ふれあいホール）	ふれあいホール	551	551	12,557
	鎌ヶ谷市	鎌ヶ谷市	鎌ヶ谷市きらり鎌ケ谷市民会館	きらりホール	540	540	−
	白井市	白井市	白井市文化会館	なし坊(大)ホール	802	1,102	3,621
				かおり(中)ホール	300		
埼玉県	三郷市	三郷市	三郷市文化会館	大ホール	1,300	1,692	7,873
				小ホール	392		
	八潮市	八潮市	八潮市民文化会館（八潮メセナ）	ホール	544	744※	5,445
				集会室	200※		
			やしお生涯楽習館	多目的ホール	146※	146※	4,416
茨城県	取手市	取手市	取手市立市民会館	大ホール	1,104	1,104	3,964
	つくばみらい市	つくばみらい市	世代ふれあいの館	ふれあいホール	350※	350※	2,860

＊柏市が設置した施設以外の文化施設：公益社団法人全国公立文化施設協会「平成27年度全国公立文化施設名簿」に掲載された施設のうち，柏市民文化会館を中心に，半径約15km 以内の施設を対象とした。

出典：柏市以外の文化施設の建物延床面積および※は，「平成27年度全国公立文化施設名簿」より整理。その他のデータは，千葉県，各市のホームページより整理。

(2) 経過年数

・文化施設の平均経過年数は，29.5 年です。市民文化会館は，建築から 42.5 年が経過しています。

表 3-14　文化施設の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	市民文化会館	5,818	42.5	避難所
2	アミュゼ柏	3,758	16.4	避難所
	平均	4,788	29.5	
	合計	9,576	－	

表 3-15　文化施設の品質（ハード）面の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	品質		品質（ハード）平均偏差値
			経過年数（年）	偏差値	
1	市民文化会館	5,818	42.5	35.6	35.6
2	アミュゼ柏	3,758	16.4	57.1	57.1
	平均	4,788	29.5	46.3	46.3
	合計	9,576	－	－	－

(3) 利用状況

・延床面積・開館日あたり平均利用者数は，平均 10.5 人/日・100 ㎡です。施設間に大きな差は見られません。

・一方，利用率は，平均 62.6%です。アミュゼ柏が高く，73.8%です。

・部屋別の利用率を見ると，アミュゼ柏のリハーサル室が最も高くなっています。ホール類の利用率は，アミュゼ柏のプラザが 74.5%と最も高く，次いで市民文化会館大ホールの 59.8%となっています。

表 3-16　文化施設の利用状況

No	施設名称	延床面積（㎡）	利用者数（人）				利用率（%）	延床面積・開館日あたり平均利用者数（人/日・100㎡）
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均		
1	市民文化会館	5,818	173,474	176,551	－	175,013	51.4%	10.1
2	アミュゼ柏	3,758	126,168	140,810	150,791	139,256	73.8%	10.9
	平均	4,788	149,821	158,681	150,791	157,134	62.6%	10.5
	合計	9,576	299,642	317,361	150,791	314,269		

※市民文化会館は，耐震補強（リニューアル）工事のため，平成 26 年度は休館。

表 3-17　文化施設の部屋別利用率

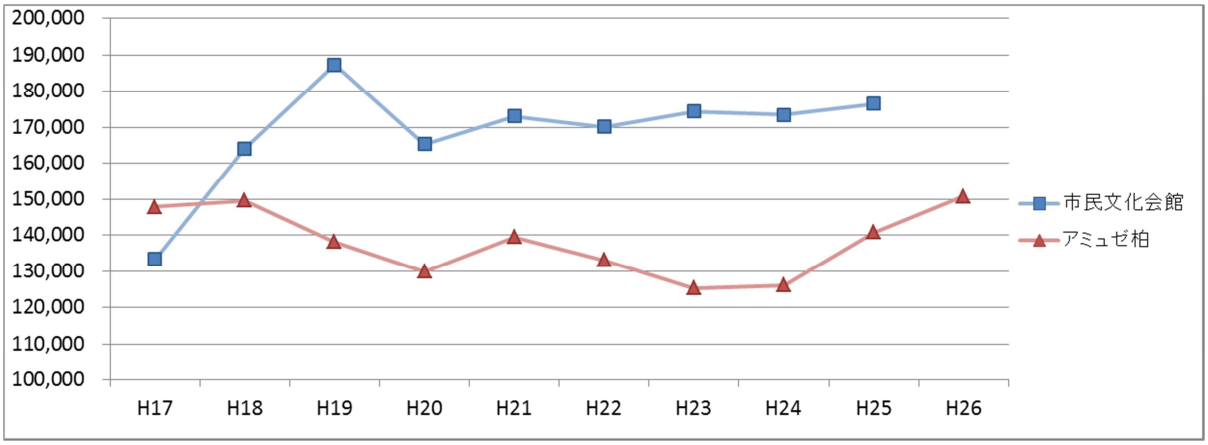
施設名称	貸出箇所	定員（人）	広さ（㎡）	利用率（%）
市民文化会館	大ホール	1338	4,808.0	59.8%
市民文化会館	小ホール	300	992.7	43.0%
アミュゼ柏	クリスタルホール	400	882.4	56.0%
アミュゼ柏	プラザ	150	153.0	74.5%
アミュゼ柏	リハーサル室	50	80.0	90.8%

① 過去 10 年間の利用者数推移

・市民文化会館の利用者数は，概ね横ばいに推移しておりましたが，平成 26 年度は耐震補強（リニューアル）工事の実施に伴い 1 年間休館しました。平成 27 年度当初からは，指定管理者制度を導入して運営を再開しています。
・市民文化会館の平成 17 年度利用者数は，約 90 日間の工事休館に伴い減少しています。また，平成 19 年度利用者数は，平成 18 年度の我孫子市民会館閉鎖に伴い一時的に増加しています。
・アミュゼ柏の利用者数は，平成 21 年度以降，概ね微減の傾向にありましたが，平成 25 年度の指定管理者制度導入に伴い増加へと転じています。

表 3-18　過去 10 年間の利用者数推移

施設名称	利用者数（人）									
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
市民文化会館	133,300	164,177	187,388	165,306	173,121	170,223	174,430	173,474	176,551	－
アミュゼ柏	147,914	149,615	138,108	129,854	139,527	133,132	125,335	126,168	140,810	150,791
平均	140,607	156,896	162,748	147,580	156,324	151,678	149,883	149,821	158,681	150,791
合計	281,214	313,792	325,496	295,160	312,648	303,355	299,765	299,642	317,361	150,791



※市民文化会館は平成 26 年度に耐震補強（リニューアル）工事を行ったため，利用者数は発生していません。

図 3-14　過去 10 年間の利用者数推移

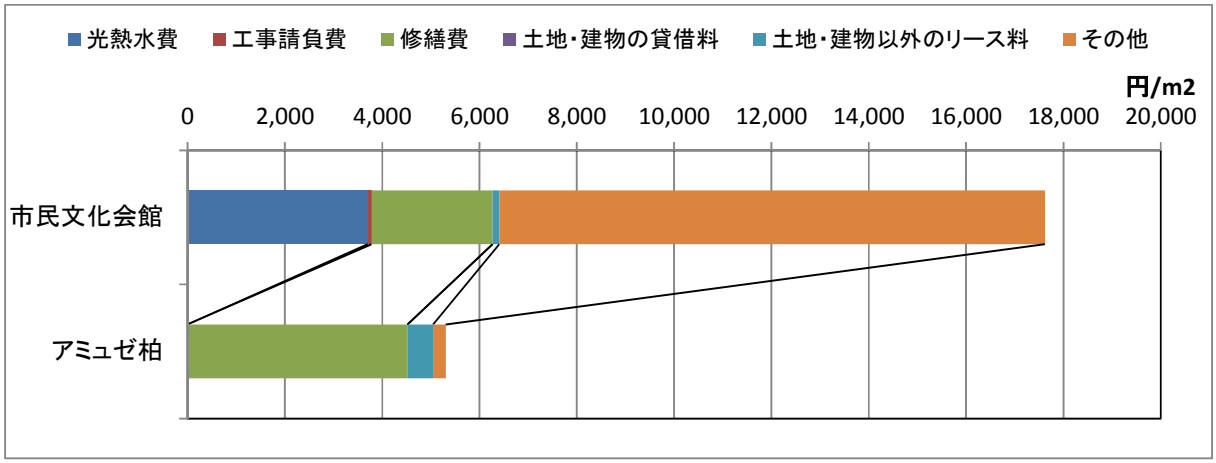
(4) コスト状況

・市負担額について，市民文化会館が多いですが，延床面積あたり市負担額は，アミュゼ柏の方が高くなっています。利用者１人あたりの市負担額は，ほぼ同じ水準です。
・延床面積あたりの施設に係るコストをみると，市民文化会館では光熱水費とその他（各種委託料等）の支出が多く，アミュゼ柏では修繕費が多くなっています。ただし，アミュゼ柏は指定管理者制度を導入しているため，これとは別に指定管理料を支出しています。

表 3-19　文化施設のコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度※）								
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤－⑥）	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）⑧	利用者1人あたりの市負担額（円/人）⑨
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）				
1	市民文化会館	102,524	0	29,755	0	132,279	23,864	108,415	18,635	619
2	アミュゼ柏	19,944	0	0	73,307	93,251	0	93,251	24,811	670
	平均	61,234	0	14,878	36,654	112,765	11,932	100,833	21,723	645
	合計	122,468	0	29,755	73,307	225,530	23,864	201,666	－	－

※市民文化会館については，改修工事を行った平成 26 年度を除く，平成 24 年度と平成 25 年度の平均値。アミュゼ柏については，指定管理者制度管理が導入された平成 25 年度以降の平均値。



※アミュゼ柏は，指定管理料を別途支出しています。

図 3-15　文化施設の延床面積あたり施設に係るコスト

3-1 03 交流施設

(1) 配置状況

・交流施設は，市内に市民交流サロンがあります。
・市民交流サロンは，市民活動団体をはじめ，様々な市民が予約や申請無しで自由に打ち合わせや交流ができる開放型スペースとして設置されました。

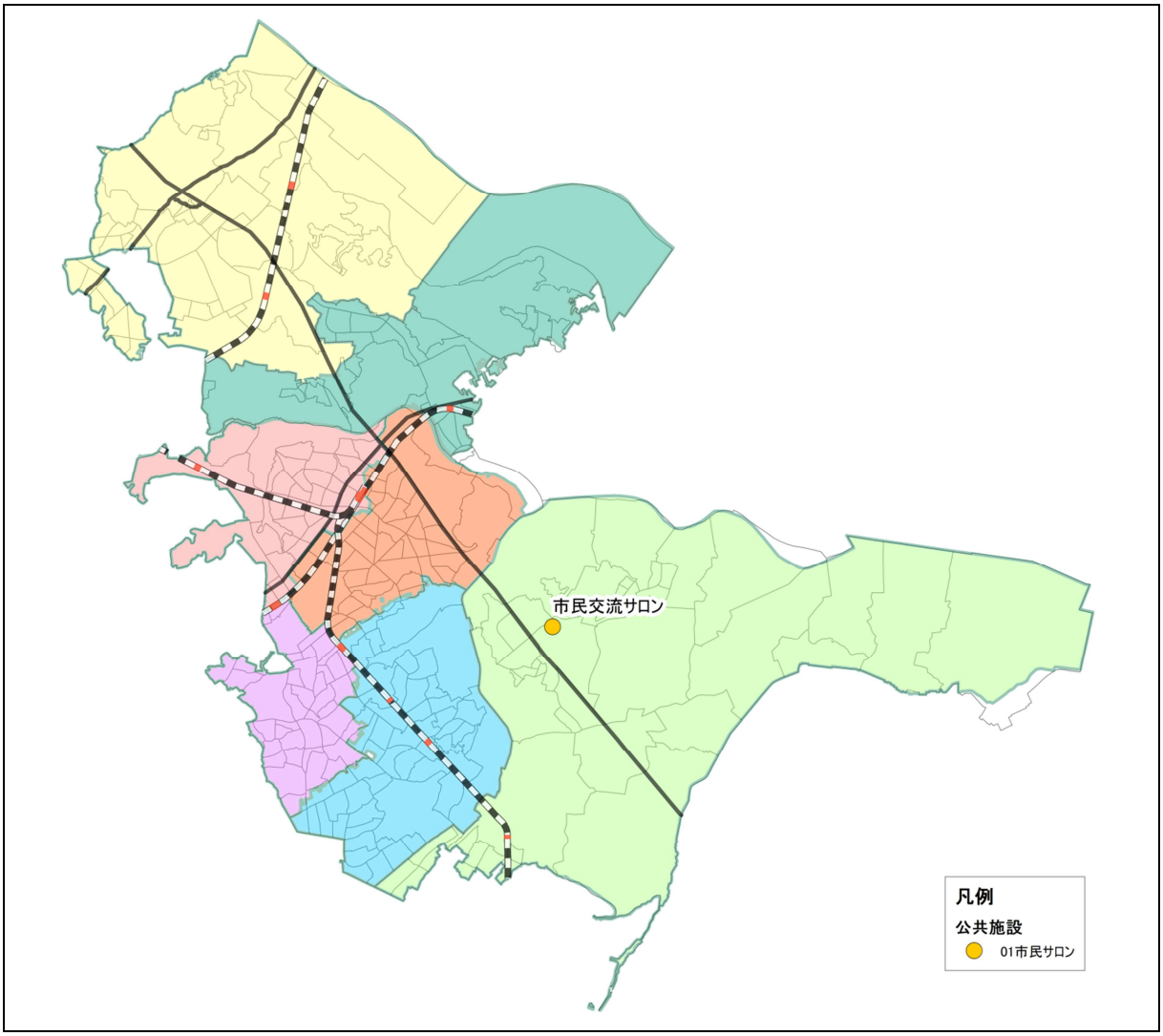


図 3-16　交流施設の配置状況

写真 3－3 各施設の写真（交流施設）

市民交流サロン

(2) 経過年数

・市民交流サロンが設置されている沼南庁舎の経過年数は，34.2 年です。

表 3-20　交流施設の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	市民交流サロン	64	34.2	沼南庁舎内に設置

(3) コスト状況

・市民交流サロンに係るコストは，年間 50 万円弱となっています。延床面積あたりの市負担額は約 7,600 円/㎡です。

表 3-21　交流施設のコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）								
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤－⑥）	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）⑧	利用者1人あたりの市負担額（円/人）⑨
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）				
1	市民交流サロン	423	61	8	0	492	10	482	7,565	－

3-2 01 図書館

(1) 配置状況

・図書館は，市内に 18 施設（うち，近隣センター内が 13 施設，近隣センター併設が 1 施設，公民館内が 1 施設，沼南庁舎内が 1 施設）あります。
・本館および分館は，図書や記録，その他必要な資料を収集，整理，保存し，一般市民の利用に供し，その教養および調査研究，レクリエーション等に資することを目的として設置されました。
・こども図書館は，乳幼児の本との出会いの場，親と子の読書活動普及の場となるほか，子育てや親子の健康に関する情報提供および読み聞かせボランティア等の育成，研修，交流などを行い，「絵本を通した子育て・ボランティア支援事業」を推進することを目的として設置されました。
・図書館では，図書や視聴覚資料（ＣＤ，ＤＶＤ等）の閲覧・貸出しのほか，障害者を対象とした資料の宅配・郵送サービスや，読書推進およびボランティアの育成を目的とした市民向けの講座・講演会も開催しています。なお，本館は，プラネタリウムを併設し，ボランティアによる投影も行っています。

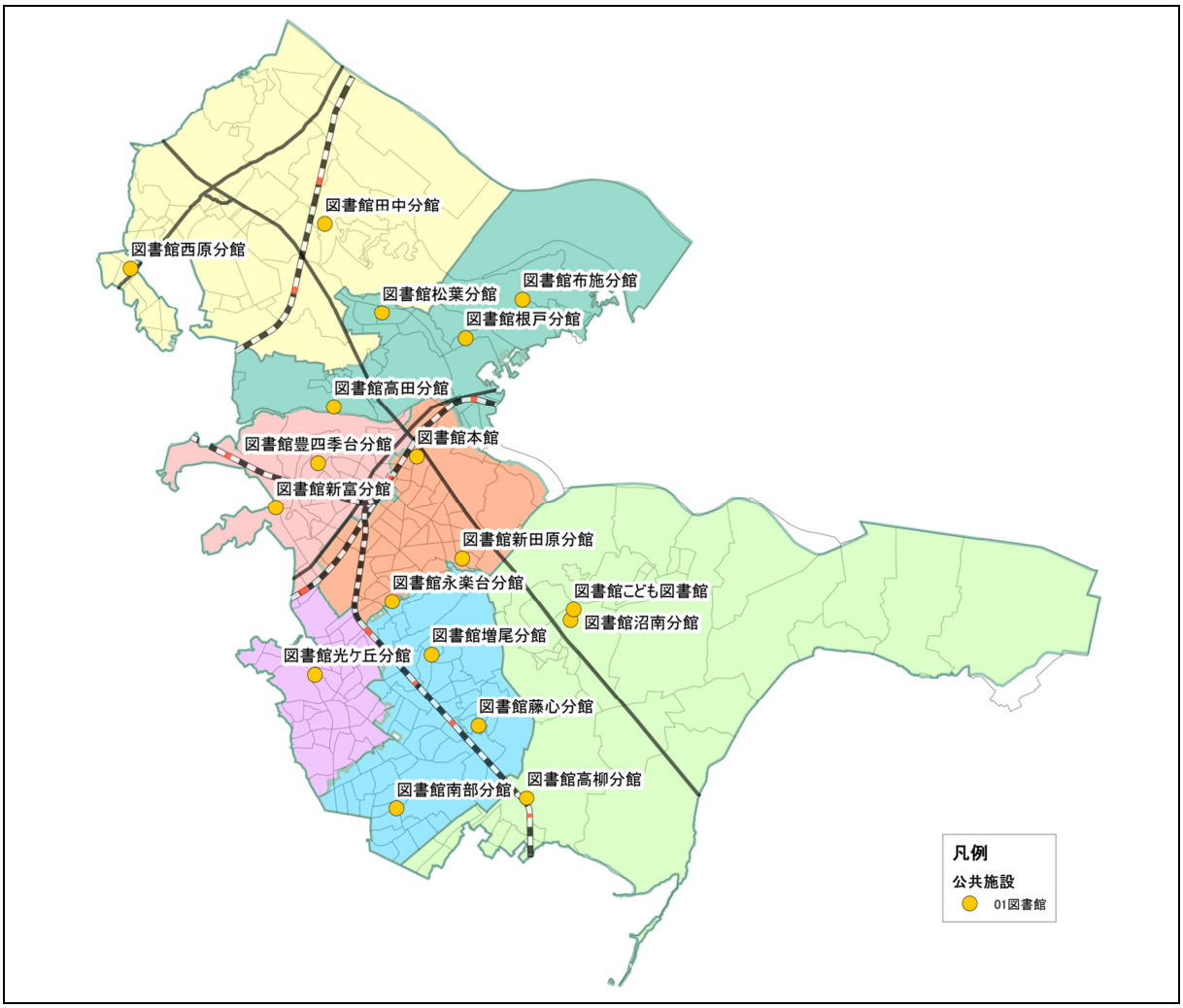


図 3-17　図書館の配置状況

写真 3−4 各施設の写真（図書館）

図書館本館

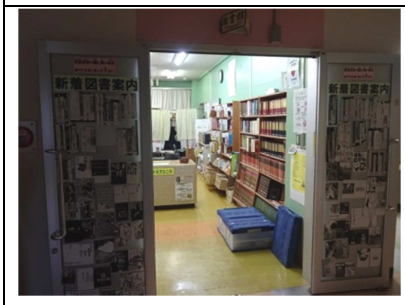
図書館豊四季台分館

図書館田中分館（近隣センター内）

図書館西原分館(近隣センター併設)

図書館南部分館（近隣センター内）

図書館布施分館（近隣センター内）



図書館永楽台分館（近隣センター内）

図書館増尾分館（近隣センター内）

図書館光ケ丘分館（近隣センター内）

図書館新富分館（近隣センター内）

図書館高田分館（近隣センター内）

図書館根戸分館（近隣センター内）

図書館新田原分館（近隣センター内）

図書館松葉分館（近隣センター内）

図書館藤心分館（近隣センター内）

図書館沼南分館（沼南公民館内）	図書館高柳分館（近隣センター内）	図書館こども図書館（沼南庁舎内）

(2) 経過年数

・図書館の平均経過年数は，33.6 年です。経過年数 30 年以上の建物が全体の 89%を占めています。
・その中でも，豊四季台分館が特に古く，約 50 年を経過しています。

表 3-22　図書館の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	図書館本館	2,269	38.0	
2	図書館豊四季台分館	199	49.9	
3	図書館田中分館	172	36.0	田中近隣センター内に設置
4	図書館西原分館	105	36.2	西原近隣センターに併設
5	図書館南部分館	191	36.1	南部近隣センター内に設置
6	図書館布施分館	196	35.0	布施近隣センター内に設置
7	図書館永楽台分館	132	35.0	永楽台近隣センター内に設置
8	図書館増尾分館	168	34.1	増尾近隣センター内に設置
9	図書館光ケ丘分館	187	33.0	光ケ丘近隣センター内に設置
10	図書館新富分館	165	30.7	新富近隣センター内に設置
11	図書館高田分館	137	28.9	高田近隣センター内に設置
12	図書館根戸分館	118	37.9	根戸近隣センター内に設置
13	図書館新田原分館	110	30.6	新田原近隣センター内に設置
14	図書館松葉分館	205	27.6	松葉近隣センター内に設置
15	図書館藤心分館	147	27.6	藤心近隣センター内に設置
16	図書館沼南分館	380	33.8	沼南公民館内に設置
17	図書館高柳分館	127	20.0	高柳近隣センター内に設置
18	図書館こども図書館	473	34.2	沼南庁舎内に設置
	平均	304	33.6	
	合計	5,481	－	

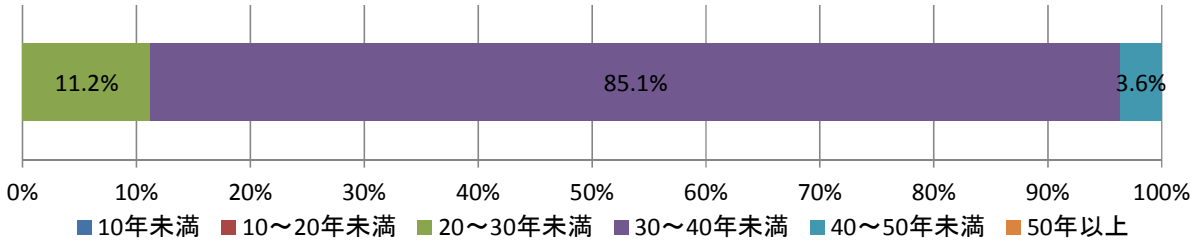


図 3-18　図書館の経過年数別延床面積構成比

(3) 利用状況

・年間貸出冊数は合計 200 万冊以上ですが，図書館全体では年々減少傾向にあります。
・1 施設あたりの平均貸出冊数は，約 11.7 万冊/年です。本館の貸出冊数が最も多く，続いて光ケ丘分館，松葉分館となっています。
・蔵書数は，市全体で約 91 万冊となっており，そのうち約 3 分の 1 が本館に所蔵されています。1 施設あたりの平均蔵書数は約 5.1 万冊です。
・蔵書回転率（貸出冊数／蔵書冊数）は，全施設の平均で，2.9 です。光ケ丘分館が最も多く，続いてこども図書館，豊四季台分館となっています。
・一方，本館の蔵書回転率が 1.0 冊と，最も低くなっていますが，これは，本館には，参考資料室（郷土資料等の貸出し不可の資料が多くあります）や保存書庫があるためです。なお，柏市では，各図書館の蔵書をリクエストに応じて受取希望図書館に配送して，利用者に貸し出すリクエストサービスを実施していることもあり，蔵書数が少ない図書館の方が蔵書数あたりの貸出冊数が多くなっています。

※図書館では，視聴覚資料の貸出や市民向け講座の開催等も行っていますが，施設別の利用状況を把握するため，以下のとおり，図書の貸出冊数，蔵書数に着目して分析しました。

表 3-23　図書館の利用状況

No	施設名称	延床面積（㎡）	年間貸出冊数（冊）				蔵書数（冊）	蔵書回転率（貸出冊数／蔵書冊数）
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均	3年平均	
1	図書館本館	2,269	333,714	305,562	293,591	310,956	298,440	1.0
2	図書館豊四季台分館	199	148,790	147,388	156,254	150,811	36,295	4.2
3	図書館田中分館	172	85,215	83,222	88,488	85,642	35,343	2.4
4	図書館西原分館	105	93,994	88,202	86,148	89,448	32,168	2.8
5	図書館南部分館	191	107,549	96,934	95,194	99,892	36,964	2.7
6	図書館布施分館	196	54,199	50,001	49,385	51,195	37,632	1.4
7	図書館永楽台分館	132	128,435	118,053	118,087	121,525	37,497	3.2
8	図書館増尾分館	168	124,288	116,151	109,568	116,669	39,194	3.0
9	図書館光ケ丘分館	187	195,567	184,841	172,617	184,342	36,708	5.0
10	図書館新富分館	165	109,012	100,392	93,429	100,944	35,254	2.9
11	図書館高田分館	137	79,561	76,171	74,046	76,593	34,913	2.2
12	図書館根戸分館	118	70,945	71,520	71,016	71,160	31,236	2.3
13	図書館新田原分館	110	69,625	64,668	67,488	67,260	28,036	2.4
14	図書館松葉分館	205	187,540	177,625	174,345	179,837	45,339	4.0
15	図書館藤心分館	147	87,301	83,029	84,008	84,779	34,102	2.5
16	図書館沼南分館	380	84,387	82,464	79,888	82,246	54,004	1.5
17	図書館高柳分館	127	92,941	86,043	83,020	87,335	26,546	3.3
18	図書館こども図書館	473	149,738	142,404	144,507	145,550	30,089	4.8
	平均	304	122,378	115,259	113,393	117,010	50,542	2.9
	合計	5,481	2,202,801	2,074,670	2,041,079	2,106,183	909,761	

(4) コスト状況

・本館に係る市負担額が最も高く，年間 3.2 億円程度となっています。ただし，本館は，全館分の資料費や，事業にかかる経費等が発生していることなどから，また，こども図書館は，ボランティアに係る研修等を担っていることから，豊四季台分館においては，単独館であることから施設管理の必要が生じるため，他の分館に比べてコストが高くなっています。

・延床面積あたりの施設に係るコストを比較すると，本館の土地・建物以外のリース料やその他の支出が高くなっています。また，こども図書館でもその他の支出が高くなっています。しかしながら，こども図書館および豊四季台分館を除く分館は，施設管理に係る費用を近隣センター等で支出していることを考慮する必要があります。

・貸出冊数あたりの事業運営・人に係るコストを見ると，本館の正職員等の人件費が最も高くなっています。なお，本館は，資料貸出以外にも施設管理等を含むさまざまな事業を実施していること，正規職員のいない分館のサポート業務をしていること，開館時間を長いことを考慮する必要があります。

表 3-24　図書館のコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）								
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤－⑥）	貸出冊数あたりの市負担額（円/冊）⑨	蔵書数あたりの市負担額（円/冊）⑩
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）				
1	図書館本館	106,307	23,268	191,402	0	320,977	289	320,688	1,031	1,075
2	図書館豊四季台分館	779	0	16,178	0	16,957	0	16,957	112	467
3	図書館田中分館	302	0	4,047	0	4,349	0	4,349	51	123
4	図書館西原分館	247	0	4,102	0	4,348	0	4,348	49	135
5	図書館南部分館	432	0	4,704	0	5,136	0	5,136	51	139
6	図書館布施分館	397	0	4,093	0	4,490	0	4,490	88	119
7	図書館永楽台分館	282	0	5,243	0	5,524	0	5,524	45	147
8	図書館増尾分館	286	0	4,615	0	4,901	0	4,901	42	125
9	図書館光ケ丘分館	516	0	9,578	0	10,094	0	10,094	55	275
10	図書館新富分館	412	0	4,615	0	5,027	0	5,027	50	143
11	図書館高田分館	243	0	4,094	0	4,337	0	4,337	57	124
12	図書館根戸分館	198	0	4,100	0	4,298	0	4,298	60	138
13	図書館新田原分館	191	0	4,086	0	4,277	0	4,277	64	153
14	図書館松葉分館	341	0	9,097	0	9,438	0	9,438	52	208
15	図書館藤心分館	333	0	4,895	0	5,228	0	5,228	62	153
16	図書館沼南分館	8	0	5,429	0	5,437	0	5,437	66	101
17	図書館高柳分館	563	0	4,283	0	4,846	0	4,846	55	183
18	図書館こども図書館	8,208	1,446	25,426	0	35,080	71	35,009	241	1,164
	平均	6,669	1,373	17,221	0	25,264	20	25,244	124	276
	合計	120,044	24,714	309,986	0	454,744	359	454,384	－	－

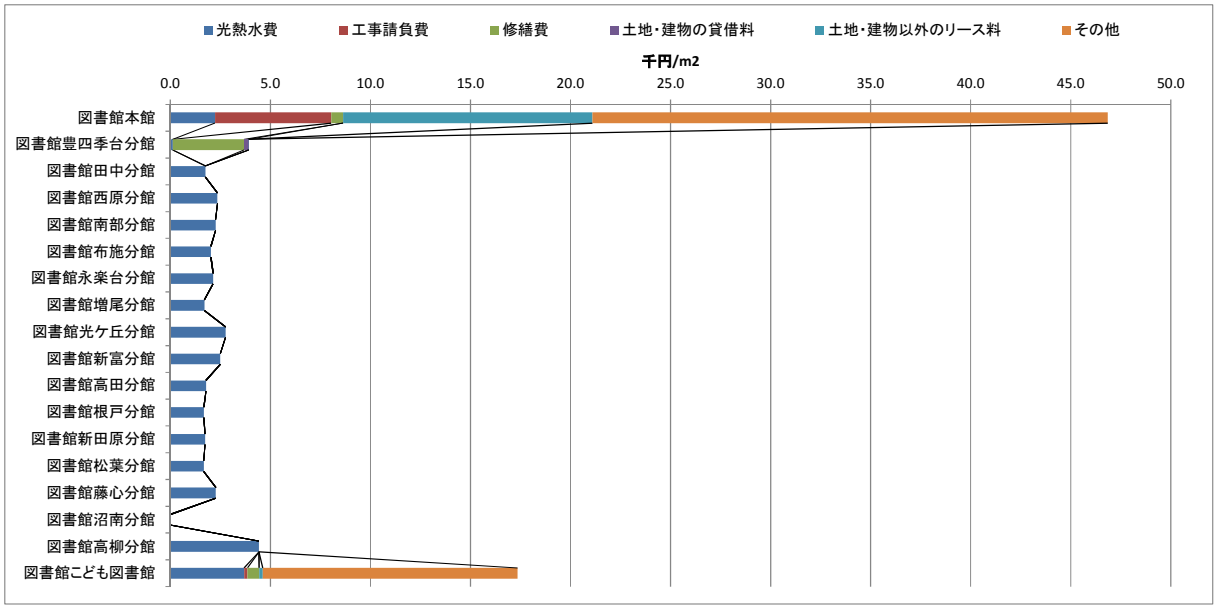


図 3-19　図書館の延床面積あたり施設に係るコスト

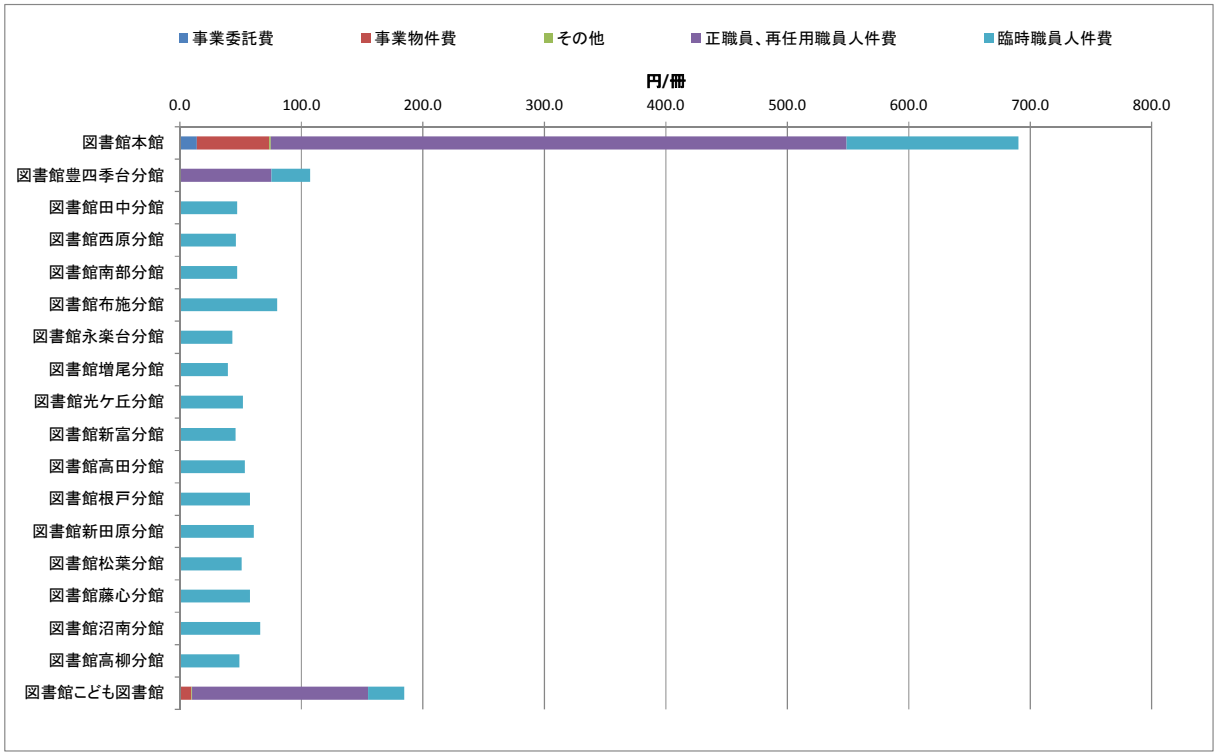


図 3-20　図書館の貸出冊数あたり事業運営・人に係るコスト

(5) 施設現況のまとめ

・以上のように，本館，こども図書館，豊四季台分館は，近隣センター等の中にある分館と状況が大きく異なることがわかります。
・布施分館など，利用状況が他の図書館より低い状況にある分館が，財務面＝コストでみると良好に見えますが，これは，分館の臨時職員数が，貸出冊数に合わせて少なくなっているためです。
・品質面から見ると，豊四季台分館が建築から約 50 年経過しており，市の施設全体の中でも古い施設です。

表 3-25　図書館の品質面（ハード）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	品質		品質（ハード）平均偏差値
			経過年数（年）	偏差値	
1	図書館本館	2,269	38.0	39.3	39.3
2	図書館豊四季台分館	199	49.9	29.5	29.5
3	図書館田中分館	172	36.0	41.0	41.0
4	図書館西原分館	105	36.2	40.8	40.8
5	図書館南部分館	191	36.1	40.9	40.9
6	図書館布施分館	196	35.0	41.7	41.7
7	図書館永楽台分館	132	35.0	41.7	41.7
8	図書館増尾分館	168	34.1	42.5	42.5
9	図書館光ケ丘分館	187	33.0	43.4	43.4
10	図書館新富分館	165	30.7	45.3	45.3
11	図書館高田分館	137	28.9	46.8	46.8
12	図書館根戸分館	118	37.9	39.3	39.3
13	図書館新田原分館	110	30.6	45.4	45.4
14	図書館松葉分館	205	27.6	47.9	47.9
15	図書館藤心分館	147	27.6	47.9	47.9
16	図書館沼南分館	380	33.8	42.8	42.8
17	図書館高柳分館	127	20.0	54.1	54.1
18	図書館こども図書館	473	34.2	42.4	42.4
	平均	304	33.6	42.9	42.9
	合計	5,481	－	－	－

表 3-26　図書館の供給面（ソフト）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	供給						供給（ソフト）平均偏差値
			平均貸出冊数（冊）	偏差値	平均蔵書数（冊）	偏差値	蔵書回転率（貸出冊数／蔵書冊数）	偏差値	
1	図書館本館	2,269	310,956	81.6	298,440	89.9	1.0	33.4	68.3
2	図書館豊四季台分館	199	150,811	55.5	36,295	47.7	4.2	61.8	55.0
3	図書館田中分館	172	85,642	44.9	35,343	47.6	2.4	46.0	46.1
4	図書館西原分館	105	89,448	45.5	32,168	47.0	2.8	49.2	47.3
5	図書館南部分館	191	99,892	47.2	36,964	47.8	2.7	48.5	47.9
6	図書館布施分館	196	51,195	39.3	37,632	47.9	1.4	36.3	41.2
7	図書館永楽台分館	132	121,525	50.7	37,497	47.9	3.2	53.4	50.7
8	図書館増尾分館	168	116,669	49.9	39,194	48.2	3.0	51.0	49.7
9	図書館光ケ丘分館	187	184,342	61.0	36,708	47.8	5.0	69.6	59.5
10	図書館新富分館	165	100,944	47.4	35,254	47.5	2.9	50.0	48.3
11	図書館高田分館	137	76,593	43.4	34,913	47.5	2.2	43.9	44.9
12	図書館根戸分館	118	71,160	42.5	31,236	46.9	2.3	44.7	44.7
13	図書館新田原分館	110	67,260	41.9	28,036	46.4	2.4	45.8	44.7
14	図書館松葉分館	205	179,837	60.2	45,339	49.2	4.0	60.0	56.5
15	図書館藤心分館	147	84,779	44.7	34,102	47.4	2.5	46.6	46.2
16	図書館沼南分館	380	82,246	44.3	54,004	50.6	1.5	37.8	44.2
17	図書館高柳分館	127	87,335	45.2	26,546	46.1	3.3	53.9	48.4
18	図書館こども図書館	473	145,550	54.6	30,089	46.7	4.8	68.0	56.4
	平均	304	117,010	－	50,542	－	2.9		50.0
	合計	5,481	2,106,183	－	909,761	－	－		－

表 3-27　図書館の財務面（ソフト）の分析

No	施設名称	財務						財務（ソフト）平均偏差値
		市負担額（千円）	偏差値	貸出冊数あたりの市負担額（円/冊）	偏差値	蔵書数あたりの市負担額（円/冊）	偏差値	
1	図書館本館	320,688	10.1	1,031	10.7	1,075	24.9	15.3
2	図書館豊四季台分館	16,957	51.1	112	50.5	467	44.0	48.5
3	図書館田中分館	4,349	52.8	51	53.2	123	54.8	53.6
4	図書館西原分館	4,348	52.8	49	53.3	135	54.4	53.5
5	図書館南部分館	5,136	52.7	51	53.1	139	54.3	53.4
6	図書館布施分館	4,490	52.8	88	51.6	119	54.9	53.1
7	図書館永楽台分館	5,524	52.7	45	53.4	147	54.0	53.4
8	図書館増尾分館	4,901	52.7	42	53.5	125	54.7	53.7
9	図書館光ケ丘分館	10,094	52.0	55	53.0	275	50.0	51.7
10	図書館新富分館	5,027	52.7	50	53.2	143	54.2	53.4
11	図書館高田分館	4,337	52.8	57	52.9	124	54.8	53.5
12	図書館根戸分館	4,298	52.8	60	52.8	138	54.4	53.3
13	図書館新田原分館	4,277	52.8	64	52.6	153	53.9	53.1
14	図書館松葉分館	9,438	52.1	52	53.1	208	52.1	52.5
15	図書館藤心分館	5,228	52.7	62	52.7	153	53.9	53.1
16	図書館沼南分館	5,437	52.7	66	52.5	101	55.5	53.6
17	図書館高柳分館	4,846	52.8	55	53.0	183	52.9	52.9
18	図書館こども図書館	35,009	48.7	241	45.0	1,164	22.1	38.6
	平均	25,244	－	124	－	276	－	50.0
	合計	454,384	－	－	－	－	－	－

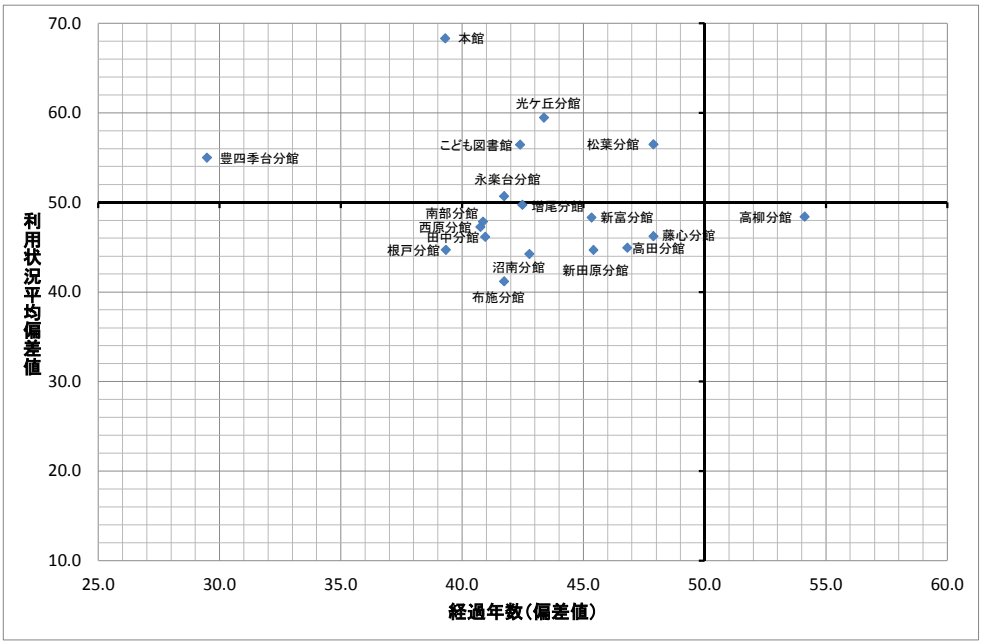


図 3-21　図書館の品質面（ハード）・供給面（ソフト）の分析

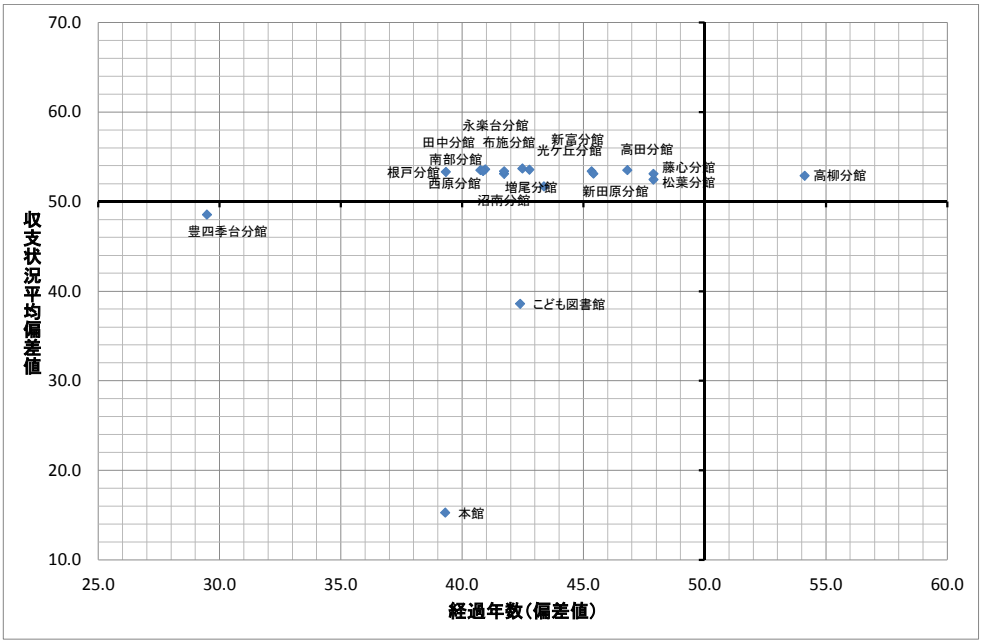


図 3-22　図書館の品質面（ハード）・財務面（ソフト）の分析

3-2 02 公民館

(1) 配置状況

・公民館は，市内に中央公民館と沼南公民館の 2 施設があります。
・公民館は，市民のために実際の生活に即する教育，学術および文化に関する各種事業を行い，市民の教養の向上，健康の増進，情操の純化を図り，生活文化の振興および社会福祉の増進に寄与するために設置されました。

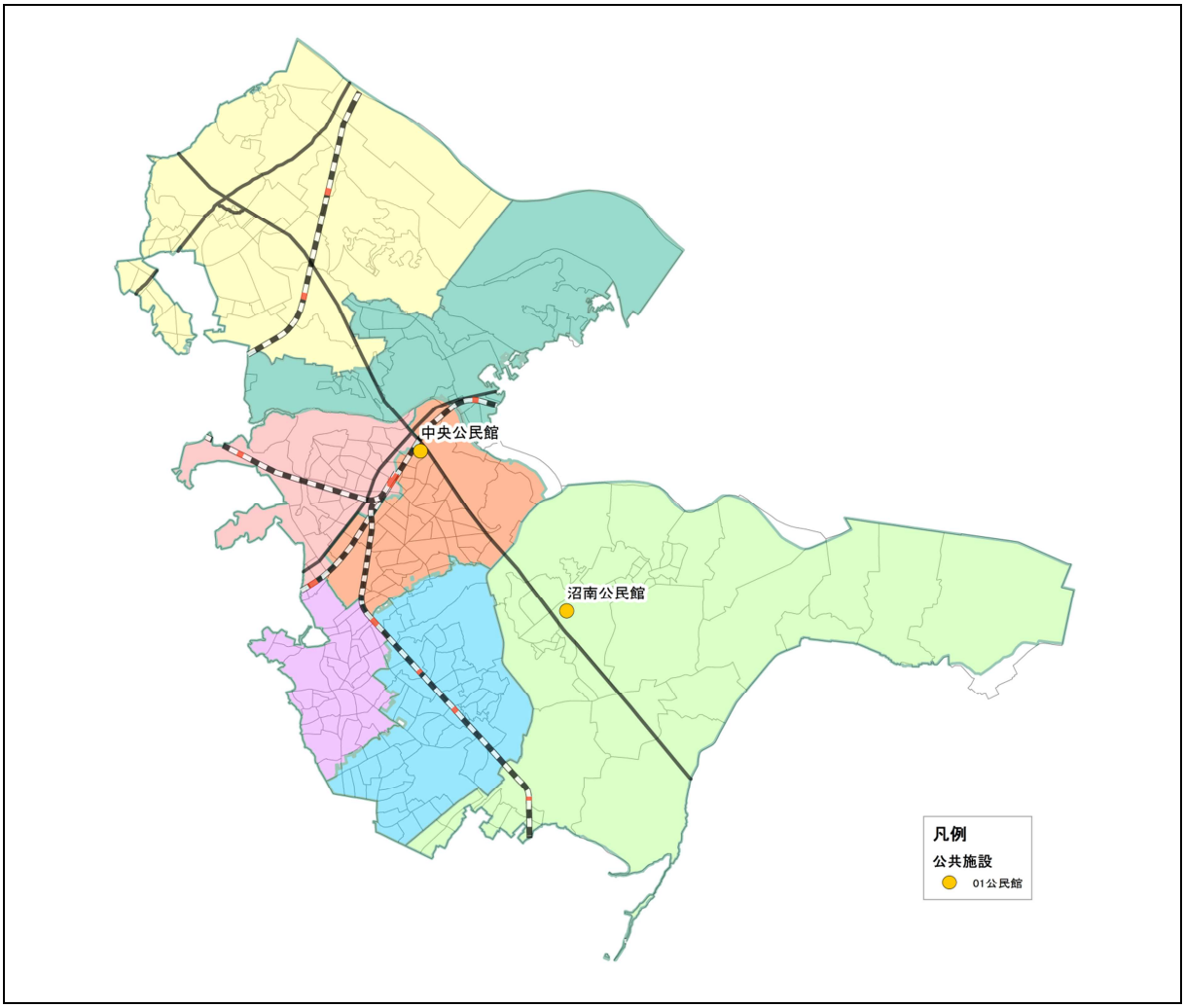
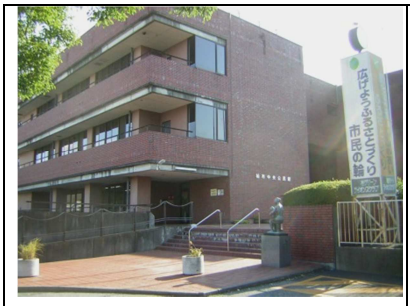


図 3-23　公民館の配置状況

写真 3－5 各施設の写真（公民館）



中央公民館

沼南公民館

(2) 経過年数

・公民館の平均経過年数は，33.9 年です。中央公民館，沼南公民館ともに，建築から 30 年以上が経過しています。

表 3-28　公民館の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）		備考
1	中央公民館	4,144	34.0		教育福祉会館内に設置 避難所
2	沼南公民館	3,537	33.8		避難所
	平均	3,840	33.9		
	合計	7,680	－		

表 3-29　公民館の品質（ハード）面の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	品質		品質（ハード）平均偏差値
			経過年数（年）	偏差値	
1	中央公民館	4,144	34.0	42.6	42.6
2	沼南公民館	3,537	33.8	42.8	42.8
	平均	3,840	33.9	42.7	42.7
	合計	7,680	－	－	－

(3) 利用状況

・公民館の総利用者数は，年々減少傾向にあります。
・延床面積・開館日あたり平均利用者数は，8.3 人/日・100 ㎡です。平均利用率は 50%です。延床面積・開館日あたり平均利用者数や利用率について，施設間で大きな差は見られません。
・施設部屋別にみると，中央公民館の音楽室や会議室の利用率が高くなっています。一方で，沼南公民館の和室や大ホール，中央公民館の茶室や料理実習室等は利用率が低くなっています。
・延床面積あたりの利用者数をみると，中央公民館の会議室や沼南公民館の多目的ホールは延床面積あたりの利用者数が多くなっていますが，沼南公民館の大ホールや中央公民館の料理実習室などは少なくなっています。

表 3-30　公民館の利用状況

No	施設名称	延床面積（㎡）	利用者数（人）				延床面積・開館日あたり平均利用者数（人/日・100㎡）		利用率（%）	
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均				
1	中央公民館	4,144	133,512	131,464	127,571	130,849	8.9		54%	
2	沼南公民館	3,537	95,523	94,349	95,094	94,989	7.6		46%	
	平均	3,840	114,518	112,907	111,333	112,919	8.3		50%	
	合計	7,680	229,035	225,813	222,665	225,838				

表 3-31　部屋別の利用状況

施設名称	貸出箇所（部屋名称）	定員（人）	広さ（㎡）	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
				年間利用者数（人）	年間利用コマ数（コマ）	年間利用可能コマ数（コマ）	年間利用者数（人）	年間利用コマ数（コマ）	年間利用可能コマ数（コマ）	年間利用者数（人）	年間利用コマ数（コマ）	年間利用可能コマ数（コマ）
中央公民館	3階会議室	18	35.0	6,962	820	1,056	6,572	795	1,056	6,440	762	1,056
	講師室	6	35.0	114	37	1,052	312	43	1,052	181	50	1,055
	料理実習室1	37	97.0	3,937	230	1,039	3,721	221	1,043	3,581	202	1,043
	料理実習室2	25	56.0	1,174	122	1,040	1,157	117	1,043	1,112	104	1,043
	創作室1	25	64.0	8,024	708	1,050	7,542	710	1,049	7,118	690	1,056
	創作室2	25	65.0	6,581	670	1,056	6,266	636	1,055	5,727	620	1,056
	会議室1	18	40.0	6,730	780	1,056	6,677	771	1,055	6,252	764	1,055
	会議室2	30	42.0	8,016	716	1,053	8,268	741	1,054	8,082	719	1,051
	幼児室	20	42.0	1,236	381	1,050	1,327	352	1,051	649	343	1,050
	集会室1	46	79.0	11,847	712	1,053	11,539	709	1,053	12,483	710	1,054
	集会室2	46	79.0	11,102	644	1,053	11,448	709	1,053	11,912	642	1,053
	講堂	180	192.0	20,065	450	1,041	20,426	556	1,040	21,253	509	1,048
	音楽室	80	151.0	25,709	1,757	2,107	25,094	1,864	2,105	23,944	1,827	2,105
	茶室	31	69.0	2,283	183	1,054	2,120	203	1,026	1,437	170	1,054
	和室1	24	41.0	6,609	697	1,058	6,125	687	1,029	5,818	654	1,058
	和室2	24	41.0	7,098	663	1,059	6,932	662	1,029	6,260	648	1,058
	和室3	24	41.0	6,025	606	1,058	5,938	620	1,029	5,322	589	1,058
	合計	659	1,169	133,512	10,176	18,935	131,464	10,396	18,822	127,571	10,003	18,953
沼南公民館	大ホール	528	900.0	20,627	358	1,042	18,949	330	1,047	22,072	403	1,029
	多目的ホール	100	133.0	21,859	1,305	2,106	24,674	1,358	2,110	24,418	1,337	2,107
	集会室	36	70.0	8,934	584	1,056	9,360	589	1,054	8,465	623	1,056
	学習室	36	71.0	9,431	568	1,049	8,325	540	1,055	7,453	537	1,052
	会議室1	30	56.0	5,449	470	1,053	5,253	491	1,054	4,883	471	1,055
	会議室2	30	57.0	5,035	387	1,056	4,668	404	1,054	4,925	452	1,055
	会議室3	36	76.0	5,241	413	1,056	4,775	412	1,052	4,748	429	1,055
	和室1	20	48.0	3,920	394	1,056	3,792	392	1,055	3,243	349	1,055
	和室2	10	38.0	1,530	202	1,056	1,435	209	1,055	1,565	219	1,055
	保育室	30	53.0	5,137	442	1,052	4,886	425	1,039	5,067	419	1,055
	音楽室1	30	55.0	7,372	686	1,055	6,933	711	1,055	6,885	702	1,055
	音楽室2	10	12.0	988	372	1,056	1,299	503	1,056	1,370	491	1,055
	合計	896	1,569	95,523	6,181	13,693	94,349	6,364	13,686	95,094	6,432	13,684

表 3-32　貸出箇所別利用率

施設名称	貸出箇所	定員（人）	延床面積（㎡）	利用率（%）
中央公民館	3階会議室	18	35	75%
	講師室	6	35	4%
	料理実習室1	37	97	21%
	料理実習室2	25	56	11%
	創作室1	25	64	67%
	創作室2	25	65	61%
	会議室1	18	40	73%
	会議室2	30	42	69%
	幼児室	20	42	34%
	集会室1	46	79	67%
	集会室2	46	79	63%
	講堂	180	192	48%
	音楽室	80	151	86%
	茶室	31	69	18%
	和室1	24	41	65%
	和室2	24	41	63%
	和室3	24	41	58%
沼南公民館	大ホール	528	900	35%
	多目的ホール	100	133	63%
	集会室	36	70	57%
	学習室	36	71	52%
	会議室1	30	56	45%
	会議室2	30	57	39%
	会議室3	36	76	40%
	和室1	20	48	36%
	和室2	10	38	20%
	保育室	30	53	41%
	音楽室1	30	55	66%
	音楽室2	10	12	43%

表 3-33　貸出箇所別延床面積あたりの利用者数

施設名称	貸出箇所	定員（人）	延床面積（㎡）	延床面積あたり利用者数(人/㎡)
中央公民館	3階会議室	18	35	190.2
	講師室	6	35	5.8
	料理実習室1	37	97	38.6
	料理実習室2	25	56	20.5
	創作室1	25	64	118.1
	創作室2	25	65	95.3
	会議室1	18	40	163.8
	会議室2	30	42	193.4
	幼児室	20	42	25.5
	集会室1	46	79	151.3
	集会室2	46	79	145.4
	講堂	180	192	107.2
	音楽室	80	151	165.0
	茶室	31	69	28.2
	和室1	24	41	150.8
	和室2	24	41	165.0
	和室3	24	41	140.5
沼南公民館	大ホール	528	900	22.8
	多目的ホール	100	133	177.8
	集会室	36	70	127.4
	学習室	36	71	118.4
	会議室1	30	56	92.8
	会議室2	30	57	85.5
	会議室3	36	76	64.8
	和室1	20	48	76.1
	和室2	10	38	39.7
	保育室	30	53	94.9
	音楽室1	30	55	128.4
	音楽室2	10	12	101.6

(4) コスト状況

・延床面積あたりの市負担額は平均で約 21 千円/㎡で，利用者 1 人あたりの市負担額は約 700 円/人です。中央公民館の方が，施設や事業運営にかかるコストが多いため，沼南公民館にかかるコストより高くなっています。
・延床面積あたりの施設に係るコストをみると，中央公民館のその他の支出が多くなっています。
・また，人に係るコストは，両公民館ともに同程度ですが，沼南公民館の利用者数がやや少ないため，利用者 1 人あたりのコストは沼南公民館の方がやや高くなっています。

表 3-34　公民館のコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）								
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤－⑥）	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）⑧	利用者1人あたりの市負担額（円/人）⑨
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）				
1	中央公民館	57,347	6,447	46,084	0	109,878	4,511	105,366	25,428	805
2	沼南公民館	18,945	376	44,994	0	64,315	4,747	59,568	16,842	627
	平均	38,146	3,411	45,539	0	87,096	4,629	82,467	21,135	716
	合計	76,292	6,822	91,078	0	174,193	9,258	164,934	－	－

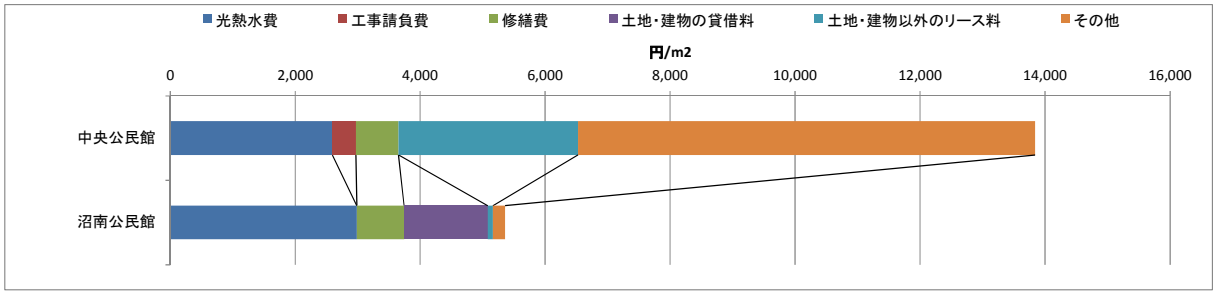


図 3-24　公民館の延床面積あたり施設に係るコスト

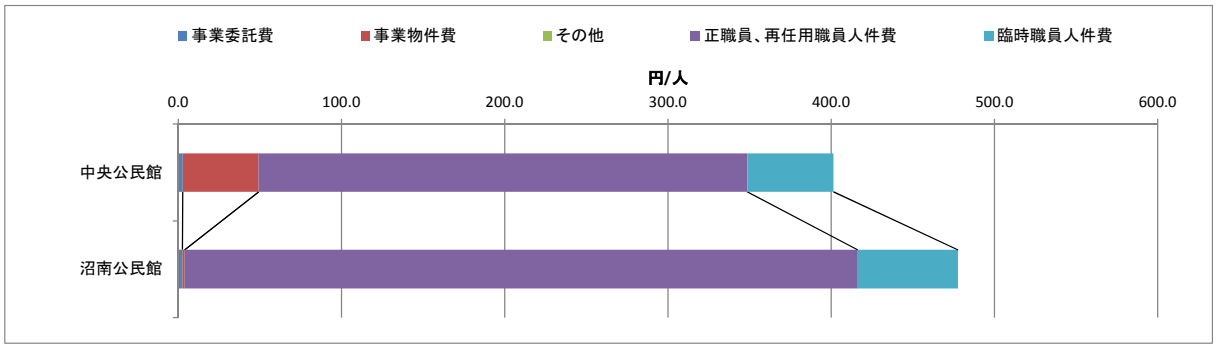


図 3-25　公民館の利用者 1 人あたり事業運営・人に係るコスト

3-2 03 博物館等

(1) 配置状況

・博物館等は，市内に 3 施設あり，文化財と資料展示室に分類されます。
・文化財は，柏市内にある文化的所産であり，旧手賀教会堂は，現存する首都圏内の教会堂としては最古の施設となっています。また，旧西部消防署根戸分署は，旧陸軍の高射砲連隊演習施設であることが本市の調査で判明しました。
・資料展示室は，郷土資料展示室があり，市民に「郷土かしわ」への興味と理解を深めてもらうため，本市に関する文化財資料，歴史資料などのほか，美術品等を展示しています。

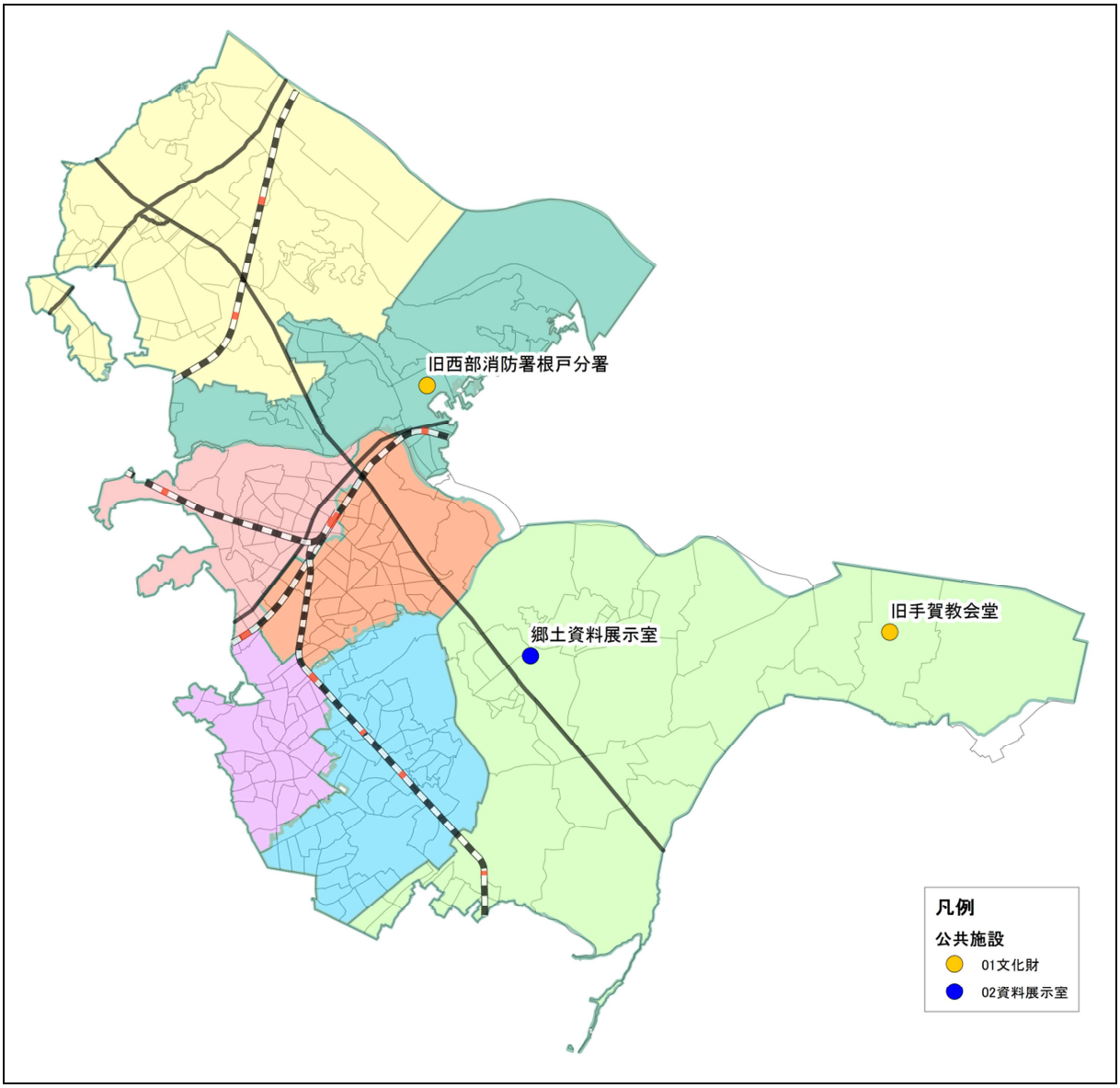


図 3-26　博物館等の配置状況

写真 3－6 各施設の写真（博物館等）

旧手賀教会堂	旧西部消防署根戸分署	郷土資料展示室

(2) 経過年数

・郷土資料展示室が設置されている沼南庁舎の経過年数は，34.2 年です。

表 3-35　博物館等の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）		備考
1	旧手賀教会堂	67	－	－	正式名称を日本ハリストス手賀教会(手賀使徒伊望正教会) といい、ギリシャ正教の教会です。現存する首都圏内の教会堂としては最古のもの。
2	旧西部消防署根戸分署	256	－	－	元々は旧陸軍の高射砲連隊演習施設
3	郷土資料展示室	595	34.2		沼南庁舎内に設置
	平均	306	34.2		
	合計	918	－		

表 3-36　博物館等の品質（ハード）面の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	品質		品質（ハード）平均偏差値
			経過年数（年）	偏差値	
1	郷土資料展示室	595	34.2	42.4	42.4

(3) 利用状況

・郷土資料展示室の利用者数は，年によってばらつきがありますが，約 7 千人前後で推移しています。

※旧手賀教会堂および旧西部消防署根戸分署は文化財のため，利用状況，コスト状況および施設現況のとりまとめ（ポートフォリオ分析）の対象外としています。

表 3-37　博物館等の利用状況

No	施設名称	利用者数(人)				延床面積・開館日あたり平均利用者数(人/日・100㎡)
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均	
1	郷土資料展示室	6,156	5,085	9,152	6,798	4.0

(4) コスト状況

・郷土資料展示室に係る市負担額は，年間 7 百万円程度となっています。
・内訳をみると，施設に係るコストが全体の約 6 割を占めています。光熱水費，その他（管理業務委託等）の支出が大きくなっています。

表 3-38　博物館等のコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）								
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤－⑥）	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）⑧	利用者1人あたり市負担額（円/人）⑨
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）				
1	郷土資料展示室	4,176	2,742	73	0	6,991	62	6,929	11,641	1,019

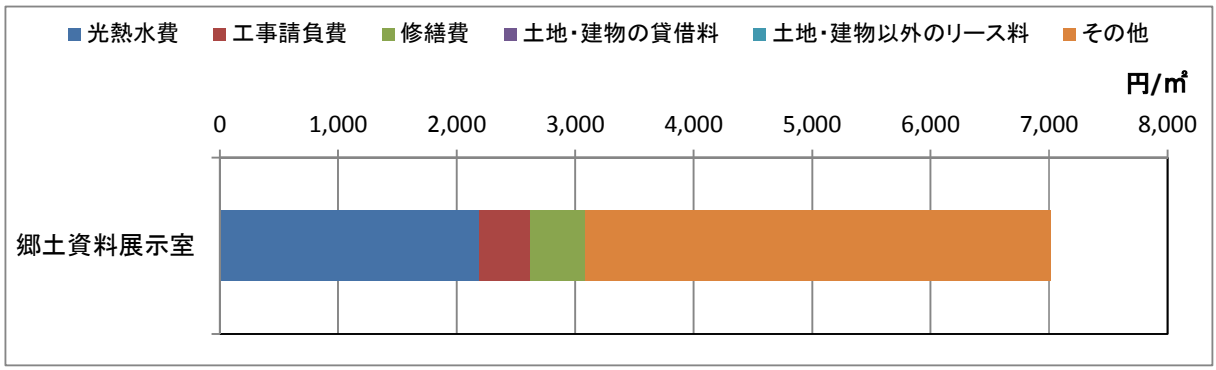


図 3-27　博物館等の延床面積あたり施設に係るコスト

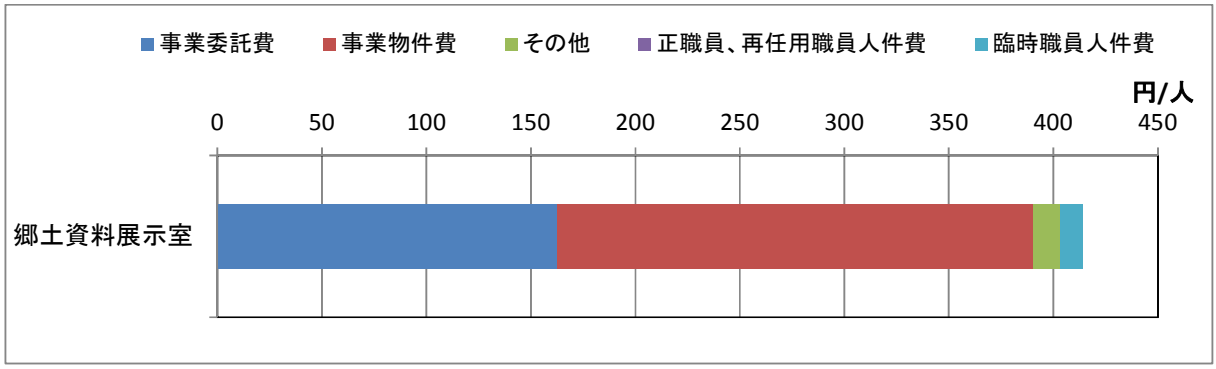


図 3-28　博物館等の利用者 1 人あたり事業運営・人に係るコスト

3-2 04 その他社会教育施設

(1) 配置状況

・その他社会教育施設は，市内に少年補導センターがあります。
・少年補導センターは，青少年非行防止活動の拠点事務所として設置されました。

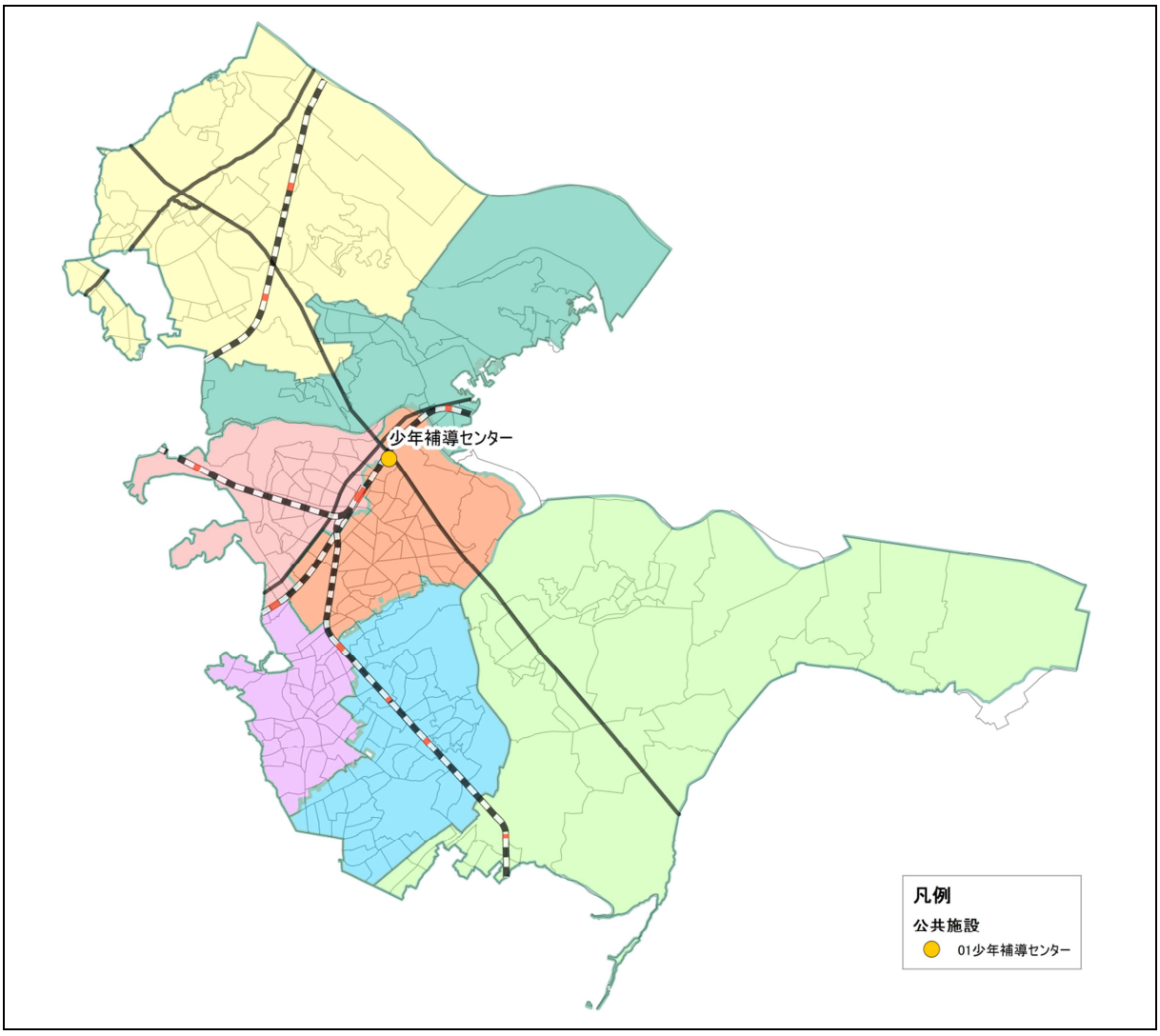


図 3-29　その他社会教育施設の配置状況

写真 3－7 各施設の写真（その他社会教育施設）

少年補導センター

(2) 経過年数

・少年補導センターは，建築から 30 年以上が経過しています。

表 3-39　その他社会教育施設の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	少年補導センター	106	31.2	本庁舎分室2内に設置

(3) 利用状況

・少年補導センターの年間相談件数は約 650 件となっています。

表 3-40　その他社会教育施設の利用状況

No	施設名称	延床面積（㎡）	平均相談件数（件）	開館日数（日）				開館日数あたり相談件数（件/日）	延床面積・開館日あたり平均相談件数（件/日・100㎡）
				平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均		
1	少年補導センター	106	657	245	244	244	244	2.7	2.5

(4) コスト状況

・少年補導センターの市負担額は年間約 3,400 万円です。

表 3-41　その他社会教育施設のコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）								
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤－⑥）	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）⑧	相談件数1件あたりの市負担額（円/件）⑨
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）				
1	少年補導センター	363	1,285	32,595	0	34,242	0	34,242	322,069	52,093

3-3 01 スポーツ施設

(1) 配置状況

・スポーツ施設は，屋内施設が 5 施設，屋外施設が 12 施設あり，体育館，運動場，市民プール，庭球場およびその他に分類されます。
・各種スポーツ施設は，健全な体育を普及・振興し，市民の健康増進や体力づくりを図るとともに，スポーツやレクリエーションなどを通じた地域親睦の活動拠点として設置されました。

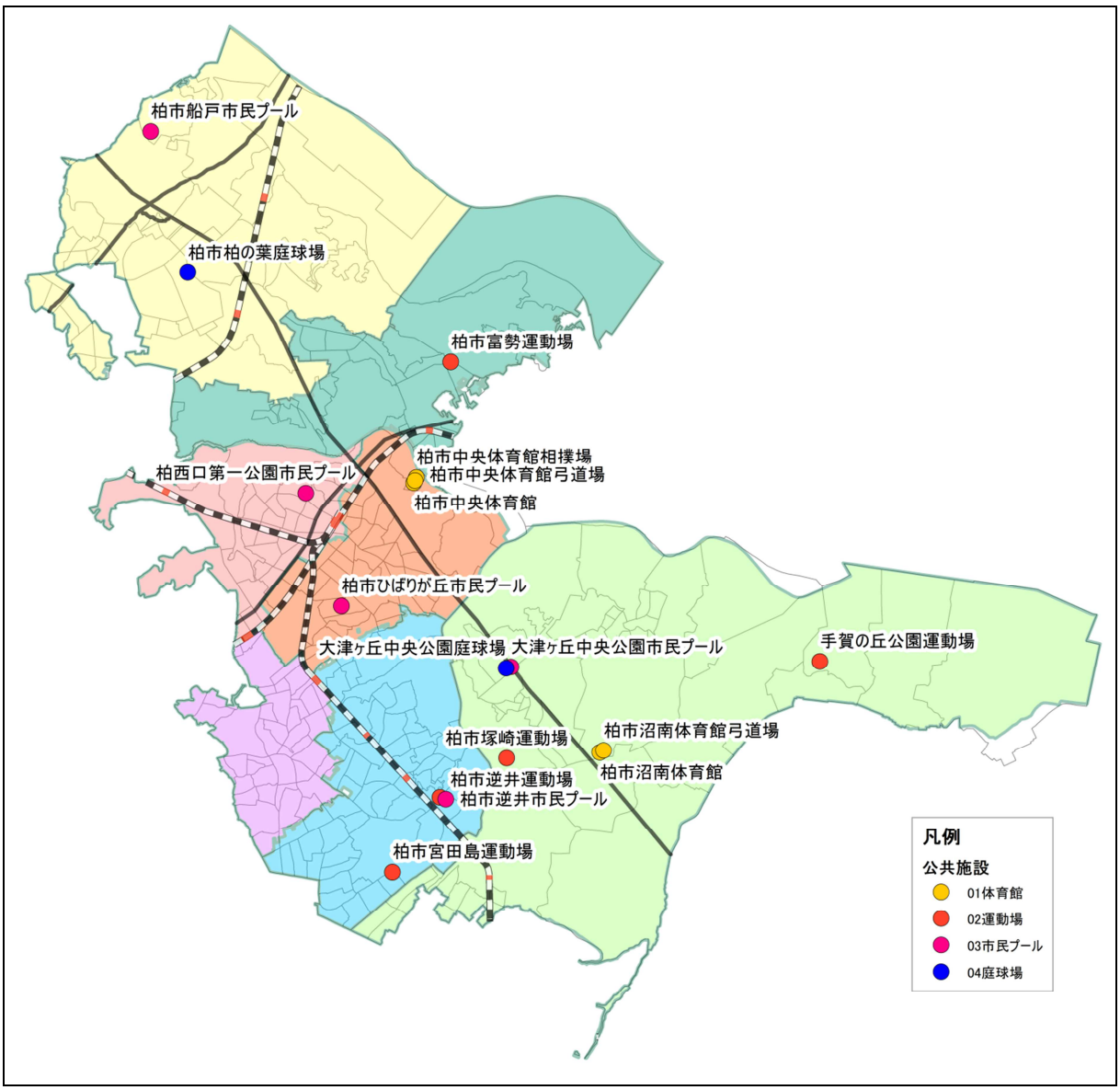


図 3-30　スポーツ施設の配置状況

写真 3−8 各施設の写真（スポーツ施設）

柏市中央体育館

柏市中央体育館相撲場

柏市中央体育館弓道場

柏市沼南体育館

柏市沼南体育館弓道場

柏市富勢運動場

柏市逆井運動場

柏市宮田島運動場

柏市塚崎運動場

手賀の丘公園運動場

柏市逆井市民プール

柏市船戸市民プール

柏市ひばりが丘市民プール

柏西口第一公園市民プール

大津ヶ丘中央公園市民プール

柏市柏の葉庭球場	大津ヶ丘中央公園庭球場

(2) 経過年数

① スポーツ施設（屋内）

・スポーツ施設（屋内）の平均経過年数は，23.9 年です。経過年数 30 年以上の建物が全体の 48.4%を占めています。
・その中でも，柏市中央体育館が特に古く，約 38 年が経過しています。

表 3-42　スポーツ施設（屋内）の経過年数

No.	施設名称	敷地面積（㎡）	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	柏市中央体育館	18,892	6,490	37.6	避難所
2	柏市中央体育館相撲場	561	369	22.8	
3	柏市中央体育館弓道場	1,170	357	25.9	
4	柏市沼南体育館	32,133	6,005	20.6	
5	柏市沼南体育館弓道場	187	187	12.8	
	平均	10,589	2,681	23.9	
	合計	52,943	13,407	－	

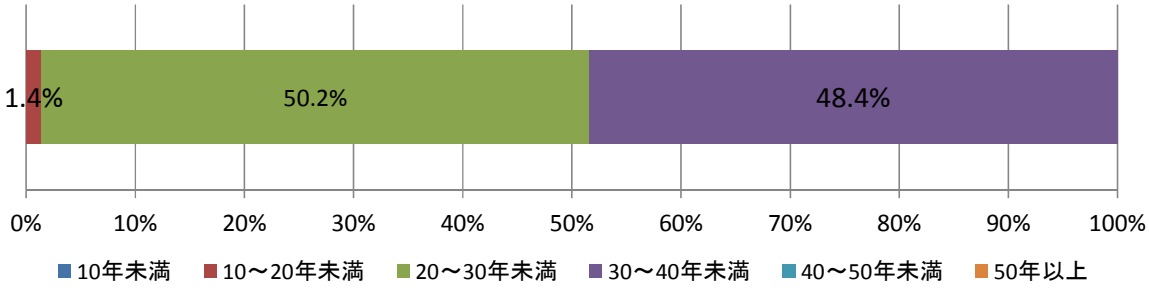


図 3-31　スポーツ施設（屋内）の経過年数別延床面積構成比

② スポーツ施設（屋外）

・スポーツ施設（屋外）の平均経過年数は 26.8 年です。そのうちプールは，経過年数が概ね 30 年以上となっており，比較的古い建物で構成されています。

表 3-43　スポーツ施設（屋外）の経過年数

No.	施設名称	敷地面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	柏市富勢運動場	71,033	22.6	指定避難場所、ヘリコプター臨時離着場
2	柏市逆井運動場	37,390	16.8	
3	柏市宮田島運動場	15,618	20.1	
4	柏市塚崎運動場	29,945	29.1	
5	手賀の丘公園運動場	17,154	28.0	ヘリコプター臨時離着場
6	柏市柏の葉庭球場	31,640	23.0	
7	大津ヶ丘中央公園庭球場	8,480	11.0	
8	柏市逆井市民プール	2,765	30.7	
9	柏市船戸市民プール	9,115	32.2	
10	柏市ひばりが丘市民プール	5,787	46.7	
11	柏西口第一公園市民プール	2,243	24.8	
12	大津ヶ丘中央公園市民プール	1,730	37.0	
	平均	19,408	26.8	
	合計	232,900	－	－

(3) 利用状況

① スポーツ施設（屋内）

・屋内スポーツ施設の総利用者数は，年間 38 万人前後で推移しています。その中で，柏市中央体育館と柏市沼南体育館の利用者（アリーナ，柔剣道場など）が多く，年間各 17～18 万人の利用者がいます。
・一方で，柏市中央体育館相撲場や柏市沼南体育館弓道場のように，利用者数が 5 千人に満たない施設もあり，施設間で大きな差が見られます。
・延床面積・開館日あたり平均利用者数は，7.2 人/日・100 ㎡です。柏市中央体育館弓道場が最も多く，続いて柏市沼南体育館，柏市中央体育館となっています。
・貸出箇所別の利用状況（貸切利用）について，平均利用率は 29.3%です。アリーナや剣道場の利用率が高いのに対し，弓道場や幼児体育室，相撲場の利用率が約 20%以下と，貸出箇所の種類によっても大きな差がみられます。

表 3-44　スポーツ施設（屋内）の利用状況

No.	施設名称	敷地面積（㎡）	延床面積（㎡）	利用者数（人）				利用率（%）		延床面積・開館日あたり平均利用者数（人/日・100㎡）	
				平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均				
1	柏市中央体育館	18,892	6,490	183,794	179,898	184,343	182,678	51.3%		8.1	
2	柏市中央体育館相撲場	561	369	1,497	1,677	2,457	1,877	8.4%		1.5	
3	柏市中央体育館弓道場	1,170	357	14,997	14,527	14,553	14,692	22.5%		11.8	
4	柏市沼南体育館	32,133	6,005	174,693	184,813	171,536	177,014	60.1%		8.5	
5	柏市沼南体育館弓道場	187	187	4,582	3,619	3,722	3,974	4.0%		6.1	
	平均	10,589	2,681	75,913	76,907	75,322	76,047	29.3%		7.2	
	合計	52,943	13,407	379,563	384,534	376,611	380,236	－		－	

表 3-45　スポーツ施設（屋内）の貸出箇所別利用率

No.	施設名称	貸出箇所	利用率
1	柏市中央体育館	剣道場	79%
2	柏市中央体育館	アリーナ	76%
3	柏市中央体育館	柔道場	60%
4	柏市中央体育館	幼児体育室	12%
5	柏市中央体育館	小体育室	6%
6	柏市中央体育館相撲場	相撲場	8%
7	柏市中央体育館弓道場	弓道場	23%
8	柏市沼南体育館	アリーナ	80%
9	柏市沼南体育館	剣道場	57%
10	柏市沼南体育館	柔道場	37%
11	柏市沼南体育館	フットサル場	35%
12	柏市沼南体育館	大会議室	25%
13	柏市沼南体育館弓道場	弓道場	4%

② スポーツ施設（屋外）

・屋外施設の利用率は，柏市柏の葉庭球場や柏市逆井運動場など，庭球場の面数が多い施設が高くなっている一方で，柏市宮田島運動場や手賀の丘公園運動場は低くなっています。
・プールの利用者数は，敷地面積が最も広く，流水プールやスライダーがある柏市船戸市民プールが最も多く，次いでスライダー付の幼児プールがある柏市逆井市民プールが多くなっています。
・敷地面積・開館日あたり平均利用者数は，3.2 人/日・100 ㎡です。プールでは，経過年数が約 47 年で最も古い柏市ひばりが丘市民プールが少なくなっています。

表 3-46　スポーツ施設（屋外）の利用状況

No.	施設名称	敷地面積（㎡）	利用者数（人）				利用率（%）	敷地面積・開館日あたり平均利用者数（人/日・100㎡）
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均		
1	柏市富勢運動場	71,033	105,574	99,206	117,136	107,305	66.1%	0.4
2	柏市逆井運動場	37,390	69,437	73,321	76,920	73,226	76.1%	0.6
3	柏市宮田島運動場	15,618	19,872	21,960	25,055	22,296	33.2%	0.4
4	柏市塚崎運動場	29,945	31,102	33,370	42,857	35,776	45.8%	0.3
5	手賀の丘公園運動場	17,154	20,585	29,784	31,111	27,160	24.3%	0.4
6	柏市柏の葉庭球場	31,640	46,498	51,567	49,242	49,102	77.5%	0.4
7	大津ヶ丘中央公園庭球場	8,480	42,299	37,300	43,858	41,152	57.9%	1.3
8	柏市逆井市民プール	2,765	15,385	15,746	12,539	14,557	－	8.2
9	柏市船戸市民プール	9,115	50,227	54,266	43,089	49,194	－	8.8
10	柏市ひばりが丘市民プール	5,787	14,292	14,486	12,114	13,631	－	3.8
11	柏西口第一公園市民プール	2,243	14,292	9,539	8,407	10,746	－	7.8
12	大津ヶ丘中央公園市民プール	1,730	6,739	6,214	5,050	6,001	－	5.4
	平均	19,408	36,359	37,230	38,948	37,512	54.4%	3.2
	合計	232,900	436,302	446,759	467,378	450,146		

表 3-47　スポーツ施設（屋外）の貸出箇所別利用率（プール以外）

No.	施設名称	貸出箇所	利用率（%）
1	柏市富勢運動場	庭球場	76%
2	柏市富勢運動場	野球場	29%
3	柏市富勢運動場	多目的広場	25%
4	柏市逆井運動場	庭球場	81%
5	柏市逆井運動場	多目的	43%
6	柏市宮田島運動場	フットサル	35%
7	柏市宮田島運動場	野球場	33%
8	柏市塚崎運動場	庭球場	69%
9	柏市塚崎運動場	野球場	26%
10	柏市塚崎運動場	多目的	25%
11	手賀の丘公園運動場	庭球場	32%
12	手賀の丘公園運動場	野球・多目的	25%
13	手賀の丘公園運動場	ゲートボール場	3%
14	柏市柏の葉庭球場	庭球場	78%
15	大津ヶ丘中央公園庭球場	庭球場	65%
16	大津ヶ丘中央公園野球場	野球場	22%

表 3-48　スポーツ施設（屋外）の概要

施設名	開館日数（3年間平均）	施設概要
柏市富勢運動場	347.7	野球場4面、テニスコート12面、多目的広場
柏市逆井運動場	347.3	多目的広場、自由広場、テニスコート10面、ゲートボール場
柏市宮田島運動場	347.3	野球場1面、フットサル場、ゲートボール場
柏市塚崎運動場	361.7	野球場1面、テニスコート2面、多目的広場
手賀の丘公園運動場	361.7	野球場1面、テニスコート6面、ゲートボール場2
柏市柏の葉庭球場	347.7	テニスコート8面
大津ヶ丘中央公園庭球場	361.7	野球場1面、テニスコート3面
柏市逆井市民プール	64.0	25mプール、幼児プール(スライダー付)
柏市船戸市民プール	61.7	流水プール、スライダー、幼児プール(スライダー付)
柏市ひばりが丘市民プール	61.7	50mプール、25mプール、幼児プール
柏西口第一公園市民プール	61.7	25mプール、幼児プールA・B
大津ヶ丘中央公園市民プール	64.0	25mプール、幼児プール

※プールの営業期間は，7 月の第 1 日曜日～9 月の第 1 日曜日まで。

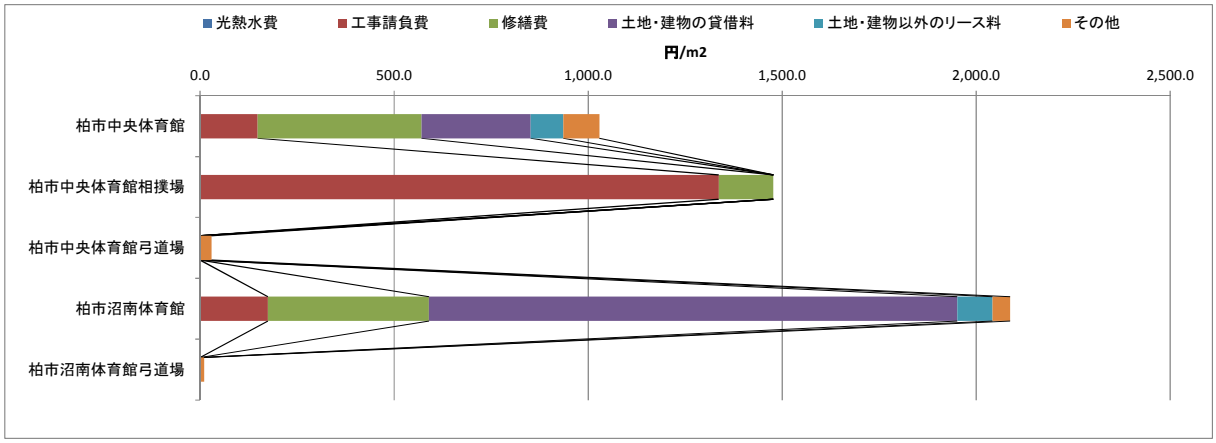
(4) コスト状況

① スポーツ施設（屋内）

・開館日あたりの市負担額は，柏市沼南体育館が最も多くなっています。
・延床面積あたり市負担額は，柏市沼南体育館が最も多く，次いで中央体育館相撲場となっています。
・利用者１人あたり市負担額は，柏市中央体育館相撲場が最も多くなっています。
・延床面積あたりの施設に係るコストをみると，柏市沼南体育館は土地貸借料が最も多く，柏市中央体育館相撲場は工事請負費が多くなっています。

表 3-49　スポーツ施設（屋内）のコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）									
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤－⑥）	開館日あたりの市負担額（円/日）⑧	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）⑨	利用者1人あたりの市負担額（円/人）⑩
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）					
1	柏市中央体育館	6,677	0	0	8,168	14,845	41	14,804	42,582	2,281	81
2	柏市中央体育館相撲場	545	0	0	626	1,171	0	1,171	3,368	3,174	624
3	柏市中央体育館弓道場	11	0	0	287	298	0	298	857	834	20
4	柏市沼南体育館	12,535	0	0	9,081	21,616	152	21,464	61,797	3,575	121
5	柏市沼南体育館弓道場	2	0	0	176	178	0	178	511	949	45
	平均	3,954	0	0	3,668	7,622	39	7,583	21,823	2,163	178
	合計	19,770	0	0	18,338	38,108	193	37,915	109,115	－	－



※各施設で，指定管理料を別途支出しています。

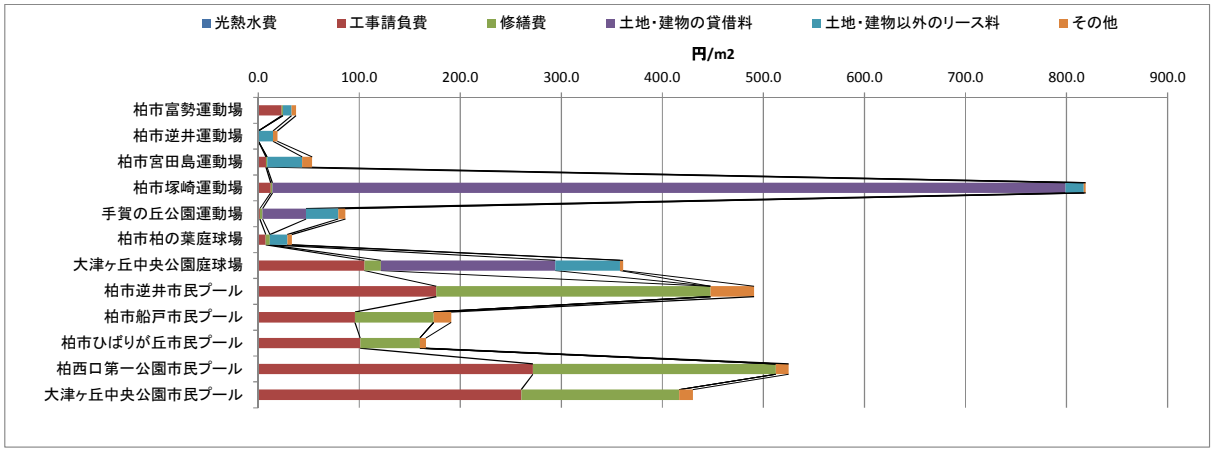
図 3-32　スポーツ施設（屋内）の延床面積あたり施設に係るコスト

② スポーツ施設（屋外）

・開館日あたりの市負担額は，柏市富勢運動場，柏市塚崎運動場および柏市船戸市民プールが多くなっています。
・敷地面積あたりの市負担額は，柏市塚崎運動場，柏西口第一公園市民プールおよび柏市逆井市民プールが多くなっています。敷地面積あたりの施設に係るコストをみると，柏市塚崎運動場では，土地貸借料の占める割合が高く，柏西口第一公園市民プールでは工事請負費が，柏市逆井市民プールでは修繕費が高くなっています。
・利用者１人あたり市負担額は，柏市塚崎運動場が最も高くなっています。

表 3-50　スポーツ施設（屋外）のコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）									
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤−⑥）	開館日あたりの市負担額（円/日）⑧	敷地1㎡あたりの市負担額（円/㎡）⑨	利用者1人あたりの市負担額（円/人）⑩
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①+②+③+④）					
1	柏市富勢運動場	2,655	0	0	37,336	39,991	31	39,960	114,939	563	372
2	柏市逆井運動場	704	0	0	19,686	20,390	25	20,364	58,631	545	278
3	柏市宮田島運動場	831	0	0	8,202	9,033	1	9,032	26,005	578	405
4	柏市塚崎運動場	24,524	0	0	15,695	40,219	1	40,217	111,200	1,343	1,124
5	手賀の丘公園運動場	1,480	0	0	8,998	10,477	19	10,458	28,917	610	385
6	柏市柏の葉庭球場	1,049	0	0	16,574	17,623	2	17,622	50,686	557	359
7	大津ヶ丘中央公園庭球場	3,062	0	0	4,499	7,560	3	7,558	20,897	891	184
8	柏市逆井市民プール	1,357	0	0	1,421	2,778	0	2,778	43,401	1,005	191
9	柏市船戸市民プール	1,740	0	0	4,785	6,525	2	6,523	105,778	716	133
10	柏市ひばりが丘市民プール	959	0	0	3,077	4,037	0	4,037	65,459	698	296
11	柏西口第一公園市民プール	1,178	0	0	1,199	2,377	3	2,374	38,497	1,058	221
12	大津ヶ丘中央公園市民プール	744	0	0	912	1,656	1	1,655	25,865	957	276
	平均	3,357	0	0	10,199	13,556	7	13,548	57,523	793	352
	合計	40,282	0	0	122,384	162,666	88	162,579	690,274	−	−



※各施設で，指定管理料を別途支出しています。

図 3-33　スポーツ施設（屋外）の敷地面積あたり施設に係るコスト

(5) 施設現況のまとめ

① スポーツ施設（屋内）

・柏市中央体育館と柏市沼南体育館は，供給面（ソフト）は良好ですが，柏市中央体育館は品質面（ハード）が低く，柏市沼南体育館は財務面（ソフト）が低いと言えます。
・柏市沼南体育館弓道場は，供給面（ソフト）が低いですが，財務面（ソフト）でみると効率的に運営されています。
・柏市中央体育館相撲場は，供給面（ソフト）および財務面（ソフト）ともに低いと言えます。

表 3-51　スポーツ施設（屋内）の品質面（ハード）の分析

No.	施設名称	延床面積（㎡）	品質		品質（ハード）平均偏差値
			経過年数（年）	偏差値	
1	柏市中央体育館	6,490	37.6	39.6	39.6
2	柏市中央体育館相撲場	369	22.8	51.8	51.8
3	柏市中央体育館弓道場	357	25.9	49.3	49.3
4	柏市沼南体育館	6,005	20.6	53.7	53.7
5	柏市沼南体育館弓道場	187	12.8	60.0	60.0
	平均	2,681	23.9	50.9	50.9
	合計	13,407	－	－	－

表 3-52　スポーツ施設（屋内）の供給面（ソフト）の分析

No.	施設名称	延床面積（㎡）	供給						供給（ソフト）平均偏差値
			開館日あたり平均利用者数（人/日）	偏差値	延床面積･開館日あたり平均利用者数（人/日･100㎡）	偏差値	平均利用率（%）	偏差値	
1	柏市中央体育館	6,490	525.4	61.2	8.1	52.4	51.3%	58.7	57.4
2	柏市中央体育館相撲場	369	5.4	42.2	1.5	34.9	8.4%	41.8	39.6
3	柏市中央体育館弓道場	357	42.3	43.5	11.8	62.2	22.5%	47.3	51.0
4	柏市沼南体育館	6,005	509.6	60.6	8.5	53.4	60.1%	62.2	58.7
5	柏市沼南体育館弓道場	187	11.4	42.4	6.1	47.2	4.0%	40.0	43.2
	平均	2,681	218.8	50.0	7.2	50.0	29.3%	50.0	50.0
	合計	13,407	－	－	－	－	－	－	－

表 3-53　スポーツ施設（屋内）の財務面（ソフト）の分析

No.	施設名称	財務						財務（ソフト）平均偏差値
		開館日あたり市負担額（円/日）	偏差値	利用者1人あたりの市負担額（円/人）	偏差値	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）	偏差値	
1	柏市中央体育館	42,582	42.7	81	53.9	2,281	49.1	48.5
2	柏市中央体育館相撲場	3,368	56.5	624	32.3	3,174	41.9	43.6
3	柏市中央体育館弓道場	857	57.3	20	56.3	834	60.6	58.1
4	柏市沼南体育館	61,797	36.0	121	52.3	3,575	38.7	42.3
5	柏市沼南体育館弓道場	511	57.5	45	55.3	949	59.7	57.5
	平均	21,823	50.0	178	50.0	2,163	50.0	50.0
	合計	–	–	–	–	–	–	–

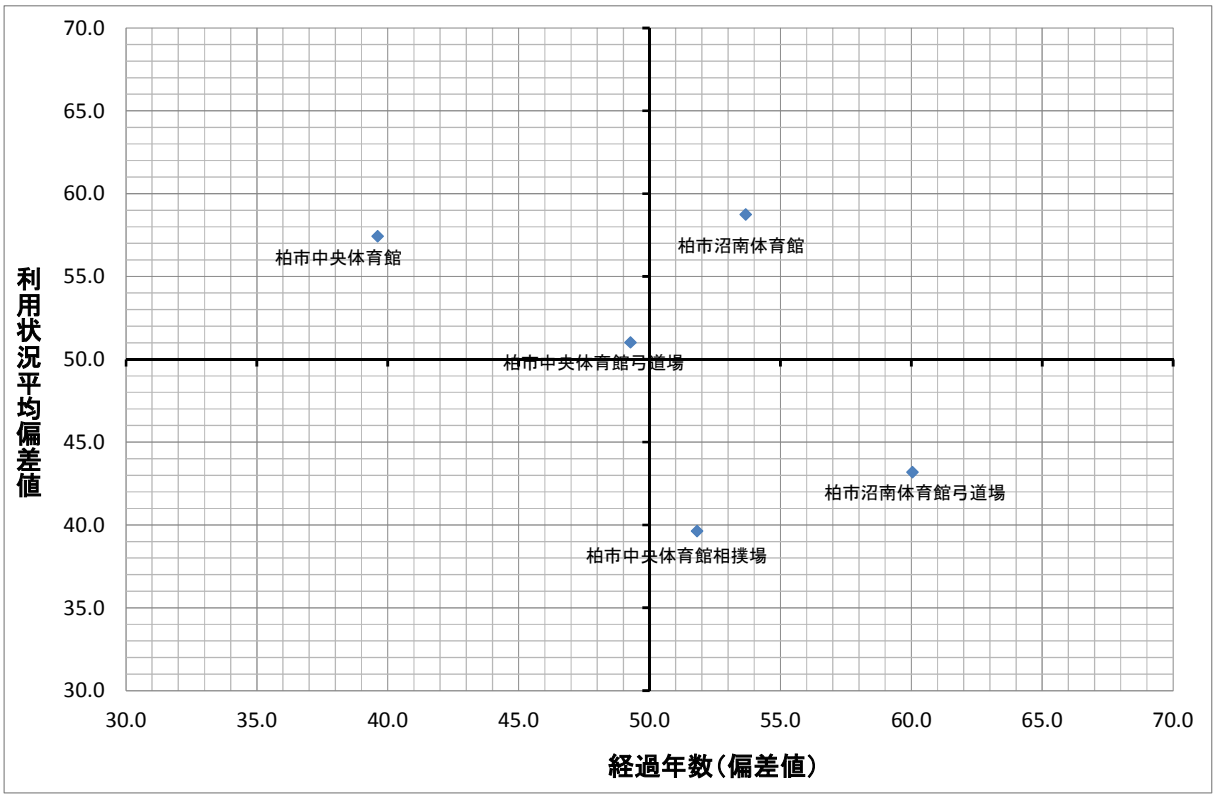


図 3-34　スポーツ施設（屋内）の品質面（ハード）・供給面（ソフト）の分析

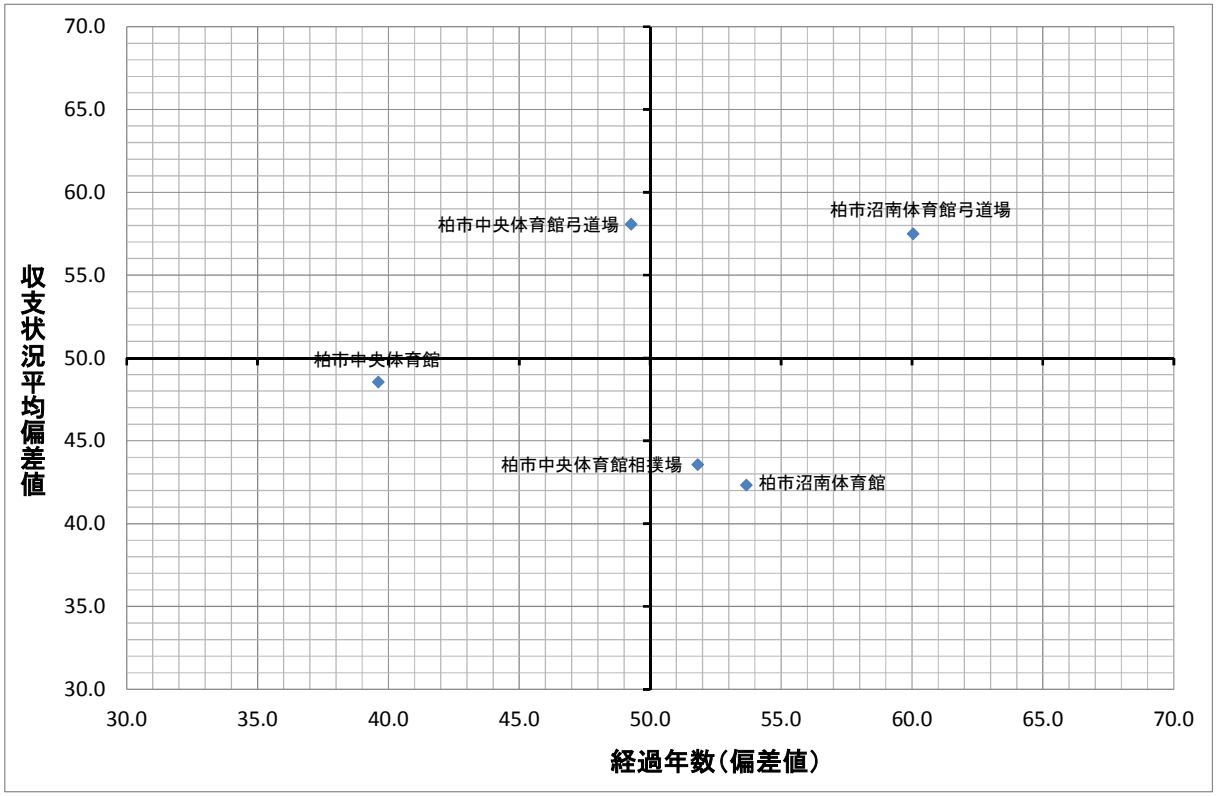


図 3-35　スポーツ施設（屋内）の品質面（ハード）・財務面（ソフト）の分析

② スポーツ施設（屋外）

・プール施設は，全体的に経過年数が古く，品質面（ハード）が低くなっています。
・手賀の丘公園運動場，柏市塚崎運動場および柏市宮田島運動場は，供給面（ソフト）が低いです。柏市塚崎運動場は，土地貸借料が多く，財務面（ソフト）が低くなっています。

表 3-54　スポーツ施設（屋外）の品質面（ハード）の分析

No.	施設名称	敷地面積（㎡）	品質		品質（ハード）平均偏差値
			経過年数（年）	偏差値	
1	柏市富勢運動場	71,033	22.6	52.0	52.0
2	柏市逆井運動場	37,390	16.8	56.8	56.8
3	柏市宮田島運動場	15,618	20.1	54.1	54.1
4	柏市塚崎運動場	29,945	29.1	46.7	46.7
5	手賀の丘公園運動場	17,154	28.0	47.5	47.5
6	柏市柏の葉庭球場	31,640	23.0	51.7	51.7
7	大津ヶ丘中央公園庭球場	8,480	11.0	61.5	61.5
8	柏市逆井市民プール	2,765	30.7	45.3	45.3
9	柏市船戸市民プール	9,115	32.2	44.1	44.1
10	柏市ひばりが丘市民プール	5,787	46.7	32.1	32.1
11	柏西口第一公園市民プール	2,243	24.8	50.2	50.2
12	大津ヶ丘中央公園市民プール	1,730	37.0	40.1	40.1
	平均	19,408	26.8	48.5	48.5
	合計	232,900	－	－	－

表 3-55　スポーツ施設（屋外）の供給面（ソフト）の分析

No.	施設名称	供給						供給（ソフト）平均偏差値
		開館日あたり平均利用者数（人/日）	偏差値	敷地面積・開館日あたり平均利用者数（人/日・100㎡）	偏差値	平均利用率（%）	偏差値	
1	柏市富勢運動場	308.6	54.9	0.4	42.1	66.1%	55.6	50.9
2	柏市逆井運動場	210.8	50.0	0.6	42.5	76.1%	60.5	51.0
3	柏市宮田島運動場	64.2	42.6	0.4	42.0	33.2%	39.8	41.5
4	柏市塚崎運動場	98.9	44.4	0.3	41.8	45.8%	45.9	44.0
5	手賀の丘公園運動場	75.1	43.2	0.4	42.1	24.3%	35.5	40.3
6	柏市柏の葉庭球場	141.2	46.5	0.4	42.1	77.5%	61.1	49.9
7	大津ヶ丘中央公園庭球場	113.8	45.1	1.3	44.7	57.9%	51.7	47.2
8	柏市逆井市民プール	227.4	50.8	8.2	64.6	－	－	57.7
9	柏市船戸市民プール	797.7	79.5	8.8	66.2	－	－	72.8
10	柏市ひばりが丘市民プール	221.0	50.5	3.8	51.9	－	－	51.2
11	柏西口第一公園市民プール	174.3	48.2	7.8	63.3	－	－	55.7
12	大津ヶ丘中央公園市民プール	93.8	44.1	5.4	56.5	－	－	50.3
	平均	210.6	50.0	3.2	50.0	54.4%	50.0	51.1
	合計	－	－	－	－	－	－	－

表 3-56　スポーツ施設（屋外）の財務面（ソフト）の分析

No.	施設名称	敷地面積（㎡）	財務						財務（ソフト）平均偏差値
			開館日あたりの市負担額（円/日）	偏差値	利用者1人あたりの市負担額（円/人）	偏差値	敷地1㎡あたりの市負担額（円/㎡）	偏差値	
1	柏市富勢運動場	71,033	114,939	33.5	372	49.2	563	59.0	47.2
2	柏市逆井運動場	37,390	58,631	49.7	278	52.9	545	59.7	54.1
3	柏市宮田島運動場	15,618	26,005	59.1	405	47.9	578	58.4	55.1
4	柏市塚崎運動場	29,945	111,200	34.6	1,124	20.1	1,343	28.5	27.7
5	手賀の丘公園運動場	17,154	28,917	58.2	385	48.7	610	57.2	54.7
6	柏市柏の葉庭球場	31,640	50,686	52.0	359	49.7	557	59.2	53.6
7	大津ヶ丘中央公園庭球場	8,480	20,897	60.5	184	56.5	891	46.2	54.4
8	柏市逆井市民プール	2,765	43,401	54.1	191	56.2	1,005	41.7	50.7
9	柏市船戸市民プール	9,115	105,778	36.1	133	58.5	716	53.0	49.2
10	柏市ひばりが丘市民プール	5,787	65,459	47.7	296	52.2	698	53.7	51.2
11	柏西口第一公園市民プール	2,243	38,497	55.5	221	55.1	1,058	39.6	50.1
12	大津ヶ丘中央公園市民プール	1,730	25,865	59.1	276	52.9	957	43.6	51.9
	平均	19,408	57,523	–	352	–	793	–	50.0
	合計	232,900	–	–	–	–	–	–	–

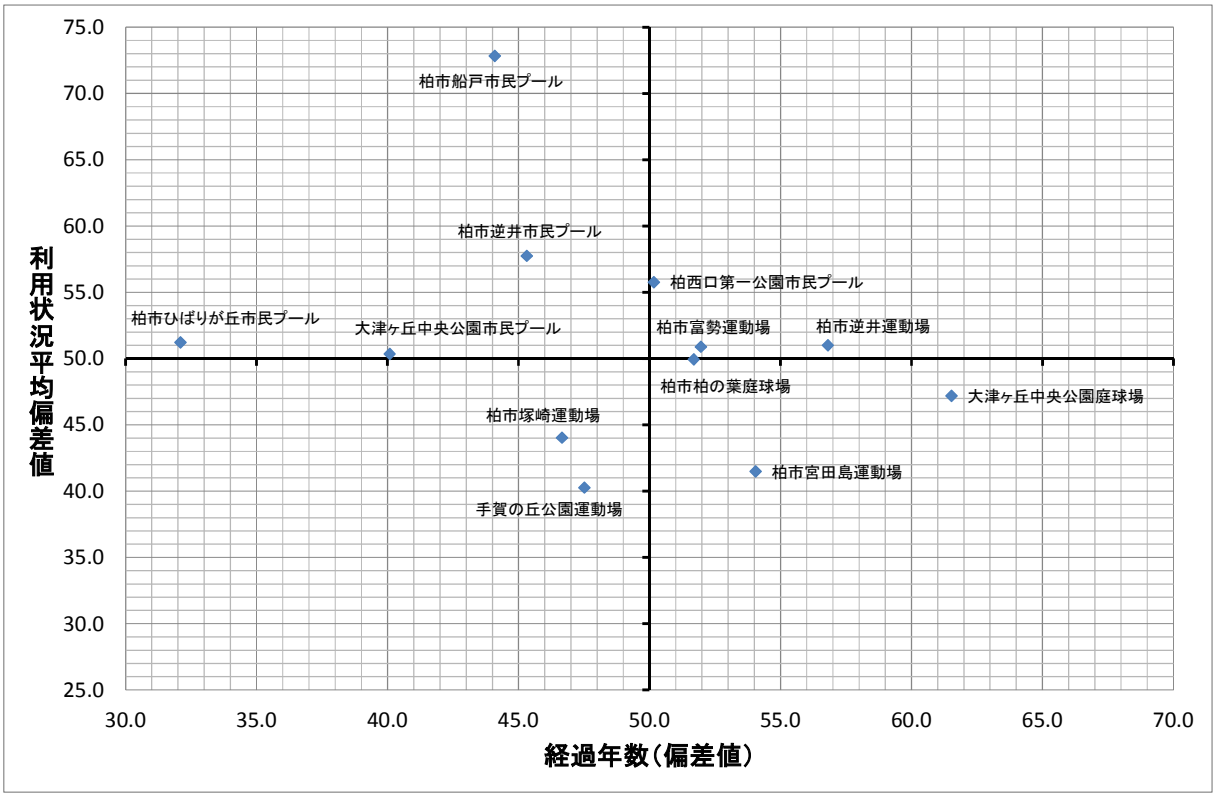


図 3-36　スポーツ施設（屋外）の品質面（ハード）・供給面（ソフト）の分析

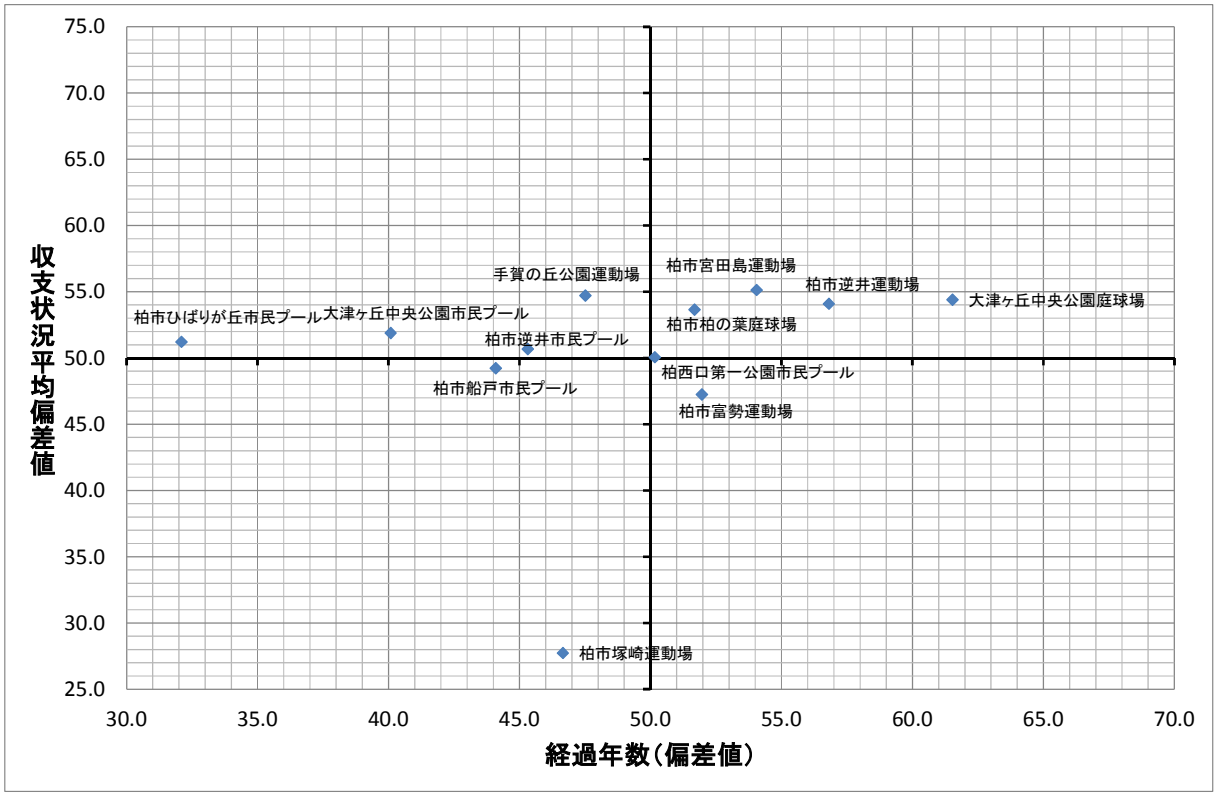


図 3-37　スポーツ施設（屋外）の品質面（ハード）・財務面（ソフト）の分析

3-3 02 レクリエーション施設

(1) 配置状況

・レクリエーション施設は，市内に青少年センターがあります。
・青少年センターは，青少年教育の振興および青少年の健全育成を図るため，青少年や健全育成団体を対象に，研修室や野外活動のできる環境を提供し，体験活動等の機会を与えるための施設として設置されました。

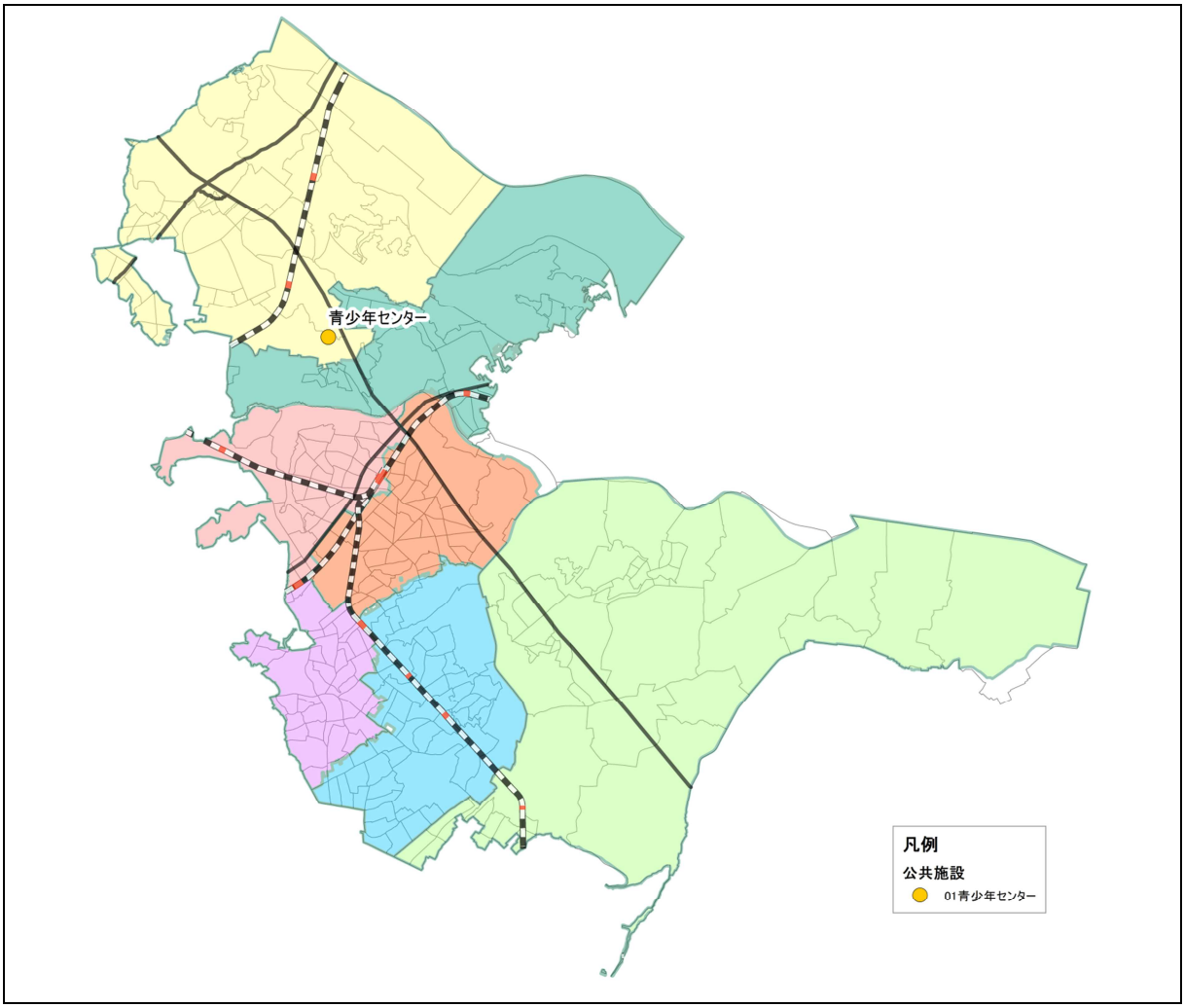


図 3-38　レクリエーション施設の配置状況

写真 3－9 各施設の写真（レクリエーション施設）

青少年センター

(2) 経過年数

・青少年センターの建物は，平均して約 27 年が経過しています。

表 3-57　レクリエーション施設の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	青少年センター	1,331	26.9	指定避難場所・避難所

表 3-58　レクリエーション施設の品質面（ハード）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	品質		品質（ハード）平均偏差値
			経過年数（年）	偏差値	
1	青少年センター	1,331	26.9	48.5	48.5

(3) 利用状況

・青少年センターは年間 3 万人前後の利用者がいます。平成 26 年度は半年間，改修工事で閉館をしていたため，利用者数が減少しています。
・部屋別の利用状況をみると，多目的室や研修室の利用率が高くなっています。一方，グラウンドやキャンプ場の利用率は低い状況です。

表 3-59　レクリエーション施設の利用状況

No	施設名称	延床面積（㎡）	利用者数（人）				利用率（%）	延床面積・開館日あたり平均利用者数（人/日・100㎡）
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均		
1	青少年センター	1,331	31,060	36,293	18,152	28,502	31%	7.2

表 3-60　レクリエーション施設の部屋別の利用状況

施設名称	貸出箇所（部屋名称）	定員（人）	広さ（m2）	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
				年間利用者数（人）	年間利用コマ数（コマ）	年間利用可能コマ数（コマ）	年間利用者数（人）	年間利用コマ数（コマ）	年間利用可能コマ数（コマ）	年間利用者数（人）	年間利用コマ数（コマ）	年間利用可能コマ数（コマ）
柏市青少年センター	研修室	60	87.5	9,888	260	714	23,841	284	714	13,853	137	366
	創作室	50	105.0	3,193	200	714	2,415	251	714	1,480	102	366
	多目的室	100	500.0	13,323	312	714	5,210	432	714	1,767	195	366
	グラウンド	–	–	644	86	714	1,950	181	714	370	115	366
	キャンプ場	–	–	3,597	94	714	1,991	76	714	512	22	366
	和室（※H26改修により H27以降は会議室②）	21	27.0	415	206	714	886	237	714	170	109	366
	※H26改修により会議室①を新設	39	42.0	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	合計	270	762	31,060	1,158	4,284	36,293	1,461	4,284	18,152	680	2,196

表 3-61　レクリエーション施設貸出箇所別の利用率

貸出箇所	利用率（%）
研修室	38%
創作室	30%
多目的室	52%
グラウンド	23%
キャンプ場	10%
和室（※H26改修により H27以降は会議室②）	31%

(4) コスト状況

・青少年センターに係るコストは，年間約 1,300 万円程度となっています。内訳をみると，人件費の他は，施設に係る光熱水費やその他（各種委託料等）の支出が多くなっています。

表 3-62　レクリエーション施設のコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）								
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤－⑥）	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）⑧	利用者1人あたり市負担額（円/人）⑨
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）				
1	青少年センター	5,033	0	8,044	0	13,077	47	13,030	9,788	457

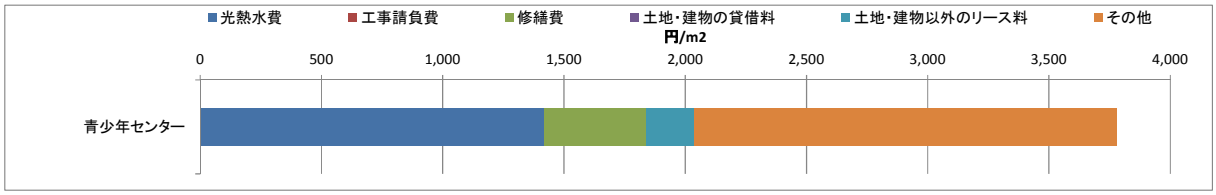


図 3-39　レクリエーション施設の内訳

3-4 01 産業系施設

(1) 配置状況

・産業系施設は，市内にあけぼの山農業公園と都市農業センターの 2 施設があります。
・あけぼの山農業公園は，緑豊かな自然と美しい田園風景，伝統文化等，農村地域に既存する各資源を整備活用した，都市と農村が交流し共生するための基盤となる故郷づくりや都市農業振興のための施設として，また，市民の農業体験を踏まえた健全な余暇活用のための施設として設置されました。
・都市農業センターは，都市地域に住む市民の農業に対する理解を促すとともに，都市近郊農業の振興を図る必要性から，都市農業振興拠点の核として設置されました。

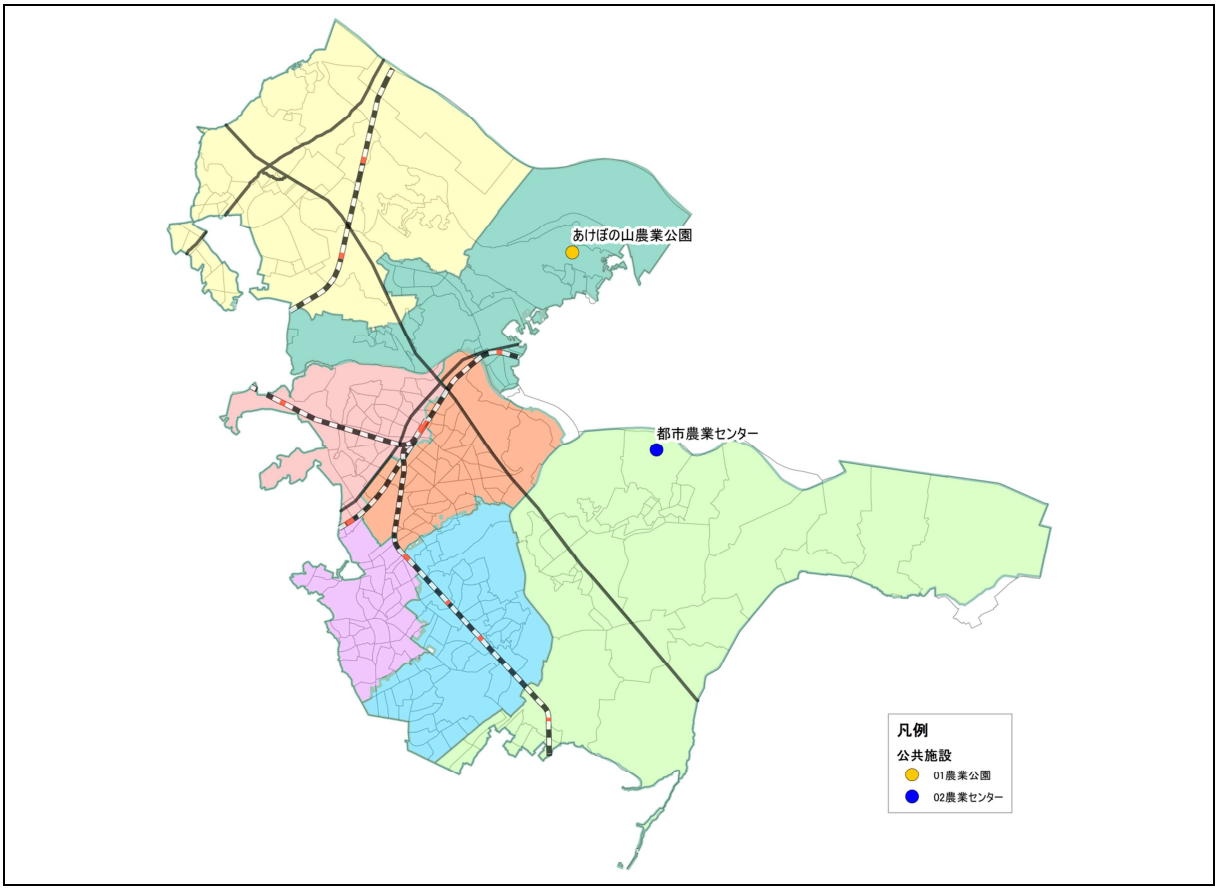


図 3-40　産業系施設の配置状況

写真 3－10 各施設の写真（産業系施設）

あけぼの山農業公園

都市農業センター

(2) 経過年数

・産業系施設の平均経過年数は，19.8 年です。あけぼの山農業公園は，建築から 20 年以上が経過しています。

表 3-63　産業系施設の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	あけぼの山農業公園	3,976	25.6	
2	都市農業センター	859	14.0	
	平均	2,418	19.8	
	合計	4,836	－	

表 3-64　産業系施設の品質面（ハード）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	品質		品質（ハード）平均偏差値
			経過年数（年）	偏差値	
1	あけぼの山農業公園	3,976	25.6	49.5	49.5
2	都市農業センター	859	14.0	59.1	59.1

(3) 利用状況

① 都市農業センターの利用状況（過去 10 年間の利用者数推移）

・都市農業センター（道の駅しょうなん）は，平成 13 年 4 月 20 日，千葉県内 8 番目の「道の駅」としてオープンしました。

・年間利用者数は，平成 22 年度末に発生した東日本大震災の影響等もあり，減少傾向にありましたが，平成 25 年度からは増加に転じています。

・月別利用者数については，過去 10 年間の平均値を比較すると，3 月から 9 月にかけての比較的暖かい時期（春から夏にかけて）が多くなっています。

表 3-65　都市農業センターの過去 10 年間の年間利用者数推移

施設名称	利用者数（人）									
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
都市農業センター	1,191,926	1,258,170	1,294,170	1,279,617	1,289,875	1,242,174	1,088,674	1,036,247	1,079,290	1,138,417

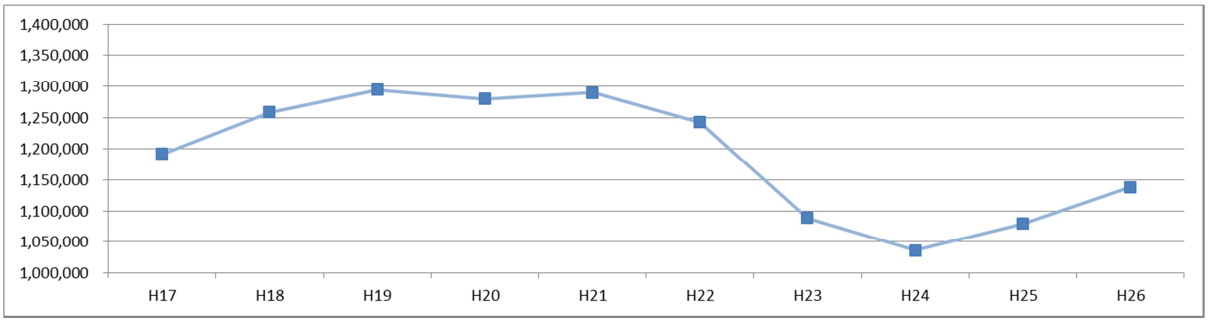


図 3-41　都市農業センターの過去 10 年間の年間利用者数推移

表 3-66　都市農業センターの過去 10 年間の月別利用者数推移

施設名称	月	利用者数（人）										
		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	平均
都市農業センター	4月	110,278	112,888	123,963	115,930	125,728	122,918	103,825	98,037	94,302	101,942	110,981
	5月	123,412	112,075	120,993	114,965	121,084	135,652	108,231	95,131	103,851	104,869	114,026
	6月	93,723	99,528	105,793	109,716	110,583	105,315	91,164	86,069	92,505	85,890	98,029
	7月	107,631	114,779	113,383	103,679	107,853	103,116	95,443	86,602	91,585	90,941	101,501
	8月	106,406	120,662	117,595	119,306	123,128	121,098	101,780	96,212	100,068	122,276	112,853
	9月	103,177	115,745	120,329	118,549	126,025	108,015	98,454	91,549	96,690	115,030	109,356
	10月	92,692	103,464	102,069	107,640	100,163	104,462	96,032	85,162	80,354	86,098	95,814
	11月	86,329	84,172	89,165	97,163	90,710	94,289	75,445	72,831	84,439	84,276	85,882
	12月	101,638	104,917	109,404	104,573	102,321	96,330	80,515	85,923	95,950	85,803	96,737
	1月	78,927	87,471	81,391	83,094	96,283	82,197	72,069	70,152	74,708	74,556	80,085
	2月	84,655	92,981	89,981	94,810	83,210	83,285	77,143	75,039	65,669	81,316	82,809
	3月	103,058	109,488	120,104	110,192	102,787	85,497	88,573	93,540	99,169	105,420	101,783
合計	-	1,191,926	1,258,170	1,294,170	1,279,617	1,289,875	1,242,174	1,088,674	1,036,247	1,079,290	1,138,417	1,189,856

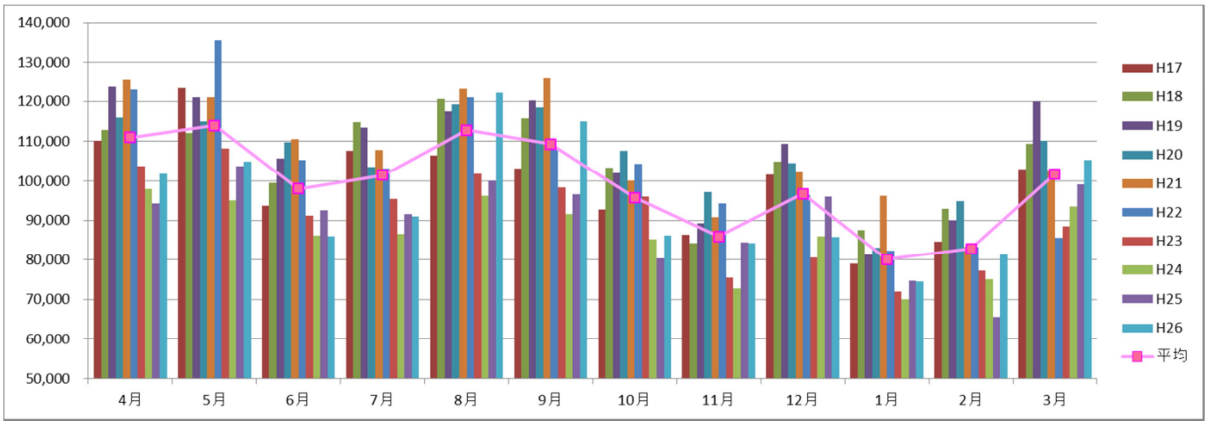


図 3-42　都市農業センターの過去 10 年間の月別利用者数推移

② 産業系施設の貸館部分利用状況

・あけぼの山農業公園は，年間約 2.1 万人の利用者がいます。
・都市農業センターの会議室利用者は年々増加していますが，年間平均 300 人程度です。

表 3-67　産業系施設の貸館部分利用状況

No	施設名称	延床面積（㎡）	利用者数（人）				延床面積･開館日あたり平均利用者数（人/日･100㎡）	利用率（%）
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均		
1	あけぼの山農業公園	3,976	12,822	28,600	22,491	21,304	1.7	26.5%
2	都市農業センター（会議室）	859	82	231	519	277	0.1	4.2%
	平均	2,418	6,452	14,416	11,505	10,791	0.9	15.4%
	合計	4,836	12,904	28,831	23,010	21,582		

③ 部屋別利用状況

・利用状況を部屋別に見ると，あけぼの山農業公園では資料館会議室の利用が多くなっています。

表 3-68　産業系施設の部屋別利用状況

施設名称	貸出箇所（部屋名称）	定員（人）	広さ（m2）	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
				年間利用者数（人）	年間利用コマ数（コマ）	年間利用可能コマ数（コマ）	年間利用者数（人）	年間利用コマ数（コマ）	年間利用可能コマ数（コマ）	年間利用者数（人）	年間利用コマ数（コマ）	年間利用可能コマ数（コマ）
あけぼの山農業公園	本館研修室	100	134.13	1,468	123	622	1,239	77	608	2,357	120	620
	本館会議室1	30	50.37	1,043	119	622	1,172	141	608	1,287	153	620
	本館会議室2	30	44.28	296	48	622	254	32	608	489	66	620
	加工実習館	30	390.00	1,802	120	622	1,769	257	608	1,839	252	620
	資料館会議室	50	88.00	8,213	102	622	24,166	386	608	16,519	454	620
	合計	240	707	12,822	512	3,110	28,600	893	3,040	22,491	1,045	3,100
都市農業センター	会議室	20	43.91	82	7	724	231	33	724	519	52	724
	合計	20	44	82	7	724	231	33	724	519	52	724

表 3-69　産業系施設の部屋別利用率

施設名称	貸出箇所	利用率（%）
あけぼの山農業公園	本館研修室	17%
	本館会議室1	22%
	本館会議室2	8%
	加工実習館	34%
	資料館会議室	51%
都市農業センター	会議室	4%

(4) コスト状況

・あけぼの山農業公園は，施設に係るコストに比べ，花畑等植栽の維持管理費を含む事業運営に係るコストや指定管理料が高くなっています。

表 3-70　産業系施設のコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）							
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤－⑥）	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）⑧
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）			
1	あけぼの山農業公園	18,353	93,026	0	100,661	212,040	145	211,894	53,288
2	都市農業センター	5,099	0	0	0	5,099	724	4,375	5,091
	平均	11,726	46,513	0	50,331	108,569	435	108,135	29,190
	合計	23,452	93,026	0	100,661	217,139	870	216,269	－

3-5 01 学校

3-5-1 小学校

(1) 配置状況

・市内には，小学校が 42 校あります。
・小学校は，義務教育として心身の発達に応じて行われる普通教育のうち，基礎的なものを施すことを目的に設置されました。

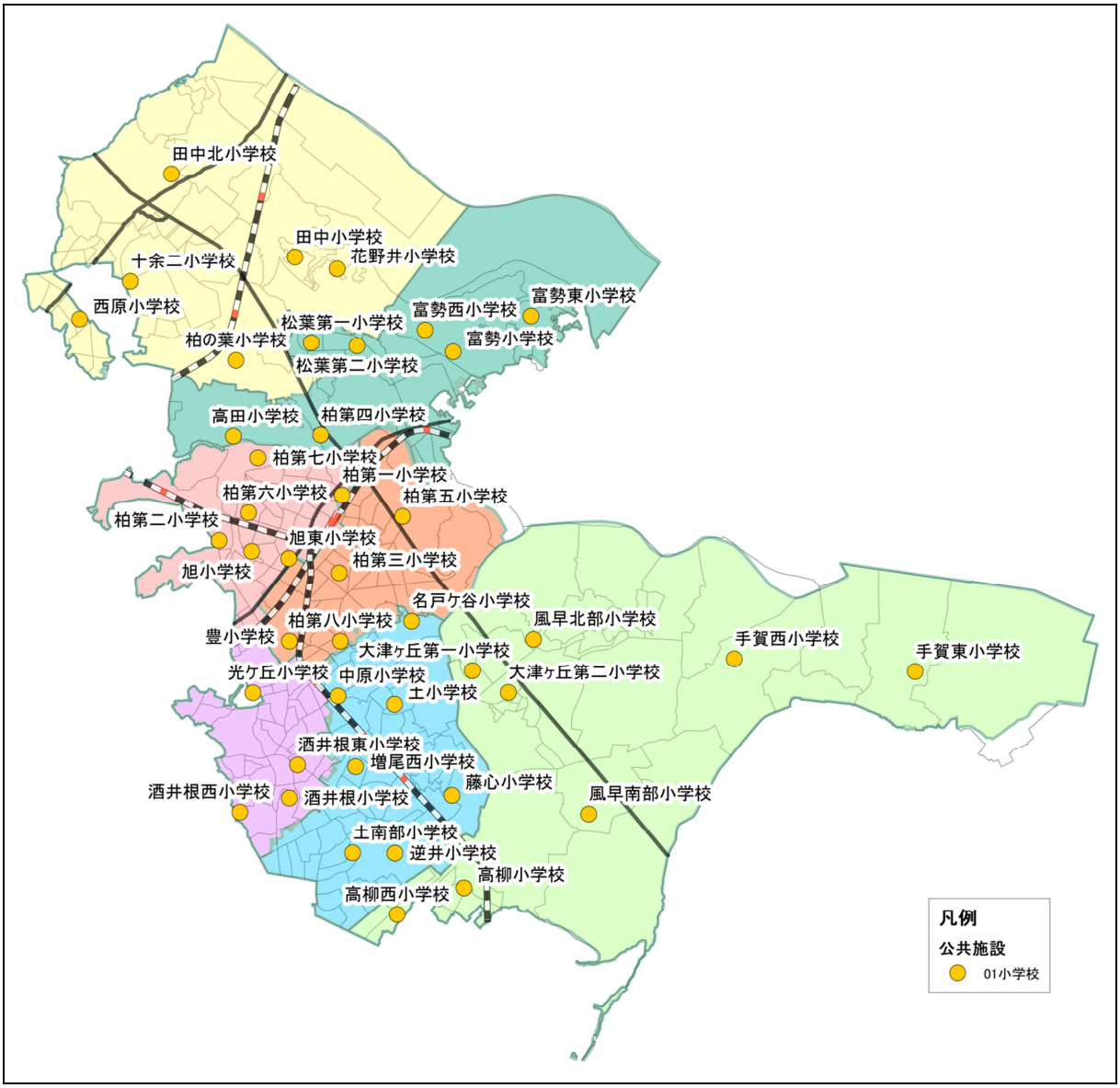


図 3-43　小学校の配置状況

写真 3－11 各施設の写真（小学校）

 柏第一小学校	 柏第二小学校	 柏第三小学校
 柏第四小学校	 柏第五小学校	 柏第六小学校
 光ケ丘小学校	 土小学校	 田中小学校
 田中北小学校	 西原小学校	 富勢小学校
 土南部小学校	 柏第七小学校	 柏第八小学校

 酒井根小学校	 旭小学校	 藤心小学校
 中原小学校	 酒井根西小学校	 高田小学校
 名戸ケ谷小学校	 増尾西小学校	 逆井小学校
 富勢東小学校	 豊小学校	 酒井根東小学校
 旭東小学校	 松葉第一小学校	 松葉第二小学校

 花野井小学校	 富勢西小学校	 十余二小学校
 風早南部小学校	 風早北部小学校	 手賀西小学校
 手賀東小学校	 高柳小学校	 大津ヶ丘第一小学校
 大津ヶ丘第二小学校	 高柳西小学校	 柏の葉小学校

(2) 経過年数

・小学校は，経過年数 30 年以上の建物が全体の 88%を占めています。
・柏第六小学校が最も古く，約 47 年が経過しています。
・目視等による屋上と外壁の簡易劣化診断評価結果をみると，酒井根小学校や豊小学校等の劣化が進んでいます。

表 3-71　小学校の経過年数

No	施設名称	延床面積(㎡)	経過年数（年）	簡易劣化診断評価結果	備考
1	柏第一小学校	6,501	44.5	550	
2	柏第二小学校	6,417	40.0	445	
3	柏第三小学校	7,991	42.2	353	
4	柏第四小学校	6,444	32.2	420	
5	柏第五小学校	7,380	37.7	467	
6	柏第六小学校	5,776	46.9	359	
7	光ケ丘小学校	6,522	42.6	502	
8	土小学校	5,486	40.6	340	
9	田中小学校	5,663	41.7	365	
10	田中北小学校	4,869	37.9	368	
11	西原小学校	6,791	38.1	435	
12	富勢小学校	5,889	40.7	350	
13	土南部小学校	5,804	41.6	336	
14	柏第七小学校	6,281	43.2	493	
15	柏第八小学校	6,006	41.1	387	
16	酒井根小学校	5,843	42.1	272	
17	旭小学校	5,779	39.3	541	
18	藤心小学校	4,641	39.6	512	
19	中原小学校	6,372	38.5	374	
20	酒井根西小学校	5,184	38.2	342	
21	高田小学校	5,142	37.2	334	
22	名戸ケ谷小学校	5,044	37.5	335	ヘリコプター臨時離着場
23	増尾西小学校	6,372	36.4	365	
24	逆井小学校	6,029	36.5	407	
25	富勢東小学校	5,338	35.9	417	
26	豊小学校	5,282	34.8	279	
27	酒井根東小学校	5,681	33.9	343	
28	旭東小学校	4,380	33.9	437	
29	松葉第一小学校	6,400	33.2	404	
30	松葉第二小学校	6,205	31.9	334	
31	花野井小学校	6,044	32.4	358	
32	富勢西小学校	5,912	32.0	412	
33	十余二小学校	5,419	27.9	412	
34	風早南部小学校	5,963	4.7	466	
35	風早北部小学校	6,105	43.2	422	
36	手賀西小学校	2,929	36.8	338	
37	手賀東小学校	3,152	28.0	302	
38	高柳小学校	5,961	37.3	368	
39	大津ヶ丘第一小学校	5,968	35.9	429	
40	大津ヶ丘第二小学校	4,882	36.0	354	
41	高柳西小学校	4,851	27.2	363	
42	柏の葉小学校	9,616	3.1	529	
	平均	5,817	35.8	395.7	
	合計	244,311	－	－	

※簡易劣化診断評価結果：屋上・外壁のみ，目視等により診断したもの。評価値が低いほど劣化が進んでおり，改修優先度が高い施設であると考えられます。
※全ての小学校は，指定避難場所･避難所に指定されています。
※ヘリコプター臨時離着場は，柏市地域防災計画において市内 10 箇所が選定されています。

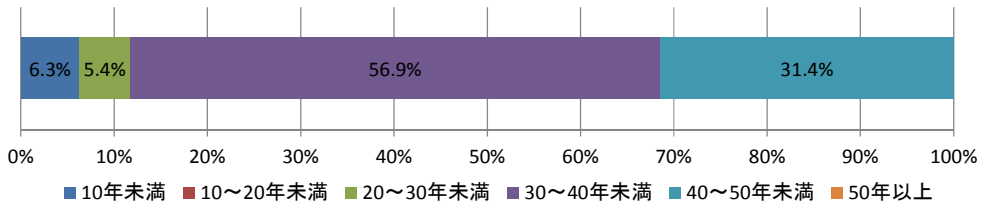
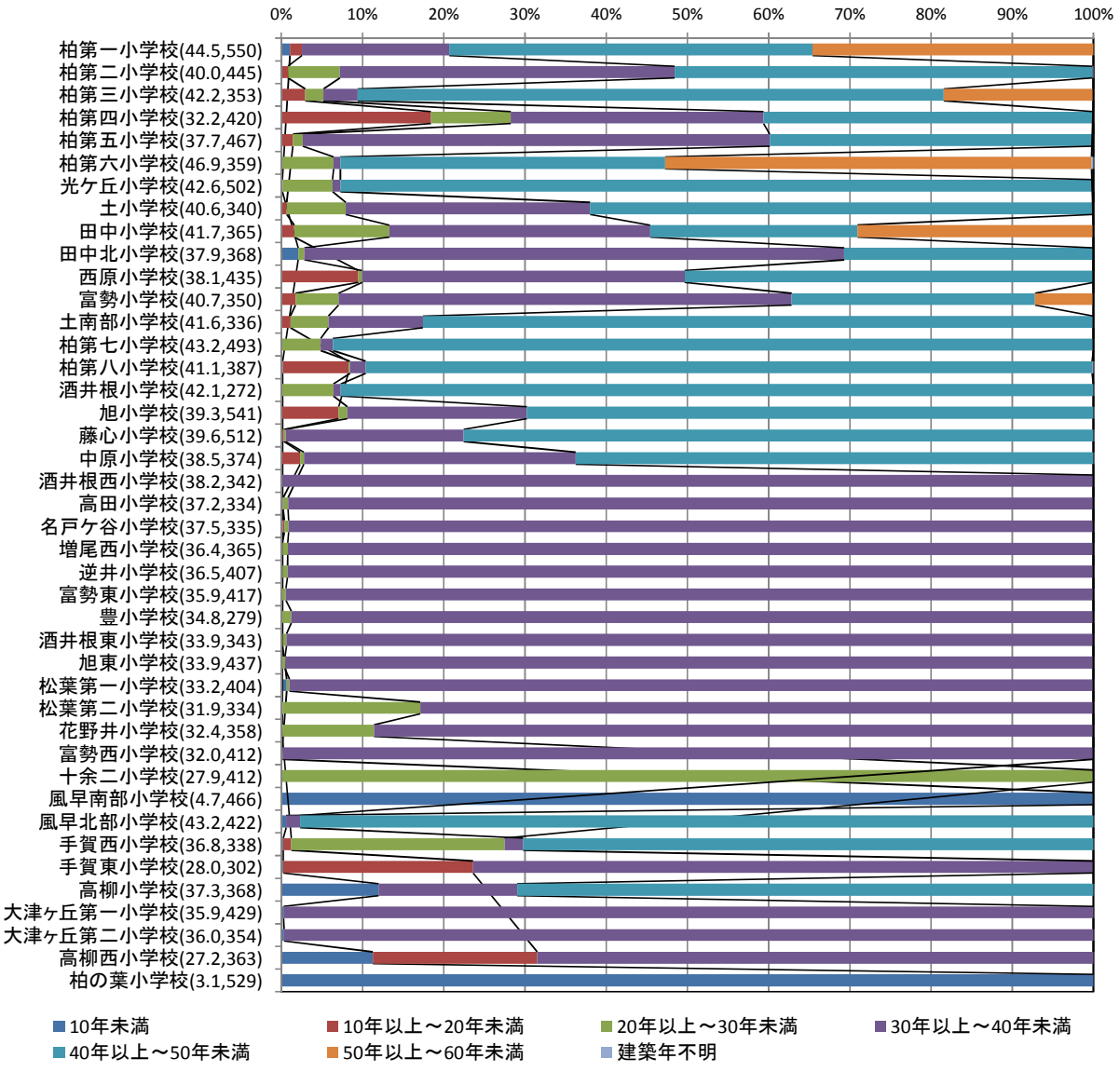


図 3-44　小学校の経過年数別延床面積構成比

・小学校の経過年数別延床面積比率をみると，柏第六小学校では経過年数 50 年以上の部分の割合が 50%を超え，柏第一小学校では経過年数 50 年以上の部分の割合が 30%を超えています。
・また，ほとんどの小学校で，経過年数が 30 年以上 50 年未満の延床面積の割合が多くなっています。



※カッコ内は経過年数および簡易劣化診断評価値

図 3-45　小学校の経過年数別延床面積比率

(3) 利用状況

・昭和 51 年以降の柏市の児童数の推移をみると，昭和 58 年の約 3 万 5 千人をピークとして減少を続けていましたが，平成 10 年代以降は約 2 万 1 千人台で推移しています。
・一方，延床面積は，昭和 60 年代以降，約 22 万㎡台で推移しています。

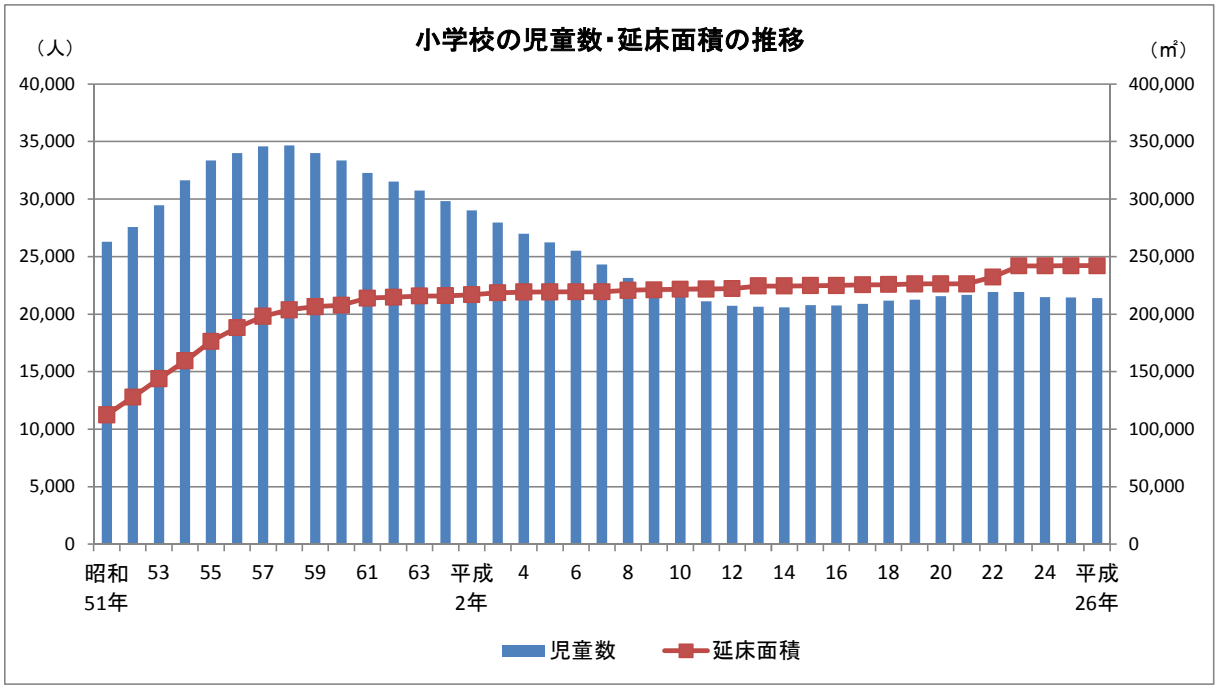


図 3-46　小学校の児童数・延床面積の推移（各年 5 月 1 日の児童数）

・平成 24 年から平成 26 年までの各校の児童数をみると，1 校あたり平均 511 人です。柏第五小学校など，800 人～900 人程度の大規模な学校がある一方で，手賀東小学校など，50 人前後の小規模な学校もあり，学校間の差がみられます。
・過去 10 年間の児童数の平均増減率をみても，柏の葉小学校や風早北部小学校など，年平均 5%以上の伸びを示している小学校がある一方で，富勢西小学校では，年平均 5%以上減少しており，学校間で違いがみられます。
・児童 1 人あたり延床面積についても，富勢小学校など，8 ㎡/人未満の小学校がある一方で，手賀東小学校のように 60 ㎡/人以上の小学校もあり，学校間で差がみられます。

表 3-72　小学校の児童数

No	施設名称	延床面積（㎡）	各年5月1日の児童数（人）				過去10年間の平均増減率	児童1人あたり延床面積（㎡/人）
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均		
1	柏第一小学校	6,501	831	794	746	790	−1.79%	8.2
2	柏第二小学校	6,417	785	751	707	748	−2.59%	8.6
3	柏第三小学校	7,991	874	883	855	871	−0.60%	9.2
4	柏第四小学校	6,444	692	737	739	723	5.85%	8.9
5	柏第五小学校	7,380	898	909	921	909	1.26%	8.1
6	柏第六小学校	5,776	169	204	254	209	7.56%	27.6
7	光ケ丘小学校	6,522	778	763	722	754	−1.21%	8.6
8	土小学校	5,486	376	379	395	383	−0.18%	14.3
9	田中小学校	5,663	645	637	635	639	1.77%	8.9
10	田中北小学校	4,869	111	116	120	116	0.24%	42.1
11	西原小学校	6,791	698	669	661	676	−1.98%	10.0
12	富勢小学校	5,889	828	788	773	796	−0.01%	7.4
13	土南部小学校	5,804	752	730	718	733	−1.02%	7.9
14	柏第七小学校	6,281	615	583	577	592	−0.60%	10.6
15	柏第八小学校	6,006	675	633	605	638	−2.39%	9.4
16	酒井根小学校	5,843	601	593	598	597	−0.25%	9.8
17	旭小学校	5,779	598	596	609	601	6.00%	9.6
18	藤心小学校	4,641	458	462	474	465	1.52%	10.0
19	中原小学校	6,372	762	782	773	772	−1.87%	8.3
20	酒井根西小学校	5,184	305	309	298	304	−1.39%	17.1
21	高田小学校	5,142	568	590	584	581	3.50%	8.9
22	名戸ケ谷小学校	5,044	281	278	270	276	−3.12%	18.3
23	増尾西小学校	6,372	588	580	551	573	−1.77%	11.1
24	逆井小学校	6,029	414	411	410	412	0.93%	14.6
25	富勢東小学校	5,338	118	115	114	116	−2.48%	46.1
26	豊小学校	5,282	654	654	640	649	2.89%	8.1
27	酒井根東小学校	5,681	516	525	540	527	3.55%	10.8
28	旭東小学校	4,380	316	315	325	319	1.74%	13.7
29	松葉第一小学校	6,400	512	520	507	513	−1.22%	12.5
30	松葉第二小学校	6,205	677	662	669	669	−2.20%	9.3
31	花野井小学校	6,044	236	261	279	259	−1.63%	23.4
32	富勢西小学校	5,912	245	228	205	226	−5.67%	26.2
33	十余二小学校	5,419	495	510	510	505	1.29%	10.7
34	風早南部小学校	5,963	296	304	296	299	0.30%	20.0
35	風早北部小学校	6,105	723	739	817	760	8.54%	8.0
36	手賀西小学校	2,929	139	150	148	146	0.09%	20.1
37	手賀東小学校	3,152	41	50	52	48	−4.48%	66.1
38	高柳小学校	5,961	684	695	707	695	2.14%	8.6
39	大津ヶ丘第一小学校	5,968	374	371	347	364	−1.21%	16.4
40	大津ヶ丘第二小学校	4,882	397	374	392	388	0.84%	12.6
41	高柳西小学校	4,851	488	472	444	468	1.36%	10.4
42	柏の葉小学校	9,616	252	321	428	334	30.36%	28.8
	平均	5,817	511	511	510	511		15.5
	合計	244,311	21,465	21,443	21,415	21,441	−	

・平成 24 年から平成 26 年までの学級数をみると，普通学級数が横ばいで推移している一方で，特別支援学級数は増加しています。

表 3-73　小学校の学級数

No	施設名称	学級数					
		普通学級			特別支援学級数		
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
1	柏第一小学校	26	24	22	1	2	2
2	柏第二小学校	23	23	22	2	2	2
3	柏第三小学校	26	27	26	4	4	4
4	柏第四小学校	21	23	23	1	1	1
5	柏第五小学校	26	28	28	3	3	3
6	柏第六小学校	7	8	10	2	2	2
7	光ケ丘小学校	23	22	21	3	3	3
8	土小学校	13	12	13	1	1	1
9	田中小学校	21	20	19	1	1	2
10	田中北小学校	6	6	6	0	0	0
11	西原小学校	22	22	21	1	1	3
12	富勢小学校	25	24	24	2	2	2
13	土南部小学校	24	23	23	1	1	2
14	柏第七小学校	20	19	18	1	1	1
15	柏第八小学校	21	21	20	1	1	1
16	酒井根小学校	19	18	19	2	1	2
17	旭小学校	18	19	19	0	1	1
18	藤心小学校	16	16	16	1	2	2
19	中原小学校	24	24	23	1	1	2
20	酒井根西小学校	12	11	12	1	1	1
21	高田小学校	19	19	18	2	2	2
22	名戸ケ谷小学校	11	12	11	2	2	2
23	増尾西小学校	18	18	18	1	2	2
24	逆井小学校	14	13	13	1	1	2
25	富勢東小学校	6	6	6	0	1	1
26	豊小学校	20	21	21	2	2	2
27	酒井根東小学校	18	17	18	2	2	2
28	旭東小学校	12	12	12	1	1	1
29	松葉第一小学校	18	18	17	1	1	1
30	松葉第二小学校	21	21	20	2	2	3
31	花野井小学校	11	11	11	1	1	1
32	富勢西小学校	10	9	8	1	1	2
33	十余二小学校	17	17	17	1	1	1
34	風早南部小学校	12	12	12	1	1	2
35	風早北部小学校	22	23	25	0	0	1
36	手賀西小学校	7	7	7	1	1	1
37	手賀東小学校	5	6	5	0	0	0
38	高柳小学校	20	22	22	2	2	3
39	大津ヶ丘第一小学校	12	13	12	2	2	2
40	大津ヶ丘第二小学校	13	12	13	4	4	3
41	高柳西小学校	18	17	15	2	2	2
42	柏の葉小学校	11	12	16	1	2	2
	平均	16.9	16.9	16.7	1.4	1.5	1.8
	合計	708	708	702	59	64	75

※特別支援学級：障害のある児童へ，生活や学習上の困難改善または克服に向けた適切な指導・必要な支援を行うための学級。

・小学校の体育施設開放事業の利用状況をみると，利用率は平均 60%となっています。

表 3-74　小学校の利用状況（利用率）

No	施設名称	貸出箇所	利用率(%)
1	柏第一小学校	グラウンド、体育館	57%
2	柏第二小学校	グラウンド、体育館	56%
3	柏第三小学校	グラウンド、体育館	69%
4	柏第四小学校	グラウンド、体育館	71%
5	柏第五小学校	グラウンド、体育館	65%
6	柏第六小学校	グラウンド、体育館	36%
7	光ケ丘小学校	グラウンド、体育館	67%
8	土小学校	グラウンド、体育館	50%
9	田中小学校	グラウンド、体育館	61%
10	田中北小学校	グラウンド、体育館	55%
11	西原小学校	グラウンド、体育館	68%
12	富勢小学校	グラウンド、体育館	67%
13	土南部小学校	グラウンド、体育館	66%
14	柏第七小学校	グラウンド、体育館	67%
15	柏第八小学校	グラウンド、体育館	63%
16	酒井根小学校	グラウンド、体育館	60%
17	旭小学校	グラウンド、体育館	72%
18	藤心小学校	グラウンド、体育館	50%
19	中原小学校	グラウンド、体育館	65%
20	酒井根西小学校	グラウンド、体育館	55%
21	高田小学校	グラウンド、体育館	69%
22	名戸ケ谷小学校	グラウンド、体育館	71%
23	増尾西小学校	グラウンド、体育館	68%
24	逆井小学校	グラウンド、体育館	71%
25	富勢東小学校	グラウンド、体育館	42%
26	豊小学校	グラウンド、体育館	53%
27	酒井根東小学校	グラウンド、体育館	68%
28	旭東小学校	グラウンド、体育館	68%
29	松葉第一小学校	グラウンド、体育館	60%
30	松葉第二小学校	グラウンド、体育館	48%
31	花野井小学校	グラウンド、体育館	67%
32	富勢西小学校	グラウンド、体育館	69%
33	十余二小学校	グラウンド、体育館	68%
34	風早南部小学校	グラウンド、体育館	66%
35	風早北部小学校	グラウンド、体育館	58%
36	手賀西小学校	グラウンド、体育館	38%
37	手賀東小学校	グラウンド、体育館	34%
38	高柳小学校	グラウンド、体育館	53%
39	大津ヶ丘第一小学校	グラウンド、体育館	49%
40	大津ヶ丘第二小学校	グラウンド、体育館	61%
41	高柳西小学校	グラウンド、体育館	67%
42	柏の葉小学校	グラウンド、体育館	44%
		平均	60%

※体育施設開放事業とは，学校施設を地域住民に開放し，スポーツ活動を支援することを目的とした事業です。

(4) コスト状況

・柏第七小学校，風早北部小学校および豊小学校等の市負担額が大きく，また延床面積あたりの市負担額もこれらの小学校で大きくなっています。
・児童 1 人あたりの市負担額は平均で約 19 万円/人ですが，手賀東小学校や富勢東小学校，田中北小学校などの数値が特に大きくなっています。
・延床面積あたりの施設に係るコストをみると，風早北部小学校では土地・建物の貸借料が多くなっています。柏第七小学校では，光熱水費の占める割合が高くなっています。
・児童 1 人あたりの事業運営・人に係るコストをみると，手賀東小学校では事業物件費や臨時職員人件費が多くなっています。富勢東小学校では正職員等人件費や事業物件費が多く，田中北小学校では事業委託費と事業物件費が多くなっています。
※小学校の人に係るコストには，学校栄養職員，給食調理員，用務員などのほか，サポート教員，学校図書館指導員など子どもの学習活動を支える人的支援に係るものが含まれています。一方，教諭など県が費用を負担する教職員に係るものは含まれていません。

表 3-75　小学校のコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）								
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤－⑥）	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）⑧	児童1人あたりの市負担額（円/人）⑨
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）				
1	柏第一小学校	30,324	39,954	9,388	0	79,666	76	79,590	12,244	100,704
2	柏第二小学校	27,886	38,898	11,669	0	78,453	78	78,375	12,215	104,827
3	柏第三小学校	33,716	43,448	11,120	0	88,284	7	88,277	11,046	101,390
4	柏第四小学校	28,436	38,224	9,640	0	76,300	310	75,990	11,792	105,152
5	柏第五小学校	31,540	43,795	23,990	0	99,325	79	99,245	13,448	109,141
6	柏第六小学校	22,975	12,277	50,714	0	85,966	211	85,755	14,848	410,311
7	光ケ丘小学校	27,558	39,373	17,672	0	84,604	181	84,423	12,945	111,917
8	土小学校	24,367	29,433	9,883	0	63,683	158	63,526	11,580	165,719
9	田中小学校	27,126	36,890	15,992	0	80,008	75	79,933	14,116	125,091
10	田中北小学校	18,724	23,620	12,682	0	55,026	212	54,814	11,257	473,898
11	西原小学校	33,135	38,851	18,659	0	90,646	2	90,644	13,347	134,089
12	富勢小学校	30,828	41,074	14,905	0	86,807	102	86,705	14,725	108,881
13	土南部小学校	30,008	38,693	12,067	0	80,768	186	80,582	13,884	109,885
14	柏第七小学校	37,642	14,395	59,902	0	111,939	152	111,787	17,797	188,936
15	柏第八小学校	30,207	38,114	8,422	0	76,743	98	76,645	12,762	120,196
16	酒井根小学校	24,156	33,079	9,517	0	66,752	211	66,541	11,389	111,397
17	旭小学校	26,500	31,882	16,368	0	74,750	184	74,566	12,902	124,070
18	藤心小学校	27,019	18,997	31,097	0	77,113	105	77,007	16,594	165,726
19	中原小学校	27,215	38,793	9,267	0	75,275	64	75,211	11,803	97,382
20	酒井根西小学校	23,285	13,610	35,658	0	72,553	144	72,409	13,968	238,189
21	高田小学校	26,549	13,961	58,779	0	99,288	105	99,183	19,290	170,809
22	名戸ケ谷小学校	20,851	26,802	6,499	0	54,151	84	54,067	10,719	195,660
23	増尾西小学校	27,276	26,935	44,847	0	99,058	188	98,870	15,515	172,548
24	逆井小学校	21,496	18,467	38,424	0	78,387	72	78,315	12,989	190,239
25	富勢東小学校	20,566	12,024	31,180	0	63,770	107	63,663	11,927	550,401
26	豊小学校	30,010	14,369	57,590	0	101,969	107	101,862	19,284	156,871
27	酒井根東小学校	27,448	32,952	10,294	0	70,694	156	70,538	12,416	133,848
28	旭東小学校	17,598	26,399	18,881	0	62,878	124	62,755	14,328	196,929
29	松葉第一小学校	26,210	40,194	8,630	0	75,034	188	74,846	11,695	145,899
30	松葉第二小学校	27,796	40,891	16,516	0	85,202	9	85,193	13,729	127,281
31	花野井小学校	18,732	25,226	14,351	0	58,310	283	58,027	9,601	224,330
32	富勢西小学校	20,048	26,404	6,368	0	52,820	145	52,675	8,910	233,075
33	十余二小学校	21,805	35,513	13,712	0	71,030	211	70,819	13,070	140,235
34	風早南部小学校	23,850	30,077	9,806	0	63,733	664	63,068	10,576	211,166
35	風早北部小学校	78,342	19,078	8,692	0	106,112	70	106,042	17,369	139,590
36	手賀西小学校	22,706	15,769	6,822	0	45,297	187	45,110	15,399	309,677
37	手賀東小学校	17,951	14,906	7,695	0	40,552	115	40,437	12,828	848,329
38	高柳小学校	32,548	18,273	10,168	0	60,989	97	60,892	10,216	87,572
39	大津ヶ丘第一小学校	17,327	17,170	15,480	0	49,977	63	49,914	8,363	137,126
40	大津ヶ丘第二小学校	17,037	17,538	23,795	0	58,370	62	58,307	11,943	150,406
41	高柳西小学校	26,601	19,083	9,254	0	54,939	1	54,938	11,326	117,389
42	柏の葉小学校	26,301	28,243	4,951	0	59,496	675	58,821	6,117	176,287
	平均	26,945	27,945	19,318	0	74,208	151	74,056	12,911	191,013
	合計	1,131,695	1,173,673	811,347	0	3,116,716	6,349	3,110,367	－	－

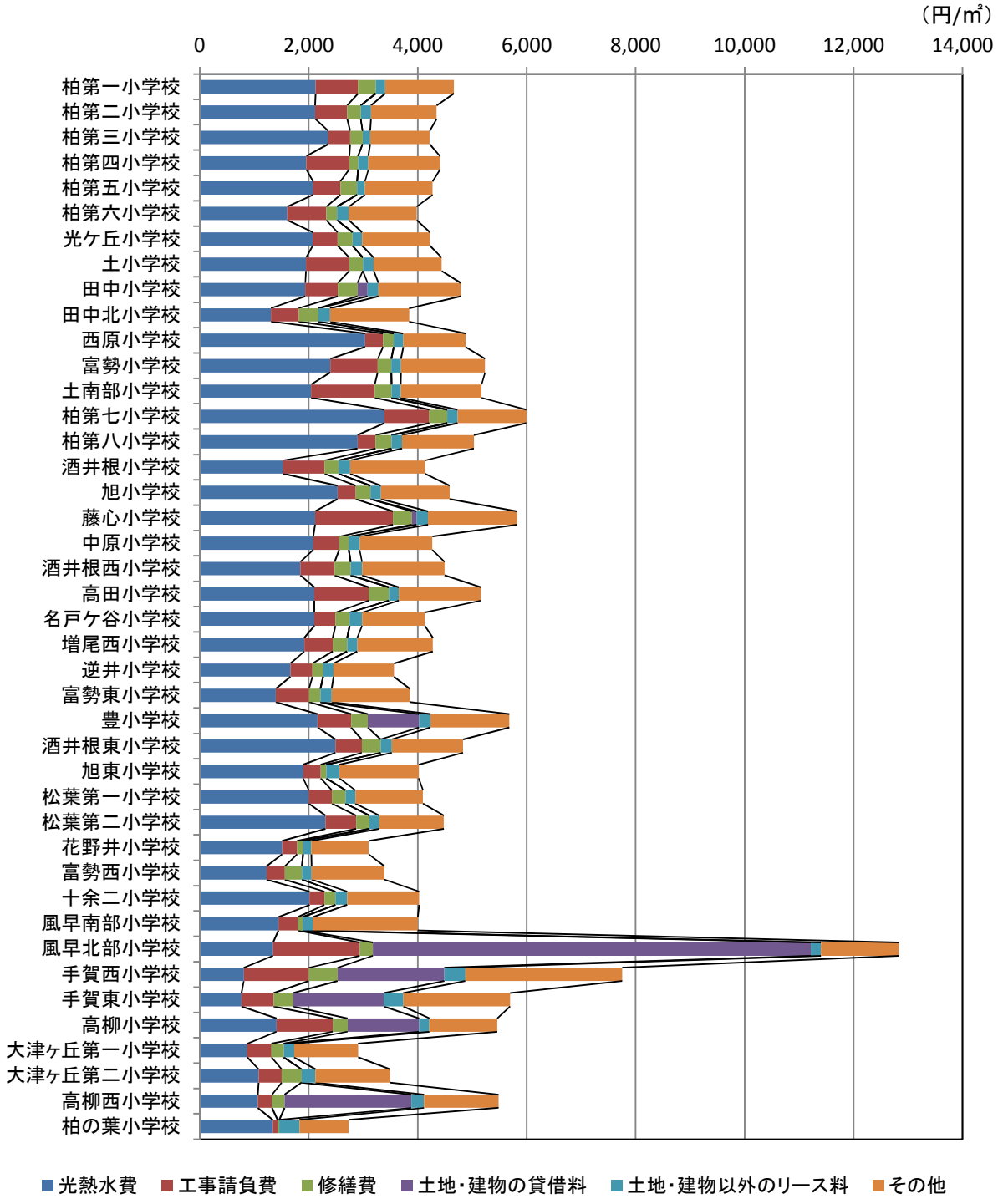


図 3-47　小学校の延床面積あたり施設に係るコスト

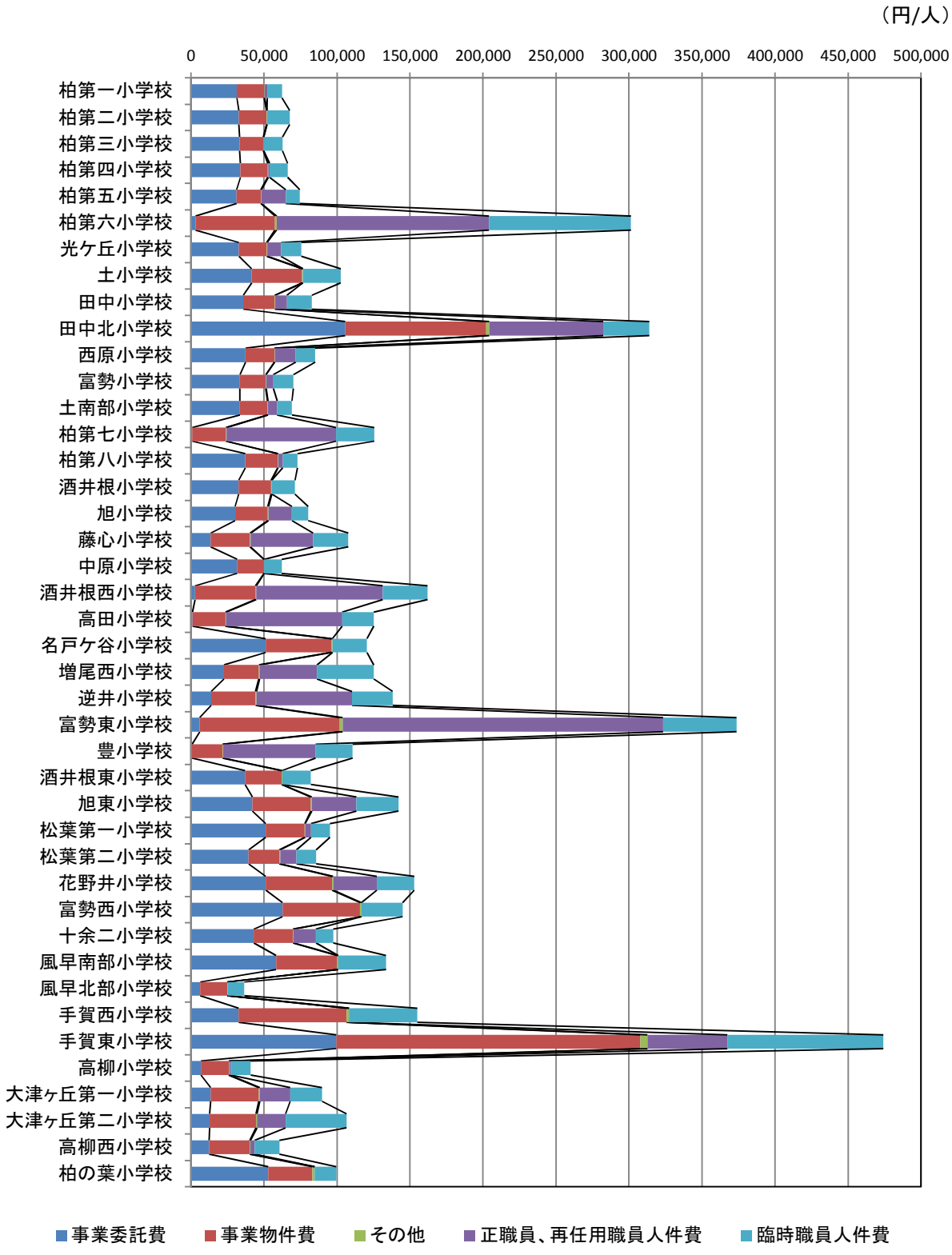


図 3-48　小学校の児童 1 人あたりの事業運営・人に係るコスト

(5) 施設現況のまとめ

・酒井根小学校や豊小学校等では，古い建物が多く，また，簡易劣化診断評価値も低いことから，品質面（ハード）が低くなっています。
・供給面（ソフト）から見ると，手賀東小学校，富勢東小学校，田中北小学校，手賀西小学校および柏第六小学校は児童数が少なく，また，1 人あたりの延床面積が広くなっており，施設利用の観点から見て，利用状況が低くなっています。
・一方，財務面（ソフト）から見ると，柏第七小学校，豊小学校，高田小学校，風早北部小学校および柏第六小学校は延床面積あたり市負担額が大きく，市の費用負担が大きくなっています。

表 3-76　小学校の品質面（ハード）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	品質				品質（ハード）平均偏差値
			経過年数（年）	偏差値	簡易劣化診断評価値	偏差値	
1	柏第一小学校	6,501	44.5	33.9	550	72.4	53.1
2	柏第二小学校	6,417	40.0	37.6	445	57.2	47.4
3	柏第三小学校	7,991	42.2	35.8	353	43.8	39.8
4	柏第四小学校	6,444	32.2	44.1	420	53.5	48.8
5	柏第五小学校	7,380	37.7	39.5	467	60.4	49.9
6	柏第六小学校	5,776	46.9	32.0	359	44.7	38.3
7	光ケ丘小学校	6,522	42.6	35.5	502	65.4	50.4
8	土小学校	5,486	40.6	37.1	340	41.9	39.5
9	田中小学校	5,663	41.7	36.2	365	45.5	40.9
10	田中北小学校	4,869	37.9	39.3	368	46.0	42.7
11	西原小学校	6,791	38.1	39.2	435	55.7	47.5
12	富勢小学校	5,889	40.7	37.1	350	43.4	40.2
13	土南部小学校	5,804	41.6	36.3	336	41.3	38.8
14	柏第七小学校	6,281	43.2	35.0	493	64.1	49.6
15	柏第八小学校	6,006	41.1	36.8	387	48.7	42.7
16	酒井根小学校	5,843	42.1	35.9	272	32.0	34.0
17	旭小学校	5,779	39.3	38.2	541	71.1	54.6
18	藤心小学校	4,641	39.6	38.0	512	66.9	52.4
19	中原小学校	6,372	38.5	38.8	374	46.8	42.8
20	酒井根西小学校	5,184	38.2	39.1	342	42.2	40.7
21	高田小学校	5,142	37.2	39.9	334	41.0	40.5
22	名戸ケ谷小学校	5,044	37.5	39.7	335	41.2	40.4
23	増尾西小学校	6,372	36.4	40.6	365	45.5	43.1
24	逆井小学校	6,029	36.5	40.5	407	51.6	46.1
25	富勢東小学校	5,338	35.9	41.0	417	53.1	47.1
26	豊小学校	5,282	34.8	41.9	279	33.1	37.5
27	酒井根東小学校	5,681	33.9	42.7	343	42.3	42.5
28	旭東小学校	4,380	33.9	42.7	437	56.0	49.3
29	松葉第一小学校	6,400	33.2	43.3	404	51.2	47.2
30	松葉第二小学校	6,205	31.9	44.3	334	41.0	42.7
31	花野井小学校	6,044	32.4	43.9	358	44.5	44.2
32	富勢西小学校	5,912	32.0	44.2	412	52.4	48.3
33	十余二小学校	5,419	27.9	47.6	412	52.4	50.0
34	風早南部小学校	5,963	4.7	66.8	466	60.2	63.5
35	風早北部小学校	6,105	43.2	35.0	422	53.8	44.4
36	手賀西小学校	2,929	36.8	40.3	338	41.6	40.9
37	手賀東小学校	3,152	28.0	47.5	302	36.4	41.9
38	高柳小学校	5,961	37.3	39.9	368	46.0	42.9
39	大津ヶ丘第一小学校	5,968	35.9	41.0	429	54.8	47.9
40	大津ヶ丘第二小学校	4,882	36.0	40.9	354	43.9	42.4
41	高柳西小学校	4,851	27.2	48.2	363	45.3	46.7
42	柏の葉小学校	9,616	3.1	68.1	529	69.4	68.7
	平均	5,817	35.8	41.1	395.7	50.0	45.5
	合計	244,311	－	－	－	－	－

※偏差値は，平均を 50 として，平均からその学校の数値がどれくらい離れているかを表したものです。

※経過年数の偏差値は，値が高いほど他校よりも新しい建物が多いことを示しており，簡易劣化診断評価値の偏差値は，値が高いほど他校よりも劣化の少ない建物が多いことを示しています。

表 3-77　小学校の供給面（ソフト）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	供給						供給（ソフト）平均偏差値
			児童数（人）	偏差値	児童1人あたり延床面積（㎡/人）	偏差値	利用率	偏差値	
1	柏第一小学校	6,501	790	62.3	8.2	56.1	57.4%	47.7	55.4
2	柏第二小学校	6,417	748	60.4	8.6	55.8	55.7%	46.0	54.1
3	柏第三小学校	7,991	871	65.8	9.2	55.3	68.8%	58.7	59.9
4	柏第四小学校	6,444	723	59.3	8.9	55.5	70.7%	60.6	58.5
5	柏第五小学校	7,380	909	67.5	8.1	56.2	64.6%	54.6	59.4
6	柏第六小学校	5,776	209	36.8	27.6	39.8	35.7%	26.7	34.4
7	光ケ丘小学校	6,522	754	60.7	8.6	55.7	66.9%	56.9	57.8
8	土小学校	5,486	383	44.4	14.3	51.0	50.0%	40.6	45.3
9	田中小学校	5,663	639	55.6	8.9	55.5	61.4%	51.6	54.3
10	田中北小学校	4,869	116	32.7	42.1	27.6	54.8%	45.2	35.2
11	西原小学校	6,791	676	57.3	10.0	54.5	67.7%	57.7	56.5
12	富勢小学校	5,889	796	62.5	7.4	56.8	66.9%	56.9	58.7
13	土南部小学校	5,804	733	59.8	7.9	56.3	66.2%	56.3	57.5
14	柏第七小学校	6,281	592	53.6	10.6	54.1	67.1%	57.1	54.9
15	柏第八小学校	6,006	638	55.6	9.4	55.1	63.1%	53.2	54.6
16	酒井根小学校	5,843	597	53.8	9.8	54.8	60.1%	50.4	53.0
17	旭小学校	5,779	601	54.0	9.6	54.9	71.7%	61.6	56.8
18	藤心小学校	4,641	465	48.0	10.0	54.6	49.7%	40.3	47.6
19	中原小学校	6,372	772	61.5	8.3	56.1	65.2%	55.2	57.6
20	酒井根西小学校	5,184	304	40.9	17.1	48.7	55.5%	45.9	45.2
21	高田小学校	5,142	581	53.1	8.9	55.5	69.4%	59.3	56.0
22	名戸ケ谷小学校	5,044	276	39.7	18.3	47.7	70.9%	60.8	49.4
23	増尾西小学校	6,372	573	52.7	11.1	53.6	68.1%	58.1	54.8
24	逆井小学校	6,029	412	45.7	14.6	50.7	70.9%	60.8	52.4
25	富勢東小学校	5,338	116	32.7	46.1	24.2	41.6%	32.5	29.8
26	豊小学校	5,282	649	56.1	8.1	56.2	52.5%	43.0	51.8
27	酒井根東小学校	5,681	527	50.7	10.8	53.9	67.7%	57.7	54.1
28	旭東小学校	4,380	319	41.6	13.7	51.4	67.7%	57.7	50.2
29	松葉第一小学校	6,400	513	50.1	12.5	52.5	59.9%	50.2	50.9
30	松葉第二小学校	6,205	669	57.0	9.3	55.2	47.7%	38.3	50.2
31	花野井小学校	6,044	259	39.0	23.4	43.4	66.9%	56.9	46.4
32	富勢西小学校	5,912	226	37.5	26.2	41.0	68.8%	58.7	45.7
33	十余二小学校	5,419	505	49.8	10.7	54.0	67.9%	57.9	53.9
34	風早南部小学校	5,963	299	40.7	20.0	46.2	66.0%	56.0	47.6
35	風早北部小学校	6,105	760	60.9	8.0	56.2	57.6%	47.9	55.0
36	手賀西小学校	2,929	146	34.0	20.1	46.1	38.4%	29.3	36.5
37	手賀東小学校	3,152	48	29.7	66.1	7.4	34.1%	25.2	20.8
38	高柳小学校	5,961	695	58.1	8.6	55.8	53.4%	43.9	52.6
39	大津ヶ丘第一小学校	5,968	364	43.6	16.4	49.2	49.4%	40.0	44.3
40	大津ヶ丘第二小学校	4,882	388	44.6	12.6	52.4	60.6%	50.8	49.3
41	高柳西小学校	4,851	468	48.1	10.4	54.3	67.3%	57.3	53.2
42	柏の葉小学校	9,616	334	42.2	28.8	38.8	44.2%	34.9	38.6
	平均	5,816.9	510.5	50.0	15.5	50.0	59.8%	50.0	50.0
	合計	244,311	21,441		－	－			－

※偏差値は，平均を 50 として，平均からその学校の数値がどれくらい離れているかを表したものです。

※児童数の偏差値は，値が高いほど他校よりも児童数が多いことを示しており，児童 1 人あたり延床面積の偏差値は，値が高いほど他校よりも児童 1 人あたりの延床面積が狭い（有効利用されている）ことを示しています。また，利用率の偏差値は，値が高いほど他校よりも体育施設開放事業で学校施設が地域住民に多く利用されている（需要が高い）ことを示しています。

表 3-78　小学校の財務面（ソフト）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	財務						財務（ソフト）平均偏差値
			市負担額（千円）	偏差値	児童1人あたりの市負担額（円/人）	偏差値	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）	偏差値	
1	柏第一小学校	6,501	79,590	46.7	100,703.9	56.3	12,243.6	52.5	51.9
2	柏第二小学校	6,417	78,375	47.5	104,826.6	56.0	12,214.6	52.6	52.0
3	柏第三小学校	7,991	88,277	41.6	101,390.1	56.3	11,046.4	56.9	51.6
4	柏第四小学校	6,444	75,990	48.9	105,151.8	56.0	11,791.7	54.2	53.0
5	柏第五小学校	7,380	99,245	35.2	109,140.8	55.7	13,448.5	48.0	46.3
6	柏第六小学校	5,776	85,755	43.1	410,311.0	34.7	14,847.9	42.8	40.2
7	光ケ丘小学校	6,522	84,423	43.9	111,916.9	55.5	12,945.1	49.9	49.8
8	土小学校	5,486	63,526	56.2	165,719.1	51.8	11,579.7	55.0	54.3
9	田中小学校	5,663	79,933	46.5	125,091.3	54.6	14,116.2	45.5	48.9
10	田中北小学校	4,869	54,814	61.3	473,897.7	30.2	11,257.5	56.1	49.2
11	西原小学校	6,791	90,644	40.3	134,088.8	54.0	13,346.7	48.4	47.5
12	富勢小学校	5,889	86,705	42.6	108,880.7	55.7	14,724.5	43.3	47.2
13	土南部小学校	5,804	80,582	46.2	109,884.5	55.7	13,884.5	46.4	49.4
14	柏第七小学校	6,281	111,787	27.8	188,935.8	50.1	17,797.4	31.8	36.6
15	柏第八小学校	6,006	76,645	48.5	120,195.5	55.0	12,762.4	50.6	51.3
16	酒井根小学校	5,843	66,541	54.4	111,396.8	55.6	11,388.5	55.7	55.2
17	旭小学校	5,779	74,566	49.7	124,070.4	54.7	12,902.4	50.0	51.5
18	藤心小学校	4,641	77,007	48.3	165,726.0	51.8	16,594.2	36.3	45.4
19	中原小学校	6,372	75,211	49.3	97,382.0	56.6	11,803.1	54.1	53.3
20	酒井根西小学校	5,184	72,409	51.0	238,188.6	46.7	13,968.4	46.1	47.9
21	高田小学校	5,142	99,183	35.2	170,808.8	51.4	19,290.3	26.3	37.6
22	名戸ケ谷小学校	5,044	54,067	61.7	195,659.8	49.7	10,718.5	58.2	56.5
23	増尾西小学校	6,372	98,870	35.4	172,548.0	51.3	15,515.2	40.3	42.3
24	逆井小学校	6,029	78,315	47.5	190,238.9	50.1	12,988.8	49.7	49.1
25	富勢東小学校	5,338	63,663	56.1	550,400.6	24.8	11,927.1	53.7	44.9
26	豊小学校	5,282	101,862	33.7	156,871.1	52.4	19,283.8	26.3	37.5
27	酒井根東小学校	5,681	70,538	52.1	133,847.6	54.0	12,416.3	51.8	52.6
28	旭東小学校	4,380	62,755	56.6	196,928.9	49.6	14,328.5	44.7	50.3
29	松葉第一小学校	6,400	74,846	49.5	145,898.6	53.2	11,695.2	54.5	52.4
30	松葉第二小学校	6,205	85,193	43.5	127,280.9	54.5	13,729.4	47.0	48.3
31	花野井小学校	6,044	58,027	59.4	224,329.9	47.7	9,601.5	62.3	56.5
32	富勢西小学校	5,912	52,675	62.6	233,075.2	47.1	8,910.3	64.9	58.2
33	十余二小学校	5,419	70,819	51.9	140,235.0	53.6	13,069.7	49.4	51.6
34	風早南部小学校	5,963	63,068	56.5	211,166.3	48.6	10,576.3	58.7	54.6
35	風早北部小学校	6,105	106,042	31.2	139,590.2	53.6	17,369.4	33.4	39.4
36	手賀西小学校	2,929	45,110	67.0	309,677.3	41.7	15,399.4	40.7	49.8
37	手賀東小学校	3,152	40,437	69.8	848,328.7	4.0	12,828.2	50.3	41.4
38	高柳小学校	5,961	60,892	57.7	87,571.9	57.2	10,215.6	60.0	58.3
39	大津ヶ丘第一小学校	5,968	49,914	64.2	137,126.4	53.8	8,363.0	66.9	61.6
40	大津ヶ丘第二小学校	4,882	58,307	59.3	150,405.8	52.8	11,942.9	53.6	55.2
41	高柳西小学校	4,851	54,938	61.2	117,388.9	55.2	11,325.6	55.9	57.4
42	柏の葉小学校	9,616	58,821	59.0	176,286.7	51.0	6,117.1	75.3	61.7
	平均	5,816.9	74,056.4	50.0	191,013.4	50.0	12,911.3	50.0	50.0
	合計	244,311	3,110,367		－	－	－	－	－

※偏差値は，平均を 50 として，平均からその学校の数値がどれくらい離れているかを表したものです。

※市負担額の偏差値は，値が高いほど他校よりも市負担額が少ないことを示しており，児童 1 人あたりの市負担額の偏差値は，値が高いほど他校よりも児童 1 人あたりの市負担額が少ないことを示しています。また，延床面積あたりの市負担額の偏差値は，値が高いほど他校よりも施設の面積 1 ㎡あたりの市負担額が少ないことを示しています。

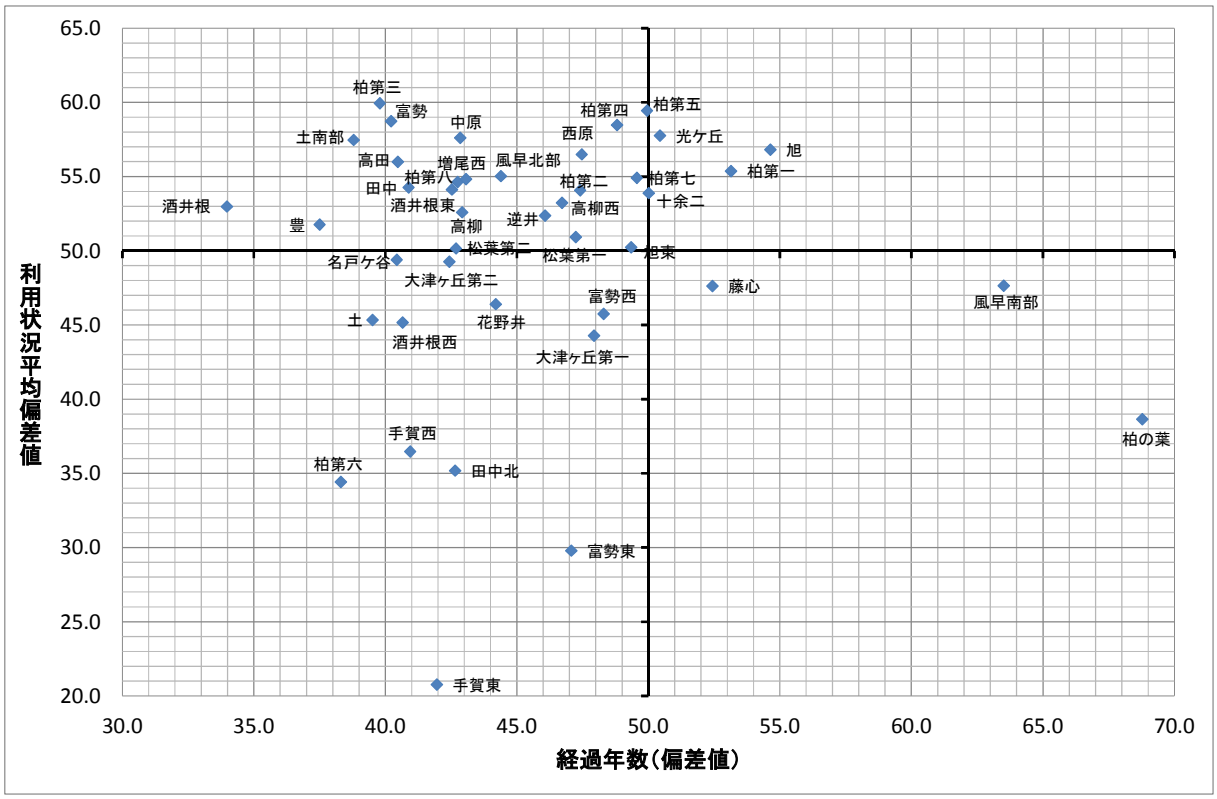


図 3-49　小学校の品質面（ハード）・供給面（ソフト）の分析

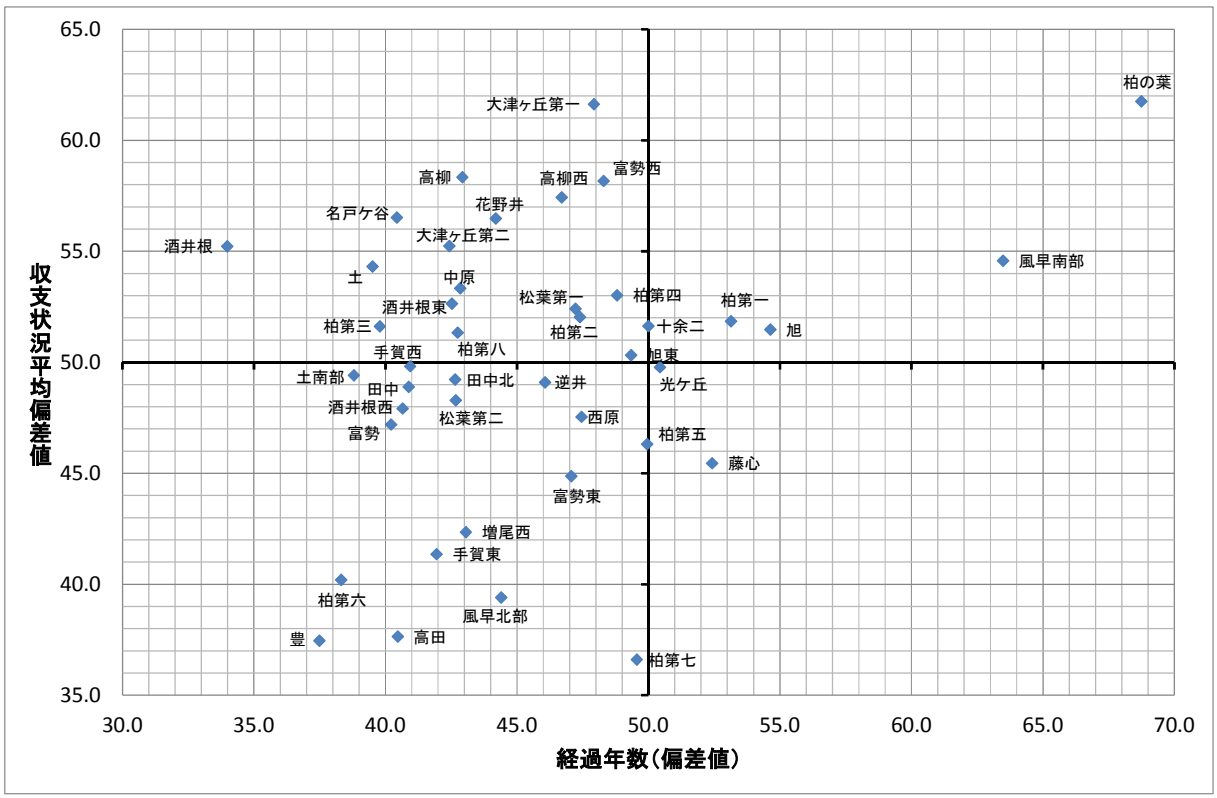


図 3-50　小学校の品質面（ハード）・財務面（ソフト）の分析

3-5-2 中学校

(1) 配置状況

・市内には，中学校が 20 校あります。
・中学校は，小学校における基礎教育に上乗せして，義務教育として心身の発達に応じて行われる普通教育を施すことを目的に設置されました。

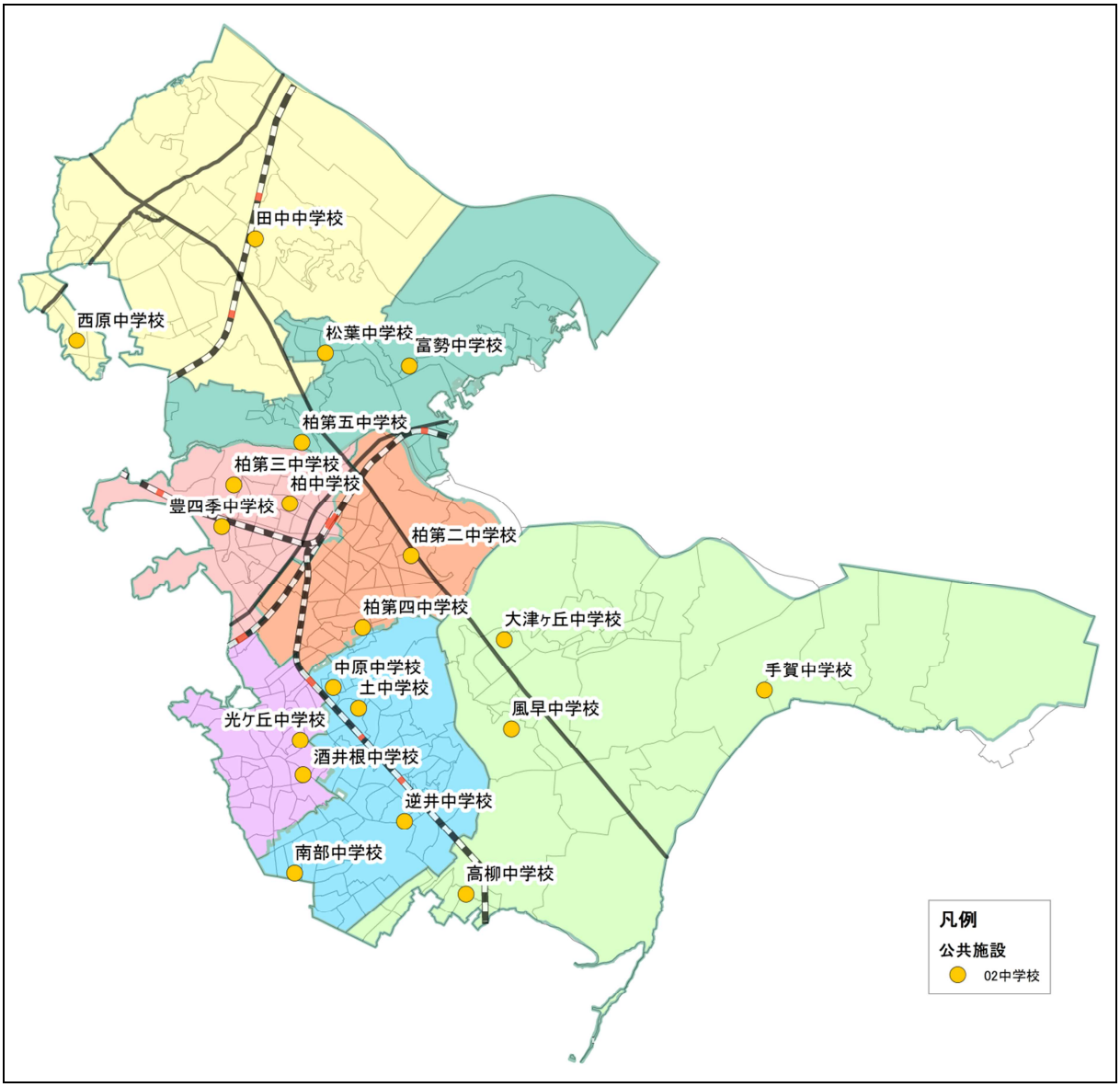


図 3-51　中学校の配置状況

写真 3－12 各施設の写真（中学校）

柏中学校

柏第二中学校

土中学校

富勢中学校

田中中学校

光ケ丘中学校

柏第三中学校

柏第四中学校

南部中学校

柏第五中学校

酒井根中学校

西原中学校

松葉中学校

逆井中学校

中原中学校

 豊四季中学校	 風早中学校	 手賀中学校
 大津ヶ丘中学校	 高柳中学校	

(2) 経過年数

・中学校は，経過年数 30 年以上の建物が全体の約 81%を占めています。
・光ケ丘中学校が最も古く，39 年が経過しています。
・目視等による屋上と外壁の簡易劣化診断結果をみると，柏第三中学校や西原中学校の劣化が進んでいます。

表 3-79　中学校の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）	簡易劣化診断評価結果	備考
1	柏中学校	14,928	12.9	562	ヘリコプター臨時離着場
2	柏第二中学校	8,659	35.8	499	
3	土中学校	6,490	33.6	448	
4	富勢中学校	7,875	36.8	476	
5	田中中学校	7,239	35.6	531	ヘリコプター臨時離着場
6	光ケ丘中学校	7,325	39.0	416	ヘリコプター臨時離着場
7	柏第三中学校	7,876	34.0	248	
8	柏第四中学校	6,670	37.4	331	
9	南部中学校	6,574	35.5	350	
10	柏第五中学校	7,123	33.3	398	
11	酒井根中学校	8,141	33.5	267	
12	西原中学校	7,286	33.3	263	
13	松葉中学校	7,858	30.2	377	
14	逆井中学校	7,771	31.7	401	ヘリコプター臨時離着場
15	中原中学校	6,852	27.3	298	
16	豊四季中学校	7,361	24.1	439	
17	風早中学校	6,008	38.7	418	
18	手賀中学校	4,027	37.1	431	
19	大津ヶ丘中学校	7,283	34.6	459	
20	高柳中学校	6,827	32.2	361	
	平均	7,509	32.8	398.7	
	合計	150,173	－	－	

※簡易劣化診断評価結果：屋上・外壁のみ，目視等により診断したもの。評価値が低いほど劣化が進んでおり，改修優先度が高い施設であると考えられます。
※全ての中学校は，指定避難場所･避難所に指定されています。
※ヘリコプター臨時離着場は，柏市地域防災計画において市内 10 箇所が選定されています。

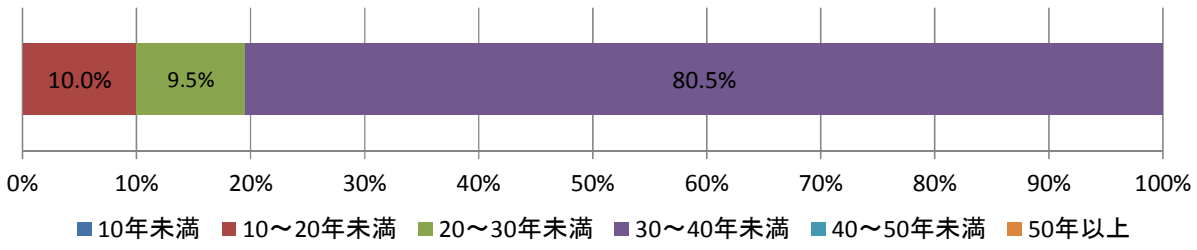
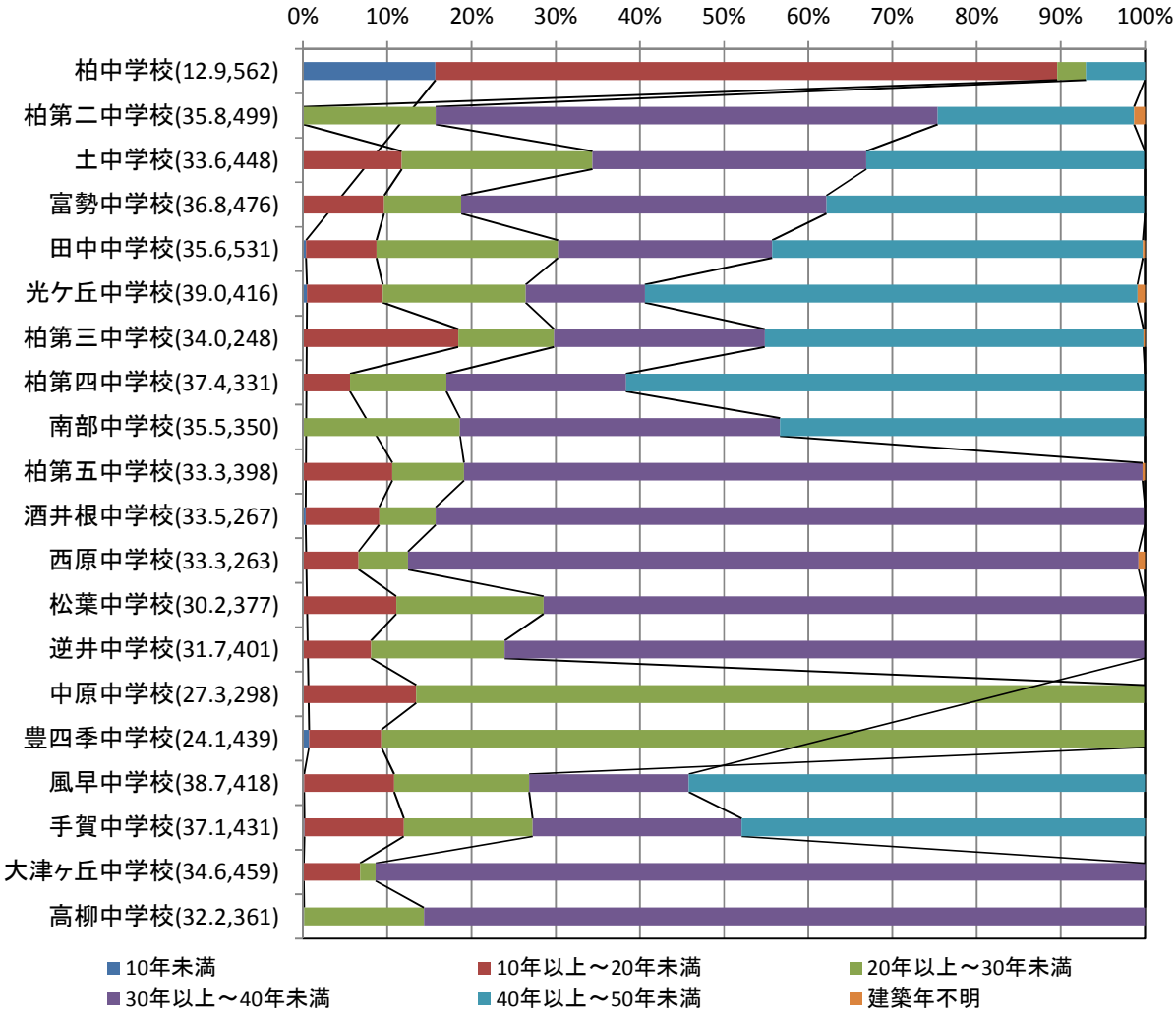


図 3-52　中学校の経過年数別延床面積構成比

・中学校の経過年数別延床面積比率をみると，柏第四中学校，光ケ丘中学校および風早中学校は，経過年数が 40 年以上の部分の割合が 50%を超えています。



※カッコ内は経過年数，簡易劣化診断評価値

図 3-53　中学校の経過年数別延床面積比率

(3) 利用状況

・昭和 51 年以降の柏市の生徒数の推移をみると，昭和 62 年の約 1 万 8 千人をピークとして減少を続けていましたが，平成 17 年以降は，ゆるやかな増加に転じ，現在約 1 万人となっています。
・一方，延床面積は，平成 14 年に約 14 万㎡に達してからは大きな変化はありません。

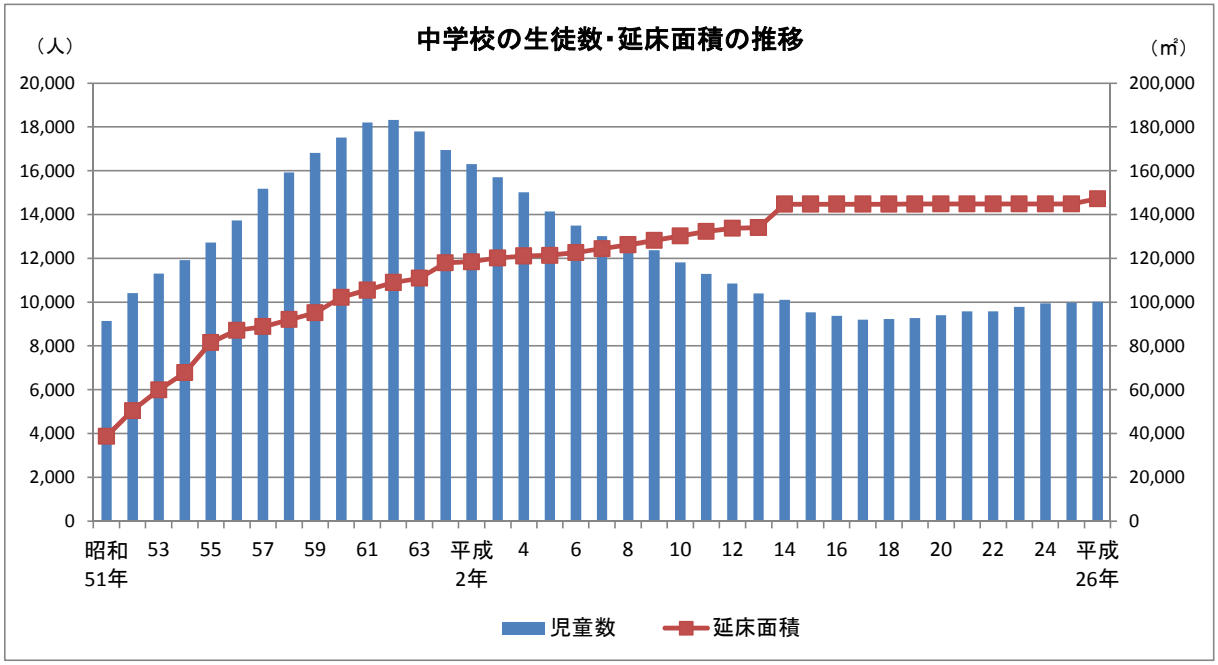


図 3-54　中学校の生徒数・延床面積の推移（各年 5 月 1 日の生徒数）

・平成 24 年～平成 26 年の各校の生徒数をみると，1 校あたり平均 499 人ですが，柏第二中学校では 700 人以上の生徒数を有する一方で，土中学校および手賀中学校では 300 人以下となっており，学校間で差がみられます。
・過去 10 年間の生徒数の平均増減率をみると，豊四季中学校は年平均 4%以上増加している一方で，手賀中学校は年平均 6%以上減少しているなど，学校間で違いがみられます。
・生徒 1 人あたり延床面積についても，豊四季中学校および柏第二中学校では約 11 ㎡/人ですが，手賀中学校，柏中学校，柏第三中学校および土中学校は 20 ㎡/人以上となっており，学校間で差がみられます。

表 3-80　中学校の生徒数

No	施設名称	延床面積（㎡）	各年5月1日の生徒数（人）				過去10年間の平均増減率	生徒1人あたり延床面積（㎡/人）
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均		
1	柏中学校	14,928	616	603	540	586	−1.37%	25.5
2	柏第二中学校	8,659	770	737	787	765	0.02%	11.3
3	土中学校	6,490	292	286	268	282	0.94%	23.0
4	富勢中学校	7,875	620	639	636	632	−0.64%	12.5
5	田中中学校	7,239	455	468	474	466	−0.65%	15.5
6	光ケ丘中学校	7,325	647	598	572	606	0.15%	12.1
7	柏第三中学校	7,876	316	343	360	340	0.61%	23.2
8	柏第四中学校	6,670	387	397	408	397	0.16%	16.8
9	南部中学校	6,574	391	411	420	407	0.62%	16.1
10	柏第五中学校	7,123	478	477	513	489	2.77%	14.6
11	酒井根中学校	8,141	644	663	680	662	2.51%	12.3
12	西原中学校	7,286	557	557	568	561	1.07%	13.0
13	松葉中学校	7,858	644	615	633	631	1.03%	12.5
14	逆井中学校	7,771	536	574	529	546	1.55%	14.2
15	中原中学校	6,852	512	512	505	510	−0.55%	13.4
16	豊四季中学校	7,361	660	652	681	664	4.31%	11.1
17	風早中学校	6,008	315	335	323	324	−0.95%	18.5
18	手賀中学校	4,027	79	71	70	73	−6.48%	54.9
19	大津ヶ丘中学校	7,283	452	482	508	481	2.36%	15.2
20	高柳中学校	6,827	570	565	548	561	2.71%	12.2
	平均	7,509	497	499	501	499	0.51%	17.4
	合計	150,173	9,941	9,985	10,023	9,983		347.8

・平成 24 年から平成 26 年までの学級数をみると，普通学級数，特別支援学級数ともにほぼ横ばいです。

表 3-81　中学校の学級数

No.	施設名称	学級数					
		普通学級			特別支援学級数		
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
1	柏中学校	17	17	17	2	2	1
2	柏第二中学校	21	20	21	2	3	3
3	土中学校	9	9	9	1	1	1
4	富勢中学校	18	18	18	2	3	2
5	田中中学校	14	14	14	1	1	1
6	光ケ丘中学校	18	18	17	2	2	2
7	柏第三中学校	10	10	11	2	2	1
8	柏第四中学校	11	12	12	1	1	1
9	南部中学校	12	13	12	1	1	1
10	柏第五中学校	14	14	15	2	2	2
11	酒井根中学校	18	18	20	1	1	1
12	西原中学校	15	15	15	1	1	1
13	松葉中学校	18	17	17	2	2	2
14	逆井中学校	15	17	14	2	2	2
15	中原中学校	15	15	16	1	1	1
16	豊四季中学校	19	19	19	2	1	1
17	風早中学校	9	10	9	1	1	1
18	手賀中学校	3	3	3	0	0	1
19	大津ヶ丘中学校	13	14	15	1	1	1
20	高柳中学校	16	16	16	2	2	2
	平均	14.3	14.5	14.5	1.5	1.5	1.4
	合計	285	289	290	29	30	28

※特別支援学級：障害のある生徒へ，生活や学習上の困難改善または克服に向けた適切な指導・必要な支援を行うための学級。

・中学校の体育施設開放事業の利用状況をみると，利用率は平均 69%となっています。

表 3-82　中学校の利用状況（利用率）

No	施設名称	貸出箇所	利用率(%)
1	柏中学校	体育館、武道場	81%
2	柏第二中学校	体育館、武道場	48%
3	土中学校	体育館、武道場	71%
4	富勢中学校	体育館、武道場	57%
5	田中中学校	体育館、武道場	75%
6	光ケ丘中学校	体育館、武道場	80%
7	柏第三中学校	体育館、武道場	55%
8	柏第四中学校	体育館、武道場	65%
9	南部中学校	体育館、武道場	94%
10	柏第五中学校	体育館、武道場	63%
11	酒井根中学校	体育館、武道場	57%
12	西原中学校	体育館、武道場	56%
13	松葉中学校	体育館、武道場	45%
14	逆井中学校	体育館、武道場	84%
15	中原中学校	体育館、武道場	75%
16	豊四季中学校	体育館、武道場	87%
17	風早中学校	体育館、武道場	80%
18	手賀中学校	体育館、武道場	39%
19	大津ヶ丘中学校	体育館、武道場	80%
20	高柳中学校	体育館、武道場	77%
		平均	69%

※体育施設開放事業とは，学校施設を地域住民に開放し，スポーツ活動を支援することを目的とした事業です。

(4) コスト状況

・富勢中学校，柏中学校の市負担額が大きくなっています。
・延床面積あたりの市負担額は，平均で約 1.1 万円／㎡ですが，富勢中学校，南部中学校，中原中学校および豊四季中学校が大きくなっています。
・生徒 1 人あたりの市負担額は，平均で約 18.4 万円/人ですが，手賀中学校，柏第三中学校および土中学校が大きく，特に手賀中学校は 57 万円/人と平均の 3 倍以上の水準になっています。
・延床面積あたりの施設に係るコストをみると，風早中学校および高柳中学校では，土地・建物の貸借料が多くなっています。酒井根中学校や豊四季中学校では，光熱水費が多くなっています。
・生徒 1 人あたりの事業運営・人に係るコストをみると，手賀中学校では，事業物件費が多くなっています。土中学校および柏第三中学校では，事業委託費や事業物件費が多くなっています。
※中学校の人に係るコストには，学校栄養職員，給食調理員，用務員などのほか，サポート教員，学校図書館指導員など子どもの学習活動を支える人的支援に係るものが含まれています。一方，教諭など県が費用を負担する教職員に係るものは含まれていません。

表 3-83　中学校のコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）								
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤−⑥）	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）⑧	生徒1人あたりの市負担額（円/人）⑨
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）				
1	柏中学校	34,552	41,600	22,876	0	99,028	323	98,705	6,612	168,343
2	柏第二中学校	33,075	46,047	9,764	0	88,886	148	88,738	10,249	116,048
3	土中学校	21,383	28,175	18,632	0	68,191	148	68,042	10,485	241,285
4	富勢中学校	48,405	39,108	11,709	0	99,221	332	98,889	12,558	156,553
5	田中中学校	43,100	34,532	6,985	0	84,618	145	84,473	11,668	181,402
6	光ケ丘中学校	31,649	38,538	11,629	0	81,816	160	81,657	11,148	134,821
7	柏第三中学校	33,011	33,916	16,704	0	83,631	195	83,436	10,594	245,640
8	柏第四中学校	29,457	30,905	14,673	0	75,035	146	74,889	11,228	188,480
9	南部中学校	29,874	34,423	16,758	0	81,055	154	80,901	12,307	198,611
10	柏第五中学校	29,414	35,476	16,118	0	81,008	259	80,749	11,337	165,019
11	酒井根中学校	39,186	38,120	10,917	0	88,223	153	88,070	10,818	132,969
12	西原中学校	29,980	37,588	15,584	0	83,152	338	82,814	11,365	147,706
13	松葉中学校	29,903	42,437	14,161	0	86,501	11	86,490	11,006	137,140
14	逆井中学校	29,054	36,350	16,885	0	82,288	93	82,195	10,577	150,448
15	中原中学校	38,267	35,635	9,439	0	83,341	327	83,014	12,115	162,880
16	豊四季中学校	43,925	36,482	8,101	0	88,508	147	88,362	12,004	133,008
17	風早中学校	41,310	18,496	8,684	0	68,490	1,427	67,064	11,162	206,774
18	手賀中学校	19,982	16,918	5,316	0	42,215	308	41,907	10,408	571,459
19	大津ヶ丘中学校	26,913	19,608	7,162	0	53,684	1,229	52,455	7,202	109,129
20	高柳中学校	50,296	20,513	9,271	0	80,080	1,320	78,760	11,536	140,392
	平均	34,137	33,243	12,568	0	79,949	368	79,580	10,819	184,405
	合計	682,735	664,870	251,367	0	1,598,972	7,363	1,591,608	−	−

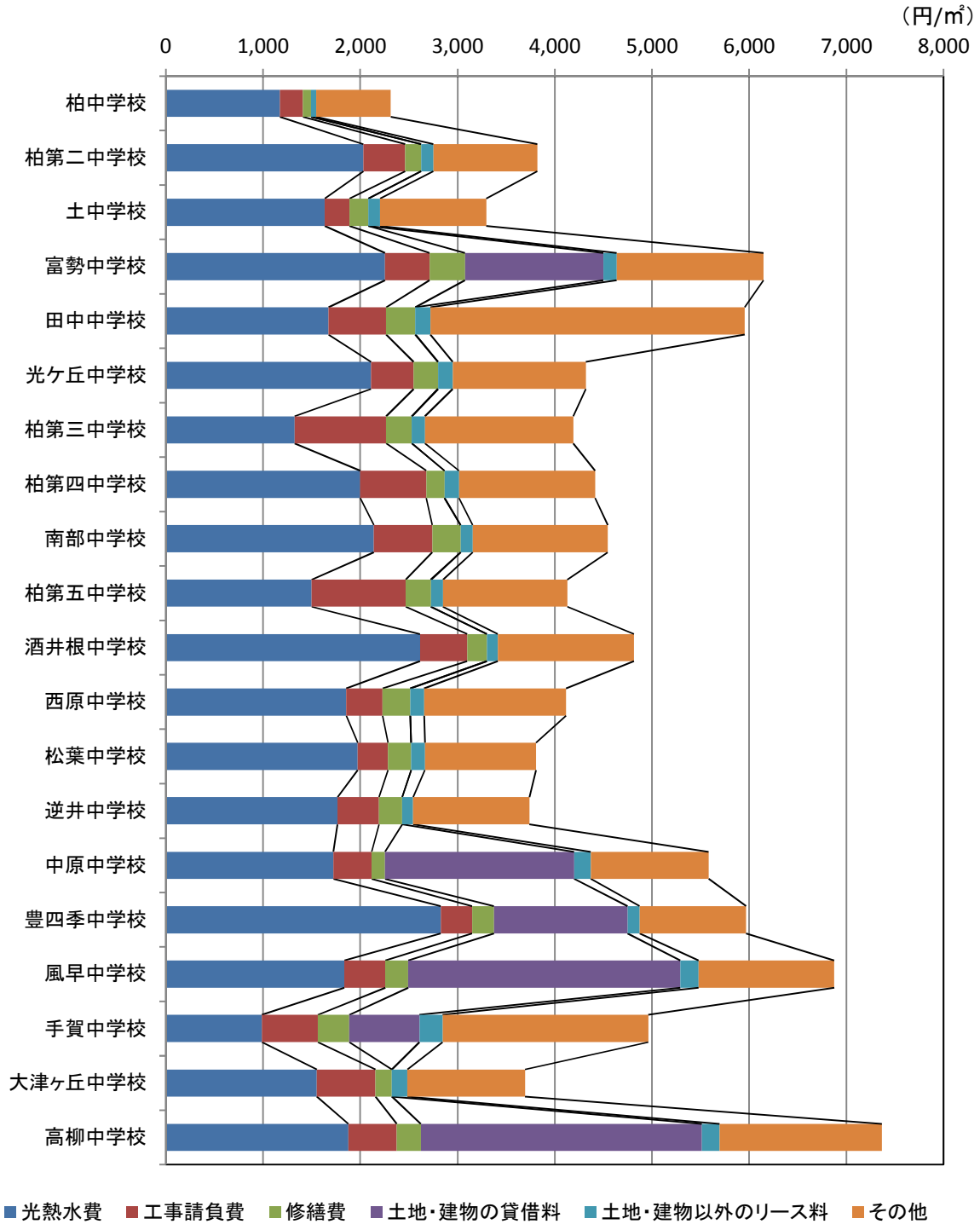


図 3-55　中学校の延床面積あたりの施設に係るコスト

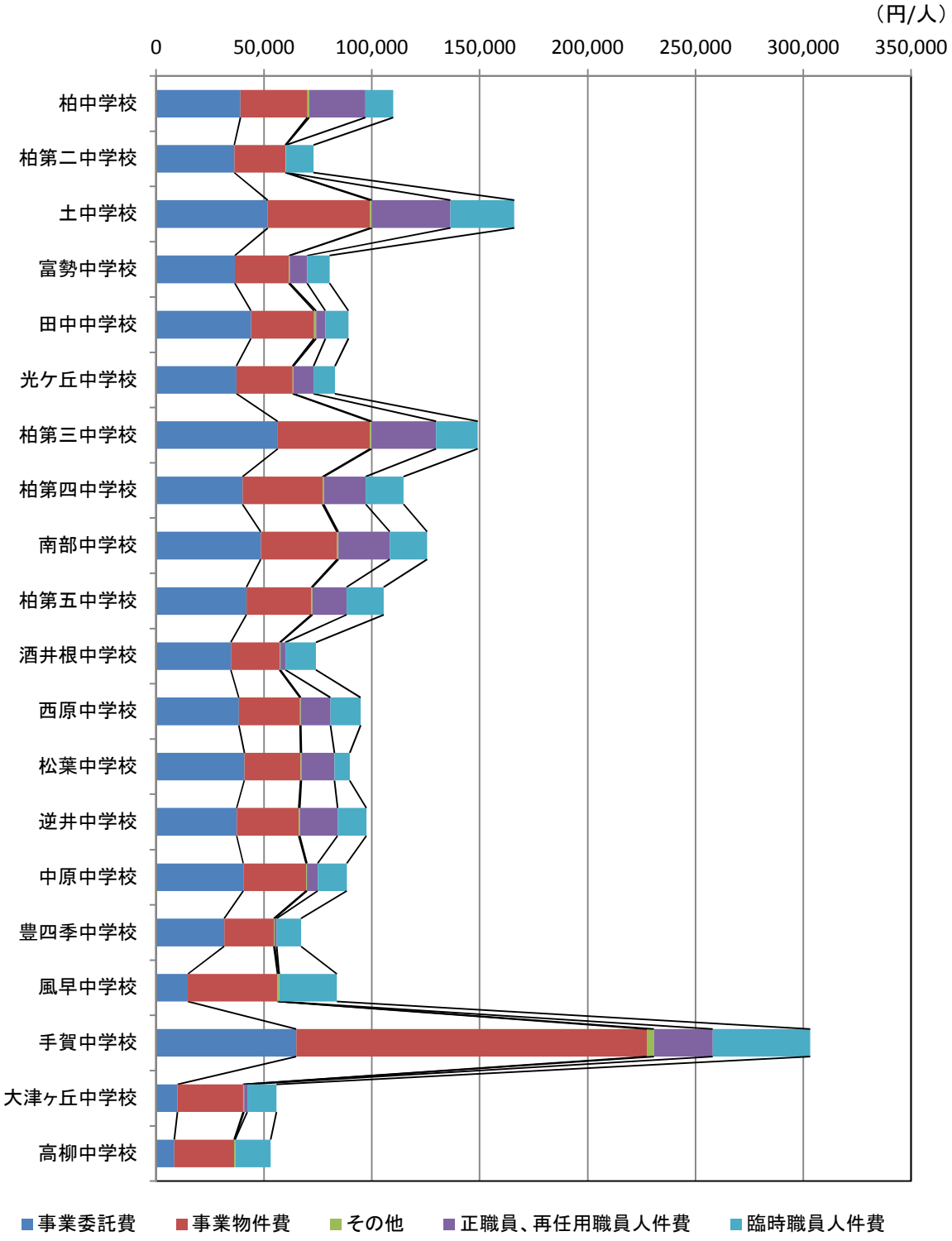


図 3-56　中学校の生徒 1 人あたりの事業運営・人に係るコスト

(5) 施設現況のまとめ

・柏第三中学校，酒井根中学校および西原中学校は，古い建物が多く，簡易劣化診断評価値も低いことから，品質面（ハード）が低くなっています。
・供給面（ソフト）から見ると，手賀中学校，柏第三中学校および土中学校などは，生徒数が少なく，また，1 人あたりの延べ床面積が広くなっており，施設利用の観点から見て，利用状況が低くなっています。
・一方，財務面（ソフト）から見ると，富勢中学校では市負担額が大きく，また，南部中学校では延床面積あたりの市負担額が大きく，市の費用負担が大きくなっています。

表 3-84　中学校の品質面（ハード）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	品質				品質（ハード）平均偏差値
			経過年数（年）	偏差値	簡易劣化診断評価結果	偏差値	
1	柏中学校	14,928	12.9	60.0	562	68.6	64.3
2	柏第二中学校	8,659	35.8	41.1	499	61.4	51.3
3	土中学校	6,490	33.6	42.9	448	55.6	49.3
4	富勢中学校	7,875	36.8	40.3	476	58.8	49.5
5	田中中学校	7,239	35.6	41.2	531	65.0	53.1
6	光ケ丘中学校	7,325	39.0	38.5	416	52.0	45.2
7	柏第三中学校	7,876	34.0	42.6	248	32.9	37.7
8	柏第四中学校	6,670	37.4	39.7	331	42.3	41.0
9	南部中学校	6,574	35.5	41.3	350	44.5	42.9
10	柏第五中学校	7,123	33.3	43.2	398	49.9	46.5
11	酒井根中学校	8,141	33.5	43.0	267	35.0	39.0
12	西原中学校	7,286	33.3	43.2	263	34.6	38.9
13	松葉中学校	7,858	30.2	45.7	377	47.5	46.6
14	逆井中学校	7,771	31.7	44.4	401	50.3	47.4
15	中原中学校	6,852	27.3	48.1	298	38.6	43.3
16	豊四季中学校	7,361	24.1	50.8	439	54.6	52.7
17	風早中学校	6,008	38.7	38.7	418	52.2	45.5
18	手賀中学校	4,027	37.1	40.0	431	53.7	46.8
19	大津ヶ丘中学校	7,283	34.6	42.1	459	56.9	49.5
20	高柳中学校	6,827	32.2	44.1	361	45.7	44.9
	平均	7,509	32.8	43.5	399	50.0	46.8
	合計	150,173	－	－	－	－	－

※偏差値は，平均を 50 として，平均からその学校の数値がどれくらい離れているかを表したものです。
※経過年数の偏差値は，値が高いほど他校よりも新しい建物が多いことを示しており，簡易劣化診断評価値の偏差値は，値が高いほど他校よりも劣化の少ない建物が多いことを示しています。

表 3-85　中学校の供給面（ソフト）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	供給						供給（ソフト）平均偏差値
			生徒数（人）	偏差値	生徒1人あたり延床面積（㎡/人）	偏差値	利用率	偏差値	
1	柏中学校	14,928	586	55	25.5	41.7	80.6%	58	51.7
2	柏第二中学校	8,659	765	66	11.3	56.2	48.0%	37	53.1
3	土中学校	6,490	282	37	23.0	44.2	70.7%	51	44.1
4	富勢中学校	7,875	632	58	12.5	55.0	56.9%	42	51.9
5	田中中学校	7,239	466	48	15.5	51.9	75.0%	54	51.4
6	光ケ丘中学校	7,325	606	57	12.1	55.4	79.7%	57	56.5
7	柏第三中学校	7,876	340	40	23.2	44.1	55.1%	41	41.8
8	柏第四中学校	6,670	397	44	16.8	50.6	64.8%	48	47.3
9	南部中学校	6,574	407	44	16.1	51.3	93.7%	67	54.0
10	柏第五中学校	7,123	489	49	14.6	52.9	63.3%	47	49.6
11	酒井根中学校	8,141	662	60	12.3	55.2	57.5%	43	52.7
12	西原中学校	7,286	561	54	13.0	54.5	55.6%	42	49.9
13	松葉中学校	7,858	631	58	12.5	55.1	45.3%	35	49.3
14	逆井中学校	7,771	546	53	14.2	53.2	84.5%	61	55.6
15	中原中学校	6,852	510	51	13.4	54.0	75.5%	55	53.1
16	豊四季中学校	7,361	664	60	11.1	56.5	87.3%	62	59.7
17	風早中学校	6,008	324	39	18.5	48.8	80.1%	58	48.5
18	手賀中学校	4,027	73	24	54.9	11.6	39.5%	31	22.0
19	大津ヶ丘中学校	7,283	481	49	15.2	52.3	79.9%	58	52.9
20	高柳中学校	6,827	561	54	12.2	55.4	77.3%	56	55.0
	平均	7,509	499	50.0	17.4	50.0	68.5%	50.0	50.0
	合計	150,173	9,983		－	－			－

※偏差値は，平均を 50 として，平均からその学校の数値がどれくらい離れているかを表したものです。

※生徒数の偏差値は，値が高いほど他校よりも生徒数が多いことを示しており，生徒 1 人あたり延床面積の偏差値は，値が高いほど他校よりも生徒 1 人あたりの延床面積が狭い（有効利用されている）ことを示しています。また，利用率の偏差値は，値が高いほど他校よりも体育施設開放事業で学校施設が地域住民に多く利用されている（需要が高い）ことを示しています。

表 3-86　中学校の財務面（ソフト）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	財務						財務（ソフト）平均偏差値
			市負担額（千円）	偏差値	生徒1人あたりの市負担額（円/人）	偏差値	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）	偏差値	
1	柏中学校	14,928	98,705	36.0	168,342.8	51.6	6,612.0	78.3	55.3
2	柏第二中学校	8,659	88,738	43.3	116,047.5	56.9	10,248.6	53.8	51.4
3	土中学校	6,490	68,042	58.4	241,284.9	44.2	10,484.8	52.2	51.6
4	富勢中学校	7,875	98,889	35.9	156,553.0	52.8	12,557.6	38.3	42.3
5	田中中学校	7,239	84,473	46.4	181,401.6	50.3	11,668.4	44.3	47.0
6	光ケ丘中学校	7,325	81,657	48.5	134,821.1	55.0	11,148.4	47.8	50.4
7	柏第三中学校	7,876	83,436	47.2	245,639.8	43.8	10,593.6	51.5	47.5
8	柏第四中学校	6,670	74,889	53.4	188,479.9	49.6	11,228.1	47.2	50.1
9	南部中学校	6,574	80,901	49.0	198,611.3	48.6	12,306.5	40.0	45.9
10	柏第五中学校	7,123	80,749	49.1	165,019.1	52.0	11,337.0	46.5	49.2
11	酒井根中学校	8,141	88,070	43.8	132,968.8	55.2	10,818.3	50.0	49.7
12	西原中学校	7,286	82,814	47.6	147,706.3	53.7	11,365.4	46.3	49.2
13	松葉中学校	7,858	86,490	45.0	137,140.1	54.8	11,006.2	48.7	49.5
14	逆井中学校	7,771	82,195	48.1	150,448.4	53.4	10,576.7	51.6	51.1
15	中原中学校	6,852	83,014	47.5	162,879.7	52.2	12,115.1	41.3	47.0
16	豊四季中学校	7,361	88,362	43.6	133,008.0	55.2	12,004.1	42.0	46.9
17	風早中学校	6,008	67,064	59.1	206,773.9	47.7	11,161.8	47.7	51.5
18	手賀中学校	4,027	41,907	77.5	571,459.1	10.7	10,407.7	52.8	47.0
19	大津ヶ丘中学校	7,283	52,455	69.8	109,129.0	57.6	7,202.0	74.3	67.3
20	高柳中学校	6,827	78,760	50.6	140,391.6	54.5	11,535.9	45.2	50.1
	平均	7,509	79,580	50.0	184,405.3	50.0	10,818.9	50.0	50.0
	合計	150,173	1,591,608	－	－	－	－	－	－

※偏差値は，平均を 50 として，平均からその学校の数値がどれくらい離れているかを表したものです。

※市負担額の偏差値は，値が高いほど他校よりも市負担額が少ないことを示しており，生徒 1 人あたりの市負担額の偏差値は，値が高いほど他校よりも生徒 1 人あたりの市負担額が少ないことを示しています。また，延床面積あたりの市負担額の偏差値は，値が高いほど他校よりも施設の面積 1 ㎡あたりの市負担額が少ないことを示しています。

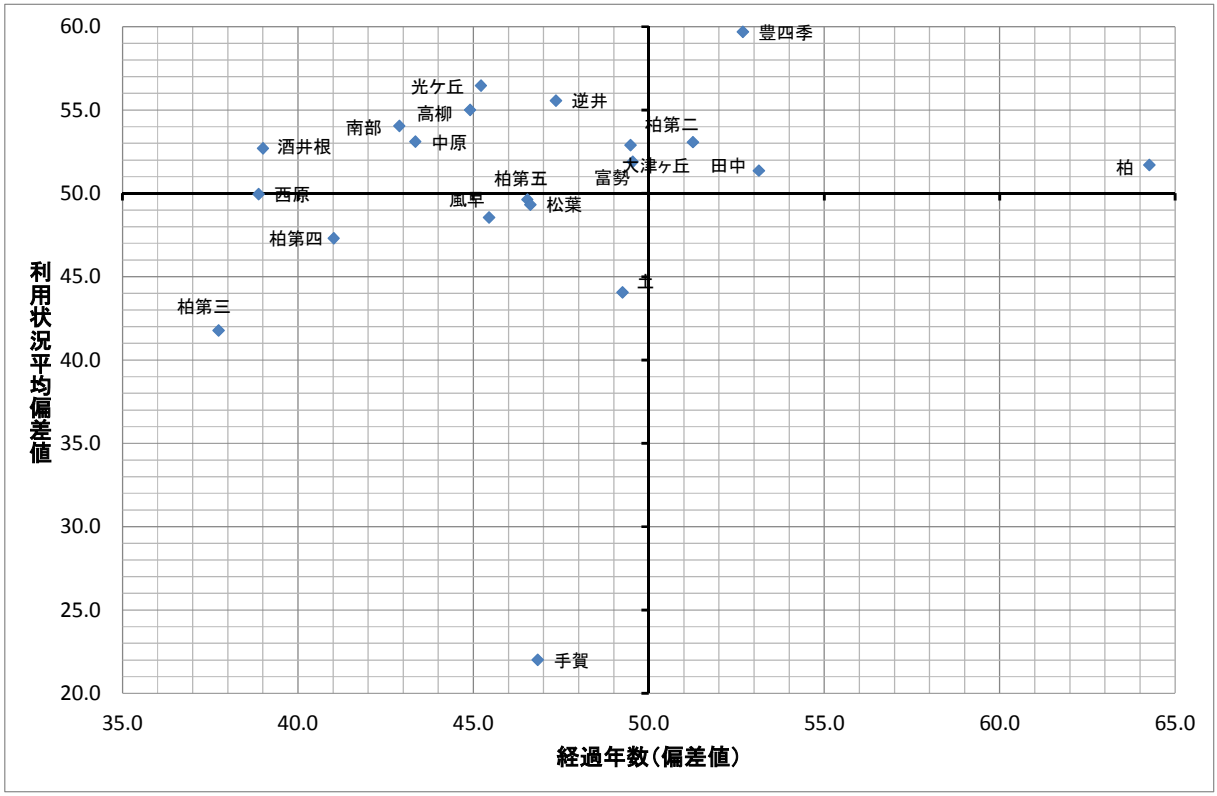


図 3-57　中学校の品質面（ハード）・供給面（ソフト）の分析

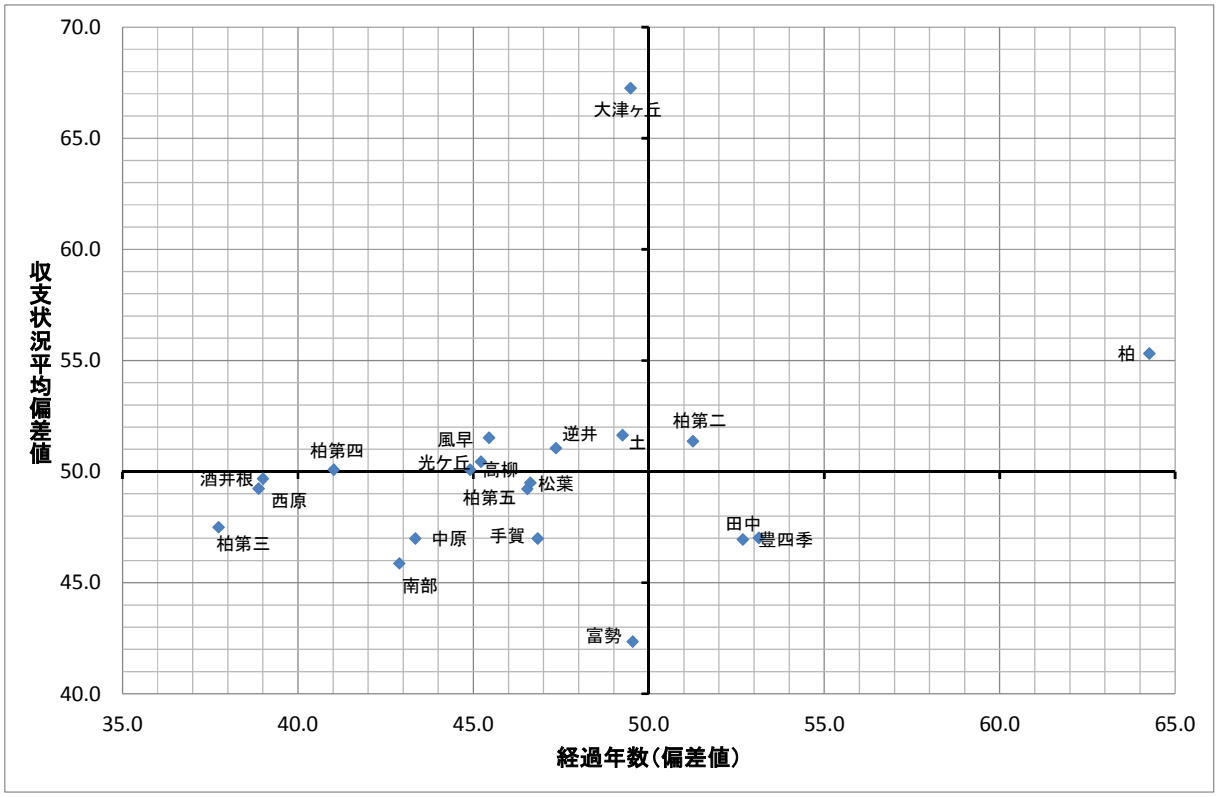


図 3-58　中学校の品質面（ハード）・財務面（ソフト）の分析

3-5-3 高等学校

(1) 配置状況

・市内には，市立高等学校が 1 校あります。
・市立柏高等学校は，急激な都市化の進展・人口の増加に伴い，市内の教育環境充実・教育機会均等の実現を目的に，千葉県内で 8 番目の市立高等学校として設置されました。

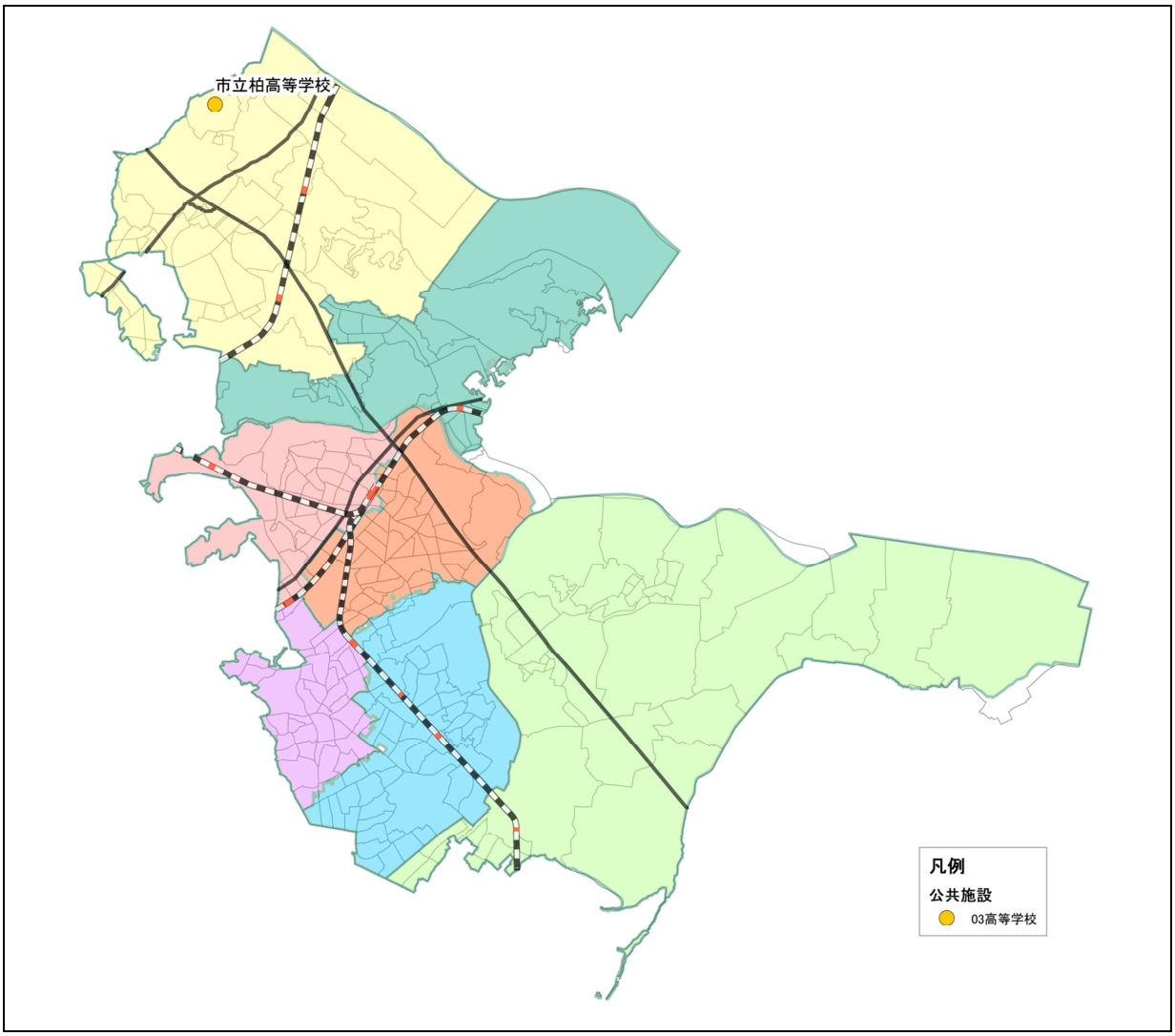


図 3-59　高等学校の配置状況

写真 3－13 各施設の写真（高等学校）

市立柏高等学校

(2) 経過年数

・市立柏高等学校は，経過年数が約 25 年となっています。この数値は，柏市が保有する全ての建物の平均経過年数とほぼ同程度です。

表 3-87　高等学校の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	市立柏高等学校	21,145	25.3	指定避難場所・避難所

表 3-88　高等学校の品質面（ハード）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	品質		品質（ハード）平均偏差値
			経過年数（年）	偏差値	
1	市立柏高等学校	21,145	25.3	49.8	49.8

(3) 利用状況

・市立柏高等学校は，約 960 人の生徒が在籍しています。

表 3-89　高等学校の生徒数

No	施設名称	延床面積（㎡）	各年5月1日の生徒数（人）				生徒1人あたり延床面積（㎡/人）
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均	
1	市立柏高等学校	21,145	957	963	962	961	22.0

表 3-90　高等学校の学級数

No	施設名称	学級数			
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均
1	市立柏高等学校	29	29	29	29

(4) コスト状況

・市立柏高等学校に係る市負担額は，年間約 7.4 億円となっています。支出のうち人に係るコストが約８割を占めています。

※市立柏高等学校の人に係る費用には，教員の人件費も含まれています。

表 3-91　高等学校のコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）								
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤－⑥）	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）⑧	生徒1人あたりの市負担額（円/人）⑨
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）				
1	市立柏高等学校	70,625	100,873	681,425	－	852,922	108,038	744,884	35,227	775,382

3-5 02 その他教育施設

(1) 配置状況

・その他教育施設は，市内に柏市教育委員会教育支援室と学校給食センターの 2 施設があります。
・柏市教育委員会教育支援室は，心理相談を専門とする相談員が，子ども（幼児，児童，生徒）の教育についての心配事に対し，保護者の相談に応え，また，子どもに対しても必要に応じた心理的な支援を行うために設置されました。また，適応指導教室「きぼうの園」を併設し，何らかの心理的要因により不登校状態の児童および生徒に対し，本人の自立を促すとともに，学校生活への復帰を支援するための指導や援助も行っています。
・学校給食センターは，旧沼南町域内の小中学校に通う児童および生徒に対し，給食を実施するため設置されました。現在は，小学校 7 校と中学校 4 校の計 11 校に給食を提供しています。

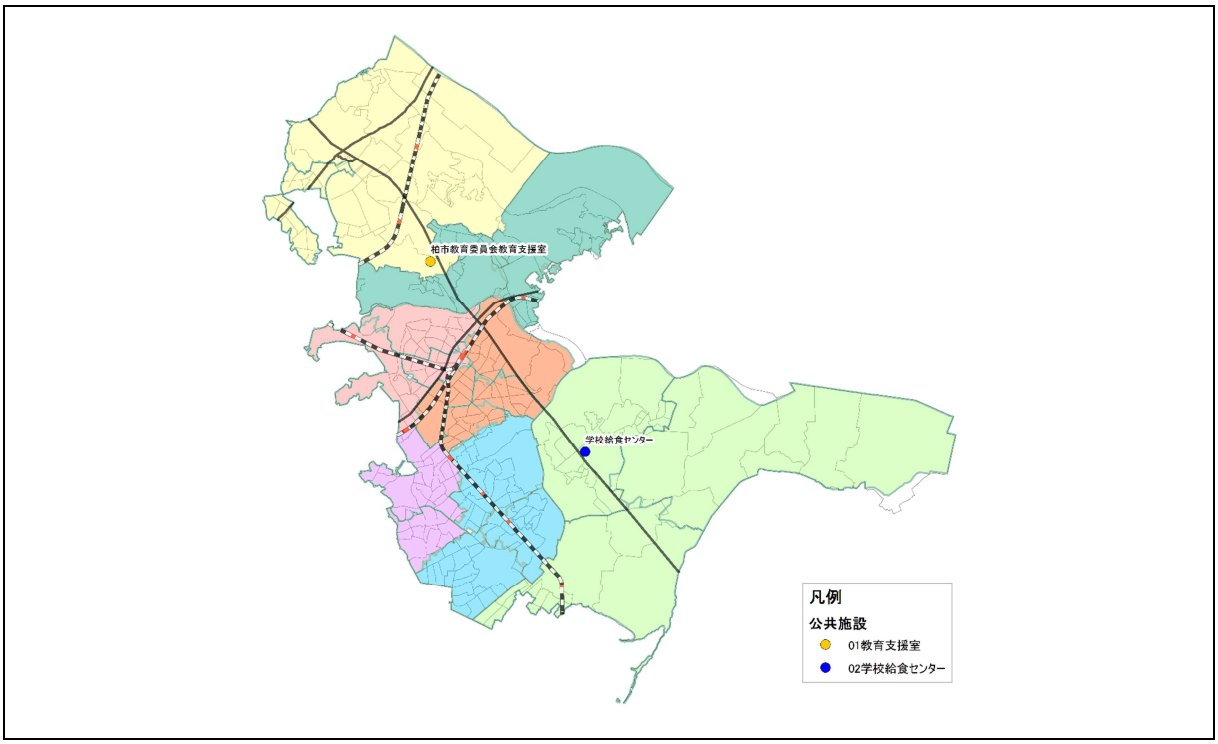


図 3-60　その他教育施設の配置状況

写真 3－14 各施設の写真（その他教育施設）

柏市教育委員会教育支援室

学校給食センター

(2) 経過年数

・その他教育施設の平均経過年数は，18.4 年です。柏市教育委員会教育支援室の建物は，平成 27 年 2 月に建てられたものです。
・学校給食センターの建物は，平均して約 37 年が経過しています。

表 3-92　その他教育施設の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）		備考
1	柏市教育委員会教育支援室	301	0.1		
2	学校給食センター	1,083	36.7		
	平均	692	18.4		
	合計	1,384	－		

(3) 利用状況

① 給食提供食数および給食提供校の児童・生徒数の推移

・学校給食センターの給食提供数は，風早北部小学校の児童数が増加していることにより，概ね増加の傾向にあります。
・平成 23 年度の給食提供数は，風早南部小学校が自校給食に移行したことにより，一時的に減少しています。

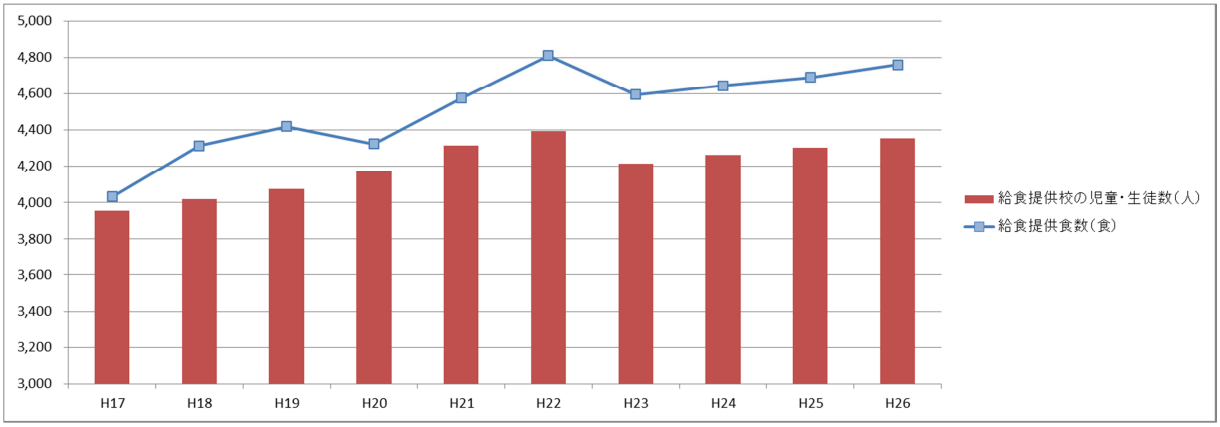
表 3-93　給食提供食数

施設名称	給食提供食数（食）									
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
学校給食センター	4,031	4,314	4,418	4,324	4,574	4,810	4,595	4,645	4,690	4,760

表 3-94　給食提供校の児童・生徒数の推移

施設名称	給食提供校の児童･生徒数(人)									
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
風早南部小学校	283	271	262	276	286	287	－	－	－	－
風早北部小学校	358	381	430	491	561	611	678	723	739	817
手賀西小学校	134	123	120	111	112	103	114	139	150	148
手賀東小学校	89	78	69	55	57	57	46	41	50	52
高柳小学校	622	640	664	687	696	679	680	684	695	707
大津ヶ丘第一小学校	376	390	404	396	393	402	389	374	371	347
大津ヶ丘第二小学校	374	378	382	384	410	410	418	397	374	392
高柳西小学校	450	482	499	531	503	519	506	488	472	444
風早中学校	342	331	314	287	296	281	307	314	335	323
手賀中学校	132	122	122	110	97	90	81	79	71	70
大津ヶ丘中学校	373	380	358	379	388	418	409	452	482	508
高柳中学校	421	441	449	469	515	537	585	570	565	548
平均	330	335	339	348	360	366	383	387	391	396
合計	3,954	4,017	4,073	4,176	4,314	4,394	4,213	4,261	4,304	4,356

※風早南部小学校は，平成 22 年 9 月 1 日に新校舎移転し，平成 23 年 4 月 18 日から自校給食を開始しているため，学校給食センターからの給食提供は終了しています。



※給食提供数には学校教職員への配食数も加味されております。

図 3-61　過去 10 年間の給食提供食数の推移

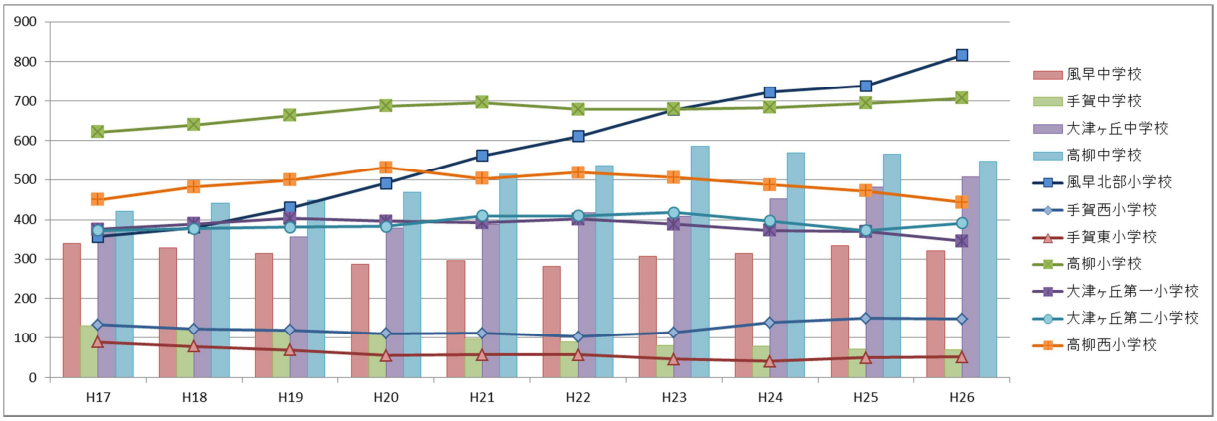


図 3-62　過去 10 年間の給食提供校の児童・生徒数の推移

(4) コスト状況

・学校給食センターに係る市負担額は，年間約 1.2 億円となっています。支出の内訳をみると，延床面積あたり施設に係るコストでは，光熱水費の占める割合が多く，給食提供数あたり事業運営・人に係るコストでは，事業物件費が最も多く，続いて事業委託費の占める割合が多くなっています。

※柏市教育委員会教育支援室は，運営開始が平成 27 年 4 月からのため，コスト状況は掲載していません。

表 3-95　学校給食センターのコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）							
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤－⑥）	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）⑧
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）			
1	学校給食センター	33,252	293,937	22,400	0	349,589	232,072	117,517	108,536

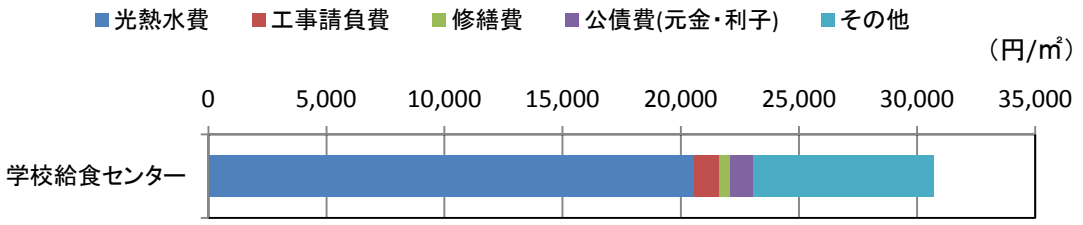
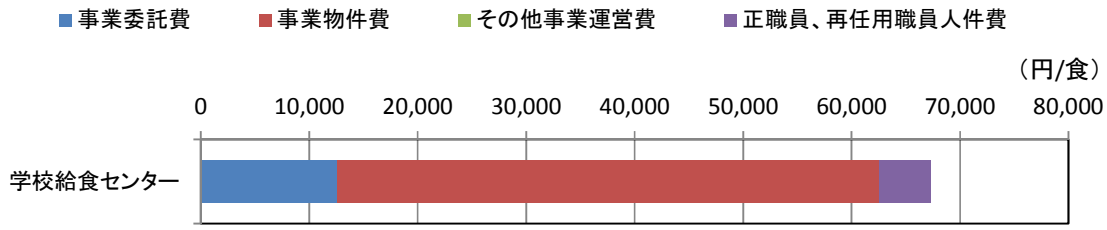


図 3-63　学校給食センターの延床面積あたり施設に係るコスト



※給食提供数について，平成 24 年度から平成 26 年度までの 3 か年の平均値で計算。

図 3-64　学校給食センターの給食提供食数あたり事業運営・人に係るコスト

3-6 01 保育園

(1) 配置状況

・保育園は，市内に 23 施設あります。
・保育園は，保護者の就労や病気等により保育が必要な乳幼児を，保護者に代わって保育するために設置されました。

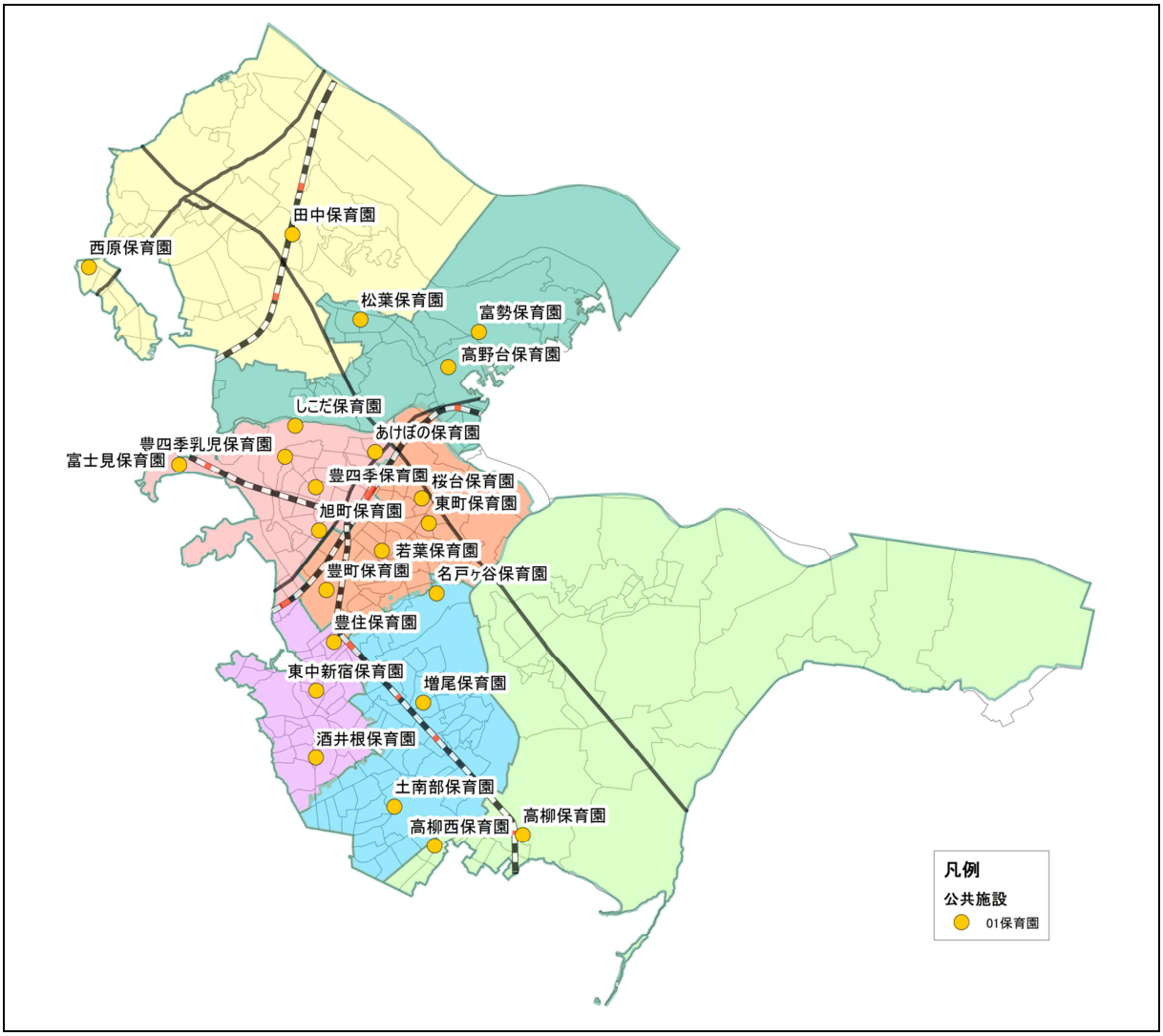


図 3-65　保育園の配置状況

写真 3－15 各施設の写真（保育園）

桜台保育園

若葉保育園

あけぼの保育園

 富勢保育園	 東中新宿保育園	 豊四季保育園
 増尾保育園	 豊住保育園	 土南部保育園
 豊四季乳児保育園	 西原保育園	 豊町保育園
 富士見保育園	 酒井根保育園	 名戸ケ谷保育園
 田中保育園	 旭町保育園	 東町保育園

 高野台保育園	 しこだ保育園	 松葉保育園
 高柳保育園	 高柳西保育園	

(2) 経過年数

・保育園の平均経過年数は，33.9 年です。経過年数 30 年以上の建物が全体の 88%を占めています。
・豊四季保育園や若葉保育園等の 5 園が，経過年数 40 年を超えて古くなっています。

表 3-96　保育園の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	桜台保育園	1,397	40.3	
2	若葉保育園	1,028	43.1	
3	あけぼの保育園	591	42.7	
4	富勢保育園	1,199	16.6	
5	東中新宿保育園	1,086	35.0	
6	豊四季保育園	889	47.7	
7	増尾保育園	913	5.2	
8	豊住保育園	981	40.1	
9	土南部保育園	915	37.0	
10	豊四季乳児保育園	983	38.6	
11	西原保育園	915	38.0	
12	豊町保育園	1,202	37.0	
13	富士見保育園	931	34.1	
14	酒井根保育園	1,786	35.2	
15	名戸ヶ谷保育園	1,049	34.0	
16	田中保育園	862	35.2	
17	旭町保育園	1,037	35.1	
18	東町保育園	1,079	35.0	
19	高野台保育園	1,081	34.1	
20	しこだ保育園	1,104	34.0	
21	松葉保育園	1,323	31.7	
22	高柳保育園	493	31.6	
23	高柳西保育園	751	17.0	
	平均	1,026	33.9	
	合計	23,596	－	

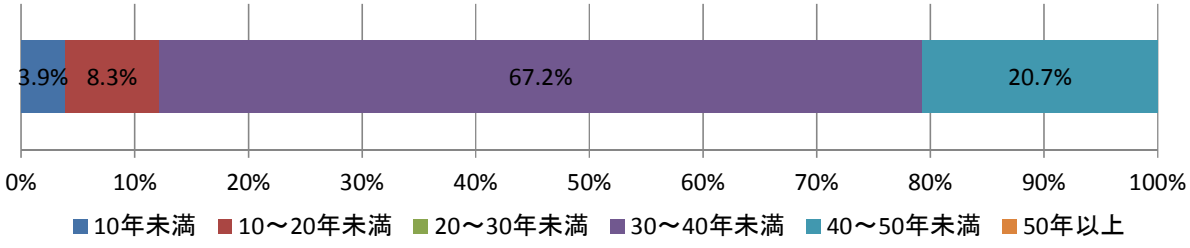


図 3-66　保育園の経過年数別延床面積構成比

(3) 利用状況

・保育園の園児数は，年々増加傾向にあります。
・1 施設あたりの平均園児数（各年度 3 月時点）は約 133 人ですが，酒井根保育園では 200 人以上の園児が在園しています。
・園児 1 人あたりの延床面積は平均 7.71 ㎡ですが，1 歳未満の乳児の占める割合が高い豊四季乳児保育園では 8.94 ㎡と最も大きくなっています。
・定員充足率をみると，平均で 103.8%ですが，豊四季保育園では 92.1%となっています。

表 3-97　保育園の利用状況（各年度 3 月 1 日時点の園児数）

No	施設名称	延床面積（㎡）	各年度3月1日時点の園児数（人）				園児1人あたり延床面積（㎡/人）	定員充足率
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均		
1	桜台保育園	1,397	173	177	169	173	8.08	108.1%
2	若葉保育園	1,028	125	127	127	126	8.14	97.2%
3	あけぼの保育園	591	87	88	90	88	6.69	98.1%
4	富勢保育園	1,199	139	142	142	141	8.50	94.0%
5	東中新宿保育園	1,086	138	138	142	139	7.80	107.2%
6	豊四季保育園	889	120	130	123	124	7.15	92.1%
7	増尾保育園	913	113	107	111	110	8.27	110.3%
8	豊住保育園	981	137	134	135	135	7.25	104.1%
9	土南部保育園	915	136	141	143	140	6.54	107.7%
10	豊四季乳児保育園	983	109	109	112	110	8.94	100.0%
11	西原保育園	915	134	137	133	135	6.80	103.6%
12	豊町保育園	1,202	163	166	160	163	7.38	98.8%
13	富士見保育園	931	128	135	138	134	6.97	102.8%
14	酒井根保育園	1,786	234	239	240	238	7.52	108.0%
15	名戸ヶ谷保育園	1,049	142	143	140	142	7.41	109.0%
16	田中保育園	862	90	97	108	98	8.77	98.3%
17	旭町保育園	1,037	133	134	136	134	7.72	103.3%
18	東町保育園	1,079	137	136	135	136	7.93	104.6%
19	高野台保育園	1,081	141	135	139	138	7.81	106.4%
20	しこだ保育園	1,104	141	139	144	141	7.81	108.7%
21	松葉保育園	1,323	155	160	162	159	8.32	106.0%
22	高柳保育園	493	65	65	69	66	7.43	110.6%
23	高柳西保育園	751	91	91	94	92	8.16	108.2%
	平均	1,026	132	133	134	133	7.71	103.8%
	合計	23,596	3,031	3,070	3,092	3,064		

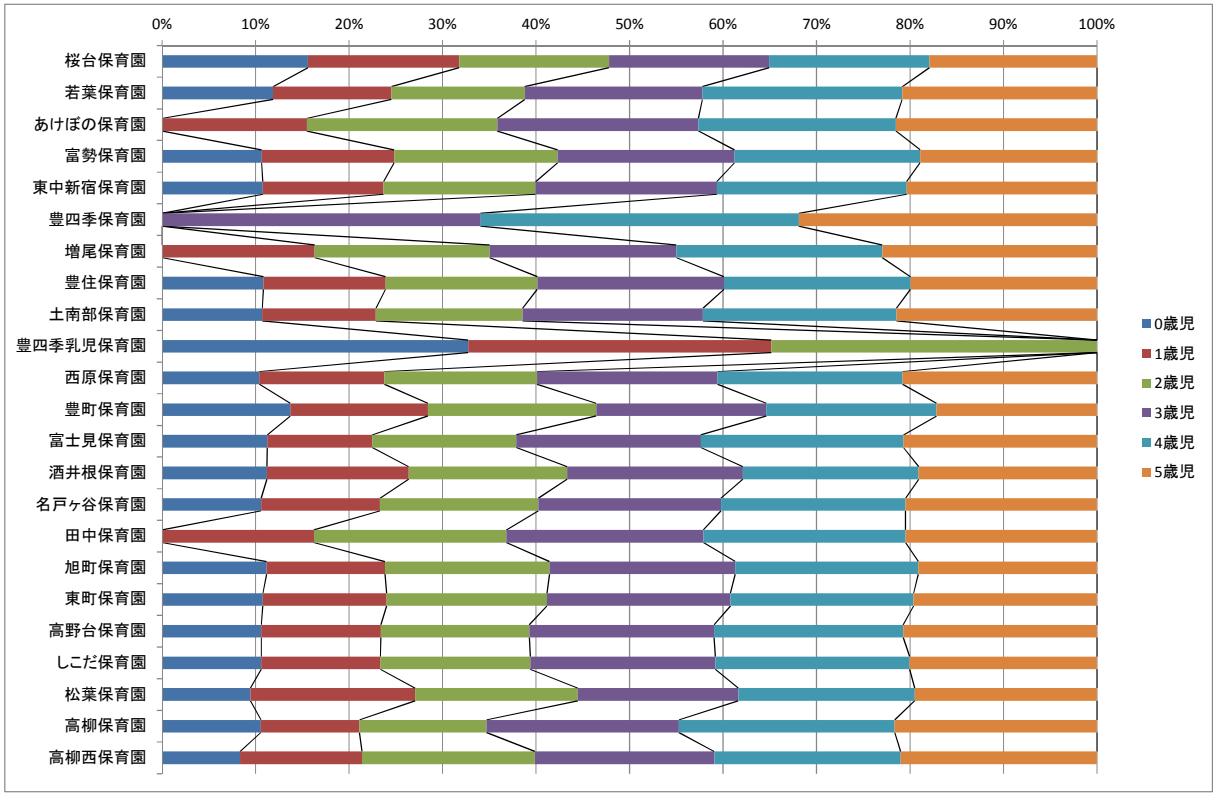


図 3-67　保育園の年齢別乳幼児数構成比

(4) コスト状況

・市負担額をみると，酒井根保育園，豊四季乳児保育園および豊町保育園の数値が大きくなっています。なお，保育園の支出総額のうち，約 9 割は人件費で占められています。
・園児 1 人あたりの事業運営・人に係るコストについては，豊四季乳児保育園および高柳保育園で，正職員等の人件費が多くなっています。
・延床面積 1 ㎡あたりの市負担額については，高柳保育園，豊四季乳児保育園および高柳西保育園の数値が大きくなっています。
・延床面積 1 ㎡あたりの施設に係るコストをみると，高柳西保育園は土地賃借料，増尾保育園では建物貸借料の占める割合が高くなっています。
・園児 1 人あたりの市負担額をみると，豊四季乳児保育園，高柳保育園および高柳西保育園の数値が大きくなっています。
・豊四季乳児保育園は，多くの職員を必要とし，人件費がかかる乳児の割合が他の保育園と比べて高いため，延べ床面積 1 ㎡あたりのコストや，園児 1 人あたりのコストが高くなっています。

表 3-98　保育園のコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）								
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤－⑥）	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）⑧	園児1人あたりの市負担額（円/人）⑨
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）				
1	桜台保育園	9,287	15,830	211,748	－	236,865	52,990	183,875	131,613	1,062,859
2	若葉保育園	7,241	12,328	156,042	－	175,611	49,326	126,285	122,860	999,620
3	あけぼの保育園	5,601	8,915	121,508	－	136,025	26,749	109,276	184,893	1,237,083
4	富勢保育園	7,144	13,294	175,150	－	195,588	43,038	152,550	127,221	1,081,917
5	東中新宿保育園	8,353	12,614	155,026	－	175,993	35,918	140,075	128,950	1,005,323
6	豊四季保育園	7,495	12,064	112,763	－	132,321	26,420	105,901	119,105	851,753
7	増尾保育園	30,275	10,196	135,273	－	175,744	34,300	141,444	154,922	1,281,970
8	豊住保育園	7,812	12,639	167,744	－	188,195	44,143	144,052	146,818	1,064,426
9	土南部保育園	9,087	12,656	155,648	－	177,391	33,552	143,839	157,138	1,027,421
10	豊四季乳児保育園	8,336	9,442	226,270	－	244,048	38,416	205,632	209,135	1,869,379
11	西原保育園	7,108	11,895	176,300	－	195,303	36,111	159,192	173,917	1,182,116
12	豊町保育園	10,375	15,398	225,607	－	251,381	49,847	201,533	167,636	1,236,401
13	富士見保育園	7,766	11,980	163,870	－	183,616	36,009	147,607	158,519	1,104,292
14	酒井根保育園	11,892	19,728	272,700	－	304,320	61,904	242,416	135,709	1,019,983
15	名戸ヶ谷保育園	9,910	13,213	170,018	－	193,141	38,032	155,109	147,830	1,094,885
16	田中保育園	6,758	9,290	118,811	－	134,859	28,741	106,119	123,050	1,079,173
17	旭町保育園	7,692	11,910	175,508	－	195,110	38,101	157,009	151,461	1,168,799
18	東町保育園	10,655	12,881	165,471	－	189,007	33,376	155,631	144,232	1,144,346
19	高野台保育園	7,981	11,975	153,897	－	173,853	35,859	137,994	127,689	997,549
20	しこだ保育園	8,280	12,939	163,409	－	184,629	40,190	144,438	130,872	1,021,969
21	松葉保育園	9,316	14,264	197,252	－	220,832	43,253	177,579	134,253	1,116,847
22	高柳保育園	3,869	6,744	115,836	－	126,449	16,581	109,868	222,997	1,656,307
23	高柳西保育園	30,269	9,251	135,783	－	175,303	28,832	146,471	195,115	1,592,072
	平均	10,109	12,237	167,462	0	189,808	37,899	151,908	151,997	1,169,413
	合計	232,502	281,447	3,851,634	0	4,365,583	871,688	3,493,895	－	－

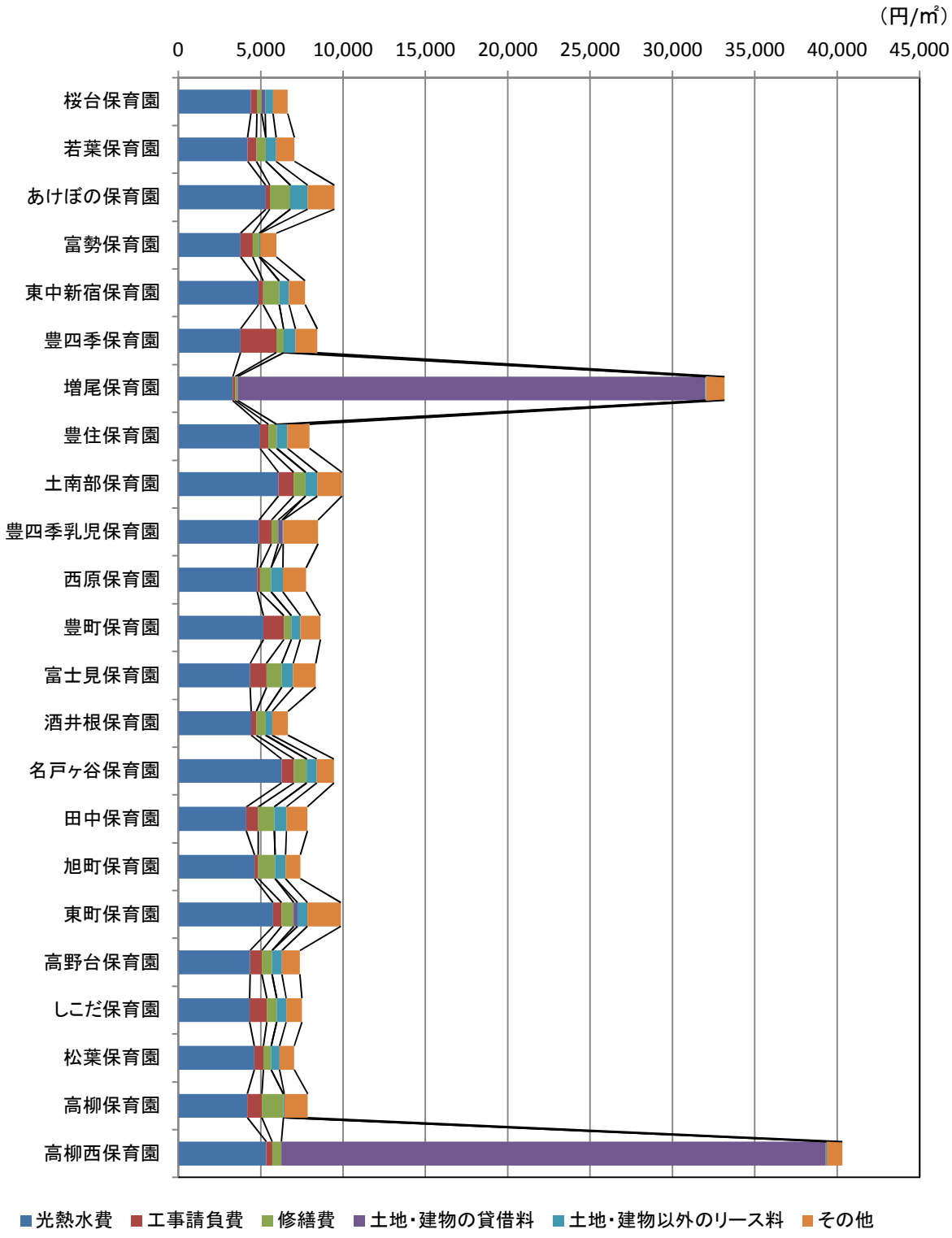


図 3-68　保育園の延床面積あたりの施設に係るコスト

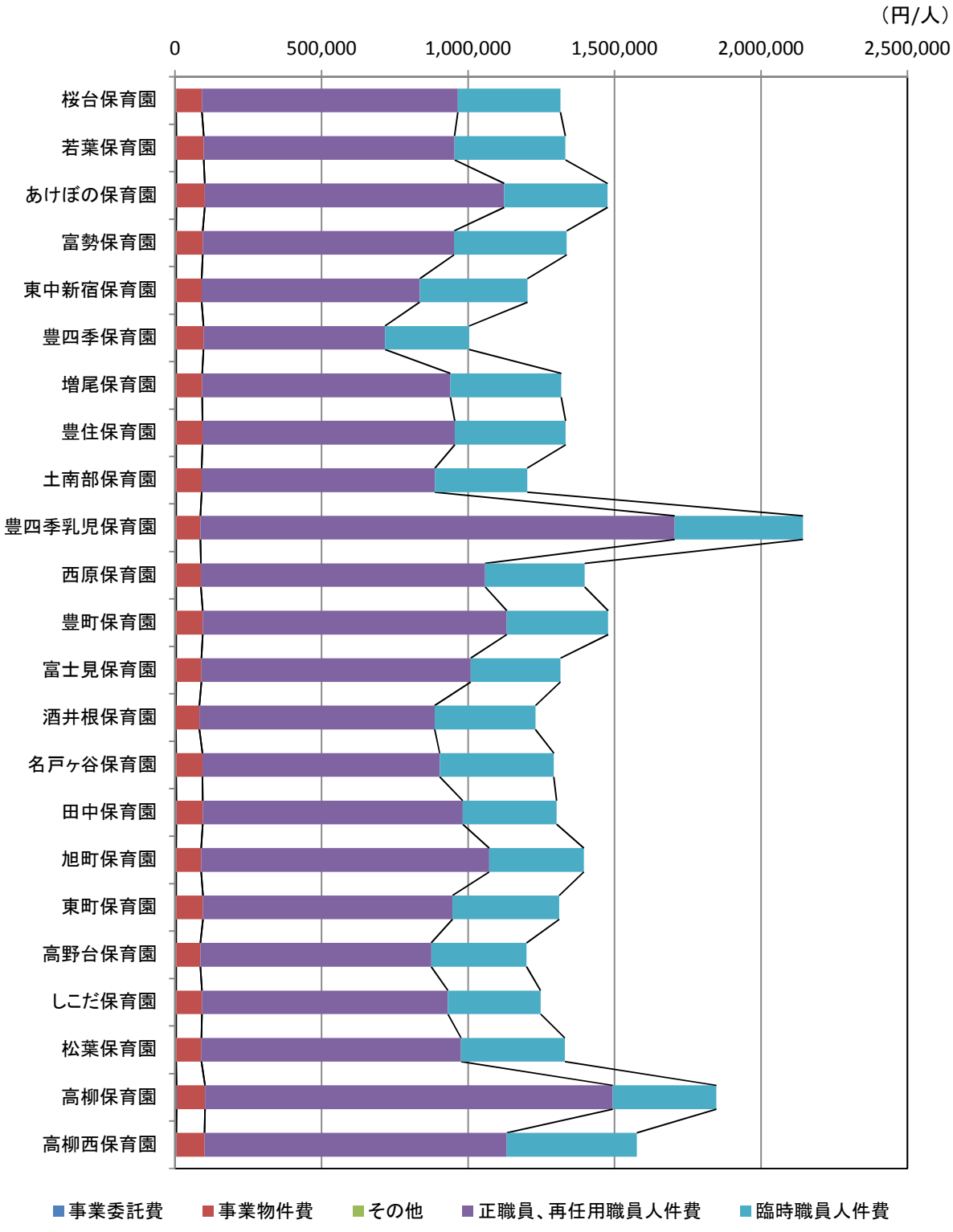


図 3-69　保育園の園児 1 人あたりの事業運営・人に係るコスト

(5) 施設現況のまとめ

・豊四季乳児保育園は，品質面（ハード）や供給面・財務面（ソフト）が低くなっていますが，他の保育園に比べて 1 人あたりの面積が広く，また，コストが高くなる乳児の割合が高いことを考慮に入れる必要があります。
・供給面（ソフト）から見ると，田中保育園や富勢保育園は，利用状況が他の保育園に比べて低くなっています。
・財務面（ソフト）では，高柳保育園や高柳西保育園，豊町保育園等で，他の保育園に比べて市の費用負担状況が大きくなっています。

表 3-99　保育園の品質面（ハード）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	品質		品質（ハード）平均偏差値
			経過年数（年）	偏差値	
1	桜台保育園	1,397	40.3	37.4	37.4
2	若葉保育園	1,028	43.1	35.1	35.1
3	あけぼの保育園	591	42.7	35.4	35.4
4	富勢保育園	1,199	16.6	57.0	57.0
5	東中新宿保育園	1,086	35.0	41.7	41.7
6	豊四季保育園	889	47.7	31.3	31.3
7	増尾保育園	913	5.2	66.3	66.3
8	豊住保育園	981	40.1	37.5	37.5
9	土南部保育園	915	37.0	40.1	40.1
10	豊四季乳児保育園	983	38.6	38.7	38.7
11	西原保育園	915	38.0	39.2	39.2
12	豊町保育園	1,202	37.0	40.1	40.1
13	富士見保育園	931	34.1	42.5	42.5
14	酒井根保育園	1,786	35.2	41.6	41.6
15	名戸ヶ谷保育園	1,049	34.0	42.6	42.6
16	田中保育園	862	35.2	41.6	41.6
17	旭町保育園	1,037	35.1	41.6	41.6
18	東町保育園	1,079	35.0	41.7	41.7
19	高野台保育園	1,081	34.1	42.5	42.5
20	しこだ保育園	1,104	34.0	42.6	42.6
21	松葉保育園	1,323	31.7	44.5	44.5
22	高柳保育園	493	31.6	44.5	44.5
23	高柳西保育園	751	17.0	56.6	56.6
	平均	1,026	33.9	42.7	42.7
	合計	23,596	－	－	－

表 3-100　保育園の供給面（ソフト）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	供給						供給（ソフト）平均偏差値
			平均園児数（人）	偏差値	園児1人あたり延床面積（㎡/人）	偏差値	定員充足率	偏差値	
1	桜台保育園	1,397	173	61.8	8.08	44.4	108.1%	58.2	54.8
2	若葉保育園	1,028	126	48.0	8.14	43.4	97.2%	37.5	43.0
3	あけぼの保育園	591	88	36.7	6.69	65.8	98.1%	39.3	47.3
4	富勢保育園	1,199	141	52.3	8.50	37.7	94.0%	31.5	40.5
5	東中新宿保育園	1,086	139	51.8	7.80	48.7	107.2%	56.4	52.3
6	豊四季保育園	889	124	47.4	7.15	58.7	92.1%	27.9	44.6
7	増尾保育園	913	110	43.2	8.27	41.3	110.3%	62.4	49.0
8	豊住保育園	981	135	50.6	7.25	57.1	104.1%	50.6	52.8
9	土南部保育園	915	140	52.0	6.54	68.1	107.7%	57.4	59.2
10	豊四季乳児保育園	983	110	43.1	8.94	31.0	100.0%	42.8	39.0
11	西原保育園	915	135	50.4	6.80	64.1	103.6%	49.6	54.7
12	豊町保育園	1,202	163	58.8	7.38	55.2	98.8%	40.5	51.5
13	富士見保育園	931	134	50.1	6.97	61.5	102.8%	48.2	53.3
14	酒井根保育園	1,786	238	81.0	7.52	53.0	108.0%	58.0	64.0
15	名戸ヶ谷保育園	1,049	142	52.5	7.41	54.7	109.0%	59.8	55.7
16	田中保育園	862	98	39.6	8.77	33.6	98.3%	39.7	37.6
17	旭町保育園	1,037	134	50.3	7.72	49.9	103.3%	49.1	49.8
18	東町保育園	1,079	136	50.8	7.93	46.6	104.6%	51.6	49.6
19	高野台保育園	1,081	138	51.5	7.81	48.4	106.4%	55.0	51.6
20	しこだ保育園	1,104	141	52.4	7.81	48.5	108.7%	59.3	53.4
21	松葉保育園	1,323	159	57.7	8.32	40.6	106.0%	54.2	50.8
22	高柳保育園	493	66	30.1	7.43	54.4	110.6%	62.8	49.1
23	高柳西保育園	751	92	37.8	8.16	43.1	108.2%	58.4	46.4
	平均	1,026	133	50.0	7.71	50.0	103.8%	50.0	50.0
	合計	23,596	－	－	－	－	－	－	－

表 3-101　保育園の財務面（ソフト）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	財務						供給（ソフト）平均偏差値
			市負担額（千円）	偏差値	園児1人あたりの市負担額（円/人）	偏差値	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）	偏差値	
1	桜台保育園	1,397	183,875	40.4	1,062,859	54.5	131,613	57.1	50.7
2	若葉保育園	1,028	126,285	57.7	999,620	57.2	122,860	60.2	58.3
3	あけぼの保育園	591	109,276	62.8	1,237,083	47.1	184,893	38.5	49.5
4	富勢保育園	1,199	152,550	49.8	1,081,917	53.7	127,221	58.6	54.0
5	東中新宿保育園	1,086	140,075	53.5	1,005,323	56.9	128,950	58.0	56.2
6	豊四季保育園	889	105,901	63.8	851,753	63.4	119,105	61.5	62.9
7	増尾保育園	913	141,444	53.1	1,281,970	45.2	154,922	49.0	49.1
8	豊住保育園	981	144,052	52.4	1,064,426	54.4	146,818	51.8	52.9
9	土南部保育園	915	143,839	52.4	1,027,421	56.0	157,138	48.2	52.2
10	豊四季乳児保育園	983	205,632	33.9	1,869,379	20.4	209,135	30.1	28.1
11	西原保育園	915	159,192	47.8	1,182,116	49.5	173,917	42.4	46.5
12	豊町保育園	1,202	201,533	35.1	1,236,401	47.2	167,636	44.5	42.3
13	富士見保育園	931	147,607	51.3	1,104,292	52.8	158,519	47.7	50.6
14	酒井根保育園	1,786	242,416	22.9	1,019,983	56.3	135,709	55.7	45.0
15	名戸ヶ谷保育園	1,049	155,109	49.0	1,094,885	53.2	147,830	51.5	51.2
16	田中保育園	862	106,119	63.7	1,079,173	53.8	123,050	60.1	59.2
17	旭町保育園	1,037	157,009	48.5	1,168,799	50.0	151,461	50.2	49.6
18	東町保育園	1,079	155,631	48.9	1,144,346	51.1	144,232	52.7	50.9
19	高野台保育園	1,081	137,994	54.2	997,549	57.3	127,689	58.5	56.6
20	しこだ保育園	1,104	144,438	52.2	1,021,969	56.2	130,872	57.4	55.3
21	松葉保育園	1,323	177,579	42.3	1,116,847	52.2	134,253	56.2	50.2
22	高柳保育園	493	109,868	62.6	1,656,307	29.4	222,997	25.2	39.1
23	高柳西保育園	751	146,471	51.6	1,592,072	32.1	195,115	35.0	39.6
	平均	1,026	151,908	50.0	1,169,413	50.0	151,997	50.0	50.0
	合計	23,596	－	－	－	－	－	－	－

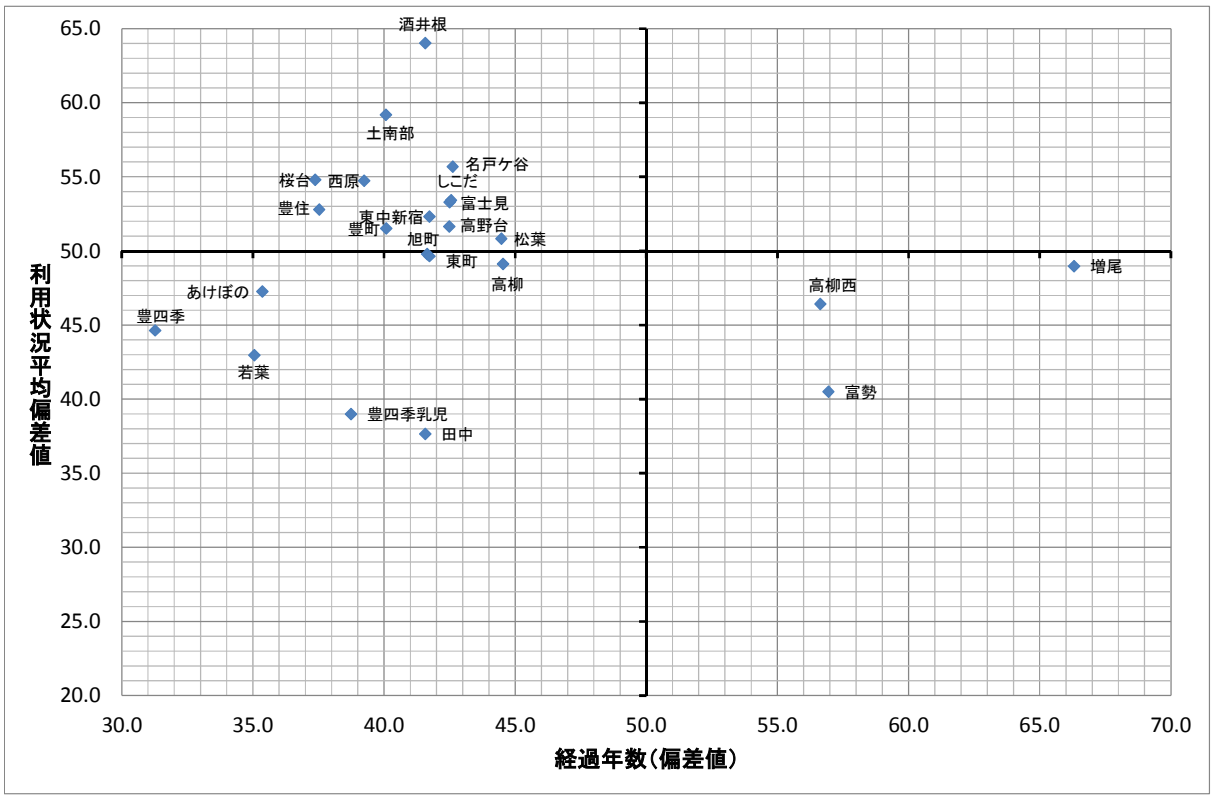


図 3-70　保育園の品質面（ハード）・供給面（ソフト）の分析

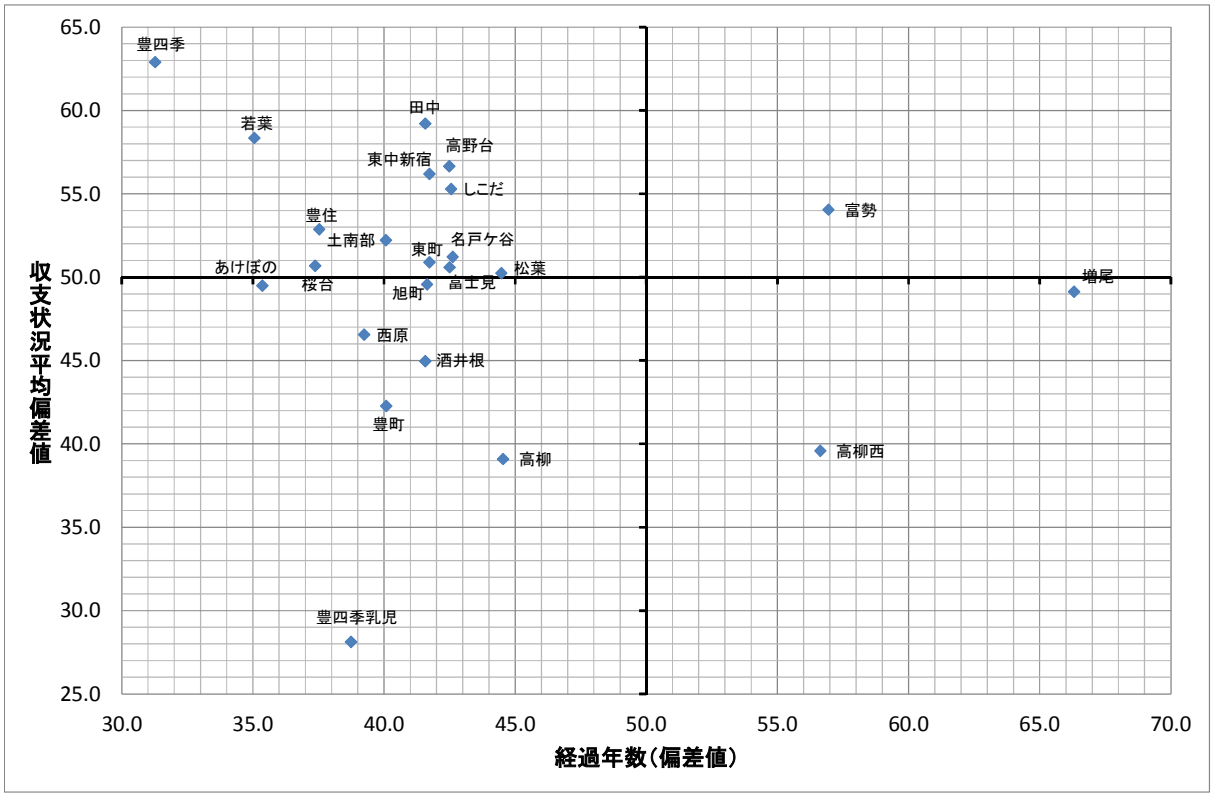


図 3-71　保育園の品質面（ハード）・財務面（ソフト）の分析

3-6 02 幼児・児童施設

(1) 配置状況

・幼児・児童施設は，市内に 60 施設あり，児童センター，こどもルーム，およびその他に分類されます。
・児童センターは，18 歳未満のすべての子どもを対象に，遊びによる育成を援助するとともに，地域における子育て支援を行い，子どもが心身ともに健やかに成長することを目的に設置されました。
・こどもルームは，保護者が働いているなどの理由で，昼間帰宅しても保育する人がいない小学 1 年生から 6 年生の児童を対象に，児童が安心して過ごせるよう見守るとともに，適切な遊びや生活の場を提供し，児童の健全な育成を図るために設置されました。
・その他は，旧豊四季台幼児ルーム控室があり，設置当時は豊四季台幼児ルームの休憩室として利用しておりましたが，平成 22 年度で柏市幼児ルームが条例廃止になったことを受けて，現在は豊四季台児童センターの倉庫となっています。

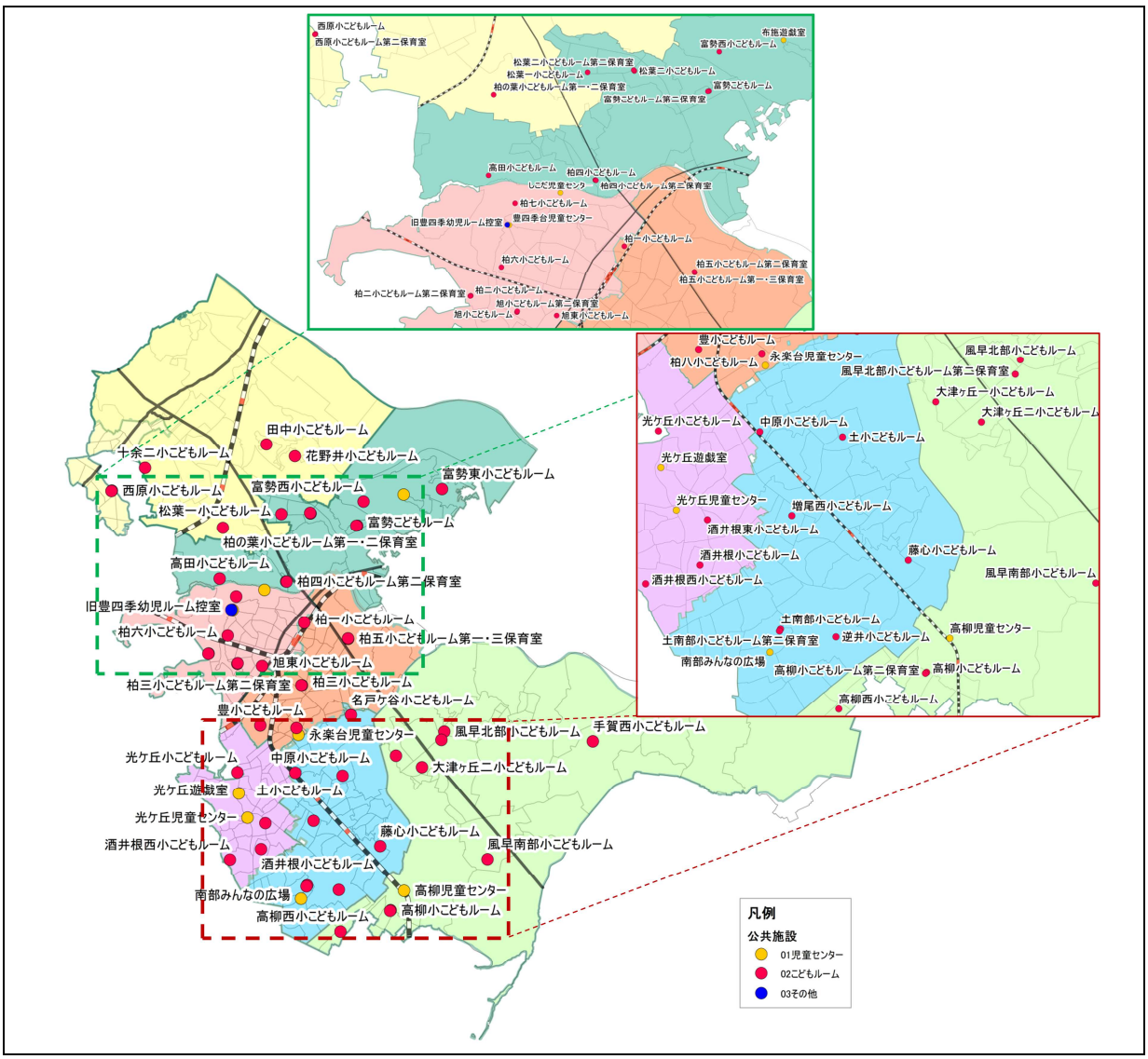


図 3-72　幼児・児童施設の配置状況

写真 3－16 各施設の写真（幼児・児童施設）

<table>
<tr><td>
しこだ児童センター</td><td>
豊四季台児童センター</td><td>
永楽台児童センター（近隣センター内）</td></tr>
<tr><td>
光ケ丘遊戯室（近隣センター内）</td><td>
高柳児童センター</td><td>
南部みんなの広場（近隣センター内）</td></tr>
<tr><td>
布施遊戯室（近隣センター内）</td><td>
光ケ丘児童センター（休館中）</td><td>
柏六小こどもルーム</td></tr>
<tr><td>
酒井根東小こどもルーム</td><td>
柏五小こどもルーム第一・三保育室</td><td>
柏五小こどもルーム第二保育室</td></tr>
<tr><td>
富勢こどもルーム</td><td>
富勢こどもルーム第二保育室</td><td>
柏三小こどもルーム</td></tr>
</table>

 柏三小こどもルーム第二保育室	 中原小こどもルーム	 旭小こどもルーム
 旭小こどもルーム第二保育室	 酒井根小こどもルーム	 土南部小こどもルーム
 土南部小こどもルーム第二保育室	 柏一小こどもルーム	 藤心小こどもルーム
 柏二小こどもルーム	 柏二小こどもルーム第二保育室	 松葉二小こどもルーム
 松葉二小こどもルーム第二保育	 光ケ丘小こどもルーム	 柏四小こどもルーム

 柏四小こどもルーム第二保育室	 田中小こどもルーム	 西原小こどもルーム
 西原小こどもルーム第二保育室	 十余二小こどもルーム	 酒井根西小こどもルーム
 柏八小こどもルーム	 大津ヶ丘一小こどもルーム	 大津ヶ丘二小こどもルーム
 高柳小こどもルーム	 高柳西小こどもルーム	 風早北部小こどもルーム
 風早北部小こどもルーム第二保育室	 風早南部小こどもルーム	 豊小こどもルーム

 松葉一小こどもルーム	 逆井小こどもルーム	 花野井小こどもルーム
 旭東小こどもルーム	 柏の葉小こどもルーム第一・二保育室	 旧豊四季幼児ルーム控室

※学校施設（小学校）内設置のこどもルームは除く。

※旧豊四季幼児ルーム控室については，現在豊四季台児童センターの倉庫として利用しております。

(2) 経過年数

① 児童センター

・児童センターの平均経過年数は，35.4 年です。経過年数 30 年以上の建物が全体の 75%を占めています。
・光ケ丘児童センター，豊四季台児童センターが特に古く，40 年以上が経過しています。

表 3-102　児童センターの経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	しこだ児童センター	634	32.5	
2	豊四季台児童センター	526	43.8	避難所
3	永楽台児童センター	36	35.0	永楽台近隣センター内に設置
4	光ケ丘遊戯室	32	33.0	光ケ丘近隣センター内に設置
5	高柳児童センター	540	26.8	
6	南部みんなの広場	113	36.1	南部近隣センター内に設置
7	布施遊戯室	45	35.0	布施近隣センター内に設置
8	光ケ丘児童センター	256	46.0	
9	旧豊四季幼児ルーム控室	10	30.1	
	平均	244	35.4	
	合計	2,192	－	

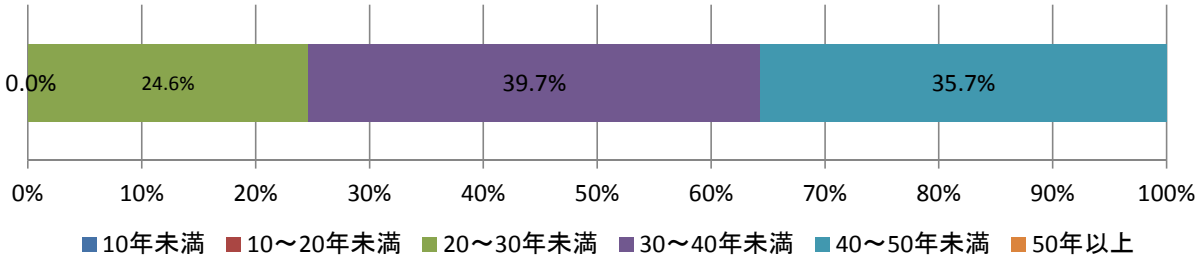


図 3-73　児童センターの経過年数別延床面積構成比

② こどもルーム

・こどもルームの平均経過年数は，15.1 年です。経過年数 20 年未満の建物が全体の 77%を占めており，比較的新しい施設で構成されています。
・その中で，柏七小こどもルームや土小こどもルームは，築 40 年以上経過した小学校校舎内に設置されているため，経過年数が古くなっています。

表 3-103　こどもルームの経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	柏六小こどもルーム	103	3.1	
2	酒井根東小こどもルーム	95	13.5	
3	柏五小こどもルーム第一・三保育室	268	3.1	
4	柏五小こどもルーム第二保育室	59	9.8	
5	富勢こどもルーム	92	22.1	
6	富勢こどもルーム第二保育室	51	6.8	
7	柏三小こどもルーム	159	8.2	
8	柏三小こどもルーム第二保育室	74	5.3	
9	中原小こどもルーム	156	8.2	
10	旭小こどもルーム	91	22.3	
11	旭小こどもルーム第二保育室	56	7.6	
12	柏七小こどもルーム	122	43.2	柏第七小学校内に設置
13	増尾西小こどもルーム	121	36.4	増尾西小学校内に設置
14	酒井根小こどもルーム	91	17.5	
15	土南部小こどもルーム	93	17.5	
16	土南部小こどもルーム第二保育室	69	9.8	
17	柏一小こどもルーム	172	8.1	
18	藤心小こどもルーム	94	16.5	
19	柏二小こどもルーム	92	15.5	
20	柏二小こどもルーム第二保育室	40	10.8	
21	松葉二小こどもルーム	94	15.5	
22	松葉二小こどもルーム第二保育室	53	9.5	
23	光ケ丘小こどもルーム	95	14.5	
24	柏四小こどもルーム	92	14.5	
25	柏四小こどもルーム第二保育室	61	3.1	
26	田中小こどもルーム	93	14.5	
27	西原小こどもルーム	128	13.5	
28	西原小こどもルーム第二保育室	77	9.8	
29	十余二小こどもルーム	95	13.6	
30	土小こどもルーム	114	40.6	土小学校内に設置
31	酒井根西小こどもルーム	121	12.5	
32	富勢西小こどもルーム	129	32.0	富勢西小学校内に設置
33	高田小こどもルーム	186	37.2	高田小学校内に設置
34	柏八小こどもルーム	120	10.5	
35	名戸ケ谷小こどもルーム	111	37.5	名戸ケ谷小学校内に設置
36	大津ヶ丘一小こどもルーム	115	12.0	
37	大津ヶ丘二小こどもルーム	98	20.7	
38	高柳小こどもルーム	115	20.7	
39	高柳小こどもルーム第二保育室	55	0.9	高柳小学校仮設校舎内に設置
40	高柳西小こどもルーム	115	16.0	
41	風早北部小こどもルーム	107	13.0	
42	風早北部小こどもルーム第二保育室	128	3.1	
43	風早南部小こどもルーム	142	4.0	
44	豊小こどもルーム	164	9.5	
45	松葉一小こどもルーム	170	8.5	
46	逆井小こどもルーム	137	7.5	
47	花野井小こどもルーム	168	6.5	
48	旭東小こどもルーム	140	5.5	
49	柏の葉小こどもルーム第一・二保育室	344	3.1	
50	手賀西小こどもルーム	64	36.8	手賀西小学校内に設置
51	富勢東小こどもルーム	120	35.9	富勢東小学校内に設置
	平均	115	15.1	
	合計	5,850	-	

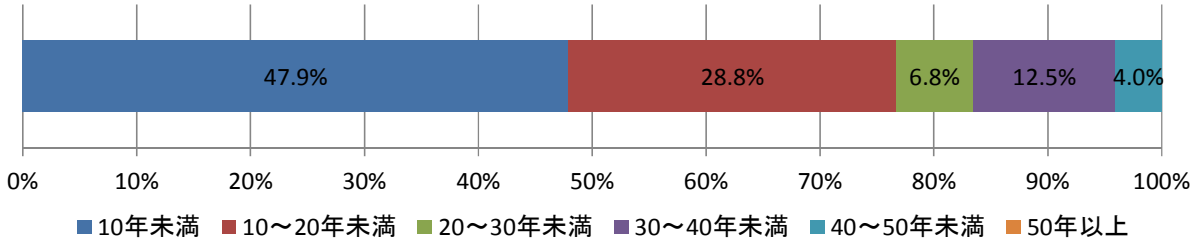


図 3-74　こどもルームの経過年数別延床面積構成比

(3) 利用状況

① 児童センター

・児童センターの利用者数は年間 11 万人前後で推移しています。しこだ児童センターや高柳児童センターの利用者数が 2 万人以上であるのに対し，光ケ丘遊戯室や布施遊戯室は 1 万人以下と，施設の規模，開館日数および開館時間の違いもあり，施設間で差がみられます。

・延床面積・開館日あたりの平均利用者数は，47.1 人/日・100 ㎡です。永楽台児童センターと光ケ丘遊戯室は，延床面積が小さいために多くなっています。

表 3-104　児童センターの利用状況（利用者数）

No	施設名称	延床面積（㎡）	開館日数（日）	利用者数（人）				延床面積・開館日あたり平均利用者数（人/日/100㎡）
			3年平均	平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均	
1	しこだ児童センター	634	299.3	22,543	21,214	24,602	22,786	12.0
2	豊四季台児童センター	526	299.3	16,993	16,322	16,110	16,475	10.5
3	永楽台児童センター	36	335.0	15,598	15,477	17,149	16,075	131.8
4	光ケ丘遊戯室	32	301.0	8,750	8,373	6,084	7,736	80.3
5	高柳児童センター	540	299.7	25,374	21,178	22,232	22,928	14.2
6	南部みんなの広場	113	335.0	20,426	18,100	19,495	19,340	51.0
7	布施遊戯室	45	335.0	5,073	4,618	3,918	4,536	30.1
8	光ケ丘児童センター	256	－	－	－	－	－	－
9	旧豊四季幼児ルーム控室	10	－	－	－	－	－	－
	平均	244	314.9	16,394	15,040	15,656	15,697	47.1
	合計	2,192	－	114,757	105,282	109,590	109,876	－

② こどもルーム

・こどもルームの入所児童数は年々増加傾向にあります。

・1 施設あたり平均入所児童数は 42 人ですが，児童数の多い小学校に設置されたこどもルームほど入所児童数が多く，柏五小こどもルーム第一・三保育室は 70 人以上であるのに対して，手賀西小こどもルームや富勢東小こどもルームは 10 人前後と，施設間で差があります。

・入所児童 1 人あたりの平均延床面積は，2.72 ㎡/人です。富勢東こどもルームや手賀西小こどもルームなど，児童数が少ない小学校で，広くなっています。柏の葉小こどもルームは延床面積が最も広いですが，入所児童数が平均的な水準にとどまっているため，入所児童 1 人あたりの延床面積が広くなっています。

・平均定員充足率は 90.9%です。高柳小こどもルームや柏三小こどもルーム第二保育室，光ケ丘小こどもルーム等が，充足率が 120%以上となっていますが，手賀西小こどもルームや富勢西小こどもルーム等は 40%未満となっています。

表 3-105　こどもルームの利用状況（入所児童数）

No	施設名称	延床面積（㎡）	入所児童数（人）				入所児童1人あたり延床面積（㎡/人）	定員充足率
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均		
1	柏六小こどもルーム	103	14	28	39	27	3.80	67.5%
2	酒井根東小こどもルーム	95	41	49	43	44	2.15	88.7%
3	柏五小こどもルーム第一・三保育室	268	64	94	85	81	3.31	81.0%
4	柏五小こどもルーム第二保育室	59	29	－	38	34	1.77	111.7%
5	富勢こどもルーム	92	40	48	51	46	1.98	92.7%
6	富勢こどもルーム第二保育室	51	32	28	40	33	1.52	133.3%
7	柏三小こどもルーム	159	50	52	55	52	3.04	87.2%
8	柏三小こどもルーム第二保育室	74	24	38	43	35	2.11	140.0%
9	中原小こどもルーム	156	61	68	71	67	2.34	111.1%
10	旭小こどもルーム	91	41	48	47	45	2.00	90.7%
11	旭小こどもルーム第二保育室	56	30	16	24	23	2.39	93.3%
12	柏七小こどもルーム	122	74	60	61	65	1.88	108.3%
13	増尾西小こどもルーム	121	48	49	53	50	2.43	100.0%
14	酒井根小こどもルーム	91	46	47	53	49	1.86	97.3%
15	土南部小こどもルーム	93	32	48	46	42	2.22	84.0%
16	土南部小こどもルーム第二保育室	69	32	26	37	32	2.19	105.6%
17	柏一小こどもルーム	172	70	62	76	69	2.48	99.0%
18	藤心小こどもルーム	94	38	35	43	39	2.44	77.3%
19	柏二小こどもルーム	92	45	38	40	41	2.25	82.0%
20	柏二小こどもルーム第二保育室	40	15	20	22	19	2.10	76.0%
21	松葉二小こどもルーム	94	54	52	57	54	1.74	108.7%
22	松葉二小こどもルーム第二保育室	53	20	30	29	26	1.99	87.8%
23	光ケ丘小こどもルーム	95	50	63	73	62	1.54	124.0%
24	柏四小こどもルーム	92	32	44	28	35	2.66	69.3%
25	柏四小こどもルーム第二保育室	61	22	21	22	22	2.81	108.3%
26	田中小こどもルーム	93	47	62	53	54	1.73	108.0%
27	西原小こどもルーム	128	51	54	55	53	2.39	88.9%
28	西原小こどもルーム第二保育室	77	23	25	35	28	2.77	92.2%
29	十余二小こどもルーム	95	45	52	63	53	1.79	106.7%
30	土小こどもルーム	114	32	29	34	32	3.61	105.6%
31	酒井根西小こどもルーム	121	23	39	42	35	3.49	69.3%
32	富勢西小こどもルーム	129	14	20	21	18	7.01	36.7%
33	高田小こどもルーム	186	64	55	60	60	3.12	105.3%
34	柏八小こどもルーム	120	48	45	46	46	2.60	92.7%
35	名戸ケ谷小こどもルーム	111	17	24	33	25	4.52	82.2%
36	大津ケ丘一小こどもルーム	115	46	48	48	47	2.43	94.7%
37	大津ケ丘二小こどもルーム	98	41	39	48	43	2.30	94.8%
38	高柳小こどもルーム	115	69	72	45	62	1.86	124.0%
39	高柳小こどもルーム第二保育室	55	－	－	30	30	1.82	120.0%
40	高柳西小こどもルーム	115	47	46	44	46	2.52	91.3%
41	風早北部小こどもルーム	107	45	61	66	57	1.86	114.7%
42	風早北部小こどもルーム第二保育室	128	25	34	33	31	4.16	61.3%
43	風早南部小こどもルーム	142	29	36	41	35	4.02	70.7%
44	豊小こどもルーム	164	55	63	66	61	2.67	102.2%
45	松葉一小こどもルーム	170	47	50	60	52	3.25	87.2%
46	逆井小こどもルーム	137	26	42	45	38	3.65	75.3%
47	花野井小こどもルーム	168	35	45	53	44	3.78	80.6%
48	旭東小こどもルーム	140	56	51	41	49	2.85	98.7%
49	柏の葉小こどもルーム第一・二保育室	344	28	40	52	40	8.60	40.0%
50	手賀西小こどもルーム	64	－	6	12	9	7.11	30.0%
51	富勢東小こどもルーム	120	－	－	12	12	10.00	40.0%
	平均	115	40	44	45	42	2.72	90.9%
	合計	5,850	1,917	2,102	2,314	2,153		

(4) コスト状況

① 児童センター

・延床面積あたりの市負担額を見ると，平均 4.6 万円／㎡ですが，しこだ児童センターや永楽台児童センター，光ケ丘遊戯室は，平均値の約 2 倍となっており，施設間で差がみられます。
・その中でも，しこだ児童センターでは，他のセンターの総括的な事務を担っており，人件費や事業運営に係るコストが多く発生しています。
・延床面積あたりの施設に係るコストをみると，高柳児童センターで土地貸借料や工事請負費が多く発生しています。

表 3-106　児童センターのコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）								
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤－⑥）	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）⑧	利用者1人あたりの市負担額（円/人）⑨
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）				
1	しこだ児童センター	1,721	4,887	51,097	0	57,705	3,631	54,074	85,249	2,373
2	豊四季台児童センター	870	63	5,447	0	6,381	2,858	3,523	6,697	214
3	永楽台児童センター	77	110	3,048	0	3,236	0	3,236	88,843	201
4	光ケ丘遊戯室	89	7	2,739	0	2,835	0	2,835	88,583	366
5	高柳児童センター	8,600	2	5,454	0	14,055	2,858	11,197	20,740	488
6	南部みんなの広場	256	13	3,919	0	4,188	0	4,188	37,003	217
7	布施遊戯室	91	3	1,742	0	1,836	0	1,836	40,807	405
8	光ケ丘児童センター	476	0	0	0	476	0	476	1,860	－
9	旧豊四季幼児ルーム控室	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	平均	1,523	636	9,181	0	11,339	1,168	10,170	46,223	609
	合計	12,180	5,086	73,445	0	90,711	9,348	81,364	－	－

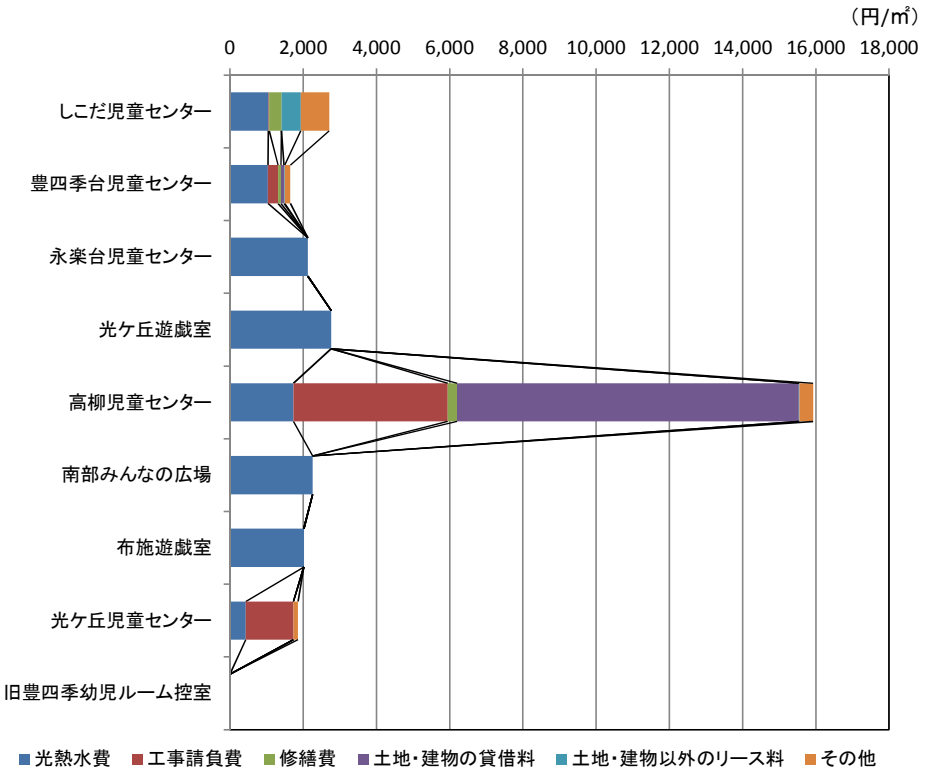


図 3-75　児童センターの延床面積あたり施設に係るコスト

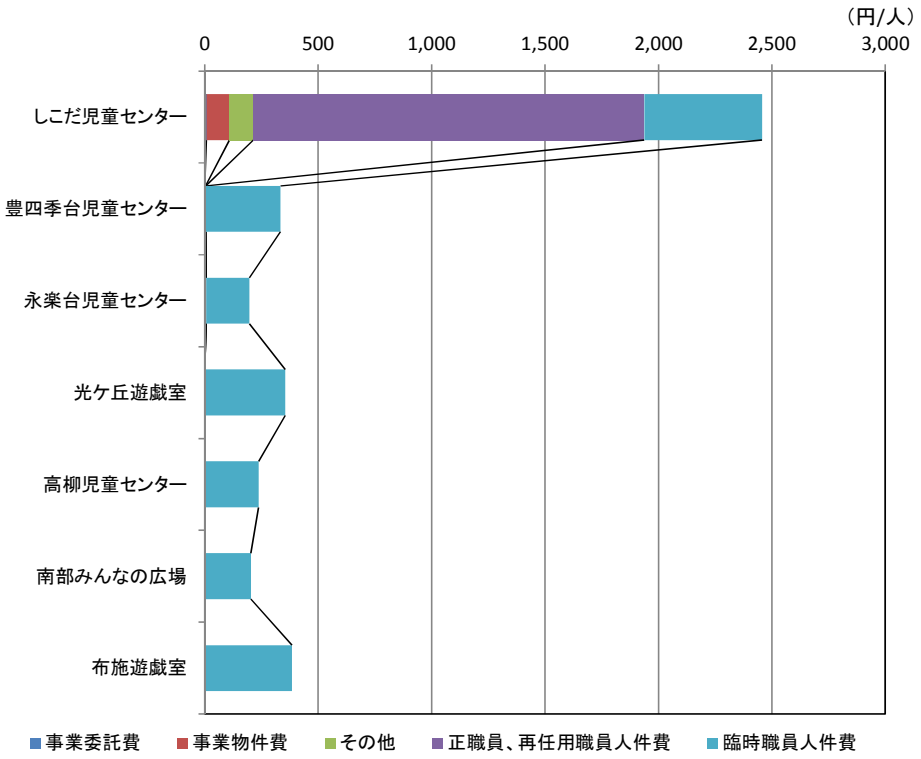


図 3-76　児童センターの利用者 1 人あたり事業運営・人に係るコスト

② こどもルーム

・市負担額は，一か所あたり平均で約 450 万円です。その中でも，柏一小こどもルームや柏五小こどもルーム第一・三保育室および中原小こどもルーム等，人に係るコストが大きい施設で市負担額が多くなっています。
・延床面積あたりの市負担額は，平均 4.3 万円／㎡です。高柳小こどもルーム第二保育室が突出して多く，続いて柏二小こどもルーム第二保育室，旭小こどもルーム第二保育室と，延床面積が小さい施設で多くなっています。
・入所児童 1 人あたりの市負担額は，平均 12.0 万円／人です。高柳小こどもルーム第二保育室や手賀西小こどもルームおよび富勢東小こどもルーム等，利用者が少ない施設で多くなっています。
・延床面積あたりの施設に係るコストをみると，高柳小こどもルーム第二保育室の建物貸借料が突出しています。

表 3-107　こどもルームのコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）								
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤－⑥）	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）⑧	入所児童1人あたり市負担額（円/人）⑨
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）				
1	柏六小こどもルーム	2,004	736	7,149	0	9,889	4,130	5,759	56,150	213,309
2	酒井根東小こどもルーム	351	936	7,894	0	9,181	5,967	3,214	33,725	72,496
3	柏五小こどもルーム第一・三保育室	4,759	1,036	15,031	0	20,826	10,541	10,285	38,334	126,975
4	柏五小こどもルーム第二保育室	1,346	1,036	3,795	0	6,177	4,362	1,815	30,689	54,169
5	富勢こどもルーム	308	790	8,256	0	9,355	5,999	3,356	36,510	72,424
6	富勢こどもルーム第二保育室	1,484	790	5,640	0	7,914	4,580	3,333	65,643	100,000
7	柏三小こどもルーム	3,428	857	10,152	0	14,437	6,760	7,676	48,182	146,682
8	柏三小こどもルーム第二保育室	227	857	5,267	0	6,350	4,548	1,802	24,442	51,495
9	中原小こどもルーム	4,925	1,350	10,906	0	17,181	8,469	8,712	55,844	130,675
10	旭小こどもルーム	268	724	7,885	0	8,876	5,426	3,450	38,029	76,103
11	旭小こどもルーム第二保育室	1,768	724	5,268	0	7,760	3,547	4,214	75,487	180,586
12	柏七小こどもルーム	456	1,420	12,017	0	13,893	8,762	5,131	42,013	78,933
13	増尾西小こどもルーム	283	1,106	9,397	0	10,786	6,603	4,183	34,479	83,660
14	酒井根小こどもルーム	334	1,083	9,768	0	11,185	6,735	4,450	49,056	91,445
15	土南部小こどもルーム	285	775	8,269	0	9,329	5,541	3,788	40,623	90,183
16	土南部小こどもルーム第二保育室	892	775	4,895	0	6,562	4,269	2,293	33,078	72,411
17	柏一小こどもルーム	5,155	2,636	13,162	0	20,953	9,687	11,266	65,470	162,490
18	藤心小こどもルーム	278	895	7,525	0	8,698	5,160	3,538	37,507	91,491
19	柏二小こどもルーム	276	625	7,501	0	8,403	5,335	3,068	33,247	74,821
20	柏二小こどもルーム第二保育室	655	625	4,512	0	5,792	2,672	3,120	78,341	164,228
21	松葉二小こどもルーム	412	865	9,011	0	10,288	6,975	3,313	35,129	60,982
22	松葉二小こどもルーム第二保育室	940	865	5,638	0	7,443	3,904	3,539	67,416	134,405
23	光ケ丘小こどもルーム	665	1,278	11,663	0	13,605	8,164	5,441	57,093	87,758
24	柏四小こどもルーム	223	582	6,371	0	7,176	4,445	2,731	29,595	78,779
25	柏四小こどもルーム第二保育室	1,568	582	5,267	0	7,416	3,304	4,112	67,659	189,800
26	田中小こどもルーム	322	1,168	10,512	0	12,002	7,392	4,610	49,474	85,370
27	西原小こどもルーム	378	851	7,501	0	8,730	6,498	2,232	17,474	41,844
28	西原小こどもルーム第二保育室	2,244	851	5,663	0	8,757	4,036	4,721	61,535	170,639
29	十余二小こどもルーム	267	1,136	8,661	0	10,064	6,639	3,425	35,936	64,213
30	土小こどもルーム	255	806	7,141	0	8,202	4,381	3,821	33,456	120,663
31	酒井根西小こどもルーム	325	843	7,522	0	8,690	5,135	3,555	29,375	102,548
32	富勢西小こどもルーム	179	588	6,023	0	6,790	3,057	3,732	29,027	203,582
33	高田小こどもルーム	354	1,220	12,777	0	14,351	8,107	6,243	33,566	104,637
34	柏八小こどもルーム	530	1,090	8,269	0	9,889	6,338	3,551	29,523	76,647
35	名戸ケ谷小こどもルーム	266	687	6,768	0	7,721	3,718	4,003	35,905	162,284
36	大津ヶ丘一小こどもルーム	675	1,082	10,139	0	11,895	6,712	5,184	45,068	109,514
37	大津ヶ丘二小こどもルーム	308	985	9,757	0	11,050	5,783	5,267	53,663	123,445
38	高柳小こどもルーム	297	1,232	5,803	0	7,332	8,041	−709	−6,164	−11,435
39	高柳小こどもルーム第二保育室	3,959	756	8,105	0	12,820	4,474	8,346	152,717	278,200
40	高柳西小こどもルーム	269	1,053	9,770	0	11,092	6,478	4,614	40,112	101,029
41	風早北部小こどもルーム	686	1,250	9,407	0	11,344	7,609	3,735	34,952	65,140
42	風早北部小こどもルーム第二保育室	2,680	728	6,395	0	9,803	3,985	5,818	45,554	189,707
43	風早南部小こどもルーム	613	895	8,277	0	9,786	5,018	4,768	33,542	134,943
44	豊小こどもルーム	651	1,282	12,416	0	14,348	8,183	6,165	37,699	100,522
45	松葉一小こどもルーム	778	1,177	10,139	0	12,094	7,021	5,073	29,839	96,930
46	逆井小こどもルーム	594	935	8,638	0	10,167	5,486	4,681	34,056	124,283
47	花野井小こどもルーム	331	978	7,139	0	8,448	5,771	2,677	15,974	60,383
48	旭東小こどもルーム	685	1,144	12,383	0	14,211	7,325	6,887	49,040	139,595
49	柏の葉小こどもルーム第一・二保育室	4,958	905	7,907	0	13,770	5,340	8,429	24,502	210,733
50	手賀西小こどもルーム	93	433	4,530	0	5,056	2,118	2,938	45,898	326,389
51	富勢東小こどもルーム	369	535	4,589	0	5,493	2,362	3,131	26,092	260,917
	平均	1,105	952	8,205	0	10,262	5,743	4,519	42,972	120,177
	合計	56,352	48,558	418,469	0	523,379	292,894	230,485	−	−

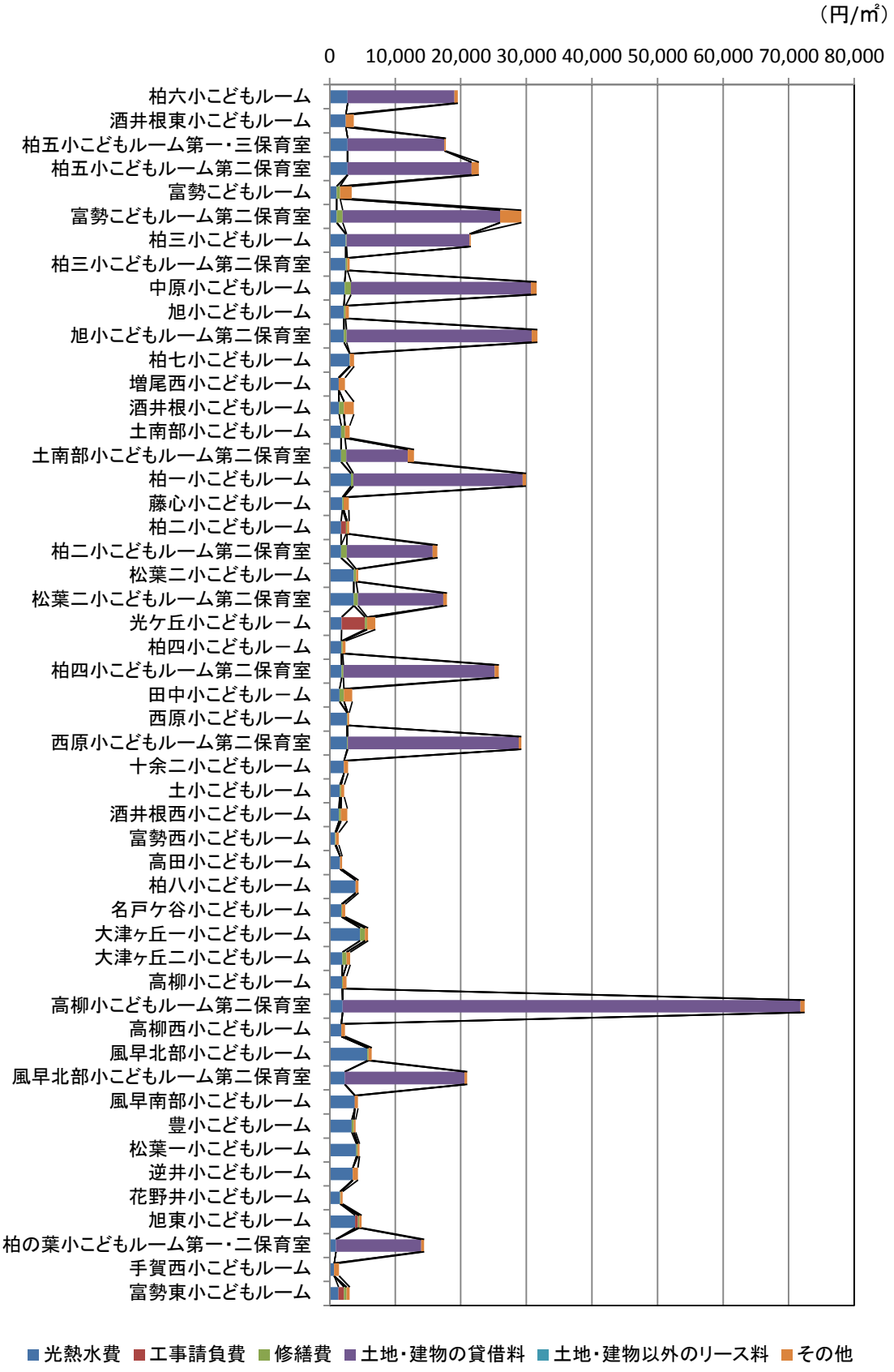


図 3-77　こどもルームの延床面積あたり施設に係るコスト

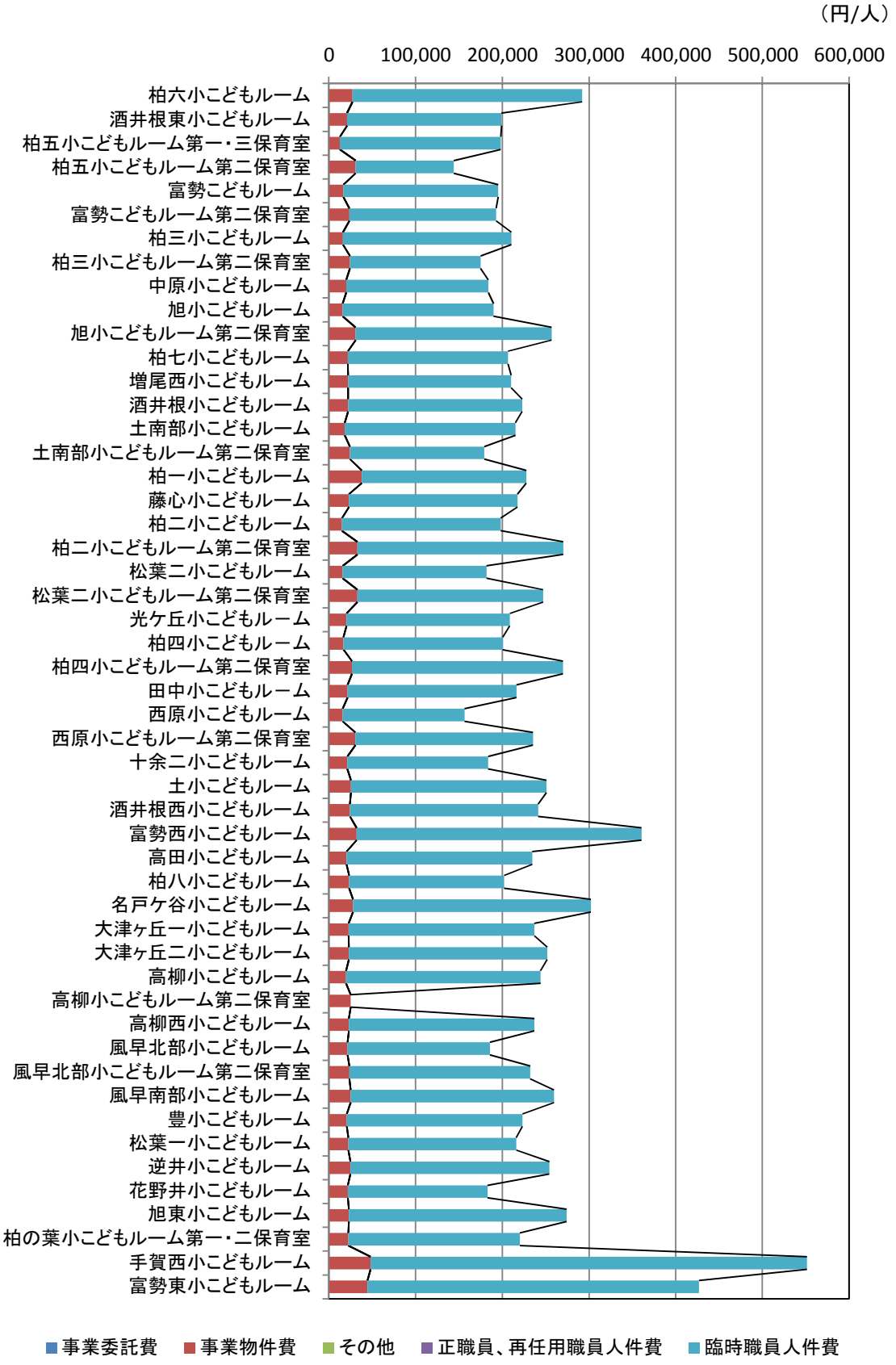


図 3-78　こどもルームの入所児童１人あたり事業運営・人に係るコスト

(5) 施設現況のまとめ

① 児童センター

・供給面（ソフト）をみると，布施遊戯室および光ケ丘遊戯室の平均利用者数が少なくなっています。また，豊四季台児童センターおよびしこだ児童センターは，延床面積・開館日あたり平均利用者数が少なくなっています。
・一方，財務面（ソフト）に着目すると，人件費や事業運営に係るコストが多く発生しているしこだ児童センターの市負担額が大きくなっています。
・光ケ丘児童センターや豊四季台児童センターは，財務面（ソフト）からみると良好ですが，品質面（ハード）では，経過年数が大きくなっています。

表 3-108　児童センターの品質面（ハード）の分析

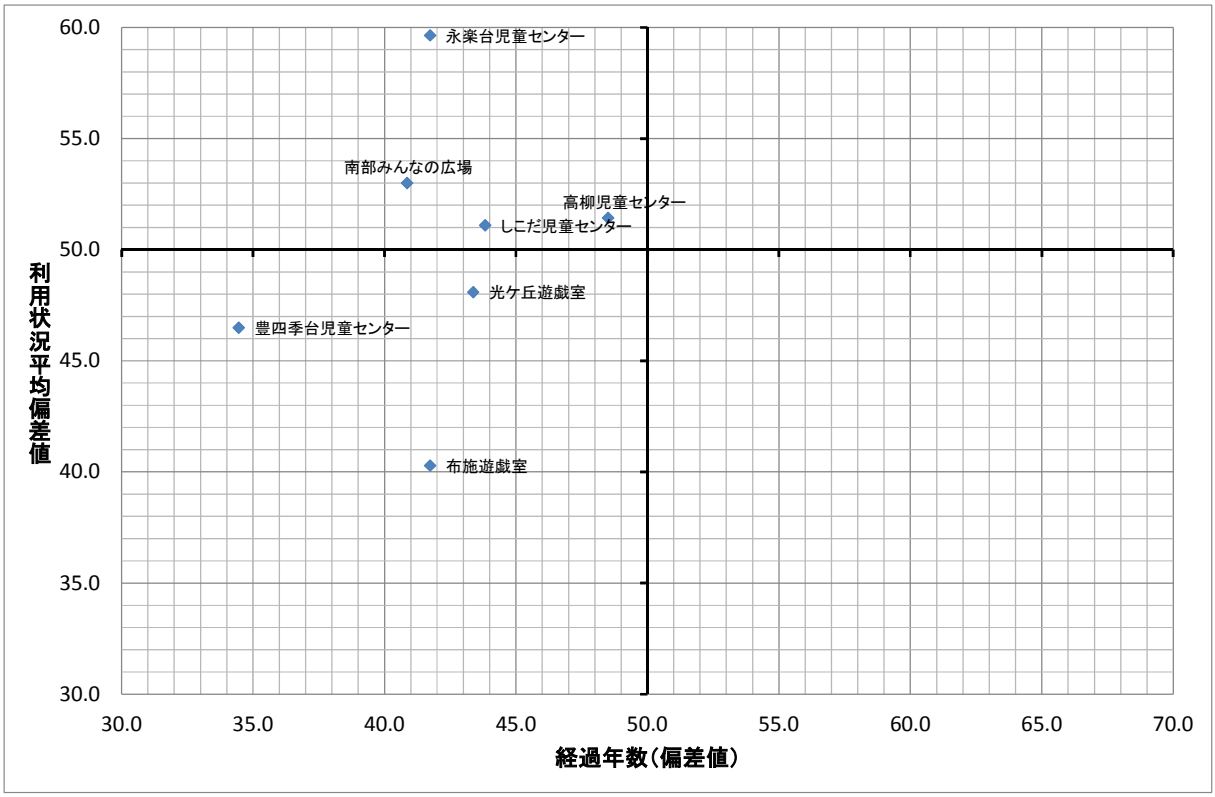
No	施設名称	延床面積（㎡）	品質		品質（ハード）平均偏差値
			経過年数（年）	偏差値	
1	しこだ児童センター	634	32.5	43.8	43.8
2	豊四季台児童センター	526	43.8	34.5	34.5
3	永楽台児童センター	36	35.0	41.7	41.7
4	光ケ丘遊戯室	32	33.0	43.4	43.4
5	高柳児童センター	540	26.8	48.5	48.5
6	南部みんなの広場	113	36.1	40.9	40.9
7	布施遊戯室	45	35.0	41.7	41.7
8	光ケ丘児童センター	256	46.0	32.6	32.6
	平均	273	36.0	40.9	40.9
	合計	2,182	－	－	－

表 3-109　児童センターの供給面（ソフト）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	供給				供給（ソフト）平均偏差値
			平均利用者数（人）	偏差値	延床面積･開館日あたり平均利用者数（人/日/100㎡）	偏差値	
1	しこだ児童センター	634	22,786	60.0	12.00	42.2	51.1
2	豊四季台児童センター	526	16,475	51.1	10.46	41.9	46.5
3	永楽台児童センター	36	16,075	50.5	131.75	68.7	59.6
4	光ケ丘遊戯室	32	7,736	38.8	80.31	57.4	48.1
5	高柳児童センター	540	22,928	60.2	14.17	42.7	51.4
6	南部みんなの広場	113	19,340	55.1	51.01	50.9	53.0
7	布施遊戯室	45	4,536	34.3	30.09	46.2	40.3
	平均	275	15,697	－	47.1	－	50.0
	合計	1,927	－	－	－	－	－

表 3-110　児童センターの財務面（ソフト）の分析（児童センター）

No	施設名称	延床面積（㎡）	財務						財務（ソフト）平均偏差値
			市負担額（千円）	偏差値	利用者1人あたり市負担額（円/人）	偏差値	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）	偏差値	
1	しこだ児童センター	634	54,074	25.6	2,373	27.5	85,249	39.4	30.9
2	豊四季台児童センター	526	3,523	53.7	214	55.0	6,697	60.8	56.5
3	永楽台児童センター	36	3,236	53.8	201	55.2	88,843	38.4	49.1
4	光ケ丘遊戯室	32	2,835	54.1	366	53.1	88,583	38.5	48.5
5	高柳児童センター	540	11,197	49.4	488	51.5	20,740	56.9	52.6
6	南部みんなの広場	113	4,188	53.3	217	55.0	37,003	52.5	53.6
7	布施遊戯室	45	1,836	54.6	405	52.6	40,807	51.5	52.9
8	光ケ丘児童センター	256	476	55.4	－	－	1,860	62.1	58.7
	平均	273	10,170	50.0	609	50.0	46,223	50.0	50.4
	合計	2,182	－	－	－	－	－	－	－



※休館中の光ケ丘児童センターは，利用者数が発生していないため，分析から除外しています。

図 3-79　児童センターの品質面（ハード）・供給面（ソフト）の分析

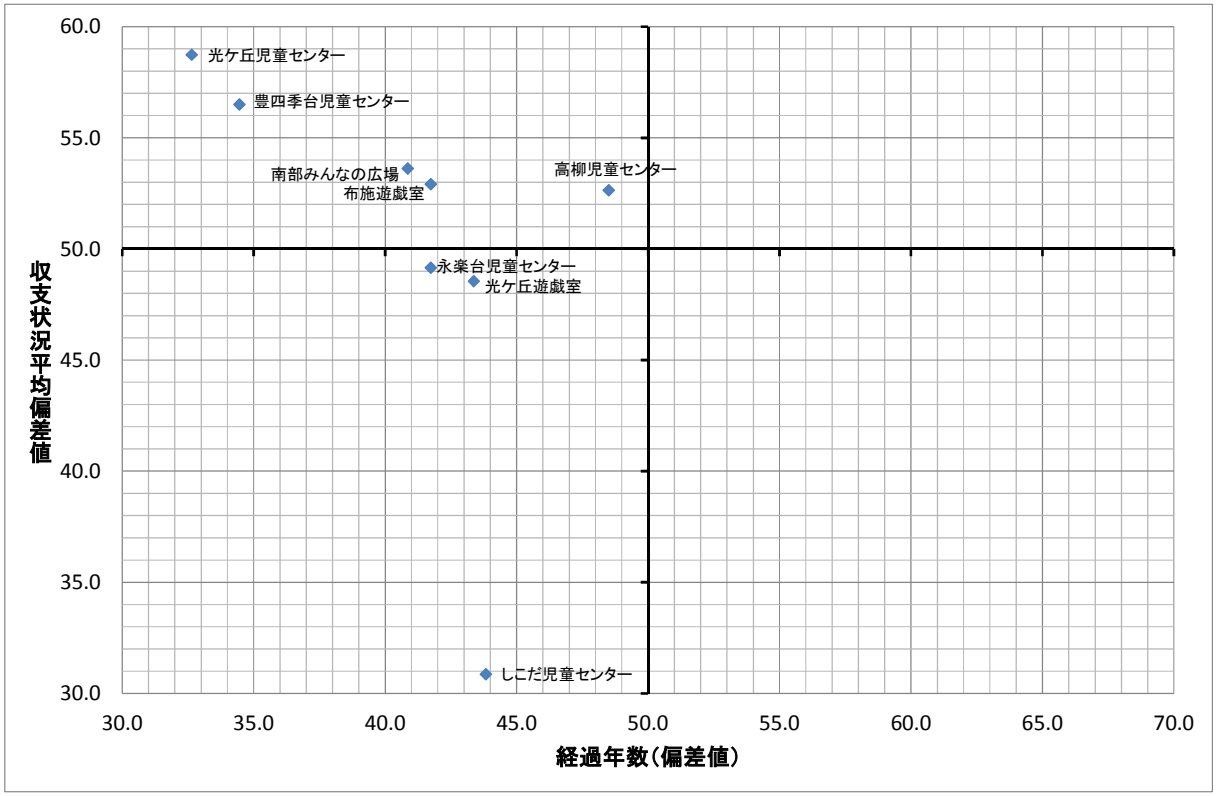


図 3-80　児童センターの品質面（ハード）・財務面（ソフト）の分析

② こどもルーム

・品質面（ハード）は，経過年数の古い小学校校舎に設置されている施設を中心として，経過年数が大きくなっています。
・供給面（ソフト）は，富勢東小こどもルームや手賀西小こどもルーム，富勢西小こどもルーム等，市中心部から離れ，人口が比較的少ないエリアで利用状況が低くなっています。また，柏の葉小こどもルーム第一・二保育室では，施設が新しく，品質面（ハード）では良好ですが，定員に比べ，現在の入所児童数が少ないため，供給面（ソフト）から見るとやや利用が低い状況にあります。
・財務面（ソフト）からみると，経過年数の長さに関わらず，賃借料が多く発生している施設や，入所児童数が少なく 1 人あたりのコストが大きな施設を中心として，市の費用負担状況が大きくなっています。

表 3-111　こどもルームの品質面（ハード）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	品質		品質（ハード）平均偏差値
			経過年数（年）	偏差値	
1	柏六小こどもルーム	103	3.1	68.1	68.1
2	酒井根東小こどもルーム	95	13.5	59.5	59.5
3	柏五小こどもルーム第一・三保育室	268	3.1	68.1	68.1
4	柏五小こどもルーム第二保育室	59	9.8	62.5	62.5
5	富勢こどもルーム	92	22.1	52.4	52.4
6	富勢こどもルーム第二保育室	51	6.8	65.0	65.0
7	柏三小こどもルーム	159	8.2	63.9	63.9
8	柏三小こどもルーム第二保育室	74	5.3	66.3	66.3
9	中原小こどもルーム	156	8.2	63.9	63.9
10	旭小こどもルーム	91	22.3	52.2	52.2
11	旭小こどもルーム第二保育室	56	7.6	64.4	64.4
12	柏七小こどもルーム	122	43.2	35.0	35.0
13	増尾西小こどもルーム	121	36.4	40.6	40.6
14	酒井根小こどもルーム	91	17.5	56.2	56.2
15	土南部小こどもルーム	93	17.5	56.2	56.2
16	土南部小こどもルーム第二保育室	69	9.8	62.5	62.5
17	柏一小こどもルーム	172	8.1	64.0	64.0
18	藤心小こどもルーム	94	16.5	57.0	57.0
19	柏二小こどもルーム	92	15.5	57.8	57.8
20	柏二小こどもルーム第二保育室	40	10.8	61.7	61.7
21	松葉二小こどもルーム	94	15.5	57.8	57.8
22	松葉二小こどもルーム第二保育室	53	9.5	62.8	62.8
23	光ケ丘小こどもルーム	95	14.5	58.7	58.7
24	柏四小こどもルーム	92	14.5	58.7	58.7
25	柏四小こどもルーム第二保育室	61	3.1	68.1	68.1
26	田中小こどもルーム	93	14.5	58.7	58.7
27	西原小こどもルーム	128	13.5	59.5	59.5
28	西原小こどもルーム第二保育室	77	9.8	62.5	62.5
29	十余二小こどもルーム	95	13.6	59.4	59.4
30	土小こどもルーム	114	40.6	37.1	37.1
31	酒井根西小こどもルーム	121	12.5	60.3	60.3
32	富勢西小こどもルーム	129	32.0	44.2	44.2
33	高田小こどもルーム	186	37.2	39.9	39.9
34	柏八小こどもルーム	120	10.5	62.0	62.0
35	名戸ケ谷小こどもルーム	111	37.5	39.7	39.7
36	大津ヶ丘一小こどもルーム	115	12.0	60.7	60.7
37	大津ヶ丘二小こどもルーム	98	20.7	53.6	53.6
38	高柳小こどもルーム	115	20.7	53.6	53.6
39	高柳小こどもルーム第二保育室	55	0.9	69.9	69.9
40	高柳西小こどもルーム	115	16.0	57.4	57.4
41	風早北部小こどもルーム	107	13.0	59.9	59.9
42	風早北部小こどもルーム第二保育室	128	3.1	68.1	68.1
43	風早南部小こどもルーム	142	4.0	67.3	67.3
44	豊小こどもルーム	164	9.5	62.8	62.8
45	松葉一小こどもルーム	170	8.5	63.6	63.6
46	逆井小こどもルーム	137	7.5	64.4	64.4
47	花野井小こどもルーム	168	6.5	65.3	65.3
48	旭東小こどもルーム	140	5.5	66.1	66.1
49	柏の葉小こどもルーム第一・二保育室	344	3.1	68.1	68.1
50	手賀西小こどもルーム	64	36.8	40.3	40.3
51	富勢東小こどもルーム	120	35.9	41.0	41.0
	平均	115	15.1	58.2	58.2
	合計	5,850	－	－	－

表 3-112　こどもルームの供給面（ソフト）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	供給						供給（ソフト）平均偏差値
			入所児童数（人）	偏差値	入所児童1人あたり面積（㎡/人）	偏差値	定員充足率	偏差値	
1	柏六小こどもルーム	103	27	40.1	3.8	45.4	67.5%	39.9	41.8
2	酒井根東小こどもルーム	95	44	51.4	2.1	54.9	88.7%	49.0	51.8
3	柏五小こどもルーム第一・三保育室	268	81	75.2	3.3	48.2	81.0%	45.7	56.4
4	柏五小こどもルーム第二保育室	59	34	44.3	1.8	57.2	111.7%	58.9	53.5
5	富勢こどもルーム	92	46	52.7	2.0	55.9	92.7%	50.7	53.1
6	富勢こどもルーム第二保育室	51	33	44.2	1.5	58.6	133.3%	68.3	57.0
7	柏三小こどもルーム	159	52	56.6	3.0	49.7	87.2%	48.4	51.6
8	柏三小こどもルーム第二保育室	74	35	45.3	2.1	55.2	140.0%	71.2	57.2
9	中原小こどもルーム	156	67	65.9	2.3	53.8	111.1%	58.7	59.5
10	旭小こどもルーム	91	45	52.0	2.0	55.8	90.7%	49.9	52.6
11	旭小こどもルーム第二保育室	56	23	37.7	2.4	53.5	93.3%	51.0	47.4
12	柏七小こどもルーム	122	65	64.8	1.9	56.5	108.3%	57.5	59.6
13	増尾西小こどもルーム	121	50	55.1	2.4	53.3	100.0%	53.9	54.1
14	酒井根小こどもルーム	91	49	54.2	1.9	56.6	97.3%	52.8	54.5
15	土南部小こどもルーム	93	42	49.9	2.2	54.5	84.0%	47.0	50.5
16	土南部小こどもルーム第二保育室	69	32	43.1	2.2	54.7	105.6%	56.3	51.4
17	柏一小こどもルーム	172	69	67.6	2.5	53.0	99.0%	53.5	58.0
18	藤心小こどもルーム	94	39	47.7	2.4	53.2	77.3%	44.1	48.4
19	柏二小こどもルーム	92	41	49.2	2.3	54.3	82.0%	46.1	49.9
20	柏二小こどもルーム第二保育室	40	19	34.9	2.1	55.2	76.0%	43.6	44.6
21	松葉二小こどもルーム	94	54	57.9	1.7	57.3	108.7%	57.6	57.6
22	松葉二小こどもルーム第二保育室	53	26	39.7	2.0	55.8	87.8%	48.6	48.0
23	光ケ丘小こどもルーム	95	62	62.9	1.5	58.5	124.0%	64.3	61.9
24	柏四小こどもルーム	92	35	45.1	2.7	52.0	69.3%	40.7	45.9
25	柏四小こどもルーム第二保育室	61	22	36.6	2.8	51.1	108.3%	57.5	48.4
26	田中小こどもルーム	93	54	57.7	1.7	57.4	108.0%	57.4	57.5
27	西原小こどもルーム	128	53	57.2	2.4	53.5	88.9%	49.1	53.3
28	西原小こどもルーム第二保育室	77	28	40.5	2.8	51.3	92.2%	50.6	47.5
29	十余二小こどもルーム	95	53	57.2	1.8	57.0	106.7%	56.8	57.0
30	土小こどもルーム	114	32	43.1	3.6	46.5	105.6%	56.3	48.6
31	酒井根西小こどもルーム	121	35	45.1	3.5	47.1	69.3%	40.7	44.3
32	富勢西小こどもルーム	129	18	34.5	7.0	26.7	36.7%	26.6	29.3
33	高田小こどもルーム	186	60	61.3	3.1	49.3	105.3%	56.2	55.6
34	柏八小こどもルーム	120	46	52.7	2.6	52.3	92.7%	50.7	51.9
35	名戸ケ谷小こどもルーム	111	25	38.6	4.5	41.2	82.2%	46.2	42.0
36	大津ヶ丘一小こどもルーム	115	47	53.3	2.4	53.3	94.7%	51.6	52.7
37	大津ヶ丘二小こどもルーム	98	43	50.3	2.3	54.0	94.8%	51.7	52.0
38	高柳小こどもルーム	115	62	62.9	1.9	56.6	124.0%	64.3	61.2
39	高柳小こどもルーム第二保育室	55	30	42.1	1.8	56.8	120.0%	62.5	53.8
40	高柳西小こどもルーム	115	46	52.2	2.5	52.8	91.3%	50.2	51.7
41	風早北部小こどもルーム	107	57	59.8	1.9	56.6	114.7%	60.2	58.9
42	風早北部小こどもルーム第二保育室	128	31	42.5	4.2	43.2	61.3%	37.2	41.0
43	風早南部小こどもルーム	142	35	45.5	4.0	44.1	70.7%	41.3	43.6
44	豊小こどもルーム	164	61	62.4	2.7	51.9	102.2%	54.9	56.4
45	松葉一小こどもルーム	170	52	56.6	3.2	48.5	87.2%	48.4	51.2
46	逆井小こどもルーム	137	38	47.0	3.6	46.2	75.3%	43.3	45.5
47	花野井小こどもルーム	168	44	51.4	3.8	45.5	80.6%	45.5	47.5
48	旭東小こどもルーム	140	49	54.6	2.8	50.9	98.7%	53.3	52.9
49	柏の葉小こどもルーム第一・二保育室	344	40	48.6	8.6	17.5	40.0%	28.0	31.4
50	手賀西小こどもルーム	64	9	28.4	7.1	26.1	30.0%	23.7	26.1
51	富勢東小こどもルーム	120	12	30.4	10.0	9.4	40.0%	28.0	22.6
	平均	115	42	50.0	3.0	50.0	91.0%	50.0	50.0
	合計	5,850	2,153	－	－	－	－	－	－

表 3-113　こどもルームの財務面（ソフト）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	財務						財務（ソフト）平均偏差値
			市負担額（千円）	偏差値	入所児童1人あたり市負担額（円/人）	偏差値	延床面積あたり市負担額（円/㎡）	偏差値	
1	柏六小こどもルーム	103	5,759	44.3	213,309	35.4	56,150	44.1	41.3
2	酒井根東小こどもルーム	95	3,214	56.0	72,496	57.5	33,725	54.2	55.9
3	柏五小こどもルーム第一・三保育室	268	10,285	23.4	126,975	48.9	38,334	52.1	41.5
4	柏五小こどもルーム第二保育室	59	1,815	62.5	54,169	60.3	30,689	55.5	59.4
5	富勢こどもルーム	92	3,356	55.4	72,424	57.5	36,510	52.9	55.2
6	富勢こどもルーム第二保育室	51	3,333	55.5	100,000	53.2	65,643	39.8	49.5
7	柏三小こどもルーム	159	7,676	35.5	146,682	45.9	48,182	47.7	43.0
8	柏三小こどもルーム第二保育室	74	1,802	62.5	51,495	60.7	24,442	58.3	60.5
9	中原小こどもルーム	156	8,712	30.7	130,675	48.4	55,844	44.2	41.1
10	旭小こどもルーム	91	3,450	54.9	76,103	56.9	38,029	52.2	54.7
11	旭小こどもルーム第二保育室	56	4,214	51.4	180,586	40.6	75,487	35.4	42.4
12	柏七小こどもルーム	122	5,131	47.2	78,933	56.4	42,013	50.4	51.4
13	増尾西小こどもルーム	121	4,183	51.5	83,660	55.7	34,479	53.8	53.7
14	酒井根小こどもルーム	91	4,450	50.3	91,445	54.5	49,056	47.3	50.7
15	土南部小こどもルーム	93	3,788	53.4	90,183	54.7	40,623	51.1	53.0
16	土南部小こどもルーム第二保育室	69	2,293	60.3	72,411	57.5	33,078	54.5	57.4
17	柏一小こどもルーム	172	11,266	18.9	162,490	43.4	65,470	39.9	34.1
18	藤心小こどもルーム	94	3,538	54.5	91,491	54.5	37,507	52.5	53.8
19	柏二小こどもルーム	92	3,068	56.7	74,821	57.1	33,247	54.4	56.1
20	柏二小こどもルーム第二保育室	40	3,120	56.4	164,228	43.1	78,341	34.1	44.5
21	松葉二小こどもルーム	94	3,313	55.6	60,982	59.3	35,129	53.5	56.1
22	松葉二小こどもルーム第二保育室	53	3,539	54.5	134,405	47.8	67,416	39.0	47.1
23	光ケ丘小こどもルーム	95	5,441	45.8	87,758	55.1	57,093	43.6	48.2
24	柏四小こどもルーム	92	2,731	58.2	78,779	56.5	29,595	56.0	56.9
25	柏四小こどもルーム第二保育室	61	4,112	51.9	189,800	39.1	67,659	38.9	43.3
26	田中小こどもルーム	93	4,610	49.6	85,370	55.4	49,474	47.1	50.7
27	西原小こどもルーム	128	2,232	60.5	41,844	62.2	17,474	61.5	61.4
28	西原小こどもルーム第二保育室	77	4,721	49.1	170,639	42.1	61,535	41.6	44.3
29	十余二小こどもルーム	95	3,425	55.0	64,213	58.7	35,936	53.2	55.7
30	土小こどもルーム	114	3,821	53.2	120,663	49.9	33,456	54.3	52.5
31	酒井根西小こどもルーム	121	3,555	54.4	102,548	52.8	29,375	56.1	54.4
32	富勢西小こどもルーム	129	3,732	53.6	203,582	37.0	29,027	56.3	49.0
33	高田小こどもルーム	186	6,243	42.1	104,637	52.4	33,566	54.2	49.6
34	柏八小こどもルーム	120	3,551	54.5	76,647	56.8	29,523	56.1	55.8
35	名戸ケ谷小こどもルーム	111	4,003	52.4	162,284	43.4	35,905	53.2	49.7
36	大津ヶ丘一小こどもルーム	115	5,184	46.9	109,514	51.7	45,068	49.1	49.2
37	大津ヶ丘二小こどもルーム	98	5,267	46.6	123,445	49.5	53,663	45.2	47.1
38	高柳小こどもルーム	115	−709	74.1	−11,435	70.6	−6,164	72.1	72.3
39	高柳小こどもルーム第二保育室	55	8,346	32.4	278,200	25.3	152,717	0.6	19.4
40	高柳西小こどもルーム	115	4,614	49.6	101,029	53.0	40,112	51.3	51.3
41	風早北部小こどもルーム	107	3,735	53.6	65,140	58.6	34,952	53.6	55.3
42	風早北部小こどもルーム第二保育室	128	5,818	44.0	189,707	39.1	45,554	48.8	44.0
43	風早南部小こどもルーム	142	4,768	48.9	134,943	47.7	33,542	54.2	50.3
44	豊小こどもルーム	164	6,165	42.4	100,522	53.1	37,699	52.4	49.3
45	松葉一小こどもルーム	170	5,073	47.5	96,930	53.6	29,839	55.9	52.3
46	逆井小こどもルーム	137	4,681	49.3	124,283	49.4	34,056	54.0	50.9
47	花野井小こどもルーム	168	2,677	58.5	60,383	59.3	15,974	62.2	60.0
48	旭東小こどもルーム	140	6,887	39.1	139,595	47.0	49,040	47.3	44.4
49	柏の葉小こどもルーム第一・二保育室	344	8,429	32.0	210,733	35.8	24,502	58.3	42.1
50	手賀西小こどもルーム	64	2,938	57.3	326,389	17.8	45,898	48.7	41.2
51	富勢東小こどもルーム	120	3,131	56.4	260,917	28.0	26,092	57.6	47.3
	平均	115	4,519	50.0	120,177	50.0	42,972	50.0	50.0
	合計	5,850	−	−	−	−	−	−	−

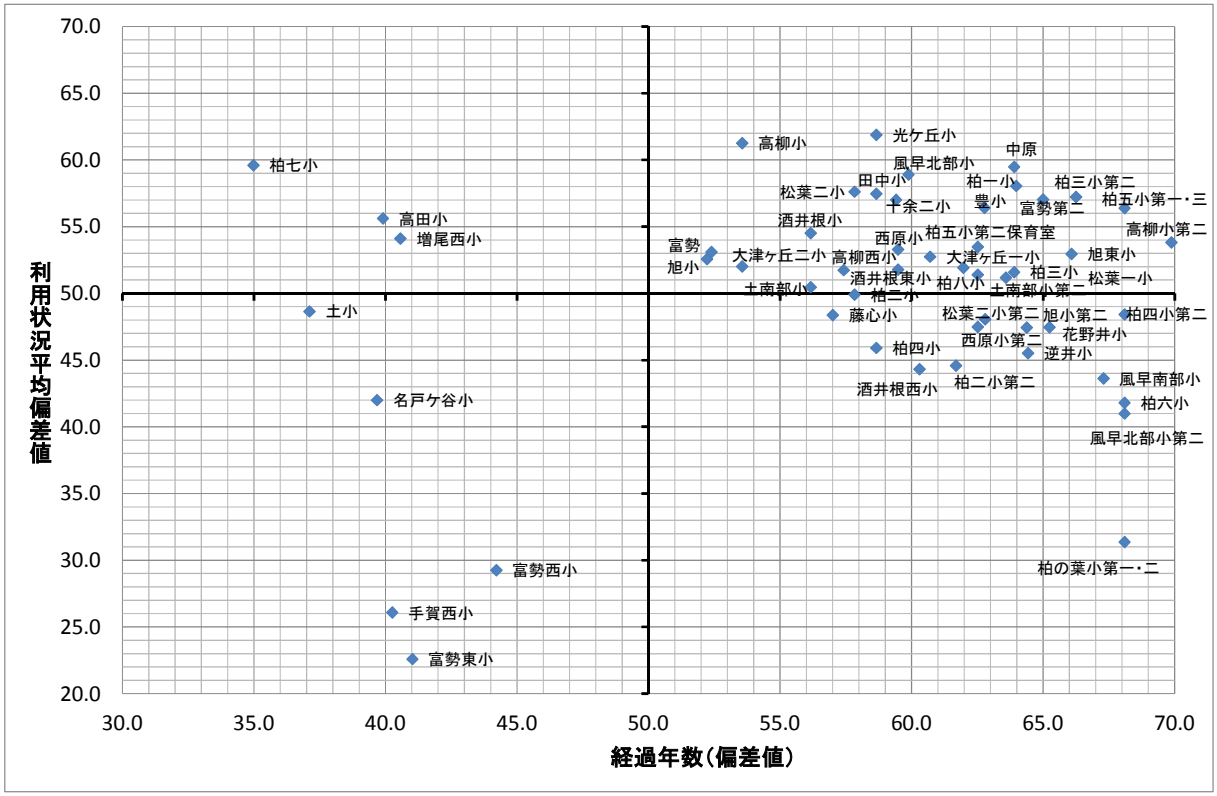


図 3-81　こどもルームの品質面（ハード）・供給面（ソフト）の分析（全体）

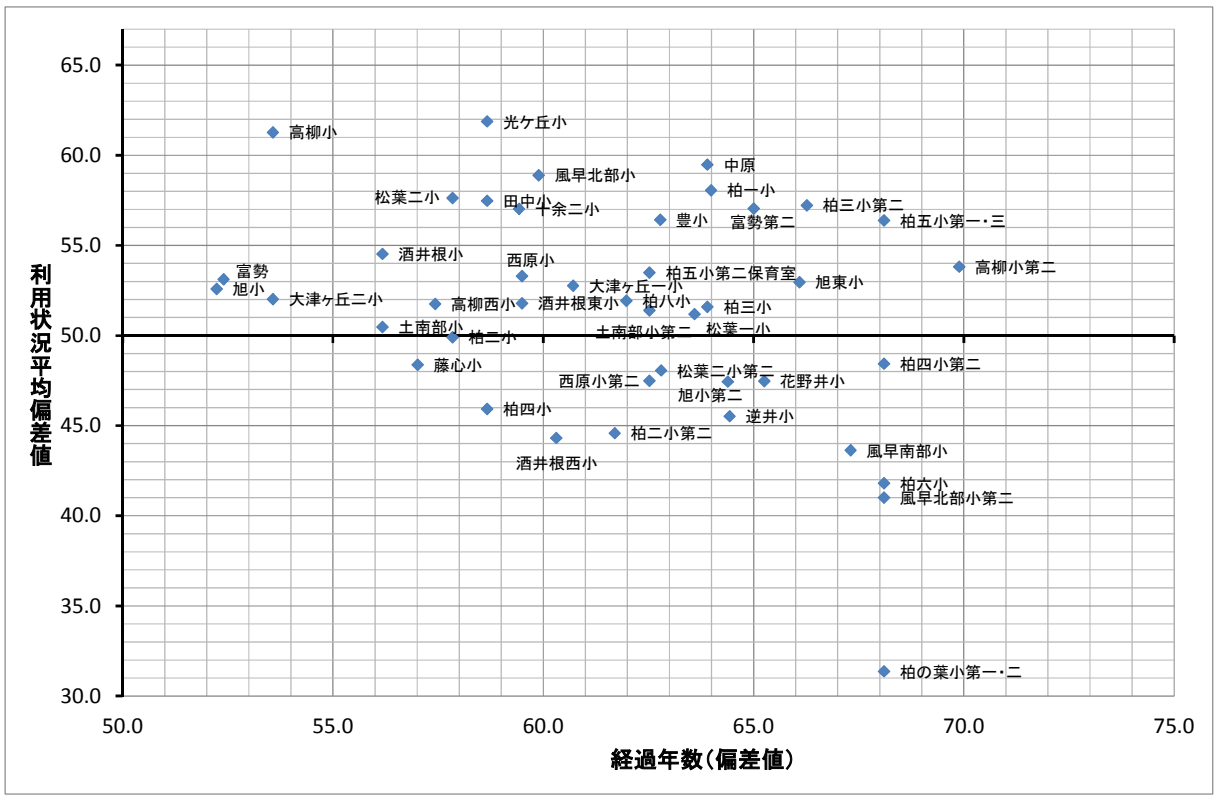


図 3-82　こどもルームの品質面（ハード）・供給面（ソフト）の分析（右側拡大）

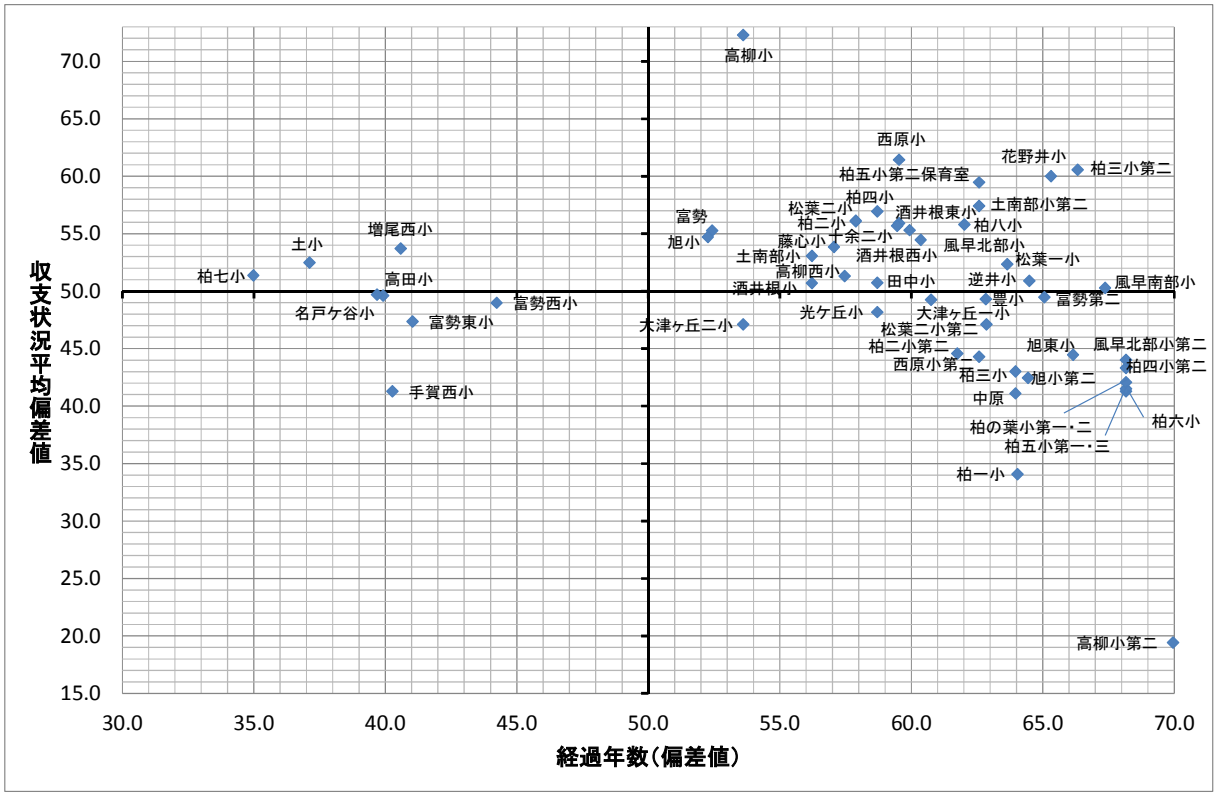


図 3-83　こどもルームの品質面（ハード）・財務面（ソフト）の分析

3-6 03 幼児・児童福祉施設

(1) 配置状況

・幼児・児童福祉施設は，市内に 3 施設あります。
・こども発達センターは，発達に何らかの心配を持つ就学前の子どもと保護者に対し，子どもの状態に応じた適切な相談支援を提供し，問題の改善や軽減を図ることを目的に設置されました。
・キッズルームひまわりは，知的障害や発達障害等の児童に対して，情緒の安定や遊びの広がり，生活習慣，社会性等の発達を促すために設置されました。
・キッズルームこすもすは，運動面に遅れがある児童に対して，療育と機能訓練を提供し，心身の発達を促すことを目的に設置されました。

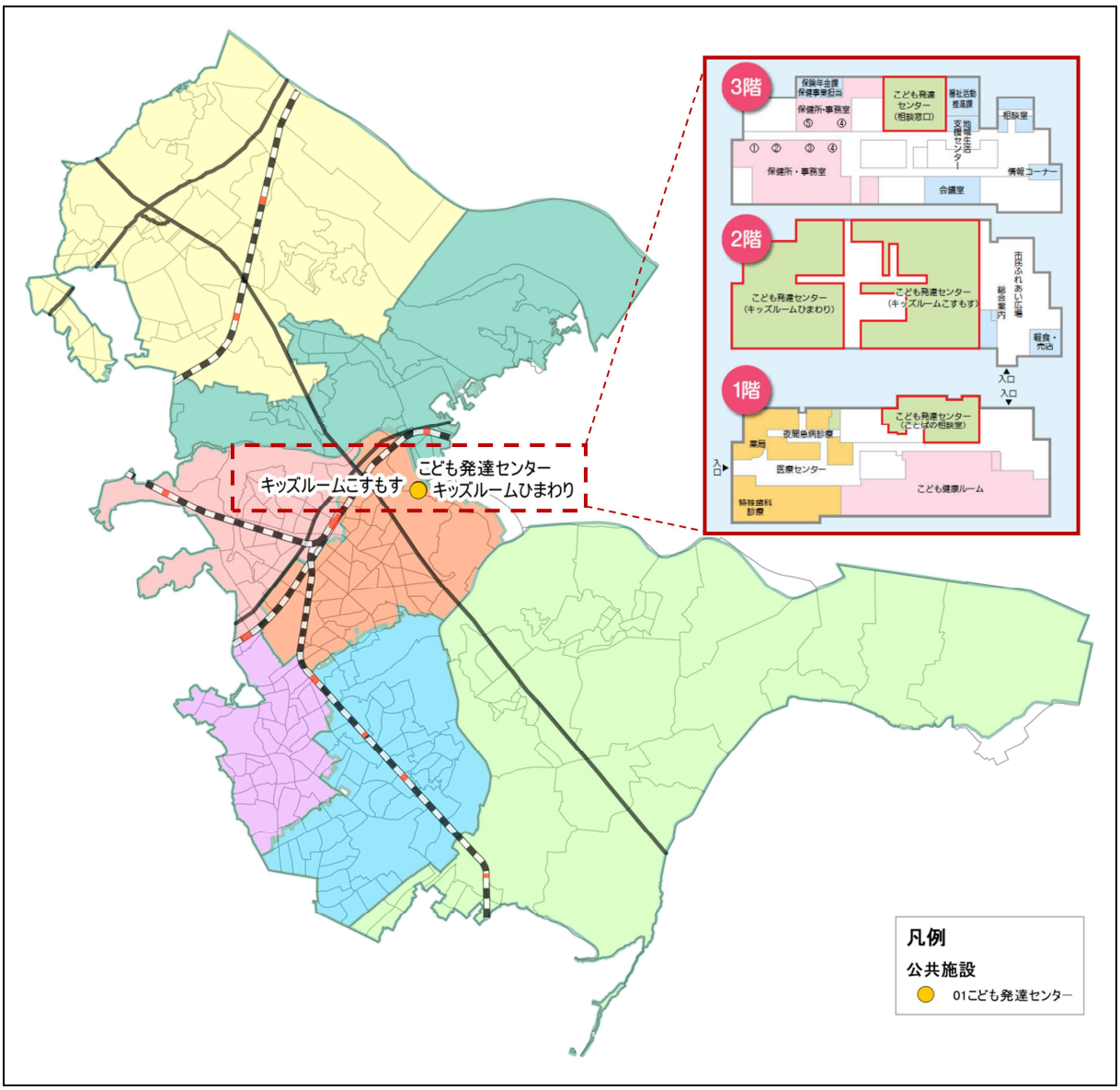


図 3-84　幼児・児童福祉施設の配置状況

写真 3－17 各施設の写真（幼児・児童福祉施設）

こども発達センター

キッズルームひまわり

キッズルームこすもす

(2) 経過年数

・幼児・児童福祉施設は，どの施設も総合保健医療福祉施設（ウェルネス柏）内に設置されており，経過年数が 5 年程度と比較的新しい施設です。

表 3-114　幼児・児童福祉施設の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）		備考
1	こども発達センター	411	5.2		総合保健医療福祉施設（ウェルネス柏）内に設置
2	キッズルームひまわり	972	5.2		
3	キッズルームこすもす	818	5.2		
	平均	733	5.2		
	合計	2,200	－		

(3) 利用状況

・こども発達センターは，平均して年間 1,050 人程度の利用者がおり，年々増加の傾向にあります。

表 3-115　幼児・児童福祉施設の利用状況（こども発達センターの利用者数）

No	施設名称	延床面積（㎡）	利用者数（人）			
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均
1	こども発達センター	410.69	897	1069	1178	1048

・キッズルームの平均児童・園児数は，45 人です。キッズルームひまわりは，定員数に対して多くの園児を抱えており，平均して年間 70 人程度の園児がいます。
・一方，キッズルームこすもすは，定員数に対して年間 20 人ほどの余裕があります。

表 3-116　幼児・児童福祉施設の利用状況（キッズルームの園児数）

No	施設名称	延床面積（㎡）	園児数(人)			
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均
1	キッズルームひまわり	972	66	76	59	67
2	キッズルームこすもす	818	24	20	26	23
	平均	895	45	48	43	45
	合計	1,789	90	96	85	90

表 3-117　幼児・児童福祉施設の利用状況（キッズルームの定員充足率）

No	施設名称	定員（人）	定員充足率			
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均
1	キッズルームひまわり	50	132.0%	152.0%	118.0%	134.0%
2	キッズルームこすもす	40	60.0%	50.0%	65.0%	58.3%
	平均	45	96.0%	101.0%	91.5%	96.2%
	合計	90				

(4) コスト状況

・こども発達センターに係るコストが最も高く，年間 19.7 千万円程度となっています。内訳をみると，人件費の割合が高くなっています。
・キッズルームに係る市負担額（正味のコスト）は，国県等からの給付費が収入に入っているため，キッズルームひまわり，キッズルームこすもすともに 3 千万円程度となっています。
・キッズルームひまわり，キッズルームこすもすともに，人に係るコストが最も多く，次いで施設に係るコストが多くなっています。
・キッズルームの延床面積はどちらも同程度ですが，市負担額はキッズルームこすもすの方がやや多いため，延床面積あたりの市負担額もキッズルームこすもすで多くなっています。利用者数はキッズルームこすもすの方が少ないため，利用者 1 人あたりの市負担額はキッズルームこすもすが多くなります。
・延床面積 1 ㎡あたりの施設に係るコストについて，キッズルームひまわりでは，土地・建物以外のリース料が多くなっています。利用者 1 人あたりの事業運営・人に係るコストについては，施設によって機能が異なるため単純な比較はできませんが，こども発達センターの方が低くなっています。キッズルームひまわりとこすもすはほぼ同程度です。

表 3-118　幼児・児童福祉施設のコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）								
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤－⑥）	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）⑧	利用者1人あたり市負担額（円/人）⑨
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）				
1	こども発達センター	4,727	10,845	184,062	0	199,633	2,412	197,221	480,219	188,188
2	キッズルームひまわり	22,951	7,308	102,634	0	132,893	106,610	26,283	27,048	392,289
3	キッズルームこすもす	8,565	2,949	33,226	0	44,740	10,296	34,444	42,120	1,476,157
	平均	12,081	7,034	106,641	0	125,755	39,773	85,983	183,129	685,545
	合計	36,242	21,102	319,922	0	377,266	119,318	257,948	－	－

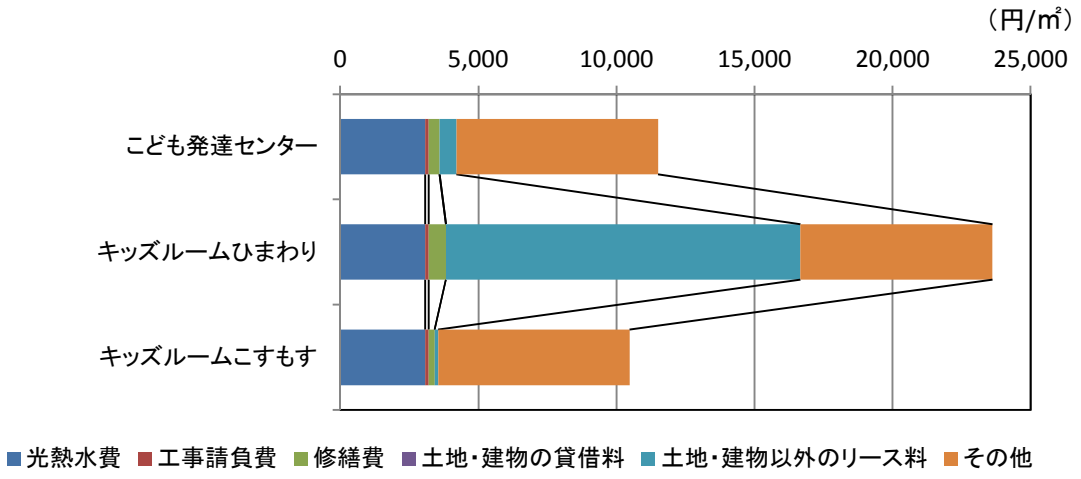


図 3-85　幼児・児童福祉施設の延床面積あたり施設に係るコスト

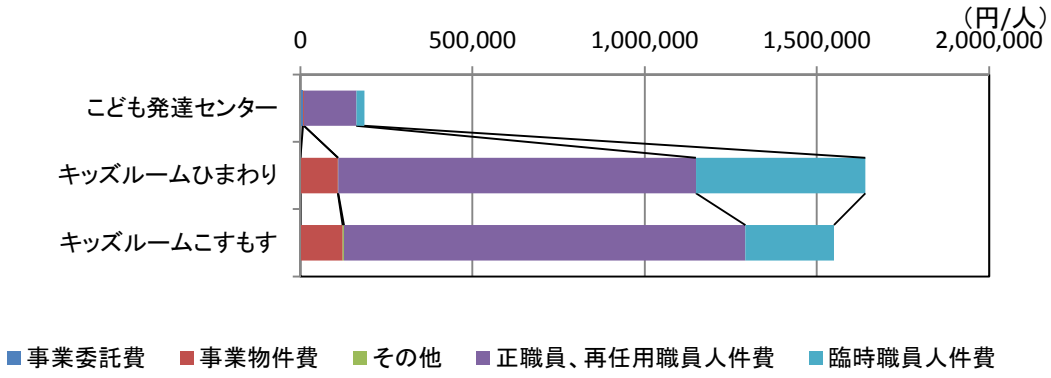


図 3-86　幼児・児童福祉施設の利用者１人あたりの事業運営・人に関するコスト

3-7 01 高齢者福祉施設

(1) 配置状況

・高齢者福祉施設は，市内に 10 施設あり，老人福祉センター，デイサービスセンター，老人いこいの家，介護予防センター，介護老人保健施設に分類されます。
・老人福祉センターは，地域の高齢者に対して各種相談に応じるとともに，健康の増進，教養の向上およびレクリエーションのための便宜を総合的に供与し，高齢者の健康で明るい生活を支援することを目的に設置されました。
・デイサービスセンターは，高齢者の自立の助長，社会的孤立の解消および心身機能の維持向上等を図るとともに，その家族の身体的や精神的負担の軽減を図るためのサービスを提供するために設置されました。
・老人いこいの家は，地域の高齢者に対して教養の向上およびレクリエーション等のための健全な憩いの場を与え，心身の健康増進を図ることを目的に設置されました。
・介護予防センターは，高齢者の介護予防，健康増進等の事業およびその場を提供することにより，高齢者福祉の増進を図るために設置されました。
・介護老人保健施設は，介護を必要とする高齢者に対して，医学的管理の下で介護や機能回復訓練等のサービスを提供し，在宅生活への復帰および自立の支援を行うことを目的に設置されました。

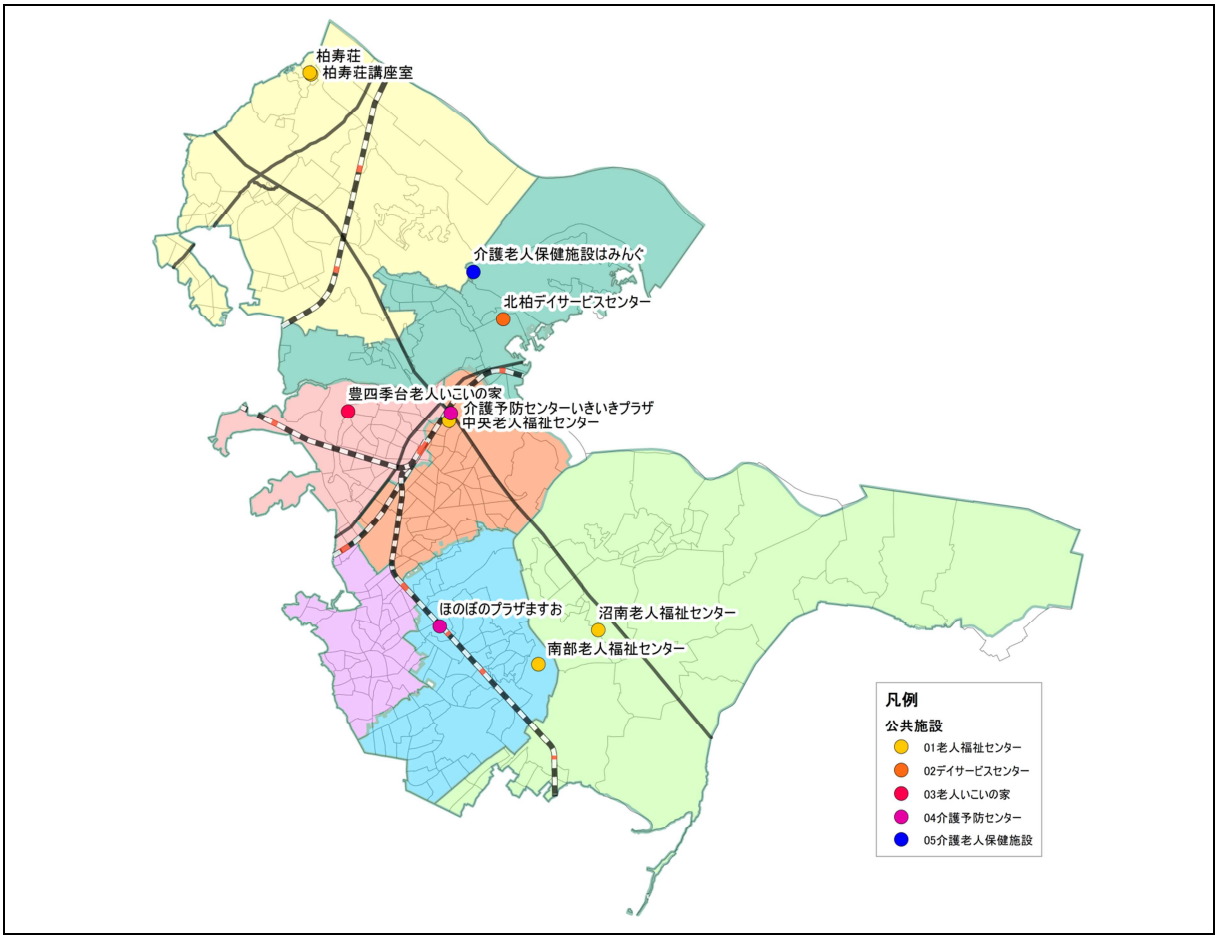
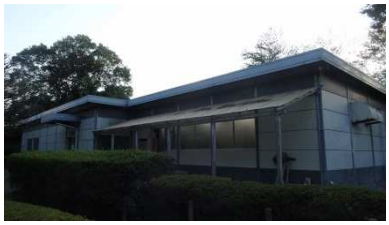


図 3-87　高齢者福祉施設の配置状況

写真 3－18 各施設の写真（高齢者福祉施設）

中央老人福祉センター

柏寿荘



柏寿荘講座室

南部老人福祉センター

沼南老人福祉センター

北柏デイサービスセンター

豊四季台老人いこいの家

介護予防センターいきいきプラザ

ほのぼのプラザますお

介護老人保健施設はみんぐ

(2) 経過年数

・高齢者福祉施設の平均経過年数は，24.4 年です。経過年数 20 年未満の建物が全体の 61%を占め，比較的新しい建物で構成されています。
・高齢者福祉施設の中では，柏寿荘と豊四季台老人いこいの家が特に古くなっています。

表 3-119　高齢者福祉施設の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	中央老人福祉センター	578	34.0	教育福祉会館内に設置
2	柏寿荘	1,265	39.9	避難所
3	柏寿荘講座室	192	15.2	
4	南部老人福祉センター	1,546	21.5	
5	沼南老人福祉センター	757	31.0	避難所
6	北柏デイサービスセンター	512	15.0	
7	豊四季台老人いこいの家	67	43.0	避難所
8	介護予防センターいきいきプラザ	579	14.1	
9	ほのぼのプラザますお	588	13.0	
10	介護老人保健施設はみんぐ	4,664	17.0	
	平均	1,075	24.4	
	合計	10,748	－	

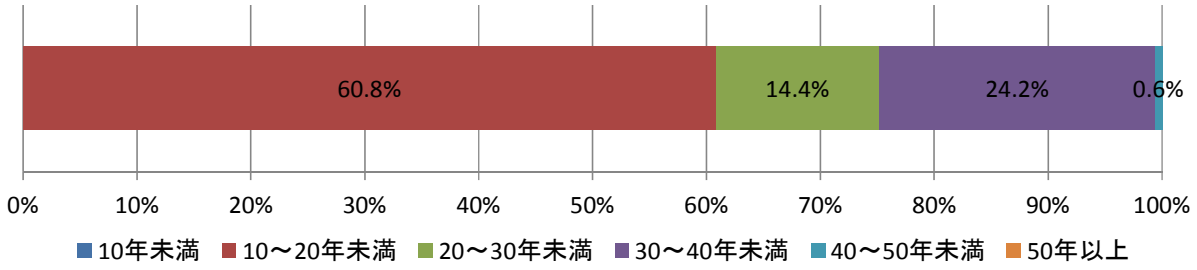


図 3-88　高齢者福祉施設の経過年数別延床面積構成比

(3) 利用状況

① 施設分類別の利用者数

(i)01 老人福祉センター

・南部老人福祉センターは，年間 7 万人以上の利用者がいます。
・他の老人福祉センターの年間利用者数は，それぞれ 3 万人前後で推移しています。

表 3-120　老人福祉センターの利用状況

No	施設名称	延床面積（㎡）	利用者数（人）			
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均
1	中央老人福祉センター	578	27,635	27,916	27,969	27,840
2	柏寿荘	1,265	24,546	24,068	23,827	24,147
3	柏寿荘講座室	192	5,517	4,668	5,527	5,237
	柏寿荘　計	1,457	30,063	28,736	29,354	29,384
4	南部老人福祉センター	1,546	73,507	73,759	71,489	72,918
5	沼南老人福祉センター	757	37,137	36,246	38,932	37,438
	平均	1,084	42,086	41,664	41,936	41,895
	合計	4,338	168,342	166,657	167,744	167,581

No	施設名称	延床面積（㎡）	利用者数（人）							
			H24		H25		H26		3年平均	
			開館日（日）	1日平均	開館日（日）	1日平均	開館日（日）	1日平均		
1	中央老人福祉センター	578	297	93	297	94	299	94	94	94
2	柏寿荘	1,265	292	84	287	84	293	81	83	
3	柏寿荘講座室	192	290	19	287	16	293	19	18	
	柏寿荘　計	1,457	291	103	287	100	293	100	101	101
4	南部老人福祉センター	1,546	291	253	290	254	290	247	251	251
5	沼南老人福祉センター	757	291	128	290	125	292	133	129	129
	平均（柏寿荘を計とした4施設平均）	1,085	293	144	291	143	294	143	144	144
	合計	4,338	－	576	－	573	－	574	574	

(ii)03 老人いこいの家

・豊四季台老人いこいの家は，年間平均で 4,071 人，1 日平均で 14 人の利用者がいます。

表 3-121　老人いこいの家の利用状況

No	施設名称	延床面積（㎡）	利用者数（人）			
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均
1	豊四季台老人いこいの家	67	3,829	4,017	4,368	4,071

No	施設名称	延床面積（㎡）	利用者数（人）							
			H24		H25		H26		3年平均	
			開館日（日）	1日平均	開館日（日）	1日平均	開館日（日）	1日平均		
1	豊四季台老人いこいの家	67	294	13	299	13	299	15	14	

(iii)02 デイサービスセンター

・北柏デイサービスセンターは，年間平均で 7,640 人の利用者がいます。
・1 日平均利用者数は，利用定員 35 人/日に対して年間平均で 26 人/日の利用者がいます。

表 3-122　デイサービスセンターの利用状況

No	施設名称	延床面積（㎡）	利用者数(人)				
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均	
1	北柏デイサービスセンター	512	7,801	7,529	7,591	7,640	7640.3

No	施設名称	利用種別	利用者数(人)							
			H24		H25		H26		3年平均	
			年間	1日平均	年間	1日平均	年間	1日平均	年間	1日平均
1	北柏デイサービスセンター	通所介護	7,552	26	7,356	25	7,335	25	7,414	25
		身障者デイサービス	249	1	173	1	256	1	226	1
		合計	7,801	27	7,529	26	7,591	26	7,640	26

(iv)04 介護予防センター

・介護予防センターは，平均して年間で 12,382 人，1 日平均で 47 人の利用者がいます。
・1 日平均利用者数はほとんど同じであることから，両施設ともに同等の利用状況であることが読み取れます。

表 3-123　介護予防センターの利用状況

No	施設名称	延床面積（㎡）	利用者数（人）				
			H24	H25	H26	3年平均	
1	介護予防センターいきいきプラザ	579	11,313	11,185	12,195	11,564	11,564
2	ほのぼのプラザますお	588	13,373	13,206	13,021	13,200	13,200
	平均	584	12,343	12,196	12,608	12,382	12,382
	合計	1,167	24,686	24,391	25,216	24,764	

No	施設名称	延床面積（㎡）	利用者数（人）							
			H24		H25		H26		3年平均	
			開館日（日）	1日平均	開館日（日）	1日平均	開館日（日）	1日平均		
1	介護予防センターいきいきプラザ	579	242	47	244	46	248	49	47	47
2	ほのぼのプラザますお	588	291	46	289	46	291	45	46	46
	平均	584	267	47	267	46	270	47	47	47
	合計	1,167	－	93	－	92	－	94	93	

(v)05 介護老人保健施設

・介護老人保健施設はみんぐは，年間平均で 39,192 人の利用者がいます。
・1 日平均利用者数は，入所定員 90 人/日に対して年間平均で 83 人/日，短期入所定員 10 人/日に対して年間平均で 9 人/日，通所定員 25 人/日に対して年間平均で 19 人/日です。

表 3-124　介護老人保健施設の利用状況

No	施設名称	延床面積（㎡）	利用者数（人）				
			H24	H25	H26	3年平均	
1	介護老人保健施設はみんぐ	4,664	39,701	39,083	38,792	39,192	

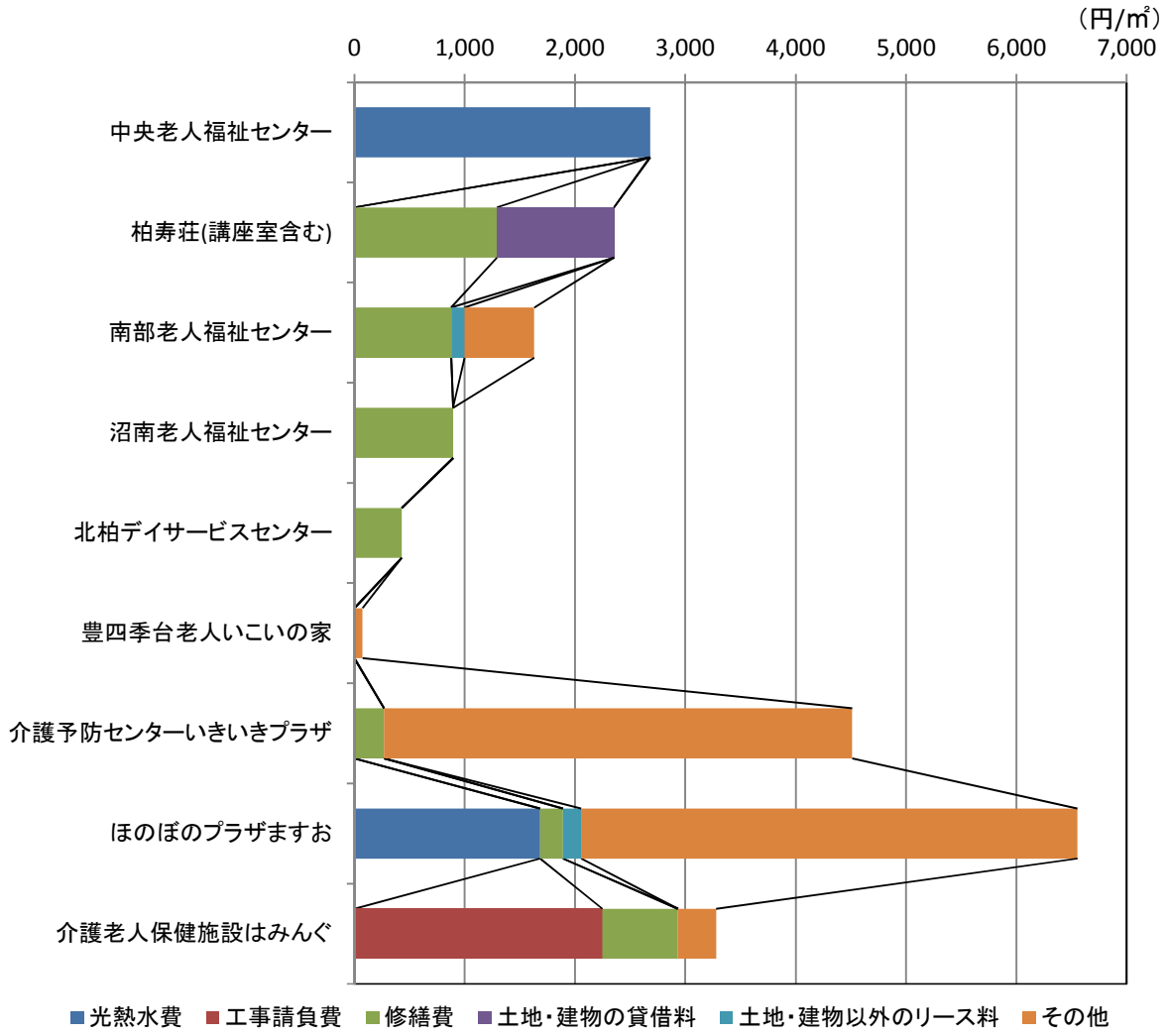
No	施設名称	利用種別	利用者数（人）							
			H24		H25		H26		3年平均	
			年間	1日平均	年間	1日平均	年間	1日平均	年間	1日平均
1	介護老人保健施設はみんぐ	入所	30,252	83	30,049	82	30,326	83	30,209	83
		短期入所	3,520	10	3,411	9	3,040	8	3,324	9
		通所	5,929	20	5,623	19	5,426	18	5,659	19
		合計	39,701	113	39,083	110	38,792	109	39,192	111

(4) コスト状況

・延床面積あたり市負担額を見ると，平均で約 22 千円／㎡ですが，平均の 2 倍以上の施設がある一方で，千円を下回る施設があるなど，施設によって大きな差があります。
・延床面積あたりの施設に係るコストについて，施設によって機能が異なることや，また指定管理を導入している施設が一部あるため，単純な比較はできませんが，柏寿荘講座室はリース物件であるため，賃借料が多くなっています。その他，中央老人福祉センターでは光熱水費が，介護予防センターいきいきプラザとほのぼのプラザますおでは，施設に係るその他のコストが多くなっています。

表 3-125　高齢者福祉施設のコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）							
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤－⑥）	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）⑧
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）			
1	中央老人福祉センター	1,550	0	0	10,754	12,304	0	12,304	21,272
2	柏寿荘	1,885	0	0	26,278	28,163	96	28,067	22,187
3	柏寿荘講座室	1,546	0	0	0	1,546	0	1,546	8,057
	柏寿荘　計	3,431	0	0	26,278	29,708	96	29,612	20,327
4	南部老人福祉センター	2,521	0	0	34,167	36,688	73	36,615	23,681
5	沼南老人福祉センター	676	208	0	26,620	27,504	0	27,504	36,357
6	北柏デイサービスセンター	221	0	0	0	221	0	221	431
7	豊四季台老人いこいの家	5	0	0	1,388	1,393	0	1,393	20,916
8	介護予防センターいきいきプラザ	2,615	5,754	0	0	8,369	41	8,328	14,373
9	ほのぼのプラザますお	3,856	7,423	14,355	0	25,633	0	25,633	43,562
10	介護老人保健施設はみんぐ	94,983	0	0	3,113	98,097	20,622	77,475	16,612
	平均(柏寿荘を計とした9施設平均)	12,206	1,487	1,595	11,369	26,657	2,315	24,343	21,948
	合計	109,857	13,385	14,355	102,321	239,917	20,832	219,085	－



※中央老人福祉センター，柏寿荘，南部老人福祉センター，沼南老人福祉センター，豊四季台老人いこいの家，介護老人保健施設はみんぐは，指定管理料を別途支出しています。

図 3-89　高齢者福祉施設の延床面積あたり施設に係るコスト

(5) 施設現況のまとめ

① 老人福祉センター・老人いこいの家

・供給面（ソフト）をみると，柏寿荘の延床面積・開館日あたり平均利用者数が比較的少なくなっています。
・一方，財務面（ソフト）に着目すると，指定管理料が多く発生している沼南老人福祉センターや南部老人福祉センターの市負担額が大きくなっています。
・豊四季台老人いこいの家や中央老人福祉センターは，財務面（ソフト）からみると良好ですが，品質面（ハード）では，経過年数が大きくなっています。

表 3-126　老人福祉センター・老人いこいの家の品質面（ハード）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	品質		品質（ハード）平均偏差値
			経過年数（年）	偏差値	
1	中央老人福祉センター	578	34.0	42.6	42.6
2	柏寿荘（講座室含む）	1,457	36.7	40.4	40.4
3	南部老人福祉センター	1,546	21.5	52.9	52.9
4	沼南老人福祉センター	757	31.0	45.0	45.0
5	豊四季台老人いこいの家	67	43.0	35.1	35.1
	平均	881	33.2	43.2	43.2
	合計	4,405	－	－	－

表 3-127　老人福祉センター・老人いこいの家の供給面（ソフト）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	供給				供給（ソフト）平均偏差値
			平均利用者数（人）	偏差値	延床面積・開館日あたり平均利用者数（人/日・100㎡）	偏差値	
1	中央老人福祉センター	578	27,840	47.4	16.2	51.6	49.5
2	柏寿荘（講座室含む）	1,457	29,384	48.0	6.9	33.3	40.6
3	南部老人福祉センター	1,546	72,918	65.5	16.2	51.7	58.6
4	沼南老人福祉センター	757	37,438	51.2	17.0	53.2	52.2
5	豊四季台老人いこいの家	67	4,071	37.8	20.6	60.2	49.0
	平均	881	34,330	50.0	15.4	50.0	50.0
	合計	4,405	171,652	－	－	－	－

表 3-128　老人福祉センター・老人いこいの家の財務面（ソフト）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	財務				財務（ソフト）平均偏差値
			市負担額（千円）	偏差値	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）	偏差値	
1	中央老人福祉センター	578	12,304	56.4	21,272	54.8	55.6
2	柏寿荘（講座室含む）	1,457	29,612	44.3	20,327	56.2	50.3
3	南部老人福祉センター	1,546	36,615	39.4	23,681	51.2	45.3
4	沼南老人福祉センター	757	27,504	45.8	36,357	32.4	39.1
5	豊四季台老人いこいの家	67	1,393	64.0	20,916	55.3	59.7
	平均	881	21,486	50.0	24,511	50.0	50.0
	合計	4,405	107,429	－	－	－	－

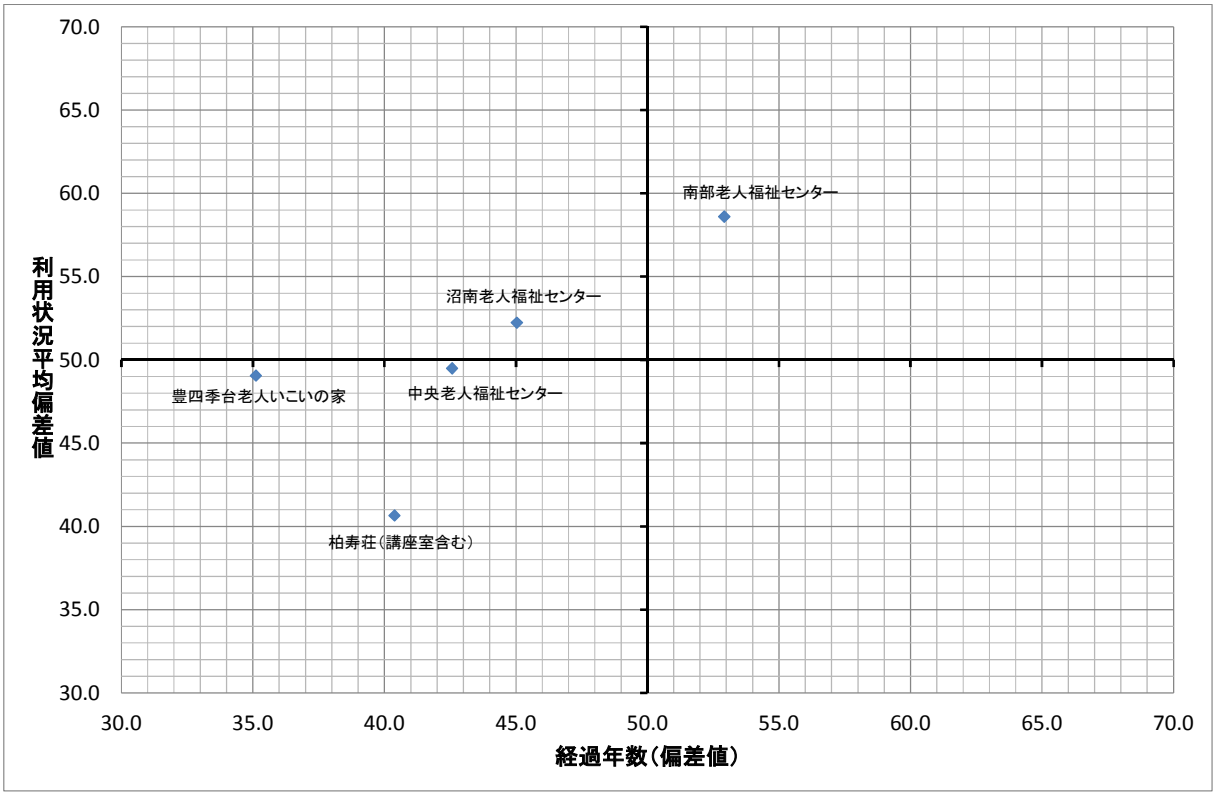


図 3-90　老人福祉センター・老人いこいの家の品質面（ハード）・供給面（ソフト）の分析

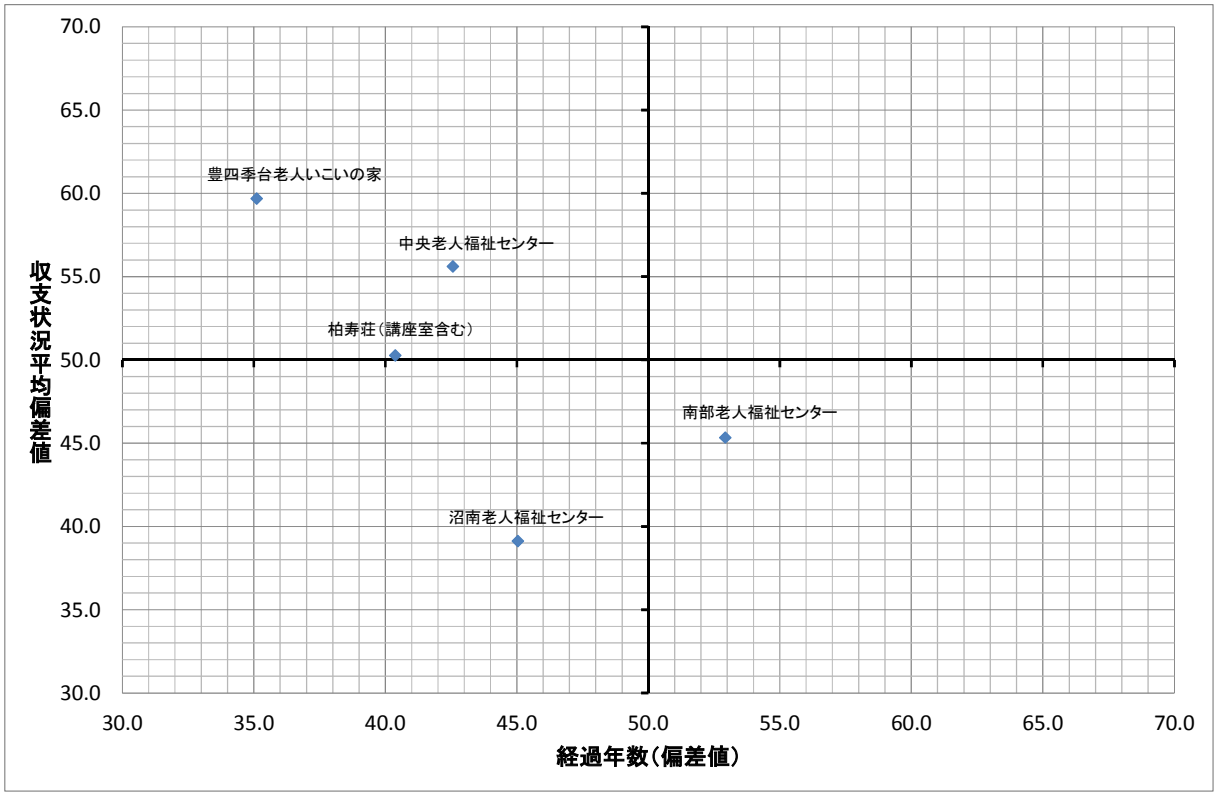


図 3-91　老人福祉センター・老人いこいの家の品質面（ハード）・財務面（ソフト）の分析

3-7 02 障害福祉施設

(1) 配置状況

・障害福祉施設は，市内に 8 施設あり，障害福祉サービス事業所，障害者福祉作業所，障害福祉就労支援センターおよびその他に分類されます。
・障害福祉サービス事業所は，知的障害者の自立，社会経済活動への参加を促進すること等を目的に設置されました。
・障害者福祉作業所は，常時介護を要する障害者や，主として昼間において援助を要し，通常の事業所に雇用されることが困難な障害者に対し，生産等の活動機会を提供し，また，必要な就労訓練や支援を行うため設置されました。
・障害福祉就労支援センターは，身体障害者の自立と社会参加を図るため設置されました。柏市障害福祉就労支援センターでは，現在，障害者の経済的自立を支援する就労支援事業も実施しています。
・その他は，柏市心身障害者福祉連絡協議会かしわっ葉があり，身体および知的障害者を対象に，就労支援や就労実習の場として設置されました。

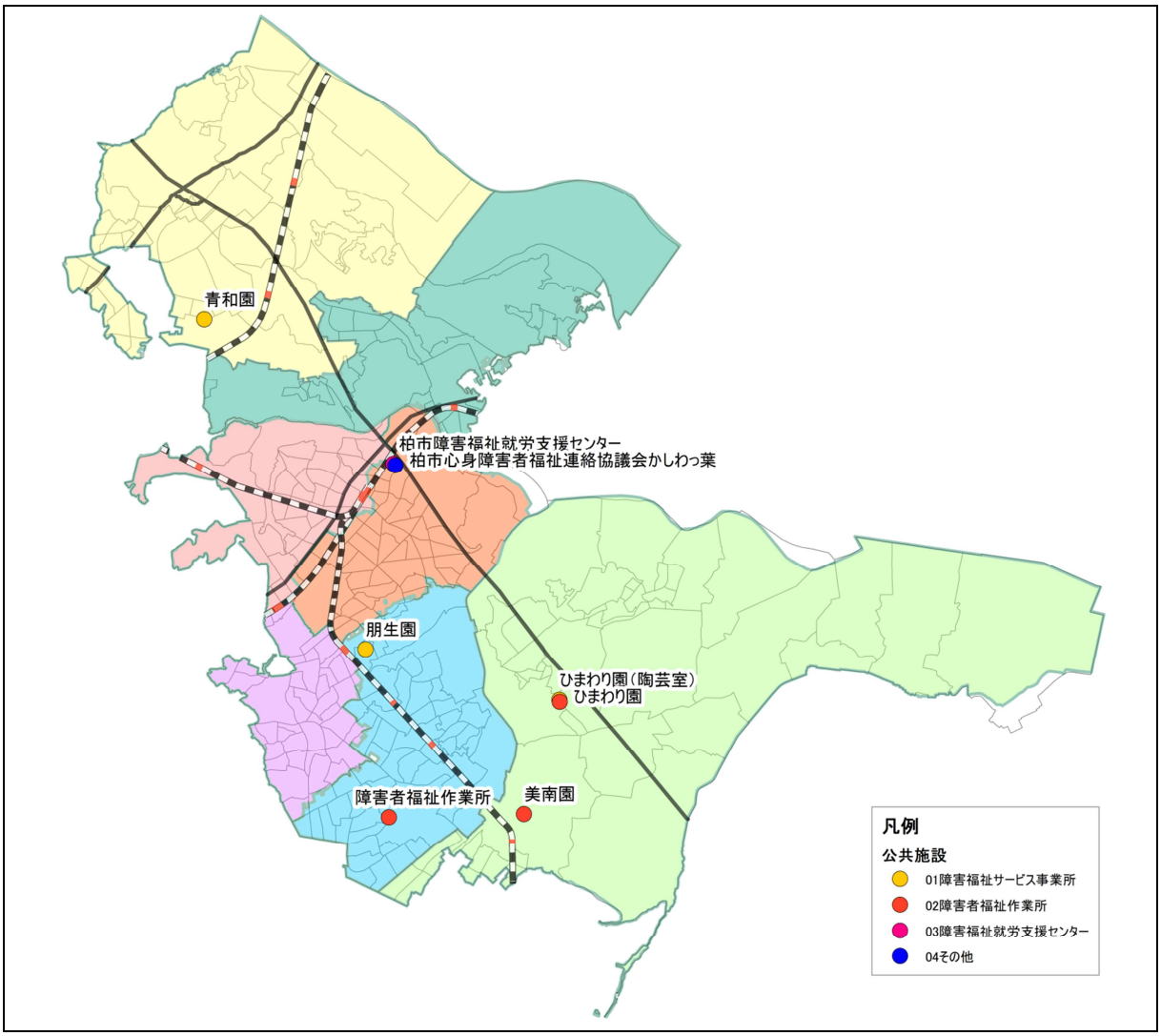


図 3-92　障害福祉施設の配置状況

写真 3－19 各施設の写真（障害福祉施設）

青和園

朋生園

ひまわり園

ひまわり園（陶芸室）

障害福祉作業所

美南園

柏市障害福祉就労支援センター

柏市心身障害者福祉連絡協議会

かしわっ葉

(2) 経過年数

・障害福祉施設の平均経過年数は，31.9 年です。経過年数 30 年以上の建物が全体の 60%以上を占めています。
・美南園および障害者福祉作業所が特に古く，約 40 年以上が経過しています。

表 3-129　障害福祉施設の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	青和園	1,239	36.0	
2	朋生園	1,220	27.3	
3	ひまわり園	486	22.4	
4	ひまわり園（陶芸室）	44	18.6	ひまわり園の一室で、柏市社会福祉協議会へ貸付
5	障害者福祉作業所	147	39.5	
6	美南園	539	43.0	
7	柏市障害福祉就労支援センター	796	34.0	教育福祉会館内に設置
8	柏市心身障害者福祉連絡協議会かしわっ葉	53	34.0	教育福祉会館内に設置
	平均	566	31.9	
	合計	4,526	－	

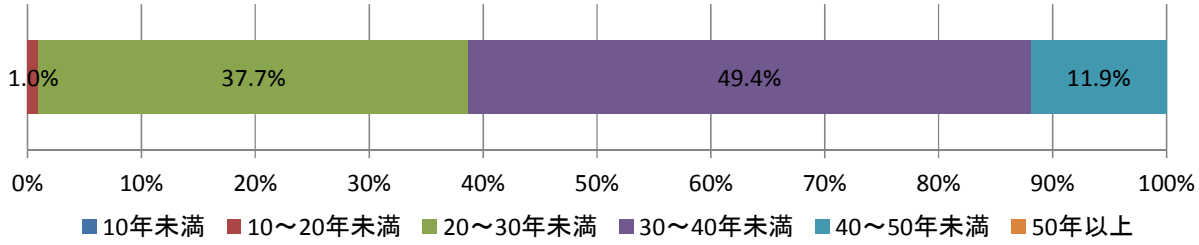


図 3-93　障害福祉施設の経過年数別延床面積構成比

表 3-130　障害福祉施設の品質（ハード）面の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	品質		品質（ハード）平均偏差値
			経過年数（年）	偏差値	
1	青和園	1,239	36.0	41.0	41.0
2	朋生園	1,220	27.3	48.1	48.1
3	ひまわり園	486	22.4	52.1	52.1
4	ひまわり園（陶芸室）	44	18.6	55.3	55.3
5	障害者福祉作業所	147	39.5	38.0	38.0
6	美南園	539	43.0	35.1	35.1
7	柏市障害福祉就労支援センター	796	34.0	42.6	42.6
8	柏市心身障害者福祉連絡協議会かしわっ葉	53	34.0	42.6	42.6
	平均	566	31.9	44.3	44.3
	合計	4,526	－	－	－

(3) 利用状況

① 施設分類別の利用者数

(i)01 障害福祉サービス事業所・02 障害者福祉作業所

・障害福祉サービス事業所および障害者福祉作業所は，平均して年間で 7,884 人の利用者がいます。

表 3-131　障害福祉サービス事務所・障害者福祉作業所の利用状況

No	施設名称	延床面積（㎡）	利用者数（人）			3年平均
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	
1	青和園	1,239	10,397	10,756	10,945	10,699
2	朋生園	1,220	10,445	9,763	9,272	9,827
3	ひまわり園	486	4,869	4,297	4,193	4,453
4	ひまわり園（陶芸室）	44	－	－	－	－
5	障害者福祉作業所	147	－	－	－	－
6	美南園	539	5,816	7,052	6,801	6,556
	平均	613	7,882	7,967	7,803	7,884
	合計	3,676	31,527	31,868	31,211	31,535

※ひまわり園の利用者数は，ひまわり園（陶芸室）の利用者数も合算しています。（利用者数カウントの区分けがないため）
※障害者福祉作業所は，建物の老朽化が激しく，耐震性にも問題があるため，現在は使用しておりません。
※利用者数の平均と合計は，ひまわり園（陶芸室）および障害者福祉作業所の 2 施設を除く 4 施設を対象に集計しています。

(ii)03 柏市障害福祉就労支援センター

・柏市障害福祉就労支援センターは，年間平均で 10,169 人の利用者がいます。
・社会参加を目的とした利用が 90%となっており，センターを構成する部屋別利用状況は下表のとおりです。

表 3-132　柏市障害福祉就労支援センターの利用状況

No	施設名称	延床面積（㎡）	利用者数（人）			3年平均
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	
1	柏市障害福祉就労支援センター	796	11,010	9,967	9,531	10,169

No	部屋名称	利用者数（人）			
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均
1	機能訓練室	2,962	2,755	2,725	2,814
2	相談室	213	239	264	239
3	団体事務室	2,554	1,883	1,492	1,976
4	点訳準備室	1,622	1,570	1,455	1,549
5	就労相談室	172	193	171	179
6	研修室	900	827	749	825
7	録音・録音準備室	2,587	2,500	2,675	2,587
	平均	1,573	1,424	1,362	1,453
	合計	11,010	9,967	9,531	10,169

(iii)04 その他

・柏市心身障害者福祉連絡協議会かしわっ葉は，年間平均で 5,762 人の利用者がいます。

表 3-133　その他施設の利用状況

No	施設名称	延床面積（㎡）	利用者数（人）				
			H24	H25	H26	3年平均	
1	柏市心身障害者福祉連絡協議会かしわっ葉	53	5,807	5,917	5,562	5,762	

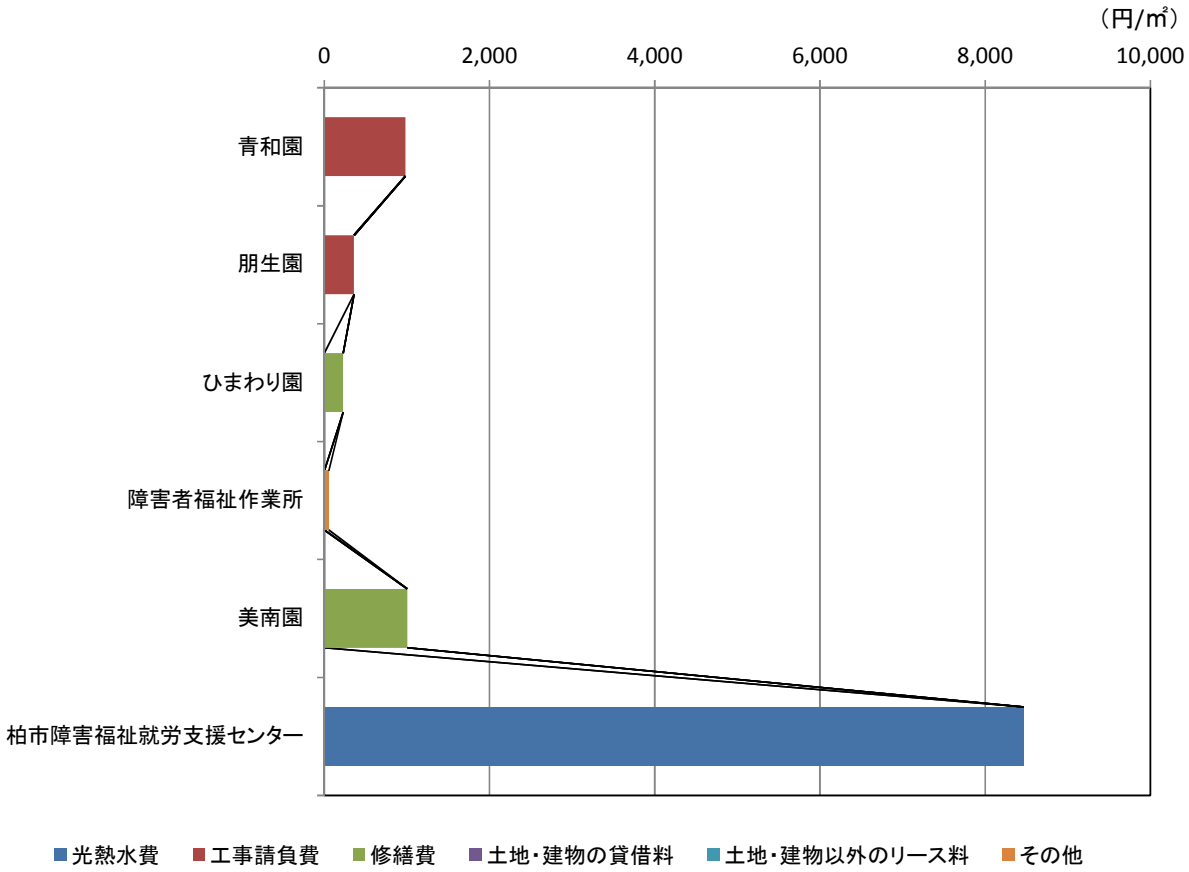
※柏市心身障害者福祉連絡協議会かしわっ葉は，身体障害者や知的障害者のために，就労支援や就労実習の場として設置された喫茶コーナー（店舗）であり，利用者数は来客数となります。

(4) コスト状況

・障害福祉サービス事業所およびひまわり園，美南園等は，指定管理者制度移行や貸付等により，民間のノウハウを活かしたサービスの向上とコスト削減につながっています。
・柏市障害福祉就労支援センターは，法律で定められた事業の他に市単独事業も実施しており，直営で行っているため，コストが最も高く，年間 9 千万円程度となっています。

表 3-134　障害福祉施設のコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）							
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤－⑥）	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）⑧
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）			
1	青和園	1,218	0	0	73,039	74,257	62,442	11,815	9,537
2	朋生園	440	0	0	75,836	76,276	57,510	18,766	15,376
3	ひまわり園	111	0	0	0	111	1,276	−1,165	−2,396
4	ひまわり園（陶芸室）	0	0	0	0	0	0	0	0
5	障害者福祉作業所	8	0	0	0	8	0	8	54
6	美南園	543	0	0	0	543	830	−288	−533
7	柏市障害福祉就労支援センター	6,742	10,749	73,398	0	90,889	5,527	85,363	107,195
8	柏市心身障害者福祉連絡協議会かしわっ葉	0	0	0	0	0	55	−55	−1,041
	平均	1,133	1,344	9,175	18,609	30,260	15,955	14,305	16,024
	合計	9,061	10,749	73,398	148,875	242,084	127,640	114,444	−



※青和園，朋生園は，指定管理料を別途支出しています。

図 3-94　障害福祉施設の延床面積あたりの施設に係るコスト

3-7 03 保健施設

(1) 配置状況

・保健施設は市内に 5 施設あり，総合保健医療福祉施設，保健所，保健センターおよび動物愛護ふれあいセンターに分類されます。
・総合保健医療福祉施設は，保健，医療および福祉に係るサービスを総合的に市民に提供することにより，市民の健康で快適な生活を保持するため，また，児童福祉の向上を図るために設置されました。
・保健所は，旧沼南町との合併後，中核市への移行とあわせ，千葉県から保健所業務をはじめとした市民生活に密着した業務（保健所業務，動物愛護業務および食鳥検査業務）の移譲を受け，市の地域保健業務（保健センター業務，健康増進や成人健診業務）と集約・統合した一体的な推進による柏市独自の施策展開を図るために設置されました。
・保健センターは，地域保健活動の推進および，市民の健康づくりを推進していくための拠点施設として設置されました。
・動物愛護ふれあいセンターは，柏市が中核市となり，狂犬病予防法並びに動物の愛護および管理に関する法律に基づく事務を所掌することとなったため，犬や猫の保護収容施設として設置されました。

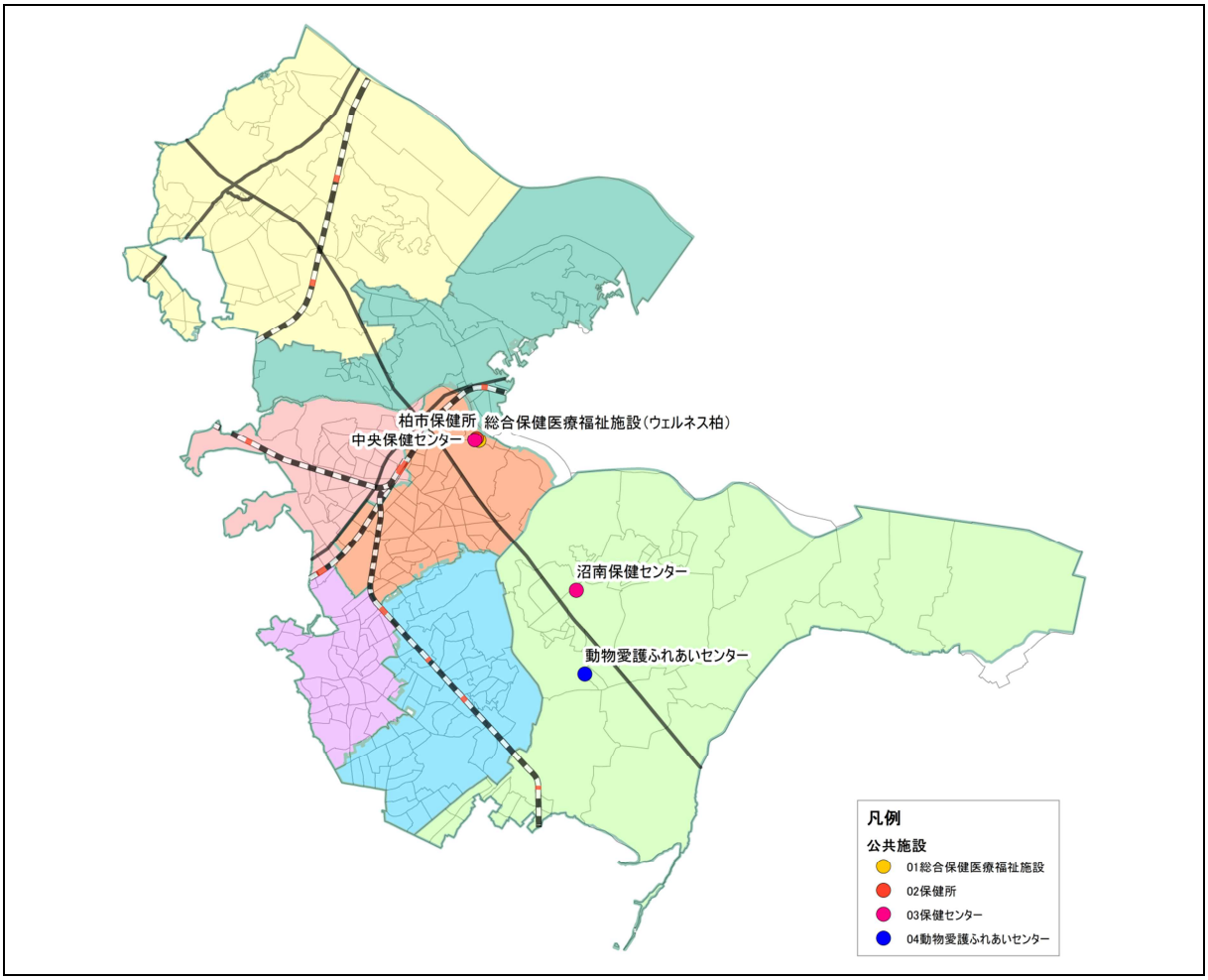


図 3-95　保健施設の配置状況

写真 3－20 各施設の写真（保健施設）

総合保健医療福祉施設

（ウェルネス柏）

柏市保健所

（こども健康ルーム入口）

中央保健センター

沼南保健センター

動物愛護ふれあいセンター

(2) 経過年数

・保健施設の平均経過年数は，13.1 年です。保健施設は，経過年数 10 年未満の建物が全体の 78%を占めており，総合保健医療福祉施設(ウェルネス柏)を中心とした比較的新しい施設で構成されています。
・その中で，中央保健センターと沼南保健センターは古く，ともに 20 年以上経過しています。

表 3-135　保健施設の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	総合保健医療福祉施設(ウェルネス柏)	3,341	5.2	
2	柏市保健所	3,425	5.2	総合保健医療福祉施設(ウェルネス柏内)に設置
3	中央保健センター	1,171	28.0	
4	沼南保健センター	870	26.1	
5	動物愛護ふれあいセンター	656	0.9	
	平均	1,893	13.1	
	合計	9,464	－	

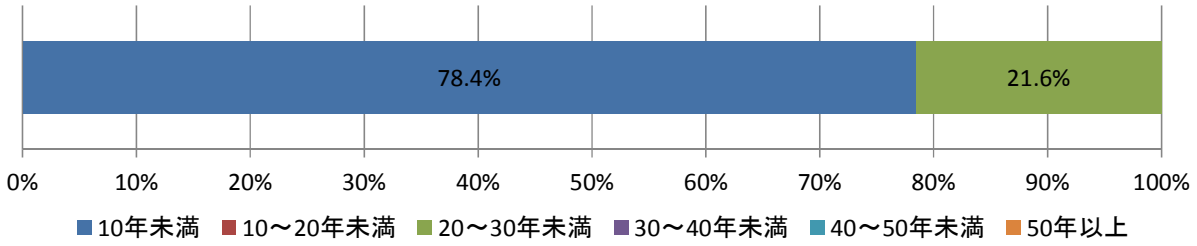


図 3-96　保健施設の経過年数別延床面積構成比

(3) 利用状況

・沼南保健センターの利用者数は減少傾向にあります。
・保健施設全体の延床面積・開館日あたりの平均利用者数は，5.8 人/日・100 ㎡です。中央保健センターが 7.9 人/日・100 ㎡であるのに対して，沼南保健センターは 3.7 人/日・100 ㎡です。

表 3-136　保健施設の利用状況

No	施設名称	利用者数(人)				延床面積（㎡）	延床面積・開館日あたり平均利用者数(人/日・100㎡)	
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均			
1	総合保健医療福祉施設(ウェルネス柏)	－	－	－	－	3,341	－	
2	柏市保健所	－	－	－	－	3,425	－	
3	中央保健センター	18,718	17,700	18,226	18,215	1,171	7.9	
4	沼南保健センター	5,903	5,557	4,780	5,413	870	3.7	
5	動物愛護ふれあいセンター	－	－	－	－	656	－	
	平均	12,311	11,629	11,503	11,814	1,893	5.8	
	合計	24,621	23,257	23,006	23,628	9,464		

(4) コスト状況

・延床面積 1 ㎡あたりの市負担額を見ると，平均で約 1 万円／㎡となっています。
※総合保健医療福祉施設（ウェルネス柏），柏市保健所および動物愛護ふれあいセンターは，庁舎管理に要する経費のみ計上しています。
・延床面積 1 ㎡あたりの施設に係るコストをみると，総合保健医療福祉施設（ウェルネス柏）および柏市保健所では，その他が最も多くなっています。

表 3-137　保健施設のコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）								
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤－⑥）	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）⑧	利用者1人あたり市負担額（円/人）⑨
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）				
1	総合保健医療福祉施設（ウェルネス柏）	34,845	0	9,010	0	43,855	1,297	42,558	12,737	－
2	柏市保健所	36,428	0	9,236	0	45,664	3	45,661	13,330	－
3	中央保健センター	4,857	4,201	0	0	9,058	0	9,058	7,734	497
4	沼南保健センター	1,864	2,434	0	0	4,299	0	4,299	4,939	794
5	動物愛護ふれあいセンター	3,711	2,963	1,283	0	7,957	0	7,957	12,128	－
	平均	16,341	1,920	3,906	0	22,167	260	21,907	10,174	646
	合計	81,705	9,598	19,530	0	110,833	1,300	109,533	－	－

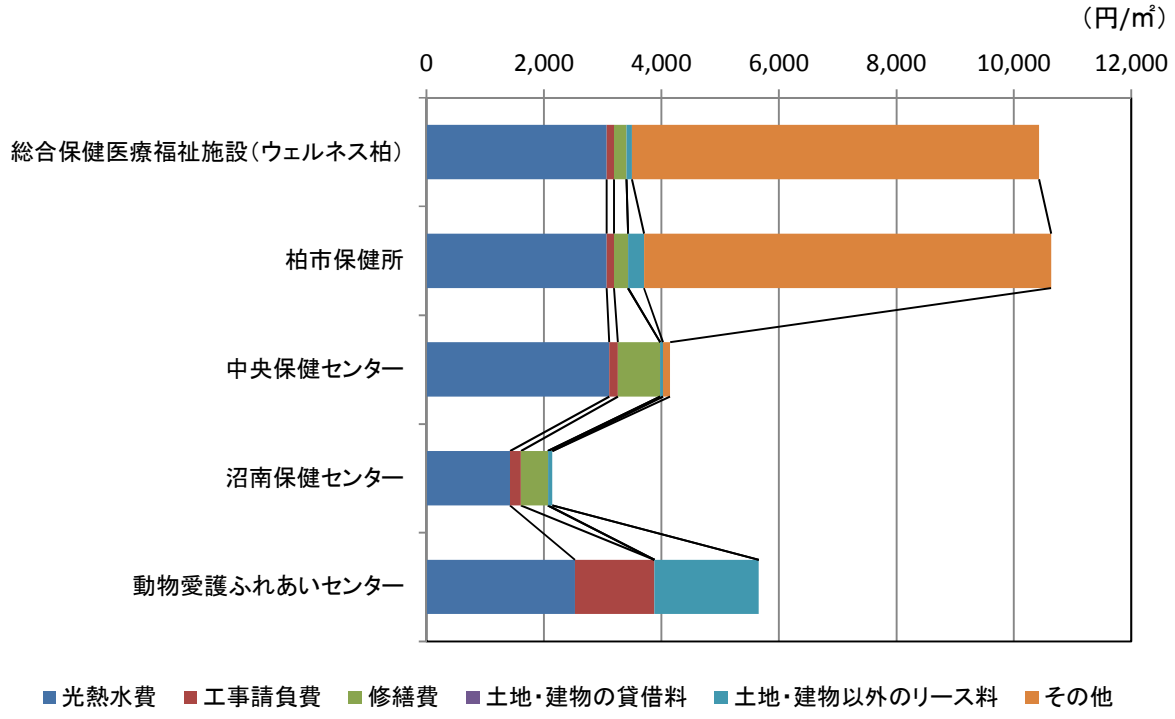


図 3-97　保健施設の延床面積あたり施設に係るコスト

3-7 04 福祉施設

(1) 配置状況

・福祉施設は市内に 4 施設あり，地域医療連携センター，地域生活支援センター，ボランティアセンターおよび地域福祉センターに分類されます。
・柏地域医療連携センターは，在宅医療も含めた地域医療と介護の連携を推進する拠点として設置されました。
・地域生活支援センターは，平成 16 年に千葉県が各保健所圏域毎に民間側の福祉サービス（福祉の総合相談支援，福祉サービスのコーディネート，権利擁護の相談支援）の拠点となる「中核地域生活支援センター」を設置したことがはじまりで，平成 20 年に柏市が中核市へ移行したことに伴い，この事業を引き継ぐ形で新たに設置され，平成 22 年から総合保健医療福祉施設（ウェルネス柏）内に移り，平成 27 年からは，生活困窮者自立支援法の施行に伴い，同事業も一緒に実施しています。
・ボランティアセンターは，ボランティアに関する支援や相談業務等を実施する場として柏市社会福祉協議会が運営しているものです。
・地域福祉センターは，ボランティア育成事業の実施や活動場所の提供をすることにより，福祉の増進を図るために設置されました。

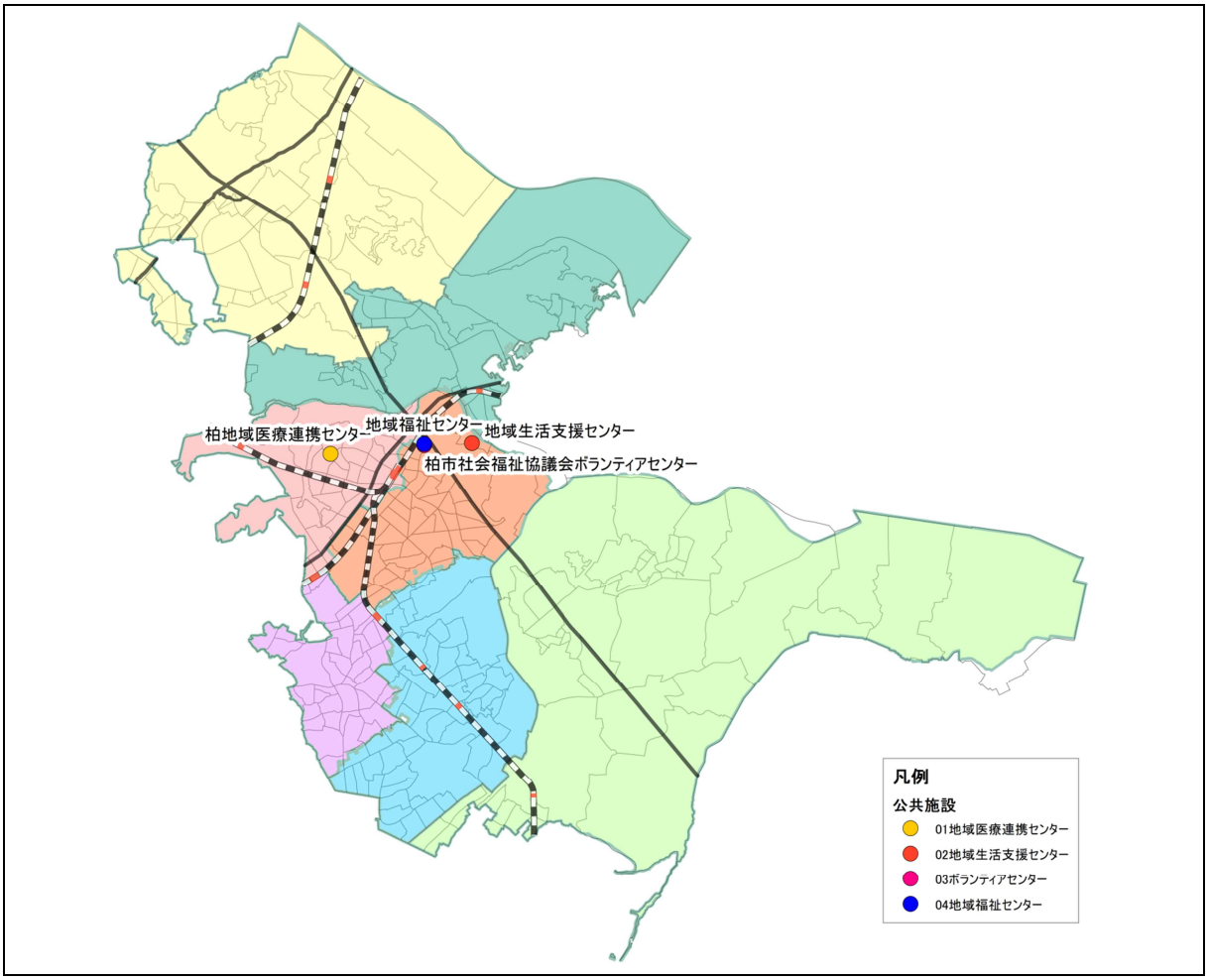


図 3-98　福祉施設の配置状況

写真 3－21 各施設の写真（福祉施設）

柏地域医療連携センター

地域生活支援センター

柏市社会福祉協議会

ボランティアセンター

地域福祉センター（大会議室）

(2) 経過年数

・福祉施設の平均経過年数は，18.6 年です。経過年数 10 年未満の建物が全体の 73%を占めており，柏地域医療連携センターを中心とした比較的新しい施設で構成されています。
・その中で，柏市社会福祉協議会ボランティアセンターと地域福祉センターは，教育福祉会館内に設置されており，30 年以上が経過しています。

表 3-138　福祉施設の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	柏地域医療連携センター	1,043	1.3	
2	地域生活支援センター	60	5.2	総合保健医療福祉施設（ウェルネス柏）内に設置
3	柏市社会福祉協議会ボランティアセンター	146	34.0	教育福祉会館内に設置
4	地域福祉センター	256	34.0	教育福祉会館内に設置
	平均	376	18.6	
	合計	1,505	－	

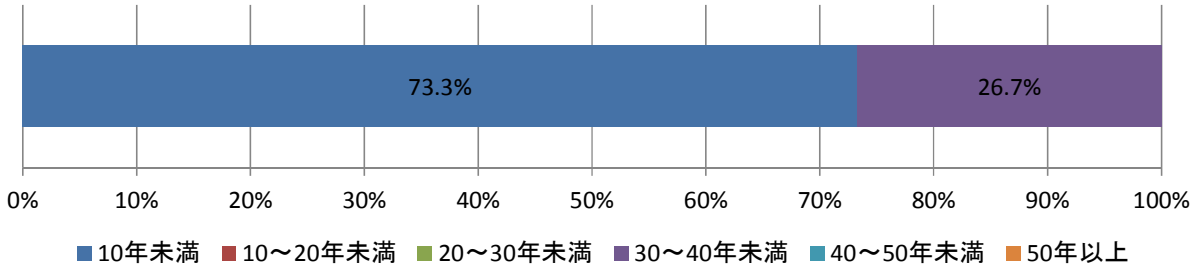


図 3-99　福祉施設の経過年数別延床面積構成比

(3) 利用状況

① 施設分類別の延相談件数

(i)01 地域医療連携センター

・柏地域医療連携センターは，年間で 727 件の延相談件数があります。

表 3-139　地域医療連携センターの延相談件数

No	施設名称	延床面積（㎡）	延相談件数（件）				
			H24	H25	H26	3年平均	
1	柏地域医療連携センター	1,043	－	－	727	727	

(ii)02 地域生活支援センター

・地域生活支援センターは，年間平均で 7,494 件の延相談件数があります。

表 3-140　地域生活支援センターの延相談件数

No	施設名称	延床面積（㎡）	延相談件数（件）				
			H24	H25	H26	3年平均	
1	地域生活支援センター	60	7,165	7,136	8,180	7,494	

(iii)03 ボランティアセンター

・柏市社会福祉協議会ボランティアセンターは，平成 26 年度末で合計 3,626 人の登録者がいます。

表 3-141　ボランティアセンターの登録者数

No	施設名称	延床面積（㎡）	登録者数（人）				
			H24	H25	H26	3年平均	
1	柏市社会福祉協議会ボランティアセンター	146	3,096	3,405	3,626	－	

施設名称	H24			H25			H26		
	個人登録者数（人）	登録団体数	団体登録者数（人）	個人登録者数（人）	登録団体数	団体登録者数（人）	個人登録者数（人）	登録団体数	団体登録者数（人）
柏市社会福祉協議会ボランティアセンター	319	108	2,777	559	116	2,846	672	122	2,954
合計（人）	3,096			3,405			3,626		

(iv)04 地域福祉センター

・地域福祉センターは，年間平均で 46,552 人の利用者がいます。

表 3-142　地域福祉センターの利用者数

No	施設名称	延床面積（㎡）	利用者数（人）				
			H24	H25	H26	3年平均	
1	地域福祉センター	256	48,161	46,016	45,478	46,552	

② 部屋別利用状況

・地域福祉センター（延床面積 256 ㎡）の貸出可能面積 243 ㎡の部屋別利用状況は，下表のとおりです。
・大会議室の利用者数が最も多くなっています。

表 3-143　福祉施設の利用者数

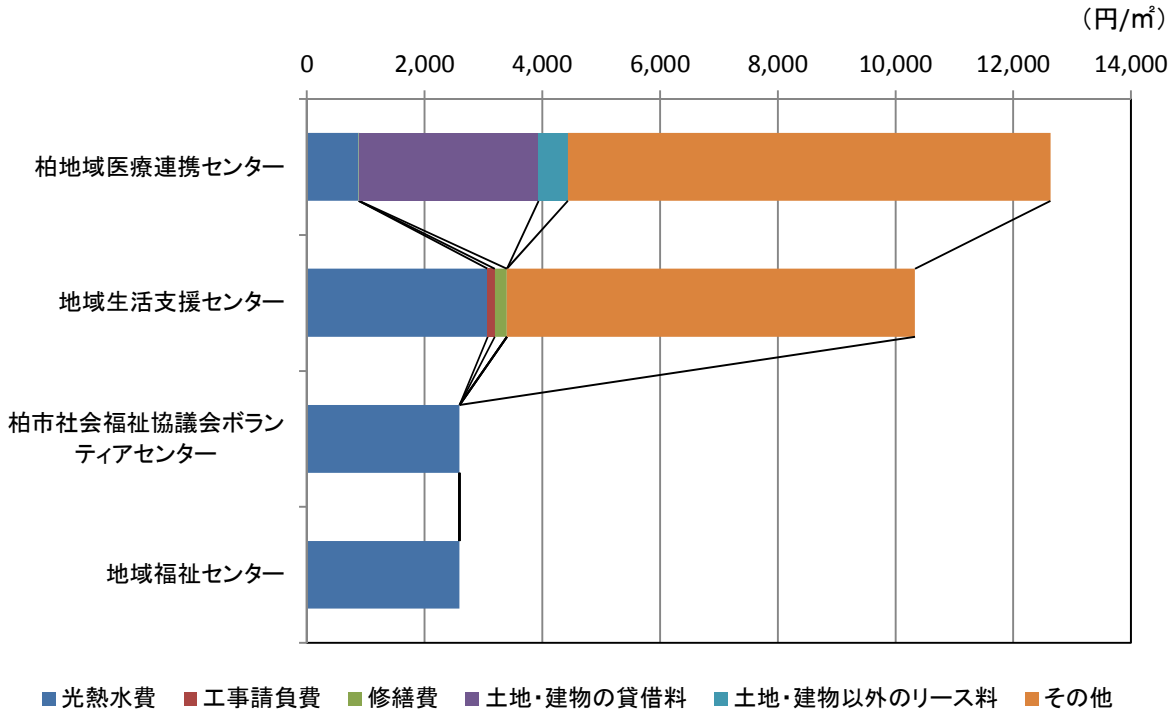
No	貸出可能箇所（部屋名称）	延床面積（㎡）	利用者数（人）				
			H24	H25	H26	3年平均	
1	大会議室	135	30,479	28,685	28,023	29,062	29,062
2	和室	69	11,970	11,106	11,399	11,492	11,492
3	ボランティア室	40	5,712	6,225	6,056	5,998	5,998
	平均	81	16,054	15,339	15,159	15,517	15,517
	合計	243	48,161	46,016	45,478	46,552	

(4) コスト状況

・延床面積 1 ㎡あたりの市負担額をみると，平均で約 20.6 万円／㎡となっていますが，施設間で大きな差がみられます。
・地域生活支援センターは事業運営費が多く，また，柏地域医療連携センターでは人件費が多いため，他の施設よりも多くの費用が発生しています。
・延床面積 1 ㎡あたりの施設に係るコストをみると，地域生活支援センターと柏地域医療連携センターはともにその他が最も多く，また，柏地域医療連携センターは土地の貸借料が多くなっています。

表 3-144　福祉施設のコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）								
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤－⑥）	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）⑧	利用者1人あたり市負担額（円/人）⑨
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）				
1	柏地域医療連携センター	13,169	8,493	57,008	0	78,670	14,659	64,011	61,397	－
2	地域生活支援センター	620	42,774	162	0	43,556	0	43,556	725,933	－
3	柏市社会福祉協議会ボランティアセンター	378	0	0	0	378	146	232	1,595	31
4	地域福祉センター	665	0	0	8,582	9,247	0	9,247	36,059	199
	平均	3,708	12,817	14,293	2,146	32,963	3,701	29,262	206,246	115
	合計	14,832	51,267	57,170	8,582	131,851	14,805	117,047	－	－



※地域福祉センターは，指定管理料を別途支出しています。

図 3-100　福祉施設の延床面積 1 ㎡あたりの施設に係るコスト

3-8 01 医療施設

(1) 配置状況

・医療施設は，市内に医療センター（総合保健医療福祉施設内）と市立柏病院の 2 施設があります。
・医療センターは，柏市医師会，柏歯科医師会および柏市薬剤師会の協力の下，一次の夜間急病診療事業，休日歯科診療事業および特殊歯科診療事業を実施し，市民の初期救急医療および歯科口腔医療を確保するために設置されました。
・市立柏病院は，国から旧国立柏病院の有償譲渡を受け，公立病院に求められる不採算医療に取り組み，市民の健康維持・増進を図り，地域医療を確保するために設置されました。

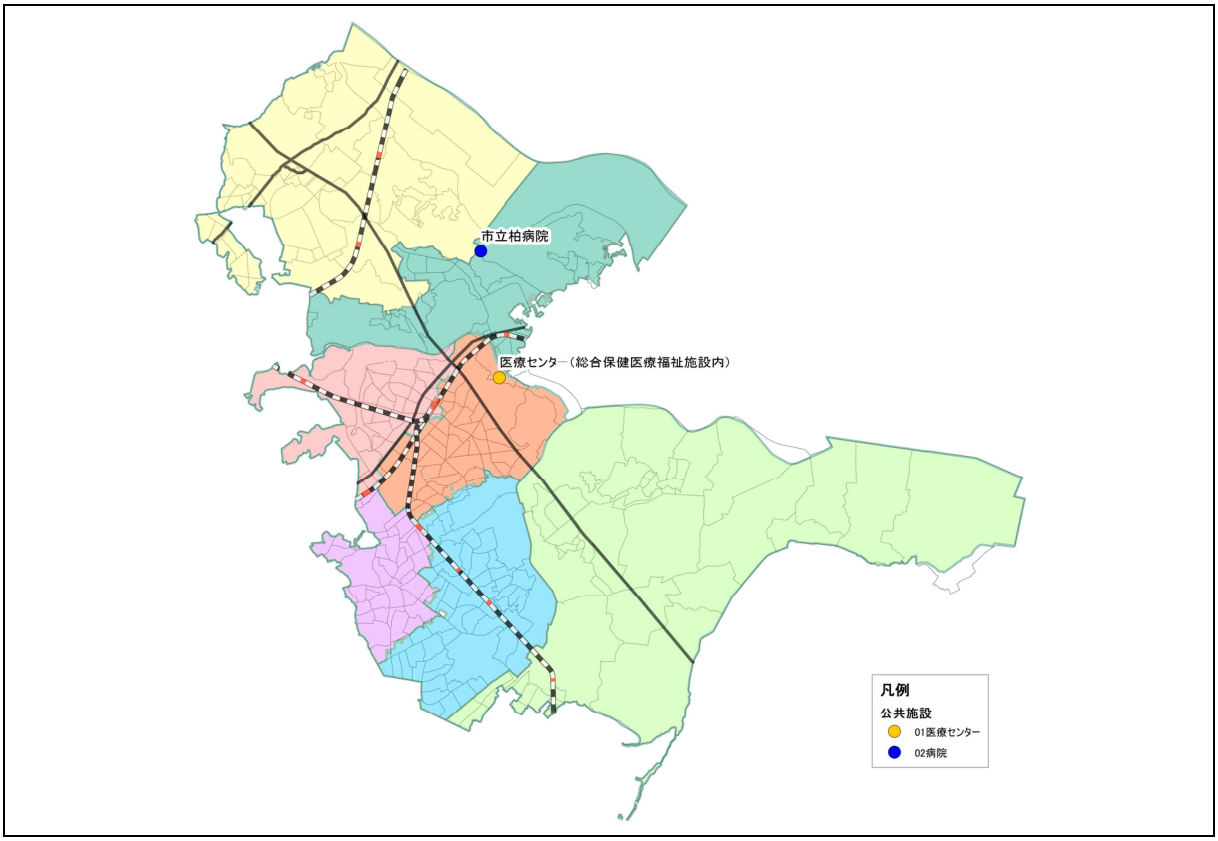


図 3-101　医療施設の配置状況

写真 3－22 各施設の写真（医療施設）

医療センター
（総合保健医療福祉施設内）

市立柏病院

(2) 経過年数

・医療施設の平均経過年数は，20.8 年です。市立柏病院は，経過年数が 35 年を超えており，建物の老朽化が進んでいます。

表 3-145　医療施設の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	医療センター（総合保健医療福祉施設内）	894	5.2	延床面積全体を柏市医療公社へ貸付
2	市立柏病院	12,121	36.3	
	平均	6,508	20.8	
	合計	13,015	－	

(3) 利用状況

・市立柏病院の利用者数は，年間 21 万人程度で推移しています。
・医療施設全体の延床面積・開館日あたり平均利用者数は，4.4 人/日・100 ㎡です。

表 3-146　医療施設の利用状況

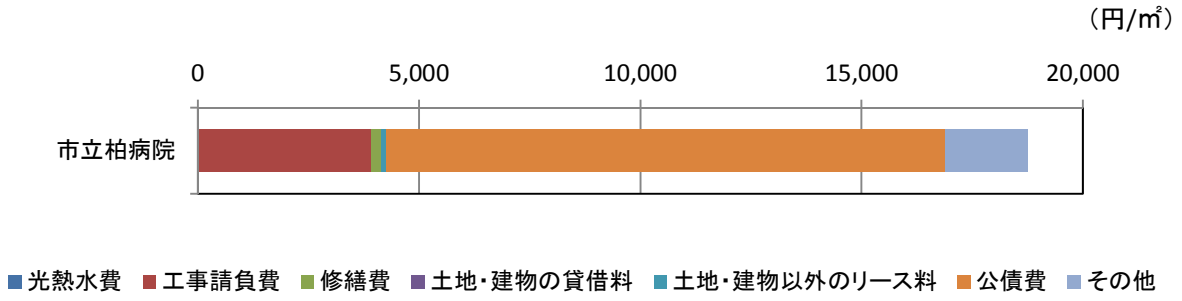
No.	施設名称	利用者数（人）				延床面積・開館日あたり平均利用者数（人/日・100㎡）
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均	
1	医療センター（総合保健医療福祉施設内）	7,595	8,451	8,286	8,111	2.9
2	市立柏病院	217,973	205,656	207,192	210,274	5.9
	平均	112,784	107,054	107,739	109,192	4.4
	合計	225,568	214,107	215,478	218,384	－

(4) コスト状況

・市立柏病院の市負担額は，約 3.0 億円です。
※医療センター（総合保健医療福祉施設内）は，事業を実施する（公財）柏市医療公社に建物を貸付けており，市は事業運営費のうち収入不足分について補助金を交付しています。
・市立柏病院の延床面積あたりの施設に係るコストをみると，公債費が最も多く，次いで工事請負費となっています。

表 3-147　医療施設のコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）								
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤－⑦）	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）⑧	利用者1人あたり市負担額（円/人）⑨
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）				
1	医療センター（総合保健医療福祉施設内）	0	57,757	0	0	57,757	0	57,757	64,625	7,121
2	市立柏病院	227,259	0	0	242,630	469,889	169,208	300,681	24,806	1,430
	平均	113,630	28,878	0	121,315	263,823	84,604	179,219	44,715	4,276
	合計	227,259	57,757	0	242,630	527,645	169,208	358,438	－	－



※市立柏病院は，指定管理料を別途支出しています。

図 3-102　医療施設の延床面積あたり施設に係るコスト

3-9 01 庁舎等

(1) 配置状況

・庁舎等は，市内に 30 施設あり，庁舎およびその他に分類されます。
・庁舎は，本庁舎や分庁舎，沼南庁舎などが設置されており，柏市の行政運営を担う各部署が配置されています。また，地域住民が本庁舎等へ出向くことなく行政サービスを享受できるように，利便性の向上や市民サービスに寄与すること等を目的として，市内各所に出張所が設置されています。
・その他は，柏市計量検査室，かしわインフォメーションセンター，文化財整理室，各種倉庫が設置されており，柏市計量検査室は，柏市が中核市へ移行したことにより，計量特定市に指定されて設置されました。かしわインフォメーションセンターは，柏駅周辺を中心に多くの市民や来街者でにぎわう中，市政情報や交通情報および地域情報等を，民間と行政の区別なくワンストップで提供するために設置されました。また，文化財整理室は，発掘された遺物の整理や保管を行うために設置されました。

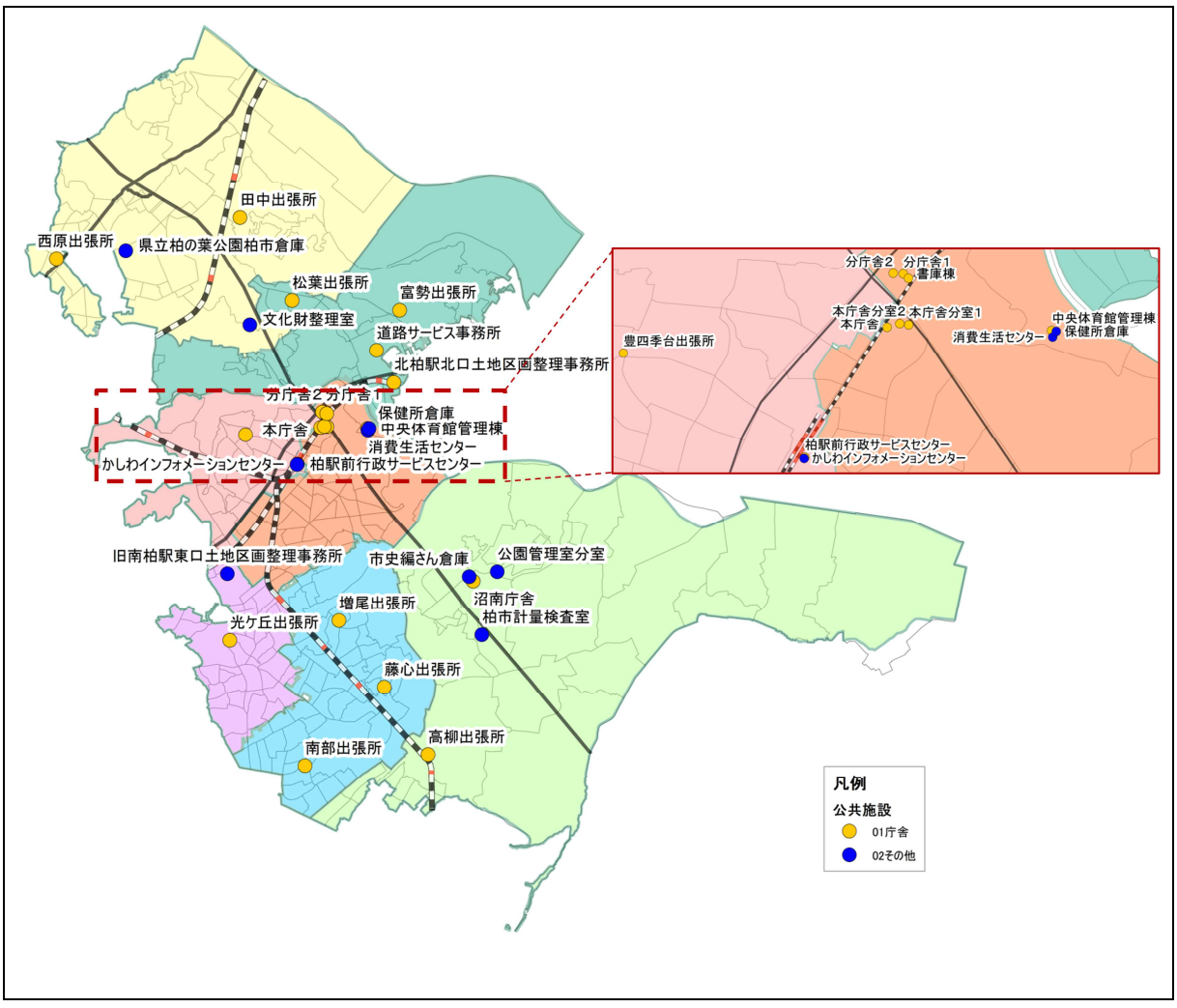


図 3-103　庁舎等の配置状況

写真 3－23 各施設の写真（庁舎等）

本庁舎

本庁舎分室１

本庁舎分室２

分庁舎１

分庁舎２

書庫棟

中央体育館管理棟

沼南庁舎

田中出張所（近隣センター内）

増尾出張所（近隣センター内）

富勢出張所

光ケ丘出張所（近隣センター内）

豊四季台出張所（近隣センター内）

南部出張所（近隣センター内）

西原出張所（近隣センター内）

 松葉出張所（近隣センター内）	 藤心出張所（近隣センター内）	 高柳出張所（近隣センター内）
 柏駅前行政サービスセンター	 北柏駅北口土地区画整理事務所	 道路サービス事務所
 消費生活センター	 柏市計量検査室	 保健所倉庫
 かしわインフォメーションセンター	 文化財整理室	 市史編さん倉庫
 県立柏の葉公園柏市倉庫	 公園管理室分室	 旧南柏駅東口土地区画整理事務所

(2) 経過年数

① 庁舎・出張所等

・庁舎・出張所等の平均経過年数は，33.0 年です。経過年数 20～30 年の建物が全体の約 72%を占めています。
・その中でも，富勢出張所と柏駅前行政サービスセンターの建物が古く，40 年以上が経過しています。

表 3-148　庁舎・出張所等の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	本庁舎	17,138	27.5	
2	沼南庁舎	6,036	34.2	
3	田中出張所	80	36.0	田中近隣センター内に設置
4	増尾出張所	62	34.1	増尾近隣センター内に設置
5	富勢出張所	118	42.4	
6	光ケ丘出張所	86	33.0	光ケ丘近隣センター内に設置
7	豊四季台出張所	90	32.8	豊四季台近隣センター内に設置
8	南部出張所	70	36.1	南部近隣センター内に設置
9	西原出張所	72	36.2	西原近隣センター内に設置
10	松葉出張所	77	27.6	松葉近隣センター内に設置
11	藤心出張所	65	27.6	藤心近隣センター内に設置
12	高柳出張所	84	20.0	高柳近隣センター内に設置
13	柏駅前行政サービスセンター	47	41.5	柏駅前第一商業協同組合共同ビル（ファミリかしわ）内を区分所有
	平均	1,848	33.0	
	合計	24,025	－	

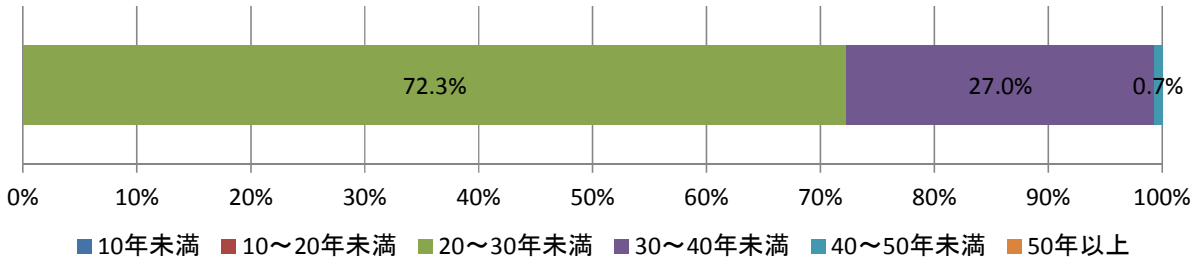


図 3-104　庁舎・出張所等の経過年数別延床面積構成比

② その他施設

・その他施設の平均経過年数は，24.5 年です。築 30 年以上の建物が全体の約 35%を占めています。
・その中でも，かしわインフォメーションセンターの建物が古く，40 年以上が経過しています。

表 3-149　その他施設の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	本庁舎分室1	494	20.4	
2	本庁舎分室2	72	31.2	
3	分庁舎1	2,189	26.5	
4	分庁舎2	994	5.0	
5	書庫棟	946	36.0	
6	中央体育館管理棟	1,093	38.1	
7	北柏駅北口土地区画整理事務所	197	6.5	
8	道路サービス事務所	1,094	37.5	
9	消費生活センター	172	38.1	中央体育館管理棟内に設置
10	柏市計量検査室	184	12.0	
11	保健所倉庫	202	22.5	
12	かしわインフォメーションセンター	164	41.5	柏駅前第一商業協同組合共同ビル（ファミリかしわ）内を区分所有
13	文化財整理室	2,070	14.7	
14	市史編さん倉庫	120	32.4	
15	県立柏の葉公園柏市倉庫	121	11.3	
16	公園管理室分室	132	22.4	
17	旧南柏駅東口土地区画整理事務所	219	21.3	
	平均	615	24.5	
	合計	10,463	－	

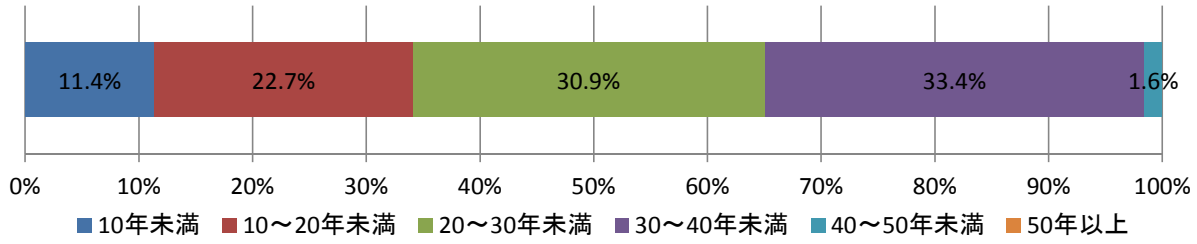


図 3-105　その他施設の経過年数別延床面積構成比

表 3-150　その他施設の品質面（ハード）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	品質		品質（ハード）平均偏差値
			経過年数（年）	偏差値	
1	本庁舎分室1	494	20.4	53.9	53.9
2	本庁舎分室2	72	31.2	44.9	44.9
3	分庁舎1	2,189	26.5	48.8	48.8
4	分庁舎2	994	5.0	66.6	66.6
5	書庫棟	946	36.0	40.9	40.9
6	中央体育館管理棟	1,093	38.1	39.2	39.2
7	北柏駅北口土地区画整理事務所	197	6.5	65.4	65.4
8	道路サービス事務所	1,094	37.5	39.7	39.7
9	消費生活センター	172	38.1	39.2	39.2
10	柏市計量検査室	184	12.0	60.8	60.8
11	保健所倉庫	202	22.5	52.1	52.1
12	かしわインフォメーションセンター	164	41.5	36.4	36.4
13	文化財整理室	2,070	14.7	58.5	58.5
14	市史編さん倉庫	120	32.4	44.0	44.0
15	県立柏の葉公園柏市倉庫	121	11.3	61.4	61.4
16	公園管理室分室	132	22.4	52.2	52.2
17	旧南柏駅東口土地区画整理事務所	219	21.3	53.1	53.1
	平均	615	24.5	50.4	50.4
	合計	10,463			

(3) 利用状況

① 庁舎・出張所等

・事務取扱い件数の総数は，52 万件前後で推移しています。
・庁舎・出張所等全体の延床面積・開館日あたり平均事務取扱い件数は 143.5 件です。その中で，柏駅前行政サービスセンターが突出しています。

表 3-151　庁舎・出張所等の利用状況

No	施設名称	延床面積（㎡）	事務取扱い件数（件）				延床面積・開館日あたり平均事務取扱い件数（件/日・100㎡）
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均	
1	本庁舎	17,138	166,787	179,901	178,079	174,922	4.2
2	沼南庁舎	6,036	36,193	36,842	38,024	37,020	2.5
3	田中出張所	80	17,541	18,783	17,815	18,046	92.6
4	増尾出張所	62	18,020	20,650	18,617	19,096	127.1
5	富勢出張所	118	13,248	14,102	12,757	13,369	46.2
6	光ケ丘出張所	86	29,254	30,826	28,764	29,615	140.9
7	豊四季台出張所	90	22,816	23,010	23,063	22,963	104.4
8	南部出張所	70	19,417	20,521	19,747	19,895	84.5
9	西原出張所	72	15,184	16,210	15,449	15,614	88.8
10	松葉出張所	77	21,027	21,829	20,310	21,055	112.0
11	藤心出張所	65	9,058	10,105	9,109	9,424	59.7
12	高柳出張所	84	16,774	17,834	18,043	17,550	85.2
13	柏駅前行政サービスセンター	47	119,754	130,872	128,362	126,329	917.9
	平均	1,848	38,852	41,653	40,626	40,377	143.5
	合計	24,025	505,073	541,485	528,139	524,899	

(i)事務取扱い件数

・事務取扱い件数の合計は，市民課関連証明関係と市税関連証明関係の事務取扱い件数を合算した数値です。
・本庁舎および沼南庁舎・出張所別の事務取扱い件数については，本庁舎が最も多く，次いで柏駅前行政サービスセンター，沼南庁舎の順となっています。
・柏駅前行政サービスセンターについては，平日の夜間（19 時まで）と土曜日および繁忙期の日曜日に開設していること，また，駅から数分という利便性から利用率が高く，事務取扱い件数も多くなっています。
・一方，藤心出張所や富勢出張所の事務取扱い件数は少なく，庁舎を除き，出張所の中では，延床面積あたりの事務取扱い件数も少なくなっています。

表 3-152　庁舎・出張所等の関連別事務取扱い件数

施設名称	事務取扱い件数(件)								
	H24			H25			H26		
	市民課関連証明関係	市税関連証明関係	合計	市民課関連証明関係	市税関連証明関係	合計	市民課関連証明関係	市税関連証明関係	合計
本庁舎	128,920	37,867	166,787	139,997	39,904	179,901	136,013	42,066	178,079
沼南庁舎	29,793	6,400	36,193	30,337	6,505	36,842	30,370	7,654	38,024
田中出張所	15,159	2,382	17,541	16,239	2,544	18,783	14,959	2,856	17,815
増尾出張所	15,747	2,273	18,020	18,245	2,405	20,650	15,507	3,110	18,617
富勢出張所	11,345	1,903	13,248	12,400	1,702	14,102	10,638	2,119	12,757
光ケ丘出張所	25,812	3,442	29,254	27,134	3,692	30,826	24,025	4,739	28,764
豊四季台出張所	19,112	3,704	22,816	19,302	3,708	23,010	18,131	4,932	23,063
南部出張所	16,795	2,622	19,417	17,771	2,750	20,521	16,208	3,539	19,747
西原出張所	13,047	2,137	15,184	13,874	2,336	16,210	12,742	2,707	15,449
松葉出張所	18,287	2,740	21,027	19,128	2,701	21,829	16,955	3,355	20,310
藤心出張所	7,904	1,154	9,058	8,832	1,273	10,105	7,648	1,461	9,109
高柳出張所	14,361	2,413	16,774	15,248	2,586	17,834	14,661	3,382	18,043
柏駅前行政サービスセンター	106,028	13,726	119,754	116,141	14,731	130,872	110,029	18,333	128,362
平均	32,485	6,366	38,852	34,973	6,680	41,653	32,914	7,712	40,626
合計	422,310	82,763	505,073	454,648	86,837	541,485	427,886	100,253	528,139

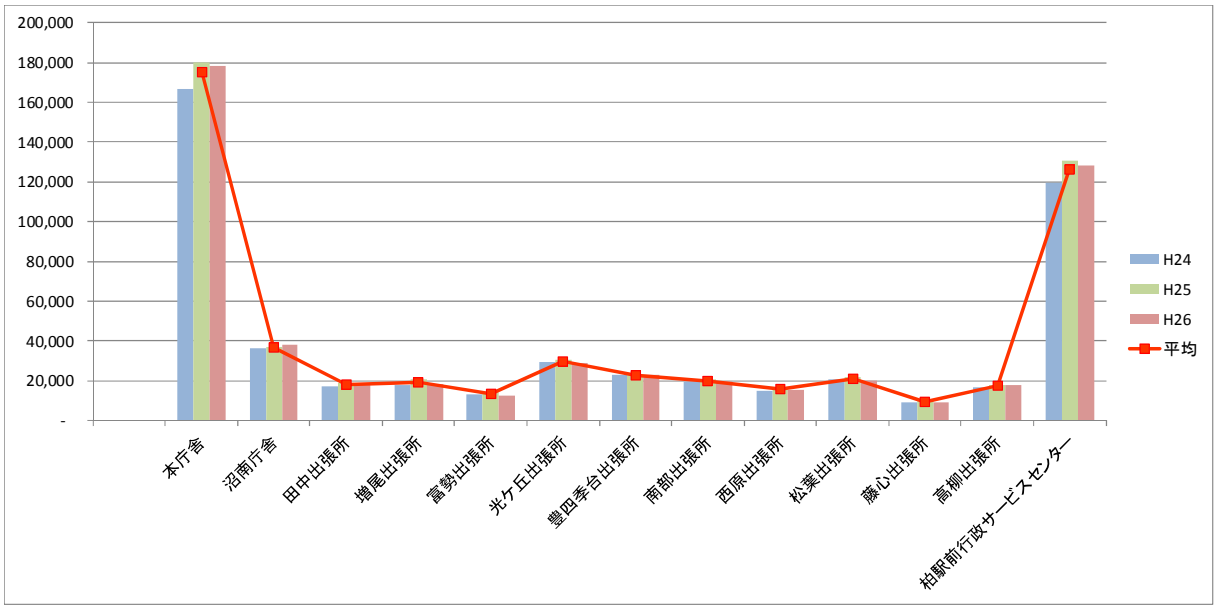


図 3-106　本庁舎および沼南庁舎・出張所別の事務取扱い件数

② その他施設

・かしわインフォメーションセンターの利用者は年間平均約 6.2 万人です。

表 3-153　その他施設の利用状況

No	施設名称	延床面積（㎡）	利用者数（人）				延床面積・開館日あたり平均利用者数（人/日・100㎡）	
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均		
1	本庁舎分室1	494	－	－	－	－	－	
2	本庁舎分室2	72	－	－	－	－	－	
3	分庁舎1	2,189	－	－	－	－	－	
4	分庁舎2	994	－	－	－	－	－	
5	書庫棟	946	－	－	－	－	－	
6	中央体育館管理棟	1,093	－	－	－	－	－	
7	北柏駅北口土地区画整理事務所	197	－	－	－	－	－	
8	道路サービス事務所	1,094	－	－	－	－	－	
9	消費生活センター	172	3,171	3,407	3,381	3,320	7.9	
10	柏市計量検査室	184	－	－	－	－	－	
11	保健所倉庫	202	－	－	－	－	－	
12	かしわインフォメーションセンター	164	63,414	60,310	62,349	62,024	108.3	
13	文化財整理室	2,070	－	－	－	－	－	
14	市史編さん倉庫	120	－	－	－	－	－	
15	県立柏の葉公園柏市倉庫	121	－	－	－	－	－	
16	公園管理室分室	132	－	－	－	－	－	
17	旧南柏駅東口土地区画整理事務所	219	－	－	－	－	－	
	平均	615	33,293	31,859	32,865	32,672		
	合計	10,463	66,585	63,717	65,730	65,344		

(4) コスト状況

① 庁舎・出張所等

・市負担額をみると，本庁舎が最も多く，次いで柏駅前行政サービスセンター，沼南庁舎の順となっています。
・支出について，本庁舎，沼南庁舎を除き，ほぼ人件費で占められています。
・事務取扱い件数 1 件あたりの市負担額をみると，平均 1,326 円／件です。柏駅前行政サービスセンターは，事務取扱い件数が多いことから，事務取扱い件数 1 件あたりの市負担額は最も少なくなっています。一方，事務取扱い件数が少ない藤心出張所では，2 千円以上となっています。

※本庁舎および沼南庁舎は，多くの部署が事務室として利用しているため，庁舎管理に要する経費のみを計上しています。

表 3-154　庁舎・出張所等のコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）								
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤－⑥）	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）⑧	事務取扱い1件あたりの市負担額（円/件）⑨
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）				
1	本庁舎	60,103	74,268	30,667	0	165,037	866	164,171	9,579	939
2	沼南庁舎	39,427	5,733	17,189	0	62,349	903	61,446	10,179	1,660
3	田中出張所	0	0	30,800	0	30,800	5,105	25,695	322,190	1,424
4	増尾出張所	0	0	30,224	0	30,224	5,740	24,484	398,114	1,282
5	富勢出張所	464	0	22,698	0	23,162	3,968	19,194	162,002	1,436
6	光ケ丘出張所	0	0	31,320	0	31,320	8,849	22,471	261,287	759
7	豊四季台出張所	0	0	34,634	0	34,634	6,788	27,846	309,400	1,213
8	南部出張所	0	521	38,438	0	38,959	5,793	33,167	472,460	1,667
9	西原出張所	0	0	28,199	0	28,199	4,678	23,521	326,681	1,506
10	松葉出張所	0	0	34,840	0	34,840	6,279	28,562	371,172	1,357
11	藤心出張所	0	0	21,867	0	21,867	2,819	19,048	294,861	2,021
12	高柳出張所	0	0	28,639	0	28,639	5,202	23,437	278,023	1,335
13	柏駅前行政サービスセンター	12,077	821	107,294	0	120,192	39,094	81,098	1,742,163	642
	平均	8,621	6,257	35,139	0	50,017	7,391	42,626	381,393	1,326
	合計	112,071	81,343	456,809	0	650,223	96,084	554,139	－	－

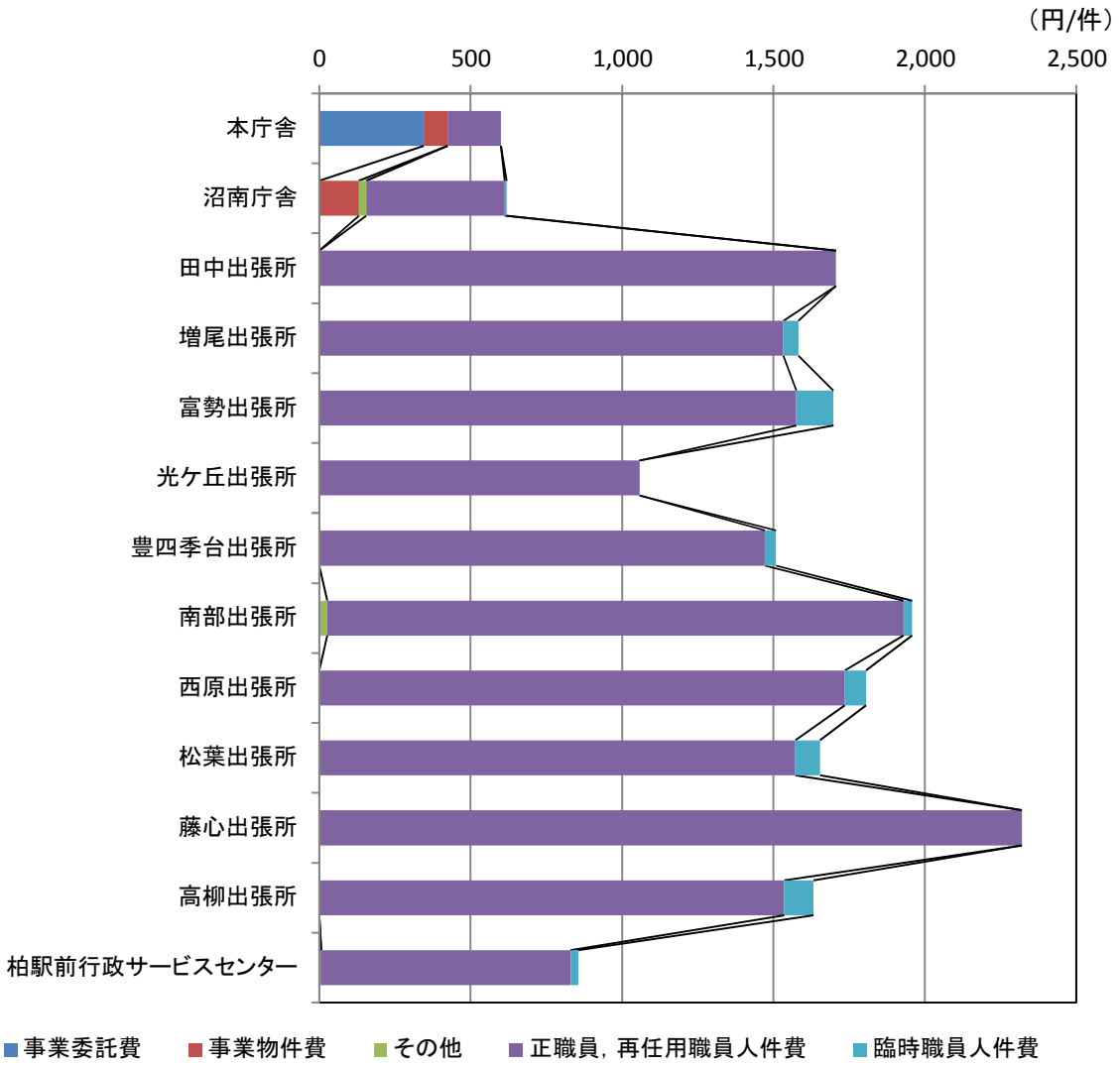


図 3-107　庁舎・出張所等の事務取扱い 1 件あたり事業運営・人に係るコスト

② その他施設

・延床面積あたり市負担額をみると，平均 5.8 万円／㎡ですが，施設によって差があります。

・延床面積あたりの施設に係るコストをみると，かしわインフォメーションセンターの土地・建物以外のリース料が多くなっています。その他，北柏駅北口土地区画整理事務所と分庁舎２の建物の貸借料が多くなっています。

※北柏駅北口土地区画整理事務所の賃貸料支出は，平成 27 年 9 月で終了しました。

表 3-155　その他施設のコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）								
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤－⑥）	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）⑧	利用者1人あたりの市負担額（円/人）⑨
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）				
1	本庁舎分室1	1,310	2,364	0	0	3,674	0	3,674	7,435	－
2	本庁舎分室2	897	1,240	0	0	2,137	335	1,802	25,070	－
3	分庁舎1	20,169	10,052	0	0	30,221	0	30,221	13,806	－
4	分庁舎2	15,153	5,666	0	0	20,819	0	20,819	20,951	－
5	書庫棟	145	4,638	0	0	4,783	0	4,783	5,058	－
6	中央体育館管理棟	6,199	7,323	0	0	13,522	575	12,948	11,845	－
7	北柏駅北口土地区画整理事務所	3,902	137	43,633	0	47,672	0	47,672	242,250	－
8	道路サービス事務所	4,830	0	157,185	0	162,015	0	162,015	148,099	－
9	消費生活センター	1,987	9,169	56,920	0	68,075	0	68,075	396,638	20,507
10	柏市計量検査室	534	0	0	0	534	0	534	2,895	－
11	保健所倉庫	375	0	0	0	375	0	375	1,854	－
12	かしわインフォメーションセンター	4,083	14,000	0	0	18,083	0	18,083	109,992	292
13	文化財整理室	1,623	0	6,823	0	8,445	6	8,439	4,076	－
14	市史編さん倉庫	1	0	0	0	1	0	1	8	－
15	県立柏の葉公園柏市倉庫	18	0	0	0	18	0	18	151	－
16	公園管理室分室	3	0	0	0	3	0	3	23	－
17	旧南柏駅東口土地区画整理事務所	72	0	0	0	72	0	72	329	－
	平均	3,606	3,211	15,562	0	22,379	54	22,326	58,263	10,399
	合計	61,301	54,589	264,561	0	380,450	916	379,535		

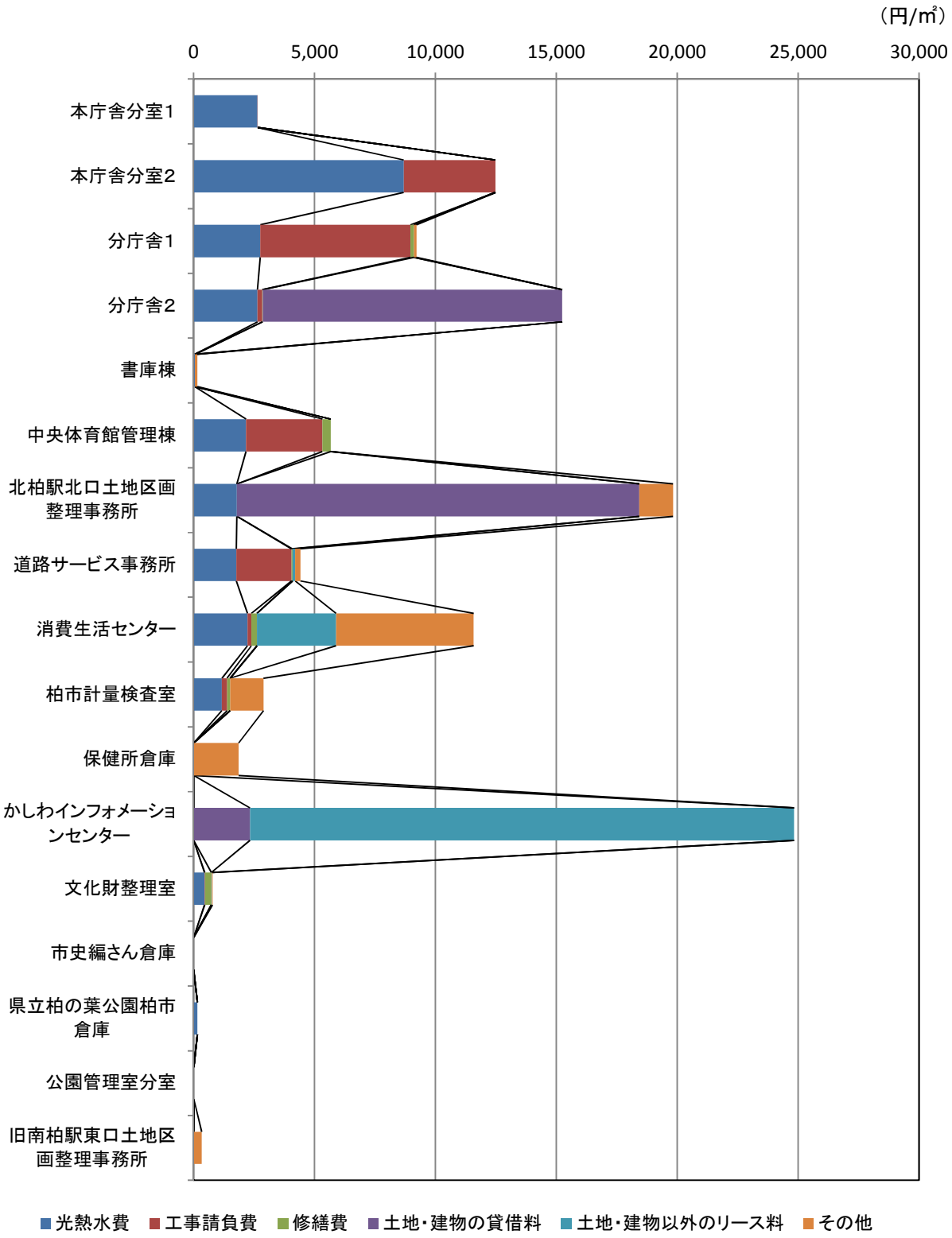


図 3-108　その他施設の延床面積あたり施設に係るコスト

(5) 施設現況のまとめ

① 庁舎・出張所等

・柏駅前行政サービスセンターは事務取扱い件数が多いため，供給面（ソフト）は高いですが，経過年数が古く，品質面（ハード）が低くなっています。
・供給面（ソフト）では，富勢出張所や西原出張所および藤心出張所で利用状況が低くなっています。富勢出張所は品質面（ハード）も低い状況です。
・財務面（ソフト）については，出張所は，事務取扱い件数の少ない藤心出張所や南部出張所で市の費用負担が大きくなっています。

表 3-156　庁舎・出張所等の品質面（ハード）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	品質		品質（ハード）平均偏差値
			経過年数（年）	偏差値	
1	田中出張所	80	36.0	41.0	41.0
2	増尾出張所	62	34.1	42.5	42.5
3	富勢出張所	118	42.4	35.7	35.7
4	光ケ丘出張所	86	33.0	43.4	43.4
5	豊四季台出張所	90	32.8	43.6	43.6
6	南部出張所	70	36.1	40.9	40.9
7	西原出張所	72	36.2	40.8	40.8
8	松葉出張所	77	27.6	47.9	47.9
9	藤心出張所	65	27.6	47.9	47.9
10	高柳出張所	84	20.0	54.2	54.2
11	柏駅前行政サービスセンター	47	41.5	36.4	36.4
	平均	77	33.4	43.1	43.1
	合計	850	－	－	－

表 3-157　庁舎・出張所等の供給面（ソフト）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	供給				供給（ソフト）平均偏差値
			平均事務取扱い件数（件）	偏差値	延床面積・開館日あたり平均事務取扱い件数（件/日・100㎡）	偏差値	
1	田中出張所	80	18,046	46.8	92.6	46.9	46.9
2	増尾出張所	62	19,096	47.2	127.1	48.3	47.7
3	富勢出張所	118	13,369	45.4	46.2	45.1	45.2
4	光ケ丘出張所	86	29,615	50.4	140.9	48.9	49.6
5	豊四季台出張所	90	22,963	48.3	104.4	47.4	47.9
6	南部出張所	70	19,895	47.4	84.5	46.6	47.0
7	西原出張所	72	15,614	46.1	88.8	46.8	46.4
8	松葉出張所	77	21,055	47.8	112.0	47.7	47.7
9	藤心出張所	65	9,424	44.2	59.7	45.6	44.9
10	高柳出張所	84	17,550	46.7	85.2	46.6	46.7
11	柏駅前行政サービスセンター	47	126,329	79.8	917.9	80.0	79.9
	平均	77	28,451	50.0	169.0	50.0	50.0
	合計	850	－	－	－	－	－

表 3-158　庁舎・出張所等の財務面（ソフト）の分析

No	施設名称	財務				財務（ソフト）平均偏差値
		市負担額（千円）	偏差値	事務取扱い1件あたりの市負担額（円/件）	偏差値	
1	田中出張所	25,695	52.4	1,423.8	47.6	50.0
2	増尾出張所	24,484	53.1	1,282.2	51.3	52.2
3	富勢出張所	19,194	56.1	1,435.7	47.3	51.7
4	光ケ丘出張所	22,471	54.2	758.8	65.0	59.6
5	豊四季台出張所	27,846	51.2	1,212.6	53.1	52.1
6	南部出張所	33,167	48.1	1,667.1	41.2	44.7
7	西原出張所	23,521	53.6	1,506.4	45.4	49.5
8	松葉出張所	28,562	50.7	1,356.5	49.3	50.0
9	藤心出張所	19,048	56.2	2,021.2	31.9	44.1
10	高柳出張所	23,437	53.7	1,335.4	49.9	51.8
11	柏駅前行政サービスセンター	81,098	20.7	642.0	68.0	44.4
	平均	29,866	50.0	1,331	50.0	50.0
	合計	328,522	－	－	－	－

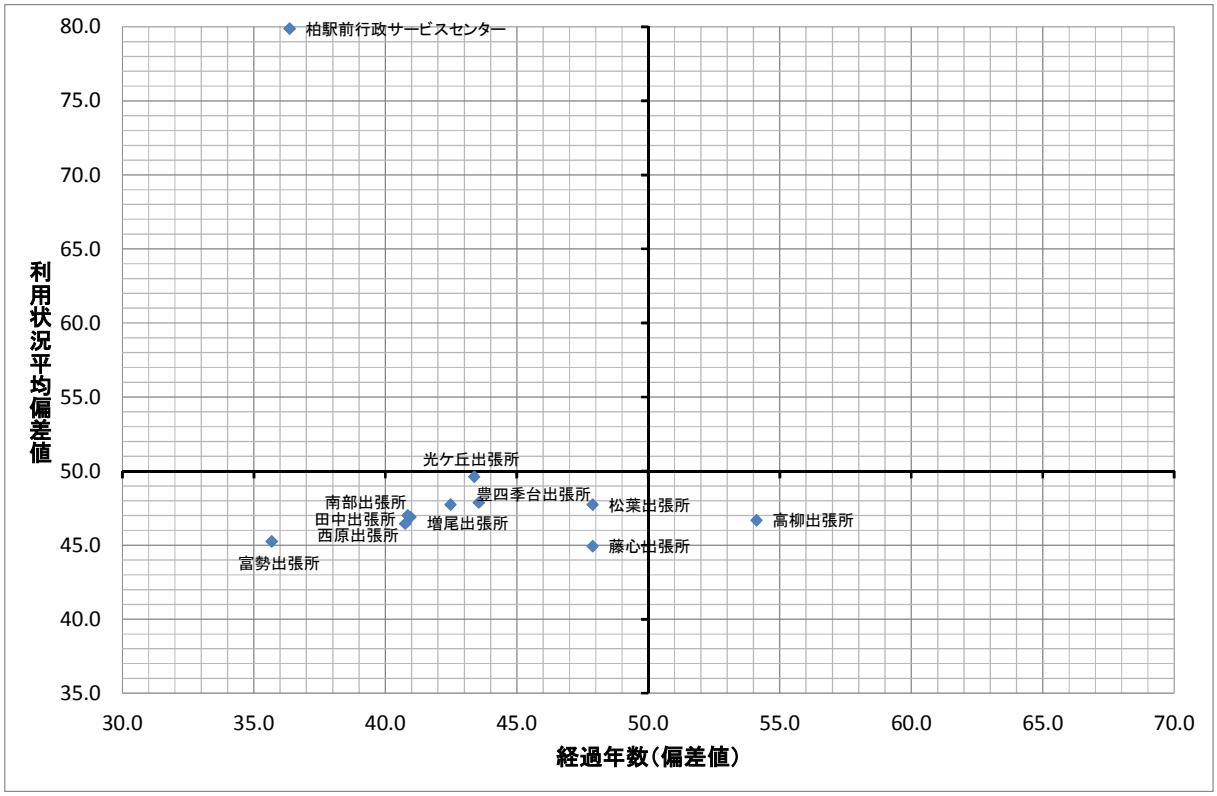


図 3-109　庁舎・出張所等の品質面（ハード）・供給面（ソフト）の分析

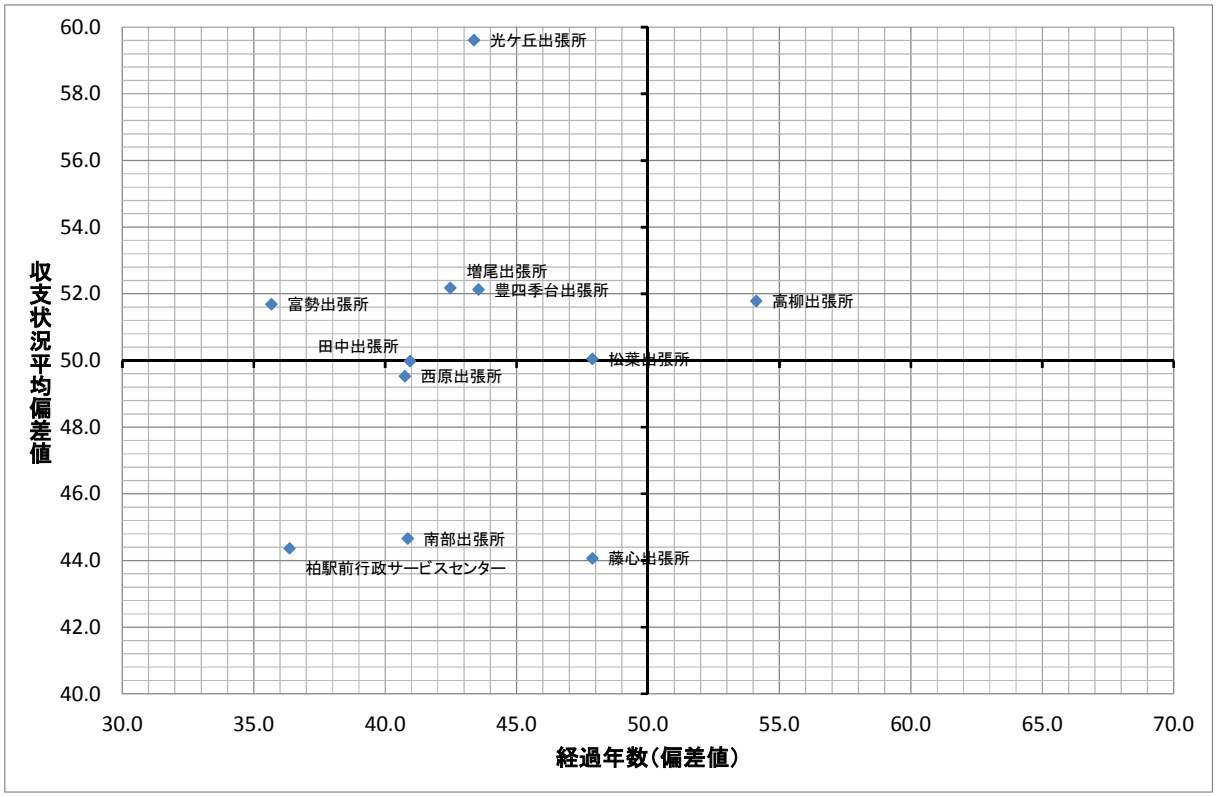


図 3-110　庁舎・出張所等の品質面（ハード）・財務面（ソフト）の分析

3-9 02 消防施設・01 消防庁舎

(1) 配置状況

・消防施設は，市内に 54 施設あり，消防庁舎と消防団器具置場に分類されます。
・消防庁舎は，保有する施設と人員を活用して，市民の生命や身体および財産を火災から保護するとともに，水火災や地震等の災害を防除し，これらの災害による被害を軽減するほか，災害等による傷病者の搬送を適切に行うために設置されました。

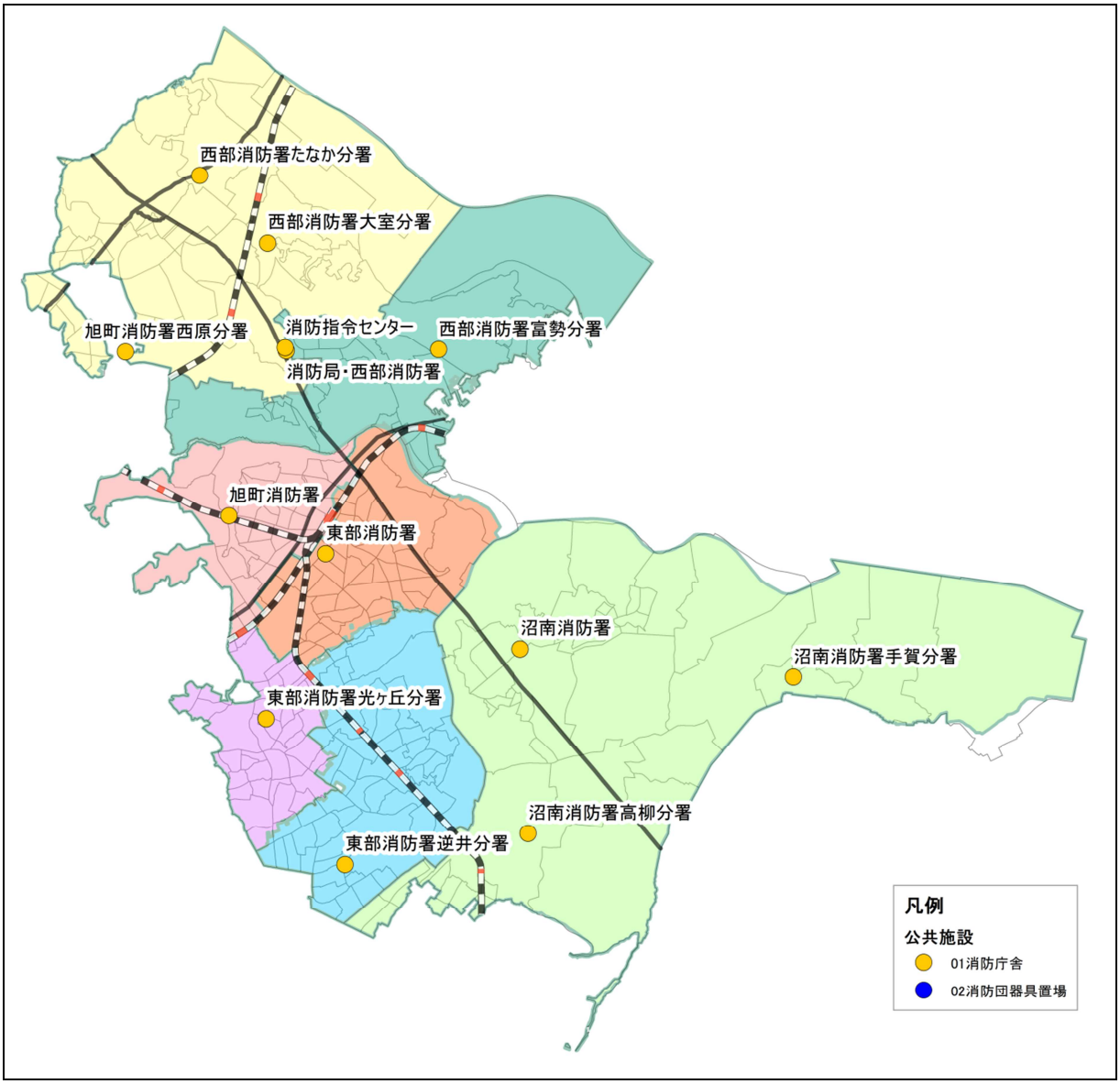


図 3-111　消防施設（消防庁舎）の配置状況

写真 3－24 各施設の写真（消防庁舎）

消防局・西部消防署

消防指令センター

西部消防署富勢分署

西部消防署大室分署（現在解体済）

西部消防署たなか分署

東部消防署

東部消防署逆井分署

東部消防署光ヶ丘分署

旭町消防署

旭町消防署西原分署

沼南消防署

沼南消防署高柳分署

沼南消防署手賀分署

① 管轄人口と面積の状況

・平成 26 年度の状況を見ると，旭町消防署が最も管轄人口が多く，西部消防署たなか分署が最も管轄面積が広くなっています。

表 3-159　消防署・分署別の管轄人口および面積等

施設名称	H24			H25			H26		
	管轄人口（人）	世帯数（世帯）	面積（k㎡）	管轄人口（人）	世帯数（世帯）	面積（k㎡）	管轄人口（人）	世帯数（世帯）	面積（k㎡）
西部消防署	47,977	19,423	7.83	48,893	19,423	7.83	50,035	20,770	7.82
富勢分署	25,400	11,126	10.66	25,261	11,126	10.66	25,035	11,355	10.64
大室分署	19,266	7,525	16.95	19,605	7,525	16.95	–	–	–
たなか分署	–	–	–	–	–	–	20,237	8,221	16.93
東部消防署	59,847	26,707	9.40	60,231	26,707	9.40	63,864	29,260	9.39
逆井分署	50,844	20,493	8.29	50,528	20,493	8.29	50,378	20,769	8.28
光ケ丘分署	65,582	27,610	6.51	65,941	27,610	6.51	55,215	23,771	6.50
旭町消防署	59,412	28,157	7.31	59,926	28,157	7.31	67,696	31,673	7.30
西原分署	21,872	9,127	5.96	21,911	9,127	5.96	22,051	9,406	5.95
沼南消防署	26,674	10,703	14.63	26,500	10,703	14.63	26,545	10,950	14.61
高柳分署	22,215	8,727	11.41	22,341	8,727	11.41	22,631	9,131	11.39
手賀分署	3,248	1,201	15.95	3,224	1,201	15.95	3,148	1,227	15.93
平均	36,576	15,527	10.45	36,760	15,527	10.45	36,985	16,048	10.43
合計	402,337	170,799	114.90	404,361	170,799	114.90	406,835	176,533	114.74

※人口および世帯数については，各年度末（3 月 31 日現在）の住民基本台帳人口を基に管轄面積で按分しているため，実際の数値とは異なります。
※柏市の面積は，国土地理院が平成 26 年度から面積の計測方法を変更したことにより，114.90ｋ㎡から 114.74ｋ㎡に変更されました。

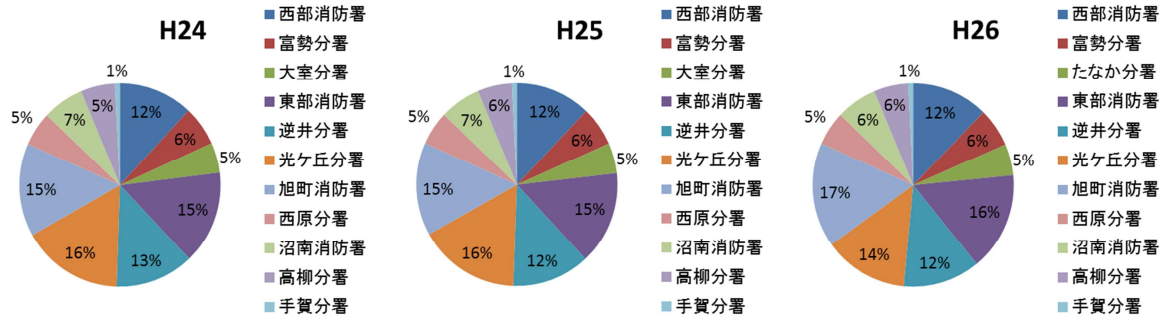


図 3-112　消防署・分署別の管轄人口の割合

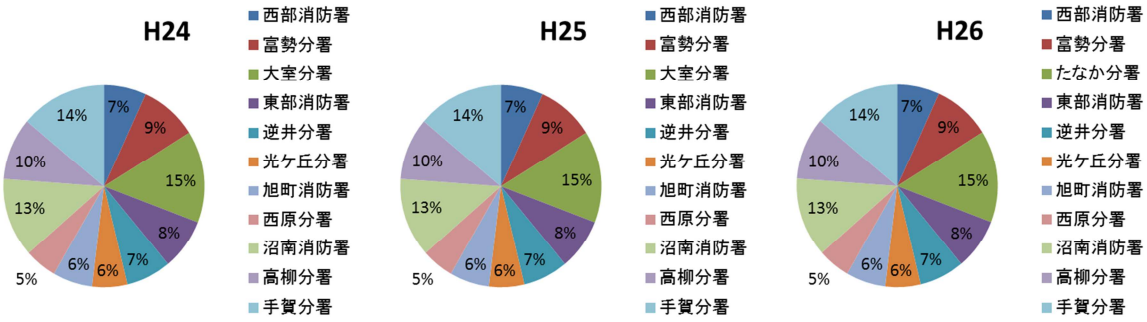


図 3-113　消防署・分署別の管轄面積の割合

② 出動状況

・消防署・分署全体の平均出動件数は，2,106 件です。消防署・分署別に見ると，消防隊，救急隊ともに東部消防署が最も出動件数が多くなっています。

表 3-160　消防署・分署・隊別の出動件数

施設名称	出動件数(件)								
	H24			H25			H26		
	消防隊	救急隊	合計	消防隊	救急隊	合計	消防隊	救急隊	合計
西部消防署	994	1,690	2,684	876	1,715	2,591	933	1,876	2,809
富勢分署	414	1,421	1,835	431	1,377	1,808	399	1,409	1,808
大室分署	436	913	1,349	497	951	1,448	－	－	－
たなか分署	－	－	－	－	－	－	460	919	1,379
東部消防署	1,272	3,211	4,483	1,184	3,136	4,320	1,327	2,998	4,325
逆井分署	621	1,481	2,102	595	1,521	2,116	634	1,581	2,215
光ケ丘分署	619	2,150	2,769	721	2,175	2,896	701	2,288	2,989
旭町消防署	727	2,334	3,061	813	2,235	3,048	659	2,399	3,058
西原分署	422	975	1,397	412	993	1,405	398	1,057	1,455
沼南消防署	799	1,389	2,188	847	1,440	2,287	918	1,475	2,393
高柳分署	373	961	1,334	381	1,014	1,395	548	1,025	1,573
手賀分署	109	189	298	179	237	416	168	251	419
平均	617	1,519	2,136	631	1,527	2,157	650	1,571	2,220
合計	6,786	16,714	23,500	6,936	16,794	23,730	7,145	17,278	24,423

表 3-161　消防署・分署別の出動件数

施設名称	出動件数(件)			
	H24	H25	H26	平均値
西部消防署	2,684	2,591	2,809	2,695
西部消防署富勢分署	1,835	1,808	1,808	1,817
西部消防署大室分署	1,349	1,448	－	1,399
西部消防署たなか分署	－	－	1,379	1,379
東部消防署	4,483	4,320	4,325	4,376
東部消防署逆井分署	2,102	2,116	2,215	2,144
東部消防署光ケ丘分署	2,769	2,896	2,989	2,885
旭町消防署	3,061	3,048	3,058	3,056
旭町消防署西原分署	1,397	1,405	1,455	1,419
沼南消防署	2,188	2,287	2,393	2,289
沼南消防署高柳分署	1,334	1,395	1,573	1,434
沼南消防署手賀分署	298	416	419	378
平均	2,136	2,157	2,220	2,106

※平均値については，西部消防署大室分署は 2 か年度平均値にて，西部消防署たなか分署は単年度値にて算出しています。

③ 通報等受信状況

・119 番等の通報については，消防指令センターにて受信しています。
・3 か年度平均受信件数については，24,943 件になります。

表 3-162　119 番等受信件数

施設名称	受信件数(件)															平均
	H24					H25					H26					
	火災	救助	救急	その他	合計	火災	救助	救急	その他	合計	火災	救助	救急	その他	合計	
消防指令センター	126	136	16,392	7,534	24,188	145	120	16,449	8,666	25,380	106	111	16,973	8,071	25,261	24,943

(2) 経過年数

・消防庁舎の平均経過年数は，22.1 年です。経過年数 30 年以上の建物が全体の 41%を占めています。
・その中でも，消防局・西部消防署，沼南消防署が古く，35 年以上が経過しています。

表 3-163　消防庁舎の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	消防局･西部消防署	3,575	35.7	
2	消防指令センター	526	18.1	
3	西部消防署富勢分署	1,206	5.8	訓練センター含む
4	西部消防署大室分署	625	34.3	現在解体済
5	西部消防署たなか分署	885	0.4	
6	東部消防署	1,717	24.5	
7	東部消防署逆井分署	1,172	20.0	
8	東部消防署光ヶ丘分署	674	30.6	
9	旭町消防署	859	26.1	自転車置場含む
10	旭町消防署西原分署	800	24.3	
11	沼南消防署	989	35.1	
12	沼南消防署高柳分署	598	29.0	
13	沼南消防署手賀分署	840	3.1	
	平均	1,113	22.1	
	合計	14,465	－	

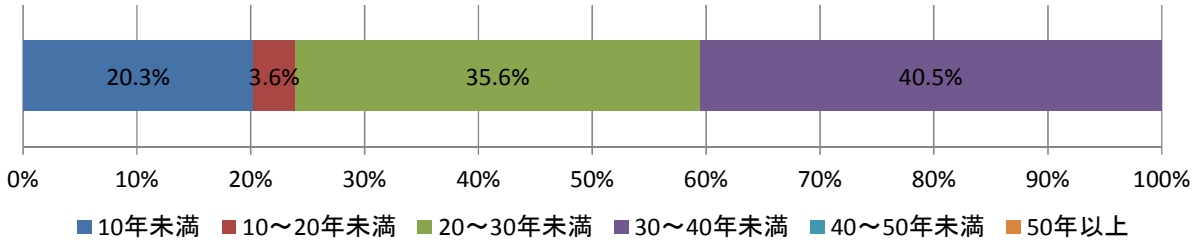


図 3-114　消防庁舎の経過年数別延床面積構成比

(3) コスト状況

・延床面積あたり市負担額を見ると平均 25 万円／㎡ですが，旭町消防署や沼南消防署が高くなっています。
・延床面積あたりの施設に係るコストをみると，消防指令センターの光熱水費や工事請負費が多くなっています。その他，東部消防署逆井分署の工事請負費が多くなっています。

表 3-164　消防庁舎のコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）							
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤－⑥）	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）⑧
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）			
1	消防局・西部消防署	22,860	0	931,108	0	953,968	1,213	952,755	266,524
2	消防指令センター	11,334	0	136,133	0	147,467	394	147,073	279,606
3	西部消防署富勢分署	6,512	0	192,500	0	199,012	733	198,279	164,479
4	西部消防署大室分署	2,461	0	0	0	2,461	0	2,461	3,935
5	西部消防署たなか分署	5,675	0	192,500	0	198,175	402	197,773	223,482
6	東部消防署	8,152	0	503,833	0	511,985	873	511,112	297,596
7	東部消防署逆井分署	16,108	0	192,500	0	208,608	394	208,214	177,713
8	東部消防署光ヶ丘分署	6,766	0	192,500	0	199,266	479	198,787	294,888
9	旭町消防署	7,919	0	349,833	0	357,753	339	357,414	416,173
10	旭町消防署西原分署	6,034	0	192,500	0	198,534	339	198,195	247,771
11	沼南消防署	6,137	0	363,233	0	369,371	819	368,552	372,828
12	沼南消防署高柳分署	4,423	0	192,500	0	196,923	479	196,443	328,610
13	沼南消防署手賀分署	2,726	0	146,300	0	149,026	479	148,546	176,746
	平均	8,239	0	275,803	0	284,042	534	283,508	250,027
	合計	107,107	0	3,585,441	0	3,692,548	6,944	3,685,604	－

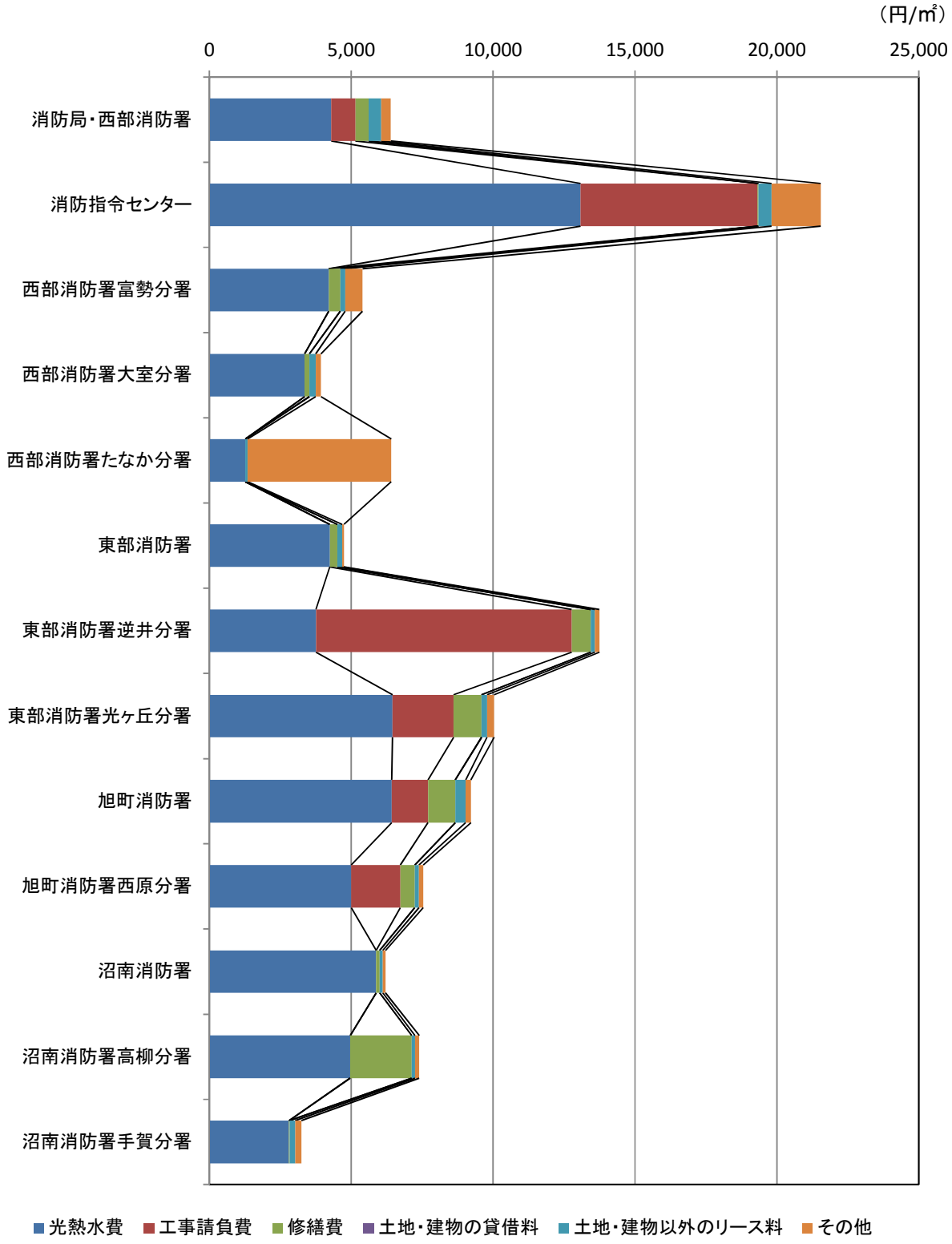


図 3-115　消防庁舎の延床面積あたり施設に係るコスト

(4) 施設現況のまとめ

・財務面（ソフト）からみると，市負担額および延床面積あたりの市負担額が大きい消防局・西部消防署や旭町消防署，沼南消防署で，市の費用負担が大きくなっています。消防局・西部消防署と沼南消防署は，経過年数も古いため，品質面（ハード）も低くなります。

表 3-165　消防庁舎の品質面（ハード）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	品質		品質（ハード）平均偏差値
			経過年数（年）	偏差値	
1	消防局･西部消防署	3,575	35.7	41.2	41.2
2	消防指令センター	526	18.1	55.7	55.7
3	西部消防署富勢分署	1,206	5.8	65.9	65.9
4	西部消防署大室分署	625	34.3	42.3	42.3
5	西部消防署たなか分署	885	0.4	70.3	70.3
6	東部消防署	1,717	24.5	50.5	50.5
7	東部消防署逆井分署	1,172	20.0	54.1	54.1
8	東部消防署光ヶ丘分署	674	30.6	45.4	45.4
9	旭町消防署	859	26.1	49.1	49.1
10	旭町消防署西原分署	800	24.3	50.6	50.6
11	沼南消防署	989	35.1	41.7	41.7
12	沼南消防署高柳分署	598	29.0	46.7	46.7
13	沼南消防署手賀分署	840	3.1	68.1	68.1
	平均	1,113	22.1	52.4	52.4
	合計	14,465.3	－	－	－

表 3-166　消防庁舎の財務面（ソフト）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	財務				財務（ソフト）平均偏差値
			市負担額（千円）	偏差値	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）	偏差値	
1	消防局･西部消防署	3,575	952,755	21.7	266,524.3	48.4	35.1
2	消防指令センター	526	147,073	55.8	279,606.5	47.2	51.5
3	西部消防署富勢分署	1,206	198,279	53.6	164,478.6	58.1	55.9
4	西部消防署大室分署	625	2,461	61.9	3,935.0	73.3	67.6
5	西部消防署たなか分署	885	197,773	53.6	223,482.4	52.5	53.1
6	東部消防署	1,717	511,112	40.4	297,595.9	45.5	42.9
7	東部消防署逆井分署	1,172	208,214	53.2	177,713.4	56.9	55.0
8	東部消防署光ヶ丘分署	674	198,787	53.6	294,888.1	45.7	49.7
9	旭町消防署	859	357,414	46.9	416,173.2	34.2	40.6
10	旭町消防署西原分署	800	198,195	53.6	247,771.2	50.2	51.9
11	沼南消防署	989	368,552	46.4	372,828.3	38.4	42.4
12	沼南消防署高柳分署	598	196,443	53.7	328,610.5	42.5	48.1
13	沼南消防署手賀分署	840	148,546	55.7	176,746.2	56.9	56.3
	平均	1,113	283,508.0	50.0	250,027.2	50.0	50.0
	合計	14,465	－	－	－	－	－

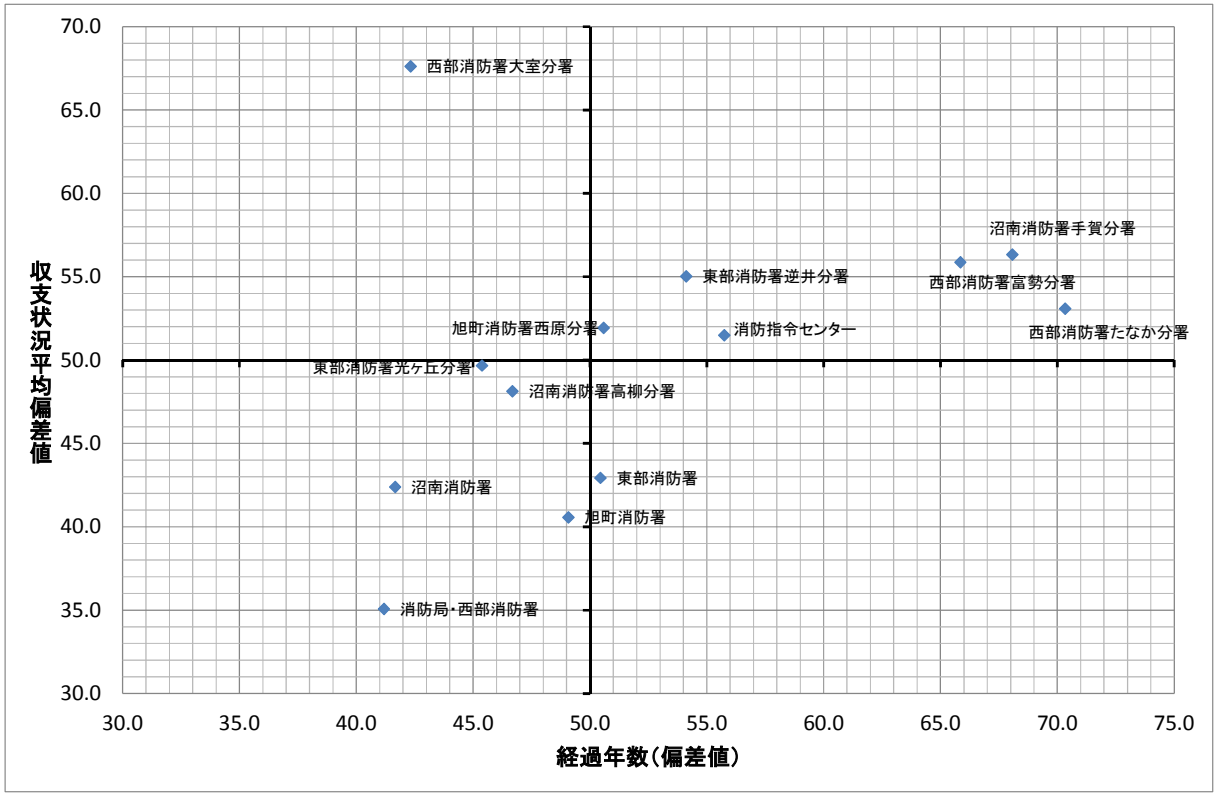


図 3-116　消防庁舎の品質面（ハード）・財務面（ソフト）の分析

3-9 02 消防施設・02 消防団器具置場

(1) 配置状況

・消防団器具置場は，柏市消防力の合理的な運営を図るため，各地域の消防団拠点施設として整備されており，消防活動に必要な機械器具等が格納されています。

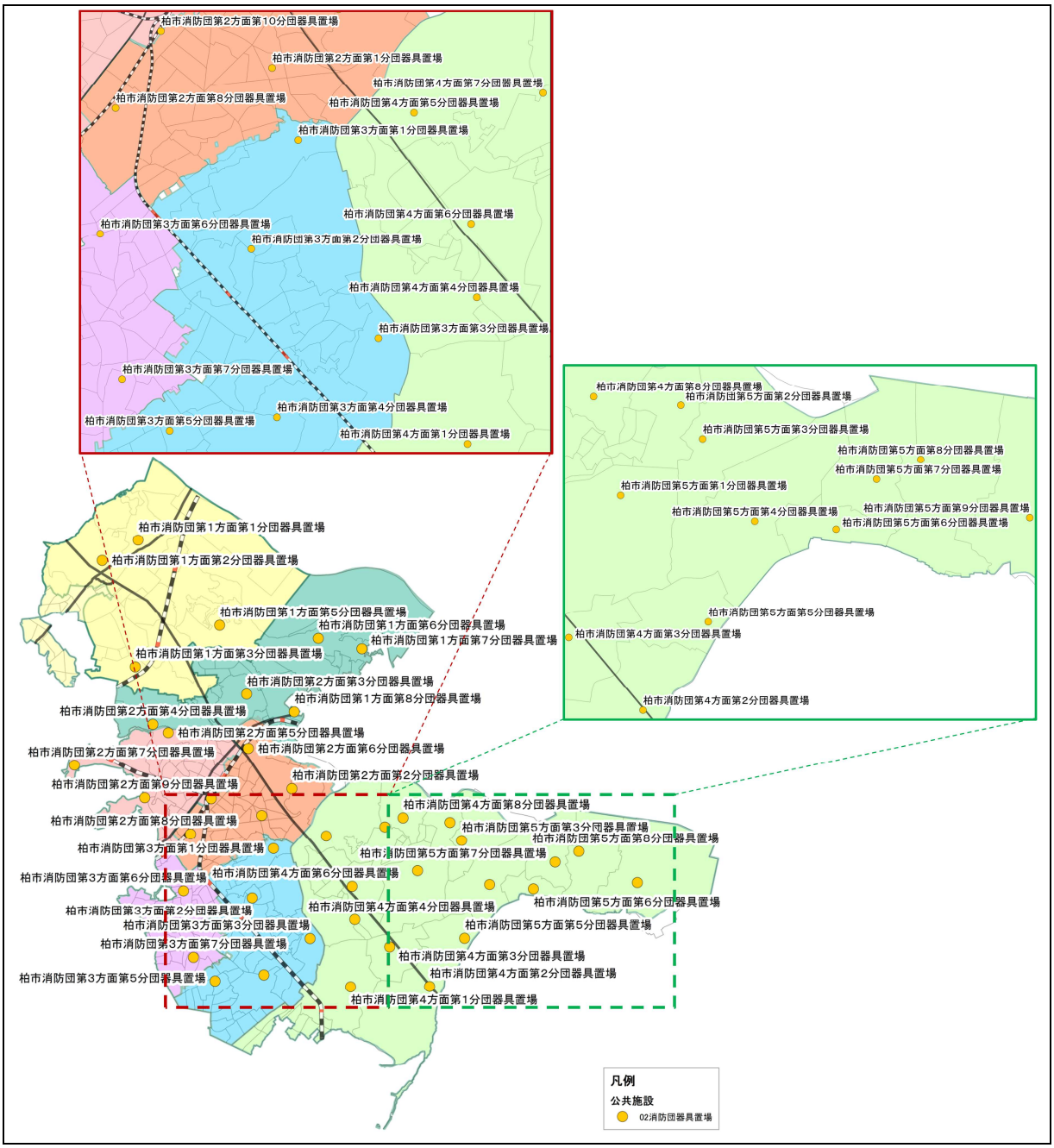


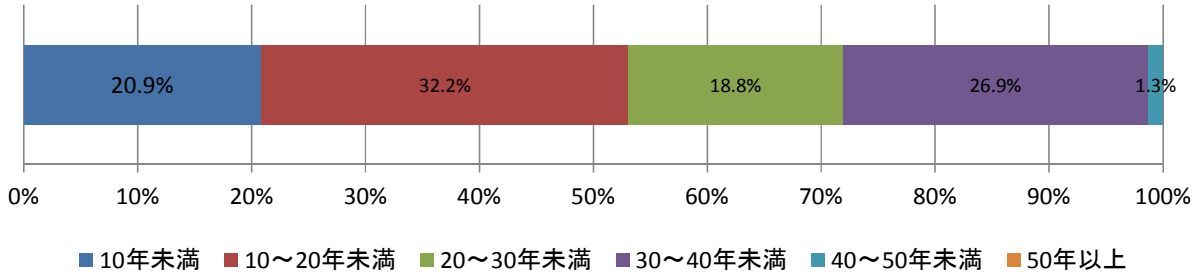
図 3-117　消防施設（消防団器具置場）の配置状況

(2) 経過年数

・消防団器具置場の平均経過年数は，23.4 年です。約 27%が，経過年数 30～40 年で占められています。
・柏市消防団第２方面第３分団器具置場，柏市消防団第２方面第８分団器具置場，柏市消防団第２方面第１０分団器具置場が特に古く，35 年以上が経過しています。

表 3-167　消防団器具置場の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	柏市消防団第1方面第1分団器具置場	96	9.1	
2	柏市消防団第1方面第2分団器具置場	111	4.4	
3	柏市消防団第1方面第3分団器具置場	58	24.3	
4	柏市消防団第1方面第5分団器具置場	105	7.1	
5	柏市消防団第1方面第6分団器具置場	47	27.9	
6	柏市消防団第1方面第7分団器具置場	58	26.0	
7	柏市消防団第1方面第8分団器具置場	41	32.0	
8	柏市消防団第2方面第1分団器具置場	111	4.1	
9	柏市消防団第2方面第2分団器具置場	41	34.0	
10	柏市消防団第2方面第3分団器具置場	40	38.1	
11	柏市消防団第2方面第4分団器具置場	119	18.3	
12	柏市消防団第2方面第5分団器具置場	120	13.3	
13	柏市消防団第2方面第6分団器具置場	122	15.2	
14	柏市消防団第2方面第7分団器具置場	58	24.0	
15	柏市消防団第2方面第8分団器具置場	39	40.6	
16	柏市消防団第2方面第9分団器具置場	58	25.1	
17	柏市消防団第2方面第10分団器具置場	74	37.2	
18	柏市消防団第3方面第1分団器具置場	111	11.1	
19	柏市消防団第3方面第2分団器具置場	120	16.3	
20	柏市消防団第3方面第3分団器具置場	111	5.2	
21	柏市消防団第3方面第4分団器具置場	119	18.0	
22	柏市消防団第3方面第5分団器具置場	111	11.1	
23	柏市消防団第3方面第6分団器具置場	106	19.1	
24	柏市消防団第3方面第7分団器具置場	62	23.1	
25	柏市消防団第4方面第1分団器具置場	73	32.0	
26	柏市消防団第4方面第2分団器具置場	80	33.3	
27	柏市消防団第4方面第3分団器具置場	45	33.4	
28	柏市消防団第4方面第4分団器具置場	93	28.4	
29	柏市消防団第4方面第5分団器具置場	111	2.0	
30	柏市消防団第4方面第6分団器具置場	45	30.3	
31	柏市消防団第4方面第7分団器具置場	45	30.3	
32	柏市消防団第4方面第8分団器具置場	45	32.2	
33	柏市消防団第5方面第1分団器具置場	45	31.4	
34	柏市消防団第5方面第2分団器具置場	45	32.3	
35	柏市消防団第5方面第3分団器具置場	76	26.2	
36	柏市消防団第5方面第4分団器具置場	70	24.0	
37	柏市消防団第5方面第5分団器具置場	45	33.4	
38	柏市消防団第5方面第6分団器具置場	45	31.5	
39	柏市消防団第5方面第7分団器具置場	70	11.3	
40	柏市消防団第5方面第8分団器具置場	60	30.3	
41	柏市消防団第5方面第9分団器具置場	60	31.4	
	平均	75	23.4	
	合計	3,088	－	



※柏市消防団第１方面第４分団器具置場を除く 41 施設を対象。

図 3-118　消防団器具置場の経過年数別延床面積構成比

① 消防団器具置場一覧

表 3-168　消防団器具置場一覧

分団名	建築年月	建物構造	土地面積（㎡）	建物面積（㎡）	土地状況	分団名	建築年月	建物構造	土地面積（㎡）	建物面積（㎡）	土地状況
1－1	H18.03	鉄骨造2階建	205.76	96.39	市有地	3－4	H09.03	鉄骨造2階建	175.96	119	市有地
1－2	H23.12	鉄骨造2階建	305.18	110.50	市有地	3－5	H16.03	鉄骨造2階建	220.53	110.50	市有地
1－3	H02.12	木造2階建	116.95	57.96	市有地	3－6	H08.02	鉄筋コンクリート一部木造2階建	197.92	105.75	市有地
1－4	平成27年度建築予定　＊1					3－7	H04.02	木造2階建	185.54	62.10	市有地
1－5	H20.02	鉄骨造2階建	248.84	105.40	市有地	4－1	S58.03	鉄骨造2階建	446.73	72.80	市有地
1－6	H27.03	鉄骨造2階建	470.63	110.50	市有地	4－2	S56.12	鉄骨造2階建	295.85	80.31	借地
1－7	H01.04	木造2階建	76.18	57.96	借地	4－3	S56.12	鉄骨造2階建	185.32	44.87	借地
1－8	S58.03	木造2階建	67.93	41.31	借地	4－4	S61.12	鉄骨造2階建	198.60	92.78	借地
2－1	H23.02	鉄骨造2階建	300.99	110.50	市有地	4－5	H25.03	鉄骨造2階建	300.00	110.50	市有地
2－2	S56.03	木造2階建	125.49	40.99	借地	4－6	S59.12	鉄骨造2階建	99.59	45.37	借地
2－3	S52.03	木造2階建	82.84	39.74	借地	4－7	S59.12	鉄骨造2階建	101.68	45.37	借地
2－4	H08.12	鉄骨造2階建	199.49	119.00	市有地	4－8	S58.02	鉄骨造2階建	143.10	44.87	借地
2－5	H13.11	鉄骨造2階建	183.47	119.60	市有地	5－1	S58.12	鉄骨造2階建	247.00	44.88	借地
2－6	H12.01	鉄骨造2階建	219.67	121.62	市有地	5－2	S57.12	鉄骨造2階建	204.00	44.87	借地
2－7	H03.03	木造2階建	131.58	57.96	借地	5－3	H01.02	鉄骨造2階建	127.45	75.61	借地
2－8	S49.08	木造2階建	188.80	38.88	市有地	5－4	H03.03	鉄骨造2階建	99.17	70.48	市有地
2－9	H02.03	木造2階建	104.54	57.96	借地	5－5	S56.12	鉄骨造2階建	214.56	44.87	借地
2－10	S53.01	鉄骨造2階建	96.60	74.07	市有地	5－6	S58.12	鉄骨造2階建	140.43	44.88	借地
3－1	H16.03	鉄骨造2階建	210.64	110.50	市有地	5－7	H15.12	鉄骨造2階建	300.53	70.00	借地
3－2	H10.12	鉄骨造2階建	170.00	119.68	市有地	5－8	S59.12	鉄骨造2階建	104.00	60.28	借地
3－3	H22.01	鉄骨造2階建	304.80	110.50	市有地	5－9	S58.12	鉄骨造2階建	103.07	59.78	借地

※分団名については，次のとおり読み替えてください。（1－1⇒柏市消防団第1方面第1分団器具置場）

※建築年月および建物面積については，平成 27 年 4 月 1 日現在を基準としているため，白書の内容とは一部異なります。

（例：柏市消防団第 1 方面第 6 分団器具置場）

＊1：柏市消防団第 1 方面第 4 分団の消防器具については，現在西部消防署たなか分署内に仮置きしています。

3-9 03 環境施設

(1) 配置状況

・環境施設は，市内に 4 施設あり，清掃収集事務所と最終処分場に分類されます。
・清掃収集事務所は，柏南部地域のごみの収集，ごみ出し指導をする作業員の拠点として設置されました。
・最終処分場は，柏市最終処分場，布施最終処分場，柏市第二最終処分場の 3 施設があり，柏市最終処分場は，平成 4 年に一般廃棄物最終処分場として埋立が開始され，平成 23 年度に埋立を終了し，水処理と場内管理業務を行っています。布施最終処分場は，昭和 53 年に一般廃棄物最終処分場として埋立が開始され，平成 4 年度に埋立を終了し，水処理と場内管理業務を行っています。なお，平成 18 年に跡地整備として一部を公園化し，一般開放しています。また，柏市第二最終処分場は，平成 16 年にクリーンセンターしらさぎから排出される不燃残渣処理のため埋立が開始されましたが，平成 22 年に埋立搬入を中止し，現在は浸出水処理および柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合の分別ごみの計量を行っています。

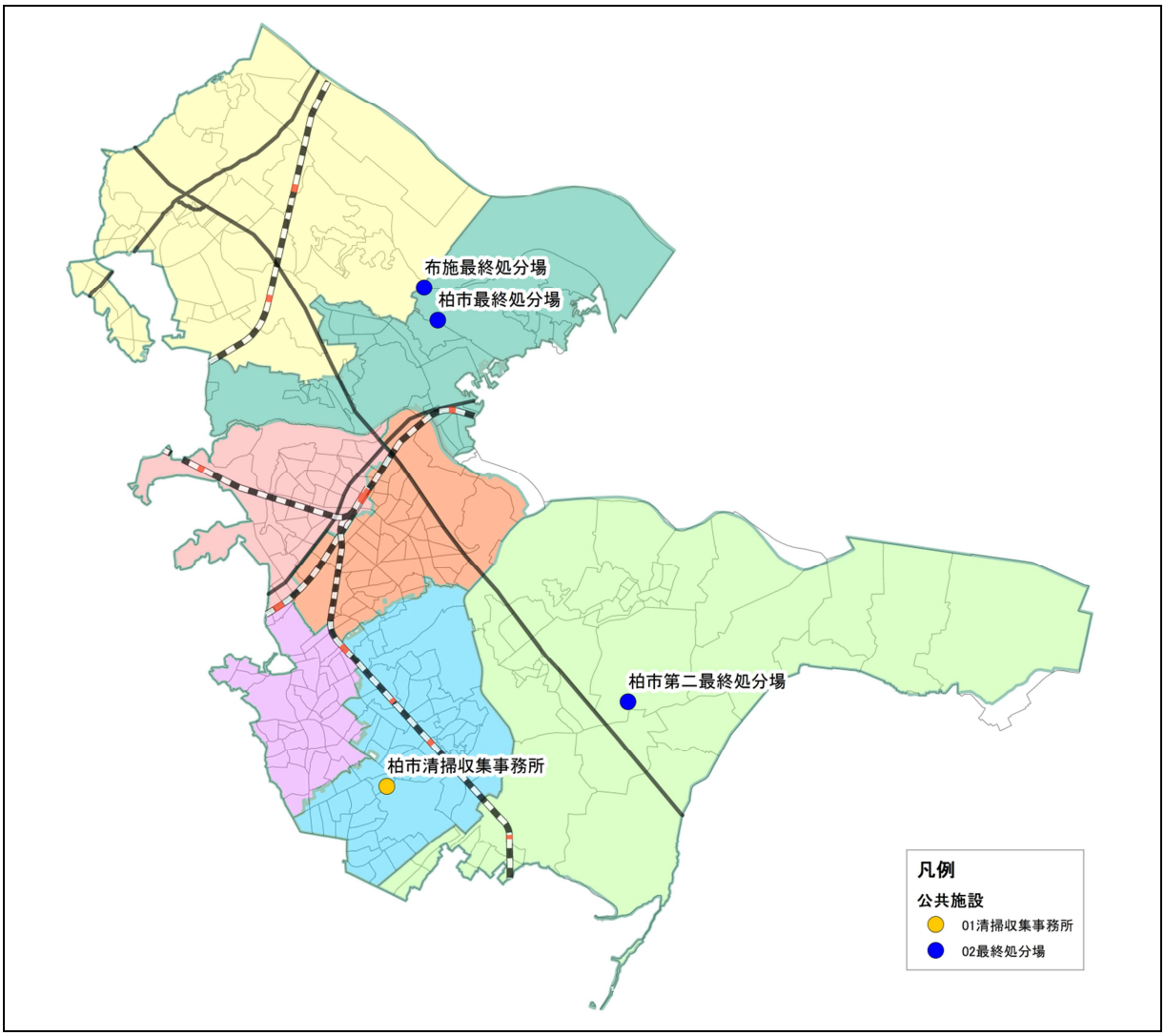


図 3-119　環境施設の配置状況

写真 3－25 各施設の写真（環境施設）

柏市清掃収集事務所

柏市最終処分場

布施最終処分場

柏市第二最終処分場

(2) 経過年数

・環境施設の平均経過年数は，23.6 年です。経過年数 20 年以上の建物が全体の約 9 割を占めています。
・布施最終処分場が最も古く，約 35 年が経過しています。

表 3-169　環境施設の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	柏市清掃収集事務所	2,397	2,397	24.0	
2	柏市最終処分場	415	31,384	23.0	
3	布施最終処分場	382	76,495	34.7	
4	柏市第二最終処分場	482	35,627	12.7	
	平均	919	36,476	23.6	
	合計	3,676	145,904	－	

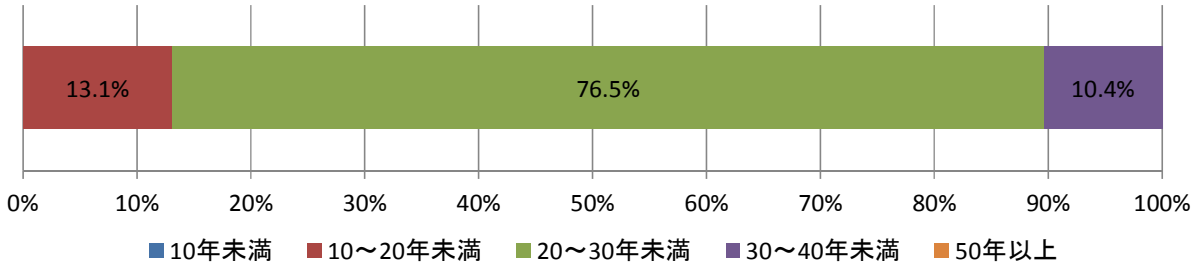


図 3-120　環境施設の経過年数別延床面積構成比

(3) コスト状況

・布施最終処分場の市負担額が最も多く，敷地面積 1 ㎡あたりの市負担額も多くなっています。
・施設に係るコストをみると，布施最終処分場は工事請負費が多くなっています。
※柏市清掃収集事務所に係るコスト状況および施設現況のまとめは，供給処理施設の中で柏市第二清掃工場と合わせて示しています。

表 3-170　環境施設のコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）							
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤－⑥）	敷地面積1㎡あたりの市負担額（円/㎡）⑧
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）			
1	柏市最終処分場	1,064	13,236	0	0	14,300	0	14,300	456
2	布施最終処分場	3,744	13,938	25,694	0	43,376	0	43,376	567
3	柏市第二最終処分場	6,814	83	0	0	6,897	3,624	3,273	92
	平均	3,874	9,086	8,565	0	21,524	1,208	20,316	372
	合計	11,622	27,257	25,694	0	64,573	3,624	60,949	－

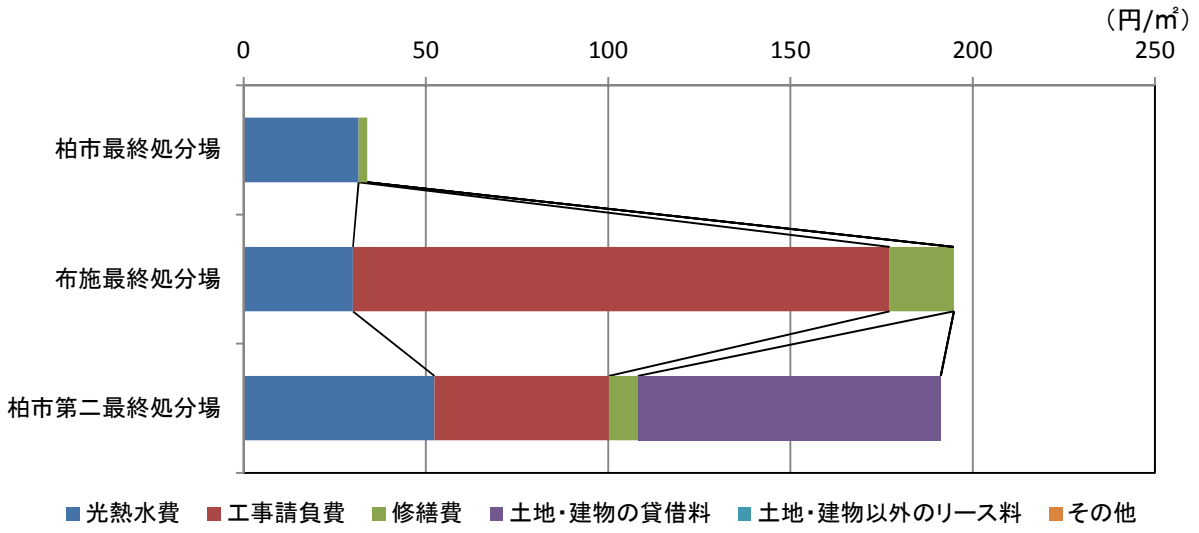


図 3-121　環境施設の敷地面積あたり施設に係るコスト

(4) 施設現況のまとめ

・布施最終処分場は経過年数が長く，工事請負費が発生していることや公園管理業務も行なっていることから，品質面（ハード）および財務面（ソフト）が低くなっています。

表 3-171　環境施設の品質面（ハード）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	品質		品質（ハード）平均偏差値
			経過年数（年）	偏差値	
1	柏市最終処分場	415	23.0	51.6	51.6
2	布施最終処分場	382	34.7	42.0	42.0
3	柏市第二最終処分場	482	12.7	60.2	60.2
	平均	426	23.5	51.3	51.3
	合計	1,279	－	－	－

表 3-172　環境施設の財務面（ソフト）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	財務				供給（ソフト）平均偏差値
			市負担額（千円）	偏差値	敷地面積1㎡あたり市負担額（円/㎡）	偏差値	
1	柏市最終処分場	415	14,300	52.9	456	46.6	49.8
2	布施最終処分場	382	43,376	38.9	567	42.1	40.5
3	柏市第二最終処分場	482	3,273	58.2	92	61.3	59.7
	平均	426	20,316	50.0	372	50.0	50.0
	合計	1,279	－	－	－	－	－

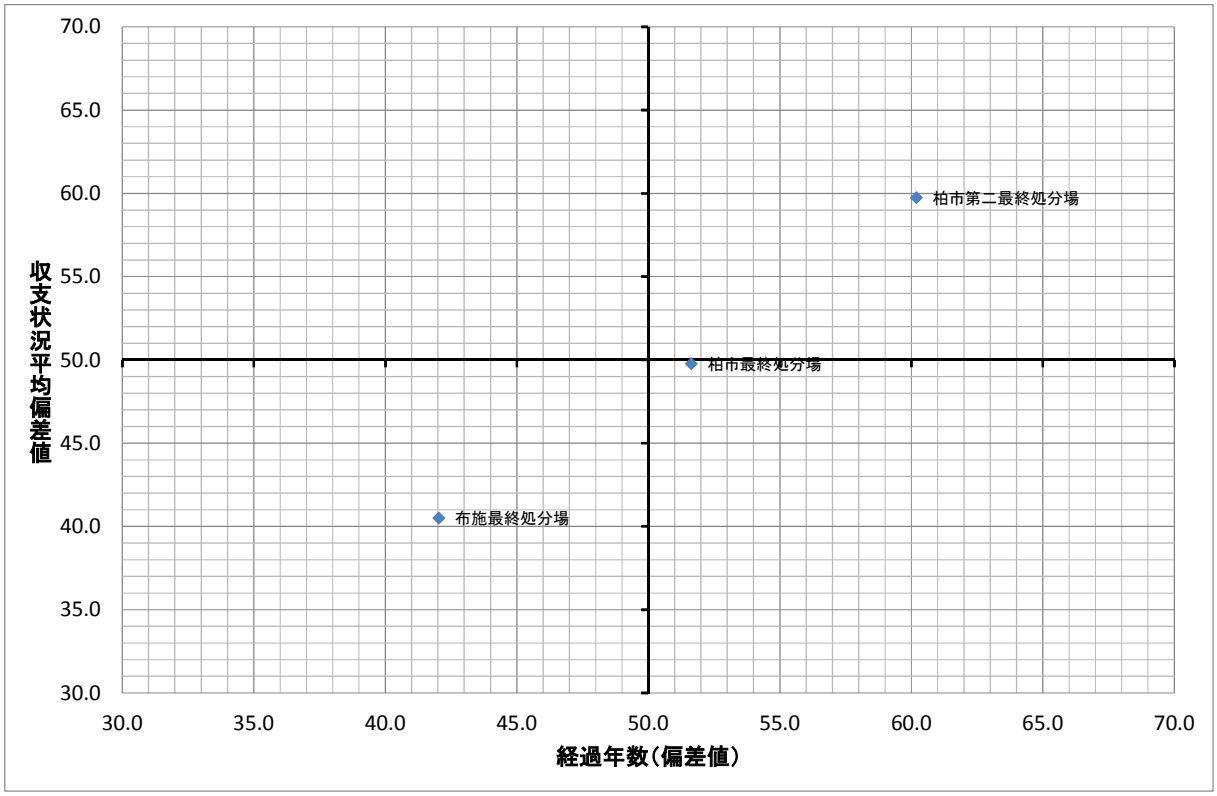


図 3-122　環境施設の品質面（ハード）・財務面（ソフト）の分析

3-9 04 防災施設・01 防災会館

(1) 配置状況

・防災会館は，市内に増尾台防災会館があります。
・増尾台防災会館は，旧東部消防署増尾分署であり，1 階部分および 2 階部分の一部は防災備蓄倉庫として,2 階部分の一部は地域住民が集い交流を深める地域コミュニティ施設として利用されています。

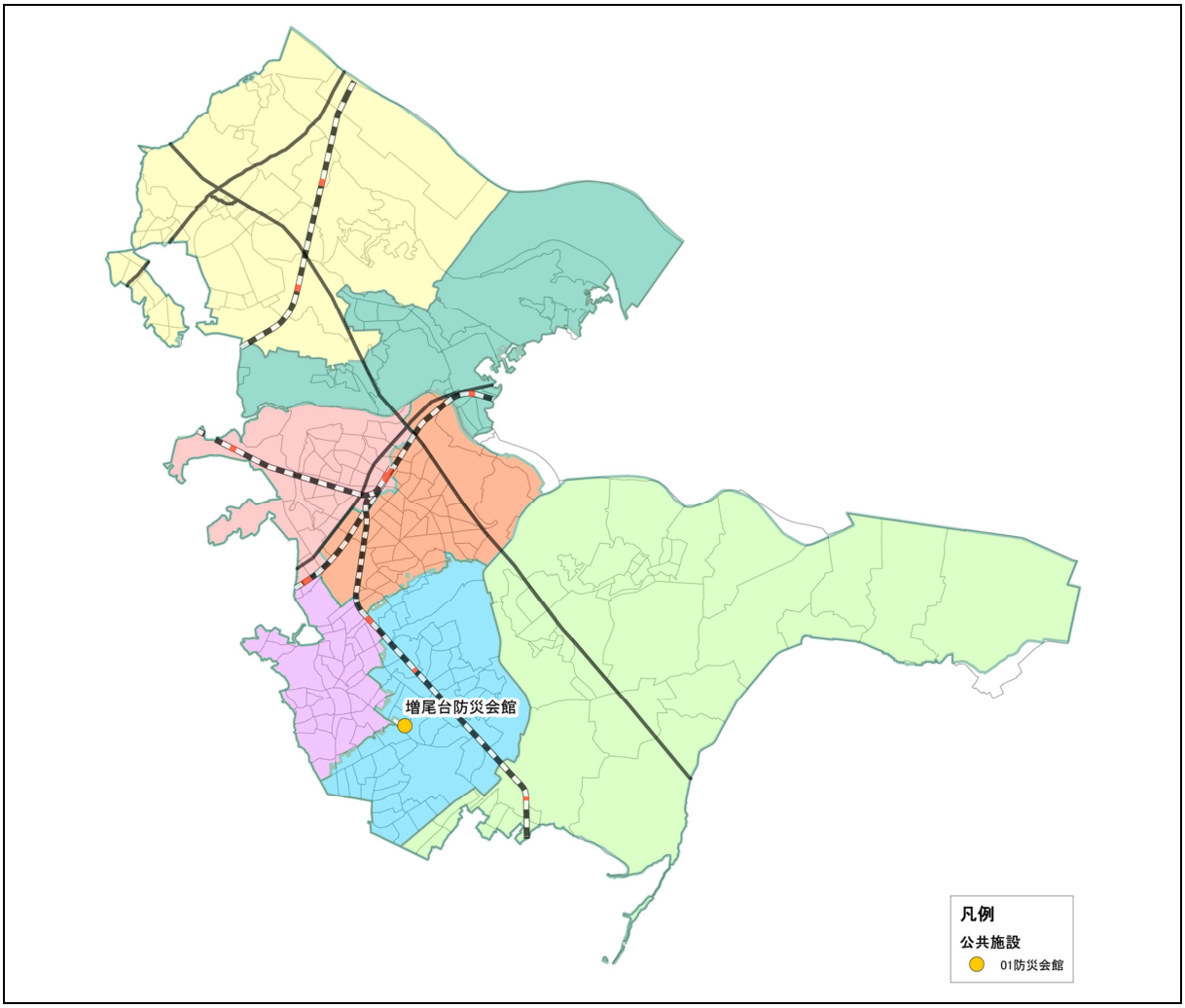


図 3-123　防災施設（防災会館）の配置状況

写真 3－26 各施設の写真（防災会館）

増尾台防災会館

(2) 経過年数

・増尾台防災会館は，建築から約 40 年が経過しています。

表 3-173　防災会館の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	増尾台防災会館	356	39.3	

(3) 利用状況

・増尾台防災会館は，年間 3 千人程度の利用者数がいます。増尾台防災会館には会議室があり，その利用率は 23%です。

表 3-174　防災会館の利用状況

No	施設名称	利用者数（人）				延床面積・開館日平均利用者数（人/日・100㎡）	利用率（%）
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均		
1	増尾台防災会館	3,146	3,135	2,912	3,064	3.6	23%

(4) コスト状況

・増尾台防災会館の市負担額は，年間 425 千円程度となっています。

表 3-175　防災会館のコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）								
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤−⑥）	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）⑧	利用者1人あたり市負担額（円/人）⑨
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）				
1	増尾台防災会館	546	−	−	−	546	121	425	1,196	139

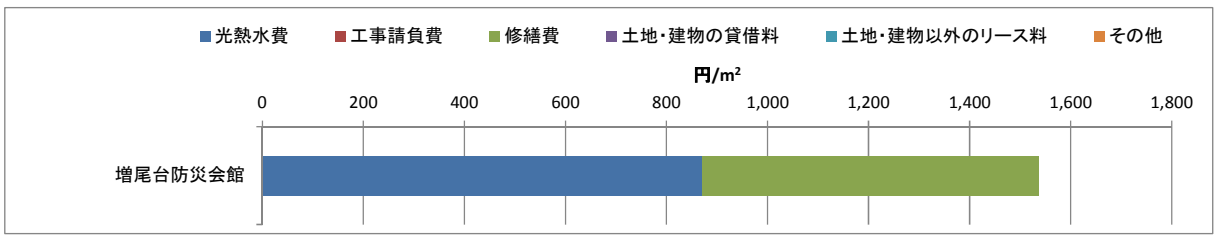


図 3-124　防災会館の延床面積あたり施設に係るコスト

3-9 04 防災施設・02 防災備蓄倉庫

(1) 配置状況

・地域防災の備えとして，食料や生活必需品，防災資機材が備蓄されている倉庫で，柏市内に 44 箇所（施設内空きスペース利用の併設倉庫や，学校内空き教室利用の教室倉庫も含む）あります。
・そのうち，公有財産台帳に単独で登載されている防災備蓄倉庫は 18 箇所あります。

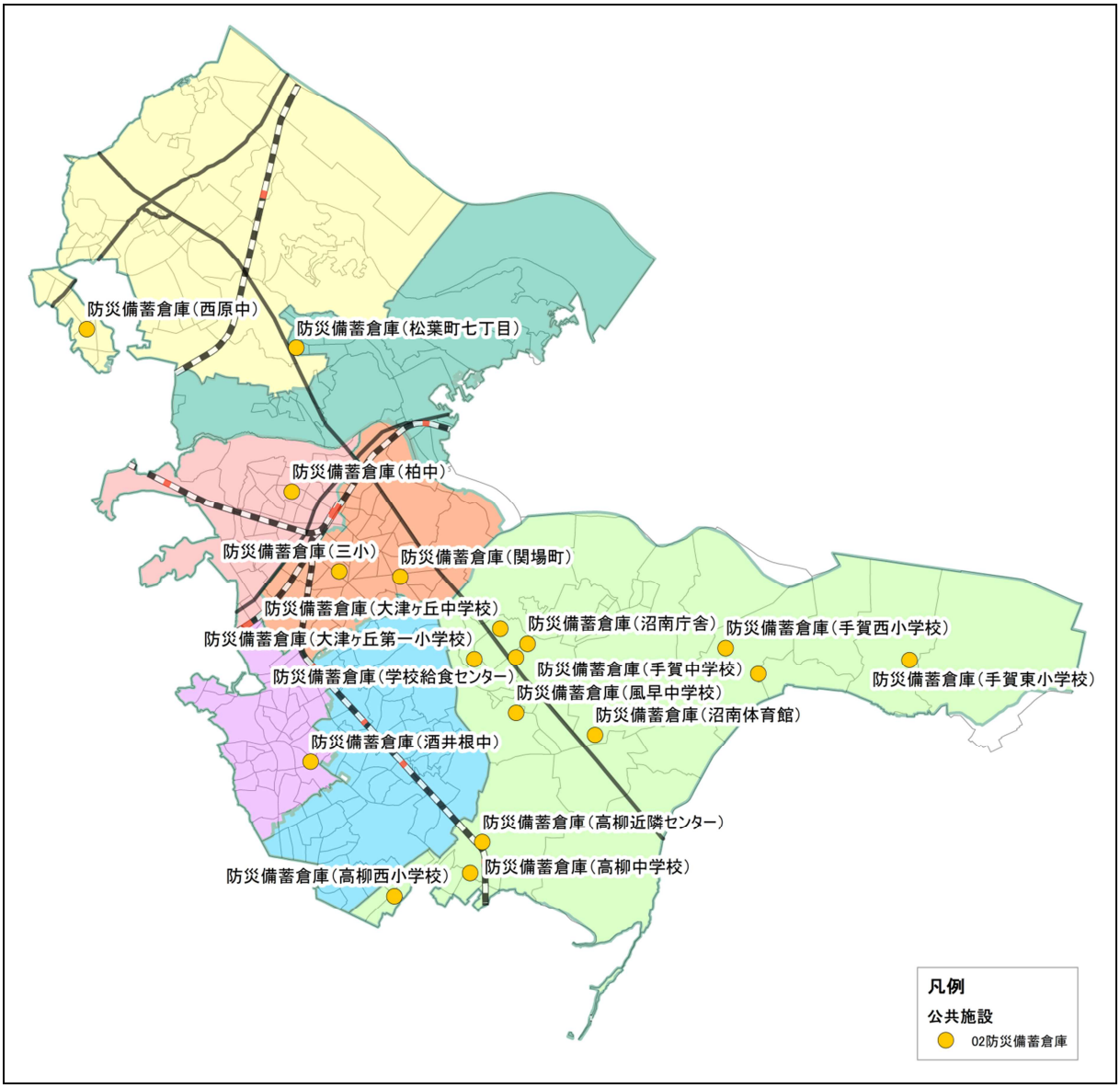


図 3-125　防災施設（防災備蓄倉庫）の配置状況

(2) 経過年数

・防災備蓄倉庫の平均経過年数は，20.3 年です。経過年数 10～20 年未満の建物が全体の 73%を占めています。
・酒井根中，松葉町七丁目，柏中の 3 施設が古く，30 年以上が経過しています。

表 3-176　防災備蓄倉庫の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	防災備蓄倉庫（学校給食センター）	14	21.3	
2	防災備蓄倉庫（関場町）	173	18.0	
3	防災備蓄倉庫（高柳近隣センター）	14	20.3	
4	防災備蓄倉庫（高柳西小学校）	14	17.3	
5	防災備蓄倉庫（高柳中学校）	14	16.3	
6	防災備蓄倉庫（三小）	100	18.1	
7	防災備蓄倉庫（手賀西小学校）	14	17.3	
8	防災備蓄倉庫（手賀中学校）	14	19.3	
9	防災備蓄倉庫（手賀東小学校）	14	17.3	
10	防災備蓄倉庫（酒井根中）	55	32.3	
11	防災備蓄倉庫（松葉町七丁目）	55	31.3	
12	防災備蓄倉庫（沼南体育館）	14	18.3	
13	防災備蓄倉庫（沼南庁舎）	14	18.3	
14	防災備蓄倉庫（西原中）	100	18.0	
15	防災備蓄倉庫（大津ヶ丘第一小学校）	14	15.3	
16	防災備蓄倉庫（大津ヶ丘中学校）	14	19.3	
17	防災備蓄倉庫（柏中）	55	32.4	
18	防災備蓄倉庫（風早中学校）	14	16.3	
	平均	39	20.3	
	合計	706	－	

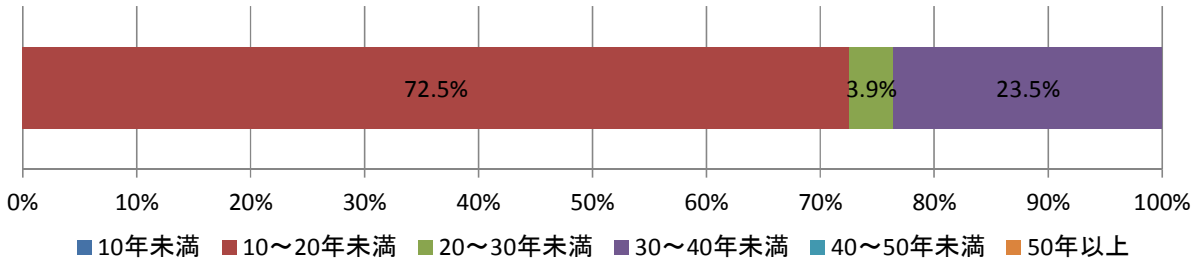


図 3-126　防災備蓄倉庫の経過年数別延床面積構成比

3-10 01 公営住宅

(1) 配置状況

・公営住宅は，市内に 10 施設あります。
・公営住宅は，住宅に困窮する低額所得者等に対し，低廉な家賃の賃貸住宅を供給することにより，生活の安定と福祉の増進を図るために設置されました。

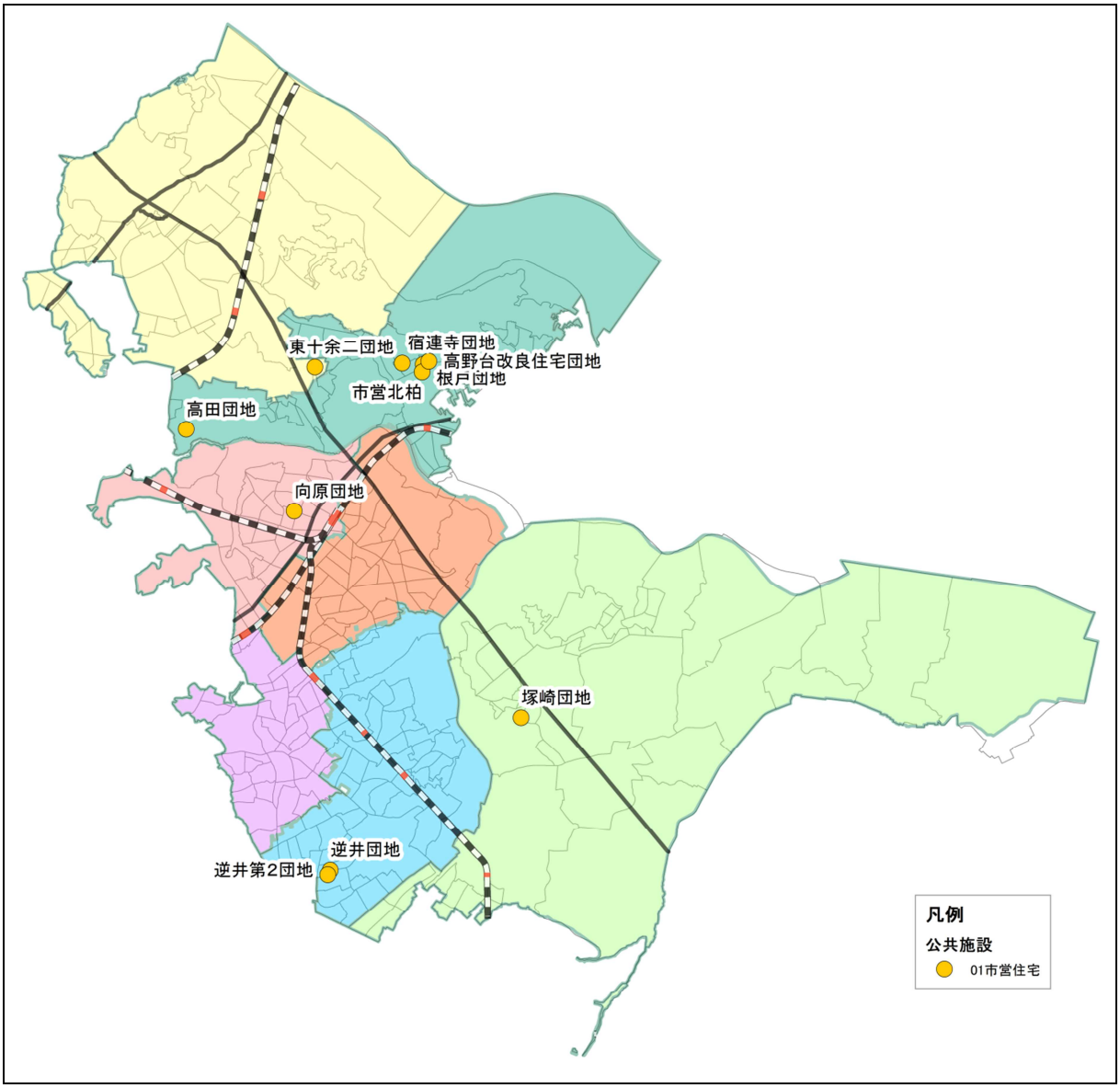


図 3-127　公営住宅の配置状況

写真 3－27 各施設の写真（公営住宅）

根戸団地

宿連寺団地

高田団地

逆井団地

東十余二団地

逆井第２団地

市営北柏

塚崎団地

高野台改良住宅団地

向原団地

(2) 経過年数

・公営住宅の平均経過年数は，33.9 年です。経過年数 10 年以上 20 年未満の建物が約半数を占めており，経過年数 30 年以上 40 年未満の建物が 23.5%，40 年以上 50 年未満の建物が 25.5%を占めています。

表 3-177　公営住宅の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	根戸団地	7,183	44.0	
2	宿連寺団地	1,777	39.5	
3	高田団地	3,243	37.1	
4	逆井団地	4,591	33.6	
5	東十余二団地	1,600	30.4	
6	逆井第2団地	888	27.3	
7	市営北柏	12,820	18.9	
8	塚崎団地	10,688	18.0	
9	高野台改良住宅団地	3,866	47.5	
10	向原団地	1,108	43.1	
	平均	4,776	33.9	
	合計	47,764	－	

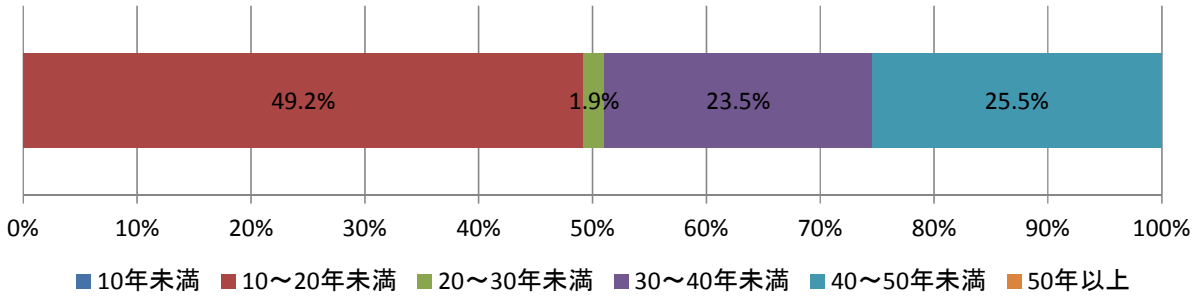


図 3-128　公営住宅の経過年数別延床面積構成比

(3) 利用状況

・公営住宅全体の平均入居率は，94.5%です。入居率は，概ね90%以上となっています。

表 3-178　公営住宅の利用状況（入居率）

No	施設名称	延床面積（㎡）	年間入居戸数（戸）	入居可能戸数(戸)			入居率
				平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均
1	根戸団地	7,183	143	152	152	152	94.1%
2	宿連寺団地	1,777	31	32	32	32	95.8%
3	高田団地	3,243	53	54	54	54	98.8%
4	逆井団地	4,591	69	72	72	72	95.8%
5	東十余二団地	1,600	23	24	24	24	97.2%
6	逆井第2団地	888	10	12	12	12	86.1%
7	市営北柏	12,820	174	182	182	182	95.8%
8	塚崎団地	10,688	124	136	136	136	91.4%
9	高野台改良住宅団地	3,866	91	96	96	96	95.1%
10	向原団地	1,108	23	24	24	24	94.4%
	平均	4,776	74	78	78	78	94.5%
	合計	47,764	742	784	784	784	

(4) コスト状況

・指定管理者制度が導入された平成26年度の収支をみると，6割の施設で収入が支出を上回っていますが，一部では大きく支出が収入を上回っており，施設間で差がみられます。合計でみると，市負担額として約1億1千万円の支出があります。

・延床面積あたりの市負担額をみると，東十余二団地や逆井団地で純収入（＝収入－支出）が多いのに対し，塚崎団地では大きく支出が収入を上回っています。

・塚崎団地では，土地の貸借料や工事請負費をはじめとした施設に係るコストが多くなっています。

表 3-179　公営住宅のコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成26年度）								
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤－⑥）	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）⑧	入居1戸あたりの市負担額（円/戸）⑨
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）				
1	根戸団地	907	0	7,390	11,045	19,342	18,436	906	126	6,335
2	宿連寺団地	39	0	1,556	2,325	3,920	5,203	−1,283	−722	−41,837
3	高田団地	26	0	2,625	3,924	6,575	11,069	−4,494	−1,386	−84,263
4	逆井団地	0	0	3,501	5,232	8,733	19,033	−10,300	−2,244	−149,275
5	東十余二団地	0	0	1,167	1,743	2,910	9,151	−6,241	−3,900	−267,471
6	逆井第2団地	0	0	583	872	1,455	4,745	−3,290	−3,706	−318,387
7	市営北柏	77,487	0	8,849	13,225	99,561	74,342	25,219	1,967	144,658
8	塚崎団地	140,986	0	6,612	9,882	157,480	48,989	108,491	10,150	872,579
9	高野台改良住宅団地	0	0	4,667	6,976	11,643	7,155	4,488	1,161	49,139
10	向原団地	0	0	1,167	1,743	2,910	4,458	−1,548	−1,397	−68,294
	平均	21,944	0	3,812	5,697	31,453	20,258	11,195	5	14,318
	合計	219,444	0	38,117	56,967	314,528	202,581	111,947	−	−

(5) 施設現況のまとめ

・逆井第２団地は，入居戸数が少なく，また入居率も低いため，他の施設に比べて供給面（ソフト）が低くなっています。
・高野台改良住宅団地は，建築から 47 年以上経過し，品質面（ハード）が低くなっています。
・塚崎団地は，入居戸数あたり市負担額や，延床面積あたり市負担額が大きいため，財務面（ソフト）が低くなっています。

表 3-180　公営住宅の品質面（ハード）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	品質		品質（ハード）平均偏差値
			経過年数（年）	偏差値	
1	根戸団地	7,183	44.0	34.4	34.4
2	宿連寺団地	1,777	39.5	38.0	38.0
3	高田団地	3,243	37.1	40.0	40.0
4	逆井団地	4,591	33.6	42.9	42.9
5	東十余二団地	1,600	30.4	45.6	45.6
6	逆井第2団地	888	27.3	48.1	48.1
7	市営北柏	12,820	18.9	55.0	55.0
8	塚崎団地	10,688	18.0	55.8	55.8
9	高野台改良住宅団地	3,866	47.5	31.5	31.5
10	向原団地	1,108	43.1	35.1	35.1
	平均	4,776	33.9	42.6	42.6
	合計	47,764	－	－	－

表 3-181　公営住宅の供給面（ソフト）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	供給				供給（ソフト）平均偏差値
			入居戸数（戸）	偏差値	平均入居率	偏差値	
1	根戸団地	7,183	143	62.1	94.1%	48.9	55.5
2	宿連寺団地	1,777	31	42.4	95.8%	53.9	48.1
3	高田団地	3,243	53	46.3	98.8%	62.2	54.3
4	逆井団地	4,591	69	49.1	95.8%	53.9	51.5
5	東十余二団地	1,600	23	41.1	97.2%	57.8	49.5
6	逆井第2団地	888	10	38.8	86.1%	26.2	32.5
7	市営北柏	12,820	174	67.6	95.8%	53.8	60.7
8	塚崎団地	10,688	124	58.8	91.4%	41.3	50.1
9	高野台改良住宅団地	3,866	91	53.0	95.1%	51.9	52.5
10	向原団地	1,108	23	41.0	94.4%	49.9	45.4
	平均	4,776	74	50.0	94.5%	50.0	50.0
	合計	47,764	－	－	－	－	－

表 3-182　公営住宅の財務面（ソフト）の分析

No	施設名称	延床面積（㎡）	財務						財務（ソフト）平均偏差値
			市負担額（千円）	偏差値	入居戸数あたり市負担額（円/戸）	偏差値	延床面積あたり市負担額（円/㎡）	偏差値	
1	根戸団地	7,183	906	52.9	6,335	50.2	126	49.7	50.9
2	宿連寺団地	1,777	−1,283	53.5	−41,837	51.7	−722	51.8	52.3
3	高田団地	3,243	−4,494	54.4	−84,263	53.0	−1,386	53.4	53.6
4	逆井団地	4,591	−10,300	56.1	−149,275	54.9	−2,244	55.6	55.5
5	東十余二団地	1,600	−6,241	54.9	−267,471	58.5	−3,900	59.7	57.7
6	逆井第2団地	888	−3,290	54.1	−318,387	60.0	−3,706	59.2	57.8
7	市営北柏	12,820	25,219	46.1	144,658	46.1	1,967	45.1	45.8
8	塚崎団地	10,688	108,491	22.6	872,579	24.1	10,150	24.9	23.9
9	高野台改良住宅団地	3,866	4,488	51.9	49,139	49.0	1,161	47.1	49.3
10	向原団地	1,108	−1,548	53.6	−68,294	52.5	−1,397	53.5	53.2
	平均	4,776	11,195		14,318	−	5	−	50.0
	合計	47,764	111,947		−	−	−	−	−

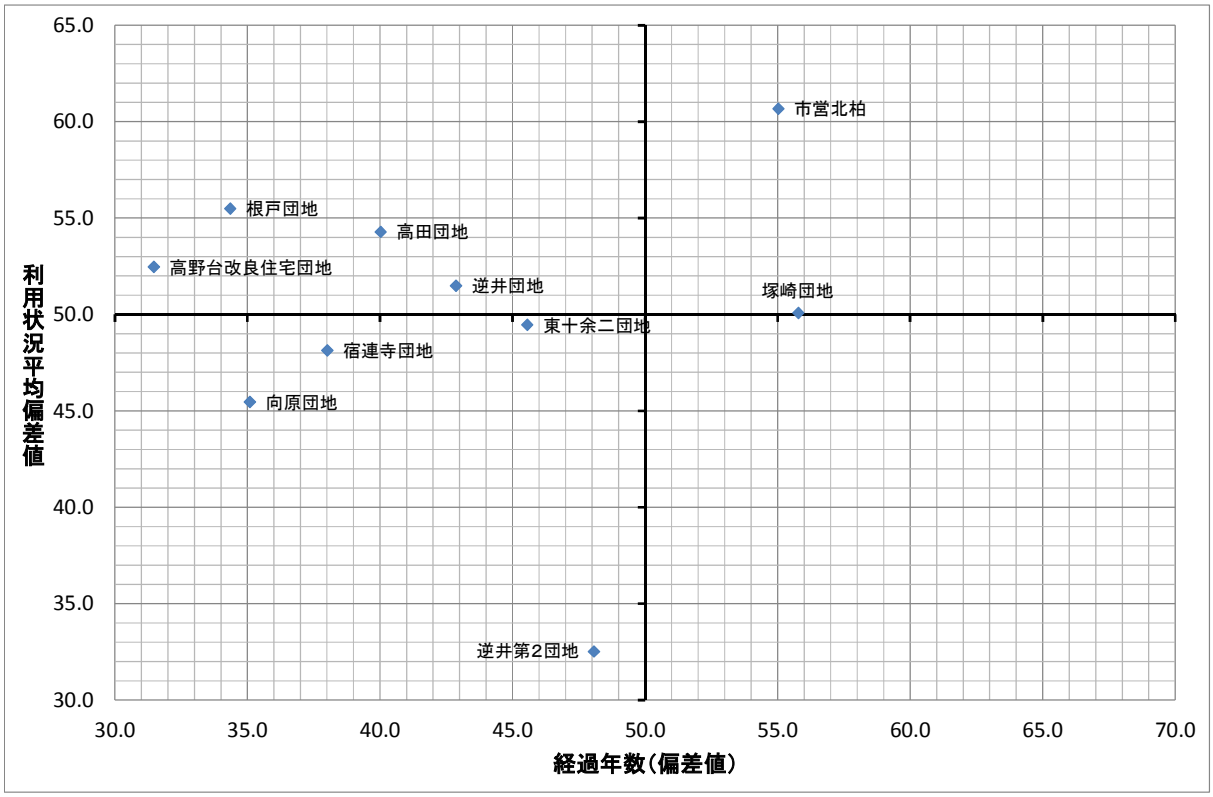


図 3-129　公営住宅の品質面（ハード）・供給面（ソフト）の分析

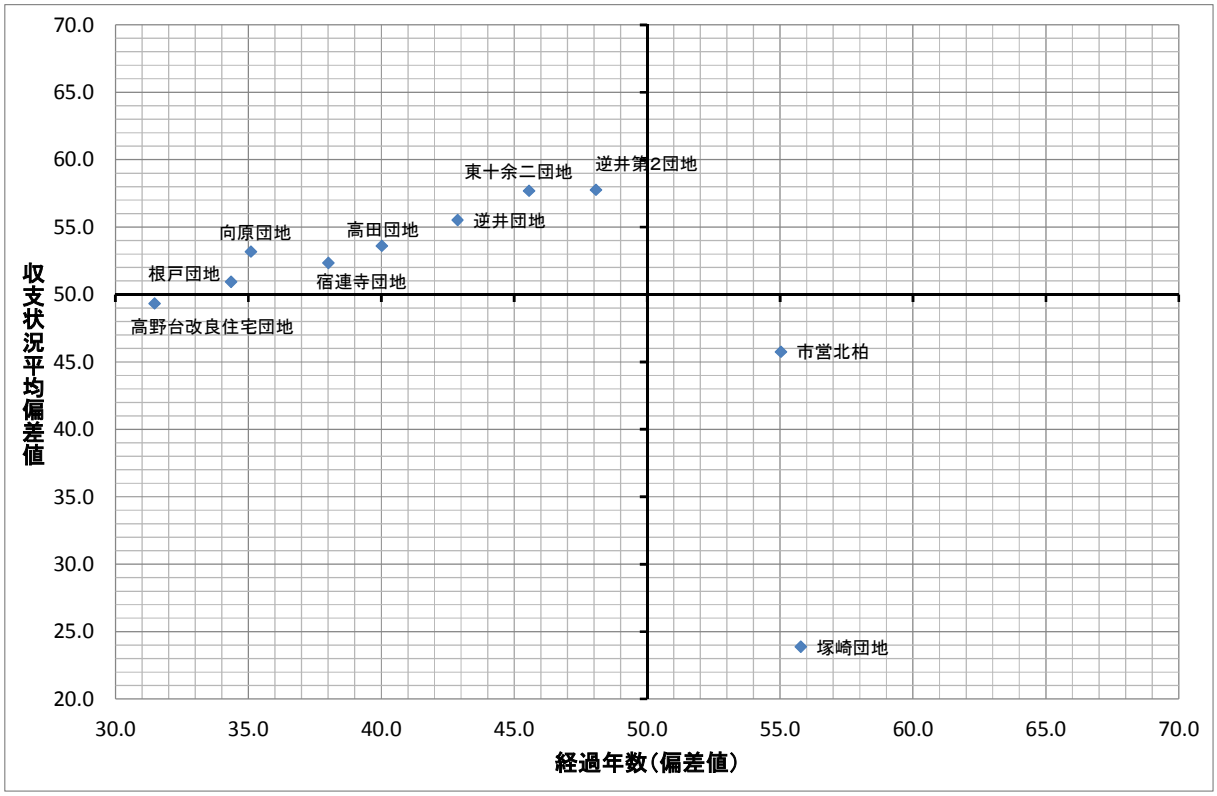


図 3-130　公営住宅の品質面（ハード）・財務面（ソフト）の分析

3-11 01 公園

(1) 配置状況

・公園施設は，1 施設で建物延床面積（2 棟以上建物が存在する場合には，複数棟を合計した延床面積）が 50 ㎡以上のものを抽出しています。
・市内に，上記に該当する公園施設は 15 施設あり，公園と緑地等に分類されます。
・公園は，あけぼの山公園，柏リフレッシュ公園，中原ふれあい防災公園，旧吉田家住宅歴史公園などがあります。あけぼの山公園は，日本庭園内に本格的な茶室「柏泉亭」があります。柏リフレッシュ公園は，柏市第二清掃工場のごみ焼却余熱を利用した余熱利用型健康増進施設「リフレッシュプラザ柏」があり，市民の交流や学習，健康増進，憩いの広場を提供することを目的としています。中原ふれあい防災公園は，市内ではじめての防災公園で，公園内の各所には防災設備が設けられており，災害時には緊急避難の場やヘリコプター臨時離着場にもなります。旧吉田家住宅歴史公園は，名主であった吉田家の当時の豪農ぶりが分かる江戸時代末期の貴重な国の重要文化財となっています。
・緑地等は，里山や公園センター，公園管理事務所などが挙げられ，手賀の丘公園センター（通称どんぐりの家）は，会議や研修会，発表会やパーティーなどに利用できる集会室が設けられています。また，手賀の丘公園キャンプ場は，バーベキュー場やキャンプ場として利用でき，家族でアウトドアを楽しむことができます。

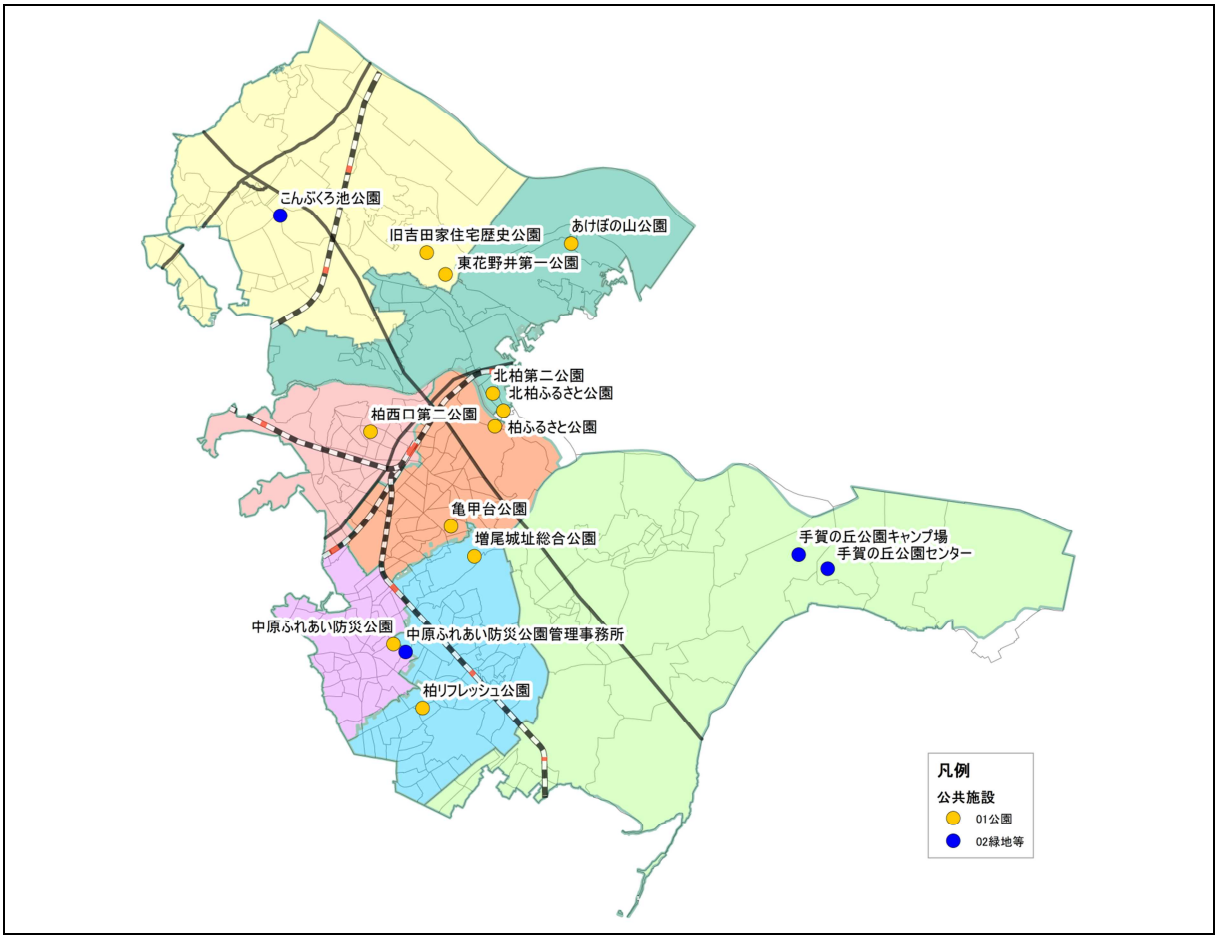


図 3-131　公園の配置状況

写真 3－28 各施設の写真（公園）

 あけぼの山公園	 柏西口第二公園	 亀甲台公園
 東花野井第一公園	 増尾城址総合公園	 北柏第二公園
 柏ふるさと公園	 北柏ふるさと公園	 柏リフレッシュ公園
 中原ふれあい防災公園	 旧吉田家住宅歴史公園	 こんぶくろ池公園
 中原ふれあい防災公園管理事務所	 手賀の丘公園キャンプ場	 手賀の丘公園センター

(2) 経過年数

① 利用状況を把握している公園

・利用状況を把握している公園の平均経過年数は，19.2 年です。経過年数 10 年未満の建物が全体の 84%を占めており，柏リフレッシュ公園を中心とした比較的新しい建物で構成されています。

表 3-183　利用状況を把握している公園の経過年数

No	施設名称	敷地面積（㎡）	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	あけぼの山公園	58,469	272	24.9	指定避難場所
2	増尾城址総合公園	83,655	203	16.8	
3	柏リフレッシュ公園	56,635	7,910	9.0	指定避難場所・避難所
4	旧吉田家住宅歴史公園	21,511	1,198	－	歴史的建造物であり、分析の対象外 指定避難場所
5	手賀の丘公園キャンプ場	259,140	164	21.8	
6	手賀の丘公園センター	259,140	831	23.4	
	平均	123,092	1,763	19.2	
	合計	738,550	10,578	－	

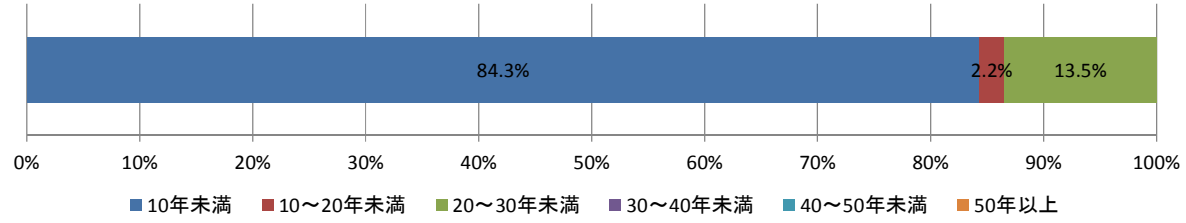


図 3-132　利用状況を把握している公園の経過年数別延床面積構成比

② 利用状況を把握していない公園

・利用状況を把握していない公園の平均経過年数は，28.0 年です。経過年数 30 年以上の建物が全体の 51%と，約半数を占めています。

表 3-184　利用状況を把握していない公園の経過年数

No	施設名称	敷地面積（㎡）	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	柏西口第二公園	3,032	118	40.7	
2	亀甲台公園	4,869	97	42.0	
3	東花野井第一公園	3,308	66	36.2	
4	北柏第二公園	6,456	102	34.2	指定避難場所
5	柏ふるさと公園	30,000	55	25.2	指定避難場所
6	北柏ふるさと公園	30,000	217	17.9	指定避難場所
7	中原ふれあい防災公園	47,965	98	10.0	広域避難場所・ヘリコプター臨時離着場
8	こんぶくろ池公園	139,834	85	9.5	
9	中原ふれあい防災公園管理事務所	100	100	36.2	
	平均	29,507	104	28.0	
	合計	265,564	938	－	

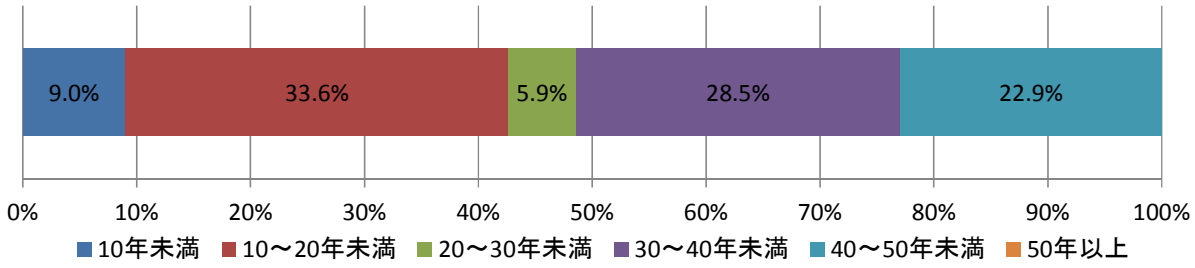


図 3-133　利用状況を把握していない公園の経過年数別延床面積構成比

(3) 利用状況

① 利用状況を把握している公園

・公園の利用者数は，合計で，年間約 7 万人前後で推移しています。特に，柏リフレッシュ公園の利用者数が多く，年間で約 3.5 万人となっています。（団体利用）
・利用状況を把握している公園全体の延床面積・開館日あたり平均利用者は，6.7 人/日・100 ㎡です。その中で，手賀の丘公園キャンプ場が 27.5 人/日・100 ㎡と高くなっています。
・利用状況を把握している公園全体の平均利用率（利用率を把握している公園のみ）は，13.5%です。その中で，柏リフレッシュ公園が 21.7%であるのに対し，あけぼの公園は 2.6%と低くなっています。
・貸出箇所の利用率をみると，柏市リフレッシュ公園の会議室や多目的ホールが高くなっています。

表 3-185　利用状況を把握している公園の利用状況

No	施設名称	敷地面積（㎡）	延床面積（㎡）	利用者数（人）				敷地面積あたり利用者数（人/㎡）	延床面積・開館日あたり平均利用者（人/日・100㎡）	利用率（%）
				平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均			
1	あけぼの山公園	58,469	272	1,354	1,237	1,371	1,321	0.02	1.3	2.6%
2	増尾城址総合公園（バーベキュー施設）	83,655	203	3,547	2,984	4,080	3,537	0.04	4.8	－
3	柏リフレッシュ公園	56,635	7,910	36,397	33,812	34,226	34,812	0.61	1.4	21.7%
4	旧吉田家住宅歴史公園	21,511	1,198	15,065	10,700	12,111	12,625	0.59	3.4	－
5	手賀の丘公園キャンプ場	259,140	164	11,218	14,965	15,421	13,868	0.05	27.5	－
6	手賀の丘公園センター	259,140	831	4,743	3,930	5,266	4,646	0.02	1.8	16.2%
	平均	123,092	1,763	12,054	11,271	12,079	11,802	0.22	6.7	13.5%
	合計	738,550	10,578	72,324	67,628	72,475	70,809	1.34	－	－

表 3-186　利用状況を把握している公園の利用状況（貸出箇所の利用率）

施設名称	貸出箇所	利用率（%）
あけぼの山公園	柏泉亭　広間	3%
	柏泉亭　小間	3%
	柏泉亭　両施設	2%
柏リフレッシュ公園	25mプール	3%
	多目的ホール	42%
	楽屋①	2%
	楽屋②	2%
	たべもの工房	6%
	和室(小)	30%
	会議室①	66%
	会議室②	53%
手賀の丘公園センター	集会場(大)	22%
	集会場(小)	11%

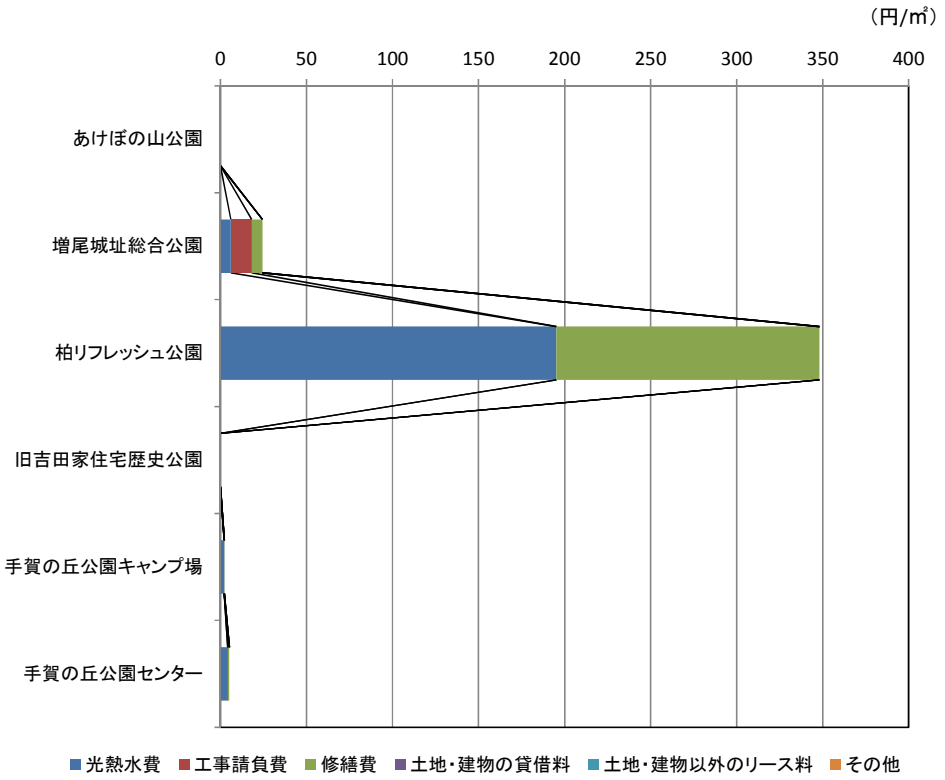
(4) コスト状況

① 利用状況を把握している公園

・柏リフレッシュ公園に係る市負担額が最も多く，年間 9,300 万円程度となっています。内訳をみると，指定管理料が多くなっています。
・敷地面積あたりの市負担額は，柏リフレッシュ公園が最も多く，利用者一人あたりの市負担額はあけぼの山公園が最も多くなっています。
・敷地面積あたりの施設に係るコストは，柏リフレッシュ公園の光熱水費や修繕費が多くなっています。

表 3-187　利用状況を把握している公園のコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）								
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤－⑥）	敷地面積あたりの市負担額（円/㎡）⑧	利用者1人あたり市負担額（円/人）⑨
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）				
1	あけぼの山公園	0	0	0	25,833	25,833	0	25,833	442	19,561
2	増尾城址総合公園	2,038	0	0	0	2,038	0	2,038	24	576
3	柏リフレッシュ公園	19,716	0	6,160	67,495	93,370	49	93,321	1,648	275
4	旧吉田家住宅歴史公園	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	手賀の丘公園キャンプ場	572	0	7,139	0	7,712	0	7,712	30	556
6	手賀の丘公園センター	1,346	0	7,139	0	8,485	0	8,485	33	1,826
	平均	3,945	0	3,406	15,555	22,906	8	22,898	363	3,799
	合計	23,672	0	20,439	93,328	137,438	49	137,389	－	－



※あけぼの山公園と柏リフレッシュ公園は，指定管理料を別途支出しています。

図 3-134　利用状況を把握している公園の敷地面積あたり施設に係るコスト

② 利用状況を把握していない公園

・北柏ふるさと公園の市負担額が最も高く，年間 700 万円程度となっています。敷地面積あたりの施設に係るコストについても，北柏ふるさと公園の光熱水費と工事請負費および修繕費が多くなっています。

※北柏ふるさと公園の管理事務所は，本市の外郭団体である一般財団法人柏市みどりの基金の事務所としても利用されているため，光熱水費等が高くなっています。

表 3-188　利用状況を把握していない公園のコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）							
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤－⑥）	敷地1㎡あたりの市負担額（円/㎡）⑧
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）			
1	柏西口第二公園	58	0	0	0	58	0	58	19
2	亀甲台公園	75	0	0	0	75	0	75	15
3	東花野井第一公園	52	0	0	0	52	0	52	16
4	北柏第二公園	174	0	0	0	174	0	174	27
5	柏ふるさと公園	1,724	0	0	0	1,724	0	1,724	57
6	北柏ふるさと公園	6,855	0	0	0	6,855	0	6,855	229
7	中原ふれあい防災公園	644	0	0	0	644	0	644	13
8	こんぶくろ池公園	738	793	0	0	1,532	0	1,532	11
9	中原ふれあい防災公園管理事務所	226	0	0	0	226	0	226	2,267
	平均	1,172	88	0	0	1,260	0	1,260	295
	合計	10,547	793	0	0	11,340	0	11,340	－

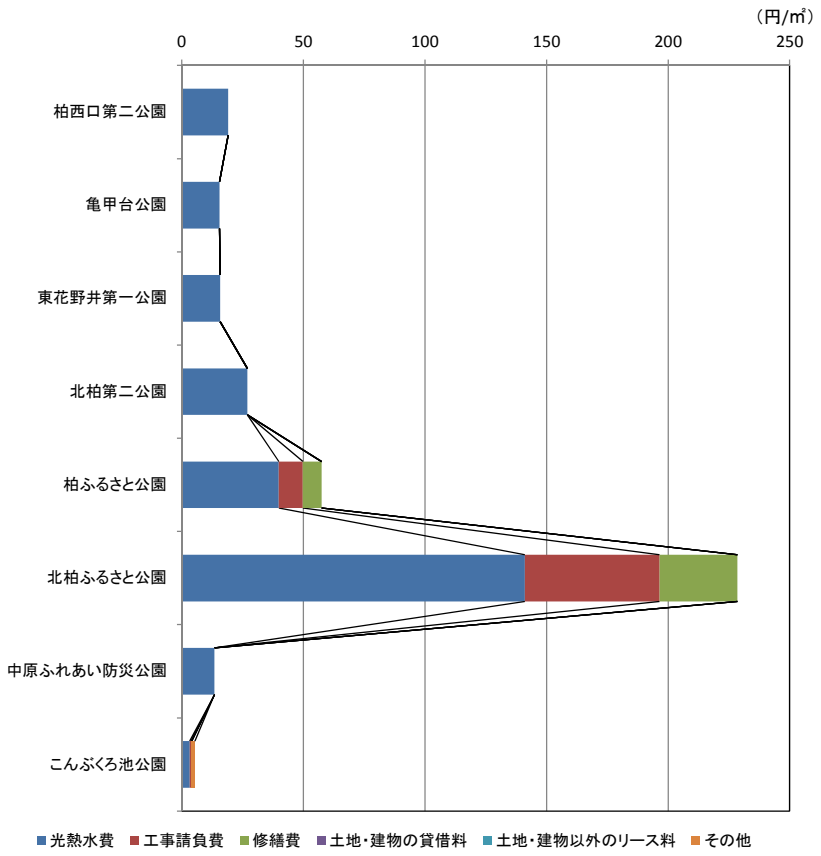


図 3-135　利用状況を把握していない公園の敷地面積あたり施設に係るコスト

(5) 施設現況のまとめ

① 利用状況を把握している公園

・柏リフレッシュ公園は，利用者が最も多く，供給面（ソフト）は最も高いですが，財務面（ソフト）からみると，市負担額および敷地面積あたりの市負担額の多さから，市の費用負担は大きくなっています。
・あけぼの山公園は，利用者の少なさや市負担額の多さから，供給面・財務面（ソフト）ともに低くなっています。

表 3-189　利用状況を把握している公園の品質面（ハード）の分析

No	施設名称	敷地面積（㎡）	品質		品質（ハード）平均偏差値
			経過年数(年)	偏差値	
1	あけぼの山公園	58,469	24.9	50.1	50.1
2	増尾城址総合公園	83,655	16.8	56.8	56.8
3	柏リフレッシュ公園	56,635	9.0	63.2	63.2
4	手賀の丘公園キャンプ場	259,140	21.8	52.6	52.6
5	手賀の丘公園センター	259,140	23.4	51.3	51.3
	平均	143,408	19.2	54.8	54.8
	合計	717,039	－	－	－

表 3-190　利用状況を把握している公園の供給面（ソフト）の分析

No	施設名称	敷地面積（㎡）	供給				供給（ソフト）平均偏差値
			利用者数（人）	偏差値	敷地面積・開館日あたり平均利用者数（人/日・ha）	偏差値	
1	あけぼの山公園	58,469	1,321	42.5	0.62	45.0	43.8
2	増尾城址総合公園	83,655	3,537	44.1	1.16	45.7	44.9
3	柏リフレッシュ公園	56,635	34,812	66.8	19.58	67.9	67.3
4	手賀の丘公園キャンプ場	259,140	13,868	51.6	1.74	46.4	49.0
5	手賀の丘公園センター	259,140	4,646	44.9	0.58	45.0	45.0
	平均	143,408	11,637	50.0	4.73	50.0	50.0
	合計	717,039	58,184	－	－	－	－

表 3-191　利用状況を把握している公園の財務面（ソフト）の分析

No	施設名称	敷地面積（㎡）	財務						財務（ソフト）平均偏差値
			市負担額（千円）	偏差値	利用者1人あたりの市負担額(円/人)	偏差値	敷地面積あたりの市負担額(円/㎡)	偏差値	
1	あけぼの山公園	58,469	25,833	50.4	19,561	32.2	442	49.9	44.2
2	増尾城址総合公園	83,655	2,038	56.7	576	54.7	24	55.9	55.8
3	柏リフレッシュ公園	56,635	93,321	32.6	275	55.1	1,648	32.7	40.1
4	手賀の丘公園キャンプ場	259,140	7,712	55.2	556	54.8	30	55.8	55.3
5	手賀の丘公園センター	259,140	8,485	55.0	1,826	53.3	33	55.7	54.7
	平均	143,408	27,477.8	50.0	4,559	50.0	435	50.0	50.0
	合計	717,039	－	－	－	－	－	－	－

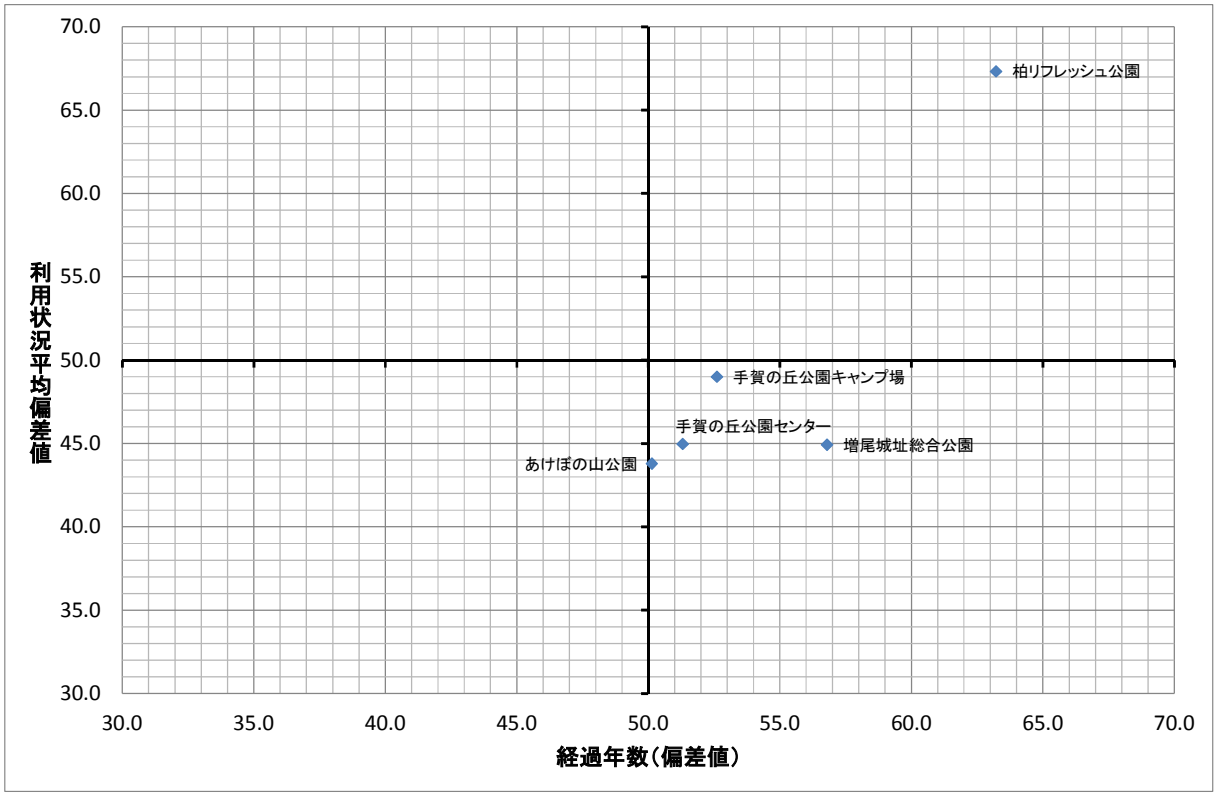


図 3-136　利用状況を把握している公園の品質面（ハード）・供給面（ソフト）の分析

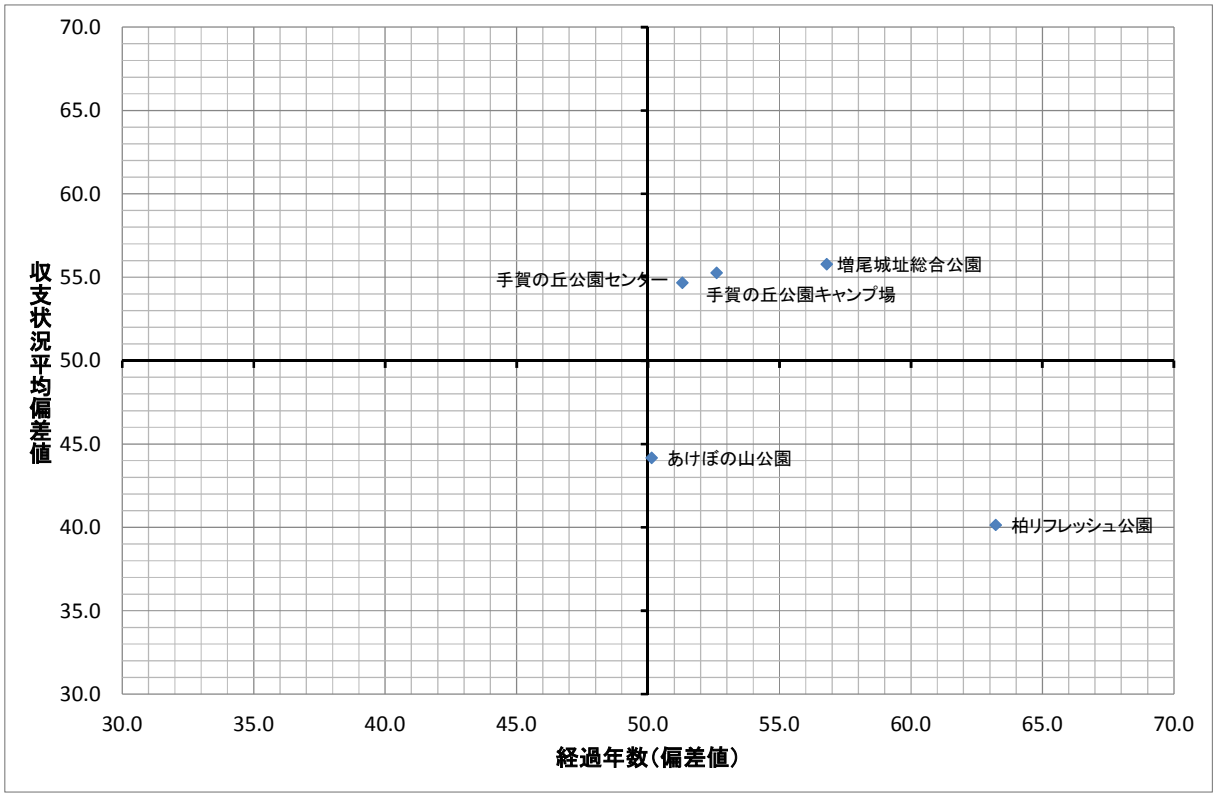


図 3-137　利用状況を把握している公園の品質面（ハード）・財務面（ソフト）の分析

3-12 01 供給処理施設

(1) 配置状況

・供給処理施設は，市内に 4 施設あり，清掃工場，リサイクルプラザ，し尿処理施設に分類されます。
・清掃工場は，旧柏地域の一般廃棄物（可燃ごみ）の焼却施設として設置されました（旧沼南地域の焼却施設としては，柏・白井・鎌ケ谷環境衛生組合によるクリーンセンターしらさぎが設置されています。）。
・リサイクルプラザは，合併前の旧柏地域の家庭から出された資源品を収集し，選別や圧縮などをして再生工場へ引き渡すための処理を行う施設として設置されました。なお，リボン館が併設されており，ごみの減量やリサイクルの啓発拠点にもなっています。
・し尿処理施設は，生活環境の保全上支障が生じないように，合併前の旧柏地域のし尿や浄化槽汚泥の処理を行う施設として設置されました。

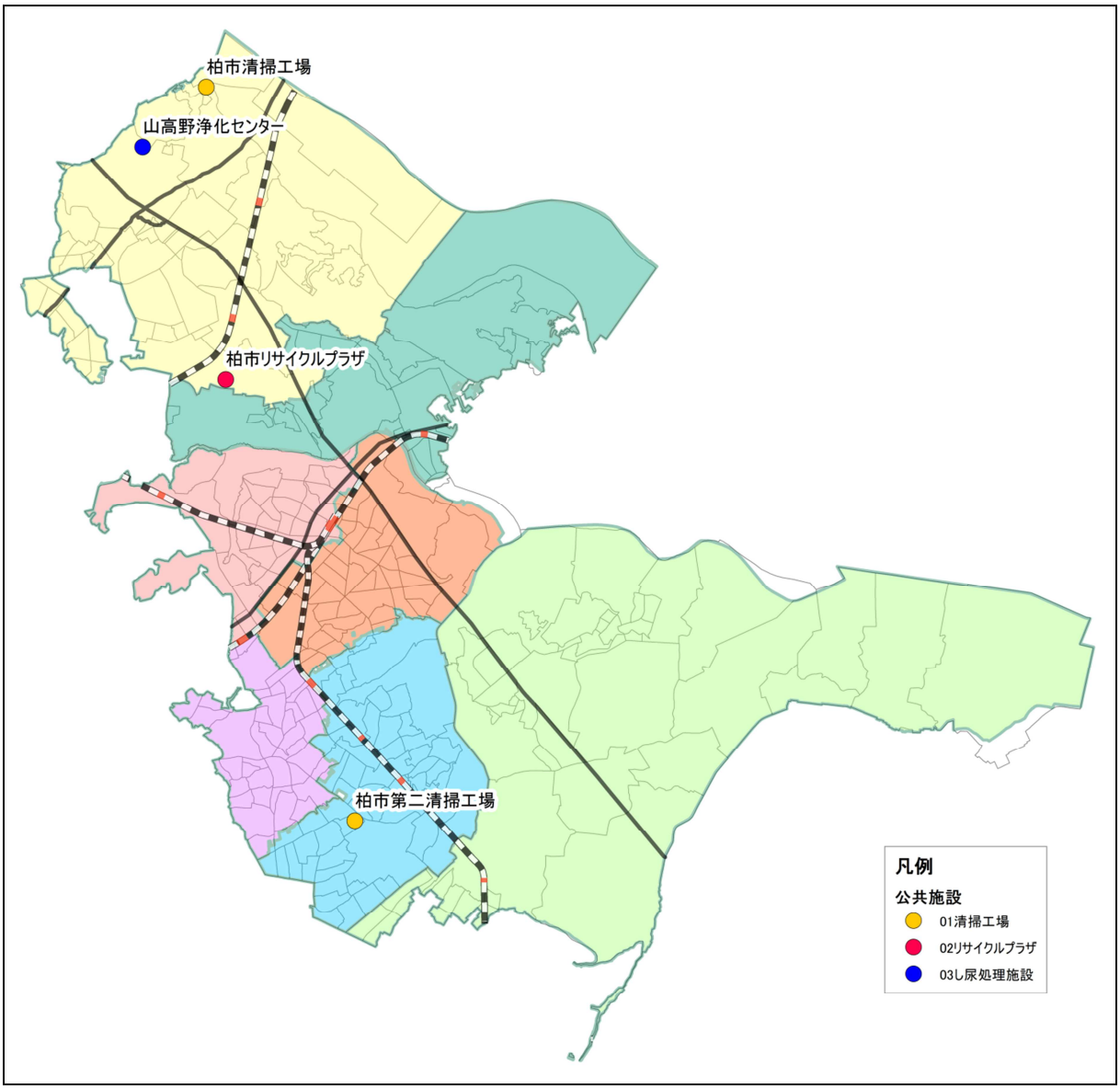


図 3-138　供給処理施設の配置状況

写真 3－29 各施設の写真（供給処理施設）

柏市清掃工場

柏市第二清掃工場

柏市リサイクルプラザ

山高野浄化センター

(2) 経過年数

・供給処理施設の平均経過年数は，20.5 年です。経過年数 20 年未満の建物が全体の 66%を占めています。
・その中で，山高野浄化センターおよび柏市清掃工場が比較的古くなっています。

表 3-192　供給処理施設の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	柏市清掃工場	9,831	25.6	
2	柏市第二清掃工場	23,067	10.4	
3	柏市リサイクルプラザ	7,662	13.0	
4	山高野浄化センター	5,974	32.9	
	平均	11,634	20.5	
	合計	46,535	－	

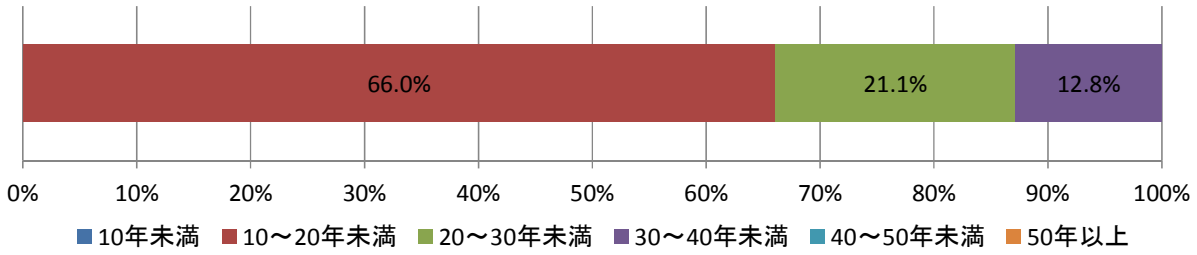


図 3-139　供給処理施設の経過年数別延床面積構成比

(3) ゴミ焼却処理量の推移

・柏市清掃工場と柏市第二清掃工場を合わせたごみ焼却処理量は，概ね横ばいで推移しています。

表 3-193　過去 10 年間のごみ焼却処理量の推移

施設名称	ごみ焼却処理量(t)									
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
柏市清掃工場	51,741	49,881	49,705	50,041	51,764	49,909	60,412	65,248	60,452	59,917
柏市第二清掃工場	40,489	43,353	43,588	42,387	39,988	39,430	25,988	27,193	30,867	29,116
合計	92,230	93,234	93,293	92,428	91,752	89,339	86,400	92,441	91,319	89,033

(4) 資源品処理量の推移

・柏市リサイクルプラザでの資源品処理量は，概ね減少傾向にあります。古紙が減少したこと等が主要な原因であると考えられます。
・平成 23 年度の微増については，平成 22 年度末に発生した東日本大震災に伴い，一時的に飲料や保存食品等の消費が増え，ＰＥＴボトル等をはじめとした容器類が増加したこと等が考えられます。

表 3-194　過去 10 年間の資源品処理量の推移

施設名称	資源品処理量(t)									
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
柏市リサイクルプラザ	28,668	28,643	27,206	25,335	23,647	23,155	23,770	22,611	21,846	21,000

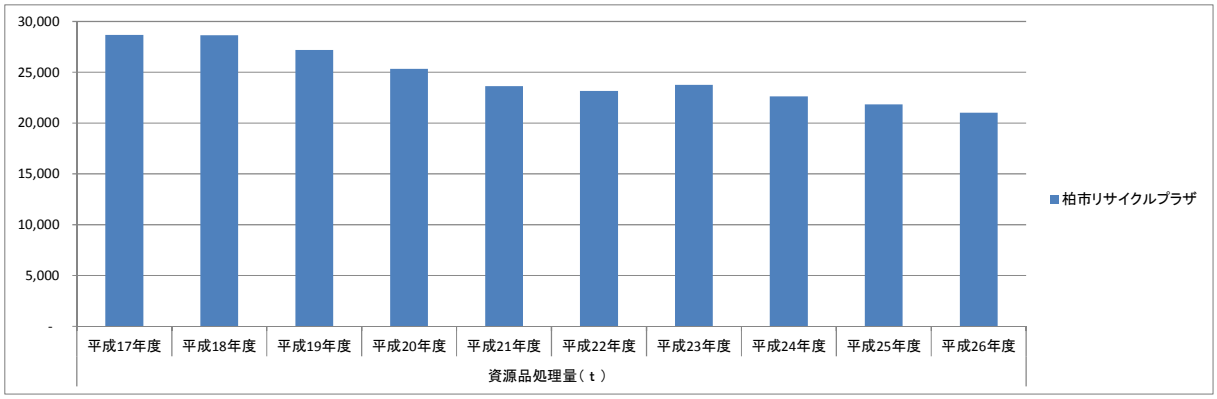


図 3-140　過去 10 年間の資源品処理量の推移

(5) コスト状況

・市負担額を見ると，柏市第二清掃工場（柏市清掃収集事務所含む）が最も高く，年間 12.6 億円程度となっています。
・柏市清掃工場の人に係るコストについては，収集人員の人件費が含まれています。
・処理量あたりの市負担額も，柏市第二清掃工場（柏市清掃収集事務所含む）が最も多くなっています。
・延床面積あたりの施設に係るコストをみると，柏市リサイクルプラザと山高野浄化センターでは，委託費等のその他が多くなります。
※施設の性質が異なり，比較が難しいため，施設現況のまとめは掲載しません。

表 3-195　供給処理施設のコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）								
		支出					収入総額（千円）⑥	市負担額（千円）⑦（⑤−⑥）	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）⑧	処理量あたりの市負担額（円/t）⑨
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）				
1	柏市清掃工場	0	821,600	304,633	0	1,126,233	488,460	637,773	64,872	10,308
2	柏市第二清掃工場	0	889,305	27,240	0	916,545	138,838	777,707	33,714	26,763
3	柏市清掃収集事務所	8,482	1,658	479,622	0	489,761	4,105	485,656	202,596	−
	柏市第二清掃工場　計（柏市清掃収集事務所含む）	8,482	890,962	506,862	0	1,406,306	142,943	1,263,363	49,612	43,476
4	柏市リサイクルプラザ	126,483	566,718	0	0	693,201	389,894	303,307	39,588	13,901
5	山高野浄化センター	147,188	0	39,517	0	186,705	15,230	171,475	28,703	−
	平均(柏市第二清掃工場を計とした4施設平均)	70,538	569,820	212,753	0	853,111	259,132	593,980	45,694	22,562
	合計	282,152	2,279,280	851,012	0	3,412,444	1,036,526	2,375,918	−	−

3-13 01 その他施設

(1) 配置状況

・その他施設は，市内に 33 施設あり，公設市場，駐輪場，駐車場およびその他に分類されます。
・公設市場は，生活に欠くことのできない生鮮食料品およびその加工品を全国各地から大量に集め，適正な価格で迅速に安定供給するために設置されました。地域にあった 7 つの青果市場が統合するかたちで昭和 46 年に青果部がスタートし，その後昭和 49 年に花き部，昭和 52 年に水産物部が相次いで開場し，総合地方卸売市場として現在に至っています。
・駐輪場は，自転車の安全利用の促進および自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律（自転車法）に基づき，通勤や通学等により多くの自転車が集積する市内各駅周辺での混乱を避けるため，公設駐輪場として設置されました。
・駐車場は，柏駅周辺での駐車場不足に伴う慢性的な違法駐車や交通渋滞を解決するために，また，将来の駐車需要に対応するために，市営駐車場として設置されました。
・その他は，シルバー人材センター事務所と篠籠田自転車保管所の 2 施設があり，シルバー人材センター事務所は，急速な高齢化の進展を背景に，定年退職者などの高齢者就業機会の確保のために設置されました。また，篠籠田自転車保管所は，旧し尿処理場跡地を有効利用しています。

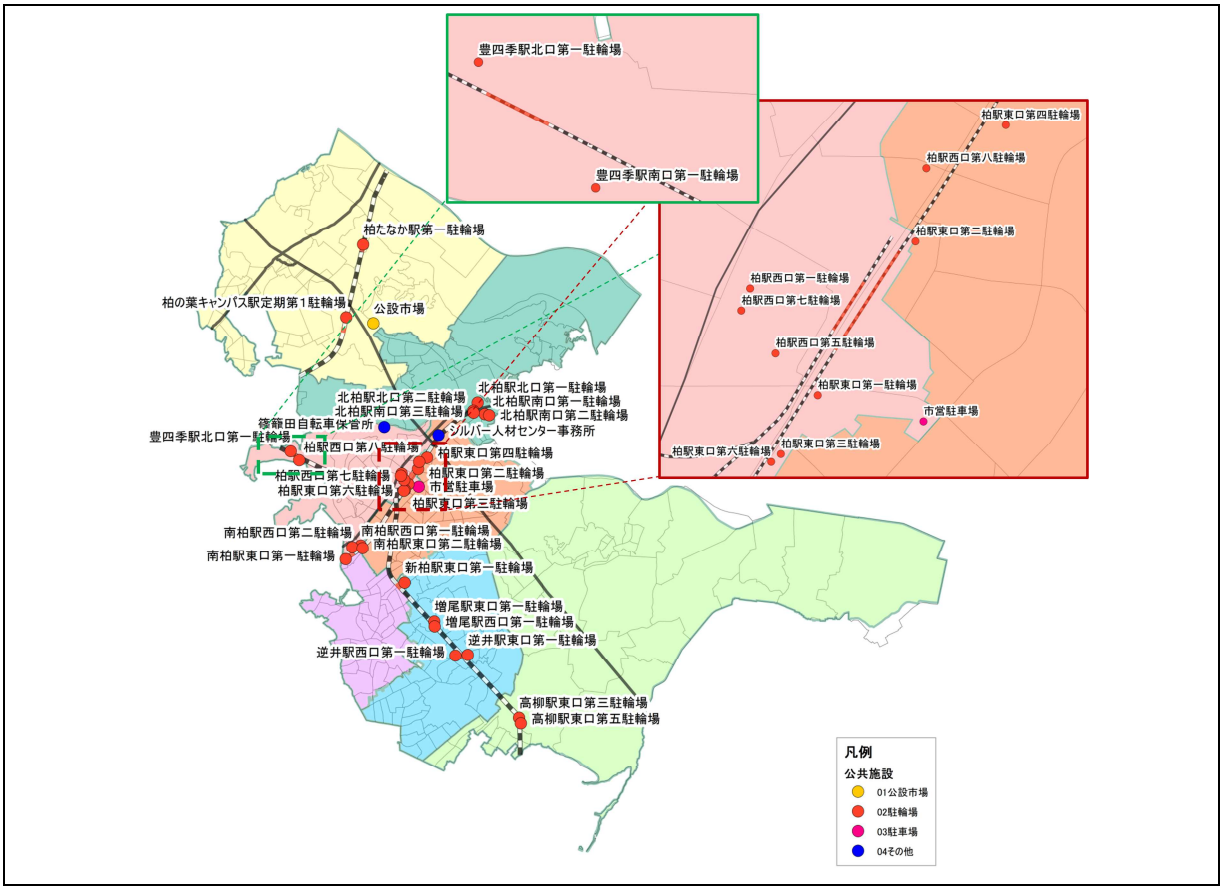


図 3-141　その他施設の配置状況

写真 3－30　各施設の写真（その他施設）

公設市場

市営駐車場

シルバー人材センター事務所

篠籠田自転車保管所

柏駅東口第一駐輪場

柏駅東口第二駐輪場

柏駅東口第三駐輪場

柏駅西口第一駐輪場

柏駅西口第七駐輪場

増尾駅西口第一駐輪場

南柏駅東口第一駐輪場

北柏駅南口第一駐輪場

北柏駅南口第二駐輪場

南柏駅西口第二駐輪場

※建物延床面積 100 ㎡以下の駐輪場は除く。

(2) 経過年数

① 公設市場

・公設市場の経過年数は約 36 年です。
・公設市場には大小あわせて 53 の建物があり，経過年数 40 年以上の建物は 4 棟あります。

表 3-196　公設市場の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	公設市場	34,865	35.4	

② 駐輪場および駐車場等

・駐輪場の平均経過年数は，22.1 年です。経過年数 10 年未満の建物が全体の 54%を占めています。
・市営駐車場は，経過年数が約 16 年となっています。
・篠籠田自転車保管所は，旧施設を再利用しているため，経過年数が約 50 年となっています。

表 3-197　駐輪場の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	柏駅東口第一駐輪場	451	36.5	
2	柏駅東口第二駐輪場	333	36.1	
3	柏駅東口第三駐輪場	2,117	27.1	
4	柏駅東口第四駐輪場	2	31.0	
5	柏駅東口第六駐輪場	74	12.7	
6	柏駅西口第一駐輪場	1,995	32.9	
7	柏駅西口第五駐輪場	2	29.0	
8	柏駅西口第七駐輪場	1,694	3.0	
9	柏駅西口第八駐輪場	13	18.3	
10	北柏駅北口第一駐輪場	8	31.0	
11	北柏駅北口第二駐輪場	5	17.8	
12	豊四季駅南口第一駐輪場	5	20.7	
13	豊四季駅北口第一駐輪場	8	30.1	
14	新柏駅東口第一駐輪場	6	29.0	
15	増尾駅東口第一駐輪場	7	31.0	
16	増尾駅西口第一駐輪場	337	33.2	
17	逆井駅東口第一駐輪場	2	26.9	
18	逆井駅西口第一駐輪場	7	31.0	
19	高柳駅東口第三駐輪場	2	26.7	
20	高柳駅東口第五駐輪場	10	10.0	
21	南柏駅東口第一駐輪場	4,149	8.0	
22	南柏駅東口第二駐輪場	2	31.0	
23	北柏駅南口第一駐輪場	1,293	5.0	
24	北柏駅南口第二駐輪場	154	23.2	
25	北柏駅南口第三駐輪場	8	17.7	
26	南柏駅西口第一駐輪場	2	11.0	
27	南柏駅西口第二駐輪場	569	11.1	
28	柏の葉キャンパス駅定期第1駐輪場	15	9.6	
29	柏たなか駅第一駐輪場	8	10.9	
	平均	458	22.1	
	合計	13,276	－	

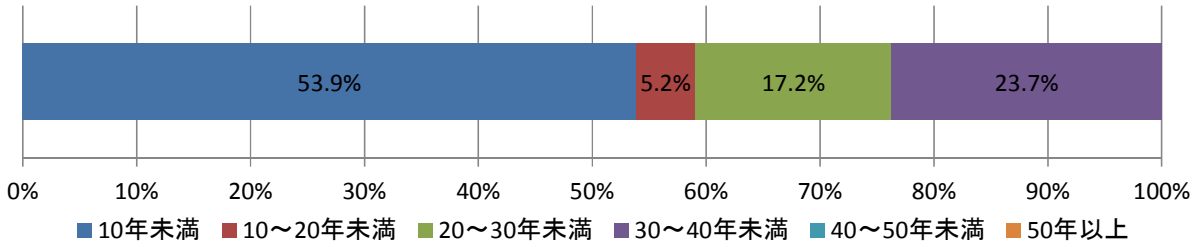


図 3-142　駐輪場の経過年数別延床面積構成比

表 3-198　市営駐車場の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	市営駐車場	8,761	16.1	

表 3-199　篠籠田自転車保管所の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	篠籠田自転車保管所	542	49.5	

③ その他施設

・シルバー人材センター事務所は，建築から 27 年が経過しています。

表 3-200　その他施設の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	シルバー人材センター事務所	273	27.0	

(3) 利用状況

① 公設市場

(i) 公設市場における取扱数量および取扱金額の推移

・取扱数量および取扱金額ともに，水産物部・青果部は減少傾向にありますが，花き部は微増の傾向にあります。

表 3-201　過去 10 年間の取扱数量の推移

種別	取扱数量(t)									
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
水産物部	27,798	25,718	25,831	24,146	23,188	21,189	19,244	17,880	16,567	16,077
青果部	39,315	35,060	31,881	28,777	26,720	22,533	21,880	21,084	19,565	18,524

種別	取扱数量(点)									
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
花き部	12,095,826	16,424,841	16,337,455	16,645,156	17,199,699	15,940,325	17,778,195	21,069,582	21,817,431	20,309,521

表 3-202　過去 10 年間の取扱金額の推移

種別	取扱金額(千円)									
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
水産物部	24,863,028	24,360,328	24,087,953	22,519,970	20,885,099	19,432,250	18,340,060	16,716,666	16,061,035	16,602,376
青果部	7,855,322	7,412,830	6,712,558	5,989,562	5,442,931	5,202,710	4,689,172	4,285,716	4,402,792	4,284,417
花き部	745,954	1,111,176	1,106,186	1,055,706	1,075,935	1,005,364	1,084,013	1,180,876	1,267,932	1,254,215
合計	33,464,304	32,884,334	31,906,697	29,565,238	27,403,965	25,640,324	24,113,245	22,183,258	21,731,759	22,141,008

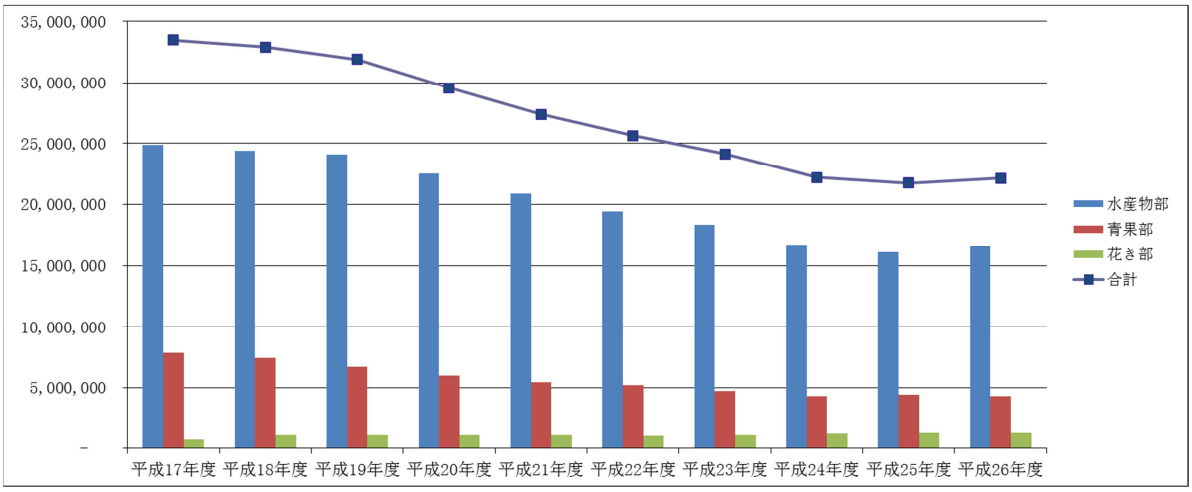


図 3-143　過去 10 年間の取扱金額の推移（千円）

② 駐輪場および駐車場等

・駐輪場の利用台数は年間約 81 万台前後で推移しています。柏駅東口第一駐輪場の利用台数が最も多く，次いで，柏駅西口第一駐輪場，南柏駅東口第一駐輪場の順となっています。
・敷地面積あたりの利用台数をみると，柏駅東口第一駐輪場が最も多く，次いで，柏駅東口第二駐輪場，高柳駅東口第五駐輪場の順となっています。
・市営駐車場の利用台数は，年間 19 万台です。
・篠籠田自転車保管所における，保管自転車の年間引き取り（返還）台数は，年間約 1,300 台ですが，年々，減少しています。
※柏市が管理する駐輪場には，立体駐輪場や屋外駐輪場等，様々なタイプがありますが，各駐輪場の面積あたりの利用台数を比較する際に，延床面積あたり利用台数をみると，管理棟等しかない屋外駐輪場では，見かけ上利用状況が高くなるため，以下の分析では，敷地面積あたりの利用台数で比較することとしました。

表 3-203　駐輪場の利用状況

No.	施設名称	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	利用台数(台)				敷地面積1㎡あたり利用台数（台/㎡）
				平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均	
1	柏駅東口第一駐輪場	451	431	214,036	207,877	220,874	214,262	497
2	柏駅東口第二駐輪場	333	155	76,457	77,170	76,489	76,705	494
3	柏駅東口第三駐輪場	2,117	1,209	12,288	30,797	19,883	20,989	17
4	柏駅東口第四駐輪場	2	603	634	705	712	684	1
5	柏駅東口第六駐輪場	74	679	10,502	11,750	11,264	11,172	16
6	柏駅西口第一駐輪場	1,995	1,119	89,094	100,129	101,263	96,829	87
7	柏駅西口第五駐輪場	2	319	9,054	9,799	10,638	9,830	31
8	柏駅西口第七駐輪場	1,694	808	6,464	5,982	4,993	5,813	7
9	柏駅西口第八駐輪場	13	430	288	293	274	285	1
10	北柏駅北口第一駐輪場	8	3,314	33,615	33,865	31,877	33,119	10
11	北柏駅北口第二駐輪場	5	311	196	176	154	175	1
12	豊四季駅南口第一駐輪場	5	648	199	174	176	183	0
13	豊四季駅北口第一駐輪場	8	1,623	15,060	15,010	14,419	14,830	9
14	新柏駅東口第一駐輪場	6	500	6,011	6,246	6,869	6,375	13
15	増尾駅東口第一駐輪場	7	571	1,465	1,238	1,296	1,333	2
16	増尾駅西口第一駐輪場	337	1,445	41,051	43,245	41,353	41,883	29
17	逆井駅東口第一駐輪場	2	612	371	364	365	367	1
18	逆井駅西口第一駐輪場	7	1,116	753	764	837	785	1
19	高柳駅東口第三駐輪場	2	851	761	773	734	756	1
20	高柳駅東口第五駐輪場	10	428	77,921	81,444	77,428	78,931	184
21	南柏駅東口第一駐輪場	4,149	2,063	95,603	102,711	101,527	99,947	48
22	南柏駅東口第二駐輪場	2	408	3,099	3,575	3,417	3,364	8
23	北柏駅南口第一駐輪場	1,293	789	17,271	15,087	13,632	15,330	19
24	北柏駅南口第二駐輪場	154	594	3,066	2,384	2,540	2,663	4
25	北柏駅南口第三駐輪場	8	437	75,588	76,273	74,970	75,610	173
26	南柏駅西口第一駐輪場	2	731	0	0	0	0	0
27	南柏駅西口第二駐輪場	569	3,079	0	0	0	0	0
28	柏の葉キャンパス駅定期第1駐輪場	15	1,888	0	0	0	0	0
29	柏たなか駅第一駐輪場	8	1,048	0	0	0	0	0
	平均	458	973	27,271	28,546	28,206	28,008	57
	合計	13,276	28,210	790,847	827,831	817,984	812,221	－

※南柏駅西口第一駐輪場，南柏駅西口第二駐輪場，柏の葉キャンパス駅定期第１駐輪場，柏たなか駅第一駐輪場は，建物公設による民間運営の駐輪場であるため，利用台数は把握しておりません。

表 3-204　過去 3 年間の駐輪場定期利用と一時利用

No	施設名称	利用者数(人)									
		H24		H25		H26		3年平均			
		定期利用	一時利用	定期利用	一時利用	定期利用	一時利用	定期利用	一時利用	定期利用	一時利用
1	柏駅東口第一駐輪場	872	213,164	815	207,062	791	220,083	826	213,436	826	213,436
2	柏駅東口第二駐輪場	249	76,208	257	76,913	253	76,236	253	76,452	253	76,452
3	柏駅東口第三駐輪場	2,297	9,991	2,403	28,394	2,479	17,404	2,393	18,596	2,393	18,596
4	柏駅東口第四駐輪場	634	－	705	－	712	－	684	－	684	－
5	柏駅東口第六駐輪場	307	10,195	289	11,461	315	10,949	304	10,868	304	10,868
6	柏駅西口第一駐輪場	2,128	86,966	2,249	97,880	2,184	99,079	2,187	94,642	2,187	94,642
7	柏駅西口第五駐輪場	241	8,813	198	9,601	257	10,381	232	9,598	232	9,598
8	柏駅西口第七駐輪場	1,180	5,284	1,251	4,731	1,167	3,826	1,199	4,614	1,199	4,614
9	柏駅西口第八駐輪場	288	－	293	－	274	－	285	－	285	－
10	北柏駅北口第一駐輪場	2,640	30,975	2,493	31,372	2,350	29,527	2,494	30,625	2,494	30,625
11	北柏駅北口第二駐輪場	196	－	176	－	154	－	175	－	175	－
12	豊四季駅南口第一駐輪場	199	－	174	－	176	－	183	－	183	－
13	豊四季駅北口第一駐輪場	757	14,303	749	14,261	732	13,687	746	14,084	746	14,084
14	新柏駅東口第一駐輪場	444	5,567	454	5,792	465	6,404	454	5,921	454	5,921
15	増尾駅東口第一駐輪場	148	1,317	138	1,100	151	1,145	146	1,187	146	1,187
16	増尾駅西口第一駐輪場	1,371	39,680	1,297	41,948	1,304	40,049	1,324	40,559	1,324	40,559
17	逆井駅東口第一駐輪場	371	－	364	－	365	－	367	－	367	－
18	逆井駅西口第一駐輪場	753	－	764	－	837	－	785	－	785	－
19	高柳駅東口第三駐輪場	761	－	773	－	734	－	756	－	756	－
20	高柳駅東口第五駐輪場	－	77,921	－	81,444	－	77,428	－	78,931	－	78,931
21	南柏駅東口第一駐輪場	3,845	91,758	3,888	98,823	3,723	97,804	3,819	96,128	3,819	96,128
22	南柏駅東口第二駐輪場	118	2,981	119	3,456	115	3,302	117	3,246	117	3,246
23	北柏駅南口第一駐輪場	840	16,431	861	14,226	858	12,774	853	14,477	853	14,477
24	北柏駅南口第二駐輪場	85	2,981	81	2,303	79	2,461	82	2,582	82	2,582
25	北柏駅南口第三駐輪場	301	75,287	273	76,000	260	74,710	278	75,332	278	75,332
26	南柏駅西口第一駐輪場	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
27	南柏駅西口第二駐輪場	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
28	柏の葉キャンパス駅定期第1駐輪場	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
29	柏たなか駅第一駐輪場	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	平均	876	42,768	878	44,820	864	44,292	873	43,960	873	43,960
	合計	21,025	769,822	21,064	806,767	20,735	797,249	20,941	791,279		

表 3-205　市営駐車場の利用状況

No.	施設名称	延床面積（㎡）	利用台数(台)			
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均
1	市営駐車場	8,761	188,523	190,757	190,889	190,056

表 3-206　篠籠田自転車保管所の利用状況

No.	施設名称	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	保管自転車引き取り台数(台)			
				平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均
1	篠籠田自転車保管所	542	5,452	1,417	1,374	1,129	1,307

③ その他施設

・シルバー人材センターの登録者数は，約 1,300 人で推移しています。

表 3-207 その他施設の利用状況

No.	施設名称	登録者数(人)			
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	3年平均
1	シルバー人材センター事務所	1,366	1,308	1,346	1,340

(4) コスト状況

① 公設市場

・公設市場の市負担額については，収入が支出を上回っており，純収入（＝収入－支出）は.2.7 億円となっています。
・延床面積あたりの施設に係るコストをみると，光熱水費とその他が多くを占めています。

表 3-208　公設市場のコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）							
		支出					収入総額（千円）⑦	市負担額（千円）⑧（⑥－⑦）	延床面積あたりの市負担額（円/㎡）⑨
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）			
1	公設市場	366,545	14,347	86,639	0	467,531	739,819	−272,288	−7,810

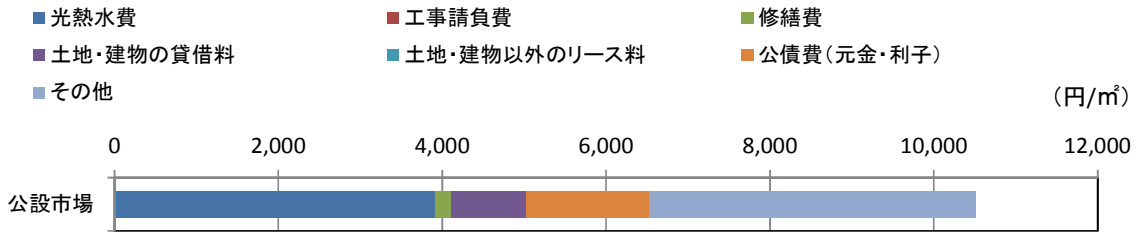


図 3-144　公設市場の延床面積あたり施設に係るコスト

② 駐輪場および駐車場等

・市負担額の平均値をみると，収入が支出を上回っており，純収入（＝収入－支出）は合計で約 1,300 万円となっています。柏駅東口第一駐輪場が最も多く，次いで，柏駅東口第三駐輪場，高柳駅東口第五駐輪場の順で多くなっています。
・利用台数１台あたりの純収入をみると，北柏駅北口第二駐輪場が最も多く，次いで，豊四季駅南口第一駐輪場，逆井駅東口第一駐輪場の順となります。
・敷地面積あたりの施設に係るコストをみると，柏駅東口第二駐輪場の土地・建物の貸借料が多くなっています。
・利用台数１台あたりの事業運営・人に係るコストをみると，柏駅西口第八駐輪場の事業運営に係るその他費用が多くなっています。

表 3-209　駐輪場のコスト状況

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）						
		支出				収入総額（千円）⑦	市負担額（千円）⑧（⑥－⑦）	利用台数1台あたり市負担額（円/台）⑨
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）			
1	柏駅東口第一駐輪場	1,177	12,173	60	13,411	30,104	−16,693	−78
2	柏駅東口第二駐輪場	5,995	11,936	15	17,946	12,655	5,291	69
3	柏駅東口第三駐輪場	1,609	11,296	179	13,085	19,932	−6,847	−326
4	柏駅東口第四駐輪場	788	4,103	44	4,935	2,528	2,407	3,521
5	柏駅東口第六駐輪場	479	4,449	14	4,943	5,075	−132	−12
6	柏駅西口第一駐輪場	5,061	16,554	136	21,751	24,102	−2,350	−24
7	柏駅西口第五駐輪場	3,216	2,906	20	6,142	2,840	3,302	336
8	柏駅西口第七駐輪場	1,509	11,211	96	12,816	9,669	3,147	541
9	柏駅西口第八駐輪場	127	3,119	27	3,274	1,874	1,400	4,911
10	北柏駅北口第一駐輪場	11,230	10,485	209	21,924	19,583	2,341	71
11	北柏駅北口第二駐輪場	23	845	16	884	1,435	−552	−3,146
12	豊四季駅南口第一駐輪場	284	590	33	907	1,269	−362	−1,980
13	豊四季駅北口第一駐輪場	671	5,806	104	6,581	6,433	147	10
14	新柏駅東口第一駐輪場	2,253	3,951	27	6,231	3,605	2,626	412
15	増尾駅東口第一駐輪場	2,038	3,002	30	5,070	958	4,112	3,085
16	増尾駅西口第一駐輪場	5,129	8,520	107	13,756	12,773	983	23
17	逆井駅東口第一駐輪場	395	1,642	19	2,056	2,662	−606	−1,654
18	逆井駅西口第一駐輪場	9,105	275	71	9,451	4,221	5,230	6,666
19	高柳駅東口第三駐輪場	2,747	3,043	47	5,838	5,401	437	578
20	高柳駅東口第五駐輪場	82	3,249	0	3,331	8,258	−4,927	−62
21	南柏駅東口第一駐輪場	0	0	0	0	2,027	−2,027	−20
22	南柏駅東口第二駐輪場	0	0	0	0	2,019	−2,019	−600
23	北柏駅南口第一駐輪場	0	0	0	0	2,020	−2,020	−132
24	北柏駅南口第二駐輪場	0	0	0	0	2,019	−2,019	−758
25	北柏駅南口第三駐輪場	223	0	0	223	2,019	−1,796	−24
	平均	1,867	4,109	43	6,019	6,476	−457	456
	合計	54,143	119,154	1,256	174,553	187,804	−13,251	−

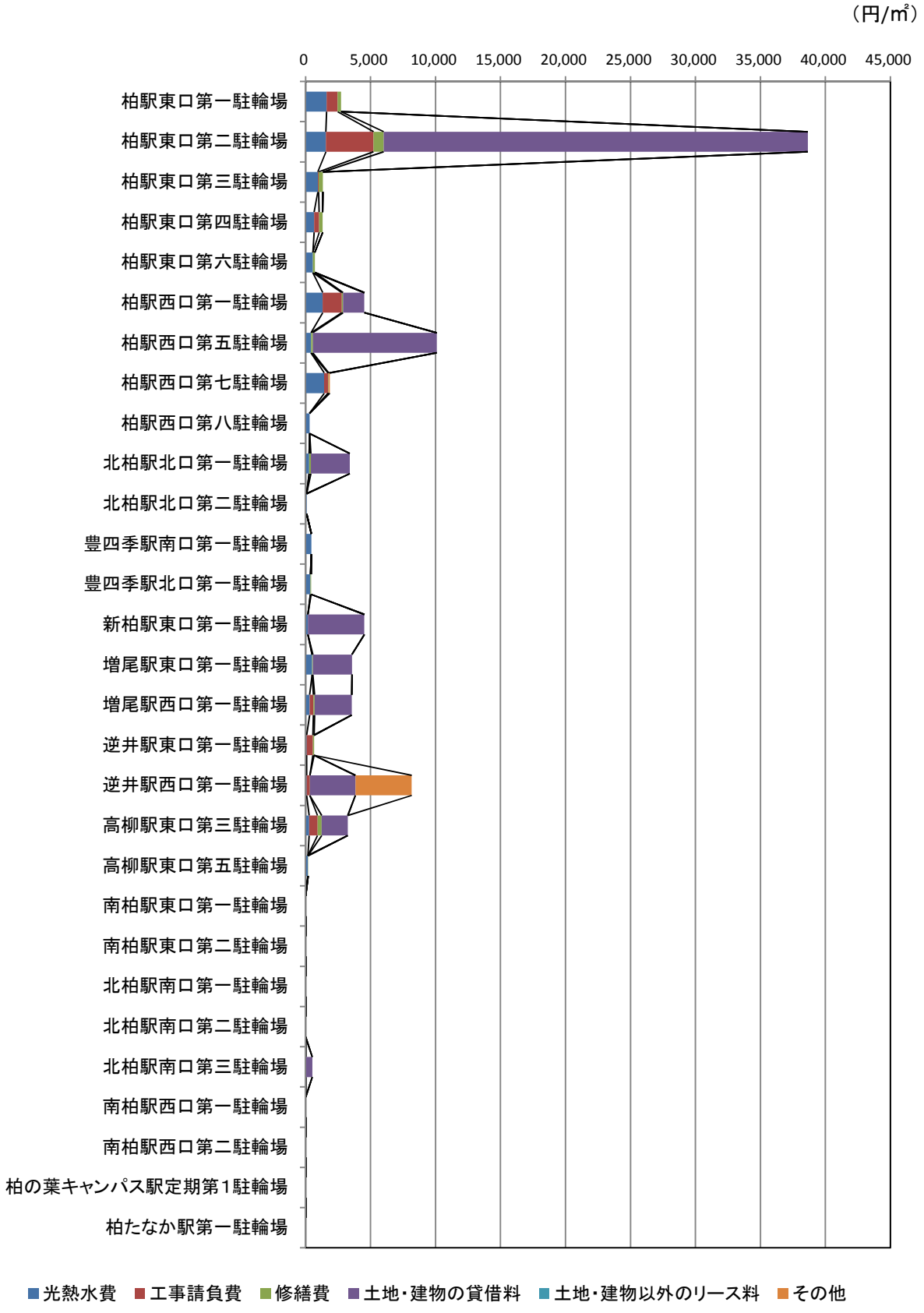
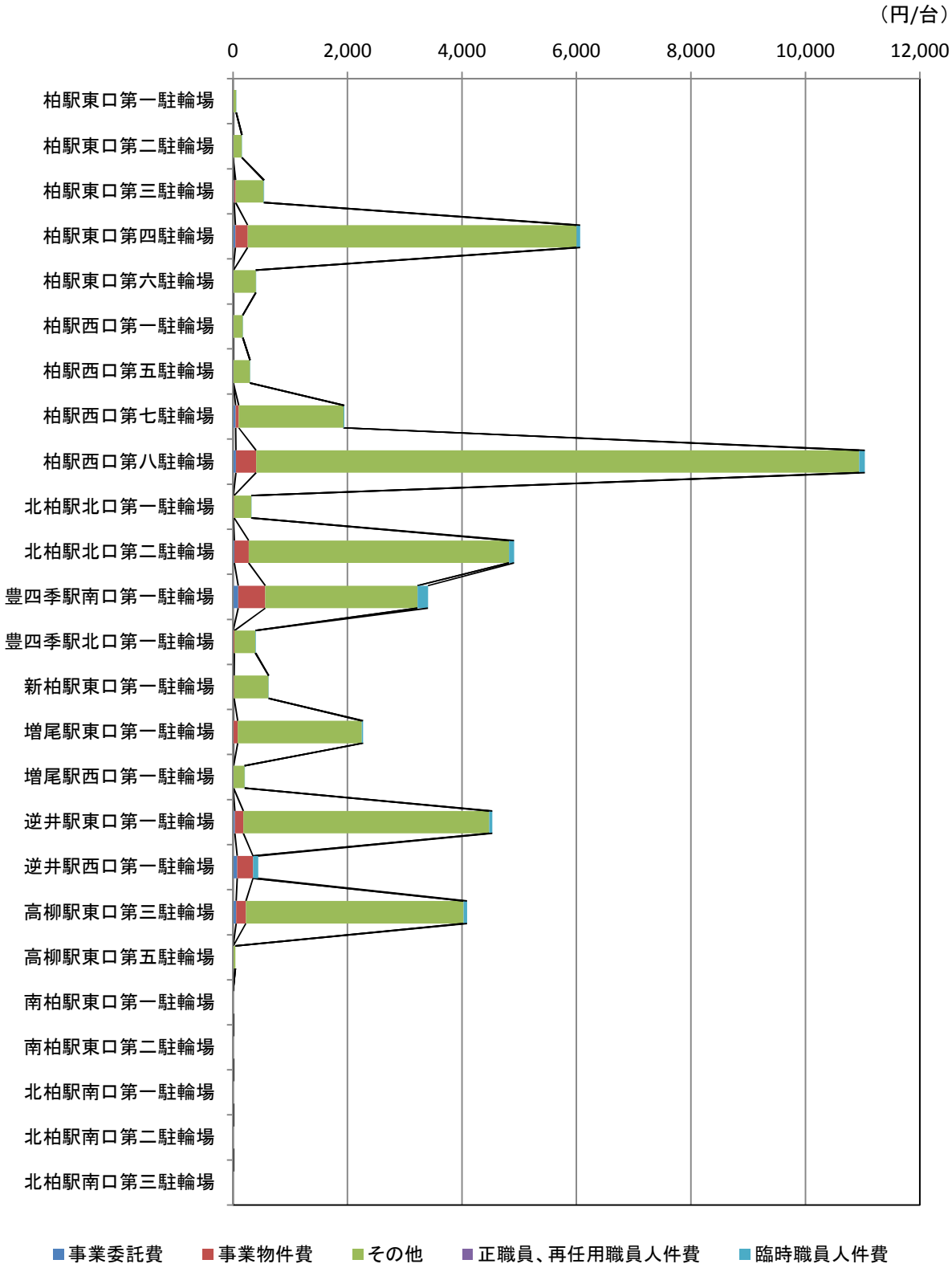


図 3-145　駐輪場の敷地面積あたり施設に係るコスト



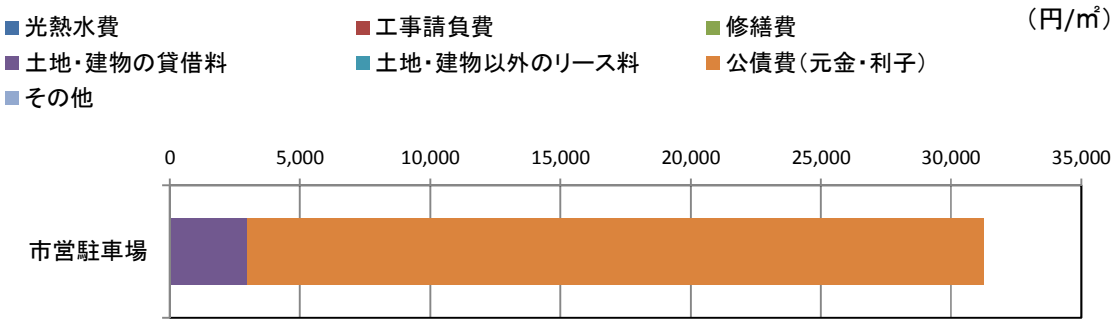
※南柏駅西口第一駐輪場，南柏駅西口第二駐輪場，柏の葉キャンパス駅定期第１駐輪場，柏たなか駅第一駐輪場の利用台数は把握していないため，上記グラフには含めておりません。

図 3-146　駐輪場の利用台数１台あたり事業運営・人に係るコスト

・市営駐車場の市負担額は，支出が収入を上回っているため，市負担額は約 1.5 億円となっています。
・支出について，施設に係るコスト（公債費）が多くなっています。

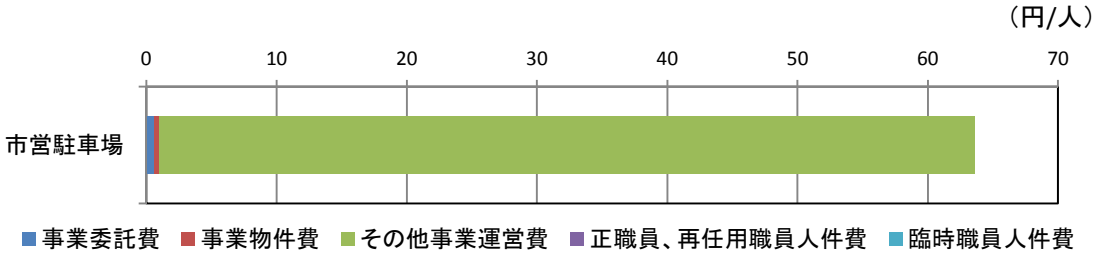
表 3-210　市営駐車場のコスト

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）							
		支出					収入総額（千円）⑦	市負担額（千円）⑧（⑥－⑦）	利用台数1台あたりの市負担額（円／台）⑨
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）			
1	市営駐車場	273,703	12,081	0	51,973	337,757	187,069	150,688	793



※市営駐車場は，指定管理料を別途支出しています。

図 3-147　市営駐車場の延床面積あたり施設に係るコスト



※市営駐車場は，指定管理料を別途支出しています。

図 3-148　市営駐車場の利用台数 1 台あたり事業運営・人に係るコスト

・篠籠田自転車保管所の市負担額は，年間約 430 万円です。
・支出について，事業運営に係るその他の費用が最も多くなっています。

表 3-211　篠籠田自転車保管所のコスト

No.	施設名称	市の収支（平成24年度から平成26年度までの3か年の平均値）							
		支出					収入総額（千円）⑦	市負担額（千円）⑧（⑥－⑦）	保管自転車引き取り1台あたりの市負担額（円／台）⑨
		施設に係るコスト（千円）①	事業運営に係るコスト（千円）②	人に係るコスト（千円）③	指定管理料（千円）④	支出総額（千円）⑤（①＋②＋③＋④）			
1	篠籠田自転車保管所	416	11,349	0	0	11,765	7,430	4,335	3,318

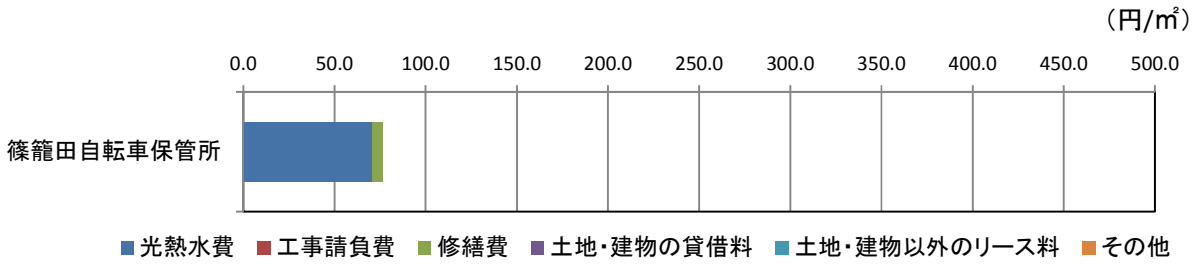


図 3-149　篠籠田自転車保管所の敷地面積あたり施設に係るコスト

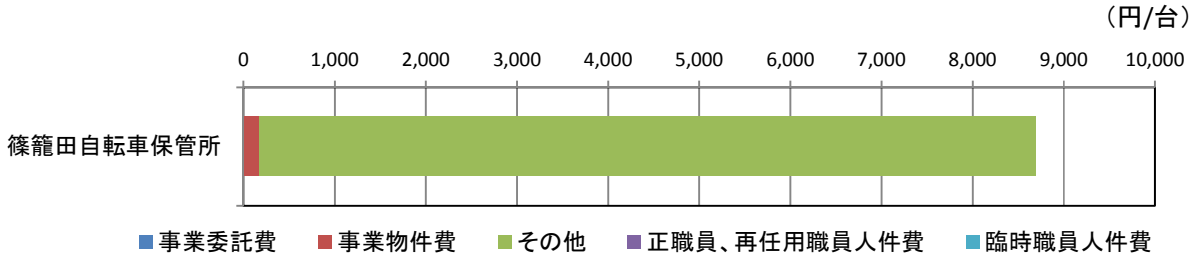


図 3-150　篠籠田自転車保管所の利用者利用台数 1 台あたり事業運営・人に係るコスト

(5) 施設現況のまとめ

① 駐輪場

・柏駅東口第一駐輪場は，利用台数が最も多く，収支も良好なことから，供給面・財務面（ソフト）では最も高くなっています。一方，経過年数は最も古く，品質面（ハード）では低くなります。

・財務面（ソフト）では，逆井駅西口第一駐輪場や柏駅西口第八駐輪場，増尾駅東口第一駐輪場や柏駅東口第四駐輪場は，コストに対して利用台数が少なくなっているため，市の費用負担が大きくなっています。

表 3-212　駐輪場の品質面（ハード）の分析

No.	施設名称	延床面積（㎡）	品質		品質（ハード）平均偏差値
			経過年数(年)	偏差値	
1	柏駅東口第一駐輪場	451	36.5	40.5	40.5
2	柏駅東口第二駐輪場	333	36.1	40.8	40.8
3	柏駅東口第三駐輪場	2,117	27.1	48.3	48.3
4	柏駅東口第四駐輪場	2	31.0	45.0	45.0
5	柏駅東口第六駐輪場	74	12.7	60.2	60.2
6	柏駅西口第一駐輪場	1,995	32.9	43.5	43.5
7	柏駅西口第五駐輪場	2	29.0	46.7	46.7
8	柏駅西口第七駐輪場	1,694	3.0	68.2	68.2
9	柏駅西口第八駐輪場	13	18.3	55.6	55.6
10	北柏駅北口第一駐輪場	8	31.0	45.0	45.0
11	北柏駅北口第二駐輪場	5	17.8	55.9	55.9
12	豊四季駅南口第一駐輪場	5	20.7	53.5	53.5
13	豊四季駅北口第一駐輪場	8	30.1	45.8	45.8
14	新柏駅東口第一駐輪場	6	29.0	46.7	46.7
15	増尾駅東口第一駐輪場	7	31.0	45.0	45.0
16	増尾駅西口第一駐輪場	337	33.2	43.2	43.2
17	逆井駅東口第一駐輪場	2	26.9	48.5	48.5
18	逆井駅西口第一駐輪場	7	31.0	45.0	45.0
19	高柳駅東口第三駐輪場	2	26.7	48.6	48.6
20	高柳駅東口第五駐輪場	10	10.0	62.4	62.4
21	南柏駅東口第一駐輪場	4,149	8.0	64.0	64.0
22	南柏駅東口第二駐輪場	2	31.0	45.0	45.0
23	北柏駅南口第一駐輪場	1,293	5.0	66.5	66.5
24	北柏駅南口第二駐輪場	154	23.2	51.5	51.5
25	北柏駅南口第三駐輪場	8	17.7	56.1	56.1
	平均	507	24.0	50.9	50.9
	合計	12,682	－	－	－

表 3-213　駐輪場の供給面（ソフト）の分析

No.	施設名称	敷地面積（㎡）	供給				供給（ソフト）平均偏差値
			利用台数（台）	偏差値	敷地面積1㎡あたり利用台数（台/㎡）	偏差値	
1	柏駅東口第一駐輪場	431	214,262	86.1	497	81.1	83.6
2	柏駅東口第二駐輪場	155	76,705	58.8	494	81.0	69.9
3	柏駅東口第三駐輪場	1,209	20,989	47.7	17	46.5	47.1
4	柏駅東口第四駐輪場	603	684	43.7	1	45.3	44.5
5	柏駅東口第六駐輪場	679	11,172	45.8	16	46.4	46.1
6	柏駅西口第一駐輪場	1,119	96,829	62.8	87	51.5	57.1
7	柏駅西口第五駐輪場	319	9,830	45.5	31	47.4	46.5
8	柏駅西口第七駐輪場	808	5,813	44.7	7	45.7	45.2
9	柏駅西口第八駐輪場	430	285	43.6	1	45.3	44.4
10	北柏駅北口第一駐輪場	3,314	33,119	50.1	10	45.9	48.0
11	北柏駅北口第二駐輪場	311	175	43.6	1	45.2	44.4
12	豊四季駅南口第一駐輪場	648	183	43.6	0	45.2	44.4
13	豊四季駅北口第一駐輪場	1,623	14,830	46.5	9	45.9	46.2
14	新柏駅東口第一駐輪場	500	6,375	44.8	13	46.1	45.5
15	増尾駅東口第一駐輪場	571	1,333	43.8	2	45.4	44.6
16	増尾駅西口第一駐輪場	1,445	41,883	51.9	29	47.3	49.6
17	逆井駅東口第一駐輪場	612	367	43.6	1	45.3	44.4
18	逆井駅西口第一駐輪場	1,116	785	43.7	1	45.3	44.5
19	高柳駅東口第三駐輪場	851	756	43.7	1	45.3	44.5
20	高柳駅東口第五駐輪場	428	78,931	59.2	184	58.5	58.9
21	南柏駅東口第一駐輪場	2,063	99,947	63.4	48	48.7	56.1
22	南柏駅東口第二駐輪場	408	3,364	44.2	8	45.8	45.0
23	北柏駅南口第一駐輪場	789	15,330	46.6	19	46.6	46.6
24	北柏駅南口第二駐輪場	594	2,663	44.1	4	45.5	44.8
25	北柏駅南口第三駐輪場	437	75,610	58.6	173	57.7	58.2
	平均	859	32,489	50.0	66	50.0	50.0
	合計	21,464	812,221	－	－	－	－

表 3-214　駐輪場の財務面（ソフト）の分析

No.	施設名称	敷地面積（㎡）	財務				財務（ソフト）平均偏差値
			市負担額（千円）	偏差値	利用台数あたりの市負担額（円/台）	偏差値	
1	柏駅東口第一駐輪場	431	−16,693	86.1	−78	52.6	69.4
2	柏駅東口第二駐輪場	155	5,291	37.3	69	51.9	44.6
3	柏駅東口第三駐輪場	1,209	−6,847	64.3	−326	53.8	59.0
4	柏駅東口第四駐輪場	603	2,407	43.7	3,521	35.3	39.5
5	柏駅東口第六駐輪場	679	−132	49.3	−12	52.3	50.8
6	柏駅西口第一駐輪場	1,119	−2,350	54.3	−24	52.3	53.3
7	柏駅西口第五駐輪場	319	3,302	41.7	336	50.6	46.1
8	柏駅西口第七駐輪場	808	3,147	42.0	541	49.6	45.8
9	柏駅西口第八駐輪場	430	1,400	45.9	4,911	28.6	37.2
10	北柏駅北口第一駐輪場	3,314	2,341	43.8	71	51.9	47.8
11	北柏駅北口第二駐輪場	311	−552	50.3	−3,146	67.3	58.8
12	豊四季駅南口第一駐輪場	648	−362	49.8	−1,980	61.7	55.8
13	豊四季駅北口第一駐輪場	1,623	147	48.7	10	52.1	50.4
14	新柏駅東口第一駐輪場	500	2,626	43.2	412	50.2	46.7
15	増尾駅東口第一駐輪場	571	4,112	39.9	3,085	37.4	38.6
16	増尾駅西口第一駐輪場	1,445	983	46.8	23	52.1	49.5
17	逆井駅東口第一駐輪場	612	−606	50.4	−1,654	60.1	55.3
18	逆井駅西口第一駐輪場	1,116	5,230	37.4	6,666	20.1	28.8
19	高柳駅東口第三駐輪場	851	437	48.1	578	49.4	48.7
20	高柳駅東口第五駐輪場	428	−4,927	60.0	−62	52.5	56.2
21	南柏駅東口第一駐輪場	2,063	−2,027	53.5	−20	52.3	52.9
22	南柏駅東口第二駐輪場	408	−2,019	53.5	−600	55.1	54.3
23	北柏駅南口第一駐輪場	789	−2,020	53.5	−132	52.8	53.2
24	北柏駅南口第二駐輪場	594	−2,019	53.5	−758	55.8	54.7
25	北柏駅南口第三駐輪場	437	−1,796	53.0	−24	52.3	52.7
	平均	859	−437	50.0	456	50.0	50.0
	合計	21,464	−10,927	−	−	−	−

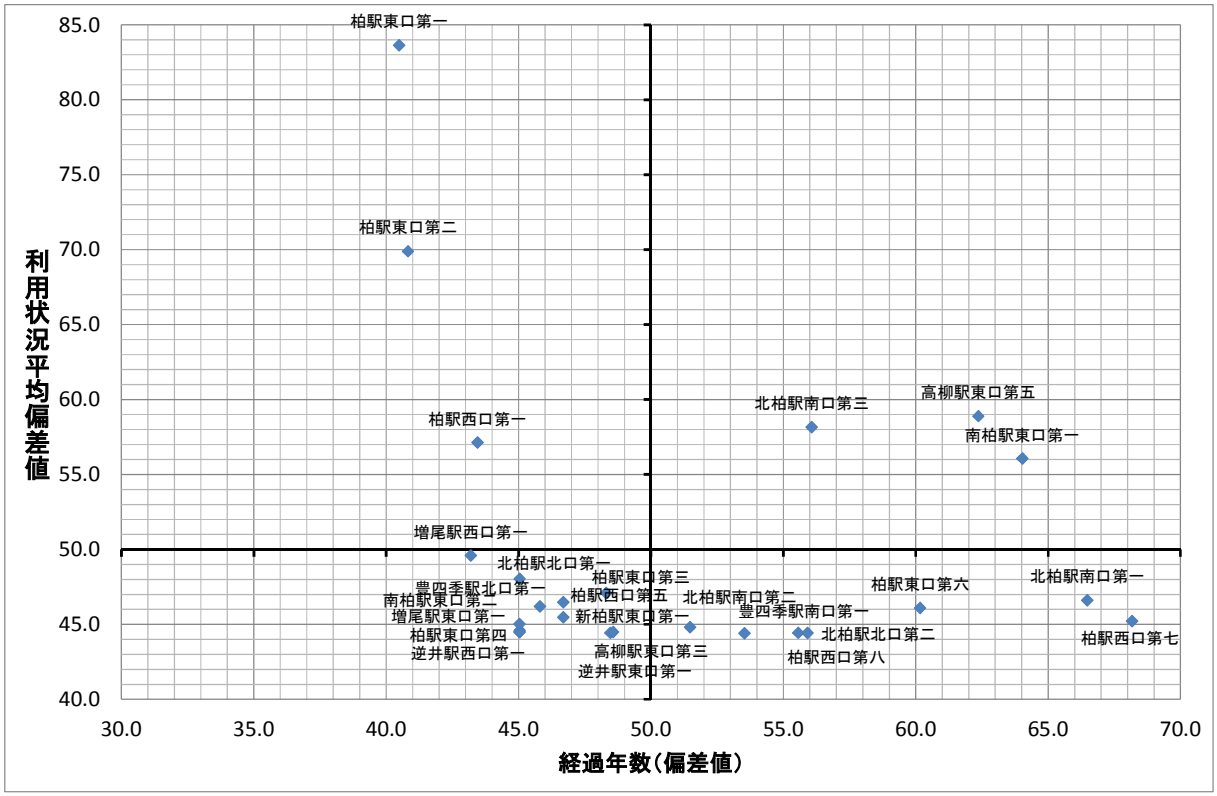


図 3-151　駐輪場の品質面（ハード）・供給面（ソフト）の分析

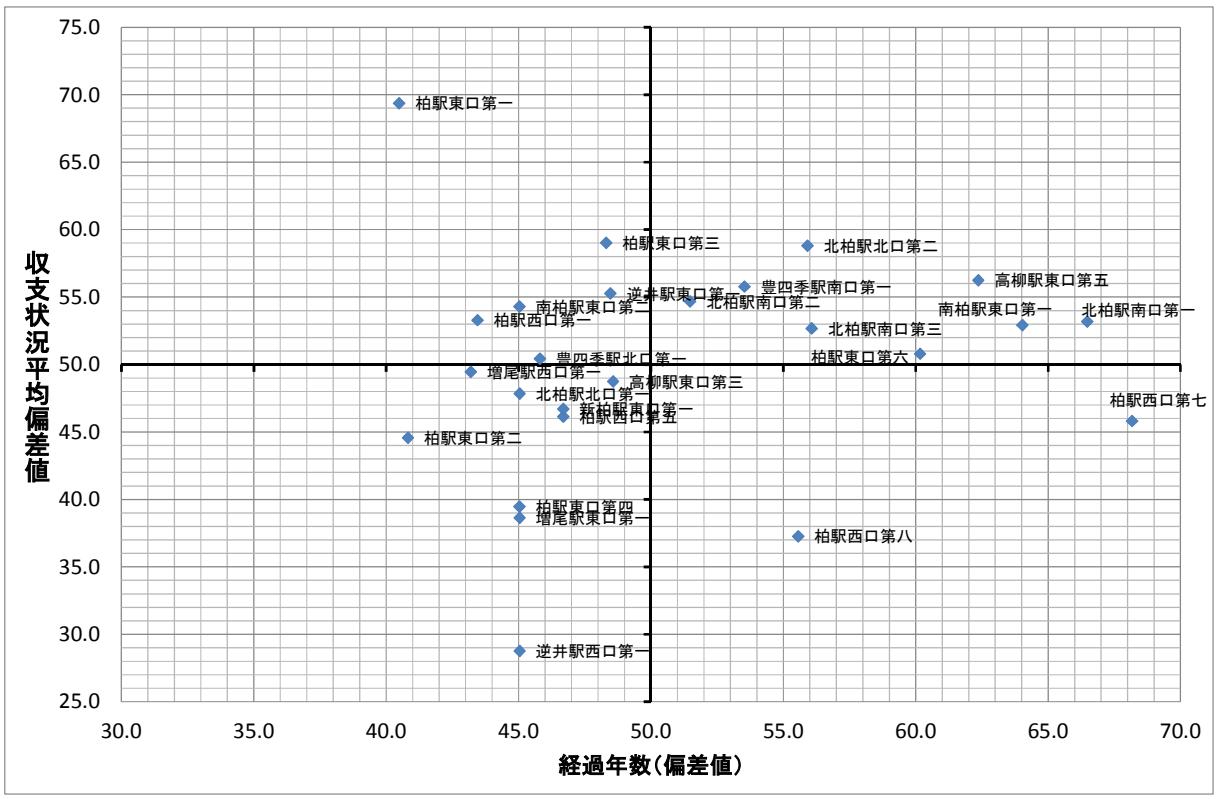


図 3-152　駐輪場の品質面（ハード）・財務面（ソフト）の分析

3-14 01 未利用施設等

(1) 配置状況

・未利用施設等は，市内に 6 施設あり，スポーツ施設，その他教育施設，子育て支援施設，市営住宅およびその他に分類されます。
・旧柏市塚崎市民プールは，健全な体育の振興を図り，市民が身近に水泳を楽しめる施設として設置されましたが，老朽化によるプール槽全体の塗装剥離が発生したため，平成 23 年度をもって廃止され，平成 27 年度に解体の予定です。
・旧利根サイクリング事務所は，市民の健康増進や体力づくりを目的に，利根サイクリングロード利用手段の 1 つとして，レンタサイクル事業を行っていましたが，利用者減少等に伴い，平成 24 年度をもって廃止されました。
・旧柏市立教育研究所分室は，教育相談および就学相談を行ってきましたが，総合保健医療福祉施設（ウェルネス柏）に就学相談，柏市教育委員会教育支援室に教育相談が移転する形で，平成 23 年度をもって廃止されました。
・旧柏市立かしわ幼稚園は，急速な人口増加による私立幼稚園不足を補うために設置されましたが，少子化の影響で徐々に児童数が減少し，設立当初の目的は達成されたと判断され，平成 24 年度をもって廃止されました。
・旧柏市立教育研究所分室および旧柏市立かしわ幼稚園の建物は，（仮称）篠籠田防災公園の計画地内に位置しており，今後，防災備蓄倉庫・避難所として利活用を図る予定です。
・旧東町団地は，公営住宅として設置されていましたが，老朽化に伴い，空き家となった部分から順に建物の解体処分を行い，平成 27 年度に跡地の売却を行いました。
・旧柏市社会福祉センターは，老人・母子・心身障害児（者）等の相談，訓練・娯楽・休養等に利用できる施設として設置されましたが，耐震診断の結果，耐震性が低く市民の安全な利用が確保できないことが判明し，平成 19 年 10 月 1 日をもって廃止されました。

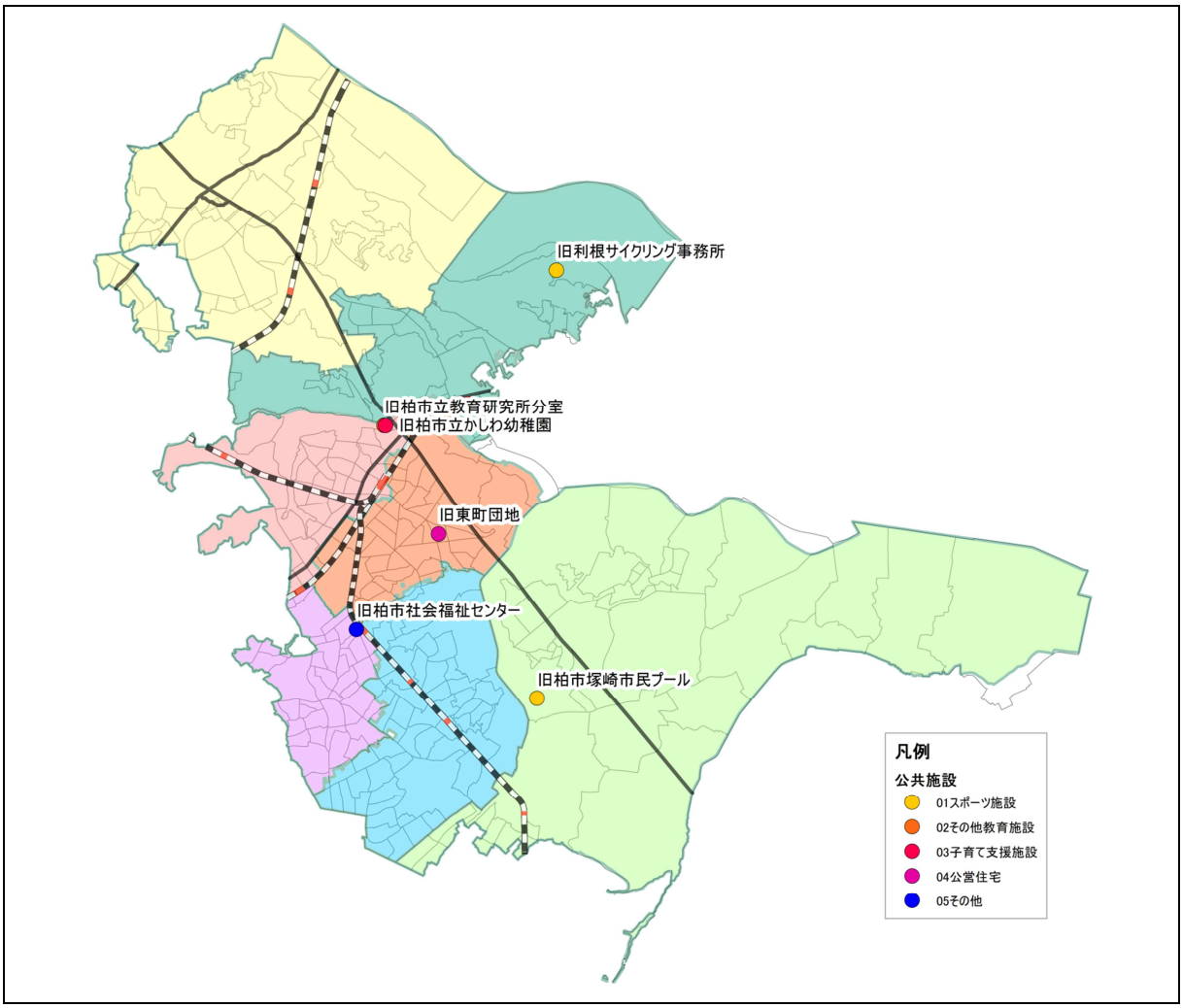


図 3-153　未利用施設等の配置状況

写真 3－31　各施設の写真（未利用施設等）

旧柏市塚崎市民プール	旧利根サイクリング事務所	旧柏市立教育研究所分室
旧柏市立かしわ幼稚園	旧東町団地（現在解体済）	旧柏市社会福祉センター

(2) 経過年数

・未利用施設等の平均経過年数は，40.1 年です。経過年数 40 年以上の建物が全体の約 57%を占めており，全体的に老朽化の状態にあります。

※旧東町団地は，平成 27 年 2 月 20 日をもって全建物の解体が終了しました。

・延床面積が 1,844 ㎡と，施設規模が比較的大きな旧柏市社会福祉センターも，40 年以上が経過しています。

表 3-215　未利用施設等の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	旧柏市塚崎市民プール	87	39.8	
2	旧利根サイクリング事務所	138	27.4	
3	旧柏市立教育研究所分室	376	35.6	
4	旧柏市立かしわ幼稚園	774	37.0	
5	旧東町団地	40	58.0	
6	旧柏市社会福祉センター	1,844	43.0	
	平均	543	40.1	
	合計	3,259	－	

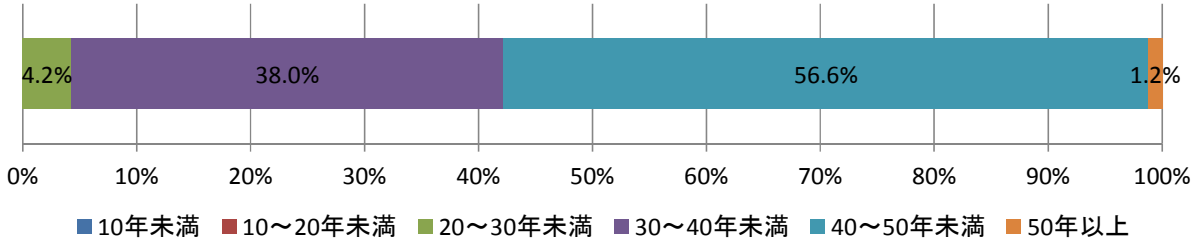


図 3-154　未利用施設等の経過年数別延床面積構成比

3-14 02 廃止予定施設

(1) 配置状況

・廃止予定施設は，市内に 3 施設あり，勤労会館と市営住宅に分類されます。
・柏市勤労会館は，勤労者の文化教養の向上および福祉の増進を目的として設置されましたが，近年では地域労働団体の利用は減少傾向にあり，利用のほとんどが地域サークル団体となっているため，勤労者を対象とした当初の目的は終了したと判断し，廃止予定となっています（平成 27 年 5 月 31 日をもって廃止となりました。今後は，就労支援の拠点施設として活用する予定です。）。
・戸張団地，塚崎第 3 団地は，老朽化に伴い，現居住者の退去をもって廃止する予定です。

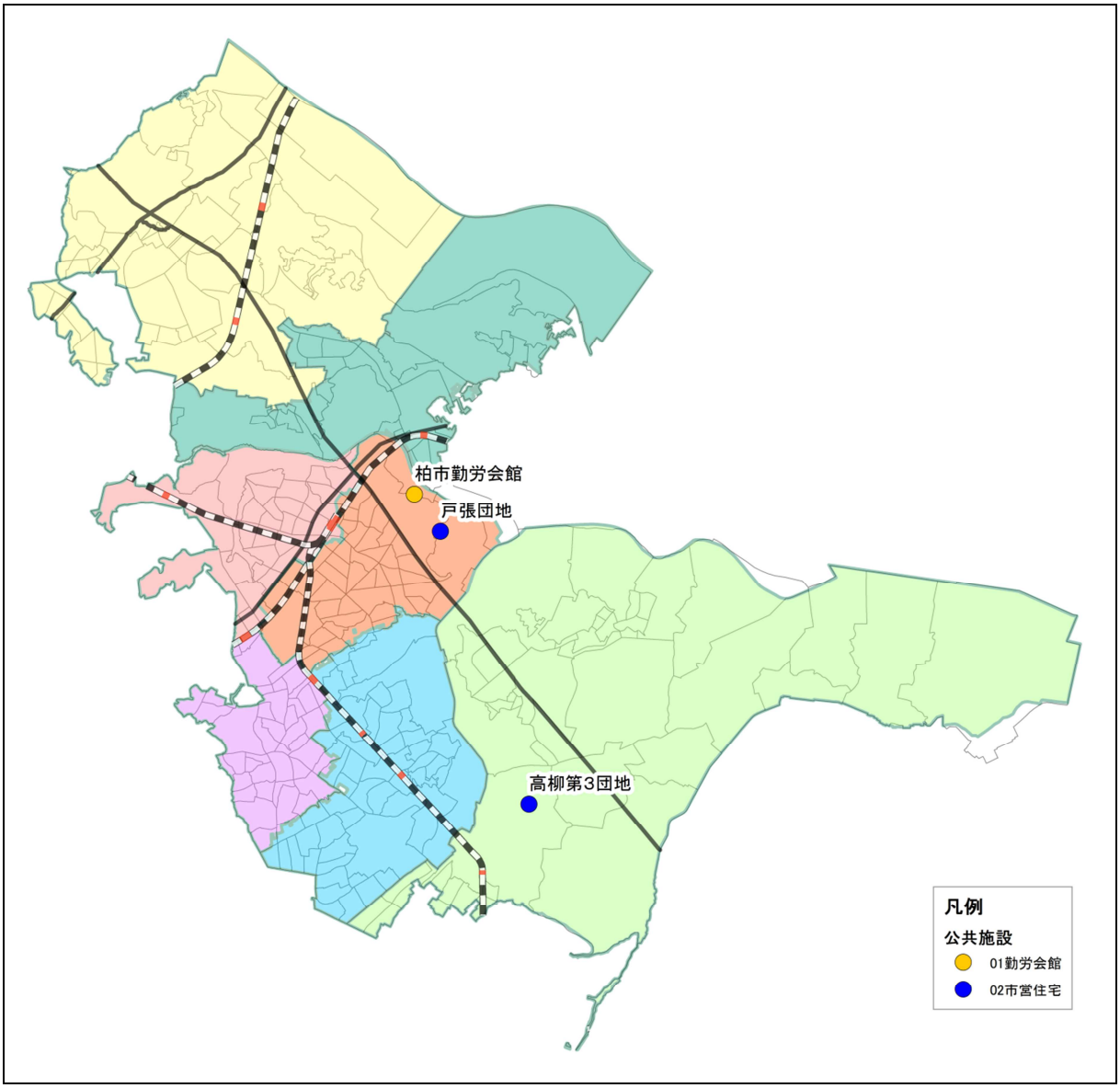


図 3-155　廃止予定施設の配置状況

写真 3－32　各施設の写真（廃止予定施設）

柏市勤労会館

戸張団地

高柳第３団地

(2) 経過年数

・廃止予定施設の平均経過年数は，44.3 年です。経過年数 40 年以上の建物が全体の 77%を占めており，全体的に老朽化が進んでいます。

表 3-216　廃止予定施設の経過年数

No	施設名称	延床面積（㎡）	経過年数（年）	備考
1	柏市勤労会館	603	28.0	中央保健センター内に設置
2	戸張団地	35	59.0	
3	高柳第3団地	1,986	46.0	
	平均	875	44.3	
	合計	2,624	－	

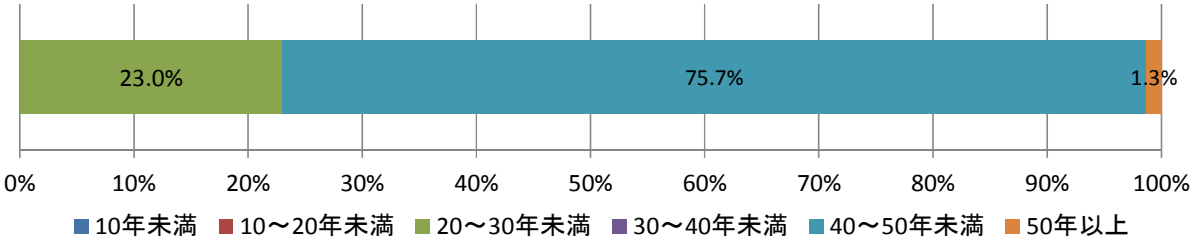


図 3-156　廃止予定施設の経過年数別延床面積構成比

第4章　地域別にみた現状と課題

4-1 圏域構成と地区別公共施設配置状況

【20 コミュニティ［小圏域］】

・柏市では，新旧住民の融和と地域自治意識の向上を目的とした「ふるさと運動」を進めており，近隣センターを活動拠点とした住民組織である「ふるさと協議会」を市内 20 の地区に設けています。その 20 の地区を都市計画マスタープランや高齢者福祉計画等の諸計画で，小圏域として設定しています。

【7 地域［中圏域］】

・高齢者福祉計画等で，身近な地域における適切な日常生活サービスの提供を目指した単位として，上記の 20 のコミュニティエリアを包括した 7 区分の中圏域を設定しています。

【4 地域（ゾーン）［大圏域］】

・第五次総合計画で，上記の 7 区分の中圏域を包括した 4 区分の大圏域を設定しています。

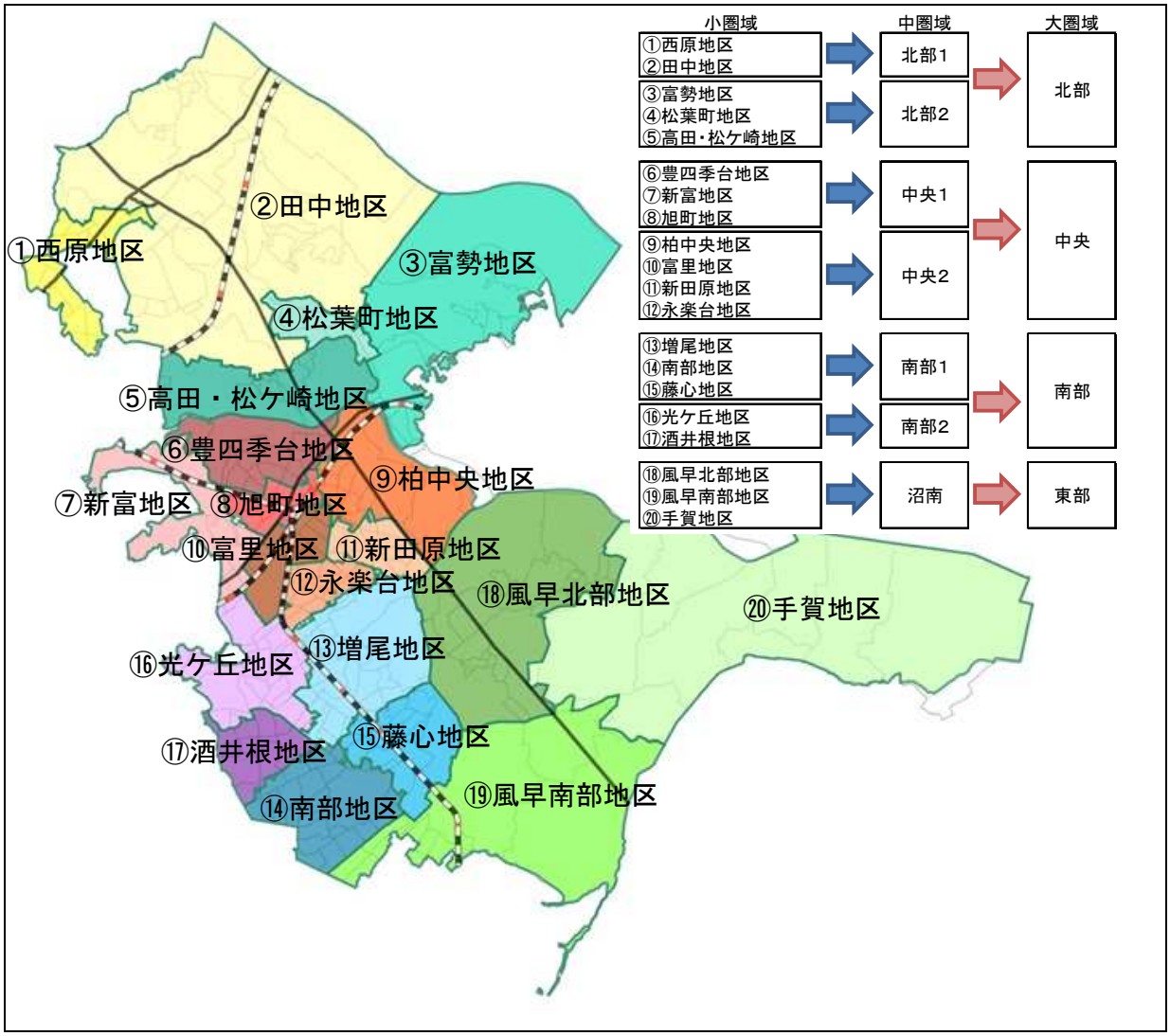
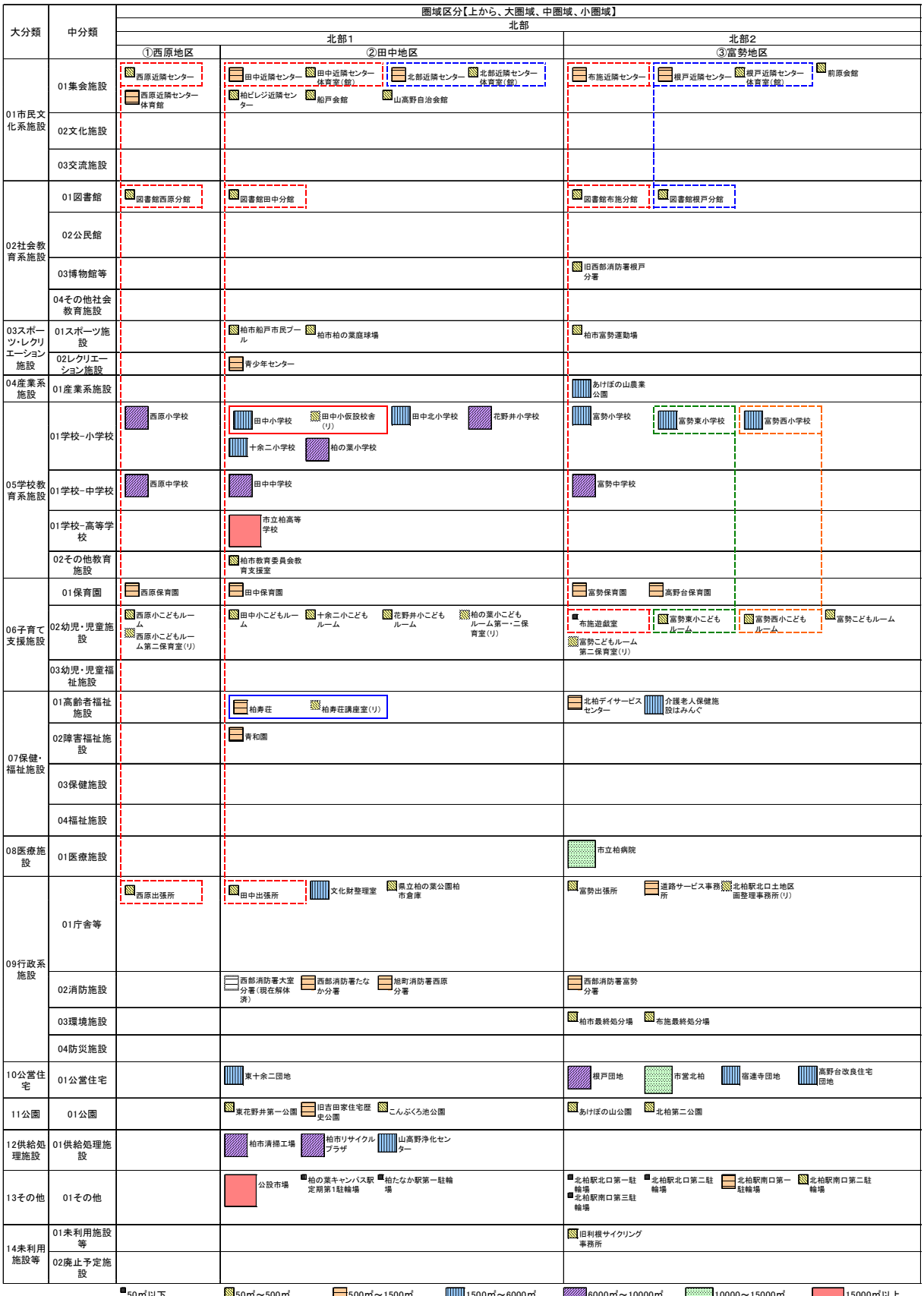


図 4-1　20 コミュニティ

表 4-1　地区別公共施設配置状況

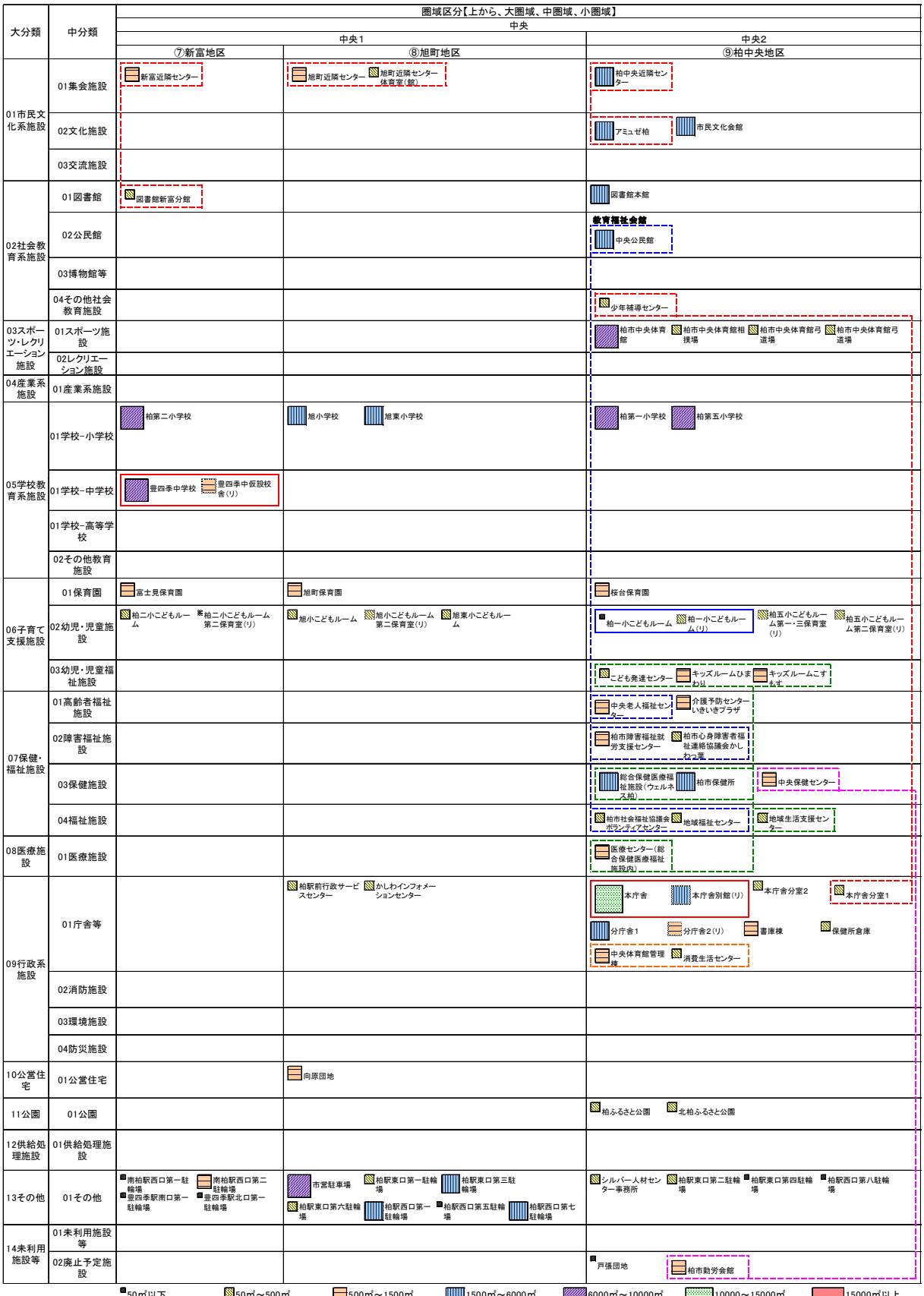


※本表は，「施設白書編」で対象とした施設のみで構成しています。（対象施設のうち，防災備蓄倉庫，消防団器具置場は除く）

大分類	中分類	圏域区分【上から、大圏域、中圏域、小圏域】		
		北部		中央
		北部2		中央1
		④松葉町地区	⑤高田・松ケ崎地区	⑥豊四季台地区
01市民文化系施設	01集会施設	松葉近隣センター 松葉近隣センター体育室(館)	高田近隣センター 高田近隣センター体育室(館)	豊四季台近隣センター 豊四季台近隣センター体育館
	02文化施設			
	03交流施設			
02社会教育系施設	01図書館	図書館松葉分館	図書館高田分館	図書館豊四季台分館
	02公民館			
	03博物館等			
	04その他社会教育施設			
03スポーツ・レクリエーション施設	01スポーツ施設			柏西口第一公園市民プール
	02レクリエーション施設			
04産業系施設	01産業系施設			
05学校教育系施設	01学校-小学校	松葉第一小学校 松葉第二小学校	高田小学校 柏第四小学校	柏第七小学校 柏第六小学校
	01学校-中学校	松葉中学校	柏第五中学校	柏中学校 柏第三中学校
	01学校-高等学校			
	02その他教育施設			
06子育て支援施設	01保育園	松葉保育園		あけぼの保育園 豊四季保育園 豊四季乳児保育園 しこだ保育園
	02幼児・児童施設	松葉一小こどもルーム 松葉二小こどもルーム 松葉二小こどもルーム第二保育室(リ)	高田小こどもルーム 柏四小こどもルーム 柏四小こどもルーム第二保育室(リ)	柏七小こどもルーム しこだ児童センター 豊四季台児童センター 柏六小こどもルーム(リ) 旧豊四季台幼児ルーム控室
	03幼児・児童福祉施設			
07保健・福祉施設	01高齢者福祉施設			豊四季台老人いこいの家
	02障害福祉施設			
	03保健施設			
	04福祉施設			柏地域医療連携センター
08医療施設	01医療施設			
09行政系施設	01庁舎等	松葉出張所		豊四季台出張所
	02消防施設	消防局・西部消防署 消防指令センター		旭町消防署
	03環境施設			
	04防災施設			
10公営住宅	01公営住宅		高田団地	
11公園	01公園			柏西口第二公園
12供給処理施設	01供給処理施設			
13その他	01その他			篠籠田自転車保管所
14未利用施設等	01未利用施設等			旧柏市立教育研究所分室 旧柏市立かしわ幼稚園
	02廃止予定施設			

■50㎡以下　50㎡～500㎡　500㎡～1500㎡　1500㎡～6000㎡　6000㎡～10000㎡　10000～15000㎡　15000㎡以上

(リ)⇒(リース物件)　複合施設　一体で利用されている施設


大分類
中分類
圏域区分【上から、大圏域、中圏域、小圏域】
中央
中央1
中央2
⑦新富地区
⑧旭町地区
⑨柏中央地区
01市民文化系施設
01集会施設
新富近隣センター
旭町近隣センター
旭町近隣センター体育室(館)
柏中央近隣センター
02文化施設
アミュゼ柏
市民文化会館
03交流施設
02社会教育系施設
01図書館
図書館新富分館
図書館本館
02公民館
教育福祉会館
中央公民館
03博物館等
04その他社会教育施設
少年補導センター
03スポーツ・レクリエーション施設
01スポーツ施設
柏市中央体育館
柏市中央体育館相撲場
柏市中央体育館弓道場
柏市中央体育館弓道場
02レクリエーション施設
04産業系施設
01産業系施設
05学校教育系施設
01学校-小学校
柏第二小学校
旭小学校
旭東小学校
柏第一小学校
柏第五小学校
01学校-中学校
豊四季中学校
豊四季中仮設校舎(リ)
01学校-高等学校
02その他教育施設
06子育て支援施設
01保育園
富士見保育園
旭町保育園
桜台保育園
02幼児・児童施設
柏二小こどもルーム
※柏二小こどもルーム第二保育室(リ)
旭小こどもルーム
旭小こどもルーム第二保育室(リ)
旭東小こどもルーム
柏一小こどもルーム
柏一小こどもルーム(リ)
柏五小こどもルーム第一・三保育室(リ)
柏五小こどもルーム第二保育室(リ)
03幼児・児童福祉施設
こども発達センター
キッズルームひまわり
キッズルームこすもす
07保健・福祉施設
01高齢者福祉施設
中央老人福祉センター
介護予防センターいきいきプラザ
02障害福祉施設
柏市障害福祉就労支援センター
柏市心身障害者福祉連絡協議会かしわ支部
03保健施設
総合保健医療福祉施設(ウェルネス柏)
柏市保健所
中央保健センター
04福祉施設
柏市社会福祉協議会ボランティアセンター
地域福祉センター
地域生活支援センター
08医療施設
01医療施設
医療センター(総合保健医療福祉施設内)
09行政系施設
01庁舎等
柏駅前行政サービスセンター
かしわインフォメーションセンター
本庁舎
本庁舎別館(リ)
本庁舎分室2
本庁舎分室1
分庁舎1
分庁舎2(リ)
書庫棟
保健所倉庫
中央体育館管理棟
消費生活センター
02消防施設
03環境施設
04防災施設
10公営住宅
01公営住宅
向原団地
11公園
01公園
柏ふるさと公園
北柏ふるさと公園
12供給処理施設
01供給処理施設
13その他
01その他
南柏駅西口第一駐輪場
南柏駅西口第二駐輪場
豊四季駅南口第一駐輪場
豊四季駅北口第一駐輪場
市営駐車場
柏駅東口第一駐輪場
柏駅東口第三駐輪場
柏駅東口第六駐輪場
柏駅西口第一駐輪場
柏駅西口第五駐輪場
柏駅西口第七駐輪場
シルバー人材センター事務所
柏駅東口第二駐輪場
柏駅東口第四駐輪場
柏駅西口第八駐輪場
14未利用施設等
01未利用施設等
02廃止予定施設
戸張団地
柏市勤労会館
50㎡以下
50㎡～500㎡
500㎡～1500㎡
1500㎡～6000㎡
6000㎡～10000㎡
10000～15000㎡
15000㎡以上
(リ)⇒(リース物件)
複合施設
一体で利用されている施設

大分類	中分類	圏域区分【上から、大圏域、中圏域、小圏域】			
		中央			南部
		中央2			南部1
		⑩富里地区	⑪新田原地区	⑫永楽台地区	⑬増尾地区
01市民文化系施設	01集会施設	富里近隣センター	新田原近隣センター 新田原近隣センター体育室(館)	永楽台近隣センター	増尾近隣センター 増尾近隣センター体育室(館)
	02文化施設				
	03交流施設				
02社会教育系施設	01図書館		図書館新田原分館	図書館永楽台分館	図書館増尾分館
	02公民館			柏市ひばりが丘市民プール	
	03博物館等				
	04その他社会教育施設				
03スポーツ・レクリエーション施設	01スポーツ施設				
	02レクリエーション施設				
04産業系施設	01産業系施設				
05学校教育系施設	01学校-小学校	柏第三小学校 豊小学校 豊小仮設校舎(リ)		柏第八小学校	土小学校 名戸ケ谷小学校 中原小学校 増尾西小学校
	01学校-中学校		柏第二中学校	柏第四中学校	土中学校 中原中学校 中原中仮設校舎(リ)
	01学校-高等学校				
	02その他教育施設				
06子育て支援施設	01保育園	若葉保育園 豊町保育園	東町保育園		名戸ケ谷保育園 増尾保育園(リ)
	02幼児・児童施設	柏三小こどもルーム(リ) 柏三小こどもルーム第二保育室 豊小こどもルーム		永楽台児童センター 柏八小こどもルーム	土小こどもルーム 名戸ケ谷小こどもルーム 中原小こどもルーム(リ) 増尾西小こどもルーム
	03幼児・児童福祉施設				
07保健・福祉施設	01高齢者福祉施設				ほのぼのプラザますお
	02障害福祉施設				朋生園
	03保健施設				
	04福祉施設				
08医療施設	01医療施設				
09行政系施設	01庁舎等				増尾出張所
	02消防施設	東部消防署			
	03環境施設				
	04防災施設				
10公営住宅	01公営住宅				
11公園	01公園			亀甲台公園	増尾城址総合公園 中原ふれあい防災公園管理事務所
12供給処理施設	01供給処理施設				
13その他	01その他	南柏駅東口第二駐輪場			新柏駅東口第一駐輪場 増尾駅東口第一駐輪場 増尾駅西口第一駐輪場
14未利用施設等	01未利用施設等		旧東町団地(現在解体済)		
	02廃止予定施設				

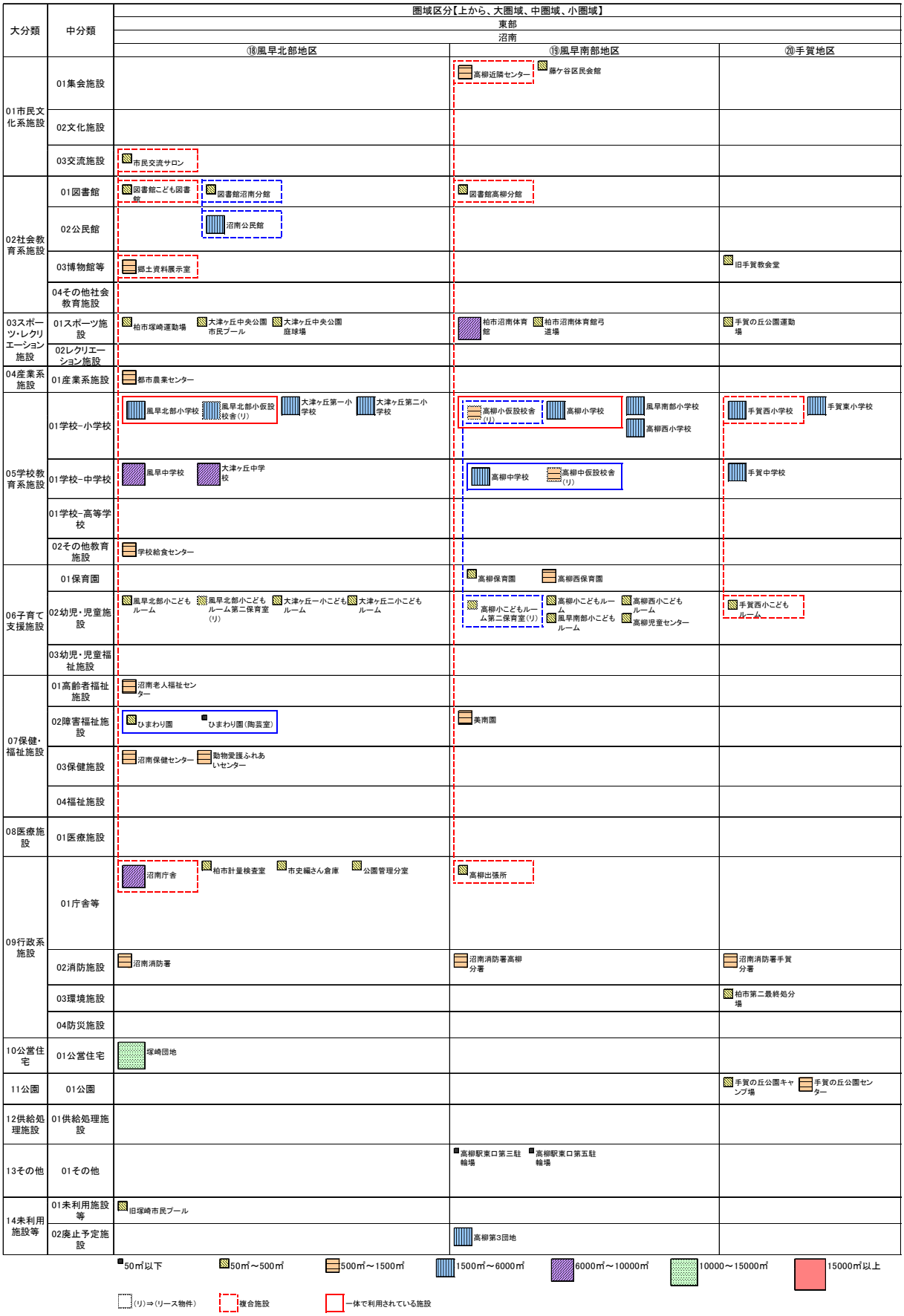
50㎡以下　50㎡～500㎡　500㎡～1500㎡　1500㎡～6000㎡　6000㎡～10000㎡　10000～15000㎡　15000㎡以上

(リ)⇒(リース物件)　複合施設　一体で利用されている施設

大分類	中分類	圏域区分【上から、大圏域、中圏域、小圏域】 南部 南部1 ⑭南部地区	南部1 ⑮藤心地区	南部2 ⑯光ケ丘地区	南部2 ⑰酒井根地区
01市民文化系施設	01集会施設	南部近隣センター 南部近隣センター体育館	藤心近隣センター	光ケ丘近隣センター	酒井根近隣センター 酒井根近隣センター体育室(館)
	02文化施設				
	03交流施設				
02社会教育系施設	01図書館	図書館南部分館	図書館藤心分館	図書館光ケ丘分館	
	02公民館				
	03博物館等				
	04その他社会教育施設				
03スポーツ・レクリエーション施設	01スポーツ施設	柏市宮田島運動場	柏市逆井運動場 柏市逆井市民プール		
	02レクリエーション施設				
04産業系施設	01産業系施設				
05学校教育系施設	01学校-小学校	土南部小学校 逆井小学校	藤心小学校 藤心小仮設校舎(リ)	光ケ丘小学校	酒井根小学校 酒井根西小学校 酒井根東小学校
	01学校-中学校	南部中学校	逆井中学校	光ケ丘中学校	酒井根中学校
	01学校-高等学校				
	02その他教育施設				
06子育て支援施設	01保育園	土南部保育園		東中新宿保育園 豊住保育園	酒井根保育園
	02幼児・児童施設	南部みんなの広場 逆井小こどもルーム 土南部小こどもルーム 土南部小こどもルーム第二保育室(リ)	藤心小こどもルーム	光ケ丘遊戯室 光ケ丘小こどもルーム	光ケ丘児童センター 酒井根東小こどもルーム 酒井根小こどもルーム 酒井根西小こどもルーム
	03幼児・児童福祉施設				
07保健・福祉施設	01高齢者福祉施設		南部老人福祉センター		
	02障害福祉施設	障害者福祉作業所			
	03保健施設				
	04福祉施設				
08医療施設	01医療施設				
09行政系施設	01庁舎等	南部出張所	藤心出張所	光ケ丘出張所 旧南柏駅東口土地区画整理事務所	
	02消防施設	東部消防署逆井分署		東部消防署光ヶ丘分署	
	03環境施設	柏市清掃収集事務所			
	04防災施設	増尾台防災会館			
10公営住宅	01公営住宅	逆井団地 逆井第2団地			
11公園	01公園	柏リフレッシュ公園			
12供給処理施設	01供給処理施設	柏市第二清掃工場		中原ふれあい防災公園	
13その他	01その他		逆井駅東口第一駐輪場 逆井駅西口第一駐輪場	南柏駅東口第一駐輪場	
14未利用施設等	01未利用施設等			旧柏市社会福祉センター	
	02廃止予定施設				

■50㎡以下　50㎡～500㎡　500㎡～1500㎡　1500㎡～6000㎡　6000㎡～10000㎡　10000～15000㎡　15000㎡以上

(リ)⇒(リース物件)　複合施設　一体で利用されている施設


圏域区分【上から、大圏域、中圏域、小圏域】
東部
沼南
⑱風早北部地区
⑲風早南部地区
⑳手賀地区
大分類
中分類
01市民文化系施設
01集会施設
高柳近隣センター
藤ケ谷区民会館
02文化施設
03交流施設
市民交流サロン
02社会教育系施設
01図書館
図書館こども図書館
図書館沼南分館
図書館高柳分館
02公民館
沼南公民館
03博物館等
郷土資料展示室
旧手賀教会堂
04その他社会教育施設
03スポーツ・レクリエーション施設
01スポーツ施設
柏市塚崎運動場
大津ヶ丘中央公園市民プール
大津ヶ丘中央公園庭球場
柏市沼南体育館
柏市沼南体育館弓道場
手賀の丘公園運動場
02レクリエーション施設
04産業系施設
01産業系施設
都市農業センター
05学校教育系施設
01学校-小学校
風早北部小学校
風早北部小仮設校舎(リ)
大津ヶ丘第一小学校
大津ヶ丘第二小学校
高柳小仮設校舎(リ)
高柳小学校
風早南部小学校
高柳西小学校
手賀西小学校
手賀東小学校
01学校-中学校
風早中学校
大津ヶ丘中学校
高柳中学校
高柳中仮設校舎(リ)
手賀中学校
01学校-高等学校
02その他教育施設
学校給食センター
06子育て支援施設
01保育園
高柳保育園
高柳西保育園
02幼児・児童施設
風早北部小こどもルーム
風早北部小こどもルーム第二保育室(リ)
大津ヶ丘一小こどもルーム
大津ヶ丘二小こどもルーム
高柳小こどもルーム第二保育室(リ)
高柳小こどもルーム
風早南部小こどもルーム
高柳西小こどもルーム
高柳児童センター
手賀西小こどもルーム
03幼児・児童福祉施設
07保健・福祉施設
01高齢者福祉施設
沼南老人福祉センター
02障害福祉施設
ひまわり園
ひまわり園(陶芸室)
美南園
03保健施設
沼南保健センター
動物愛護ふれあいセンター
04福祉施設
08医療施設
01医療施設
09行政系施設
01庁舎等
沼南庁舎
柏市計量検査室
市史編さん倉庫
公園管理分室
高柳出張所
02消防施設
沼南消防署
沼南消防署高柳分署
沼南消防署手賀分署
03環境施設
柏市第二最終処分場
04防災施設
10公営住宅
01公営住宅
塚崎団地
11公園
01公園
手賀の丘公園キャンプ場
手賀の丘公園センター
12供給処理施設
01供給処理施設
13その他
01その他
高柳駅東口第三駐輪場
高柳駅東口第五駐輪場
14未利用施設等
01未利用施設等
旧塚崎市民プール
02廃止予定施設
高柳第3団地
50㎡以下
50㎡～500㎡
500㎡～1500㎡
1500㎡～6000㎡
6000㎡～10000㎡
10000～15000㎡
15000㎡以上
(リ)⇒(リース物件)
複合施設
一体で利用されている施設

4-2 地区別の人口構成と公共施設保有量

【人口】（2014 年）

・地区別人口は，田中地区が 42,076 人と最も多く，続いて光ケ丘地区が 33,421 人，豊四季台地区が 30,301 人となっています。

・1ｈａあたりの人口密度に換算すると，富里地区が 120.1 人と最も多く，続いて新田原地区が 115.0 人，豊四季台地区が 108.2 人となっています。

・豊四季台地区は，人口および人口密度ともに比較的数値が高く，地区内に形成された大規模住宅団地の影響が強く覗えます。

・老年人口の割合は，松葉町地区が 31％と最も高く，続いて手賀地区が 29％，西原地区・藤心地区が 28％となっています。

・一般的に，老年人口が 14％を超えると高齢社会，21％を超えると超高齢社会といわれており，市内 20 コミュニティのうち 15 コミュニティで超高齢社会に突入していることが覗えます。

※この章で取り扱う人口については，国勢調査ベースでコーホート・シェア延長法を用いて算出した推計値であり，2010 年～2014 年についても，実際の数値（実績値）とは異なります。

表 4-2　地区別にみた面積・人口・年齢階層別の割合（2014 年）

20コミュニティ	面積（k㎡）	人口（人）	年齢階層別人口（人）			年齢階層別人口の割合（%）		
			年少人口	生産年齢人口	老年人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口
西原地区	1.6	17,186	2,111	10,284	4,791	12	60	28
田中地区	17.3	42,076	6,721	27,309	8,046	16	65	19
富勢地区	5.1	24,643	2,728	15,497	6,417	11	63	26
松葉町地区	1.2	11,830	1,211	6,964	3,656	10	59	31
高田・松ケ崎地区	4.1	18,616	2,799	11,970	3,847	15	64	21
豊四季台地区	2.8	30,301	3,495	19,196	7,611	12	63	25
新富地区	3.1	21,593	3,253	14,316	4,024	15	66	19
旭町地区	1.2	12,227	1,650	8,590	1,988	13	70	16
柏中央地区	3.3	25,876	3,241	17,675	4,960	13	68	19
富里地区	1.7	19,938	2,702	13,472	3,764	14	68	19
新田原地区	1.3	14,370	1,668	9,003	3,698	12	63	26
永楽台地区	1.2	11,782	1,447	7,315	3,020	12	62	26
増尾地区	4.4	21,878	2,614	13,259	6,005	12	61	27
南部地区	3.8	24,007	3,270	14,638	6,098	14	61	25
藤心地区	3.1	14,642	1,798	8,726	4,118	12	60	28
光ケ丘地区	3.3	33,421	4,214	20,942	8,266	13	63	25
酒井根地区	1.9	12,671	1,752	7,508	3,411	14	59	27
風早北部地区	9.0	25,664	3,884	15,566	6,214	15	61	24
風早南部地区	10.7	22,523	3,545	14,344	4,634	16	64	21
手賀地区	22.3	4,579	372	2,876	1,332	8	63	29
合計	102.1	409,824	54,474	259,448	95,902	－	－	－

※人口の割合は，小数点以下を四捨五入しているため，合計が 100％とならない場合があります。
ここでいう「年少人口」とは，0～14 歳の人口を，「生産年齢人口」とは，15～64 歳の人口を，「老年人口」とは，65 歳以上の人口をいう。
市域内には，20 コミュニティに含まれない地区もあるため，面積を合計しても，市域面積とはなりません。

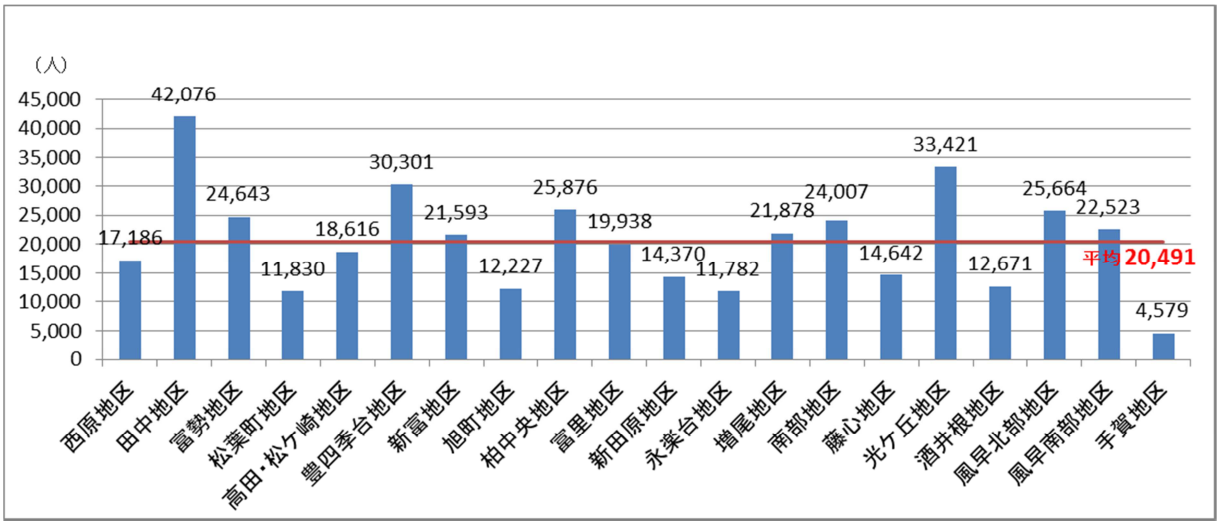


図 4-2　地区別人口（2014 年）

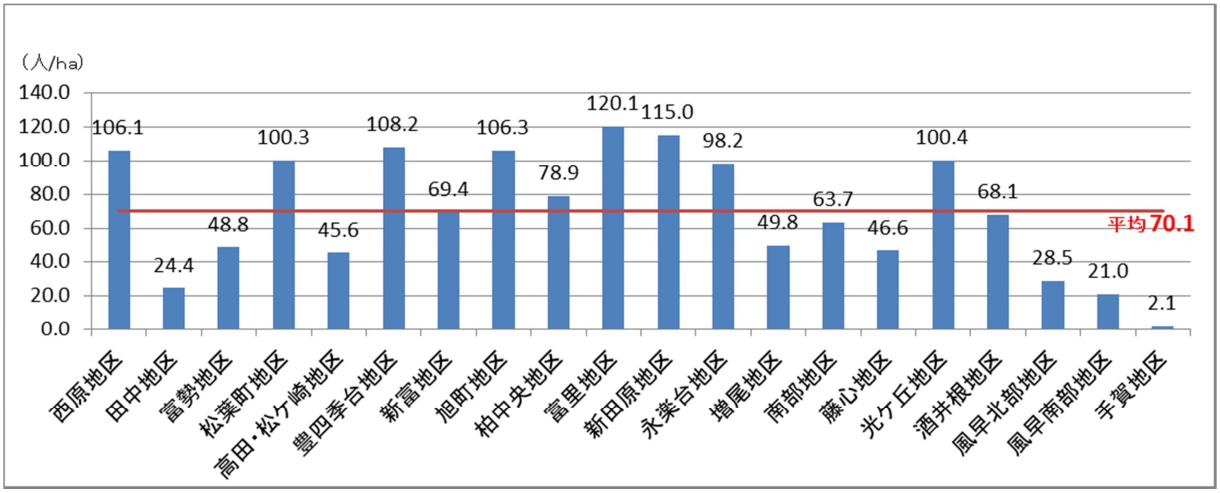


図 4-3　地区別人口密度（2014 年）

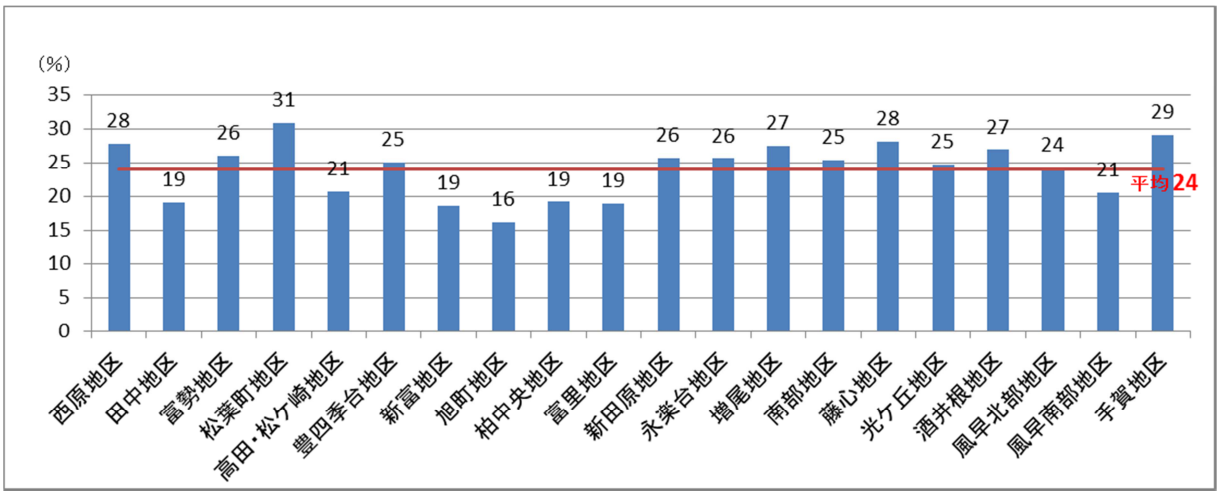


図 4-4　地区別老年人口の割合［高齢化率］（2014 年）

【将来人口推計】

・将来人口推計については，今後もしばらくは増加の傾向が続くと見通されますが，2025 年の 419,060 人をピークに減少に転じると予測されています。ただし，25 年後にあたる 2040 年についても，総人口は，今とそれほど大きな差は見られないと予測されています（2015 年と比較すると，6,039 人の減少）。

・しかしながら，2040 年の老年人口の割合は 32%と，10 人に 3 人は 65 歳以上になるとの予測もされており，今後，ますます少子高齢化に伴う課題の増加が想定されます。

・公共施設についても，ニーズの変化に応じたサービス提供のあり方を多方向から検討していくことが必要となり，抽出された問題点については，地域の課題として捉え，市域を細分化して課題解決にあたることが望ましいと考えられます。

表 4-3　地区別にみた将来人口推計

	実績値を基にした推計値←					→予測値										
20コミュニティ	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2040年
西原地区	17,489	17,453	17,388	17,252	17,186	17,088	16,977	16,861	16,747	16,625	16,505	16,349	16,192	16,022	15,849	15,664	12,294
田中地区	37,839	38,779	39,331	40,593	42,076	43,475	44,880	46,322	47,793	49,308	50,856	52,360	53,893	55,467	57,084	58,759	70,201
富勢地区	25,566	25,538	25,232	24,993	24,643	24,364	24,050	23,739	23,428	23,115	22,802	22,446	22,087	21,731	21,376	21,018	15,519
松葉町地区	12,440	12,384	12,161	11,962	11,830	11,669	11,505	11,347	11,196	11,048	10,898	10,737	10,566	10,410	10,250	10,085	6,948
高田・松ケ崎地区	18,297	18,337	18,361	18,365	18,616	18,751	18,876	18,991	19,109	19,222	19,332	19,396	19,465	19,527	19,590	19,649	20,661
豊四季台地区	29,423	29,298	29,873	30,356	30,301	30,501	30,673	30,846	31,014	31,175	31,326	31,419	31,516	31,608	31,698	31,776	32,739
新富地区	20,955	21,051	21,170	21,406	21,593	21,796	21,983	22,176	22,377	22,571	22,772	22,942	23,111	23,292	23,468	23,645	25,937
旭町地区	11,863	11,778	11,925	11,928	12,227	12,396	12,558	12,715	12,873	13,036	13,201	13,349	13,511	13,667	13,825	13,991	16,470
柏中央地区	25,104	25,304	25,458	25,723	25,876	26,081	26,280	26,475	26,674	26,876	27,083	27,251	27,419	27,584	27,755	27,930	30,193
富里地区	19,857	19,704	19,879	19,842	19,938	19,965	19,976	19,991	20,007	20,023	20,042	20,023	20,002	19,990	19,982	19,966	19,301
新田原地区	14,248	14,138	14,388	14,408	14,370	14,354	14,321	14,287	14,247	14,204	14,158	14,090	14,028	13,959	13,894	13,821	12,872
永楽台地区	11,731	11,700	11,700	11,760	11,782	11,832	11,862	11,886	11,907	11,919	11,922	11,909	11,884	11,857	11,837	11,804	11,210
増尾地区	22,639	22,496	22,181	22,037	21,878	21,721	21,548	21,364	21,177	20,988	20,796	20,559	20,318	20,062	19,801	19,543	15,384
南部地区	23,651	24,028	24,130	24,123	24,007	23,924	23,827	23,716	23,598	23,471	23,340	23,158	22,957	22,757	22,553	22,342	18,634
藤心地区	14,861	14,764	14,787	14,674	14,642	14,572	14,484	14,400	14,315	14,227	14,140	14,018	13,899	13,772	13,647	13,519	11,172
光ケ丘地区	33,296	33,355	33,563	33,414	33,421	33,340	33,222	33,102	32,970	32,841	32,689	32,475	32,255	32,038	31,810	31,585	27,763
酒井根地区	12,501	12,649	12,593	12,698	12,671	12,698	12,714	12,734	12,746	12,763	12,771	12,749	12,725	12,696	12,661	12,617	12,006
風早北部地区	25,200	25,639	25,825	25,719	25,664	25,568	25,464	25,353	25,249	25,136	25,030	24,865	24,697	24,510	24,323	24,136	20,212
風早南部地区	22,219	22,271	22,274	22,455	22,523	22,648	22,749	22,856	22,953	23,043	23,135	23,178	23,211	23,250	23,261	23,274	22,771
手賀地区	4,831	4,799	4,699	4,662	4,579	4,533	4,482	4,424	4,358	4,306	4,250	4,179	4,118	4,057	3,993	3,934	2,951
合計	404,012	405,465	406,918	408,371	409,824	411,277	412,432	413,586	414,741	415,895	417,050	417,452	417,854	418,256	418,658	419,060	405,238

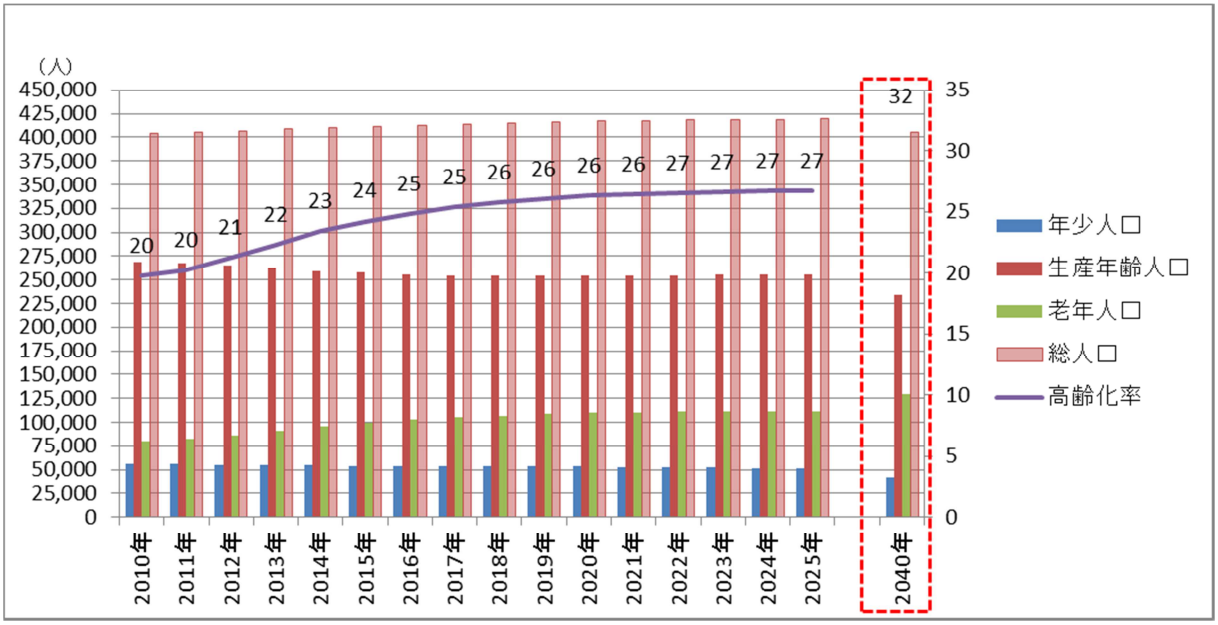


図 4-5　柏市将来人口推計［総人口＋年齢階層別＋高齢化率］

【公共施設保有量】

・公共施設保有量の地区別総量は，田中地区が 136,211 ㎡と最も多く，続いて富勢地区が 83,849 ㎡，柏中央地区が 79,394 ㎡となっています。

・1ｋ㎡あたりの公共施設保有量に換算すると，旭町地区が 25,507 ㎡/ｋ㎡と最も多く，続いて柏中央地区が 24,205 ㎡/ｋ㎡，松葉町地区が 23,589 ㎡/ｋ㎡となっています。

・また，人口 1 人あたりの公共施設保有量に換算すると，富勢地区が 3.40 ㎡/人と最も多く，続いて田中地区が 3.24 ㎡/人，柏中央地区が 3.07 ㎡/人となっています。

・庁舎系の施設が集積する柏中央地区が，全ての指標で上位に位置しています。

表 4-4　地区別にみた公共施設保有量（2014 年）

20コミュニティ	面積（k㎡）	人口（人）	公共施設保有面積（㎡）		
			総量	面積1k㎡あたり	人口1人あたり
西原地区	1.6	17,186	16,594	10,243	0.97
田中地区	17.3	42,076	136,211	7,892	3.24
富勢地区	5.1	24,643	83,849	16,604	3.40
松葉町地区	1.2	11,830	27,835	23,589	2.35
高田・松ケ崎地区	4.1	18,616	23,695	5,808	1.27
豊四季台地区	2.8	30,301	46,216	16,506	1.53
新富地区	3.1	21,593	16,687	5,366	0.77
旭町地区	1.2	12,227	29,333	25,507	2.40
柏中央地区	3.3	25,876	79,394	24,205	3.07
富里地区	1.7	19,938	18,358	11,059	0.92
新田原地区	1.3	14,370	11,223	8,979	0.78
永楽台地区	1.2	11,782	14,133	11,778	1.20
増尾地区	4.4	21,878	43,352	9,875	1.98
南部地区	3.8	24,007	62,715	16,635	2.61
藤心地区	3.1	14,642	15,811	5,035	1.08
光ケ丘地区	3.3	33,421	24,560	7,375	0.73
酒井根地区	1.9	12,671	28,461	15,302	2.25
風早北部地区	9.0	25,664	59,679	6,638	2.33
風早南部地区	10.7	22,523	36,737	3,427	1.63
手賀地区	22.3	4,579	13,223	593	2.89
合計	102.1	409,824	788,067	7,717	1.92

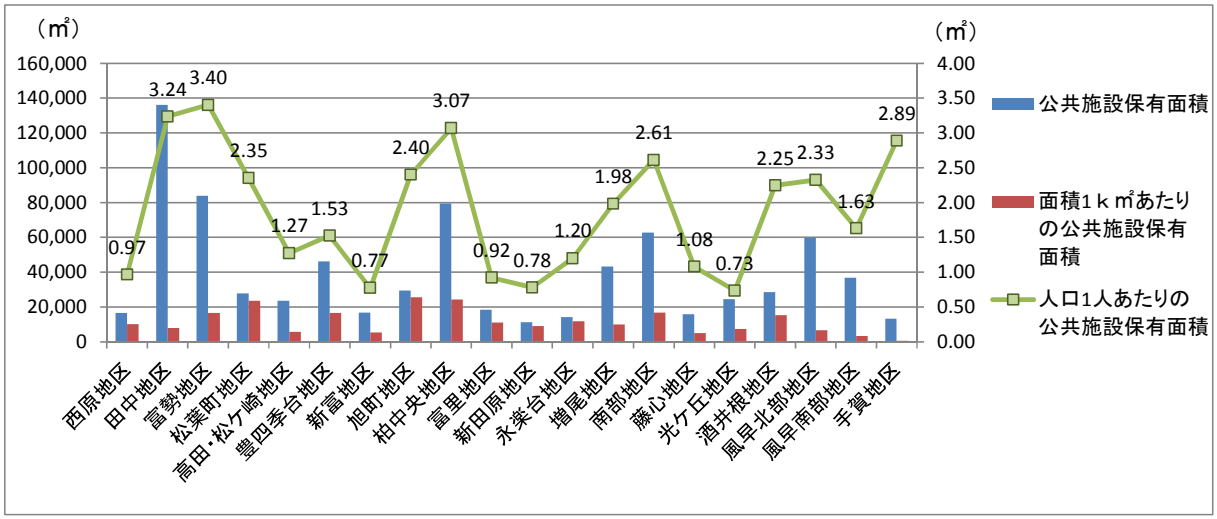


図 4-6　地区別にみた公共施設保有量（2014年）

4-3 北部１地域の現状と課題

4-3-1 西原地区

(1) 地区の概況

・西原地区は，本市北部の最西端に位置し，流山市に囲まれる地域です。
・主に住宅地で形成される地区で，鉄道駅利用や買物等については，本市よりも流山市に依存する傾向が強い地域となっています。
・近年は人口動向も安定的な状況にあり，既存住宅地の住環境整備に対する意識が高い地区でもあります。
・地区内に鉄道駅はありませんが，北西部と南西部にそれぞれ，江戸川台駅と初石駅（どちらも流山市）が存在します。

(2) 配置状況

・西原地区の公共施設は 10 施設あり，公共施設の保有面積は計 16,594 ㎡になります。
・北部は，西原近隣センターの周辺，南部は，西原小学校・西原中学校周辺に，公共施設が集積しています。

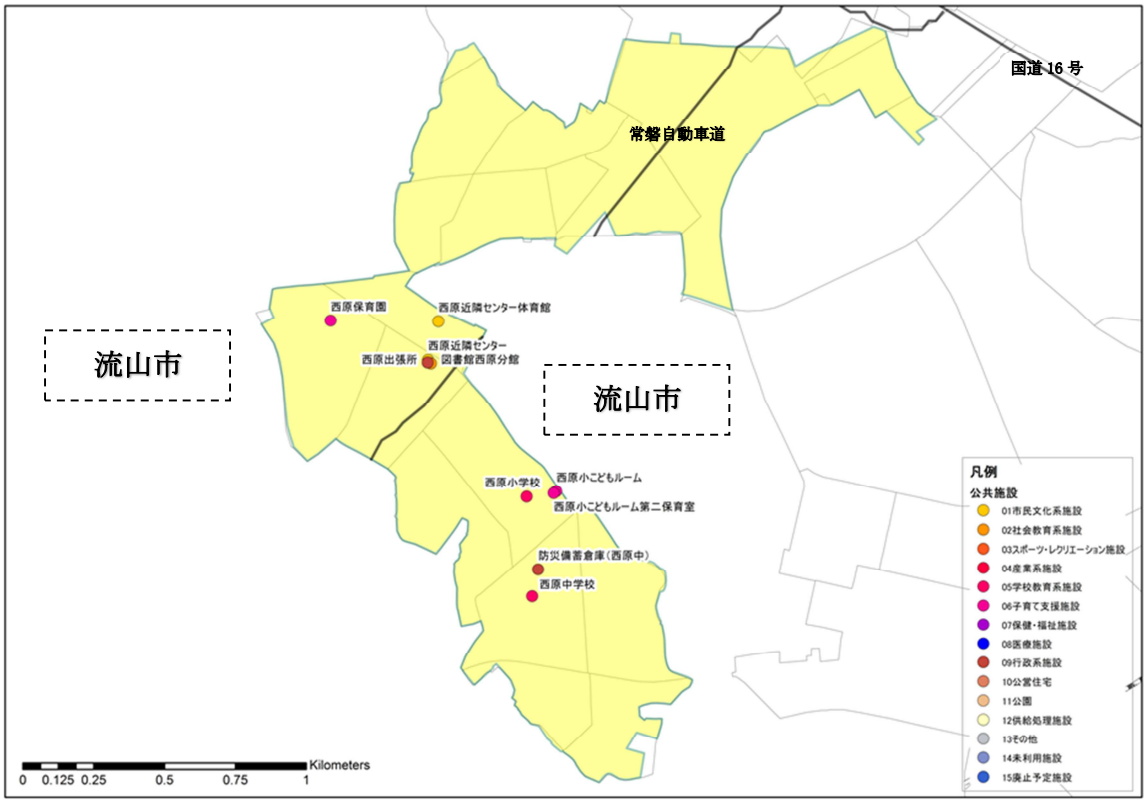


図 4-7　配置状況（北部１地域：西原地区）

(3) 現状の課題と将来人口予測

・概ね市街化され，人口増加も見込まれないことから，現居住者の生活環境を良くするためのまちづくりを進めるとともに，他地区への移動性を確保するための交通整備が課題となっています。

・将来人口予測において，2040 年の地区内人口を 2014 年と比較すると 28%減で，減少率は 20 コミュニティ中 5 位です。また，2040 年の高齢化率は 42%で，20 コミュニティ中 4 位となっています。

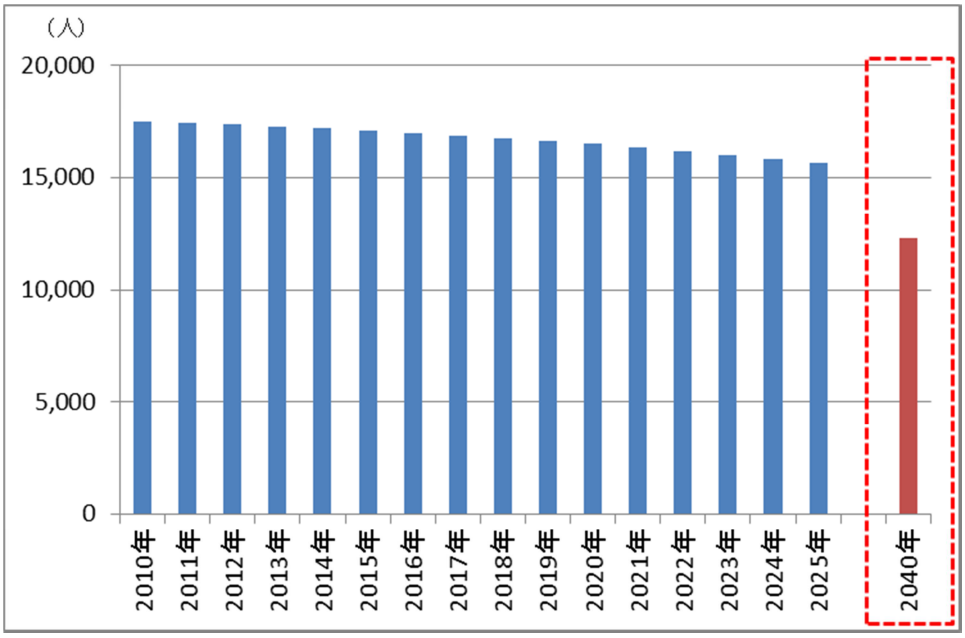


図 4-8　将来人口予測（北部１地域：西原地区）

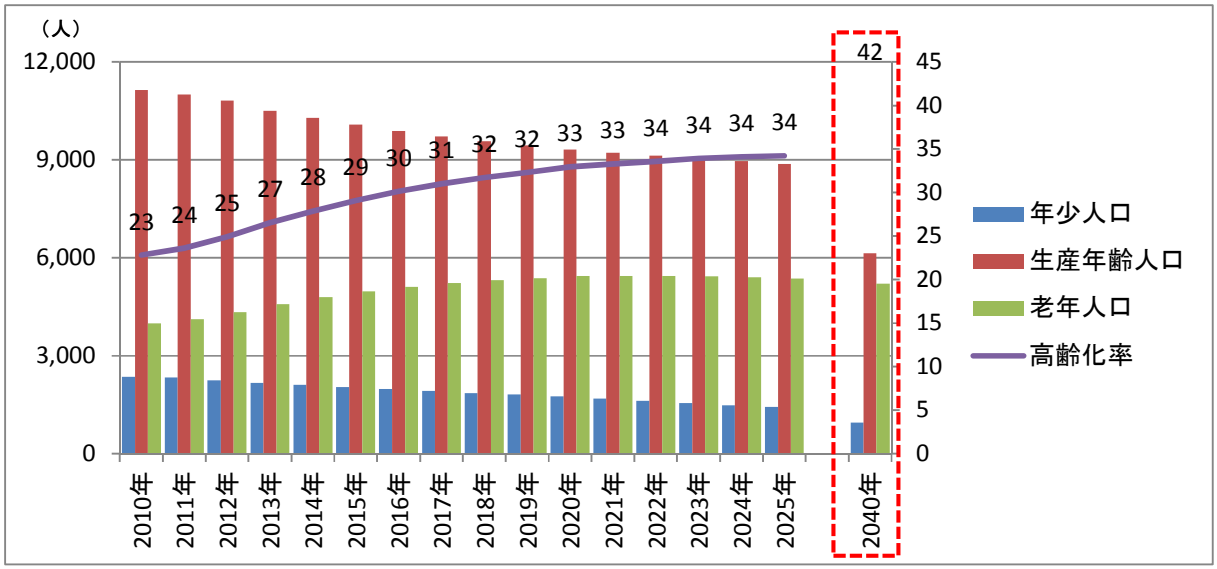


図 4-9　将来人口予測（年齢階層別）＋高齢化率（北部１地域：西原地区）

4-3-2 田中地区

(1) 地区の概況

・田中地区は，本市の最北端に位置し，農村色が強く，自然も多く残る一方で，平成 17 年 8 月に開通したつくばエクスプレスの 2 駅を中心とした市街地整備が進展している地域です。
・地区の北部は，市街化調整区域に指定されており，農地等がまとまって立地しています。
・地区の中央部は，工業団地や公設市場等が立地し，本市の産業拠点となっています。
・地区の西部および南部は，柏の葉キャンパス駅を中心に，大規模商業施設や高層マンション等が立地し，大学・研究機関も集積しています。

(2) 配置状況

・田中地区の公共施設は 47 施設あり，公共施設の保有面積は計 136,211 ㎡になります。
・北部は，北部近隣センターと柏市清掃工場周辺，中央部は，田中近隣センターと柏ビレジ近隣センター周辺に，公共施設が集積しています。
・南部は，柏の葉キャンパス駅以南の東西に渡って，公共施設が分散して配置されています。

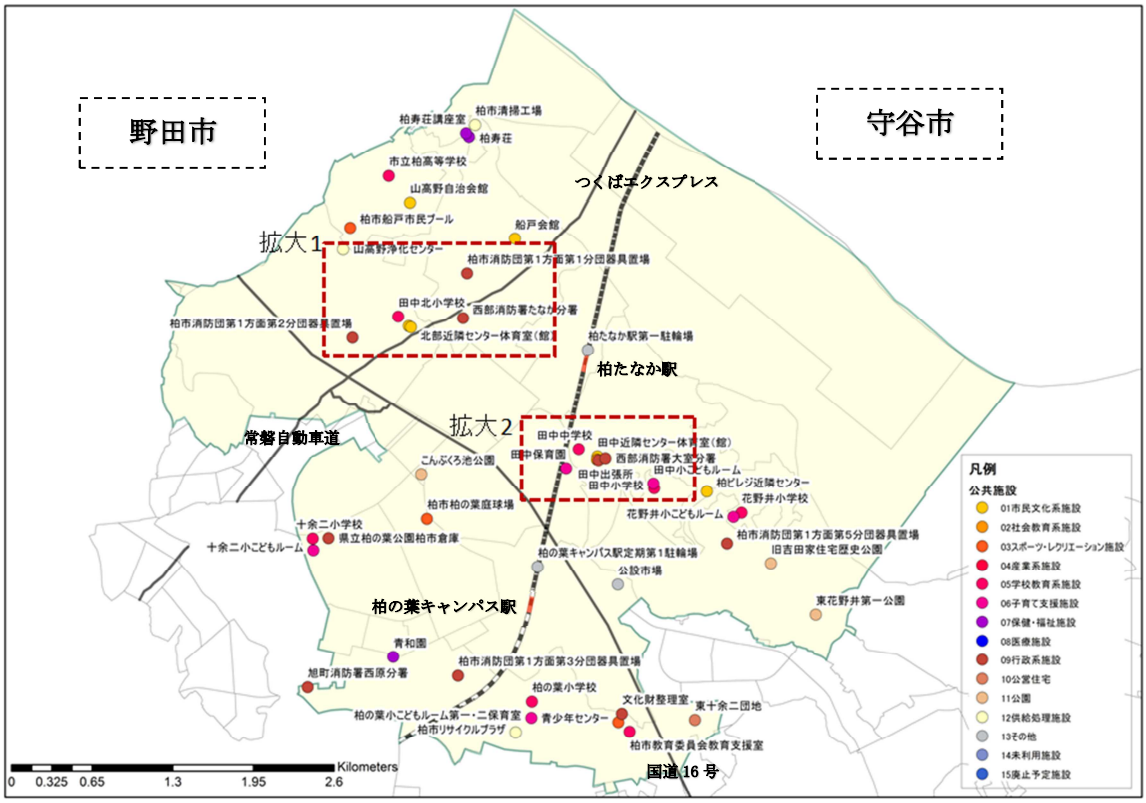


図 4-10　配置状況（北部 1 地域：田中地区）

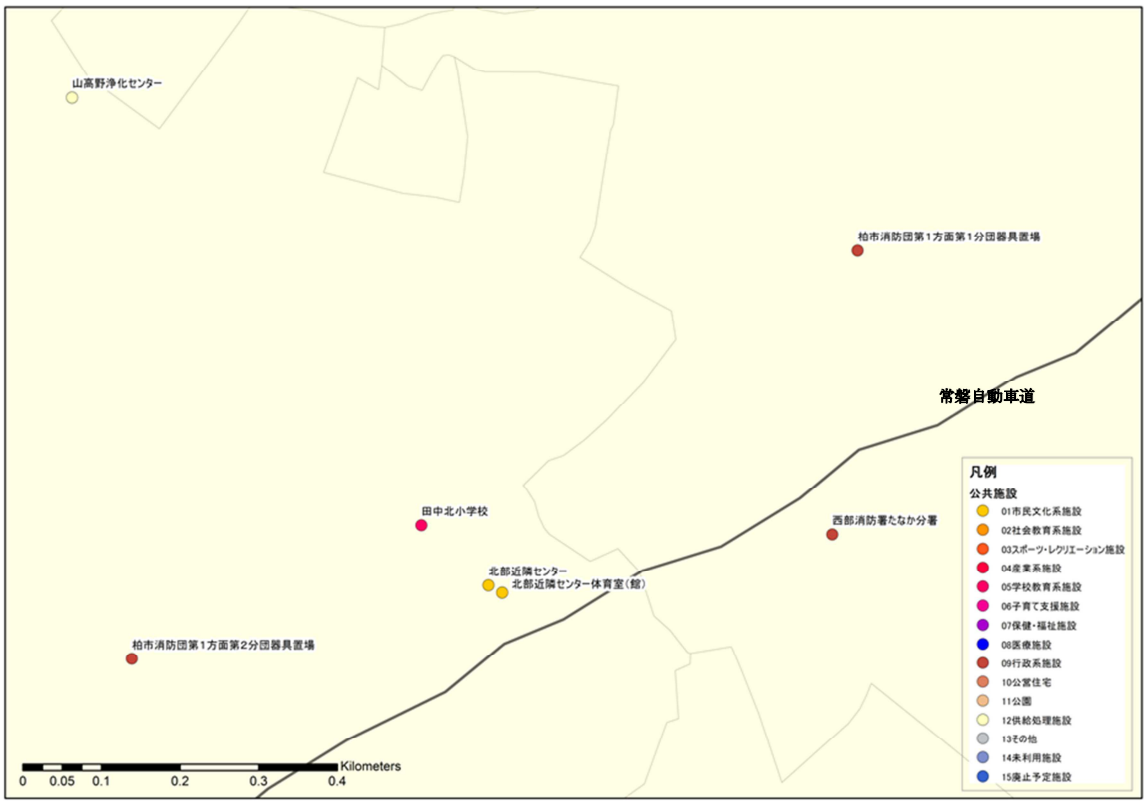


図 4-11　配置状況（北部１地域：田中地区（拡大 1））

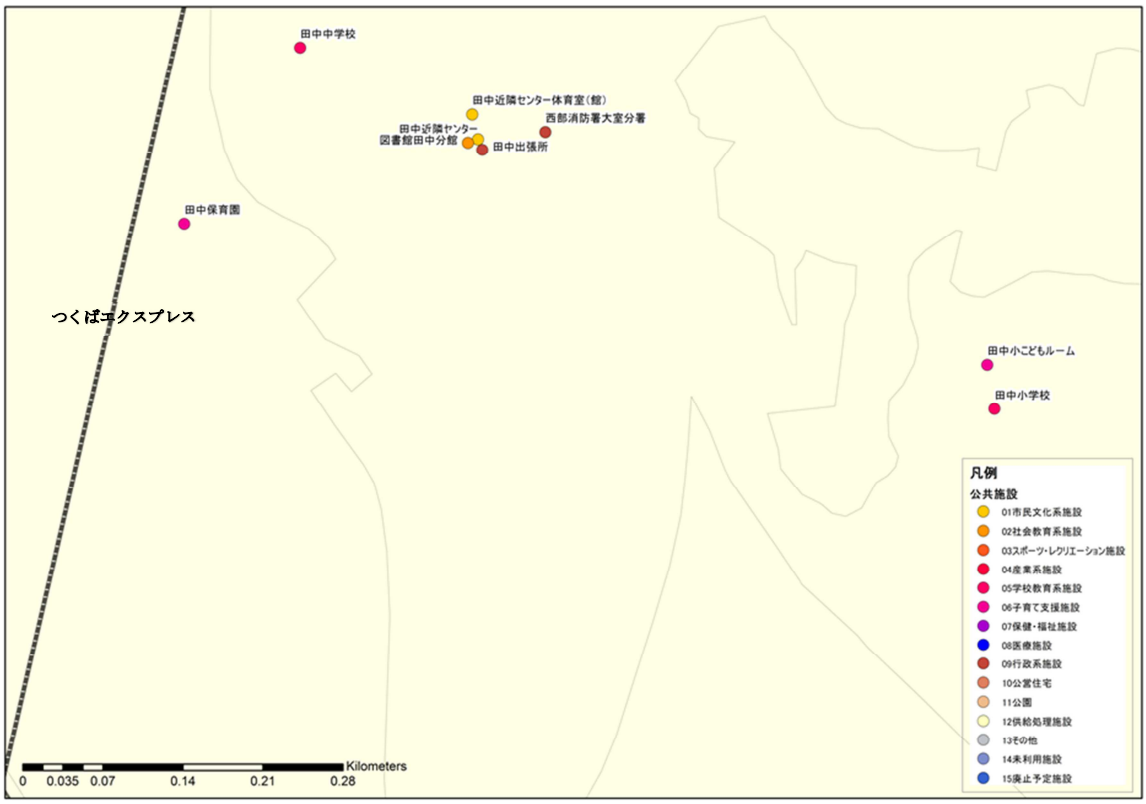


図 4-12　配置状況（北部１地域：田中地区（拡大 2））

(3) 現状の課題と将来人口予測

・北部地域の中核地区となるべく，計画的な都市基盤の整備を進めるとともに，市街化調整区域（地区の北部）においては，いかにして自然環境を保全していくかが課題となっています。

・将来人口予測において，2040 年の地区内人口を 2014 年と比較すると 67%増で，増加率は 20 コミュニティ中 1 位です。また，2040 年の高齢化率は 28%で，20 コミュニティ中 17 位となっています。

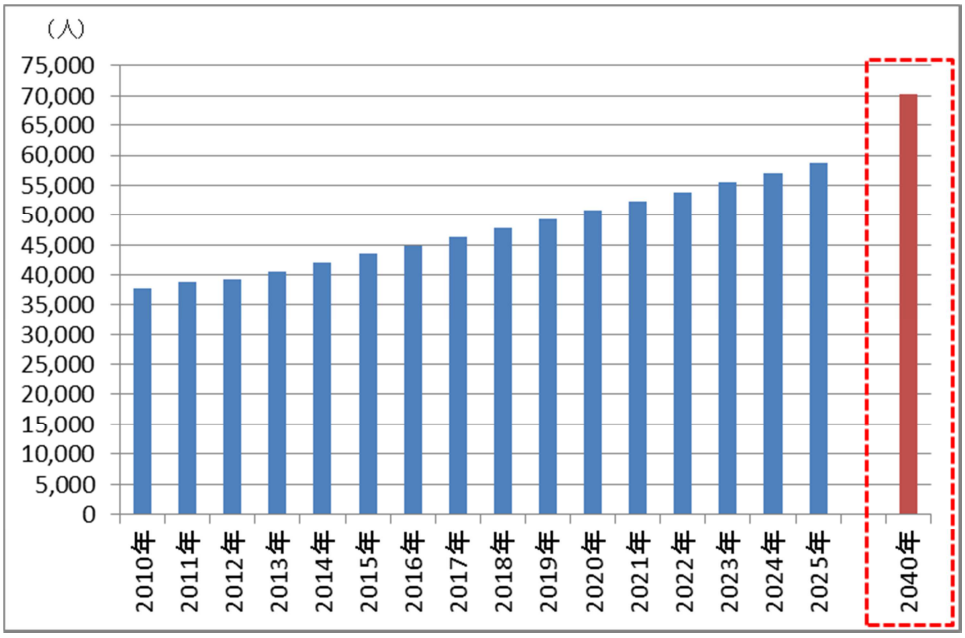


図 4-13　将来人口予測（北部 1 地域：田中地区）

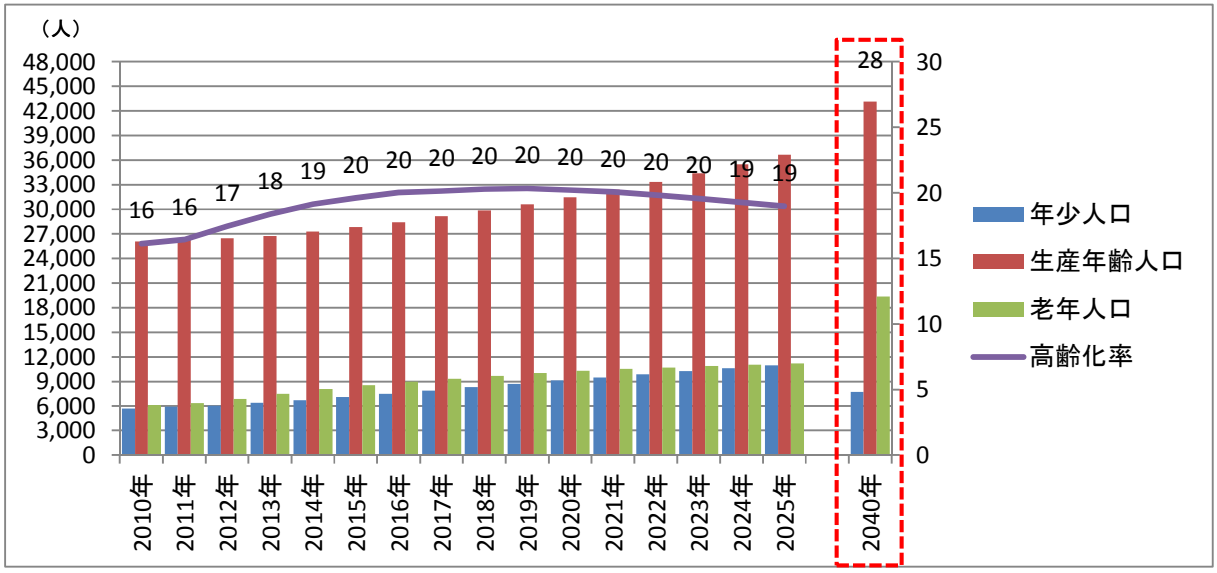


図 4-14　将来人口予測（年齢階層別）＋高齢化率（北部 1 地域：田中地区）

4-4 北部２地域の現状と課題

4-4-1 富勢地区

(1) 地区の概況

・富勢地区は，本市の北東部に位置し，地区の中央部が南北に丘陵地となっており，古くからの住宅地が残る地域です。
・地区の北部は，農地や森林等が多く残る地域となっています。
・地区の南部は，北柏駅が立地し，周辺が住宅地となっています。
・北柏駅北口では，土地区画整理事業が進められており，駅前広場をはじめとする都市基盤の整備と，良質な宅地造成が行われる予定です。

(2) 配置状況

・富勢地区の公共施設は 44 施設あり，公共施設の保有面積は計 83,849 ㎡になります。
・東部は，布施近隣センター周辺，中央部は，根戸近隣センター周辺，南部は，北柏駅周辺に，公共施設が集積しています。
・また，田中地区との境界際に，市内で唯一の市立病院である市立柏病院と，隣接して介護老人保健施設はみんぐが設置されています。

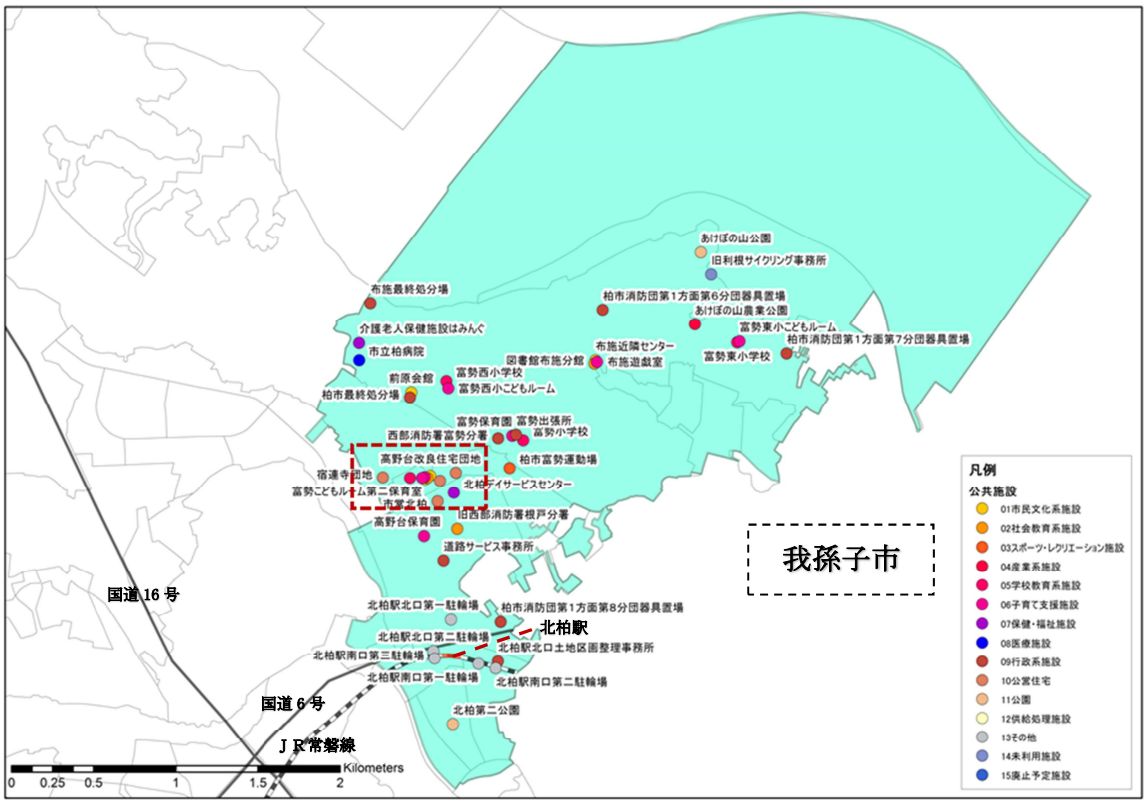


図 4-15　配置状況（北部２：富勢地区）

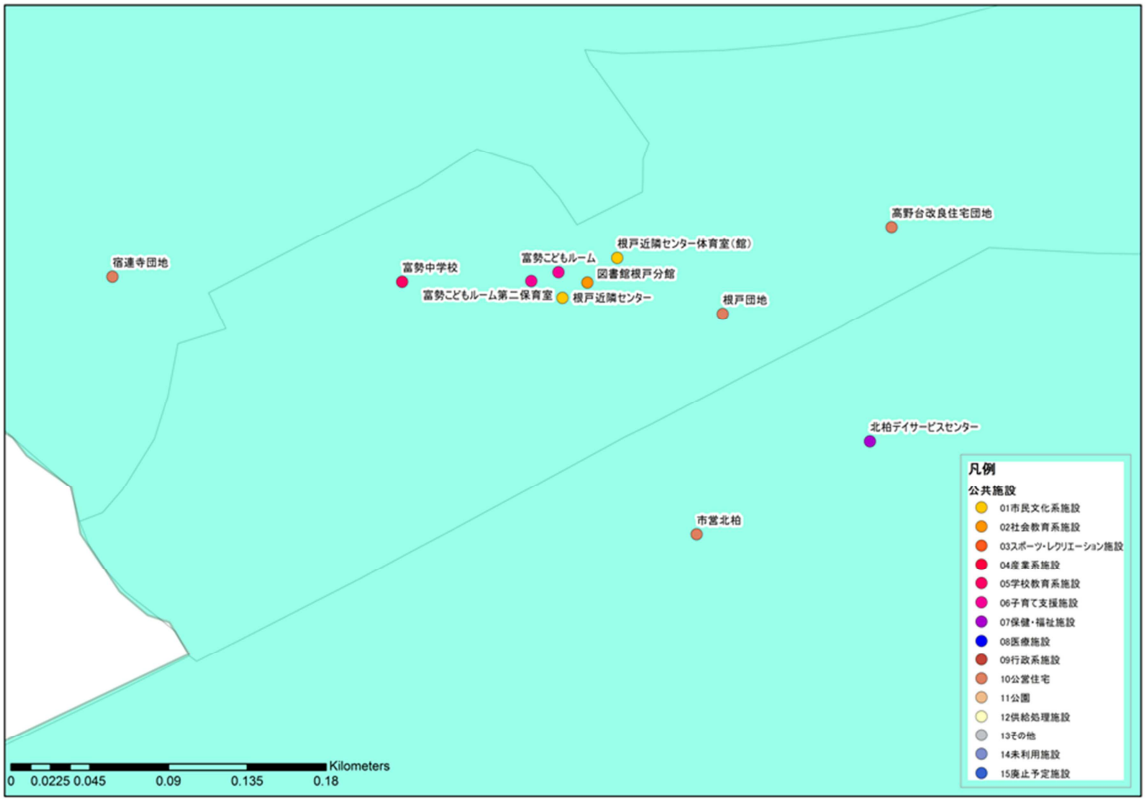


図 4-16　配置状況（北部２：富勢地区（拡大））

(3) 現状の課題と将来人口予測

・北柏駅北口での土地区画整理事業を早期に実現し，地区住民の生活利便性向上を図るとともに，北部での自然環境保全や，地区内に位置するあけぼの山農業公園等へのアクセス性確保が課題となっています。

・将来人口予測において，2040 年の地区内人口を 2014 年と比較すると 37%減で，減少率は 20 コミュニティ中 2 位です。また，2040 年の高齢化率は 44%で，20 コミュニティ中 2 位となっています。

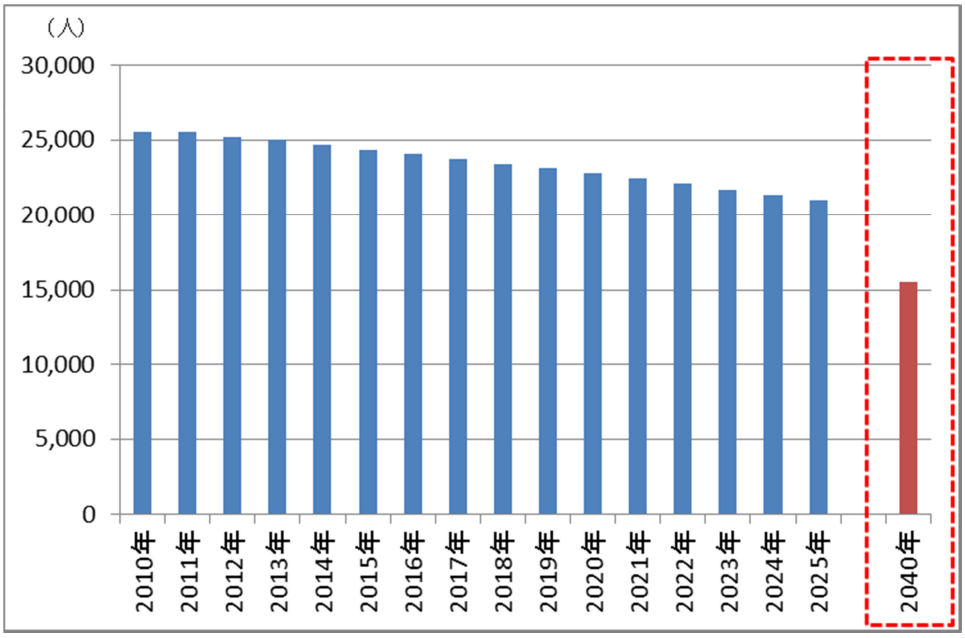


図 4-17　将来人口予測（北部２地域：富勢地区）

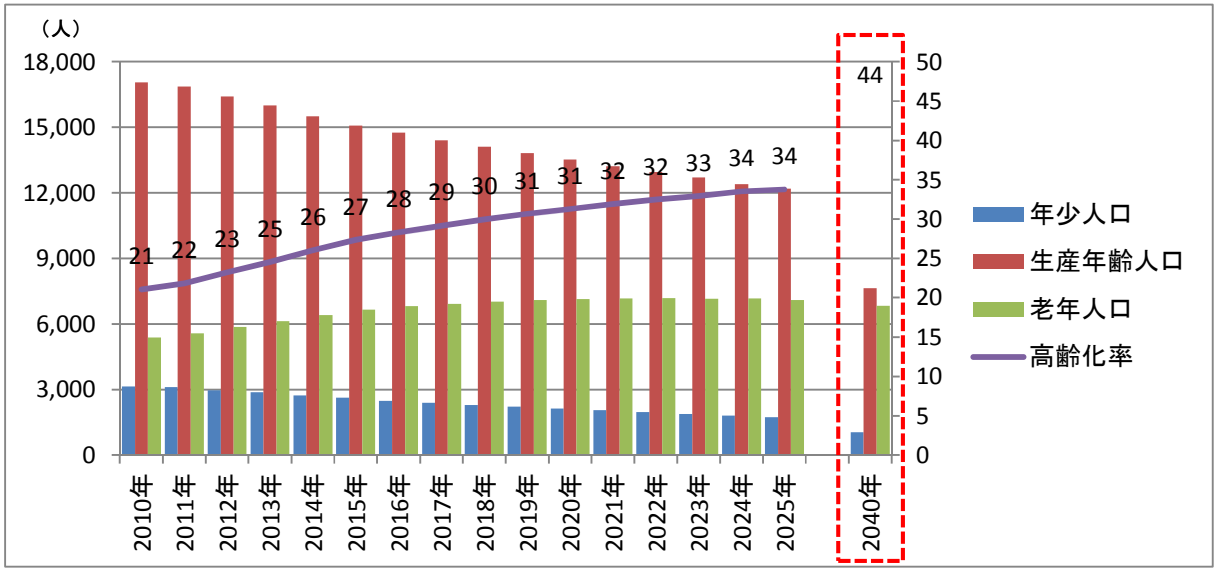


図 4-18　将来人口予測（年齢階層別）＋高齢化率（北部２地域：富勢地区）

4-4-2 松葉町地区

(1) 地区の概況

・松葉町地区は，日本住宅公団（現：都市再生機構）によりニュータウンとして整備された地域です。
・戸建住宅と集合住宅が計画的な街区に配置され，小中学校や近隣公園，商業施設等も整備されています。
・地区内に鉄道駅はありませんが，柏の葉キャンパス駅と北柏駅から 2 系統のバス路線が引かれ，区域内を周回しています。

(2) 配置状況

・松葉町地区の公共施設は 14 施設あり，公共施設の保有面積は計 27,835 ㎡になります。
・松葉近隣センターを中心に公共施設が集積し，国道 16 号沿いには本市消防の核となる消防局・西部消防署，消防指令センターが設置されています。

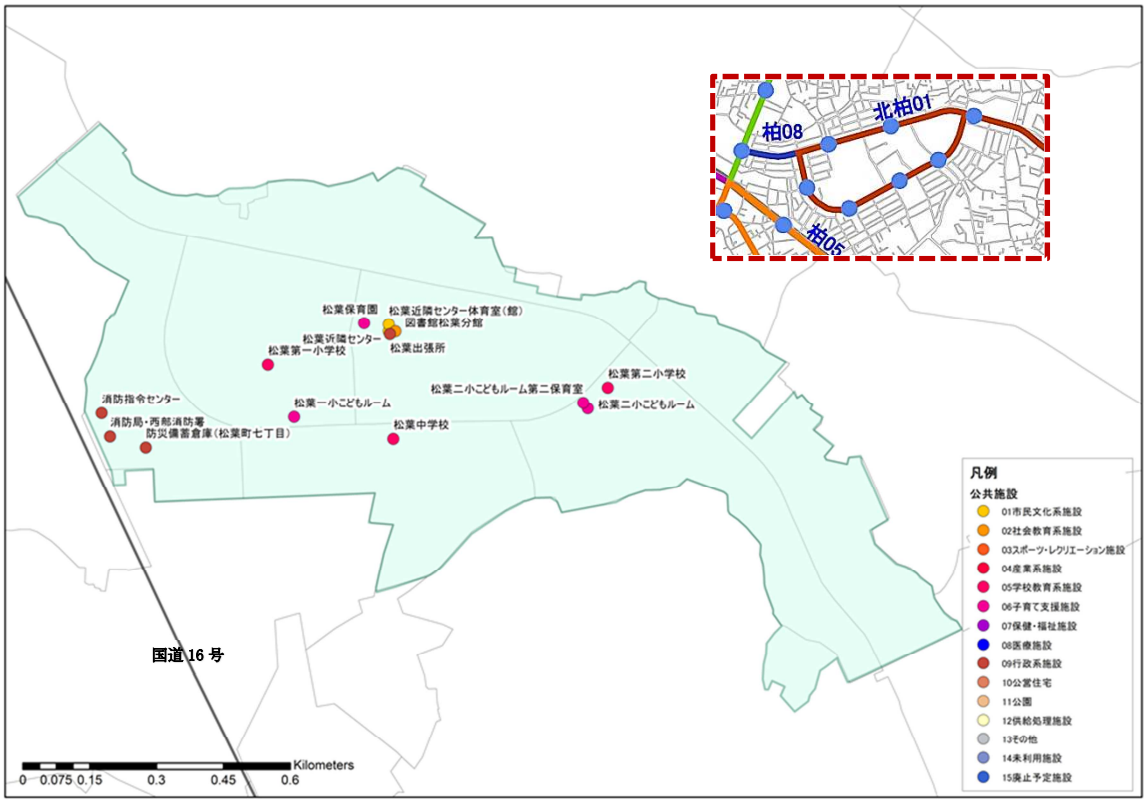


図 4-19　配置状況（北部２：松葉町地区）

(3) 現状の課題と将来人口予測

・地区内での市街地開発事業等の予定はなく，地区住民からは，地域を流れる地金掘水路の親水化等の要望があり，既存の住環境をいかにして向上させていくかが課題となっています。
・将来人口予測において，2040 年の地区内人口を 2014 年と比較すると 41%減で，減少率は 20 コミュニティ中 1 位です。また，2040 年の高齢化率は 55%で，20 コミュニティ中 1 位となっています。

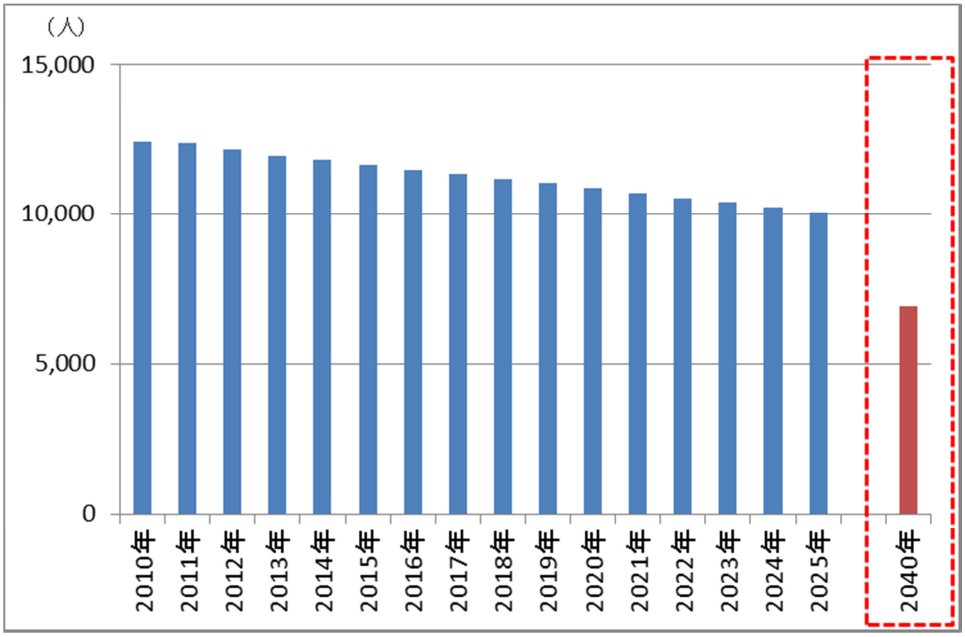


図 4-20　将来人口予測（北部２地域：松葉町地区）

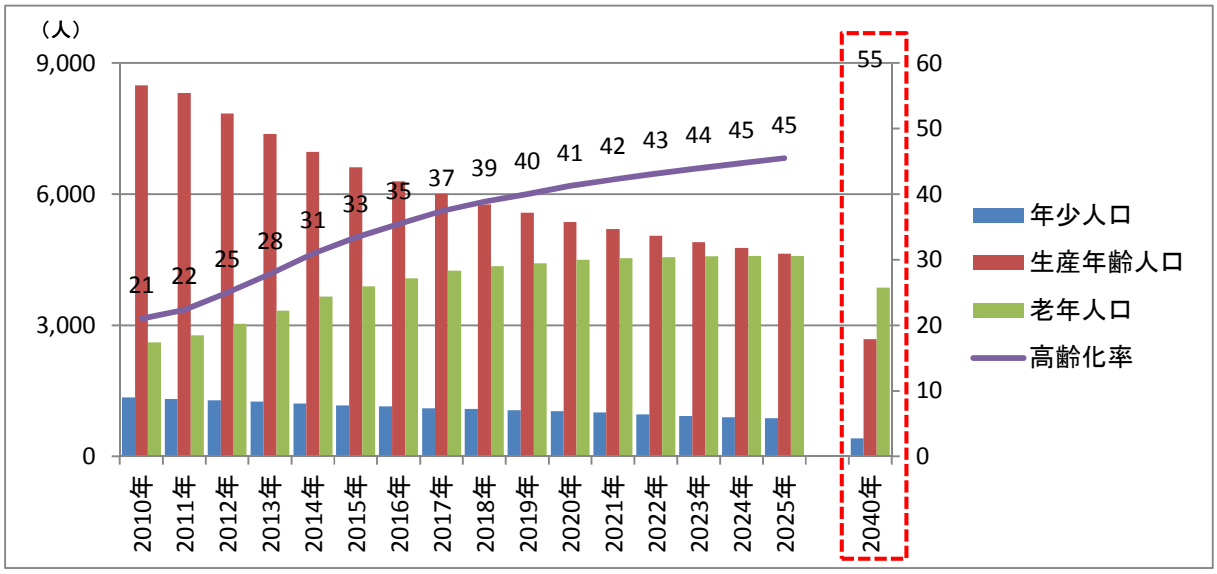


図 4-21　将来人口予測（年齢階層別）＋高齢化率（北部２地域：松葉町地区）

4-4-3 高田・松ケ崎地区

(1) 地区の概況

・高田・松ケ崎地区は，国道 16 号を挟んで東西に長い地域です。
・地区の西部は，緑地や農地等の自然環境および工場，住宅地が混在する土地利用となっています。
・地区の東部は，西部に比べて住宅地としての土地利用が多くなっています。
・地区の南部は，南端の境界線が大堀川となっており，特に大堀川周辺に森林や農地がまとまって残っています。
・国道 16 号沿いには，沿道型の商業施設等が立地しており，広域集客を主とする大型店が数多く集積しています。

(2) 配置状況

・高田・松ケ崎地区の公共施設は 12 施設あり，公共施設の保有面積は計 23,696 ㎡になります。
・地区の南部，国道 16 号より西側の大堀川周辺に，公共施設が多く集積しています。

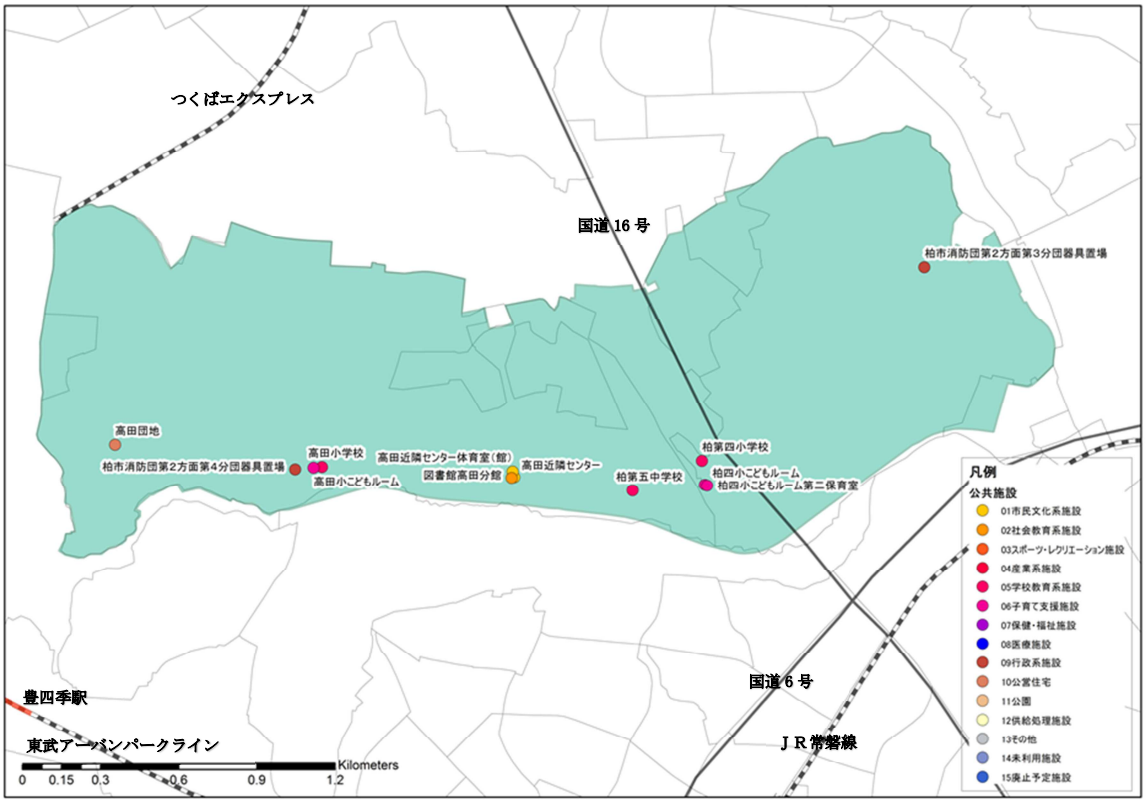


図 4-22　配置状況（北部２：高田・松ケ崎地区）

(3) 現状の課題と将来人口予測

・自然的な環境を有効に残しつつ，計画的に市街化を図ること，また，国道 16 号沿道の施設誘導を計画的に行うことが課題となっています。
・将来人口予測において，2040 年の地区内人口を 2014 年と比較すると 11%増で，増加率は 20 コミュニティ中 5 位です。また，2040 年の高齢化率は 31%で，20 コミュニティ中 13 位となっています。

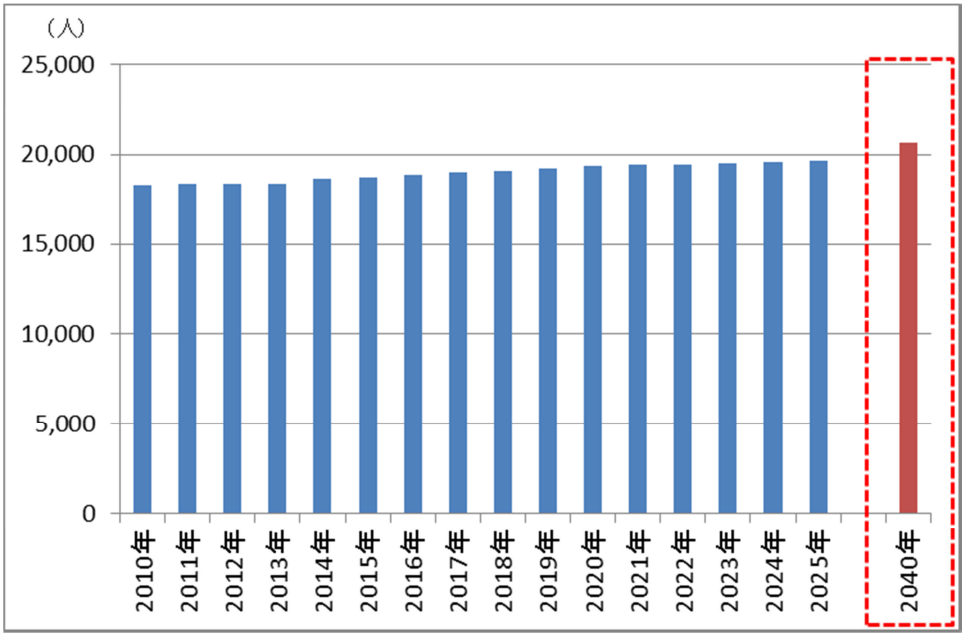


図 4-23　将来人口予測（北部２地域：高田・松ケ崎地区）

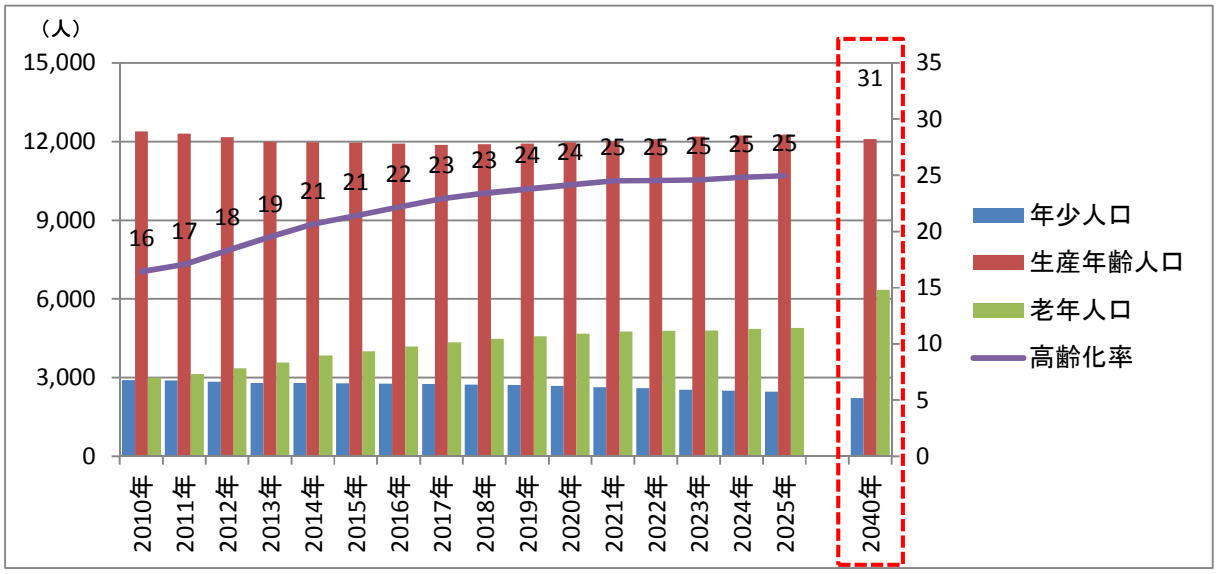


図 4-24　将来人口予測（年齢階層別）＋高齢化率（北部２地域：高田・松ケ崎地区）

4-5 中央１地域の現状と課題

4-5-1 豊四季台地区

(1) 地区の概況

・豊四季台地区は，本市の中央部に位置し，柏駅西口近辺から流山市との市境までと，南東から北西にかけて長い地域となっています。
・柏駅西口近辺は，中高層建築物が立ち並び，その外側に住宅地が，その外側に住宅と農地・森林等の自然環境が混在した地区構造となっています。
・特に，大堀川沿いに農地や森林が多く残り，その北東部では，柏駅周辺の大規模火災対策として，（仮称）篠籠田防災公園の整備が進められています。
・地区中央部には，豊四季台団地が立地し，集合住宅群を形成しています。1964 年に入居開始の大規模団地で，現在は一部で建て替えが進んでいます。
・豊四季台団地は，地域包括ケアシステムのモデル拠点整備が進められており，高齢社会において，在宅医療の推進および生きがい就労の創生の取組みが進められています。

(2) 配置状況

・豊四季台地区の公共施設は 27 施設あり，公共施設の保有面積は計 46,216 ㎡になります。
・北部は，大堀川沿い，中央部や南部は，豊四季台団地周辺に，公共施設がまとまって集積しています。また，あけぼの保育園は国道 6 号側にあります。
・また，南部の新富地区と旭町地区との境には，旭町消防署が設置されています。

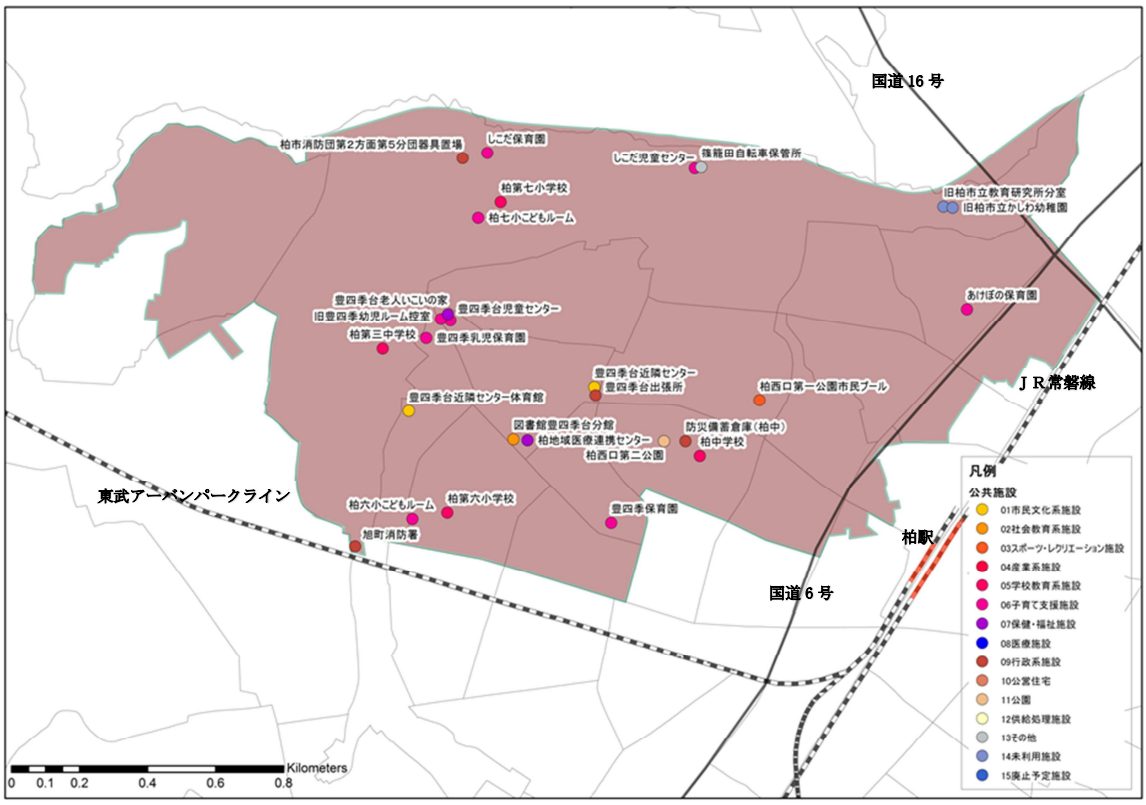


図 4-25　配置状況（中央１地域：豊四季台地区）

(3) 現状の課題と将来人口予測

・地区東部に住まう古くからの住民のための住環境整備や，西部での自然環境を生かした計画的な市街化，また，地区内の移動性確保のための交通整備が課題となっています。
・将来人口予測において，2040 年の地区内人口を 2014 年と比較すると 8%増で，増加率は 20 コミュニティ中 6 位です。また，2040 年の高齢化率は 29%で，20 コミュニティ中 14 位となっています。

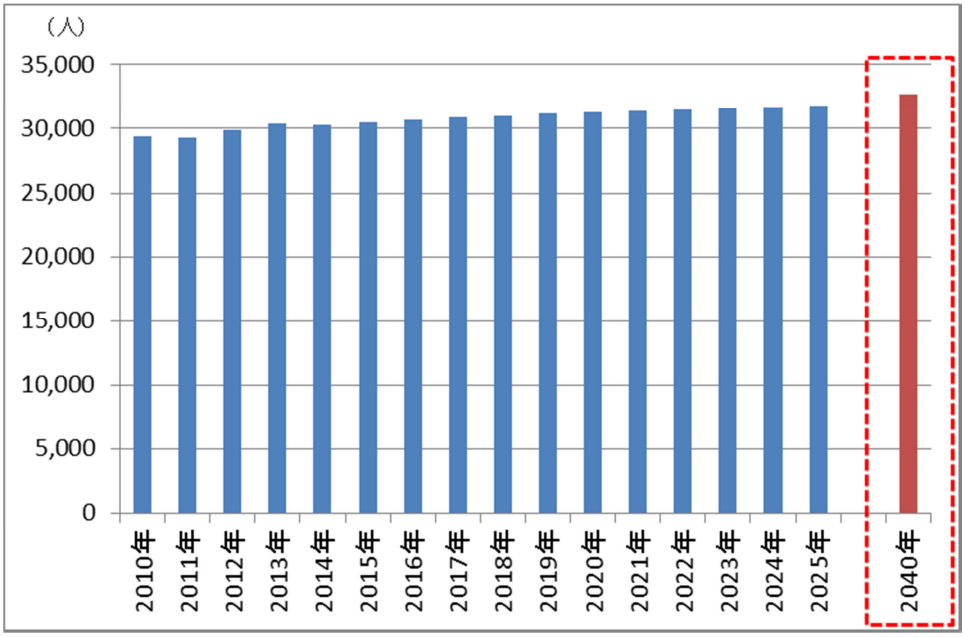


図 4-26　将来人口予測（中央１地域：豊四季台地区）

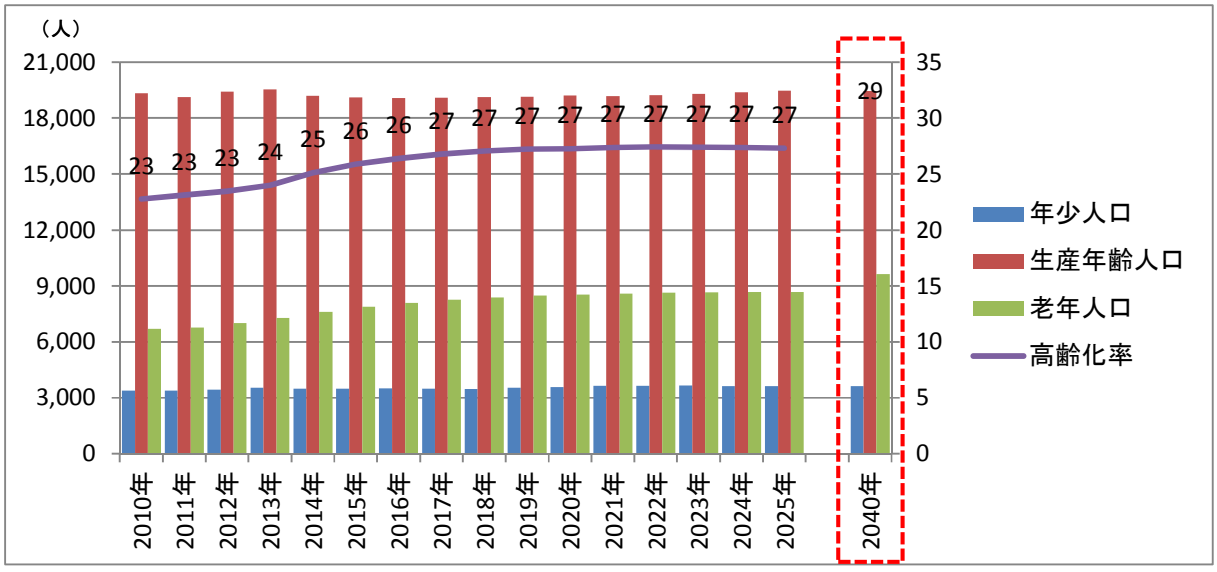


図 4-27　将来人口予測（年齢階層別）＋高齢化率（中央１地域：豊四季台地区）

4-5-2 新富地区

(1) 地区の概況

・新富地区は，本市西部に位置し，南は南柏駅西口から，北は豊四季駅，流山市駒木諏訪神社まで至る地域です。
・南柏駅周辺では，商業施設等が多く立地していますが，その他の地域においては，農地や森林等が多く残る自然豊かで閑静な住宅地となっています。
・特に地区の中央部では，駅から離れていることもあり，農地や森林等が数多く残っています。
・豊四季駅南口周辺は，流山市と本市側双方に商業施設が立地しています。
・また，地区の西部や北西部も，流山市に入り込むような地区形状となっており，流山市との関係性が深い地域でもあります。

(2) 配置状況

・新富地区の公共施設は 13 施設あり，公共施設の保有面積は計 16,687 ㎡になります。
・豊四季駅周辺と，新富近隣センターを中心として，公共施設がまとまって集積しています。

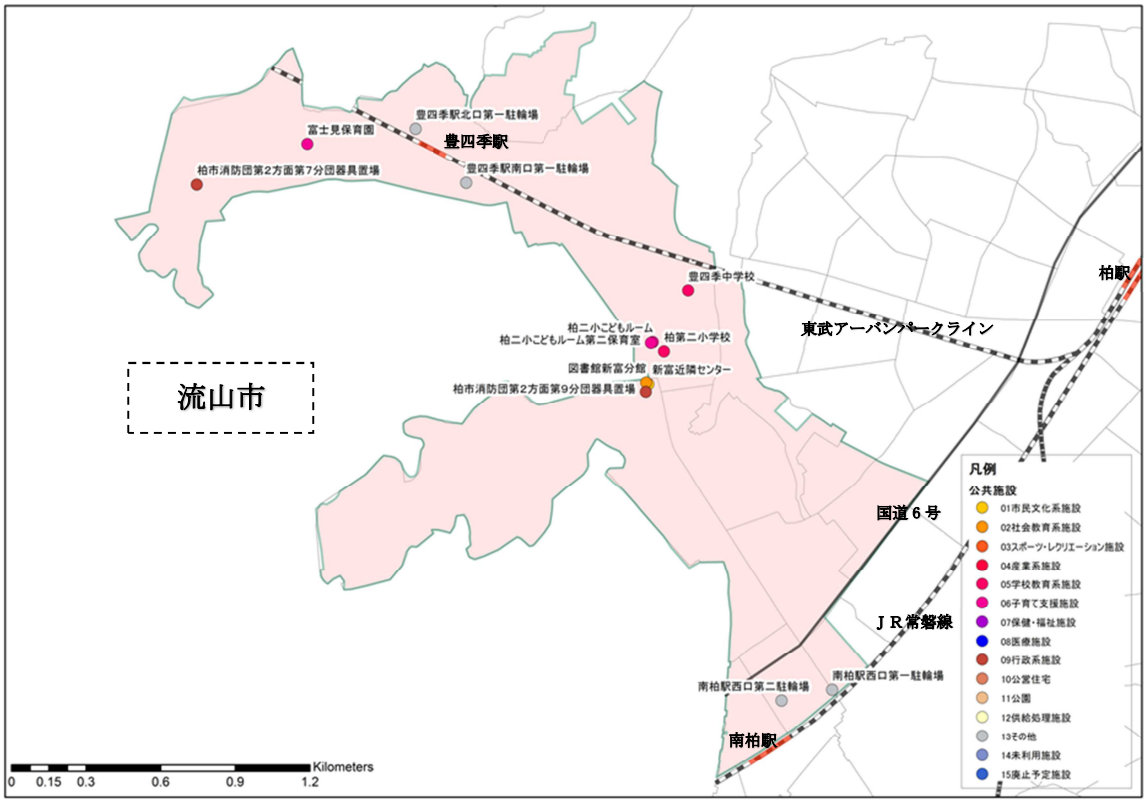


図 4-28　配置状況（中央１地域：新富地区）

(3) 現状の課題と将来人口予測

・流山市との連携を図りつつ，地域の自然環境を残した計画的な市街化を図ることが課題となっています。
・将来人口予測において，2040 年の地区内人口を 2014 年と比較すると 20%増で，増加率は 20 コミュニティ中 3 位です。また，2040 年の高齢化率は 25%で，20 コミュニティ中 20 位となっています。

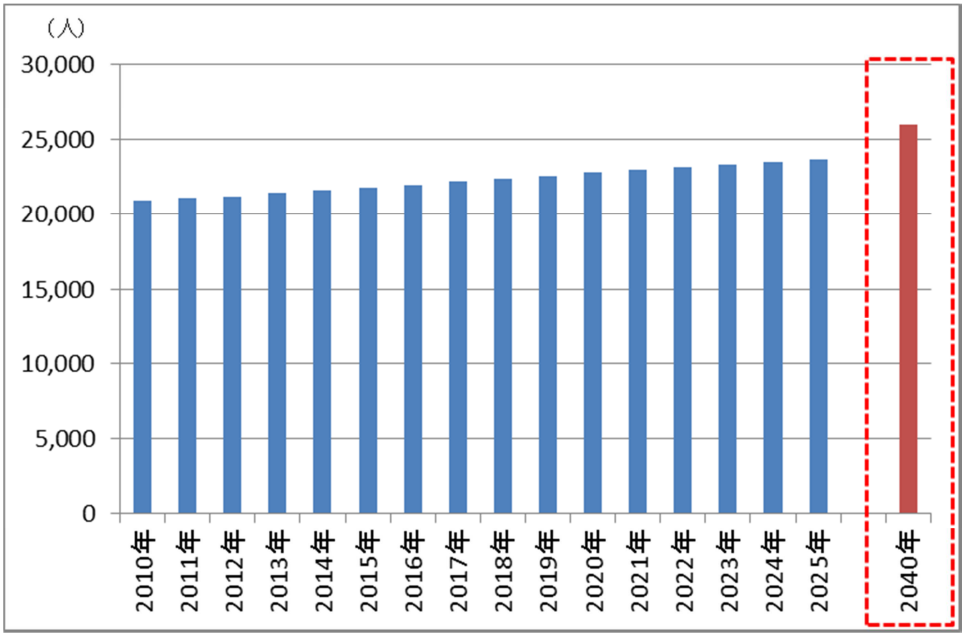


図 4-29　将来人口予測（中央１地域：新富地区）

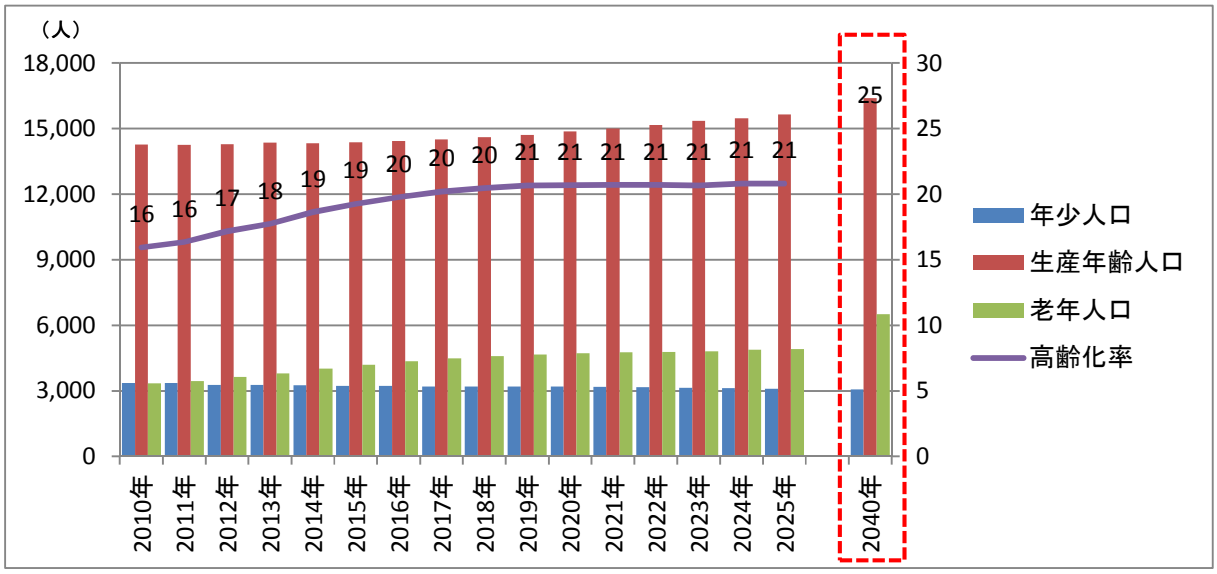


図 4-30　将来人口予測（年齢階層別）＋高齢化率（中央１地域：新富地区）

4-5-3 旭町地区

(1) 地区の概況

・旭町地区は，本市の中央部に位置し，柏駅東口の一部を含み，柏駅西口から西側に広がる地域です。
・柏駅周辺には，大規模小売店舗や商店街，業務施設等が立地し，本市の中心となる商業・業務地となっています。
・地区の中央部には，南北に国道 6 号が通り，ＪＲ常磐線や東武アーバンパークラインも位置し，交通騒音や大気汚染，地域分断の要因ともなっています。
・国道 6 号から西側は，県立東葛飾高校や気象大学校等の学校が立地し，新旧戸建住宅やアパート，低層マンション等が混在する住宅地となっています。
・また，国道 6 号沿いには，沿道型店舗や，マンションをはじめとする中高層住宅等が立ち並んでいます。

(2) 配置状況

・旭町地区の公共施設は 19 施設あり，公共施設の保有面積は計 29,333 ㎡になります。
・柏駅周辺と，旭町近隣センター周辺に，公共施設がまとまって集積しています。

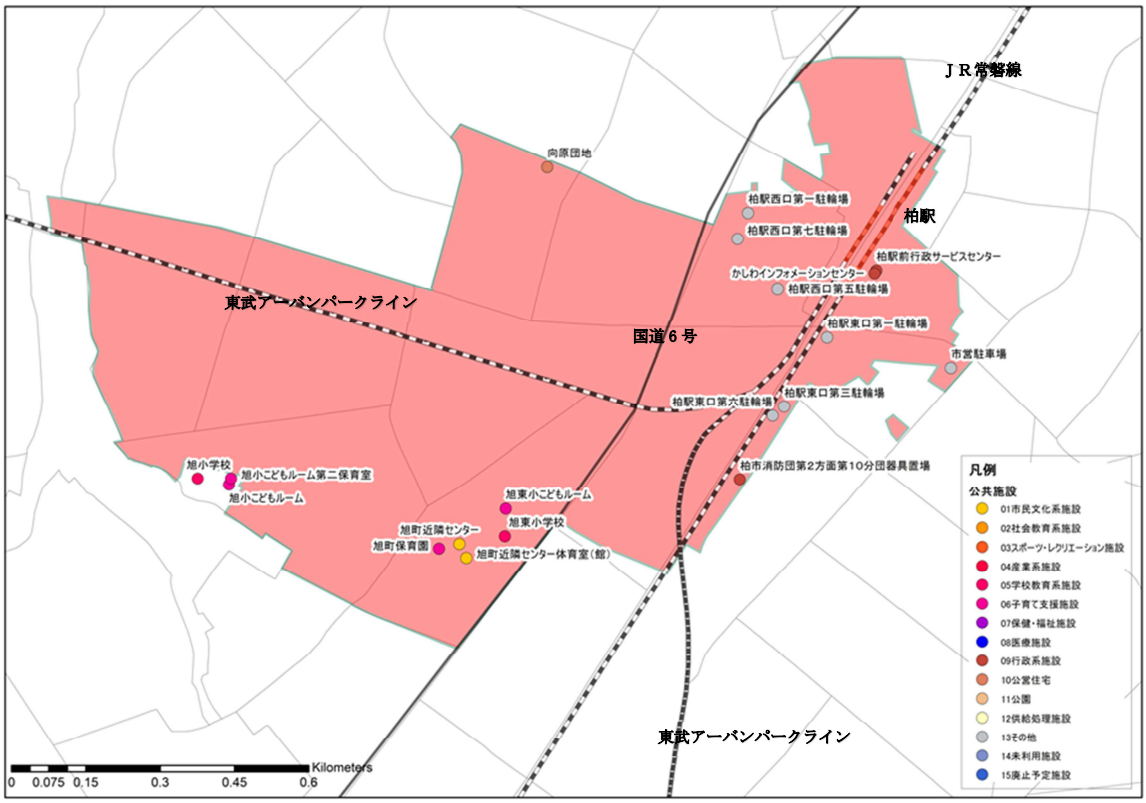


図 4-31　配置状況（中央 1 地域：旭町地区）

(3) 現状の課題と将来人口予測

・柏駅周辺の一部として，広域的な拠点地区を形成するための機能立地について促進を図ること，周辺部での良好な住環境を整備すること，また，交通施設による地区分断に対処していくことが課題となっています。

・将来人口予測において，2040 年の地区内人口を 2014 年と比較すると 35%増で，増加率は 20 コミュニティ中 2 位です。また，2040 年の高齢化率は 25%で，20 コミュニティ中 19 位となっています。

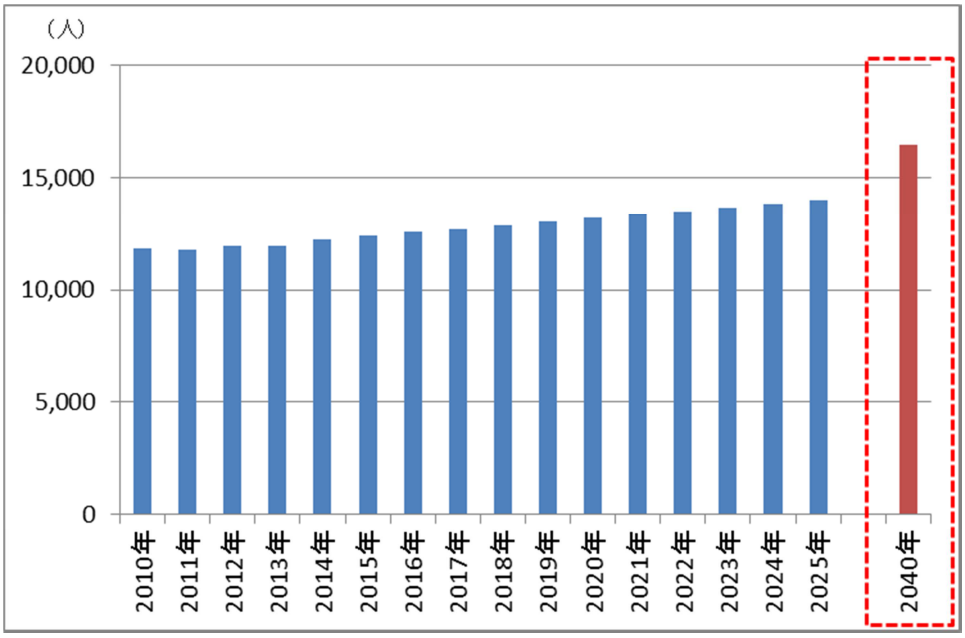


図 4-32　将来人口予測（中央１地域：旭町地区）

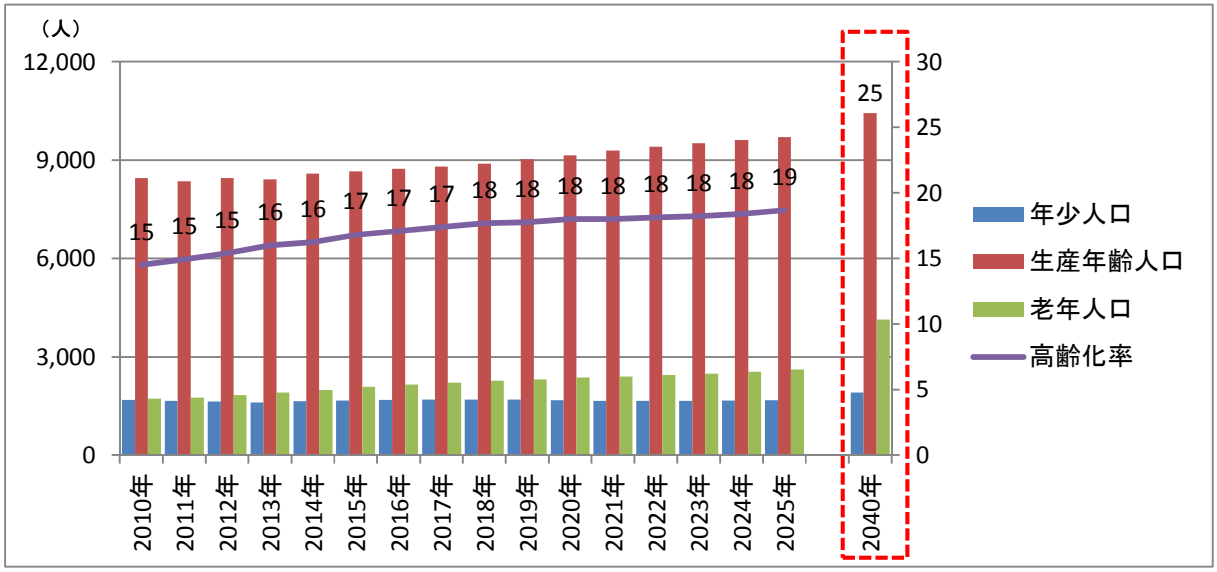


図 4-33　将来人口予測（年齢階層別）＋高齢化率（中央１地域：旭町地区）

4-6 中央２地域の現状と課題

4-6-1 柏中央地区

(1) 地区の概況

・柏中央地区は，柏駅から東側に広がる地域です。
・柏駅周辺は，大規模小売店舗や商店街，銀行，事務所，ホテル等が立地し，複合的な土地利用となっています。
・また，その外側は，高層マンションや戸建住宅が立ち並ぶ住宅地となっています。
・地区の東部や南東部は，大堀川・大津川流域および手賀沼湖畔一帯に低地が広がっており，農地や公園，緑地といった自然環境が残っています。
・地区の北東部，ＪＲ常磐線南側には，東京慈恵会医科大学附属柏病院を中心に大規模な医療機関が立地し，救急救命の拠点となっています。

(2) 配置状況

・柏中央地区の公共施設は 48 施設あり，公共施設の保有面積は計 79,394 ㎡になります。
・柏駅周辺，本市の行政拠点である本庁舎周辺および総合保健医療福祉施設（ウェルネス柏）周辺に，公共施設がまとまって集積しています。
・主に中央部，ＪＲ常磐線と国道 16 号を軸にして，様々な公共施設が整備されています。

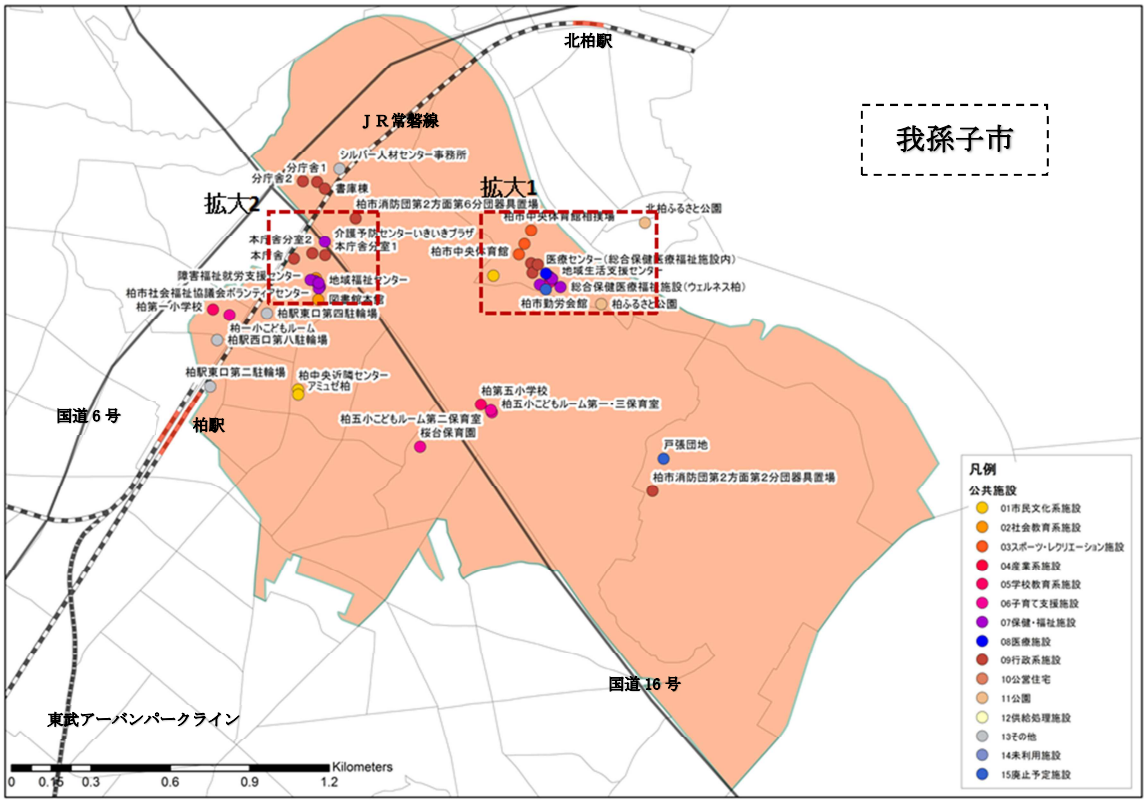


図 4-34　配置状況（中央２地域：柏中央地区）

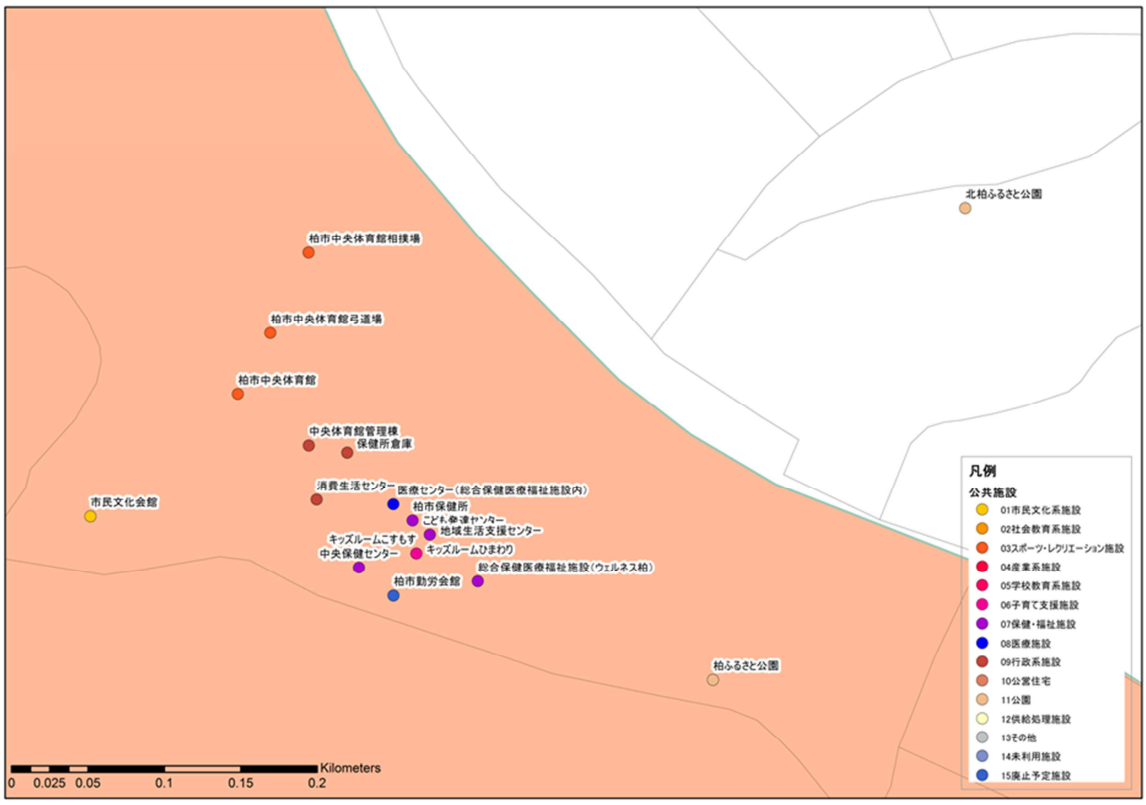


図 4-35　配置状況（中央２地域：柏中央地区（拡大 1））

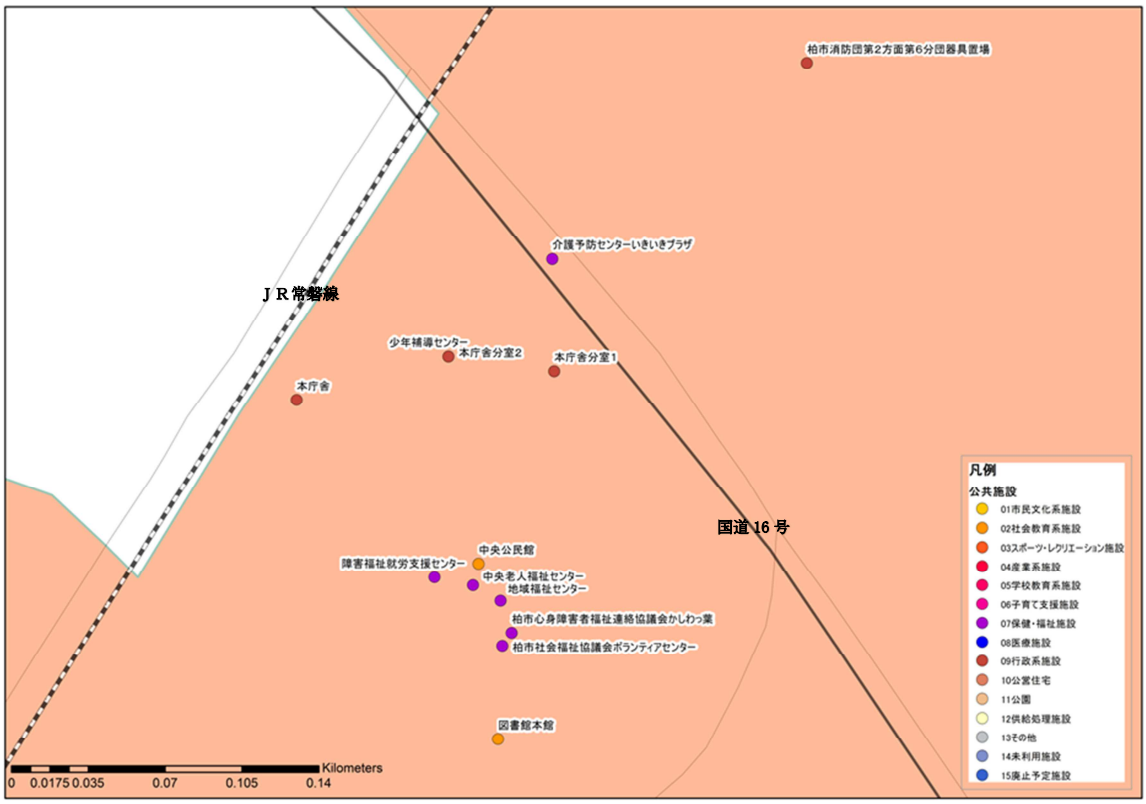


図 4-362　配置状況（中央２地域：柏中央地区（拡大 2））

(3) 現状の課題と将来人口予測

・本市の中心部としての複合的な機能立地について誘導を図ること，広域からのアクセス性を確保すること，また，周辺住宅地での住環境整備や保全を図ることが課題となっています。

・将来人口予測において，2040 年の地区内人口を 2014 年と比較すると 17%増で，増加率は 20 コミュニティ中 4 位です。また，2040 年の高齢化率は 27%で，20 コミュニティ中 18 位となっています。

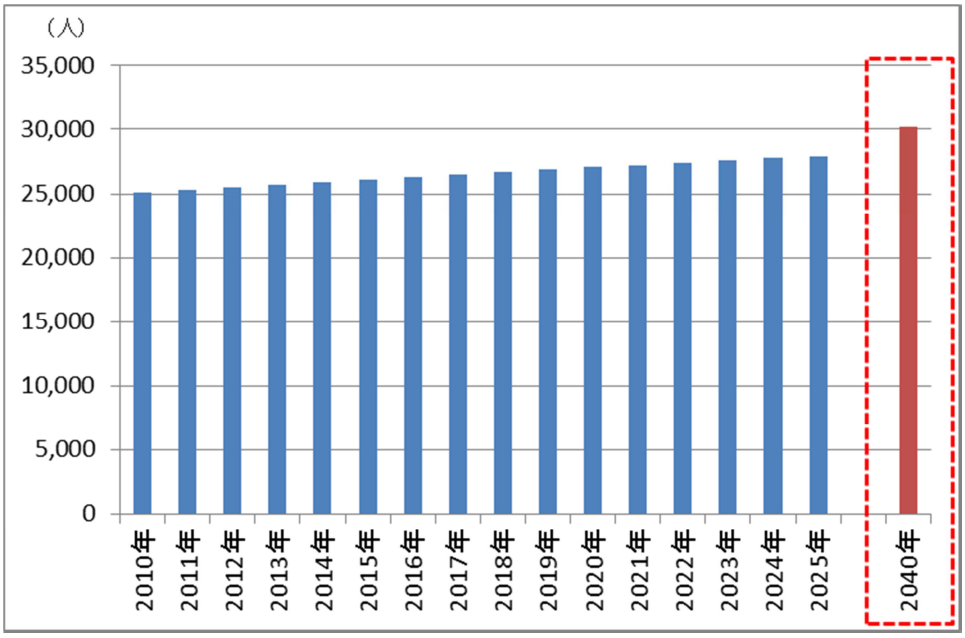


図 4-37　将来人口予測（中央２地域：柏中央地区）

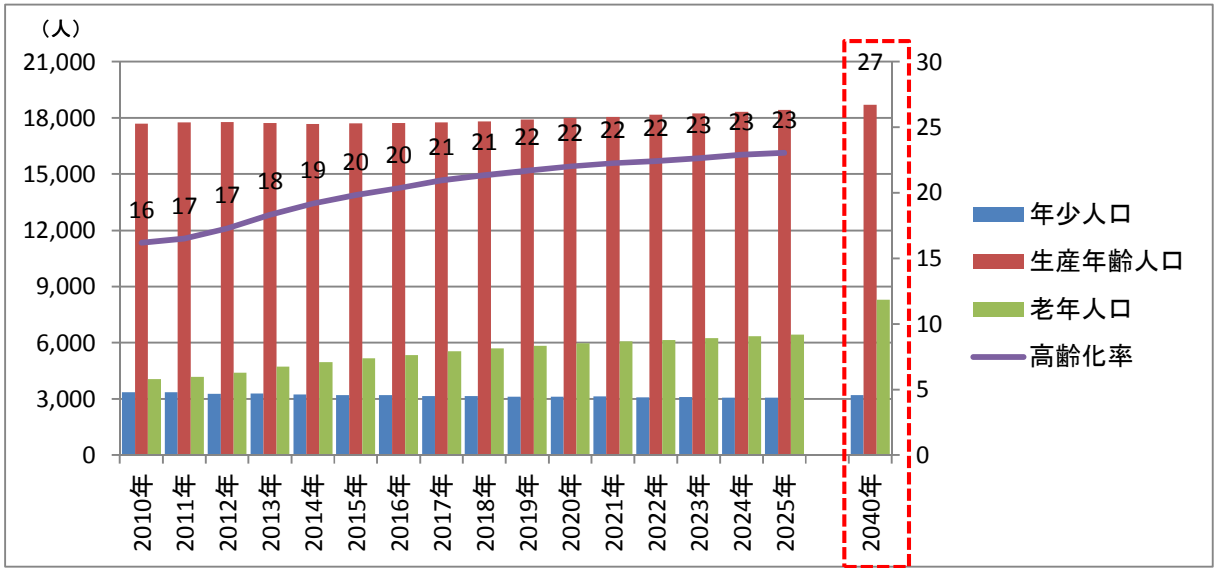


図 4-38　将来人口予測（年齢階層別）＋高齢化率（中央２地域：柏中央地区）

4-6-2 富里地区

(1) 地区の概況

・富里地区は，柏駅の東口から南柏駅近辺まで，県道 261 号松戸柏線（旧水戸街道）と，ＪＲ常磐線の沿線を中心に形成される地域です。
・柏駅周辺は商業系の用途，南柏駅の近接地域では一部農地や森林等の用途がみられますが，概ね市街化され，主として住宅地で構成されています。
・ＪＲ常磐線の北側には，大規模なショッピングモールが立地し，週末を中心に買い物客で賑わいをみせています。
・また，県道 261 号松戸柏線沿道には，柏駅周辺を中心として，大規模小売店舗や小規模店，飲食店等が立地し，比較的利便性が高くなっています。

(2) 配置状況

・富里地区の公共施設は 12 施設あり，公共施設の保有面積は計 18,358 ㎡になります。
・富里近隣センターが地区の中央部に位置し，北東部は柏第三小学校周辺に，南西部は豊小学校周辺に公共施設がまとまって集積しています。
・また，地区の北部には，本市東部地域の消防拠点施設である東部消防署が設置されています。

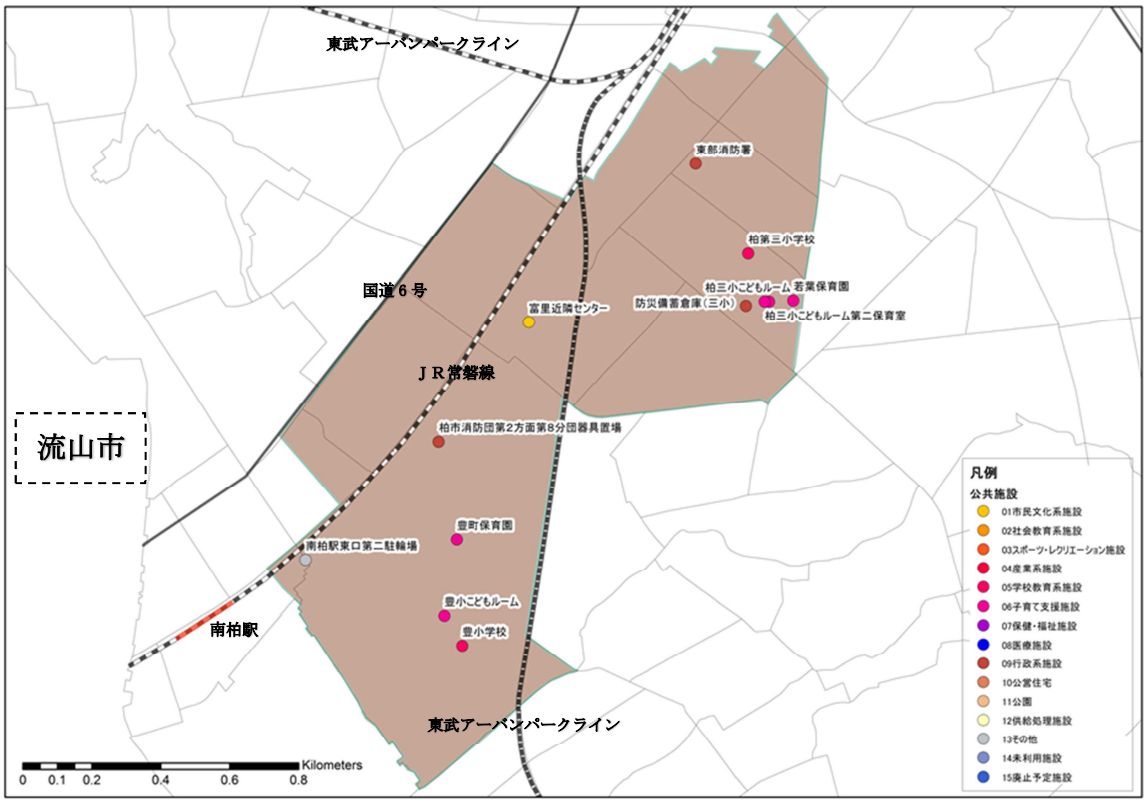


図 4-39　配置状況（中央２地域：富里地区）

(3) 現状の課題と将来人口予測

・住宅地における居住環境向上に向けた公園等の整備や，交通渋滞等へ対応するための都市計画道路の整備促進，また，残存する農地や森林の保全・活用についての方針を決め，それに沿ったまちづくりを行っていくことが課題となっています。
・将来人口予測において，2040 年の地区内人口を 2014 年と比較すると 3%減で，減少率は 20 コミュニティ中 13 位です。また，2040 年の高齢化率は 29%で，20 コミュニティ中 15 位となっています。

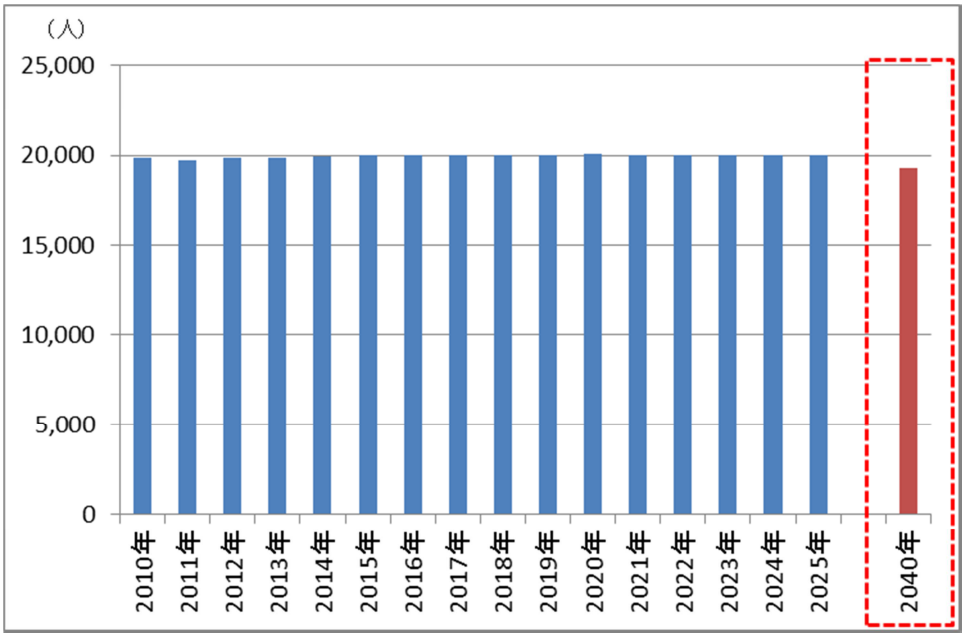


図 4-40　将来人口予測（中央２地域：富里地区）

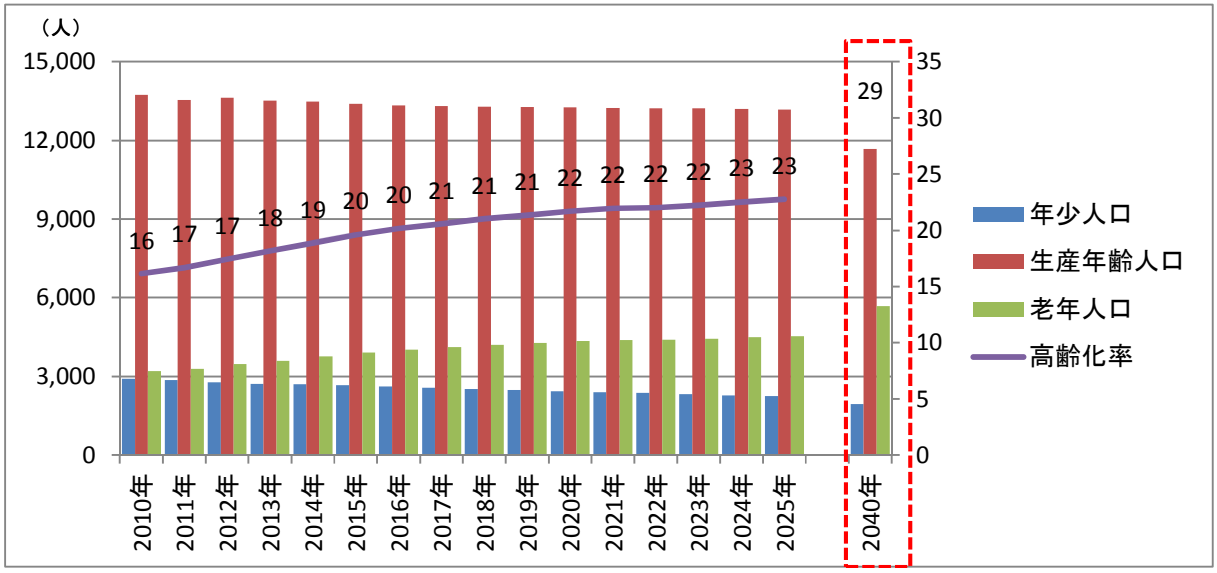


図 4-41　将来人口予測（年齢階層別）＋高齢化率（中央２地域：富里地区）

4-6-3 新田原地区

(1) 地区の概況

・新田原地区は，概ね住宅地として市街化された地域です。
・地区の西部は，ＮＴＴ社宅等の中層住宅と，戸建住宅が混在する地域となっており，地区の中央部および東部は，概ね戸建住宅で構成されています。
・また，大津川の流域には農地が残っており，その高台には一部森林が残っています。

(2) 配置状況

・新田原地区の公共施設は 8 施設あり，公共施設の保有面積は計 11,223 ㎡になります。
・地区の南部には，新田原近隣センターが設置されており，地区の北部には，柏第二中学校，東町保育園が設置されています。

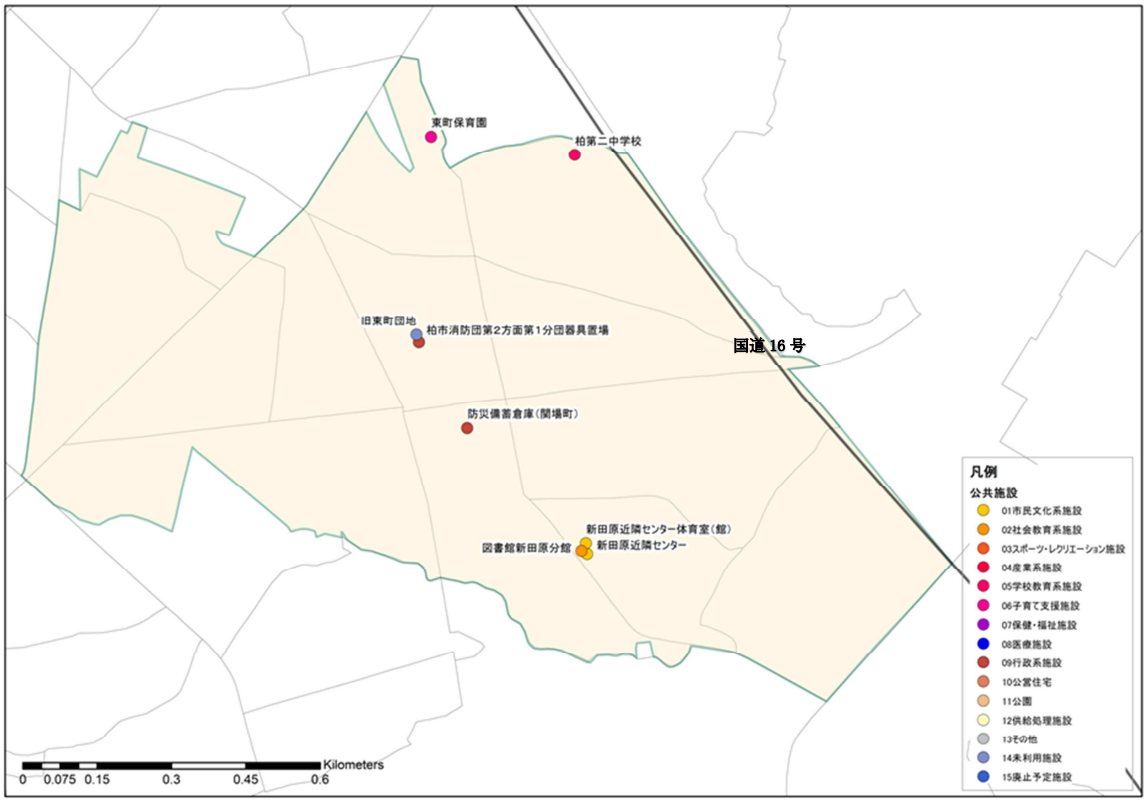


図 4-42　配置状況（中央２地域：新田原地区）

(3) 現状の課題と将来人口予測

・既存住宅地内の幹線道路・生活道路・公園等の整備や，まち並みをはじめとした景観形成の質的向上が課題となっています。

・将来人口予測において，2040 年の地区内人口を 2014 年と比較すると 10%減で，減少率は 20 コミュニティ中 10 位です。また，2040 年の高齢化率は 31%で，20 コミュニティ中 12 位となっています。

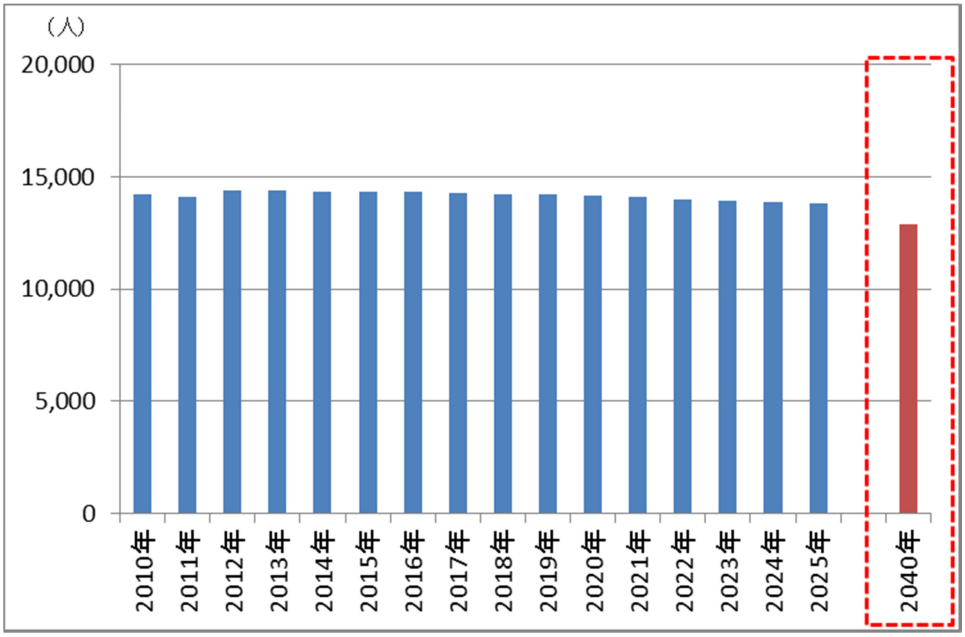


図 4-43　将来人口予測（中央２地域：新田原地区）

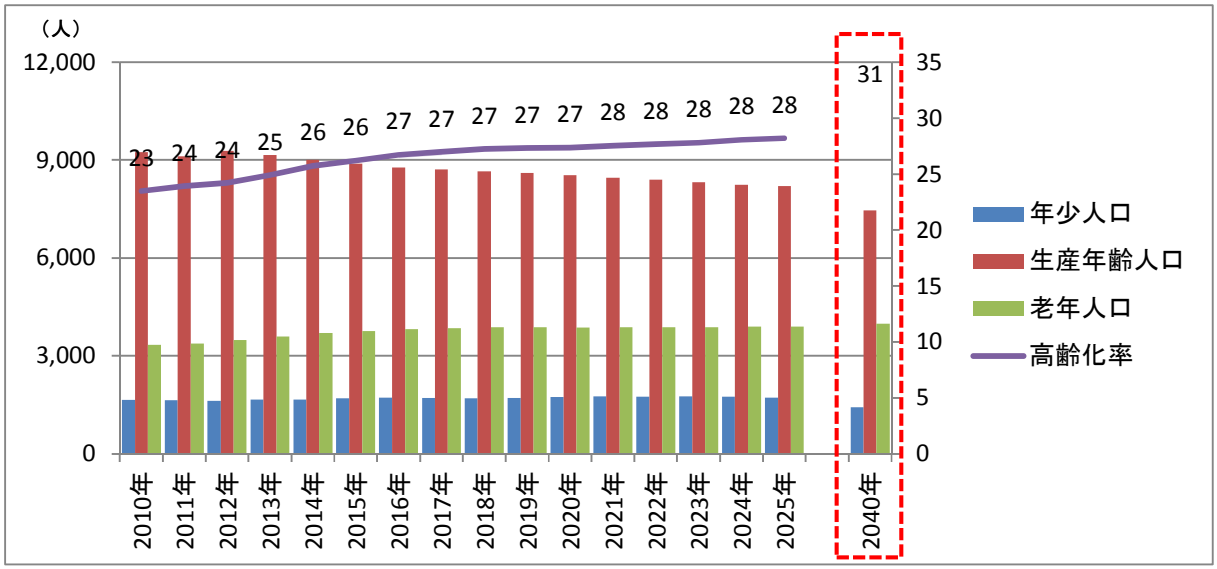


図 4-44　将来人口予測（年齢階層別）＋高齢化率（中央２地域：新田原地区）

4-6-4 永楽台地区

(1) 地区の概況

・永楽台地区は，概ね戸建住宅地として市街化された地域です。
・地区の中央部には，日立柏サッカー場が設置されており，その周囲には広範囲で緑地が残っています。
・日立柏サッカー場は，Ｊ1 リーグのサッカークラブチーム「柏レイソル」のホームスタジアムとなっており，試合のある日には周囲で賑わいをみせています。

(2) 配置状況

・永楽台地区の公共施設は 8 施設あり，公共施設の保有面積は計 14,133 ㎡になります。
・地区南部の永楽台近隣センター周辺に，公共施設がまとまって集積しています。
・また，地区北部の日立柏サッカー場に隣接して，柏市ひばりが丘市民プールが設置されており，スポーツ関連施設がまとまって集積しています。

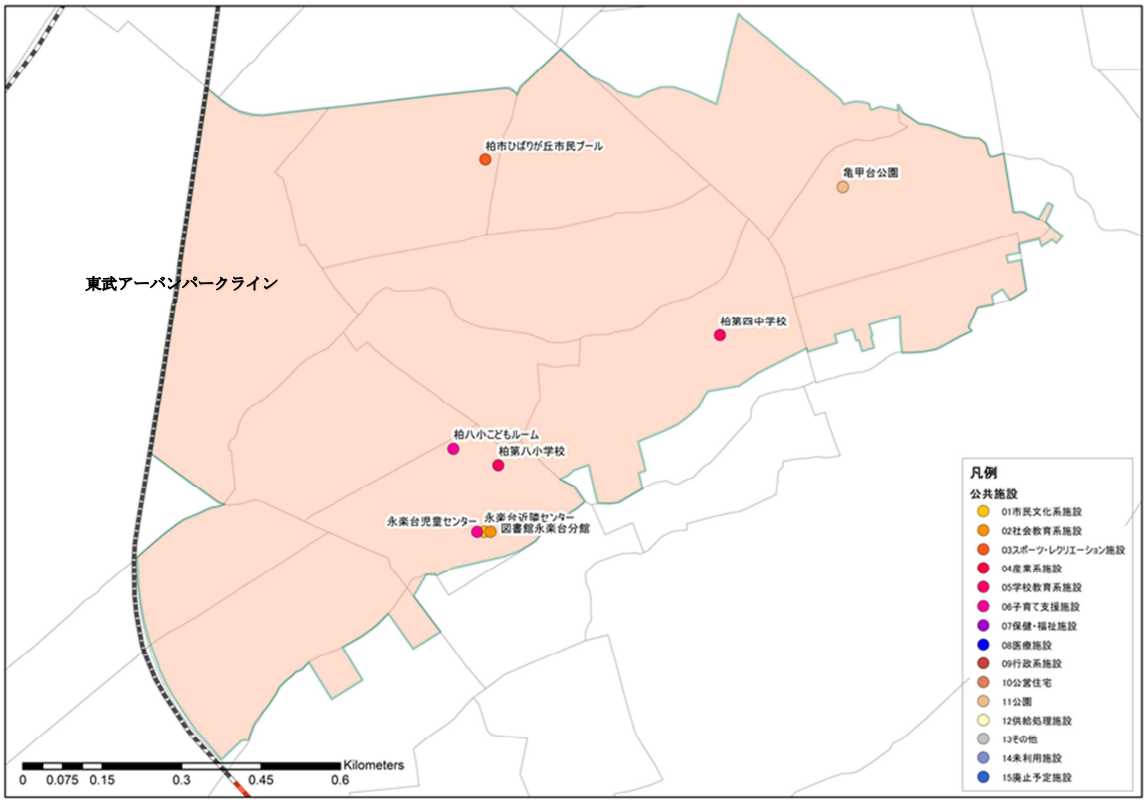


図 4-45　配置状況（中央２地域：永楽台地区）

(3) 現状の課題と将来人口予測

・既存住宅地内の幹線道路・生活道路・公園等の整備や，まち並みをはじめとした景観形成の質的向上が課題となっています。

・将来人口予測において，2040 年の地区内人口を 2014 年と比較すると 5%減で，減少率は 20 コミュニティ中 12 位です。また，2040 年の高齢化率は 33%で，20 コミュニティ中 10 位となっています。

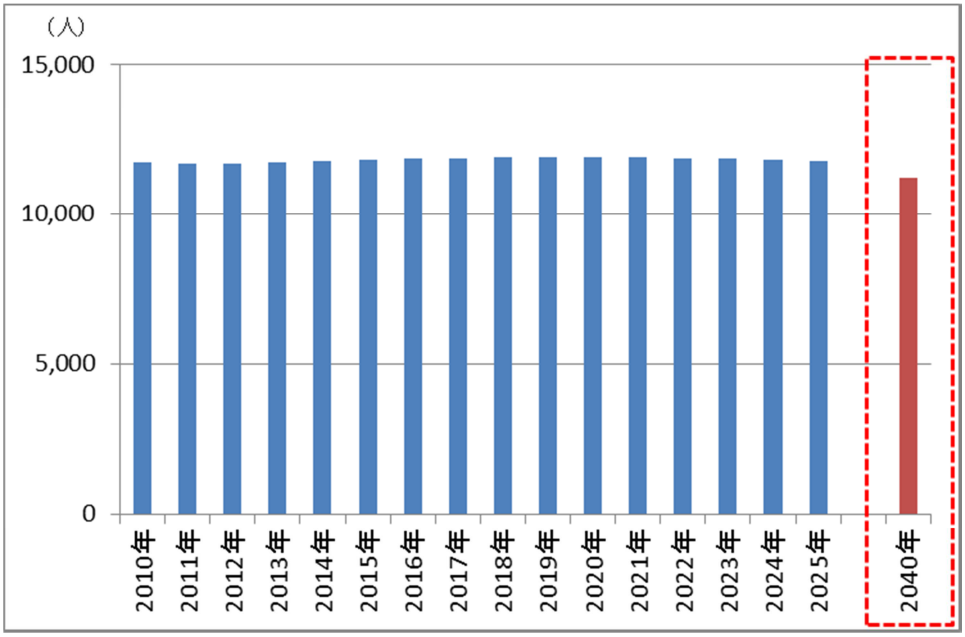


図 4-46　将来人口予測（中央２地域：永楽台地区）

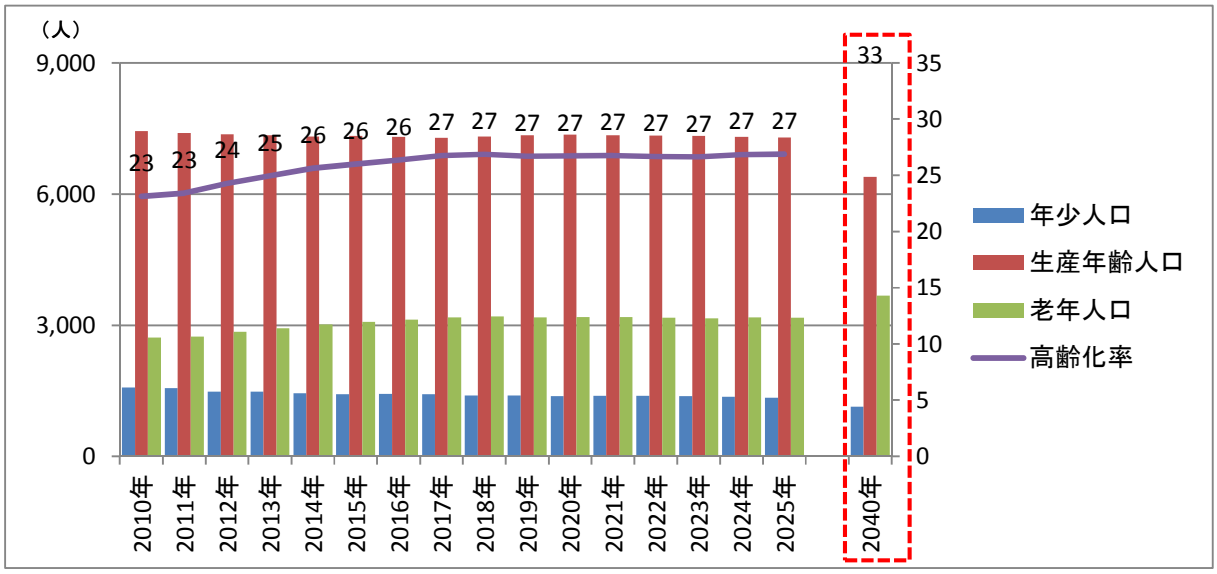


図 4-47　将来人口予測（年齢階層別）＋高齢化率（中央２地域：永楽台地区）

4-7 南部１地域の現状と課題

4-7-1 増尾地区

(1) 地区の概況

・増尾地区は，本市の南東部に位置し，農地や森林等の自然環境が豊富に残り，緑豊かな地域です。
・地区の西部，増尾駅西側は，戸建住宅を中心とした住宅地となっています。
・また，新柏駅東側は，駅周辺に集合住宅が立ち並び，その外側に学校等の公共施設が，その外側に戸建住宅が並びます。
・地区の中央部や東部は，農地や森林等の自然環境やゴルフ場，戸建住宅等が混在し，特に東部の大津川流域では，大規模な農地が残っています。

(2) 配置状況

・増尾地区の公共施設は 25 施設あり，公共施設の保有面積は計 43,352 ㎡になります。
・北部は，名戸ケ谷小学校の周辺，西部および南部は，東武アーバンパークラインの沿線に，公共施設がまとまって集積しています。

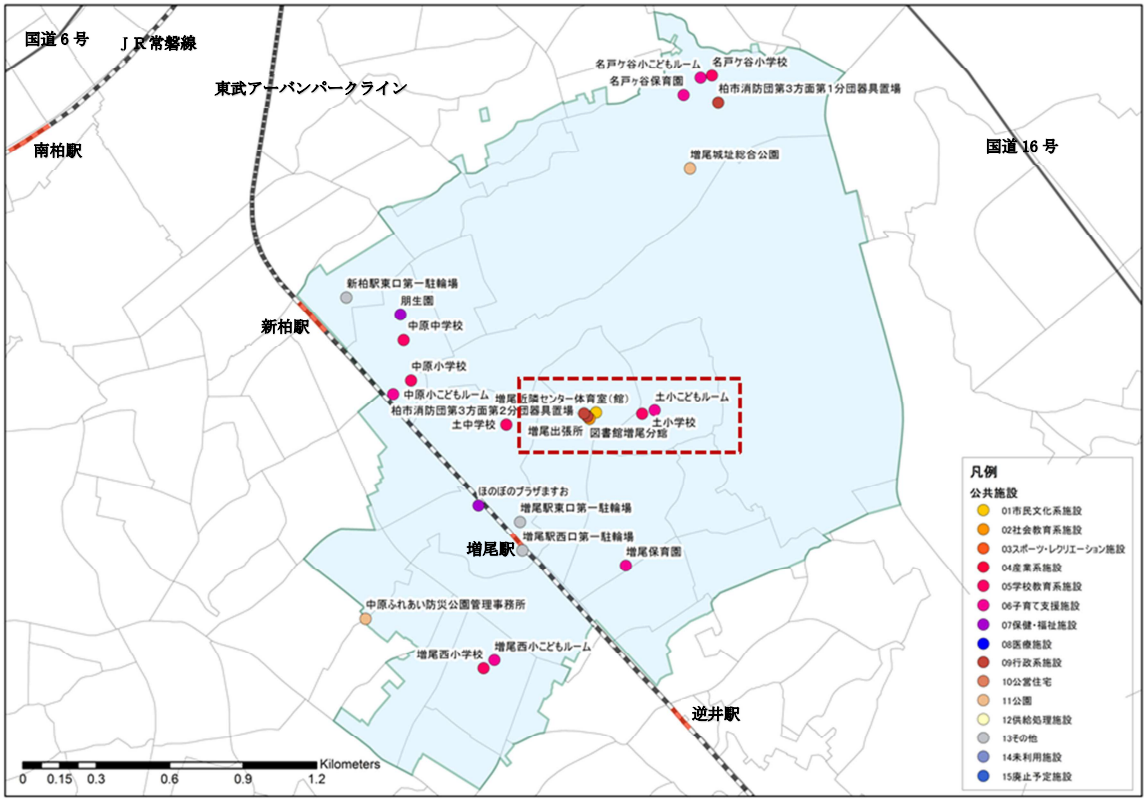


図 4-48　配置状況（南部１地域：増尾地区）

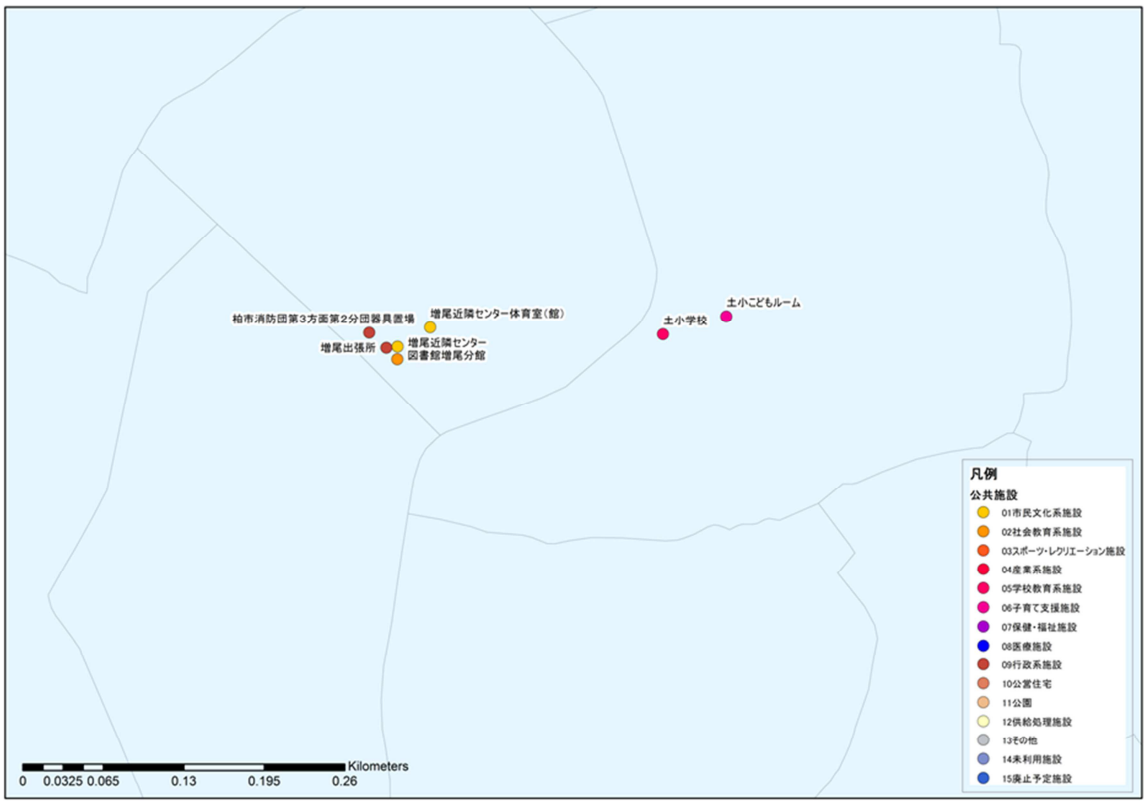


図 4-49　配置状況（南部 1 地域：増尾地区（拡大））

(3) 現状の課題と将来人口予測

・自然的環境の保全と，住環境の整備，地区内外の移動性を確保するための都市計画道路の整備促進が課題となっています。
・将来人口予測において，2040 年の地区内人口を 2014 年と比較すると 30%減で，減少率は 20 コミュニティ中 4 位です。また，2040 年の高齢化率は 42%で，20 コミュニティ中 5 位となっています。

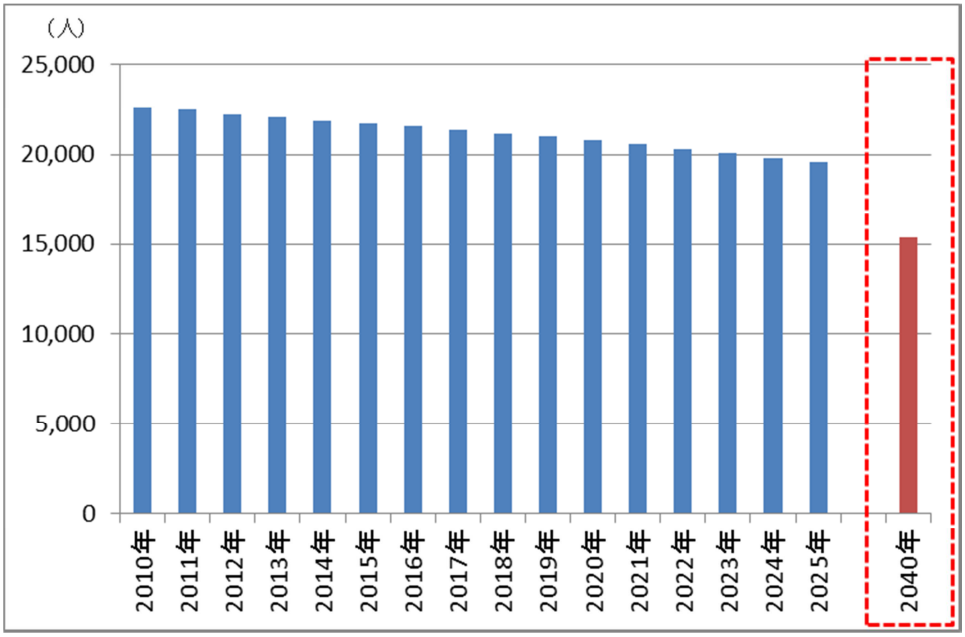


図 4-50　将来人口予測（南部 1 地域：増尾地区）

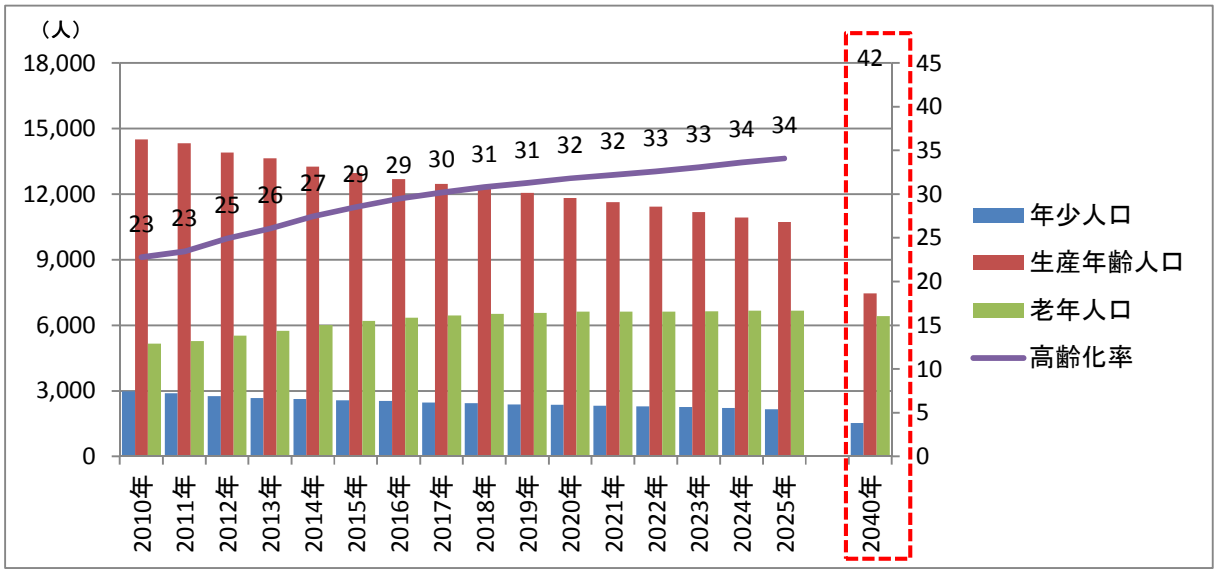


図 4-51　将来人口予測（年齢階層別）＋高齢化率（南部 1 地域：増尾地区）

4-7-2 南部地区

(1) 地区の概況

・南部地区は，地区の西部で宅地化が進んでいますが，東部を中心にまとまった農地や森林等が残る自然環境豊かな地域です。
・地区の北東部の柏リフレッシュ公園には，リフレッシュプラザ柏があり，柏市第二清掃工場の余熱を利用した施設で，年齢問わず誰でも楽しめ，市民から親しまれています。

(2) 配置状況

・南部地区の公共施設は 23 施設あり，公共施設の保有面積は計 62,715 ㎡になります。
・中央部は，南部近隣センターを中心に，公共施設がまとまって集積しています。
・また，北部は，柏市第二清掃工場周辺に公共施設が立地しています。

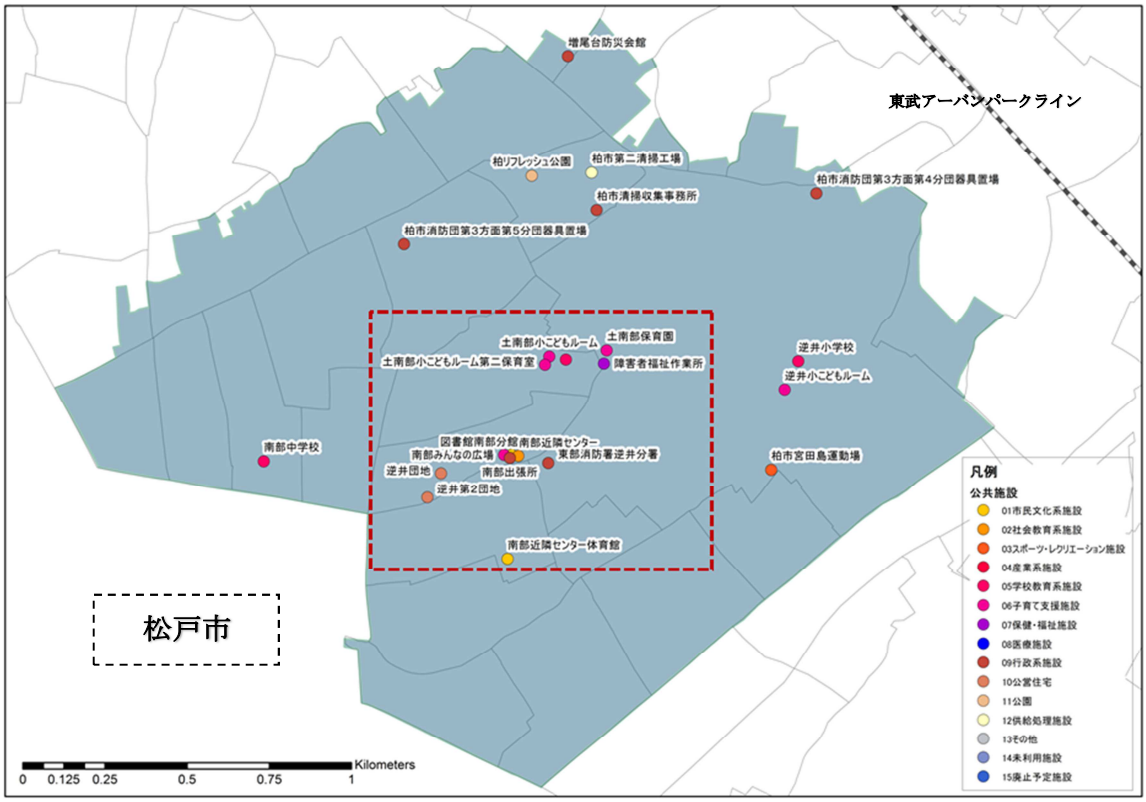


図 4-52　配置状況（南部 1 地域：南部地区）

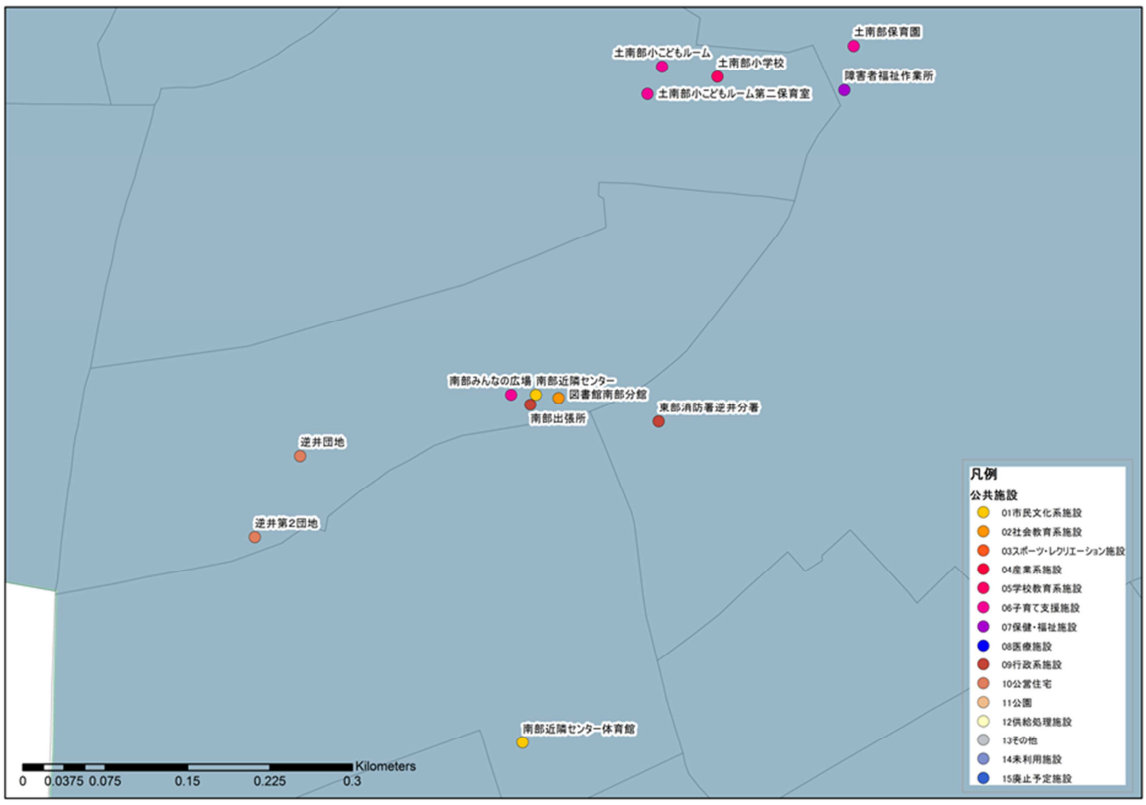


図 4-53　配置状況（南部 1 地域：南部地区（拡大））

(3) 現状の課題と将来人口予測

・まとまった自然的環境を保全・活用しながら，住環境をいかに向上させていくかが課題となっています。
・また，地区が本市最南端に位置していることから，市中心部への移動性確保が要望されており，都市計画道路の整備促進や，公共交通機関の利便性向上等が課題となっています。
・将来人口予測において，2040 年の地区内人口を 2014 年と比較すると 22%減で，減少率は 20 コミュニティ中 7 位です。また，2040 年の高齢化率は 38%で，20 コミュニティ中 7 位となっています。

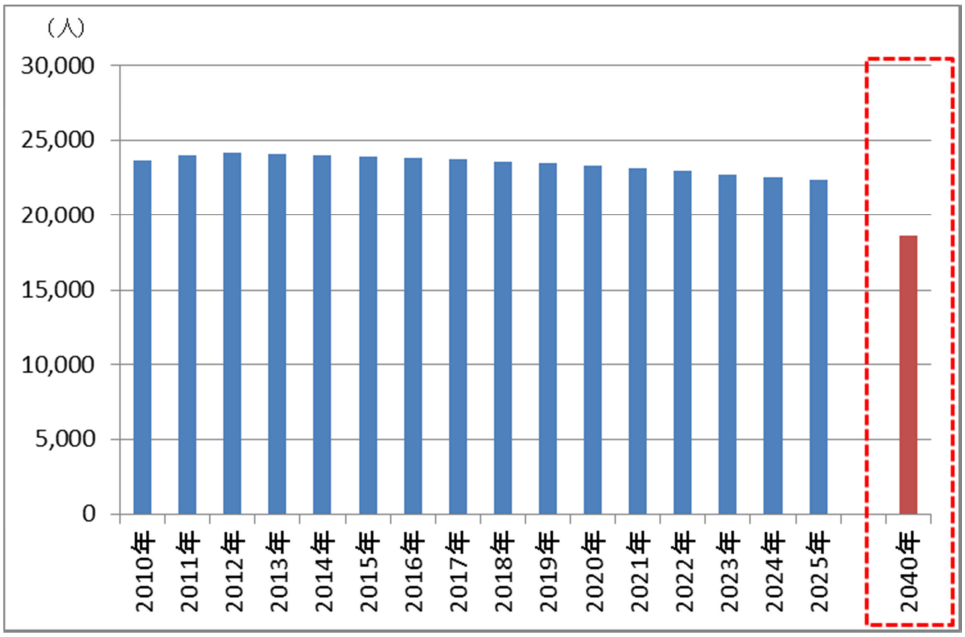


図 4-54　将来人口予測（南部１地域：南部地区）

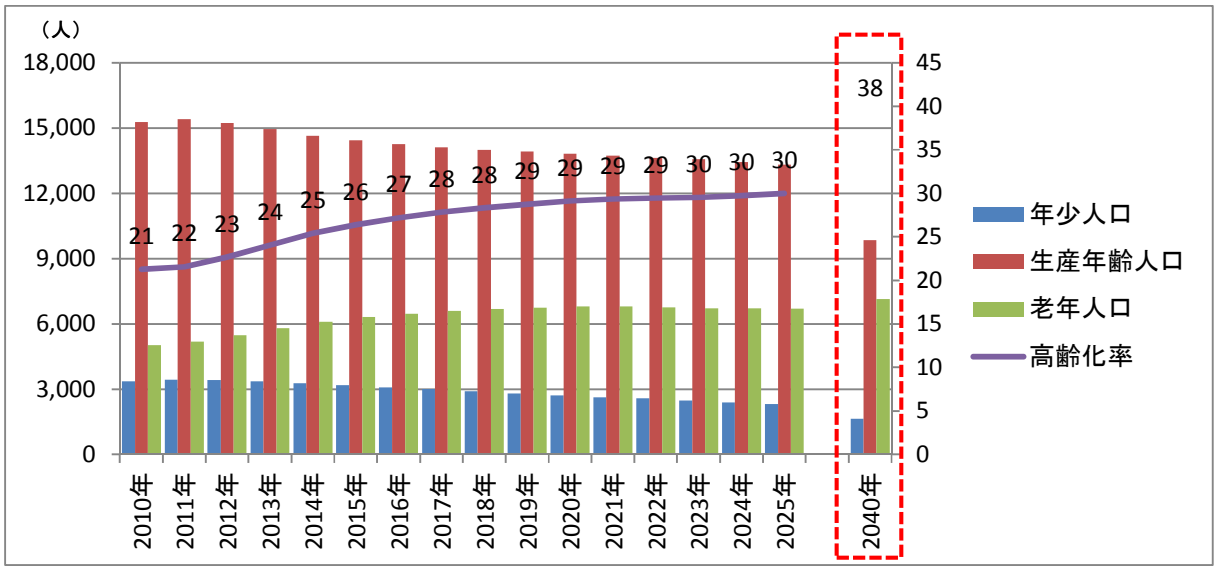


図 4-55　将来人口予測（年齢階層別）＋高齢化率（南部１地域：南部地区）

4-7-3 藤心地区

(1) 地区の概況

・藤心地区は，西部に形成された住宅市街地と，東部のまとまった農地や森林等の自然環境で構成される地域です。
・地区の西部は，逆井駅を中心に，戸建住宅を主とした住宅地が形成されています。
・また，地区の東部は，大津川流域にまとまった農地が存在し，地区の南東部には，森林や農地，カタクリの群生地が残っています。

(2) 配置状況

・藤心地区の公共施設は 12 施設あり，公共施設の保有面積は計 15,811 ㎡になります。
・藤心近隣センターや藤心小学校の周辺に，公共施設がまとまって集積しています。
・また，地区東部の大津川流域に，地域高齢者支援の拠点となる南部老人福祉センターが設置されています。

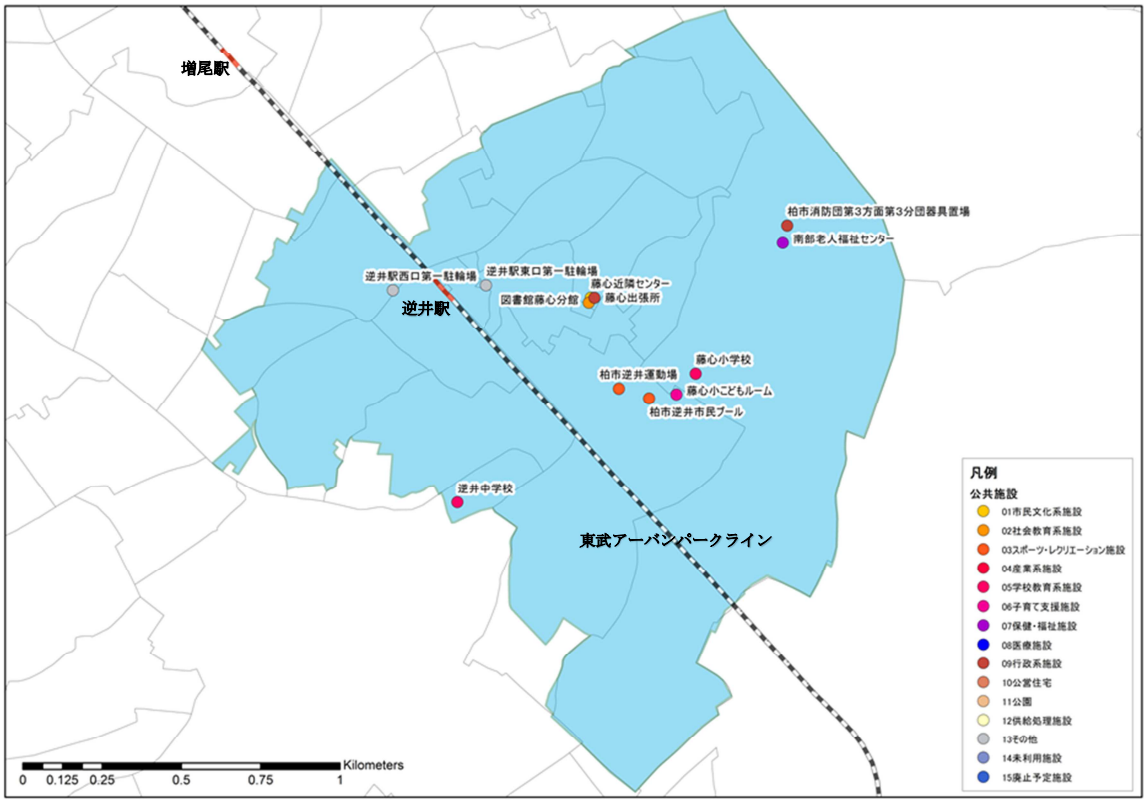


図 4-56　配置状況（南部 1 地域：藤心地区）

(3) 現状の課題と将来人口予測

・まとまった自然的環境が多く残る地域では，環境保全を主としたまちづくりが，一方で，住宅市街地化された地域では，良好な居住環境を形成するためのまちづくりが課題となっています。

・将来人口予測において，2040 年の地区内人口を 2014 年と比較すると 24%減で，減少率は 20 コミュニティ中 6 位です。また，2040 年の高齢化率は 39%で，20 コミュニティ中 6 位となっています。

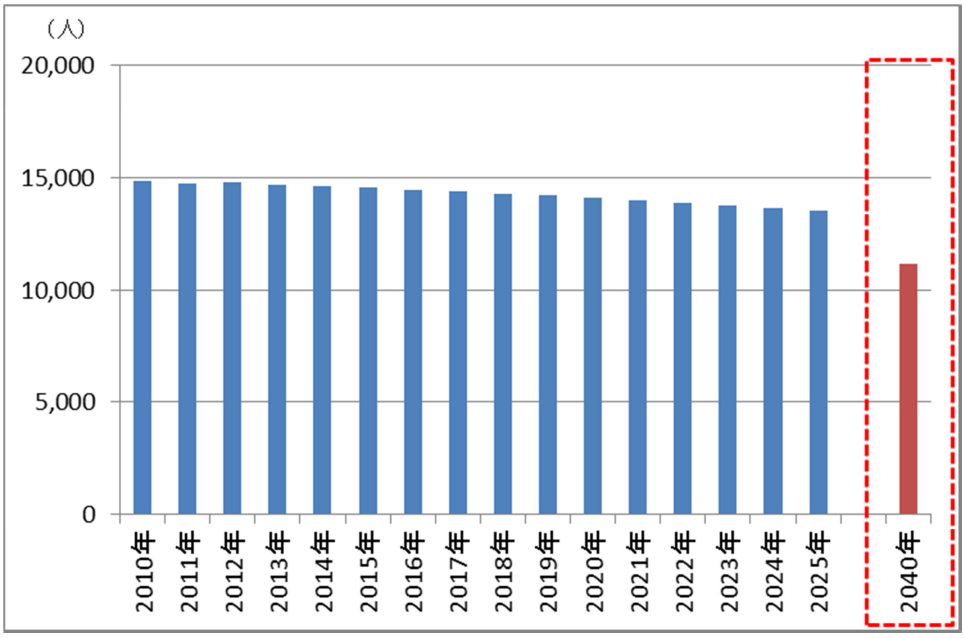


図 4-57　将来人口予測（南部 1 地域：藤心地区）

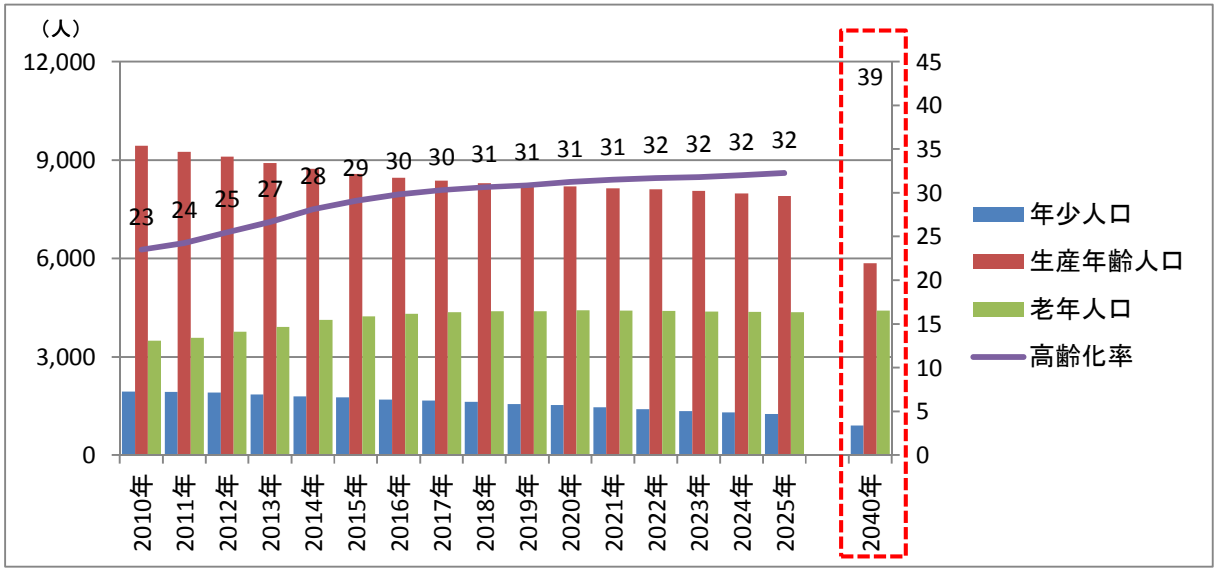


図 4-58　将来人口予測（年齢階層別）＋高齢化率（南部 1 地域：藤心地区）

4-8 南部２地域の現状と課題

4-8-1 光ケ丘地区

(1) 地区の概況

・光ケ丘地区は，西部の廣池学園（麗澤大学）周辺等で，一部農地や森林が残っていますが，概ね住宅地として市街化された地域です。
・地区の北部は，南柏駅を中心として，大規模小売店舗や飲食店，中高層マンション等が立地し，地区の中でも最も賑わいをみせています。
・また，地区の西部は，キャンパスタウン色が強く，地区の中央部は，光ケ丘団地を中心とした集合住宅が多くみられ，人口の過密地域となっています。
・その他の地域については，概ね戸建住宅を中心とした住宅地となっています。

(2) 配置状況

・光ケ丘地区の公共施設は 15 施設あり，公共施設の保有面積は計 24,560 ㎡になります。
・光ケ丘近隣センター周辺に，公共施設がまとまって集積しています。
・また，地区の南部には，地域の防災拠点となる中原ふれあい防災公園が設置されています。

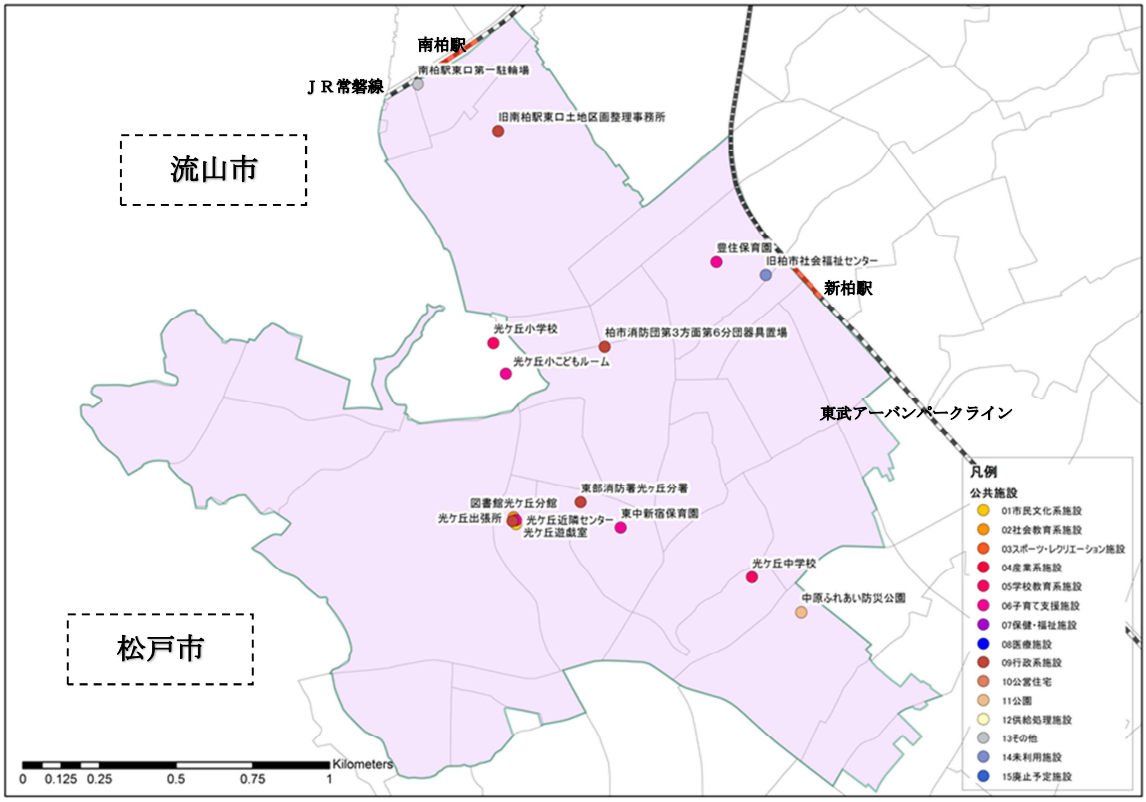


図 4-59　配置状況（南部２地域：光ケ丘地区）

(3) 現状の課題と将来人口予測

・住宅地内に残された自然環境を活かしながら，住環境の形成を図ることが課題となっています。

・将来人口予測において，2040 年の地区内人口を 2014 年と比較すると 17%減で，減少率は 20 コミュニティ中 9 位です。また，2040 年の高齢化率は 35%で，20 コミュニティ中 8 位となっています。

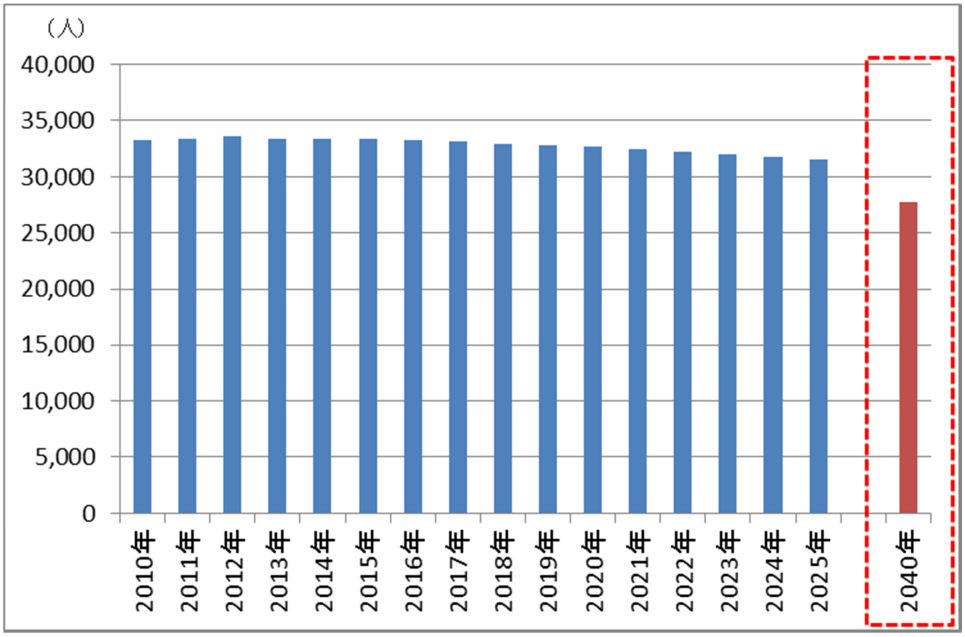


図 4-60　将来人口予測（南部２地域：光ケ丘地区）

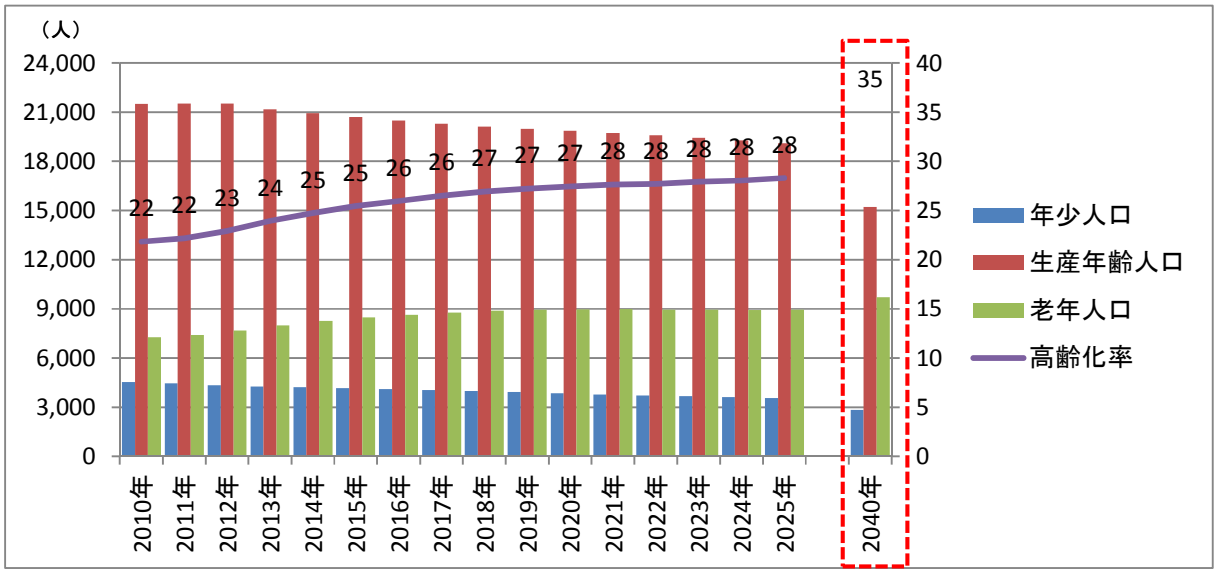


図 4-61　将来人口予測（年齢階層別）＋高齢化率（南部２地域：光ケ丘地区）

4-8-2 酒井根地区

(1) 地区の概況

・酒井根地区は，地区の南北にまとまった農地や森林が多く残り，地区の東西に住宅地が形成されている比較的自然環境が豊かな地域です。
・地区の西部は，松戸市からつながる計画的な住宅地となっており，地区の東部は，増尾地区や光ケ丘地区からつながる住宅地となっています。
・また，地区の北部では，酒井根下田の森を中心に多くの森林が残り，地区の南部では，農地がまとまって存在しています。

(2) 配置状況

・酒井根地区の公共施設は 13 施設あり，公共施設の保有面積は計 28,461 ㎡になります。
・酒井根近隣センター，酒井根小学校，酒井根中学校の周辺に，公共施設がまとまって集積しています。

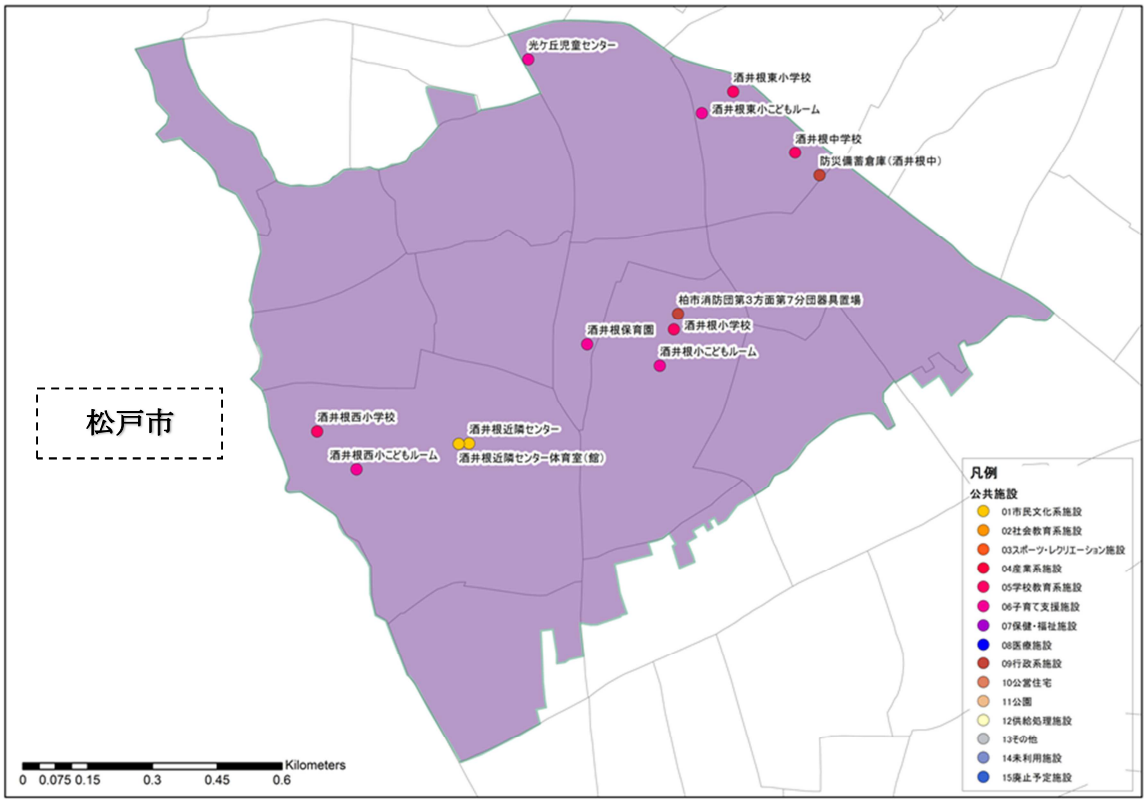


図 4-62　配置状況（南部２地域：酒井根地区）

(3) 現状の課題と将来人口予測

・まとまった自然的環境が多く残る地域では，環境保全を主としたまちづくりが，一方で，住宅市街地化された地域では，良好な居住環境を形成するためのまちづくりが課題となっています。

・将来人口予測において，2040 年の地区内人口を 2014 年と比較すると 5%減で，減少率は 20 コミュニティ中 11 位です。また，2040 年の高齢化率は 31%で，20 コミュニティ中 11 位となっています。

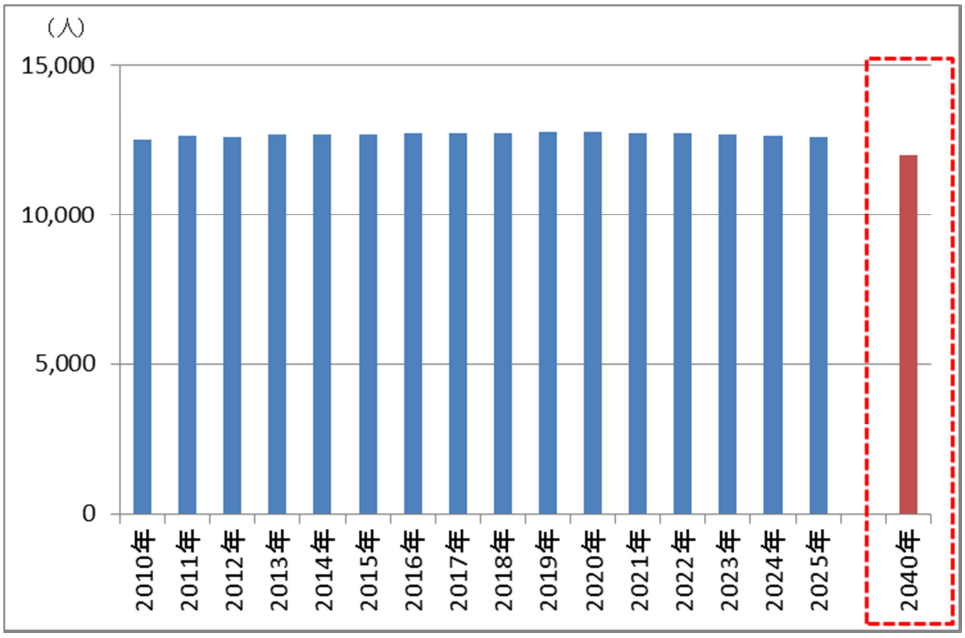


図 4-63　将来人口予測（南部２地域：酒井根地区）

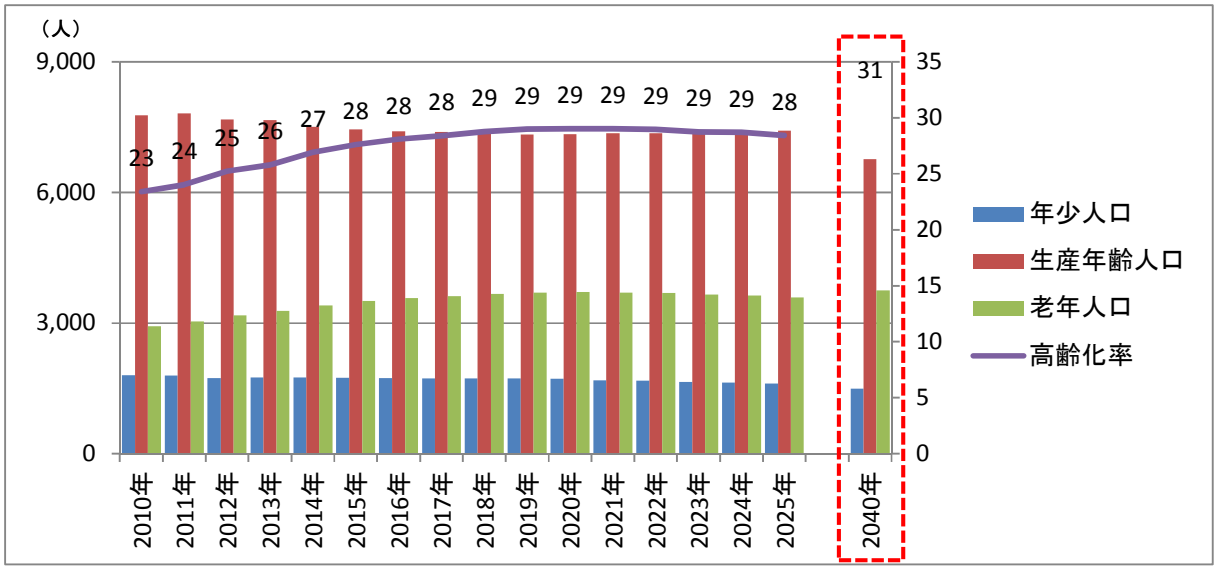


図 4-64　将来人口予測（年齢階層別）＋高齢化率（南部２地域：酒井根地区）

4-9 沼南地域の現状と課題

4-9-1 風早北部地区

(1) 地区の概況

・風早北部地区は，地区の中央部に住宅地が密集し，その外側にまとまった農地や森林等が残る自然環境豊かな地域です。
・地区の中央部は，土地区画整理事業により，中層住宅と戸建住宅が計画的に配置された住宅市街地が形成されています。
・国道 16 号沿いには，沿道型の商業施設等が立地し，千葉方面へ南下すると，風早工業団地が形成されています。
・手賀沼湖畔や大津川流域には，農地がまとまって存在し，地区の東部では，手賀の杜に大規模なニュータウンが造成されています。

(2) 配置状況

・風早北部地区の公共施設は 41 施設あり，公共施設の保有面積は計 59,679 ㎡になります。
・沼南庁舎の周辺に，公共施設がまとまって集積しています。
・また，風早工業団地に隣接して，地域高齢者支援の拠点となる沼南老人福祉センターが設置されており，その周辺にも公共施設が集積しています。
・手賀沼湖畔には，都市農業センターが設置されており，「道の駅しょうなん」として，地域の賑わいを創出しています。

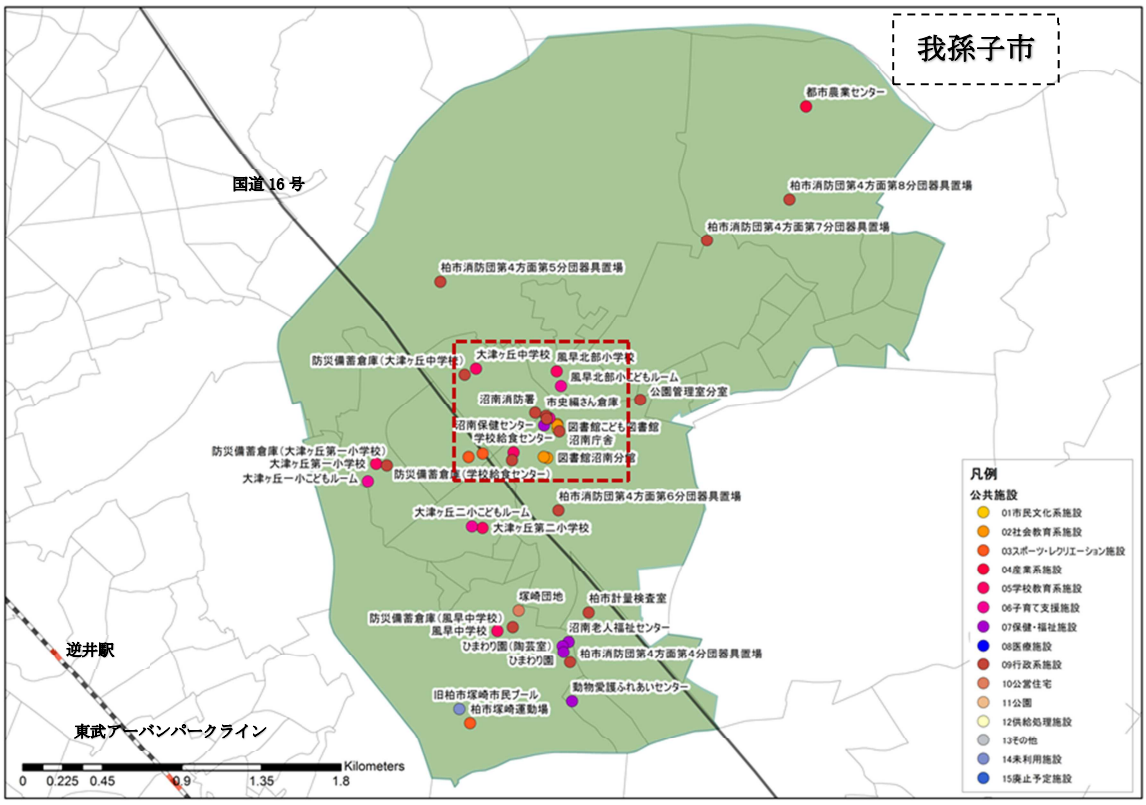


図 4-65　配置状況（沼南地域：風早北部地区）

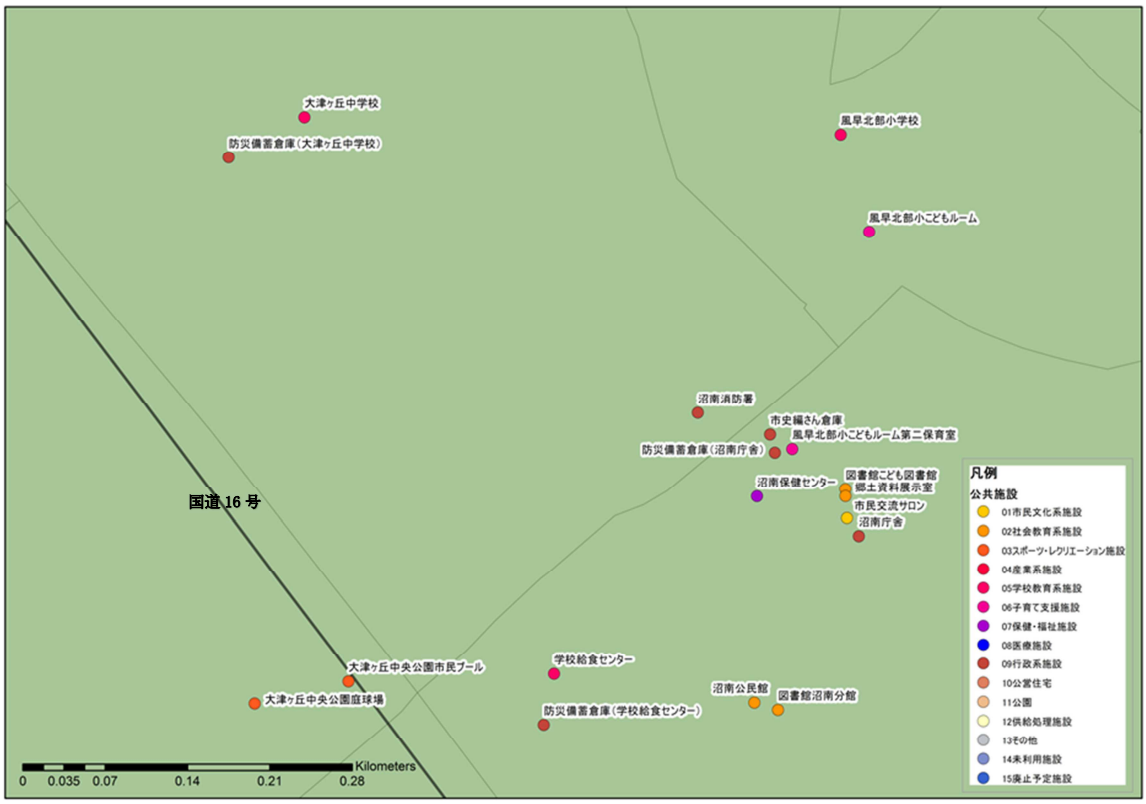


図 4-66　配置状況（沼南地域：風早北部地区（拡大））

(3) 現状の課題と将来人口予測

・地区の核となる賑わい拠点の整備や，バス輸送の改善，水辺環境の活用を進めていくことが課題となっています。
・将来人口予測において，2040 年の地区内人口を 2014 年と比較すると 21%減で，減少率は 20 コミュニティ中 8 位です。また，2040 年の高齢化率は 35%で，20 コミュニティ中 9 位となっています。

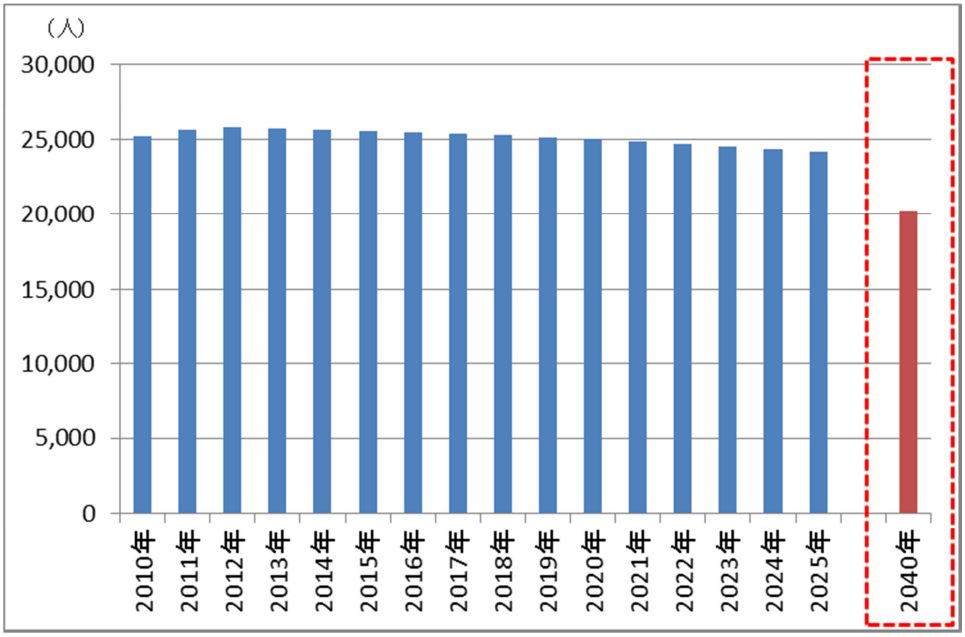


図 4-67　将来人口予測（沼南地域：風早北部地区）

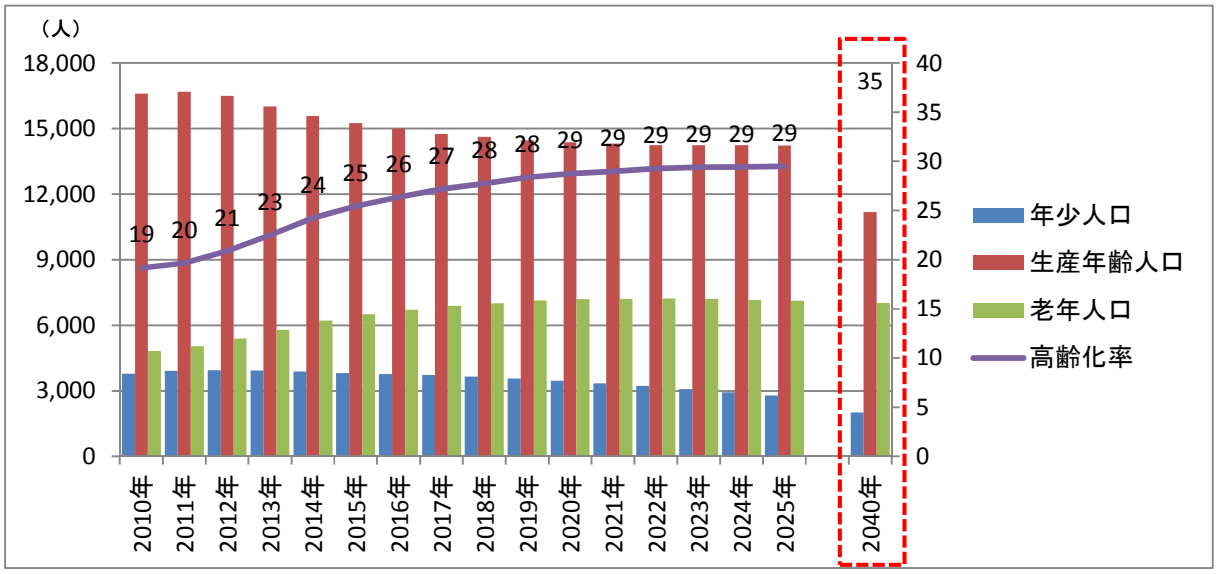


図 4-68　将来人口予測（年齢階層別）＋高齢化率（沼南地域：風早北部地区）

4-9-2 風早南部地区

(1) 地区の概況

・風早南部地区は，地区の西部に住宅地が形成され，その他については，まとまった農地や森林等が残る自然環境豊かな地域です。
・地区の西部，高柳駅より西側については，松戸市と一体的に整備された計画的な住宅地が形成されています。
・地区の南部は，海上自衛隊下総航空基地が広く占め，北部や東部は，農地や森林等を主とし，可住地も集落や密度の低い住宅地となっています。

(2) 配置状況

・風早南部地区の公共施設は 29 施設あり，公共施設の保有面積は計 36,737 ㎡になります。
・高柳駅周辺と国道 16 号の沿道に，公共施設がまとまって集積しています。
・地区の北部に設置されている柏市沼南体育館は，地域スポーツ振興の拠点となっています。

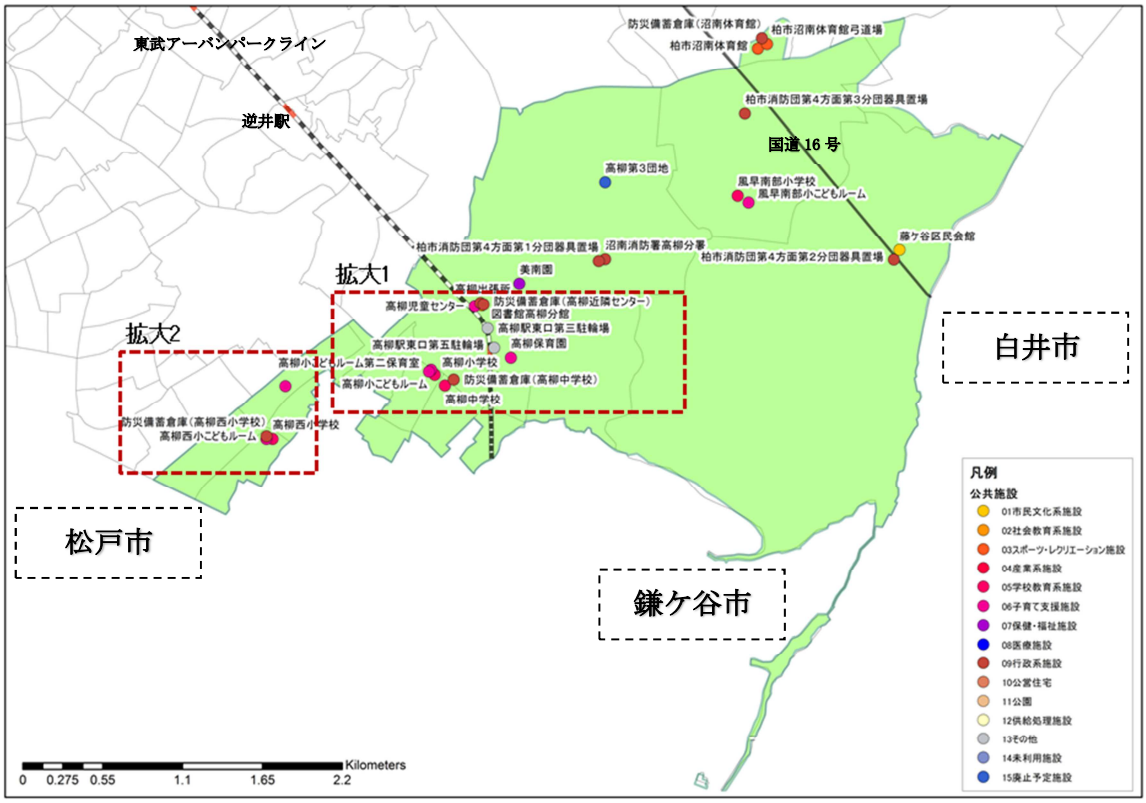


図 4-69　配置状況（沼南地域：風早南部地区）

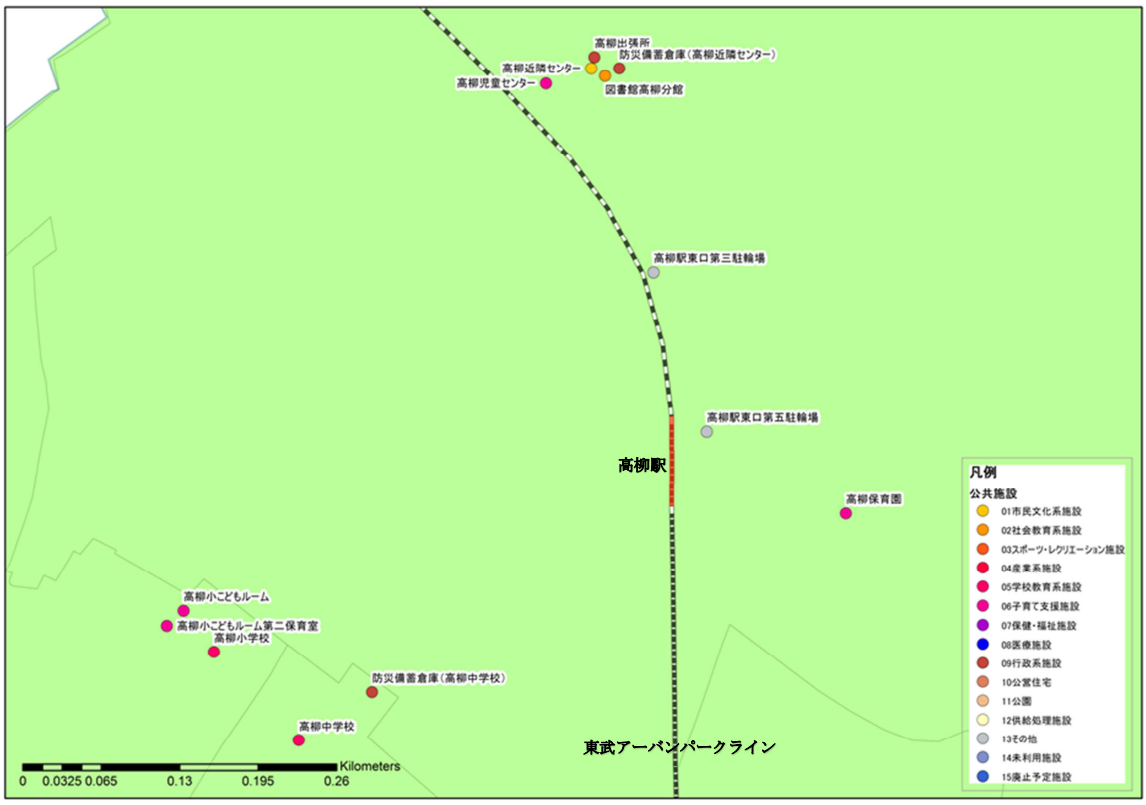


図 4-70　配置状況（沼南地域：風早南部地区（拡大 1））

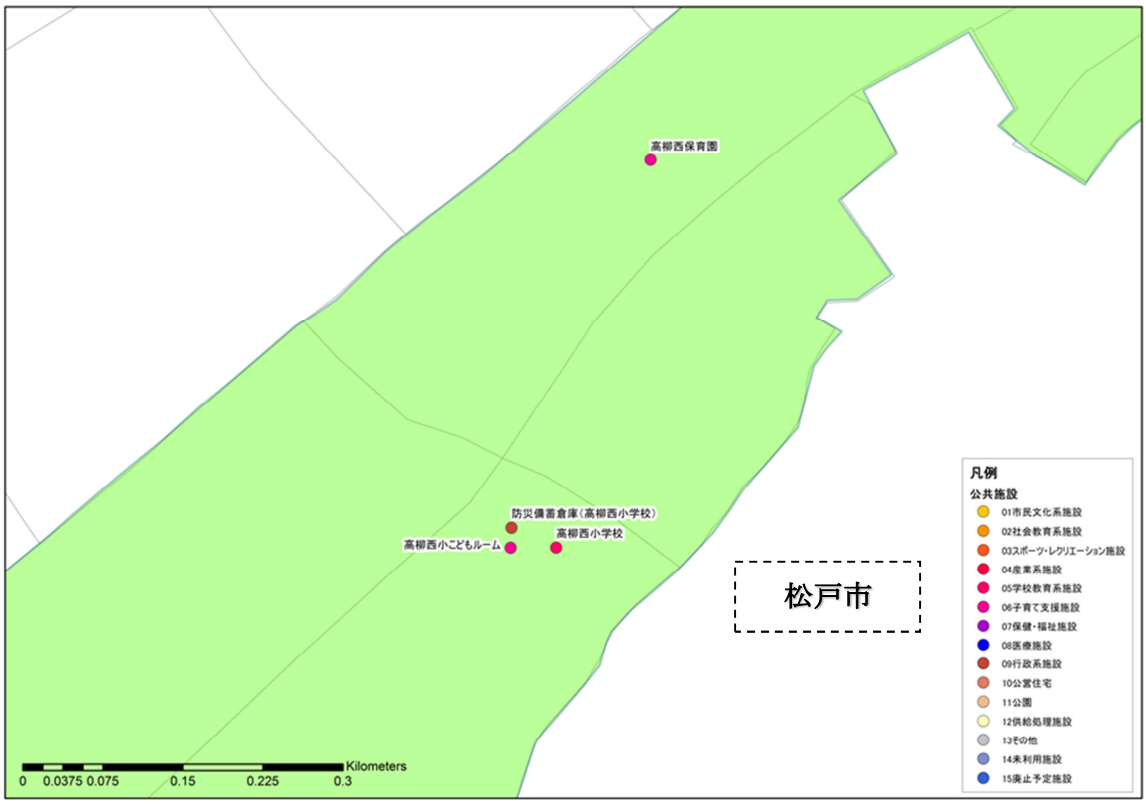


図 4-71　配置状況（沼南地域：風早南部地区（拡大 2））

(3) 現状の課題と将来人口予測

・計画的に基盤整備を進め，良好な住宅地環境の形成を図っていくことが課題となっています。
・また，交通環境が十分ではなく，骨格道路の整備や公共交通のアクセス性向上を図り，利便性の高い交通ネットワークを形成することが課題となっています。
・将来人口予測において，2040 年の地区内人口を 2014 年と比較すると 1%増で，増加率は 20 コミュニティ中 7 位です。また，2040 年の高齢化率は 29%で，20 コミュニティ中 16 位となっています。

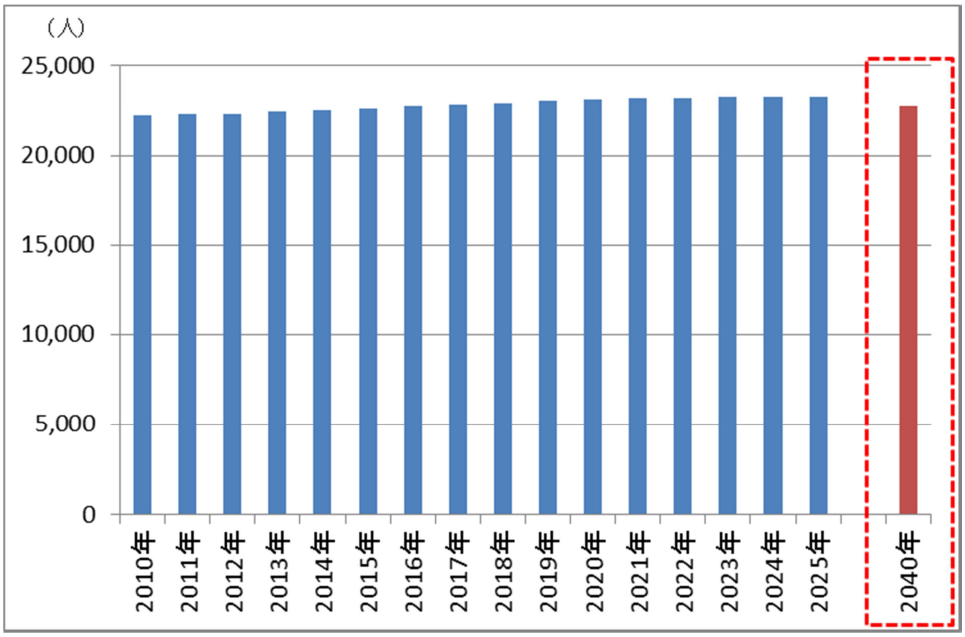


図 4-72　将来人口予測（沼南地域：風早南部地区）

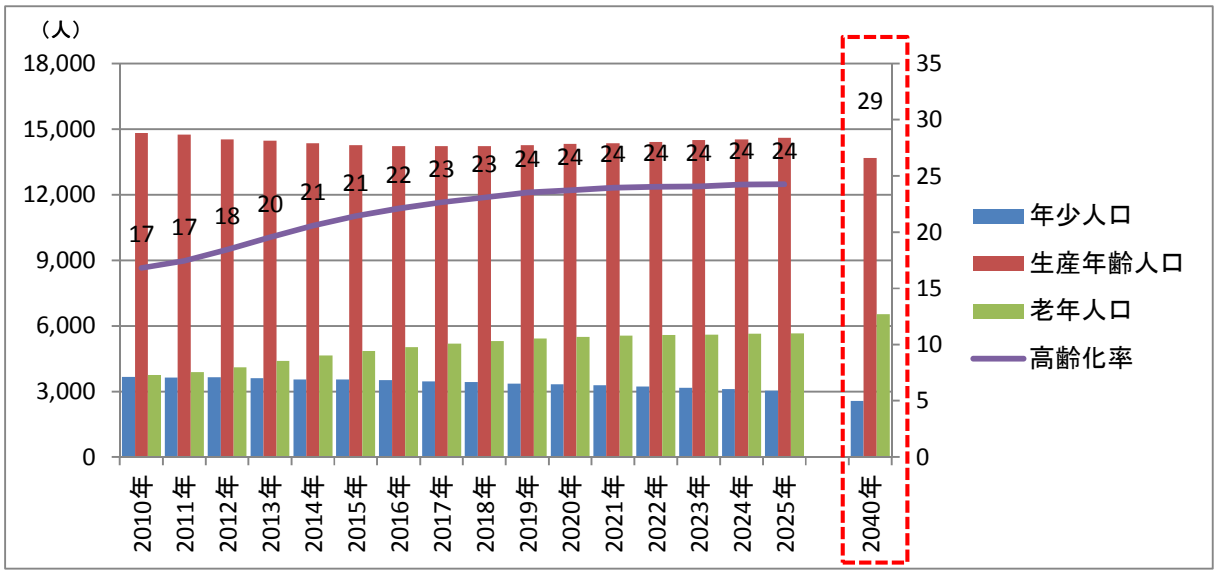


図 4-73　将来人口予測（年齢階層別）＋高齢化率（沼南地域：風早南部地区）

4-9-3 手賀地区

(1) 地区の概況

・手賀地区は，地域全体が市街化調整区域に属し，森林や緑地などの自然環境と，水田や畑等の農地の広がりの中に，集落が点在する地域です。

(2) 配置状況

・手賀地区の公共施設は 22 施設あり，公共施設の保有面積は計 13,223 ㎡になります。
・手賀の丘公園を中心に，公共施設がまとまって集積しています。
・また，地区全体に消防団器具置場が分散して配置されています。

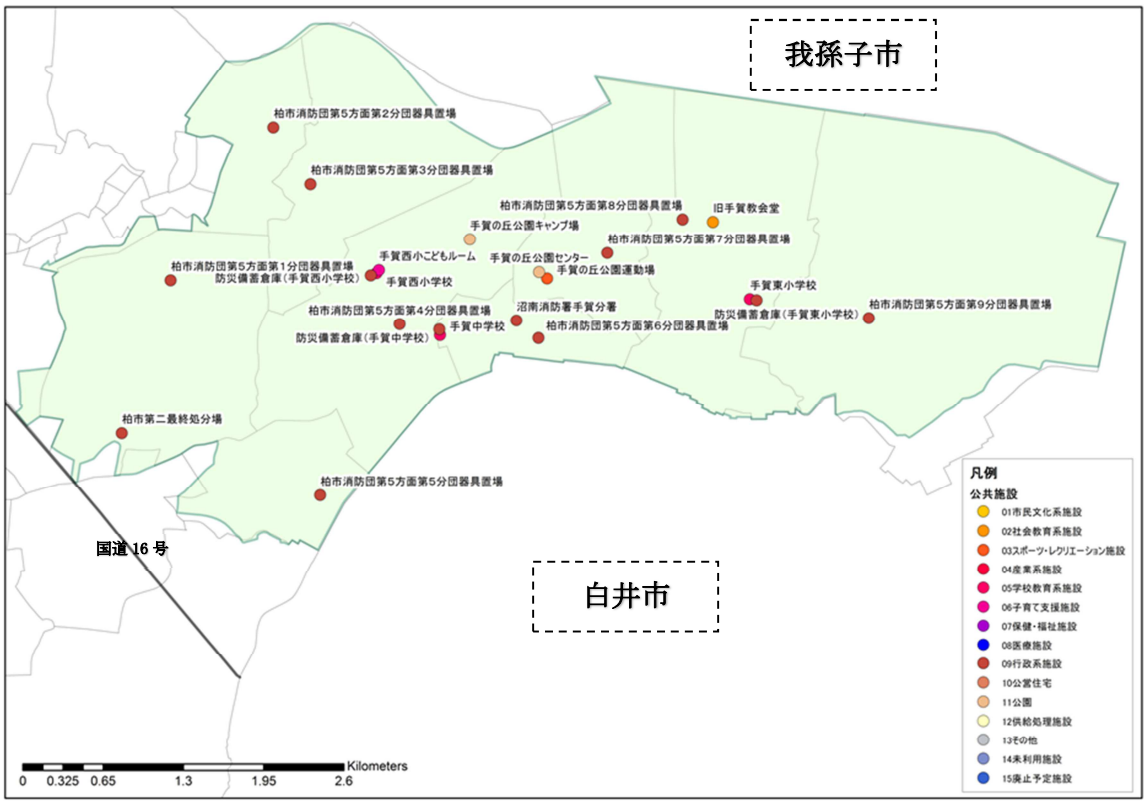


図 4-74　配置状況（沼南地域：手賀地区）

(3) 現状の課題と将来人口予測

・自然・田園環境の保全維持に努め，都市生活を支える諸施設の利便性，安全性の向上を図っていくことが課題となっています。
・将来人口予測において，2040 年の地区内人口を 2014 年と比較すると 36%減で，減少率は 20 コミュニティ中 3 位です。また，2040 年の高齢化率は 43%で，20 コミュニティ中 3 位となっています。

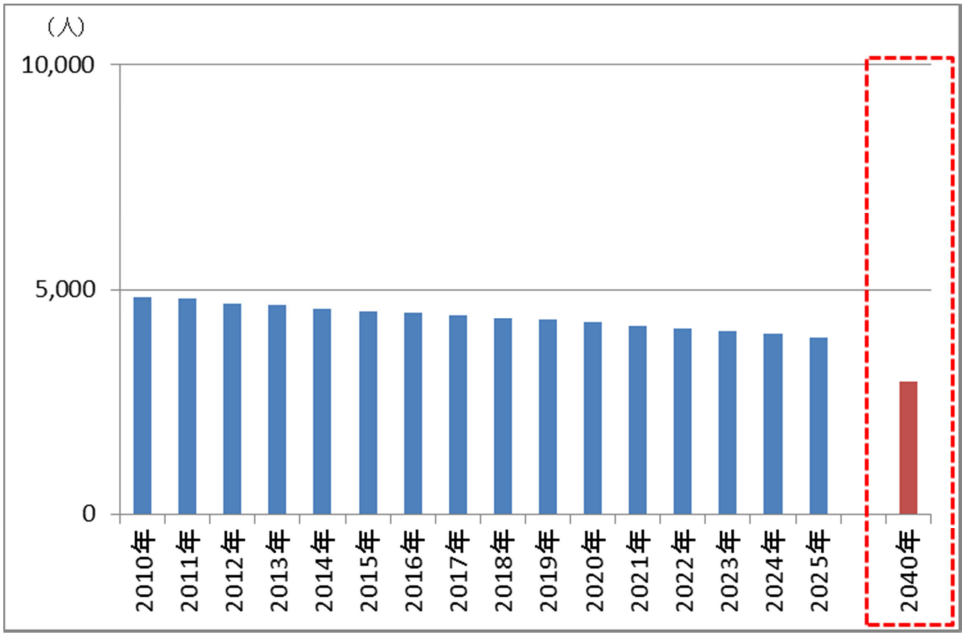


図 4-75　将来人口予測（沼南地域：手賀地区）

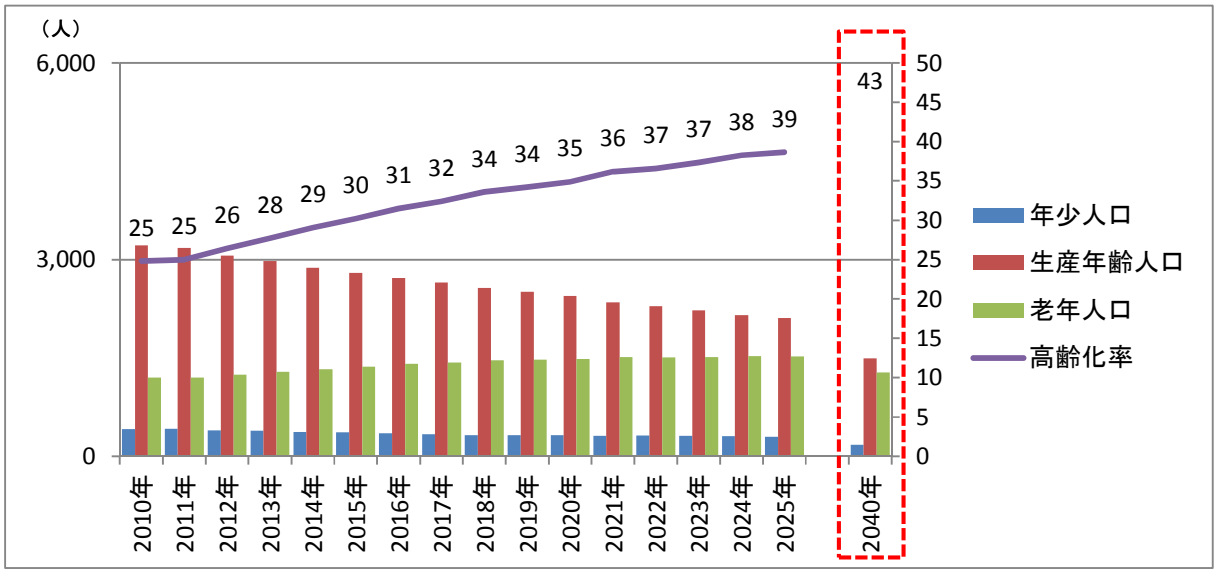


図 4-76　将来人口予測（年齢階層別）＋高齢化率（沼南地域：手賀地区）

第5章　公共施設等に係る課題の整理と今後の取組

5-1 公共施設等に係る課題の整理

これまでの現状の整理および分析等により，次の課題が明らかになりました。

①少子高齢化に伴う人口減少社会の到来

第 2 章の「2-2 人口の推移・将来予測」で示したとおり，中長期的な人口推計をみると，地域によって異なるものの，市全体の総人口は概ね 10 年後をピークに減少に転じると予測されています。また，少子高齢化はほとんどの地域で一層進んでいきます。今後，人口構成の変化により，それぞれの公共施設の利用需要も増減することが予想されます。

②財政状況から予測される更新費用の不足

第 2 章の「2-3 財政状況の推移」で示したとおり，公共施設等の老朽化が急速に進行しており，今後，大規模改修や更新にかかる費用の増加が見込まれます。市の厳しい財政状況と相まって，今ある全ての施設について，建物の安全性を確保し，快適・機能的な状態で維持していくことは困難な状況にあります。

③施設の利用とコストの現状

「第 3 章 施設用途ごとにみた現状と課題」で示したとおり，現状においても，利用者の少ない施設やコストの高い施設が存在しており，上記の①および②で示した人口減少社会の到来や公共施設の老朽化の進行により，それらがさらに顕著になる可能性があります。また，社会経済環境の変化により，施設を設置した当初に較べて機能が古くなって使いにくくなっているものや民間によりサービス提供が可能なものなどもあることから，公共施設のあり方そのものを見直していく必要があります。

④地域によって異なる現状

「第 4 章 地区別にみた現状と課題」で示したとおり，市内には，都市化が進行している地域と農村部の地域，鉄道沿線にある地域とそうでない地域などがあり，地域によって人口密度や世代構成などが大きく異なっており，公共施設の配置や利用にも違いが見られます。公共施設により提供している行政サービスが，それぞれの地域のニーズに対応したものになっているかどうかを検証する必要があります。

5-2 今後の取組

市では，この「施設白書編」で整理した公共施設の現状と課題を踏まえて，将来にわたり必要な行政サービスを持続的に提供していけるように，市民とともに公共施設のあり方を検討してまいります。

平成 28 年度には，公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な考え方について検討を進め，市の中長期的な取組の基本方針となる柏市公共施設等総合管理計画「基本方針編」を策定する予定です。

なお，現時点で考えられる市の取組の方向性は，次のとおりです。

①公共施設の適正配置

今後の財政見通しや増大する施設の更新費用を考えると，現在保有している全ての公共施設をこのまま保有し続けていくことは困難な状況です。そうした中，行政サービスをできるだけ低下させることなく提供し続けていくためには，まず，公共施設の保有量が将来にわたり適正な保有量なのか検証を行った上で，総量抑制を視野に入れながら，計画的に施設配置の適正化を進めていく必要があります。

例えば，利用者の少ない施設，スペースに余裕がある施設，少子高齢化や市民のライフスタイルの変化などにより公共施設として機能がそぐわなくなる施設などは，地域の実情や市民ニーズに適合した行政サービスをより効率的に提供できるようにするため，施設の統廃合や機能の変更，複合化等の検討を行います。また，官民の役割分担を再検討し，各事業に最もふさわしい方式で民間連携を進めます。

②公共施設の計画的な保全

本市はこれまでも，公共施設を安全・快適・機能的な状態で保つため，大規模改修工事など施設の保全に取り組んできました。一方で，公共施設の多くが老朽化の目安とされる建築後 30 年を経過しています。このため，今後，施設の保全にかかる費用が増加し，市の財政負担が一時期に集中することが見込まれています。

限られた予算の中，公共施設の機能を維持し続けていくため，計画的に保全を行うとともに，引き続き使用する施設を大切に使い続け寿命を延ばしていくことで，財政負担の軽減・平準化を図ります。

③歳入の確保および歳出の抑制

厳しい財政見通しの中，公共施設の機能を維持し続けていくためには，上記の②で示した計画的な保全だけでなく日常の維持管理においても，これまで以上に歳入の確保および歳出の抑制に向けた取組を進めていく必要があります。

歳入の確保については，未利用資産の有効活用（土地・建物の有償貸付や売却等）による財源の確保や施設使用料の適正化など，収入増に向けた取組を進めます。また，将来の財政負担を想定して，基金の計画的な活用を図ります。

歳出の抑制では，公共施設の維持管理にかかる費用の縮減に取り組みます。特に，第 3 章の「施設用途ごとにみた現状と課題」の分析において，同一用途の施設と比較してより多くの費用がかかっている施設については，個別にその原因を検討し改善を図ります。

柏市公共施設等総合管理計画「施設白書編」

平成28年3月

編集・発行：柏市総務部資産管理課資産管理担当

〒277-8505

千葉県柏市柏五丁目10番1号

ＴＥＬ　　：04-7167-1111（代）